Nikon

デジタルカメラ

Z 50 II

活用ガイド

- 製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。
- 「安全上のご注意」（29ページ）も必ずお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるようにしてください。

Jp

目次

はじめに 22

すぐに撮影したいときは....22
写真を楽しむためのニコンのコンテンツ....24
ニコンが提供するコンテンツについて....24
おすすめのサービス/アプリケーション....24
カメラと付属品を確認する....27
本書について....28
安全上のご注意....29
ご確認ください....34

各部の名称 36

カメラ本体....36
画像モニター....40
静止画モードの場合....40
動画モードの場合....43
画像モニターの開き方....44
自分撮りモードで撮影する....46
ファインダー....48
静止画モードの場合....48
動画モードの場合....51
アイセンサーとモニターモード切り換えボタン....52
タッチパネル....56
ピントを合わせる/シャッターをきる....56
設定を変更する....56
再生画面を切り換える....57
動画を再生する....59
*i*メニューを設定する....59
文字を入力する....60
メニューを設定する....60
Fn1/Fn2ボタン....62
（ピクチャーコントロール）ボタン....63

メニューの使い方 64

MENUボタンから設定を選ぶ....64
メニュー項目の設定....65
iボタン（iメニュー）から設定を選ぶ....71
iメニューについて....71
静止画モードのiメニュー....73
動画モードのiメニュー....74
再生時のiメニュー....75
iメニュー項目のカスタマイズ....75

準備をする 77

ストラップを取り付ける....77
バッテリーとメモリーカードを入れる....78
バッテリー残量について....79
記録可能コマ数について....80
バッテリーを充電する....82
レンズを取り付ける....86
レンズを取り外すには....87
画像モニターを開く....88
日付と時刻を設定する....89

撮影と再生の基本操作 92

静止画を撮影する（AUTOオート）....92
動画を撮影する（AUTOオート）....98
撮影した画像を確認する....102
動画の再生....102
画像の削除....104

撮影機能の設定 106

撮像範囲/画質モード/画像サイズ....106
撮像範囲を変更する....106
画質モードを変更する....107
画像サイズを変更する....108
フォーカス....110

フォーカスモードを変更する……110
AFエリアモードを変更する……112
優先してフォーカスを合わせる被写体を設定する……116
フォーカスポイントを自分で選ぶ……121
タッチシャッター……122
ピントを固定して撮影する（フォーカスロック）……123
マニュアルフォーカスで撮影する……125
撮影モード/露出補正……129
撮影モードを設定する……129
AUTO（オート）……130
P（プログラムオート）……130
S（シャッター優先オート）……131
A（絞り優先オート）……131
M（マニュアル）……132
U1、**U2**、**U3**（ユーザーセッティングモード）……135
SCN（シーンモード）……137
長時間露出で撮影する（撮影モードMのみ）……144
露出を固定して撮影する（AEロック）……146
露出補正して画像の明るさを調整する……148
レリーズモード……150
1コマ撮影や連続撮影など、レリーズモードを変更する……150
「ハイスピードフレームキャプチャー+」（C15/C30）で撮影する……153
セルフタイマーを使って撮影する（ⓘ）……154
ISO感度……156
ISO感度を変更する……156
感度自動制御機能を使う……157
ホワイトバランス……159
ホワイトバランスを合わせる……159
ホワイトバランスを微調整する……163
色温度を設定する……168
プリセットマニュアルで基準となる白を設定する……173
ピクチャーコントロール……180
ピクチャーコントロールの種類について……180

ピクチャーコントロールを選ぶ……181
ピクチャーコントロールを調整する……186
カスタムピクチャーコントロールを登録する……192
クラウドピクチャーコントロールを登録する……197

動画撮影の機能 199

動画の記録ファイル形式について……199
階調モードについて……199
動画の画像サイズ/フレームレートについて……201
ビットレートについて……203
動画撮影時の撮影モードについて……205
動画撮影時のご注意とヒント……206
HLG動画の撮影について……207
N-Log動画の撮影について……209
ビューアシストについて……209
ハイレゾズームについて……211
ハイレゾズームでズーミングを行う……211
商品レビューモードについて……213
動画セルフタイマーについて……214
ライブ配信について（USBストリーミング（UVC/UAC））……215
ライブ配信（ストリーミング）を行う……215

画像の再生 219

画像を再生する……219
1コマ表示モード……219
サムネイル表示モード……220
画像情報を表示する……222
標準表示……223
露出情報……224
ハイライト表示……224
RGBヒストグラム……225
撮影情報……228
統合表示……234
ファイル情報……236
*i*ボタン（再生時）……237

静止画選択時……237
動画選択時……240
動画再生一時停止時……242
画像を拡大表示する……243
拡大表示中の操作方法……243
プロテクトで画像を削除できないように保護をする……245
画像にレーティングを設定する……247
画像を選んで送信指定する……249
フィルター再生する……251
［フィルター再生の条件設定］の設定項目……251
スライドショーを再生する……253
スライドショー再生中の操作について……253
画像を削除する……255
ボタン操作で画像を削除する……255
複数の画像をまとめて削除する……255

静止画の編集 260

静止画の編集機能について……260
RAW現像……263
階調モードを［SDR］に設定して撮影したRAW画像を現像する……263
階調モードを［HLG］に設定して撮影したRAW画像を現像する……268
トリミング……274
リサイズ……275
リサイズ（表示画像）……275
リサイズ（複数画像）……276
D-ライティング……280
傾き補正……281
ゆがみ補正……282
アオリ効果……283
モノトーン……284
加算合成……285
比較明合成、比較暗合成……287
比較動合成……290

動画の編集 293
動画の編集機能について....293
動画編集（始点/終点設定）....294
表示中のフレームを保存....298
フレームを連続保存....299
音声メモ 301
音声メモを録音する....301
音声メモを再生する....304
音声メモを削除する....304
HDMI機器（テレビや外部レコーダー）との接続 306
HDMI対応機器との接続方法....306
テレビと接続する....307
外部レコーダーと接続する....308
HDMI外部機器接続時の設定を変更する....308
HDMI外部機器接続時のYCbCrおよび出力ビット数について....311
HDMI外部機器接続時の階調モードについて....311
外部レコーダーをカメラから操作する....311
外部レコーダーに記録する動画のファイル名にカメラでのファイル名を含める....312
スマートフォンとの接続 314
SnapBridgeアプリについて....314
SnapBridgeアプリを使ってできること....314
スマートフォンと無線接続するには....316
Bluetooth接続（ペアリング）....316
Wi-Fi接続....319
パソコンやFTPサーバーとの接続 330
カメラをパソコンやFTPサーバーに接続するには....330
USBケーブルでパソコンと接続する....330
無線LANでパソコンと接続する....330
無線LANでFTPサーバーと接続する....331

USBケーブルでパソコンと接続する 332
NX Studioをインストールする 332
NX Studioを使ってパソコンに画像を取り込む 332
無線LANでパソコンと接続する 336
Wireless Transmitter Utilityについて 336
カメラとパソコンを無線LANで接続する 336
パソコンとのネットワーク接続を解除する 351
無線LANでFTPサーバーと接続する 352
カメラとFTPサーバーを無線LANで接続する 352
FTPサーバーとのネットワーク接続を解除する 369
パソコンまたはFTPサーバーに接続してできること 370
画像を送信する 370
カメラコントロールモードを使用する 375
無線LAN使用時のトラブルシューティング 378
問題と対処方法について 378
エラーコードについて 379

Nikon Imaging Cloudとの接続 381

Nikon Imaging Cloudについて 381
カメラをNikon Imaging Cloudに接続する 382
エラーコードについて 391

他のカメラとの接続 394

他のカメラと接続してできること 394
他のカメラと連動してレリーズする（連動レリーズ） 394
カメラの時計を同期する（日時を同期） 394
連動レリーズモードを使用する 395
連動レリーズ用の接続設定を作成して撮影する 395
カメラの時計を同期する 408

ニコンのクラウドサービス/ソフトウェア/アプリケーション 409

クラウドサービス 409
Nikon Imaging Cloud 409
パソコン用ソフトウェア 411

NX Tether....411
NX Studio....411
Wireless Transmitter Utility....412
スマートフォン用アプリ....413
SnapBridge....413
NX MobileAir....413

フラッシュ撮影（内蔵フラッシュ） 414

フラッシュ撮影の方法（内蔵フラッシュ）....414
フラッシュモードを設定する....415
調光補正してフラッシュの発光量を変更する....419
調光補正の設定方法....419
FVロックして調光量を固定する....420

フラッシュ撮影（別売スピードライト） 422

フラッシュ撮影の方法（別売スピードライト）....422
一灯撮影....422
増灯撮影....422
別売スピードライトをカメラに装着して撮影する（一灯撮影）....423
カメラに装着したスピードライトの発光モードを設定する....425

フラッシュ増灯撮影 426

増灯撮影とは....426
リモートフラッシュを制御する....427
SB-500を使用して撮影する....427

メニューガイド 431

静止画撮影メニュー....431
静止画撮影メニューのリセット....432
記録フォルダー設定....433
フォルダーグループ名変更....433
フォルダー番号指定....433
既存フォルダーから選択....434
ファイル名設定....436
撮像範囲設定....436
階調モード....437

画質モード……439
画像サイズ……439
RAW記録……440
ISO感度設定……440
ホワイトバランス……441
ピクチャーコントロール……441
クラウドピクチャーコントロールを登録……441
カスタムピクチャーコントロール……442
ピクチャーコントロール（HLG）……442
色空間……442
アクティブD-ライティング……443
長秒時ノイズ低減……444
高感度ノイズ低減……445
ヴィネットコントロール……446
回折補正……446
自動ゆがみ補正……447
美肌効果……447
人物印象調整……448
調整モードの登録方法……448
登録した調整モードの適用方法……449
静止画フリッカー低減……450
高周波フリッカー低減……451
測光モード……452
フラッシュ発光……454
発光モード（内蔵）……454
ワイヤレス設定……455
グループ発光設定……456
フラッシュモード……456
フラッシュ調光補正……456
レリーズモード……456
フォーカスモード……457
AFエリアモード……457
AF/MFの被写体検出設定……457
MF時の被写体検出範囲……457

手ブレ補正 457
オートブラケティング 458
AEブラケティング、フラッシュブラケティングの撮影方法 459
WBブラケティングの撮影方法 465
ADLブラケティングの撮影方法 469
多重露出 472
多重露出の撮影方法 474
HDR合成 480
HDRの撮影方法 481
インターバルタイマー撮影 484
インターバルタイマー撮影の撮影方法 486
タイムラプス動画 496
タイムラプス動画の撮影方法 498
フォーカスシフト撮影 505
フォーカスシフト撮影の撮影方法 506
動画撮影メニュー 514
動画撮影メニューのリセット 515
記録フォルダー設定 515
ファイル名設定 515
動画記録ファイル形式 516
画像サイズ/フレームレート 516
ISO感度設定 516
ホワイトバランス 517
ピクチャーコントロール 517
カスタムピクチャーコントロール 518
HLG画質調整 518
アクティブD-ライティング 519
高感度ノイズ低減 519
ヴィネットコントロール 519
回折補正 520
自動ゆがみ補正 520
美肌効果 520
人物印象調整 520

動画フリッカー低減 521
高周波フリッカー低減 521
測光モード 522
フォーカスモード 522
AFエリアモード 522
AF/MFの被写体検出設定 522
被写体検出 522
被写体未検出時のAF駆動 522
商品レビューモード 523
MF時の被写体検出範囲 523
動画セルフタイマー 523
手ブレ補正 523
電子手ブレ補正 524
マイク感度 524
アッテネーター 525
録音帯域 525
風切り音低減 526
マイク端子のプラグインパワー 526
ヘッドホン音量 526
タイムコード 527
外部記録制御（HDMI） 528
ハイレゾズーム 528
カスタムメニュー 529
カスタムメニューのリセット 532
a：フォーカス 533
a1：AF-Cモード時の優先 533
a2：AF-Sモード時の優先 533
a3：AFロックオン 534
横切りへの反応 534
a4：AF点数 534
a5：縦/横位置フォーカスポイント切換 535
a6：半押しAFレンズ駆動 536
a7：フォーカスポイントの引き継ぎ 537
a8：AFエリアモードの限定 538

a9：フォーカスポイント循環選択……538
a10：フォーカスポイント表示……538
マニュアルフォーカス時の表示……538
ダイナミックAF時のアシスト表示……539
AF-Cモード時の合焦表示……539
3D-トラッキング時の表示色……540
フォーカスポイントの太さ……540
a11：内蔵AF補助光の照射設定……540
a12：フォーカスピーキング……541
フォーカスピーキング表示……541
フォーカスピーキングの感度……541
フォーカスピーキングの表示色……541
a13：フォーカスポイントの移動速度……542
a14：AF設定時のフォーカスリング操作……542
b：露出・測光……542
b1：ISO感度設定ステップ幅……542
b2：露出設定ステップ幅……543
b3：露出補正簡易設定……543
b4：マルチパターン測光の顔検出……543
b5：中央部重点測光範囲……544
b6：基準露出レベルの調節……544
c：AEロック・タイマー……545
c1：シャッターボタンAEロック……545
c2：セルフタイマー……545
c3：パワーオフ時間……546
d：撮影・記録・表示……546
d1：低速連続撮影速度……546
d2：連続撮影コマ数……546
d3：プリキャプチャー記録設定……547
d4：連動レリーズモード設定……548
d5：露出ディレーモード……549
d6：シャッター方式……549
d7：Mモード時のシャッタースピード延長……550
d8：撮像範囲設定の限定……550

d9：連番モード……550
d10：ビューモード設定（静止画Lv）……552
d11：スターライトビュー（静止画Lv）……553
d12：赤色画面表示……553
d13：連続撮影中の表示……554
d14：撮影タイミング表示……554
d15：画面枠表示……555
d16：ガイドラインの種類……555
d17：水準器の種類……555
ローリング方向……556
ピッチング方向……557
d18：半押し拡大解除（MF）……557
d19：撮影画面カスタマイズ（画像モニター）……558
d20：撮影画面カスタマイズ（ファインダー）……559
e：フラッシュ・BKT撮影……560
e1：フラッシュ撮影同調速度……560
e2：フラッシュ時シャッタースピード制限……561
e3：フラッシュ使用時の露出補正……562
e4：ϟ使用時の感度自動制御……562
e5：BKT変化要素（M モード）……562
e6：BKTの順序……563
e7：フラッシュ連続撮影時の優先……564
f：操作……564
f1：Zメニューのカスタマイズ……564
2点拡大……566
f2：カスタムボタンの機能（撮影）……567
コマンドダイヤルの設定について……579
フォーカス位置の登録/フォーカス位置の呼び出しについて……579
f3：カスタムボタンの機能（再生）……584
メインコマンドダイヤル/サブコマンドダイヤルの設定について……588
f4：タッチFn……590
タッチFnの操作……590

タッチFnの機能 590
タッチFnの有効領域 591
f5：操作のロック 591
f6：コマンドダイヤル回転方向の変更 592
f7：ボタンのホールド設定 592
f8：インジケーターの＋ / －方向 593
f9：フォーカス回転方向の変更 593
f10：フォーカスリングの角度設定 594
f11：コントロールリングの感度 594
f12：フォーカス/コントロールリング入れ換え 595
f13：パワーズームのボタン操作（PZレンズ） 595
f14：1コマ再生時のフリック操作 595
上にフリック/下にフリック 595
1コマ送りの操作方向 596
g：動画 597
g1：iメニューのカスタマイズ 597
マルチセレクターによるパワー絞り 598
マルチセレクターによる露出補正 598
動画情報表示 598
g2：カスタムボタンの機能 599
コマンドダイヤルの設定について 607
g3：操作のロック 608
g4：AFエリアモードの限定 609
g5：AF速度 609
g6：AF追従感度 610
g7：ハイレゾズーム速度 610
g8：パワーズームのボタン操作（PZレンズ） 611
g9：ISO感度ステップ幅拡張（Mモード） 611
g10：シャッタースピード延長（S/Mモード） 611
g11：ビューアシスト 612
g12：ゼブラ表示 612
ゼブラ表示の検出モード 612
ゼブラ表示のパターン 613
高輝度検出の範囲 613

中間輝度検出の範囲 613
g13：ゼブラ表示の検出モード制限 614
g14：ガイドラインの種類 614
g15：輝度情報の種類 614
g16：半押し拡大解除（MF） 615
g17：撮影画面カスタマイズ（画像モニター） 615
g18：撮影画面カスタマイズ（ファインダー） 617
g19：動画撮影中の赤枠表示 617
再生メニュー 618
削除 618
再生フォルダー設定 619
再生画面設定 619
フィルター再生の条件設定 621
グループ再生の設定 621
自動連続再生 621
自動連続再生の設定 622
サムネイルのグループ表示 622
撮影直後の画像確認 622
削除後の次再生画像 623
連続撮影後の再生画像 623
縦横位置情報の記録 624
画像の自動回転 624
セットアップメニュー 626
カードの初期化（フォーマット） 627
ユーザーセッティングの登録 628
ユーザーセッティングのリセット 628
タイムゾーンと日時 628
モニターの明るさ 629
モニターのカラーカスタマイズ 629
ファインダーの明るさ 631
ファインダーのカラーカスタマイズ 631
ファインダー表示サイズ 632
モニターモードの限定 632
画面情報の自動回転 632

RECランプの明るさ.....632
AF微調節の設定.....633
AF微調節の設定と微調節値の登録方法.....634
未登録レンズ装着時の微調整値の設定方法.....635
レンズ情報手動設定.....635
距離表示単位の設定.....636
フォーカス位置の記憶.....636
ズーム位置の記憶（PZレンズ）.....636
イメージダストオフデータ取得.....637
イメージダストオフデータ取得の手順.....637
ピクセルマッピング.....639
画像コメント.....639
コメント入力.....639
コメント添付.....640
著作権情報.....640
撮影者名入力、著作権者名入力.....640
著作権情報添付.....641
IPTC.....641
IPTCプリセットの新規作成/編集.....642
登録内容の削除.....642
登録内容の添付.....642
カメラに登録したIPTCプリセットをメモリーカードに保存.....643
メモリーカードに保存したIPTCプリセットをカメラに登録.....643
Ω/🎧端子の機能（ヘッドホン/リモートコード端子の機能）.....646
音声メモの設定.....646
録音の操作.....646
音声の出力（再生）.....647
電子音.....647
電子音設定.....647
音量.....648
音の高さ.....648
サイレントモード.....648

タッチ操作 649
自分撮りモード 649
HDMI 650
USB接続時の優先 650
認証情報 650
USB給電 650
パワーセーブ（静止画モード） 652
カードなし時レリーズ 653
メニュー設定の保存と読み込み 653
メニュー設定の保存と読み込みができる機能 653
保存 658
読み込み 658
カメラの初期化 658
ファームウェアバージョン 659
自動バージョンアップ 660
ネットワークメニュー 662
機内モード 663
Nikon Imaging Cloud 663
Nikon Imaging Cloudと接続 663
Wi-Fi設定 664
接続オプション 664
画像送信 665
画像送信オプション 665
エラー情報 666
Nikon Imaging Cloudについて 666
Nikon Imaging Cloudの連携解除 666
スマートフォンと接続 667
ペアリング（Bluetooth） 667
送信指定 667
Wi-Fi接続（アクセスポイントモード） 668
Wi-Fi接続（ステーションモード） 669
電源OFF中の通信 669
位置情報（スマートフォン） 670
リモコン（ML-L7）設定 670

リモコン接続（ML-L7）.....670
リモコン登録.....670
リモコン登録の解除.....671
Fn1ボタンの機能/Fn2ボタンの機能.....671
Bluetoothリモコン設定.....671
Bluetoothリモコン接続.....671
リモコン登録.....672
リモコン登録の解除.....672
PCと接続.....673
接続設定.....673
動作モードの選択.....675
オプション.....675
FTPサーバーと接続.....676
接続設定.....676
オプション.....678
カメラと接続.....681
連動レリーズ.....681
接続設定.....681
マスター/リモート選択.....683
グループ設定.....683
グループ名.....684
日時を同期.....684
著作権情報の上書き.....684
ATOMOS AirGlu BT設定.....684
USB.....686
接続先の周波数帯選択.....687
MACアドレス.....688
マイメニュー/最近設定した項目.....689
マイメニュー：よく使うメニューを登録する.....689
最近設定した項目：最近設定したメニューをたどる.....694

困ったときは 696

お問い合わせになる前に.....696
故障かな？と思ったら.....698
電源・表示関連.....698

撮影関連.....699
再生関連.....703
Wi-Fi（無線LAN）およびBluetooth関連.....705
その他.....706
警告表示と警告メッセージ.....709
警告表示.....709
警告メッセージ.....711

資料 714

使用できるレンズ.....714
画像モニター/ファインダーの表示.....715
画像モニター.....716
ファインダー.....725
使用できるスピードライト.....730
ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）について.....730
ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの組み合わせで使用できる機能.....730
スピードライト使用時のご注意とヒント.....746
使用できるアクセサリー.....750
リモートコードMC-DC3について.....753
リモコンML-L7について.....755
カメラのお手入れについて.....761
カメラを長期間保管するときは.....761
クリーニングについて.....761
撮像素子前面をブロアーで掃除する.....762
カメラとバッテリーの使用上のご注意.....764
カメラの取り扱い上のご注意.....764
バッテリーの使用上のご注意.....767
主な仕様.....770
ニコンデジタルカメラ Z50II.....770
使用できるメモリーカード.....780
記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数.....781
動画記録可能時間.....783
撮影可能コマ数（電池寿命）について.....784

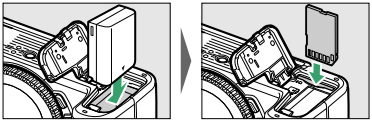
商標およびソフトウェアの著作権とライセンスについて 786
適合情報 790
索引 **793**

はじめに

すぐに撮影したいときは

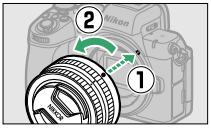
■■準備する

1 **カメラにバッテリーとメモリーカードを入れる（🕮78）**



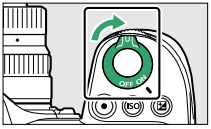
バッテリーの充電については「バッテリーを充電する」（🕮82）をご覧ください。

2 **レンズを取り付ける（🕮86）**



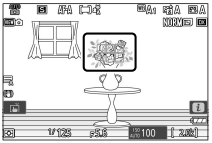
・カメラの指標とレンズの指標を合わせて（①）、図の矢印の方向に回します（②）。
・カメラにはストラップも取り付けられます。取り付け方は「ストラップを取り付ける」（🕮77）をご覧ください。

3 **カメラの電源をONにして日付と時刻を設定する（🕮89）**



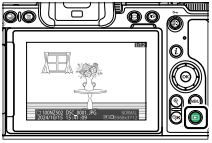
■撮る（🕮92）/見る（🕮102）

1 シャッターボタンを軽く押して（半押しして）、ピントを合わせる



2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）撮影する

3 撮影した画像を確認する



すぐに撮影したいときは

写真を楽しむためのニコンのコンテンツ

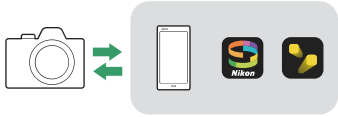
ニコンが提供するコンテンツについて

お客様に写真をより楽しんでいただくため、当社では主にクラウドサービス、パソコン用ソフトウェア、スマートフォン用アプリなどのコンテンツをご用意しております。これらのコンテンツをご活用いただくことで、撮りたい写真の仕上がりに関するカメラ設定の共有、撮った写真の調整や加工、パソコンやスマートフォンへの写真の自動転送などが可能になります。

- **クラウドサービス（🕮409）**

- **パソコン用ソフトウェア（🕮411）**

- **スマートフォン用アプリ（🕮413）**



おすすめのサービス/アプリケーション

最新情報については当社ホームページでご確認ください。

Nikon Imaging Cloud

Nikon Imaging Cloudは、主に次のことが行えるクラウドサービスです。

- 画像転送：カメラで撮影した画像をNikon Imaging Cloudにアップロードし、外部オンラインストレージに送信できます。
- イメージングレシピ：画像の撮影情報等をレシピとして保存できます。レシピは自分で作成するか、公開レシピから選んで取得できます。
- ピクチャーコントロールの提供：Nikon Imaging Cloudが提供するピクチャーコントロールをカメラにダウンロードして登録できます。
- ファームウェアアップデート：Nikon Imaging Cloudからカメラに直接ファームウェアをダウンロードできます。

パソコンまたはスマートフォンでNikon Imaging Cloudにアクセスするには、QRコードを読み込むか、下記URLをWebブラウザーに入力してください。
https://imagingcloud.nikon.com

- アクセス用のQRコードとURLは、カメラのネットワークメニュー［**Nikon Imaging Cloud**］>［**Nikon Imaging Cloudについて**］でも確認できます。

SnapBridge

SnapBridgeは、スマートフォンとカメラを無線接続することでスマートフォンへの画像転送やリモート撮影などができるアプリケーションです。

・SnapBridgeアプリはApple App Store®またはGoogle Play™でダウンロードできます。

その他のソフトウェア/アプリケーションについては、下記のページもご覧ください。

・パソコン用ソフトウェア（🕮411）

・スマートフォン用アプリ（🕮413）

カメラと付属品を確認する

万一、付属品がそろっていない場合は、ご購入店にご連絡ください。

❑ カメラ本体

❑ ボディーキャップBF-N1

❑ Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL25a

❑ ストラップAN-DC29（🕮77）

❑ 保証書

❑ 使用説明書

❑ USBケーブルUC-E25（🕮332）

- メモリーカードは別売です。
- 日本国内でご購入いただいたカメラが画面に表示できる言語は日本語のみです。

☑ レンズキット付属のレンズについて

レンズキットに付属するレンズの詳しい使い方につきましては、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできる各レンズの説明書をご覧ください。

☑ ニコンダウンロードセンターについて

ニコンダウンロードセンターでは、カメラやレンズなどの最新のファームウェアや、NX Studioなどのニコンソフトウェア、カメラやニッコールレンズ、スピードライトなどの説明書をダウンロードできます。

https://downloadcenter.nikonimglib.com/

本書について

■■文中のマークについて

本書では、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。

	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことなどを記載しています。
ヒント	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
	本書で関連情報が記載されているページです。

■■表記について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記しています。ただし、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記する場合があります。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- 撮影時の画像モニターとファインダーの表示を「撮影画面」と表記しています。イラストは主に画像モニターの表示を使用しています。
- 本書では、スマートフォンおよびタブレットを「スマートフォン」と表記しています。
- 本書では、APS-Cサイズに準じた画角を「DX フォーマット」と表記しています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。本書では、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書をお読みになった後は、いつでも参照できるようにしてください。

危険 「死亡または重傷を負うおそれが大きい内容」です。

警告 「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。

してはいけない内容です。

分解、修理または改造してはいけない内容です。

人体やものに密着させてはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告

歩きながらや運転・操縦しながらの操作はしない
事故やけがの原因になります。

分解、修理または改造をしない
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない
感電やけがの原因になります。

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電源を取り外す
放置すると、発火、やけどの原因になります。

水でぬらさない
ぬれた手で触らない
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電や発火の原因になります。

電源を入れたまま長時間直接触らない
低温やけどの原因になります。

引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。

レンズで直接太陽や強い光を見ない
失明や視力障碍の原因になります。

フラッシュやAF補助光を運転者にむけて発光しない
事故の誘発につながります。

幼児の手の届くところに置かない
故障やけがの原因になります。
小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

ストラップ類を首に巻きつけない
事故の原因になります。

指定外の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルは使わない
指定の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルを使う際は、以下の点に注意する
- **コードやケーブルを傷つけたり、加工したりしない**
  重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、無理に曲げたりしない
- **海外旅行者用電子式変電圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わない**

発火、感電の原因になります。

充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触らない
感電の原因になります。

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着していたら、乾いた布で拭き取る
放置すると、発火の原因になります。

高温環境や低温環境では、直接触らない
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

⚠ 注意

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない
集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。
逆光撮影では、太陽を画角から十分にずらしてください。
画角から太陽をわずかに外しても、発火の原因になります。

使用が禁止されている場所では、電源をOFFにする
無線通信が禁止されている場所では、無線通信機能が作動しないようにする
医療機関や航空機内では、本機器が出す電磁波が、周囲の機器に悪影響を与えるおそれがあります。

長時間使わないときは、電池やACアダプターを取り外す
故障や発火の原因になります。

フラッシュを人体やものに密着させて発光させない
やけどや発火の原因になります。

夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない
故障や発火の原因になります。

AF補助光を直接見ない
視覚に悪影響を及ぼすことがあります。

RECランプを近くで見たり、長時間見続けたりしない
視覚に悪影響を及ぼすことがあります。

三脚などにカメラやレンズを取り付けたまま移動しない
故障やけがの原因になります。

心臓ペースメーカーなどの医療機器からは5cm以上離す
近づけ過ぎると、製品に内蔵された磁石が医療機器に影響を与えるおそれがあります。

⚠ 危険（電池について）

電池は誤った使いかたをしない
注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 充電池は、専用の充電池以外を使わない
- 電池を火の中に入れたり、加熱したりしない
- 電池を分解しない
- 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させてショート（短絡）しない
- 電池、または電池の入った製品に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
- 電池に釘を刺したり、電池をハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない

指定の方法で充電する
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受ける
放置すると、目に傷害を与える原因になります。

航空機内に持ち込むときは、航空会社の指示に従う
超高度の気圧が低いところに放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

⚠ 警告（電池について）

電池を乳幼児の手の届く所に置かない
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

電池をペットなどが触れる場所に置かない
噛みつきなどにより、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

水につけたり、雨にぬらしたりしない
発火や故障の原因になります。
ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってください。

変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない
リチャージャブルバッテリーEN-EL25aは、所定の時間を超えても充電が完了しなければ、充電を中止する
放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

使用済みの電池は、ビニールテープなどで接点部を絶縁する
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水で洗い流す
放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。

ご確認ください

● 保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、直ちに購入店にご請求ください。

● カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。
https://www.nikon-image.com/support/

● 大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

● アクセサリーについて

本製品はニコン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用することを想定して設計されております。ニコン純正品以外のアクセサリーの使用に起因することが明らかな故障や発火などの事故による損害については、当社は一切責任を負いません。また、この場合のニコン製品の修理につきましては保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。

● バッテリーについて

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25aはニコン製品専用バッテリーです。対応製品以外の充電器や製品と組み合わせて使用した場合の故障や事故については、当社は一切責任を負いません。

- 模倣品にご注意ください。模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25aには、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。

● メモリーカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後はメモリーカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- メモリーカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やカメラやメモリーカードの故障の原因となります。
  - メモリーカードの着脱をしないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属を触れないでください。
- メモリーカードに無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

● 本書について

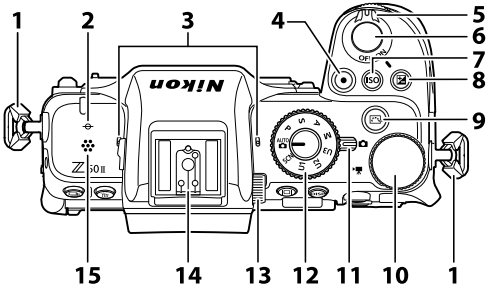
- 本書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入できます（有料）。

● 著作権について

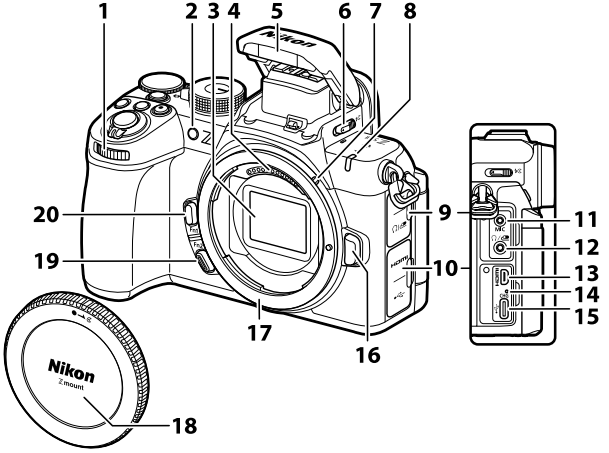
カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的であっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音が制限されている場合がありますのでご注意ください。

各部の名称

カメラ本体

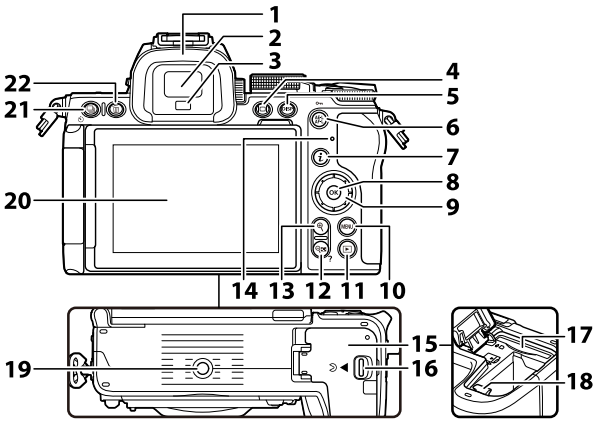


1	ストラップ取り付け部（🕮77）
2	距離基準マーク（⊖）（🕮127）
3	マイク（ステレオ）
4	動画撮影ボタン（🕮98）
5	電源スイッチ
6	シャッターボタン（🕮92）
7	ISO感度ボタン（**ISO**）（🕮156）
8	露出補正ボタン（⊠）（🕮148）
9	ピクチャーコントロールボタン（🖼）（🕮63、🕮181）
10	メインコマンドダイヤル
11	静止画/動画セレクター（🕮92、🕮98）
12	撮影モードダイヤル（🕮129）
13	視度調節ダイヤル（🕮54）
14	フラッシュ取り付け部（アクセサリーシュー）（🕮423、🕮730）
15	スピーカー



1	サブコマンドダイヤル
2	AF補助光ランプ（🕮96、🕮540） 赤目軽減ランプ（🕮415） セルフタイマーランプ（🕮154、🕮214）
3	イメージセンサー（撮像素子）（🕮762）
4	レンズ信号接点
5	内蔵フラッシュ（🕮414）
6	フラッシュポップアップレバー（🕮414）
7	レンズ着脱指標（🕮86）
8	RECランプ（🕮100、🕮632）
9	マイク/ヘッドホン/リモートコード端子カバー
10	HDMI端子/USB端子カバー
11	外部マイク入力端子（🕮752）
12	ヘッドホン/リモートコード端子（🕮646、🕮526）
13	HDMI端子（🕮306）
14	チャージLED（🕮82）
15	USB端子（🕮332、🕮650）
16	レンズ取り外しボタン（🕮87）
17	レンズマウント（🕮86、🕮127）
18	ボディーキャップ（🕮86）
19	**Fn2**ボタン（🕮62）
20	**Fn1**ボタン（🕮62）

カメラ本体



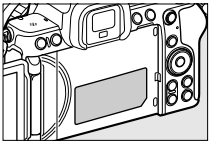
1	接眼目当て
2	ファインダー（🕮48）
3	アイセンサー（🕮52）
4	モニターモード切り換えボタン（🖵）（🕮52、🕮632）
5	DISPボタン（**DISP**）（🕮42）
6	AFL（🔑）ボタン（🕮123、🕮146、🕮245）
7	iボタン（**i**）（🕮71、🕮237）
8	OKボタン（OK）（🕮65）
9	マルチセレクター（🕮65）
10	MENUボタン（**MENU**）（🕮64）
11	再生ボタン（▶）（🕮102、🕮219）
12	縮小/サムネイル表示ボタン（🔍）（🕮220、🕮243） ヘルプボタン（**?**）（🕮69）
13	拡大ボタン（🔍）（🕮125、🕮220、🕮243）
14	メモリーカードアクセスランプ（🕮96、🕮100）
15	バッテリー/メモリーカードカバー（🕮78）
16	バッテリー/メモリーカードカバー開閉ノブ
17	メモリーカードスロット（🕮78）
18	バッテリーロック（🕮78）
19	三脚ネジ穴
20	画像モニター（🕮56、🕮122）
21	レリーズモードボタン（🎞）（🕮150） セルフタイマーボタン（⏲）（🕮154）
22	削除ボタン（🗑）（🕮104、🕮255）

イメージセンサー（撮像素子）に触れない

イメージセンサー（撮像素子）を押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や破損などの原因となります。撮像素子のお手入れについては「撮像素子前面をブロアーで掃除する」（🕮762）をご覧ください。

ヒント: 製品番号について

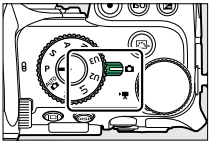
このカメラの製品番号は、画像モニターを開いて確認できます。

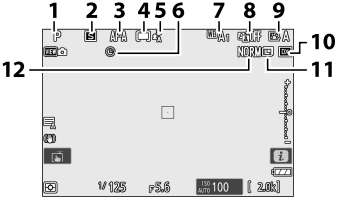


画像モニター

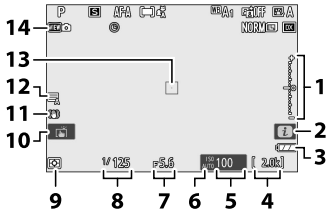
初期設定では、画像モニターに次のような情報が表示されます。詳しくは、「資料」の「画像モニター/ファインダーの表示」>「画像モニター」（🕮716）をご覧ください。

静止画モードの場合





1 撮影モード（🕮129）
2 レリーズモード（🕮150）
3 フォーカスモード（🕮110）
4 AFエリアモード（🕮112）
5 被写体検出（🕮116）
6 ⏲マーク（🕮91）
7 ホワイトバランス（🕮159）
8 アクティブD-ライティング（🕮443）
9 ピクチャーコントロール（🕮180）
10 撮像範囲（🕮106）
11 画像サイズ（🕮108）
12 画質モード（🕮107）

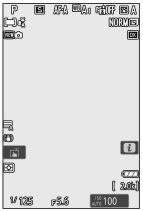


1	インジケーター 露出（🕮134） 露出補正（🕮148）
2	*i*メニュー（🕮71、🕮237）
3	バッテリー残量表示（🕮79）
4	記録可能コマ数（🕮80、🕮781）
5	ISO感度（🕮156）
6	ISO感度マーク（🕮156） ISO-AUTOマーク（🕮157）
7	絞り値（🕮131、🕮132）
8	シャッタースピード（🕮131、🕮132）
9	測光モード（🕮452）
10	タッチ撮影機能（🕮122）
11	手ブレ補正（🕮457）
12	シャッター方式（🕮549）
13	フォーカスポイント（🕮121）
14	ビューモード設定（静止画Lv）（🕮552）

画像モニター

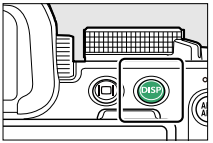
ヒント: 画像モニターの縦位置表示について

静止画モードの場合、撮影画面、再生画面、**i**メニュー画面でカメラを縦位置に構えると、画像モニターの表示も縦位置表示になります。

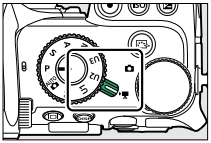


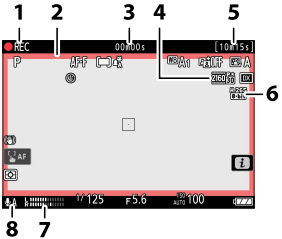
ヒント: 画面の表示を切り換える

DISPボタンを押すと、撮影画面の表示を切り換えることができます。最大で5種類の表示画面を切り換えられ、それぞれの画面に表示するアイコンやインジケーターをカスタマイズできます。撮影画面のカスタマイズはカスタムメニューd19[**撮影画面カスタマイズ（画像モニター）**]で行えます（🕮558）。



動画モードの場合





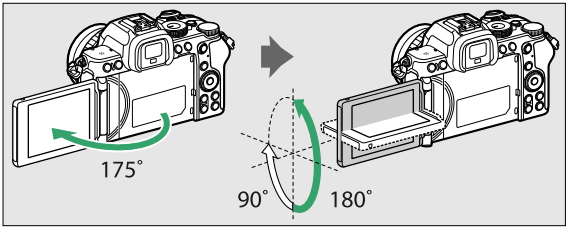
1	録画中マーク 動画記録禁止マーク（🕮100）
2	録画中赤枠（🕮617）
3	動画記録時間
4	画像サイズ/フレームレート（🕮201）
5	動画記録残り時間
6	動画記録ファイル形式（🕮199）
7	音声レベルインジケーター（🕮524）
8	マイク感度（🕮524）

画像モニターの縦位置表示について

動画モードの場合、再生画面および再生時のiメニュー画面でカメラを縦位置に構えると、画像モニターの表示も縦位置表示になります。

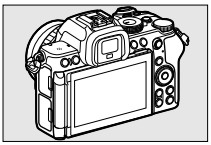
画像モニターの開き方

このカメラの画像モニターは、向きや角度を変えて使えます。



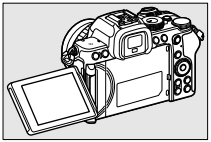
● 通常の撮影

通常の撮影では、画像モニターを外側にしてカメラ本体に収納した状態でお使いください。



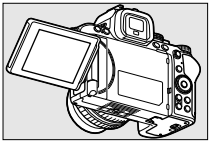
● ローアングル撮影

画像モニターを上に向けると、カメラを低い位置に構えて撮影できます。



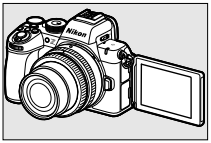
● ハイアングル撮影

画像モニターを下に向けると、カメラを高い位置に構えて撮影できます。



● 自分撮りモード

画像モニターをカメラ前面に向けると、自分撮りモードに切り替わります（🕮46）。



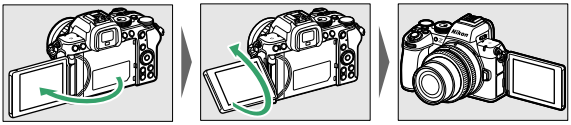
☑ 画像モニター取り扱い上のご注意

- 画像モニターを回転させる場合は、回転範囲内でゆっくりと回してください。無理な力がかかると、カメラ本体や画像モニターの破損の原因となります。
- 画像モニターを使用しないときは、傷や汚れを防ぐためにモニター画面を内側にしてカメラ本体に収納することをおすすめします。
- 画像モニター部分をつかんで、カメラを持ち上げたりしないでください。カメラが破損するおそれがあります。

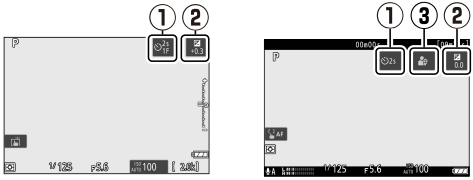
自分撮りモードで撮影する

画像モニターを自分撮りモードのポジションにセットすると自分撮りモードに切り替わります。

画像モニターには鏡に映ったような状態（鏡像）で表示されますが、画像はカメラから見た状態（正像）で記録されます。



- セルフタイマーアイコン（**①**）をタッチすると、静止画モードではシャッターがきれるまでの時間と撮影する枚数を設定できます。動画モードでは動画撮影を開始するまでの時間を設定できます。
- 露出補正アイコン（**②**）をタッチすると、画像の明るさの設定を変更できます。
- 動画モードでは、商品レビューモードアイコン（**③**）をタッチして、商品レビューモード（🕮213）を設定できます。カメラに近いものにピントを合わせるので、商品レビュー動画を撮影する場合に便利です。アイコンをタッチするごとに、［**有効**］、［**有効（カスタム）**］、［**無効**］に切り替わります。



静止画モード　　動画モード

- シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせを行います。全押しすると静止画を撮影します。
- セルフタイマーを設定している場合、シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれるまでのカウントダウンが画像モニターに表示されます。
- タッチAFやタッチシャッターも使用できます。

画像モニター

- 動画撮影ボタンを押すと、静止画モードの場合は静止画を撮影します。動画モードの場合は動画の撮影を始めます。
- 画像モニターを自分撮りモードのポジションから動かすと、自分撮りモードを終了します。

自分撮りモードについて

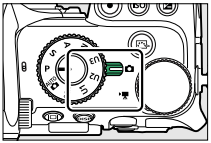
自分撮りモードでは次の点にご注意ください。

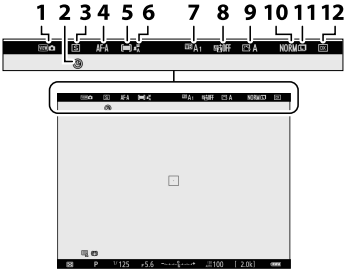
- 自分撮りモード中は、電源スイッチ、シャッターボタン、動画撮影ボタン、静止画/動画セレクター、撮影モードダイヤル、フラッシュポップアップレバー以外の操作は無効になります。
- カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］の設定が1分未満の場合は約1分間、1分以上の場合は設定した時間何も操作が行われないと、半押しタイマーがオフになります。
- 次の設定が固定されます。
  - ［**レリーズモード**］：［**セルフタイマー**］
  - 動画撮影メニューの［**フォーカスモード**］：［**フルタイムAF**］
  - ［**タッチ操作**］：［**有効**］
- ファインダーは使用できません。
- 次の機能は使用できません。
  - ［**長秒時ノイズ低減**］
  - ［**オートブラケティング**］
  - ［**HDR合成**］
  - ［**露出ディレーモード**］
- 自分撮りモードで［**商品レビューモード**］を［**有効（カスタム）**］に設定した場合、AFエリアのサイズは変更できません。
- セットアップメニューの［**自分撮りモード**］（🕮649）を［**OFF**］に設定すると、画像モニターを自分撮りモードのポジションにセットしても自分撮りモードに切り替わりません。

ファインダー

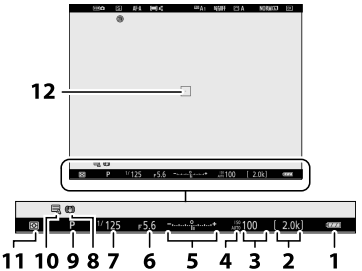
初期設定では、ファインダーに次のような情報が表示されます。詳しくは、「資料」の「画像モニター/ファインダーの表示」>「ファインダー」(🕮725)をご覧ください。

静止画モードの場合





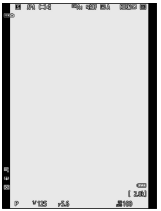
1	ビューモード設定(静止画Lv)(🕮552)
2	⏲マーク(🕮91)
3	レリーズモード(🕮150)
4	フォーカスモード(🕮110)
5	AFエリアモード(🕮112)
6	被写体検出(🕮116)
7	ホワイトバランス(🕮159)
8	アクティブD-ライティング(🕮443)
9	ピクチャーコントロール(🕮180)
10	画質モード(🕮107)
11	画像サイズ(🕮108)
12	撮像範囲(🕮106)



1	バッテリー残量表示（🕮79）
2	記録可能コマ数（🕮80、🕮781）
3	ISO感度（🕮156）
4	ISO感度マーク（🕮156） ISO-AUTOマーク（🕮157）
5	インジケーター 露出（🕮134） 露出補正（🕮148）
6	絞り値（🕮131、🕮132）
7	シャッタースピード（🕮131、🕮132）
8	手ブレ補正（🕮457）
9	撮影モード（🕮129）
10	シャッター方式（🕮549）
11	測光モード（🕮452）
12	フォーカスポイント（🕮121）

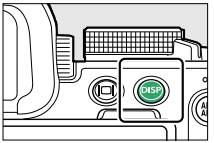
ヒント: ファインダーの縦位置表示について

静止画モードの場合、撮影画面、再生画面、**i**メニュー画面でカメラを縦位置に構えると、ファインダーの表示も縦位置表示になります。

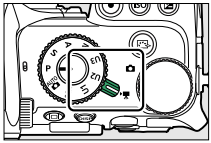


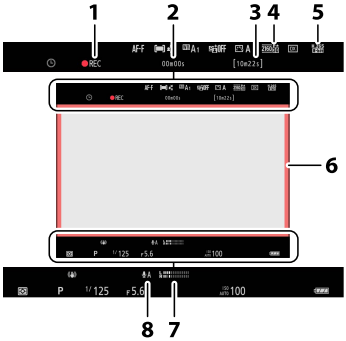
ヒント: 画面の表示を切り換える

DISPボタンを押すと、撮影画面の表示を切り換えることができます。最大で4種類の表示画面を切り換えられ、それぞれの画面に表示するアイコンやインジケーターをカスタマイズできます。撮影画面のカスタマイズはカスタムメニューd20[**撮影画面カスタマイズ（ファインダー）**]で行えます（🕮559）。



動画モードの場合

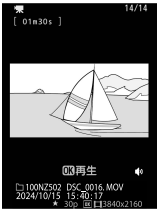




1	録画中マーク 動画記録禁止マーク（🕮100）
2	動画記録時間
3	動画記録残り時間
4	画像サイズ/フレームレート （🕮201）
5	動画記録ファイル形式（🕮199）
6	録画中赤枠（🕮617）
7	音声レベルインジケーター （🕮524）
8	マイク感度（🕮524）

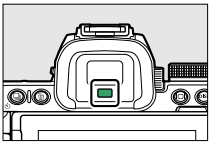
ヒント: ファインダーの縦位置表示について

動画モードの場合、再生画面および再生時の**i**メニュー画面でカメラを縦位置に構えると、ファインダーの表示も縦位置表示になります。

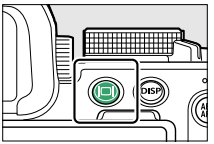


アイセンサーとモニターモード切り換えボタン

ファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応して、画像モニターの表示が消えてファインダー表示に切り替わります。指などを近づけてもアイセンサーが反応します。



- ファインダー表示時は、メニューや再生画面もファインダーで見ることができます。
- ファインダーと画像モニターの表示設定を切り換えることができます。



- |◻|ボタンを押すたびに、次のようにモニターモードが切り替わります。

[**自動表示切り換え**]：アイセンサーにより、ファインダーの表示と画像モニターの表示が自動的に切り替わります。

[**ファインダーのみ**]：画像モニターには何も表示されなくなります。メニューの設定や撮影した画像の確認などもすべてファインダーで行ってください。

- 静止画モードの場合、カメラの電源をONにしたときやシャッターボタンを半押ししたときは、ファインダーに顔を近づけなくても数秒間ファインダーが点灯します。

[**モニターのみ**]：画像モニターのみを使用して撮影や設定をする場合に選びます。ファインダーに顔を近づけてもファインダーには何も表示されません。

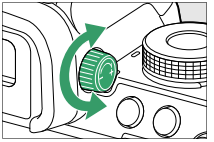
［**ファインダー優先 1**］：ファインダーに顔を近づけるとファインダーに撮影画面が表示されますが、顔を離しても画像モニターには撮影画面は表示されません。動画モードの場合、［**自動表示切り換え**］と同じ動作になります。

［**ファインダー優先 2**］：静止画モードの場合、ファインダーに顔を近づけたときに加え、カメラの電源をONにしたときやシャッターボタンを半押ししたときは、ファインダーに顔を近づけなくても数秒間ファインダーが点灯します。動画モードの場合、［**自動表示切り換え**］と同じ動作になります。

- 画像モニターに再生画面やメニューを表示しているときにファインダーに顔を近づけると、ファインダーに撮影画面が表示されます。

視度調節ダイヤルについて

・視度調節ダイヤルを回すと、ファインダー内がはっきり見えるように調節できます。



・爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。

ヒント: 長時間ファインダー撮影をする場合

カスタムメニューd10［**ビューモード設定（静止画Lv）**］を［**見やすさを重視**］に設定すると、撮影画面が見やすい色味や明るさで表示されます。

ヒント: 使用するモニターモードを限定する

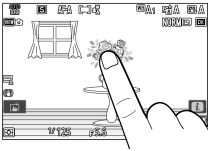
セットアップメニュー［**モニターモードの限定**］で表示設定を限定できます。

タッチパネル

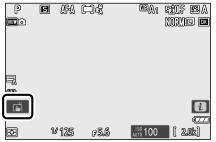
このカメラの画像モニターはタッチパネルになっており、指で画面に触れて操作できます。

ピントを合わせる/シャッターをきる

- 画像モニターをタッチすると、その場所にピントを合わせます（タッチAF）。

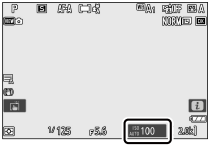


- 静止画モードの場合は画像モニターをタッチして指を放すと、シャッターがきれます（タッチシャッター）。
- をタッチすると、タッチAFやタッチシャッターの設定を変更できます（122）。

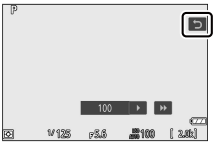


設定を変更する

- 枠が表示されたアイコンをタッチすると、設定を変更できます。



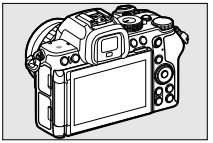
・アイコンやスライドバーをタッチして項目や数値を選びます。
・↩をタッチするかⓄKボタンを押すと設定を決定して前の画面に戻ります。



ヒント: タッチFnについて

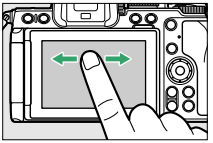
カスタムメニューf4［**タッチFn**］>［**タッチFnの操作**］を［**ON**］に設定すると、ファインダーを見ながら撮影している場合に、画像モニターをタッチしてカメラの設定が変更できます。

・画像モニターを外側にしてカメラ本体に収納した状態のみ有効です。

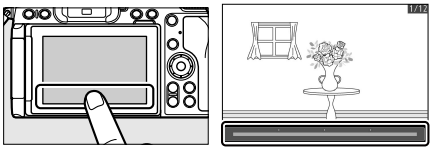


再生画面を切り換える

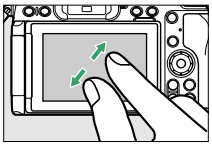
・1コマ表示時に左右にフリックすると、前後の画像を表示します。



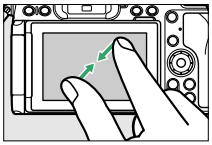
・1コマ表示時に画面下部をタッチすると、フレームアドバンスバーが表示されます。フレームアドバンスバーに触れたまま指を左右にスライドすると、前後の画像を高速で切り換えられます。



・1コマ表示時に広げる操作をするか、画像モニターを素早く2回タッチすると、拡大表示します。拡大表示した状態でさらに広げる操作をすると拡大率が上がり、つまむ操作をすると拡大率が下がります。



・拡大表示時に画像モニターでスライド操作をすると、見たい部分に移動できます。
・拡大表示時に画像モニターを素早く2回タッチすると、拡大表示を解除します。
・1コマ表示時につまむ操作をすると、サムネイル表示します。サムネイル表示で広げる/つまむ操作をすると、表示コマ数（4コマ/9コマ/72コマ）が切り替わります。



動画を再生する

・🎥が表示されている画像で、操作ガイドをタッチすると再生します。

・再生中に↩をタッチすると、再生を終了して1コマ表示モードに戻ります。

iメニューを設定する

・撮影時に画像モニターのiをタッチするとiメニュー（🕮71）が表示されます。

・設定したい項目をタッチすると、設定項目の内容を変更できます。

・iメニューに表示される項目はカスタマイズできます（🕮75）。

文字を入力する

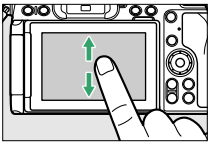
・文字入力画面が表示された場合、キーボードエリアで文字をタッチして入力できます。

1 入力エリア
2 キーボードエリア
3 文字種変更

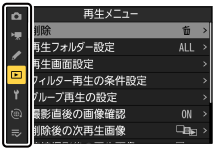
・入力エリアをタッチするか◀▶をタッチすると、文字の入力位置を移動できます。
・文字種変更アイコンをタッチすると、アルファベット大文字/小文字/記号を切り換えられます。

メニューを設定する

・上下にスライドすると、メニュー画面がスクロールします。

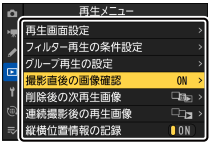


・画面左端のアイコンをタッチすると、選んだアイコンのメニュー画面が表示されます。

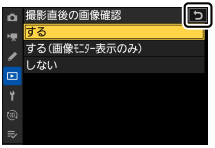


タッチパネル

・メニュー項目をタッチすると、設定項目の内容を変更できます。アイコンやスライドバーをタッチして項目や数値を選びます。



・↩をタッチすると、設定を変更しないで前の画面に戻ります。



タッチパネルについてのご注意

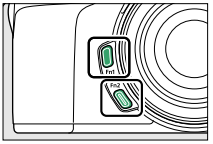
・このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などをはめたままタッチしたりすると反応しないことがあります。
・先のとがった硬い物で押さないでください。
・タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
・市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。
・タッチパネルに指が触れたまま、別の指でタッチすると、適切に動作しないことがあります。

ヒント: タッチ操作の有効/無効について

・セットアップメニュー［**タッチ操作**］で、タッチ操作の有効/無効を切り換えられます。
・セットアップメニュー［**タッチ操作**］を［**無効**］に設定していても、カスタムメニューf4［**タッチFn**］>［**タッチFnの操作**］を［**ON**］に設定すればタッチFnの機能を使用できます。

Fn1/Fn2ボタン

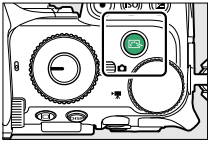
撮影時に**Fn1**ボタンまたは**Fn2**ボタンを押すと、よく使う機能を素早く呼び出せます。

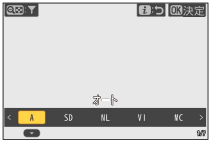


- **Fn1**ボタンの初期設定はホワイトバランス（🕮159）、**Fn2**ボタンの初期設定はフォーカスモード/AFエリアモード（🕮110）です。
- **Fn1**ボタンまたは**Fn2**ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、割り当てた機能の設定を変更できます。項目によってはメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルで設定する場合があります。
- 機能の割り当てはカスタムメニューで変更できます。静止画撮影時（🕮567）、動画撮影時（🕮599）、再生時（🕮584）の様々な機能を割り当てることができます。

（ピクチャーコントロール）ボタン

撮影時に（ピクチャーコントロール）ボタンを押すと、ピクチャーコントロール（🕮180）の設定画面が表示されます。



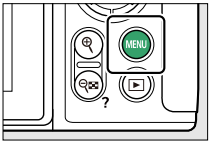


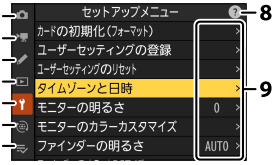
- 静止画モードで静止画撮影メニュー［**階調モード**］が［**SDR**］の場合、静止画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］の設定項目が表示されます。
- 静止画モードで静止画撮影メニュー［**階調モード**］が［**HLG**］の場合、静止画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール（HLG）**］の設定項目が表示されます。
- 動画モードの場合、動画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］の設定項目が表示されます。

メニューの使い方

MENUボタンから設定を選ぶ

MENUボタンを押すと、画像モニターにメニュー画面を表示します。



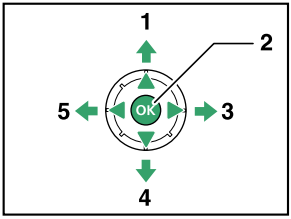


1	静止画撮影メニュー（📖431）
2	動画撮影メニュー（📖514）
3	カスタムメニュー（📖529）
4	再生メニュー（📖618）
5	セットアップメニュー（📖626）
6	ネットワークメニュー（📖662）
7	マイメニュー/最近設定した項目※（📖689）
8	ヘルプあり表示（📖69）
9	各項目の現在の設定

※　どちらかに設定できます。初期設定は［**マイメニュー**］です。

メニュー項目の設定

メニューの操作には、マルチセレクターとⓀボタンを使います。



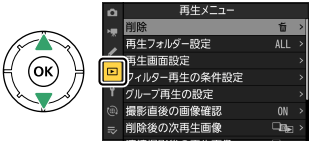
1	上に移動	4	下に移動
2	決定する	5	前の画面に戻る（左を選択または取り消し）
3	次の画面に進む（右を選択または決定）		

1 メニューのタブを選ぶ

◀を押して、タブの選択エリアにカーソルを移動させます。

2 メニューを切り換える

▲▼を押して、メニューのタブを切り換えます。



MENUボタンから設定を選ぶ

3 **選んだメニューに入る**

▶を押して、選んだメニューに入ります。

4 **メニュー項目を選ぶ**

▲▼で項目を選びます。

5 **設定内容を表示する**

▶を押して設定内容を表示します。

MENUボタンから設定を選ぶ

6 設定内容を選ぶ

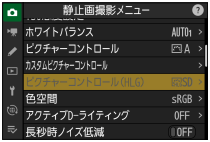
㊚㊦で設定内容を選びます。

7 決定する

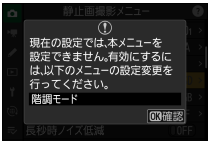
- ㊙ボタンを押して決定します。
- メニュー操作をキャンセル（中止）するには、**MENU**ボタンを押してください。
- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

グレーで表示されるメニューについて

・カメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されます。

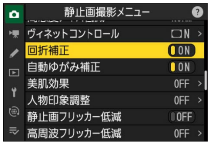


・メニューによってはⓄKボタンを押すとグレー表示されている原因が表示されます。



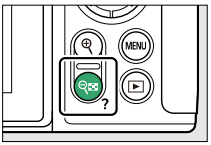
ヒント: 選択肢がON/OFF のみの項目の場合

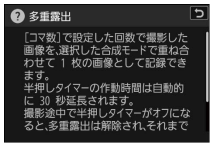
設定できる選択肢が［**ON**］または［**OFF**］のみの場合、Ⓚボタンまたはマルチセレクターの▶を押すか、メニュー項目をタッチして［**ON**］と［**OFF**］を切り換えられます。



ヒント: ⍰（ヘルプあり表示）

- ヘルプがある場合に?（**?**）ボタンを押すと、その項目のヘルプ（説明）を表示します。
- 説明が2ページ以上ある場合は、マルチセレクターの▼を押して、次のページを表示してください。
- もう一度?（**?**）ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。





ヒント: タッチパネルでの設定について

メニューはタッチパネルで設定することもできます（🕮60）。

ヒント: 入力画面の操作方法について

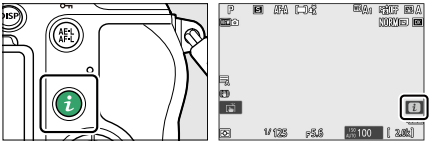
画像のファイル名など、一部のメニューでは文字を入力して設定を変更することがあります。文字を入力するときに表示される画面での操作方法は次の通りです。

1 入力エリア
2 キーボードエリア
3 文字種変更

- 入力エリアに新しい文字を入力する場合は、マルチセレクターを操作して入力するキーボードエリアの文字上にカーソルを移動させ、㊎ボタンを押します。
- 入力エリアのカーソルを左右に移動するには、コマンドダイヤルを回します。
- マルチセレクターで文字種変更アイコンにカーソルを移動させて㊎ボタンを押すと、アルファベット大文字/小文字/記号を切り換えられます。文字種変更アイコンは、項目によって表示されないこともあります。
- 入力エリアからあふれた文字は削除されます。
- 1文字削除するには、削除する文字の上にカーソルを移動させ、🗑ボタンを押します。
- 内容を確定し、文字入力を終了する場合は、🔍ボタンを押します。
- 文字の入力をキャンセルするには、**MENU**ボタンを押します。

iボタン（iメニュー）から設定を選ぶ

iボタンを押すか画像モニターのiをタッチすると、iメニューが表示されます。



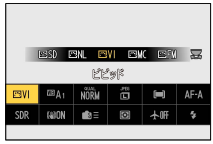
iメニューについて

iメニューでは、このカメラの主な機能の設定を一覧し、設定内容を変更することができます。

- 静止画モード時、動画モード時、および再生時のそれぞれで表示される内容が異なります。

- 静止画モード時または動画モード時のiメニューに表示する項目は、カスタムメニューf1またはg1［**iメニューのカスタマイズ**］で変更できます（🕮75）。
- 項目を選んでⓀボタンを押すかタッチすると、設定内容の確認やマルチセレクターによる設定変更ができます。
- コマンドダイヤルの操作ガイドが表示される項目の場合、iメニュー上で項目にカーソルを置いてコマンドダイヤルを回しても設定を変更できま

す。項目によってはメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルで設定する場合があります。



☑ 選択項目について

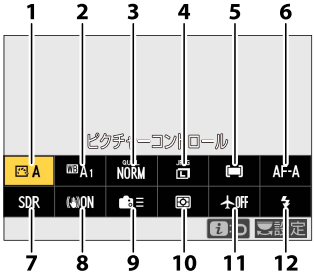
カメラの状態によって、設定できない項目があります。この場合、設定できない項目のアイコンがグレーで表示されます。

ヒント: *i*メニューの縦位置表示について

*i*メニュー画面でカメラを縦位置に構えると、*i*メニューの表示も縦位置表示になります。動画モードでは再生時の*i*メニュー画面のみ縦位置表示になります。

静止画モードのiメニュー

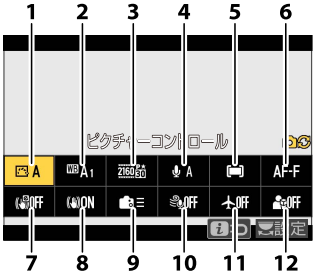
静止画モード時にiボタンを押すと次の項目が表示されます。設定したい項目をマルチセレクターで選んでⓄⓀボタンを押すと、選択項目が表示され、設定を変更できます。



1	ピクチャーコントロール（🕮180）
2	ホワイトバランス（🕮159）
3	画質モード（🕮107）
4	画像サイズ（🕮108）
5	AFエリアモード/被写体検出（🕮112、🕮116）
6	フォーカスモード（🕮110）
7	階調モード（🕮437）
8	手ブレ補正（🕮457）
9	カスタムボタンの機能（撮影）（🕮567）
10	測光モード（🕮452）
11	機内モード（🕮663）
12	フラッシュモード（🕮415）

動画モードのiメニュー

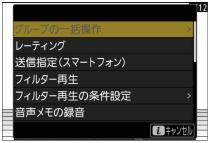
動画モード時にiボタンを押すと次の項目が表示されます。設定したい項目をマルチセレクターで選んでOKボタンを押すと、選択項目が表示され、設定を変更できます。



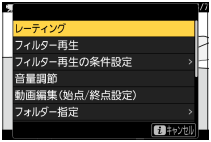
1	ピクチャーコントロール（📖180）
2	ホワイトバランス（📖159）
3	画像サイズ/フレームレート（📖201）
4	マイク感度（📖524）
5	AFエリアモード/被写体検出（📖112、📖116）
6	フォーカスモード（📖110）
7	電子手ブレ補正（📖524）
8	手ブレ補正（📖523）
9	カスタムボタンの機能（📖599）
10	風切り音低減（📖526）
11	機内モード（📖663）
12	商品レビューモード（📖213）

再生時のiメニュー

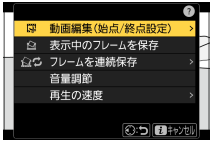
再生画面や動画再生時などにiボタンを押すと、状況に応じたiメニューが表示されます。



静止画選択時



動画選択

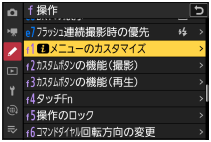


動画再生一時停止時

iメニュー項目のカスタマイズ

撮影時のiメニューで表示される項目は、カスタムメニューf1またはg1［**iメニューのカスタマイズ**］で変更できます。

1　カスタムメニューf1またはg1［iメニューのカスタマイズ］を選んでOKボタンを押す

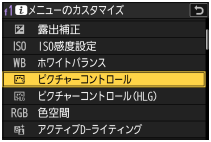


メニューの選び方は「MENUボタンから設定を選ぶ」（🕮64）をご覧ください。

2 **機能を割り当てたい場所を選んで⊛ボタンを押す**

割り当てられる機能の一覧が表示されます。

3 **割り当てたい機能を選んで⊛ボタンを押す**



・新しい機能が割り当てられ、手順2の画面に戻ります。
・他の場所にも機能を割り当てたい場合は手順2、3を繰り返します。

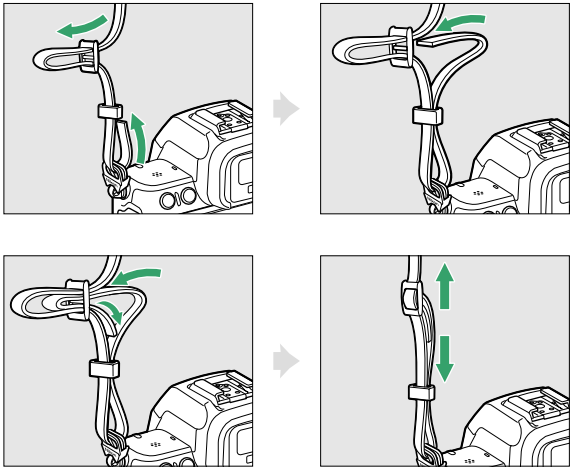
4 **MENUボタンを押す**

機能の割り当てが決定してメニュー画面に戻ります。

準備をする

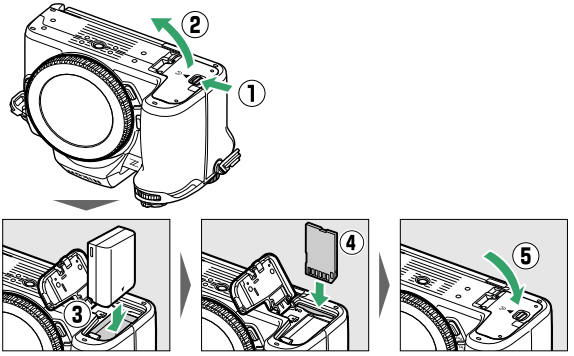
ストラップを取り付ける

ストラップの取り付け手順は次の通りです。



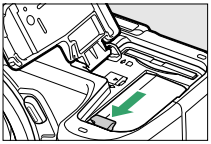
バッテリーとメモリーカードを入れる

- バッテリーやメモリーカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- オレンジ色のバッテリーロックをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで入れると、バッテリーロックがバッテリーに掛かって固定されます。
- メモリーカードは正しい向きでカチッと音がするまで、まっすぐ挿入してください。



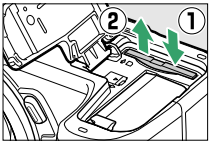
☑ バッテリーを取り出すには

電源をOFFにしてからバッテリー/メモリーカードカバーを開けてください。バッテリーロックを矢印の方向に押すと、バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いて取り出してください。



☑ メモリーカードを取り出すには

メモリーカードアクセスランプの消灯を確認し、電源をOFFにしてからバッテリー/メモリーカードカバーを開けてください。メモリーカードを奥に押し込んで放すと(①)、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください(②)。



バッテリー残量について

・カメラの電源をONにすると、撮影画面でバッテリーの残量を確認できます。

画像モニター

ファインダー

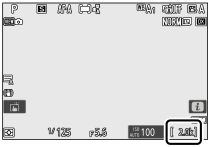
・バッテリー残量に応じて、、、のように表示されます。になったら残量が残りわずかのため、予備のバッテリーを準備するか、充電してください。
・［**撮影できません。バッテリーを交換してください。**］と警告メッセージが表示された場合は、バッテリーを交換するか、充電してください。

半押しタイマーについて

このカメラには、バッテリーの消耗を抑えるための「半押しタイマー」という機能があります。何も操作が行われないまま約30秒経過すると半押しタイマーがオフになり、画像モニターとファインダーの表示が消灯します。消灯する数秒前には画像モニターとファインダーの表示が暗くなります。シャッターボタンを半押しすると、元の状態に戻ります。半押しタイマーの作動時間は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］で変更できます。

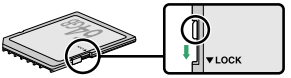
記録可能コマ数について

・カメラの電源をONにすると、撮影画面でメモリーカードの記録可能コマ数（これから撮影できる枚数）を確認できます。
・記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは、1000を意味する「k」マークが点灯します。たとえば「[1.5] k」と表示されている場合、1500枚以上の撮影が可能です。



ヒント: SDカードの書き込み禁止スイッチについて

・SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「LOCK」の位置にすると、データの書き込みや削除が禁止され、カード内の画像を保護できます。



・「LOCK」したSDカードをカメラに入れると、撮影画面に［**---**］マークと［**Card**］の警告表示が表示されます。

・「LOCK」したSDカードをカメラに入れてシャッターをきろうとすると、警告メッセージが表示され、撮影できません。撮影時や、画像を削除するときは「LOCK」を解除してください。

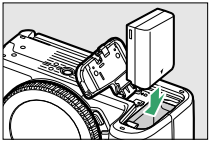
バッテリーを充電する

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25aは、お使いになる前にフル充電してください。カメラにバッテリーを入れた状態で、付属のUSBケーブルを使用してカメラを別売のACアダプターEH-8Pに接続すると充電ができます。

バッテリーの使用上のご注意

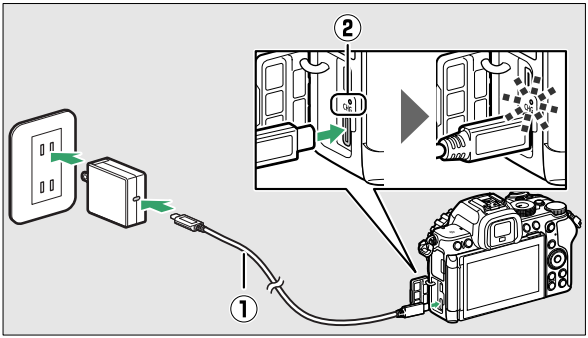
お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」（🕮29）、「カメラとバッテリーの使用上のご注意」（🕮764）をお読みになり、記載事項をお守りください。

1 **EN-EL25aをカメラに入れる（🕮78）**



2 付属のUSBケーブル（①）をカメラに接続し、カメラの電源がOFFの状態で別売のACアダプターEH-8Pにつなぐ

ACアダプターの電源プラグを家庭用コンセントにつないでください。カメラの電源がOFFの間、充電を行います。ケーブルやプラグはまっすぐに抜き差ししてください。



- 充電中はチャージLED（②）がオレンジ色で点灯します。充電が終わると、チャージLEDが消灯します。
- カメラの電源がONの場合も半押しタイマーがオフの間は充電を行います。
- フル充電するには約1時間40分かかります（残量のないバッテリーの場合）。

充電時のご注意

- カメラが高温になった場合など、バッテリーの充電エラーが発生したときはチャージLEDが30秒間素早く点滅してから消灯します。
- チャージLEDが消灯したらカメラの電源をON、または半押しタイマーをオンにして、バッテリーが充分に充電されているかどうかを確認することをおすすめします。

ヒント: カメラに給電する

- セットアップメニュー［**USB給電**］が［**ON**］の場合、カメラにEH-8Pを接続してカメラの電源をONにすると給電を行います。詳しくは「「給電」と「充電」について」（🕮652）をご覧ください。
- 給電を行うには、カメラにバッテリーが挿入されている必要があります。
- 給電中はバッテリーの充電は行われません。

ヒント: USB Type-C端子を備え、USB PD規格準拠の市販のACアダプターを使用して充電する

- 市販のACアダプターを使用して充電することもできます。USB Type-C端子を備え、USB PD規格準拠のACアダプターをご使用ください。
- 27W（9V/3A）以上の出力に対応したACアダプターをご使用ください。
- カメラとの接続には、両端がType-CのUSBケーブルをご使用ください。
- すべての市販のACアダプターやUSBケーブルで充電できることを保証するものではありません。

ヒント: パソコンと接続して充電または給電する

USBケーブルをパソコンに接続して充電または給電することもできます。

- 充電および給電するときは、パソコンの電源をオンにしてください。充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると充電できません。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除してください。
- 充電するときは、USBハブやキーボードの端子を使用しないでください。カメラとパソコンを直接接続してください。
- パソコンのUSB端子の規格や種類によっては、充電時間が長くなる場合があります。
- パソコンの機種や仕様によっては、カメラと接続しても充電および給電ができない場合があります。

ヒント: USB Type-C端子を備え、USB PD規格準拠の外部充電池（市販のモバイルバッテリー）を使用して充電する

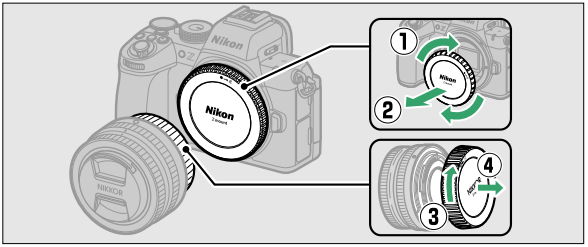
- 市販のモバイルバッテリーを使用してバッテリーを充電することや、カメラに給電することもできます。USB Type-C端子を備え、USB PD規格準拠のモバイルバッテリーをご使用ください。
- 27W（9V/3A）以上の出力に対応したモバイルバッテリーの使用をおすすめします。
- カメラとの接続には、両端がType-CのUSBケーブルをご使用ください。
- すべての市販のモバイルバッテリーやUSBケーブルで、充電や給電ができることを保証するものではありません。

ヒント: 別売のバッテリーチャージャーMH-32を使用して充電する

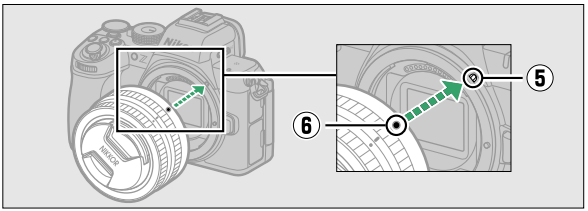
付属のLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25aは、別売のバッテリーチャージャーMH-32を使用して充電することもできます。

レンズを取り付ける

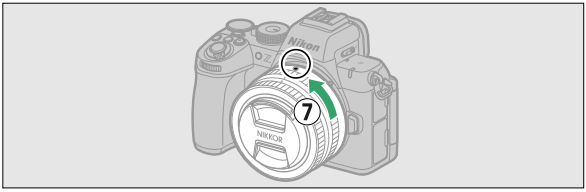
- このカメラにはZマウントのレンズが使用できます。レンズの詳しい使い方につきましては、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできる各レンズの説明書をご覧ください。
- 本書では、主にNIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VRのレンズを使用して説明しています。
- ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。
- レンズをカメラに取り付けるときは、必ずカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
  - カメラのボディーキャップを取り外し（①、②）、レンズのリアキャップを取り外します（③、④）。



  - カメラの指標（⑤）とレンズの指標（⑥）を合わせます。撮像素子やレンズ信号接点に指などが触れないようにご注意ください。



- カチッと音がするまで矢印の方向にレンズを回します（⑦）。



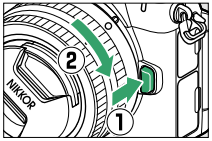
- 撮影する前に、レンズキャップを取り外してください。

Fマウントレンズをご使用の場合

- Fマウントのレンズをご使用になる場合は、必ず別売のマウントアダプターFTZ II/FTZを装着してから取り付けてください（□752）。
- Fマウントレンズをカメラに直接取り付けようとすると、撮像素子やレンズが破損する恐れがありますので、絶対にしないでください。

レンズを取り外すには

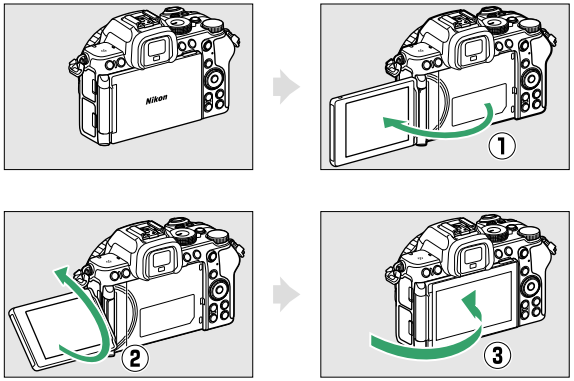
- カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押しながら（①）、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回してから（②）、取り外してください。



- レンズを取り外した後は、カメラのボディーキャップとレンズのリアキャップをそれぞれ取り付けてください。

画像モニターを開く

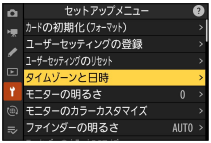
画像モニターは、無理な力を加えずにゆっくりと回してください。



日付と時刻を設定する

カメラの電源をONにして、カメラの内蔵時計を合わせます。画像に正しい日時を記録するために、お使いになる前に次の手順で場所と日時を設定してください。

1 MENUボタンを押し、セットアップメニュー［タイムゾーンと日時］を選んでマルチセレクターの▶を押す



メニューの操作方法については、「メニュー項目の設定」（🕮65）をご覧ください。

2 現在地を設定する

- ［**タイムゾーンと日時**］画面で［**タイムゾーン**］を選びます。
- 選択中のタイムゾーンに含まれる主な都市名や、UTC（協定世界時）との時差が表示されます。
- ［**タイムゾーン**］画面で現在地のタイムゾーンを選んでOKボタンを押してください。

3 夏時間を設定する

- [**タイムゾーンと日時**] 画面で [**夏時間の設定**] を選びます。
- 現在地で夏時間（サマータイム）制を実施しているときは、[**ON**] に、実施していないときは [**OFF**] にしてください。
- [**ON**] にすると、[**OFF**] のときよりも時刻が1時間進みます。

4 日付と時刻を合わせる

- [**タイムゾーンと日時**] 画面で [**日時の設定**] を選びます。
- [**日時の設定**] 画面でマルチセレクターを操作して現在地の日時に合わせてから、Ⓚボタンを押してください。

5 日付の表示順を選ぶ

- [**タイムゾーンと日時**] 画面で [**日時の表示順**] を選びます。
- 再生画面に表示する日付の年、月、日の表示順を選んでⓀボタンを押します。

6 メニュー操作を終了する

シャッターボタンを半押しする（軽く押す）と、メニュー操作を終了して、撮影できる状態になります。

✓ ⏲マークについて

撮影画面で⏲が点滅している場合、カメラの内蔵時計が初期化されています。その場合は撮影日時が正しく記録されないため、セットアップメニュー［**タイムゾーンと日時**］の［**日時の設定**］で日時設定をしてください。カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリーを入れると、時計用電池が充電されます。フル充電するには約2日間かかります。充電すると、約1カ月の間時計を動かすことができます。

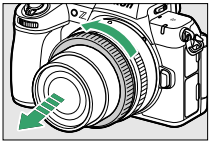
撮影と再生の基本操作

静止画を撮影する（AUTOオート）

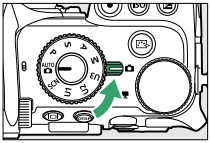
撮影モードAUTO（オート）を使うと、カメラまかせの簡単な操作で静止画撮影を楽しむことができます。

沈胴式のレンズをお使いの場合

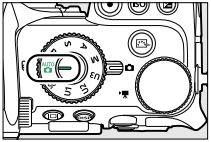
沈胴機構を採用しているレンズをご使用の場合、撮影するにはレンズを繰り出す必要があります。ズームリングを矢印の方向にカチッと音がするまで回すと、レンズが繰り出します。



1 静止画/動画セレクターをに合わせて静止画モードにする



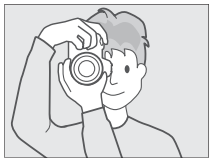
2 撮影モードダイヤルを回してAUTO（AUTO）に合わせる



3 **カメラを構える**

脇を軽く締め、右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。

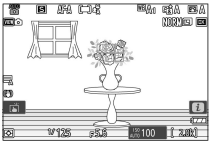
横位置



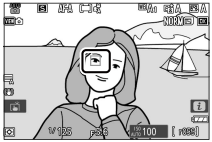
縦位置

4 **構図を決める**

被写体を撮影画面内に配置します。

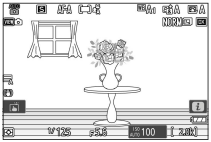


・カメラが人物の顔を検出した場合、顔に白色の枠（フォーカスポイント）が表示されます。瞳を検出できるときは、左右どちらかの瞳にフォーカスポイントが表示されます。

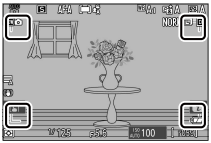


5 シャッターボタンを軽く押して（半押しして）、ピントを合わせる

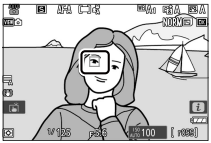
・ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。
・暗い場所などでは、AF補助光が光ることがあります。



・ピントが合わないと、画面の四隅で非合焦表示が赤く点滅します。



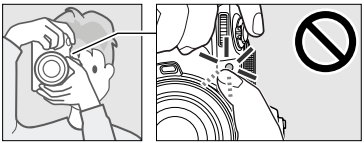
・カメラが人物の顔または瞳を検出している場合、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。ピントが合わないと、フォーカスポイントが赤色で点滅します。



6 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）撮影する

AF補助光について

AF補助光が照射される場合、手などでAF補助光を遮らないようにご注意ください。

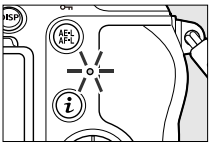


カメラで静止画を撮影するときのご注意

- 撮影画面の表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した静止画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
  - 動きのある被写体が歪む（電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む／カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む）
  - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
  - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
- 撮影画面を🔍ボタンで拡大表示した場合、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）、色の変化が発生しやすくなります。
- 撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。

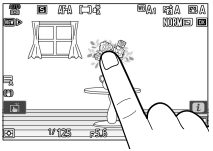
メモリーカードアクセスランプについて

メモリーカードアクセスランプが点灯している間は、静止画を記録しています。**メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。**



ヒント: タッチシャッターについて

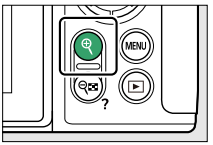
画像モニターをタッチしても撮影できます。タッチした位置でピント合わせを行い、指を放すとシャッターがきれます（📖122）。

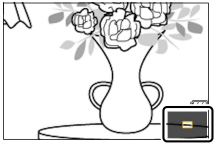


ヒント: 静止画モード時の拡大表示

静止画モード時に🔍ボタンを押すと、拡大表示できます（最大約31倍）。

- 🔍ボタンを押すごとに拡大率が上がり、🔍（**?**）ボタンを押すごとに拡大率が下がります。
- 拡大表示時は、画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナビゲーションウィンドウが表示されます。
- 拡大表示時は、マルチセレクターを操作すると、見たい部分に移動できます。

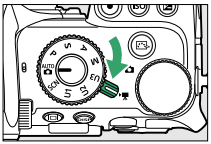




動画を撮影する（AUTOオート）

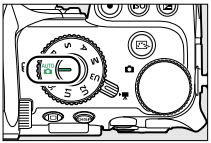
撮影モードAUTO（オート）を使うと、カメラまかせの簡単な操作で動画撮影を楽しむことができます。

1 **静止画/動画セレクターを▶に合わせて動画モードにする**



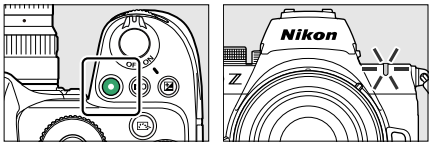
動画モード時は内蔵フラッシュおよび別売スピードライトは発光しません。

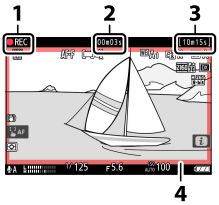
2 **撮影モードダイヤルを回してAUTO（AUTO）に合わせる**



3 動画撮影ボタンを押して、動画の撮影を始める

・動画記録中は、RECランプが点灯し、録画中マークが表示され、撮影画面の周囲に赤枠が表示されます。メモリーカードに撮影できる残り時間の目安も撮影画面で確認できます。





1	録画中マーク
2	動画記録時間（記録経過時間）
3	動画記録残り時間
4	録画中赤枠

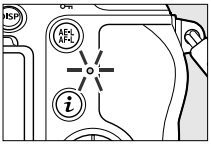
・内蔵マイクで音声を記録します。動画記録中は、マイクを指でふさがないようにしてください。

・画像モニターをタッチすると、タッチした位置の被写体にピントを合わせます。

4 もう一度動画撮影ボタンを押して、動画の撮影を終了する

メモリーカードアクセスランプについて

メモリーカードアクセスランプが点灯している間は、動画を記録しています。**メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。**



（動画記録禁止）マークについて

マークが表示されているときは、動画の撮影ができません。

RECランプについて

・ 動画記録が中断するおそれがある場合、次のようにRECランプが点滅します。

状態	内容
ゆっくり点滅	動画撮影中にメモリーカードに撮影できる残り時間がわずかになったとき
速く2回点滅（繰り返し）	動画モード中にバッテリー残量がわずかになったとき
速く4回点滅（繰り返し）	動画モード中にカメラ内部の温度が上昇したとき

・ RECランプの明るさは、セットアップメニュー［**RECランプの明るさ**］で変更できます。RECランプの光が動画に写り込むことを防ぐには、［**動画撮影中**］を［**オフ**］に設定してください。

動画記録時のご注意

・ 次のような場合は、動画記録は自動的に終了します。
  - 最長記録時間に達したとき
  - バッテリー残量がなくなったとき
  - 撮影モードを変更したとき
  - 静止画/動画セレクターを切り換えたとき
  - レンズを取り外したとき
  - カメラ内部の温度が上昇したとき
・ 次のような場合は、動作音が録音されることがあります。
  - オートフォーカス作動中

- 手ブレ補正機能作動中
- パワー絞り作動中
- パワーズーム作動中

温度上昇警告が表示されたときは

動画記録中にカメラの内部が高温になると、撮影画面に温度上昇警告（🔥）が表示される場合があります。

- 温度上昇警告（🔥）が表示されたときは、カメラ本体やバッテリー、メモリーカードが高温になっている場合がありますのでご注意ください。
- カメラが高温になった場合は、メモリーカードを取り出そうとせず、温度が下がって表示が消えるまでお待ちください。すぐに取り出そうとすると、やけどの原因となったり、落下させて破損させたりするおそれがあります。

カメラで動画を撮影するときのご注意

- 撮影画面の表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
  - 動きのある被写体が歪む（電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む／カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む）
  - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
  - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
  - 動画記録時のパワー絞り作動中、画面にちらつきが発生する
- 撮影画面を🔍ボタンで拡大表示した場合、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）、色の変化が発生しやすくなります。
- 撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。

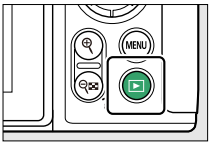
ヒント: 動画モードの拡大表示

動画モード時も🔍ボタンを押して拡大表示できます（📖97）。

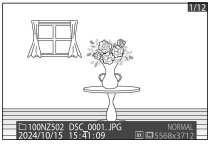
- 動画記録中は🔍ボタンを押すと50%、100%（等倍）、200%、400%に拡大して表示します。🔍（?）ボタンを押すと拡大率が下がります。ただし、動画の画像サイズを1920×1080 に設定している場合、50%の拡大表示はできません。
- 動画再生中は、動画を一時停止すると拡大表示できます。

撮影した画像を確認する

▶ボタンを押すと、撮影した静止画と動画を画像モニターまたはファインダーに再生して確認できます。



・マルチセレクターの◀▶を押すか画像モニターを左右にフリックすると画像を切り換えられます。



・動画には画面の左上に🎥マークが表示されています。⊛ボタンを押すか、または画面上の▶アイコンをタッチすると動画が再生されます。

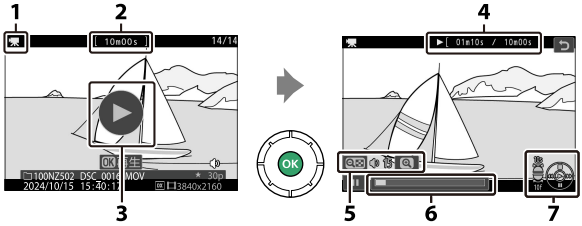
・撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

動画の再生

動画再生時の画面表示と操作方法は、次の通りです。

■■動画再生時の画面表示

動画の再生画面では次のような情報が表示され、記録時間や再生時間を確認できます。プログレスバーで再生中の位置の目安を確認することもできます。



1	🎥マーク
2	記録時間
3	▶アイコン
4	再生時間/記録時間
5	音量設定
6	プログレスバー
7	操作ガイド

■■動画再生中の操作方法

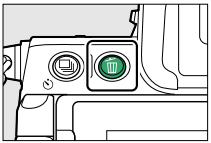
動画の再生中は、次の操作ができます。

操作	内容
一時停止する	マルチセレクターの⍢を押すと一時停止します。
再生を再開する	一時停止中または早戻し/早送り中にⓀボタンを押すと動画再生を再開します。
早戻しする/早送りする	動画の再生中に◀を押すと早戻し、▶を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、早戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。
スロー再生する	一時停止中に⍢を押すとスロー再生します。
コマ戻しする/コマ送りする	・一時停止中に◀▶を押すと、コマ戻し/コマ送りします。 ・◀▶を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。

操作	内容
10秒進める/10秒戻す	サブコマンドダイヤルを回すと、10秒前または後に移動します。
10フレーム進める/10フレーム戻す	メインコマンドダイヤルを回すと、10フレーム前または後に移動します。
先頭フレームに移動する/最終フレームに移動する	・◀を押し続けると、先頭フレームに移動し、▶を押し続けると、最終フレームに移動します。 ・先頭フレームには⏵アイコンが、最終フレームには⏭アイコンが、画面右上に表示されます。
拡大表示する	一時停止中にQボタンを押すと拡大表示します。
音量を調節する	Qボタンを押すと音量が大きくなり、W（?）ボタンを押すと小さくなります。
動画を編集する	一時停止中にiボタンを押すと、動画再生のiメニュー画面を表示します。
再生終了	▲を押すと1コマ表示モードに戻ります。

画像の削除

🗑ボタンを押すと、表示中の画像を削除できます。**削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。**



・再生画面で削除したい画像を表示して🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度🗑ボタンを押すと、表示中の画像を削除して、再生画面に戻ります。

・削除確認画面で▶ボタンを押すと、画像の削除をキャンセルします。

ヒント: 再生メニュー［削除］

再生メニューの［**削除**］では、次の操作ができます。

・複数の画像を選んで削除
・レーティングで🗑（削除候補）に設定した全ての画像を削除
・同じ日付の画像をまとめて削除
・再生フォルダー内の全画像を一括して削除

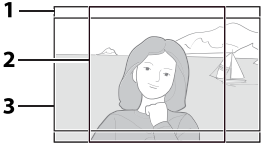
撮影機能の設定

撮像範囲/画質モード/画像サイズ

撮像範囲を変更する

静止画撮影メニュー［**撮像範囲設定**］で、撮像範囲を切り換えられます。設定できる撮像範囲は次の通りです。

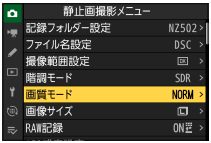
項目		内容
DX	［**DX（24×16）**］	23.5×15.7mmの撮像範囲で画像を記録します（DXフォーマット）。35mm判換算で、レンズに表記されている焦点距離の約1.5倍の焦点距離を持つレンズに相当する画角になります。
1:1	［**1:1（16×16）**］	アスペクト比（縦横比）が1：1の画像を記録します。
16:9	［**16:9（24×14）**］	アスペクト比（縦横比）が16：9の画像を記録します。



1 DX（24×16）
2 1:1（16×16）
3 16:9（24×14）

画質モードを変更する

静止画撮影メニュー［**画質モード**］で画像を記録する際の画質モードを選びます。



項目	内容
［**RAW+FINE**］ ［**RAW+NORMAL**］ ［**RAW+BASIC**］	RAW画像とJPEG画像またはRAW画像とHEIF画像を同時に記録します。 ・静止画撮影メニュー［**階調モード**］を［**SDR**］に設定すると、RAWとJPEGを同時記録します。静止画撮影メニュー［**階調モード**］を［**HLG**］に設定すると、RAWとHEIFを同時記録します。 ・JPEG画像またはHEIF画像の画質は高い順に「FINE」、「NORMAL」、「BASIC」です。 ・RAWとJPEGまたはRAWとHEIFを同時記録した場合、カメラではJPEGまたはHEIFのみ再生されます。 ・RAWと同時記録されたJPEGまたはHEIFをカメラ上で削除すると、RAWも削除されます。
［**RAW**］	RAW画像を記録します。
［**FINE**］ ［**NORMAL**］ ［**BASIC**］	JPEG画像またはHEIF画像を記録します。画質は高い順に［**FINE**］、［**NORMAL**］、［**BASIC**］です。 ・静止画撮影メニュー［**階調モード**］を［**SDR**］に設定すると、JPEGを記録します。静止画撮影メニュー［**階調モード**］を［**HLG**］に設定すると、HEIFを記録します。

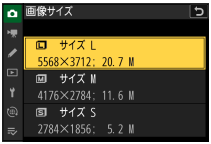
ヒント: RAW画像について

- ファイルの拡張子はNEFになります。
- RAW画像からJPEG画像などの汎用性の高い画像ファイルフォーマットに変換することをRAW現像と呼びます。RAW現像の際に、露出補正やホワイトバランス、ピクチャーコントロールなどの設定を調整できます。
- RAW現像では、RAW画像そのものは加工されないため、いろいろな設定で繰り返しRAW現像を行っても、RAW画像そのものの品質は維持されます。
- RAW現像は、再生時の**i**メニュー［**画像編集**］>［**RAW現像（表示画像）**］または［**RAW現像（複数画像）**］で行うか、パソコンでニコンのソフトウェアNX Studioを使用すると行えます。NX Studioはニコンダウンロードセンターから無料でダウンロードできます。

画像サイズを変更する

■■ 画像サイズ

静止画撮影メニュー［**画像サイズ**］で、記録する画像の画像サイズを選びます。RAW以外の画像サイズを［**サイズL**］、［**サイズM**］、［**サイズS**］のいずれかに設定できます。



- RAW画像の画像サイズは［**サイズL**］に固定されます。

画像のピクセル数は、撮像範囲（🕮106）との組み合わせで変わります。

撮像範囲	画像サイズ	プリント時の大きさ（出力解像度300dpiの場合）
［**DX（24×16）**］	L（5568×3712ピクセル）	約47.1×31.4 cm
	M（4176×2784ピクセル）	約35.4×23.6 cm
	S（2784×1856ピクセル）	約23.6×15.7 cm
［**1:1（16×16）**］	L（3712×3712ピクセル）	約31.4×31.4 cm

撮像範囲	画像サイズ	プリント時の大きさ（出力解像度300dpiの場合）
［**1:1（16×16）**］	M（2784×2784ピクセル）	約23.6×23.6 cm
	S（1856×1856ピクセル）	約15.7×15.7 cm
［**16:9（24×14）**］	L（5568×3128ピクセル）	約47.1×26.5 cm
	M（4176×2344ピクセル）	約35.4×19.8 cm
	S（2784×1560ピクセル）	約23.6×13.2 cm

ヒント：プリント時の大きさについて

画像をプリントするときの大きさは、ピクセル数÷出力解像度（dpi）×2.54 cmで求められます。

フォーカス

フォーカスモードを変更する

ピントの合わせ方を選べます。

■■ フォーカスモードの設定方法

iメニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの［**フォーカスモード**］で変更できます。

項目		内容
AF-A	［**AFモード自動切り換え**］	・静止している被写体は**AF-S**で撮影し、動いている被写体は**AF-C**で撮影します。 ・静止画モードの場合のみ選べます。
AF-S	［**シングルAF**］	・静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、ピントが合った時点でフォーカスポイントが赤色から緑色に変わって点灯し、フォーカスがロックされます。ピントが合っていないときはフォーカスポイントが赤に点滅してシャッターがきれません。 ・初期設定はピントが合うとシャッターがきれるフォーカス優先モードです。
AF-C	［**コンティニュアスAF**］	・スポーツなど動きのある被写体の撮影に適しています。シャッターボタンの半押しを続けている間はフォーカスロックはされず、被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。 ・初期設定では、ピントの状態に関係なくシャッターがきれるレリーズ優先モードです。

項目		内容
AF-F	［**フルタイムAF**］	・カメラは常に被写体の動きや構図の変化に合わせてピントを合わせ続けます。 ・シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行って、ピントが合った時点でフォーカスポイントが赤色から緑色に変わって点灯し、フォーカスがロックされます。 ・動画モードの場合のみ選べます。
MF	［**マニュアルフォーカス**］	ピントを自分で合わせたいときに選びます（🕮125）。ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます。

☑ オートフォーカスについてのご注意

・次の被写体はオートフォーカスでピントが合わない場合がありますので、ご注意ください。
  - 画面の長辺側と平行な線の被写体
  - 明暗差の少ない被写体
  - フォーカスポイント内の被写体の輝度が著しく異なる場合
  - イルミネーション、夜景などの点光源や、ネオンなど明るさが変化する被写体
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が見える場合
  - クロスフィルターなど、特殊なフィルターを使用した場合
  - フォーカスポイントに対して被写体が小さい場合
  - 連続した繰り返しパターンの被写体（ビルの窓やブラインドなど）
・オートフォーカス作動中は、画面の明るさが変わることがあります。
・ピントが合わなくてもフォーカスポイントが緑色で点灯する場合があります。
・暗い場所でピント合わせを行うと、ピントが合うまで時間がかかる場合があります。
・フォーカスポイントを撮影画面の端付近に移動している場合、ピントが合いにくくなることがあります。

ヒント：暗い場所でのピント合わせについて

カスタムメニューd11［**スターライトビュー（静止画Lv）**］を［**ON**］に設定すると、暗い場所でもピントが合いやすくなります。静止画モードの場合に有効になります。

AFエリアモードを変更する

オートフォーカス使用時に、フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。

・AFエリアモードが［**オートエリアAF**］以外の場合、フォーカスポイントはマルチセレクターを使用して移動できます（🕮121）。

■■AFエリアモードの設定方法

iメニューの［**AFエリアモード/被写体検出**］または静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの［**AFエリアモード**］で設定できます。

項目		内容
[PIN]	［**ピンポイントAF**］	・シングルポイントAFよりも小さいフォーカスポイントを使って、より狭い範囲にピンポイントでピントを合わせることができます。 ・シングルポイントAFよりもピント合わせに時間がかかることがあります。 ・建築物などの静止している被写体の撮影や、スタジオでの商品撮影や接写に適しています。 ・静止画モードで、フォーカスモードが［**シングルAF**］の場合のみ選べます。
[ ]	［**シングルポイントAF**］	・撮影者が選んだフォーカスポイントでピント合わせを行います。 ・静止している被写体の撮影に適しています。
[S]	［**ダイナミックAF (S)**］	・撮影者が選んだフォーカスポイントでピント合わせを行います。選んだフォーカスポイントから被写体が一時的に外れても、周辺のフォーカスポイントからのピント情報を利用してピントを合わせます。

項目		内容
M	［**ダイナミックAF（M）**］	・静止画モードで、フォーカスモードが［**AFモード自動切り換え**］または［**コンティニュアスAF**］の場合のみ選べます。 ・スポーツの撮影など、シングルポイントAFでは被写体をとらえにくい動きのある被写体の撮影に適しています。 ・ピントを合わせる範囲を**S**、**M**、**L**で設定できます。**S**が最も狭く、**L**が最も広い範囲で被写体をとらえます。 ・［**ダイナミックAF（S）**］：構図を決めて撮影するときや、被写体の動く方向が予測でき、フォーカスポイントで被写体をとらえやすい撮影に適しています（例：陸上競技やモータースポーツ）。 ・［**ダイナミックAF（M）**］：動きがランダムで予測しにくい被写体の撮影に適しています（例：フィールドスポーツ）。 ・［**ダイナミックAF（L）**］：被写体の動きが速く、選んだフォーカスポイントで被写体をとらえにくい場合の撮影に適しています（例：野鳥撮影）。
L	［**ダイナミックAF（L）**］	

項目		内容
WIDE-S	[**ワイドエリアAF（S）**]	・シングルポイントAFよりも広い範囲（エリア）で被写体をとらえてピント合わせを行います。 ・スナップ撮影や、動きのある被写体、シングルポイントAFではとらえにくい被写体の撮影などに適しています。 ・動画撮影で、動きのある被写体を撮影する場合やパン・チルトを行う場合にも、滑らかで安定したピント合わせが行えます。 ・フォーカスポイント内に複数の被写体がある場合、手前の被写体を優先してピントを合わせます。 ・[**ワイドエリアAF（L）**]は[**ワイドエリアAF（S）**]よりも広い範囲で被写体をとらえます。
WIDE-L	[**ワイドエリアAF（L）**]	
W-C1	[**ワイドエリアAF（C1）**]	・ピント合わせを行うAFエリアのサイズを、フォーカスポイントの縦と横の数で設定できます。 ・ピントを合わせたい範囲がある程度決まっている被写体の撮影などに適しています。 ・[**ワイドエリアAF（C1）**]または[**ワイドエリアAF（C2）**]を選んでOKボタンを長押しすると、AFエリアのサイズを設定できます。▲▼で縦方向、◀▶で横方向のフォーカスポイントの数を変更できます。 ・設定できるAFエリアのサイズは次の通りです。 - 静止画撮影メニューの場合、[**1×1**]から[**19×11**]の60パターンです（撮像範囲を[**DX（24×16）**]に設定時、撮像範囲の設定により異なります）。 - 動画撮影メニューの場合、[**1×1**]から[**19×9**]の50パターンです。
W-C2	[**ワイドエリアAF（C2）**]	

項目		内容
[3D]	[**3D-トラッキング**]	・フォーカスポイントを指定した被写体に追尾させることができます。 ・追尾させたい被写体にフォーカスポイントを合わせてシャッターボタンを半押しすると被写体の追尾を開始し、被写体の動きに合わせてフォーカスポイントが移動します。シャッターボタンを放すと追尾を終了してフォーカスポイントが追尾を開始する前の位置に戻ります。 ・カメラが途中で被写体を見失ってしまった場合は、いったんシャッターボタンを放して、もう一度フォーカスポイントで被写体にピントを合わせてください。 ・静止画モードで、フォーカスモードが［**AFモード自動切り換え**］または［**コンティニュアスAF**］の場合のみ選べます。
⊕	[**ターゲット追尾AF**]	・フォーカスポイントを指定した被写体に追尾させることができます。 ・追尾させたい被写体にフォーカスポイントを合わせ、Ⓞボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると被写体の追尾を開始し、被写体の動きに合わせてフォーカスポイントが移動します。Ⓞボタンを押すと追尾を終了してフォーカスポイントが撮影画面の中央に戻ります。 ・動画モードの場合のみ選べます。

項目		内容
[▬]	[**オートエリアAF**]	・カメラが自動的に全てのフォーカスポイントから被写体を判別してピントを合わせます。 ・シャッターチャンスを優先した撮影、人物撮影、スナップ撮影などに適しています。

3D-トラッキングおよびターゲット追尾AFについてのご注意

次のような場合は、追尾動作が正常に行われないことがありますので、ご注意ください。

- 被写体の色、明るさ、柄が背景と似ている場合
- 被写体の大きさ、色、明るさが著しく変わる場合
- 被写体が大きすぎる/小さすぎる場合
- 被写体が明るすぎる/暗すぎる場合
- 被写体の動きが速すぎる場合
- 被写体が隠れたり、画面から外れた場合

ヒント: フォーカスポイントが⊡のように表示されている場合

[**オートエリアAF**]、[**3D-トラッキング**] または [**ターゲット追尾AF**] に設定している場合を除き、フォーカスポイント中央に点が表示されているときは、フォーカスポイントが画面の中央にあることを示しています。

優先してフォーカスを合わせる被写体を設定する

静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー [**AF/MFの被写体検出設定**] で、ピント合わせ時に優先してフォーカスを合わせる被写体を [**オート**]、[**人物**]、[**動物**]、[**鳥**]、[**乗り物**]、[**飛行機**]、[**しない**] から選べます。カメラが被写体を検出すると、被写体にフォーカスポイントが表示されます。撮影モードが**SCN**の🐕の場合、[**動物**] に固定されます。

- 動画撮影メニューの場合、［**AF/MFの被写体検出設定**］>［**被写体検出**］で設定します。静止画モードと動画モードでそれぞれ異なる被写体を設定できます。
- ［**人物**］に設定した場合、カメラが人物の顔を検出すると顔にフォーカスポイントが表示されます。瞳を検出できるときは、左右どちらかの瞳にフォーカスポイントが表示されます。カメラが検出した人物が一時的に横や後ろを向いたりしても、追尾してフォーカスポイントが移動します。

- ［**動物**］に設定した場合、カメラが犬、猫および鳥の顔を検出すると顔にフォーカスポイントが表示されます。瞳を検出できるときは、左右どちらかの瞳にフォーカスポイントが表示されます。顔または瞳が検出できなかった場合、動物の全身を検出してフォーカスポイントが表示されます。

- ［**鳥**］に設定した場合、カメラが鳥の顔を検出すると顔にフォーカスポイントが表示されます。瞳を検出できるときは、左右どちらかの瞳にフォーカスポイントが表示されます。顔または瞳が検出できなかった場合、鳥の全身を検出してフォーカスポイントが表示されます。

- ［**乗り物**］に設定した場合、車、バイク、列車、飛行機および自転車を検出すると被写体にフォーカスポイントが表示されます。列車は前面のみ

検出します。飛行機は大きさにより機体全体、機首部分、コクピットの3種類を検出します。

・［**飛行機**］に設定した場合、飛行機を検出すると機体にフォーカスポイントが表示されます。大きさにより機体全体、機首部分、コクピットの3種類を検出します。

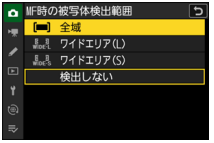
・［**オート**］に設定した場合、人物、動物および乗り物を被写体として検出し、ピントを合わせる対象をカメラが自動的に選択します。
・［**しない**］に設定した場合、被写体の検出を行いません。

■■ オートフォーカス時に被写体を検出する

・オートフォーカス時は、［**AFエリアモード**］の設定が［**ワイドエリアAF（S）**］、［**ワイドエリアAF（L）**］、［**ワイドエリアAF（C1）**］、［**ワイドエリアAF（C2）**］、［**3D-トラッキング**］、［**ターゲット追尾AF**］、［**オートエリアAF**］の場合に被写体の検出が可能です。
・複数の被写体を検出した場合は被写体にグレーの枠が表示されます。［**AFエリアモード**］の設定が［**オートエリアAF**］の場合、カメラが選んでいるフォーカスポイントに◀および▶が表示されます。マルチセレクターの◀▶を押してピントを合わせたい被写体を選ぶことができます。

■■マニュアルフォーカス時に被写体を検出する

マニュアルフォーカス（🕮125）で撮影するときに被写体を検出する場合は、静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー［**MF時の被写体検出範囲**］を［**検出しない**］以外に設定します。



- ［**全域**］を選ぶと、撮影画面全域から被写体を検出します。複数の被写体を検出した場合は、被写体にグレーの枠が表示されフォーカスポイントに◀および▶が表示されます。マルチセレクターの◀▶を押してピントを合わせたい被写体を選ぶことができます。
- ［**ワイドエリア（L）**］または［**ワイドエリア（S）**］を選ぶと、フォーカスポイントの範囲内で被写体を検出します。

被写体検出を［人物］に設定した場合のご注意

次のような場合は、正常に検出できないことがありますので、ご注意ください。

- 顔が画面に対して大きい/小さい場合
- 顔が明るすぎる/暗すぎる場合
- メガネやサングラスをかけている場合
- 髪の毛で目や顔が隠れている場合
- 人物の動きが大きすぎる場合

被写体検出を［動物］に設定した場合のご注意

- 次のような場合は、正常に検出できないことがありますので、ご注意ください。
  - 顔が画面に対して大きい/小さい場合
  - 顔が明るすぎる/暗すぎる場合
  - 体毛などで目や顔が隠れている場合
  - 瞳と周辺部位の色が近い場合
  - 動物の動きが大きすぎる場合
- 犬、猫、鳥以外でも、類似した動物に枠が表示されることがあります。
- オートフォーカス時はAF補助光が動物の瞳に悪影響をおよぼす可能性があるため、カスタムメニューa11［**内蔵AF補助光の照射設定**］を［**OFF**］に設定してください。

被写体検出を［鳥］に設定した場合のご注意

- 次のような場合は、正常に検出できないことがありますので、ご注意ください。
  - 顔が画面に対して大きい/小さい場合
  - 顔が明るすぎる/暗すぎる場合
  - 羽毛などで目や顔が隠れている場合
  - 瞳と周辺部位の色が近い場合
  - 鳥の動きが大きすぎる場合
- 鳥以外でも、類似した動物や物体に枠が表示されることがあります。鳥以外の検出が目立つ場合、AFエリアモードをより狭い設定に変更すると改善されることがあります。
- 蛍光灯や水銀灯などの光源下では、静止画撮影時にちらつき（フリッカー現象）が通常よりも発生しやすくなります。
  - 静止画撮影メニュー［**静止画フリッカー低減**］を［**ON**］にするとフリッカー現象の影響を低減できます。
  - フリッカー現象が発生していない場合は静止画撮影メニュー［**静止画フリッカー低減**］を［**OFF**］にしておくことをおすすめします。
- AF補助光が鳥の瞳に悪影響をおよぼす可能性があるため、カスタムメニューa11［**内蔵AF補助光の照射設定**］を［**OFF**］に設定してください。

被写体検出を［乗り物］または［飛行機］に設定した場合のご注意

・次のような場合は、正常に検出できないことがありますので、ご注意ください。
  - 被写体が画面に対して大きい/小さい場合
  - 被写体が明るすぎる/暗すぎる場合
  - 被写体が部分的に隠れている場合
  - 被写体と周辺の色が近い場合
  - 被写体の動きが大きすぎる場合
・被写体の色、形状によっては検出できない場合があります。また、乗り物および飛行機以外に枠が表示されることがあります。

被写体の検出性能について

次のような場合は、被写体の検出性能が低下することがあります。

・「ハイスピードフレームキャプチャー+」撮影時
・静止画撮影メニュー［**階調モード**］で［**HLG**］を選んでいる場合
・動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］を［**H.265 10-bit（MOV）**］に設定し、階調モードで［**HLG**］または［**N-Log**］を選んでいる場合

フォーカスポイントを自分で選ぶ

AF エリアモードが［**オートエリアAF**］以外の場合、フォーカスポイントを自分で選ぶことで、構図を自由に変えられます。

・半押しタイマーがオンのときに、マルチセレクターを押してフォーカスポイントを選べます。
・Ⓚボタンを押すと、中央部のフォーカスポイントが選ばれます。

ヒント：フォーカスポイントを素早く選ぶには

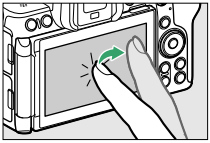
カスタムメニューa4［**AF点数**］を［**スキップ**］に設定すると、マルチセレクターで選べるフォーカスポイントの数が約1/4になります。AFエリアモードが［**ピンポイントAF**］の場合は［**スキップ**］に設定しても選べるフォーカスポイントの数は変化しません。

ヒント：フォーカスポイントのロックについて

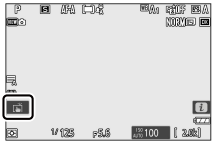
カスタムメニューf5またはg3［**操作のロック**］>［**フォーカスポイントのロック**］を［**ON**］に設定すると、フォーカスポイントをロック（固定）できます。

タッチシャッター

タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行います。指を放すとシャッターがきれます。



図のアイコンをタッチすると、画像モニターをタッチしたときの機能を切り換えられます。



項目		内容
	［**タッチシャッター/タッチAF**］	・タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行い、指を放すとシャッターがきれます。 ・瞳をタッチしても意図した側の瞳にピントが合わないことがあります。その場合はマルチセレクターで選んでください。 ・AFエリアモードを［**オートエリアAF**］に設定している場合、タッチした位置にある被写体にピント合わせを行って撮影し、被写体を追尾します。Ⓚボタンを押すと追尾を終了します。 ・静止画モードの場合のみ選べます。
OFF	［**無効**］	タッチ操作は無効になります。
	［**フォーカスポイント移動**］	・タッチした位置にフォーカスポイントを移動します。ピント合わせを行わず、指を放してもシャッターがきれません。 ・AFエリアモードを［**ターゲット追尾AF**］または［**オートエリアAF**］に設定している場合、タッチした位置にある被写体の追尾を開始します。Ⓚボタンを押すと追尾を終了します。

項目		内容
[ ]AF	［タッチAF］	・タッチした位置にフォーカスポイントを移動して、ピント合わせのみを行います。指を放してもシャッターはきれません。 ・AFエリアモードを［**ターゲット追尾AF**］または［**オートエリアAF**］に設定している場合は、タッチした位置にある被写体にピント合わせを行って追尾を開始します。Ⓚボタンを押すと追尾を終了します。

タッチ操作で撮影するときのご注意

- マニュアルフォーカス撮影時はタッチしてもピント合わせを行いません。
- [ ]が表示されている場合も、シャッターボタンを押して撮影できます。
- レリーズモードを連続撮影に設定していても、1コマしか撮影されません。連続撮影するには、シャッターボタンを押して撮影してください。
- セルフタイマー設定時は、画面の被写体をタッチするとピントが固定され、指を放してから約10秒後にシャッターがきれます。また、セルフタイマーの撮影コマ数を1コマ以外に設定した場合、連続で撮影します。

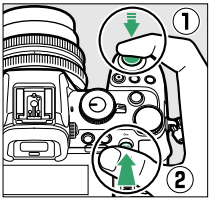
ピントを固定して撮影する（フォーカスロック）

オートフォーカスではピントが合わせづらい被写体を撮影するときには、次の手順でピントを固定（フォーカスロック）して撮影してください。

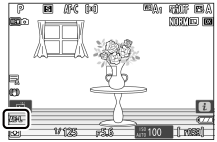
- フォーカスモードが**AF-C**の場合にフォーカスを固定したいときに使用します。
- フォーカスロックする場合、AFエリアモードを［**オートエリアAF**］以外に設定してください。

1 ピントを合わせたい被写体にフォーカスポイントを重ね、シャッターボタンを半押しする

2 **AE-L/AF-L（ON）ボタンを押す**

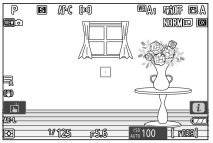


・シャッターボタンを半押ししたまま（①）、AE-L/AF-L（ON）ボタンを押すと（②）、ピントが固定されます。AE-L/AF-L（ON）ボタンを押している間は、シャッターボタンから指を放しても、ピントが固定されます。
・露出の固定（AEロック）も同時に行われます。
・撮影画面に**AE-L**マークが点灯します。



3 **AF-ON**ボタンを押したまま、構図を決めて撮影する

被写体との距離は変えないでください。フォーカスロック後に被写体との距離が変化した場合は、いったんロックを解除し、ピントを合わせ直してください。



フォーカスモードをAF-Sに設定している場合またはAF-Aに設定していてAF-Sで撮影している場合のフォーカスロックについて

シャッターボタンを半押ししている間は、ピントが固定されます。**AF-ON**ボタンを押してピントを固定することもできます。

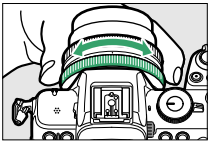
ピントを固定したまま繰り返し撮影したいときは

- **AF-ON**ボタンを押してフォーカスロックを行った場合は、**AF-ON**ボタンを押したままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。
- シャッターボタンの半押しでフォーカスロックした場合は、シャッターをきった後にシャッターボタンを半押しの状態に戻し、そのままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。

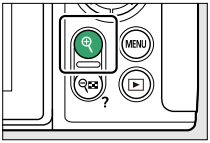
マニュアルフォーカスで撮影する

フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定すると、ピントを自分で合わせられます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影する場合などに使用します。

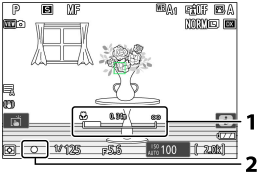
・ピントを合わせたい場所にフォーカスポイントを合わせ、レンズのフォーカスリングまたはコントロールリングを回します。



・ピントの状態を細部まで確認したい場合は、🔍ボタンを押して被写体を拡大表示してください。



・マニュアルフォーカスで撮影するときは、ファインダー内および画像モニター内のピント表示（●）でピントが合っているかどうかを確認できます（フォーカスエイド）。また、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。



1 フォーカス距離指標/ピント位置までの距離表示　2 ピント表示

ピント表示	意味
● （点灯）	被写体にピントが合っています。

ピント表示	意味
▶（点灯）	目的の被写体よりも手前にピントが合っています。
◀（点灯）	目的の被写体よりも後方にピントが合っています。
▶ ◀（点滅）	ピント合わせができません。

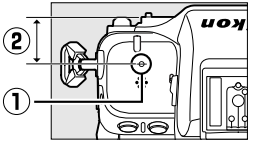
- オートフォーカスの苦手な被写体をマニュアルフォーカスでピント合わせした場合、ピントが合っていなくてもピント表示（●）が点灯することがあります。撮影画面を拡大表示して、被写体にピントが合っていることを確認してください。また、ピント合わせがしづらい場合は、三脚のご使用をおすすめします。
- フォーカスポイントを撮影画面の端付近に移動している場合、フォーカスエイドがちらついて表示されることがあります。

マニュアルフォーカスの切り換えについて

フォーカスモードが切り換えられるレンズを装着している場合、レンズでオートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り換えることができます。

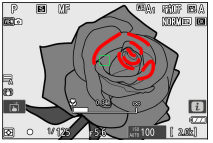
距離基準マークとフランジバックについて

距離基準マーク⊖（①）は撮影距離の基準となるマークで、カメラ内の撮像面の位置を示します。マニュアルフォーカスや接写などでカメラから被写体までの距離を実測する場合、このマークが基準となります。また、レンズ取り付け面（レンズマウント）から撮像面までの寸法をフランジバック（②）といいます。このカメラのフランジバックは16mmです。



ヒント: フォーカスピーキング

・ マニュアルフォーカス時にカスタムメニューa12 [**フォーカスピーキング**] > [**フォーカスピーキング表示**] を [**ON**] に設定すると、ピントが合っている部分（ピーキング）の輪郭に色を付けて表示できます。

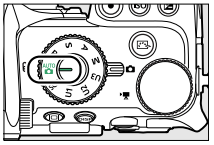


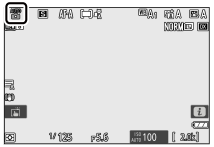
・ 被写体の輪郭を検出できない場合、ピントが合っていてもフォーカスピーキングができないことがあります。撮影画面でピントが合っていることを確認してください。

撮影モード/露出補正

撮影モードを設定する

撮影モードダイヤルを回すと、撮影モードを設定できます。撮影モードは、撮影画面に表示されます。





モード		内容
AUTO（AUTO）	**オート**（□92、□98）	カメラまかせの簡単な操作で撮影を楽しむことができます。シャッタースピードや絞り値に加えて、ホワイトバランスなどもカメラが自動制御します。
P	**プログラムオート**（□130）	シャッターチャンスを逃したくないスナップ撮影などに使います。シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します。
S	**シャッター優先オート**（□131）	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使います。シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します。
A	**絞り優先オート**（□131）	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使います。絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。
M	**マニュアル**（□132）	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。長時間露出（バルブ、タイム）撮影も、このモードで行います。
U1 **U2** **U3**	**ユーザーセッティングモード**（□135）	よく使う機能（ユーザーセッティング）を登録できます。撮影モードダイヤルを切り換えるだけで、登録した内容で撮影できます。

モード		内容
SCN（**SCN**）	**シーンモード**（🕮137）	撮影するシーンが決まっているときは、シーンに合わせて撮影モードを選ぶだけで、美しく撮影できます。

AUTO（オート）

シャッタースピードや絞り値に加えて、ホワイトバランスなどもカメラが自動制御します。メニューで設定できる機能のうち、カメラが自動で制御する機能はグレーで表示されて選べません。グレーで表示されたメニュー機能の設定を変更したい場合は、撮影モードを**P**、**S**、**A**、**M**のいずれかに変更してください。

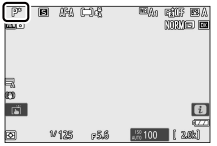
P（プログラムオート）

被写体の明るさに応じて露出が適正になるように、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。

・AUTO（オート）で自動制御されるホワイトバランスなどを自分で設定することができます。

ヒント: プログラムシフトについて

撮影モード**P**のときにメインコマンドダイヤルを回すと、適正露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられる「プログラムシフト」が行えます。

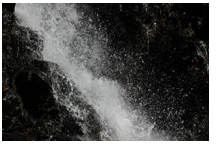


・プログラムシフト中は、プログラムシフトマーク（✱）が表示されます。

・プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマークが消えるまでメインコマンドダイヤルを回してください。電源をOFFにしたときや、他の撮影モードに切り換えたときも、プログラムシフトは解除されます。

S（シャッター優先オート）

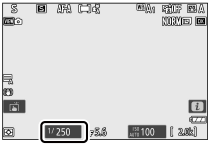
シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り値を決定します。動きの速い被写体の撮影や、遅いシャッタースピードで被写体の動きを強調する撮影に適しています。



速いシャッタースピードに設定したとき（シャッタースピード：1/1600秒）

遅いシャッタースピードに設定したとき（シャッタースピード：1秒）

・シャッタースピードはメインコマンドダイヤルを回して設定します。



・シャッタースピードは1/4000～30秒に設定できます。
・カスタムメニューd6［**シャッター方式**］を［**電子先幕シャッター**］に設定した場合、シャッタースピードを1/2000秒より高速に設定していても、1/2000秒に制限されます。
・設定したシャッタースピードはロックできます（🕮591、🕮608）。

A（絞り優先オート）

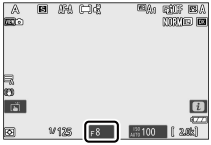
絞り値を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。背景をぼかしてメインとなる被写体を浮き立た

せたい場合や、近くから遠くまでピントの合った写真を撮影したい場合に適しています。

絞りを開いたとき（絞り値：F5.6）

絞りを絞り込んだとき（絞り値：F22）

・絞り値はサブコマンドダイヤルを回して設定します。



・設定できる最小絞り値、開放絞り値はレンズの種類によって異なります。
・設定した絞り値はロックできます（🕮591、🕮608）。

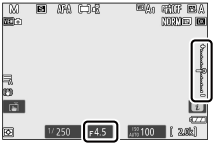
M（マニュアル）

シャッタースピードと絞り値の両方を自分で決定します。花火や星空などを長時間露出（バルブ撮影、タイム撮影、🕮144）で撮影する場合にも使用します。

・露出インジケーターを確認しながら、コマンドダイヤルを回してシャッタースピードと絞り値を設定します。

・メインコマンドダイヤルを回すと、シャッタースピード表示が変化します。シャッタースピードは1/4000～30秒、**Bulb**（バルブ）、**Time**（タイム）に設定できます。

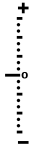
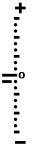
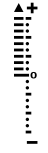
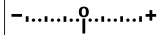
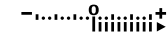
・カスタムメニューd6［**シャッター方式**］を［**電子先幕シャッター**］に設定した場合、シャッタースピードを1/2000秒より高速に設定していても、1/2000秒に制限されます。
・サブコマンドダイヤルを回すと絞り値が変化します。



・設定できる最小絞り値、開放絞り値はレンズの種類によって異なります。
・設定したシャッタースピードと絞り値はロックできます（🕮591、🕮608）。

露出インジケーターについて

自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が、画像モニターとファインダーに表示されます。この「露出インジケーター」の見方は次の通りです（表示内容はカスタムメニューb2［**露出設定ステップ幅**］の設定によって変化します）。

表示部	［露出設定ステップ幅］が［設定1/3段（補正1/3段）］のとき		
	適正露出の場合	1/3段アンダーの場合	3 1/3段以上オーバーの場合
画像モニター			
ファインダー			

インジケーターの＋と－の左右方向は、カスタムメニューf8［**インジケーターの＋/－方向**］で変更できます。

露出の制御ができないときの警告について

光量がカメラの測光範囲を超えて露出の制御ができない場合は、露出インジケーターが点滅して警告します。

ヒント: シャッタースピードの延長について

カスタムメニューd7［**Mモード時のシャッタースピード延長**］を［**ON**］に設定すると、撮影モード**M**時にシャッタースピードを最長900秒（15分）まで設定できます。

ヒント: 長秒時のシャッタースピードについて

シャッタースピードを1秒より低速に設定した場合、カメラに表示される露光時間と実際の露光時間が異なる場合があります。たとえばシャッタースピードを15秒に設定した場合は実際には16秒、30秒に設定した場合は実際には32秒でシャッターがきれます。60秒または60秒よりも遅く設定した場合は、設定したシャッタースピードの表示と同じ秒時でシャッターがきれます。

ヒント: 撮影モードM時の感度自動制御機能について

感度自動制御機能（🕮157）を使用すると、設定したシャッタースピードと絞り値で適正露出になるようにISO感度が自動的に制御されます。

U1、U2、U3（ユーザーセッティングモード）

よく使う機能（ユーザーセッティング）を、あらかじめ撮影モードダイヤル**U1**～**U3**に登録すると、撮影モードダイヤルを切り換えるだけで、登録したユーザーセッティングの内容で撮影できます。

■■ユーザーセッティングの登録

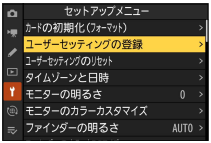
1 登録したい撮影機能を設定する

次の撮影機能を登録できます。

- 静止画撮影メニュー項目
- 動画撮影メニュー項目
- カスタムメニュー項目
- 撮影モード、シャッタースピード（撮影モード**S**、**M**）、絞り値（撮影モード**A**、**M**）、プログラムシフト（撮影モード**P**）、露出補正など

2 **セットアップメニュー［ユーザーセッティングの登録］を選ぶ**

セットアップメニュー［**ユーザーセッティングの登録**］を選んでマルチセレクターの▶を押します。



3 **設定を登録したいユーザーセッティングモードを選ぶ**

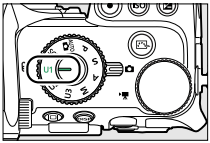
［**U1に登録**］、［**U2に登録**］または［**U3に登録**］のいずれかを選んで、▶を押します。

4 **ユーザーセッティングを登録する**

▲▼で［**はい**］を選んでOKボタンを押すと、選んだユーザーセッティングモードに現在の設定内容が登録されます。

5 **登録したユーザーセッティングで撮影する**

撮影モードダイヤルを**U1**～**U3**に合わせると、登録したユーザーセッティングの内容で撮影できます。



U1、U2、U3に登録できない項目

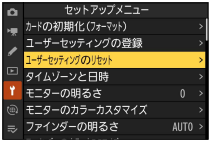
次のメニュー項目は**U1**、**U2**、**U3**に登録できません。

- 静止画撮影メニュー
  - ［**記録フォルダー設定**］
  - ［**カスタムピクチャーコントロール**］
  - ［**多重露出**］
  - ［**インターバルタイマー撮影**］
  - ［**タイムラプス動画**］
  - ［**フォーカスシフト撮影**］
- 動画撮影メニュー
  - ［**記録フォルダー設定**］
  - ［**カスタムピクチャーコントロール**］

■登録したユーザーセッティングのリセット

1 **セットアップメニュー［ユーザーセッティングのリセット］を選ぶ**

セットアップメニュー［**ユーザーセッティングのリセット**］を選んでマルチセレクターの▶を押します。



2 **リセットしたいユーザーセッティングモードを選ぶ**

［**U1をリセット**］、［**U2をリセット**］または［**U3をリセット**］のいずれかを選んで、▶を押します。

3 **ユーザーセッティングをリセットする**

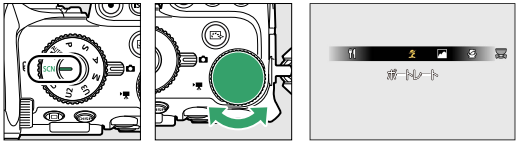
［**はい**］を選んでOKボタンを押すと、選んだユーザーセッティングモードに登録された設定内容が、初期設定（撮影モード**P**）に戻ります。

SCN（シーンモード）

撮影するシーンが決まっているときは、シーンに合わせて撮影モードを選ぶだけで、美しく撮影できます。

■■シーンモードの設定方法

撮影モードダイヤルを**SCN**に合わせた後、メインコマンドダイヤルを回して設定を変更します。



・次のシーンモードから設定できます。

ポートレート	海・雪
風景	夕焼け
こどもスナップ	トワイライト
スポーツ	ペット
クローズアップ	キャンドルライト
夜景ポートレート	桜
夜景	紅葉
パーティー	料理

■■各シーンモードの特徴

● （ポートレート）

人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

・被写体と背景が離れているときは、背景がぼけて立体感のある画像になります。

● 🏞（風景）

自然の風景や街並みを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

ご注意

・内蔵フラッシュは発光しません。

・AF補助光は照射されません。

● 👦（こどもスナップ）

子供の撮影に向いています。肌の色を美しく表現すると同時に、服装や背景も鮮やかに仕上げます。

● 🏃（スポーツ）

運動会などスポーツ写真の撮影に向いています。動きのある被写体の一瞬の動きを鮮明にとらえ、躍動感のある画像に仕上げます。

ご注意

- 内蔵フラッシュは発光しません。
- AF補助光は照射されません。

● （クローズアップ）

草花や昆虫などの小さな被写体に近づき、大きく写したいときに使います。

● （夜景ポートレート）

夕景や夜景をバックに、人物を撮影したいときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。

● （夜景）

夜景の撮影に適しています。ノイズや不自然な発色を抑え、外灯やネオンなどの光を鮮やかにして夜景の雰囲気を表現します。

ご注意

・内蔵フラッシュは発光しません。
・AF補助光は照射されません。

● （パーティー）

パーティーなどでの撮影に適しています。パーティー会場の光の雰囲気も表現します。

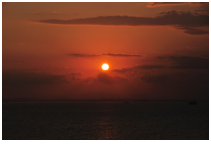
● （海・雪）

晴天の海や湖、砂浜、雪景色などの撮影に適しています。

ご注意

・内蔵フラッシュは発光しません。
・AF補助光は照射されません。

● （夕焼け）



夕焼けや朝焼けの撮影に適しています。

ご注意

・内蔵フラッシュは発光しません。
・AF補助光は照射されません。

●（トワイライト）

夜明け前や日没後の風景の撮影に適しています。わずかな自然光での風景をきれいに表現します。

ご注意

・内蔵フラッシュは発光しません。
・AF補助光は照射されません。

●（ペット）

動き回るペットなどの撮影に適しています。

ご注意

AF補助光は照射されません。

● （キャンドルライト）

キャンドルライトでの撮影に適しています。

ご注意
内蔵フラッシュは発光しません。

● （桜）

桜、花畑などの花がたくさん咲いている風景の撮影に適しています。

ご注意
内蔵フラッシュは発光しません。

● （紅葉）

紅葉の撮影に適しています。紅葉の赤色や黄色を鮮やかに表現します。

ご注意
内蔵フラッシュは発光しません。

● 🍴（料理）

料理の撮影に適しています。料理を鮮やかに表現します。

☑ ご注意
内蔵フラッシュを上げている場合は、必ず発光します。

ヒント：三脚の使用について
暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

ヒント：シーンモードについて
ピクチャーコントロール、ホワイトバランス、階調モード、カスタムメニューなど、撮影モードによって設定を変更できない機能があります。

長時間露出で撮影する（撮影モードMのみ）

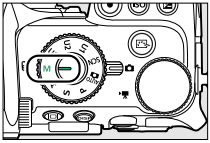
長時間露出撮影には、バルブ撮影とタイム撮影の2種類があります。花火や夜景、星空の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなどに使います。

シャッタースピードをBulbに設定し、絞り値をF25にして35秒間の長時間露出撮影した場合の画像

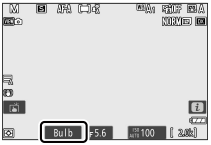
撮影方法	内容
バルブ撮影	シャッターボタンを押し続けている間シャッターが開いたままになり、シャッターボタンを放すとシャッターが閉じます。
タイム撮影	シャッターボタンを全押しするとシャッターが開いたままになり、もう一度押すとシャッターが閉じます。

1 **三脚などを使ってカメラを固定する**

2 **撮影モードダイヤルをMに合わせる**



3 **メインコマンドダイヤルを回して、シャッタースピードをBulb（バルブ）またはTime（タイム）にする**



バルブ撮影　　タイム撮影

シャッタースピードを**Bulb**または**Time**に設定すると、露出インジケーターは表示されません。

4 **ピントを合わせて、長時間露出撮影を開始する**

- **バルブ撮影**：シャッターボタンを全押しして、長時間露出撮影を開始します。シャッターボタンは押し続けてください。
- **タイム撮影**：シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開き、長時間露出撮影を開始します。

5 **長時間露出撮影を終了する**

・**バルブ撮影**：シャッターボタンを放すと、長時間露出撮影は終了します。

・**タイム撮影**：もう一度シャッターボタンを全押しします。

長時間露出について

・露光時間が長くなると、画像にノイズ（ざらつき、むら、輝点）が発生することがあります。

・静止画撮影メニュー［**長秒時ノイズ低減**］を［**ON**］に設定すると、画像に発生するむらや輝点が低減されます。

・撮影中のバッテリー切れを防ぐため、次のいずれかをお使いください。
- 充分に充電したバッテリー
- 別売のACアダプターEH-8Pと付属のUSBケーブルUC-E25（両端がType-C）
- 外部充電池（モバイルバッテリー）

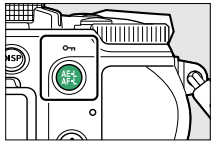
・手ブレを抑えるために三脚や別売のリモートコードなどの使用をおすすめします。

・別売のリモコンML-L7をお使いの場合、シャッタースピードを**Bulb**に設定していてもタイム撮影になります。

露出を固定して撮影する（AEロック）

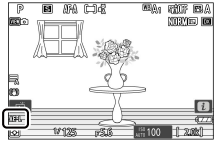
AEロックは、カメラが自動で明るさを調整する設定の場合でも、露出を固定できる機能です。

・AE ロックを行うには**AEL**（**Fn**）ボタンを押します。



・**AEL**（**Fn**）ボタンを押している間は露出が固定（ロック）され、構図や被写体の明るさが変わっても露出は変わりません。

・撮影画面に**AE-L**マークが点灯します。



・オートフォーカス撮影時は、シャッターボタンを半押ししてピント合わせをしてから（**OK**）ボタンを押してください。AE ロックとフォーカスロックが同時に行われます。
・（**OK**）ボタンを押したまま、構図を決めて撮影してください。

ヒント：シャッターボタンの半押しで露出を固定するには

カスタムメニューc1［**シャッターボタンAEロック**］を［**する（半押し）**］に設定すると、シャッターボタンの半押しで露出を固定できます。

ヒント：測光エリアについて

・［**スポット測光**］に設定した場合、選択中のフォーカスポイントの露出が記憶されます。
・［**中央部重点測光**］に設定した場合は、撮影画面中央部（Φ8mmの円内）を重点的に測光した露出が記憶されます。

ヒント：AEロック中のカメラ操作について

（**OK**）ボタンを押している間も以下の操作ができます。

撮影モード	操作
P	プログラムシフト（🕮130）
S	シャッタースピードの変更
A	絞り値の変更

・撮影画面には、変更後のシャッタースピード、絞り値が表示されます。

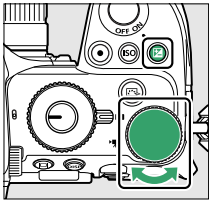
露出補正して画像の明るさを調整する

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変更することです。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。

−1段補正　　露出補正なし　　＋1段補正

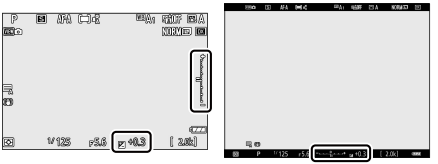
■■ 露出補正の設定方法

ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。



- 露出補正は、±5段の範囲で設定できます。動画の場合は±3段の範囲で設定できます。
- 補正ステップは、初期設定では1/3段ステップです。ステップ幅は、カスタムメニューb2［**露出設定ステップ幅**］で変更できます。
- 被写体を明るくしたいときは＋側に、暗くしたいときは−側に補正してください。

・静止画撮影時には±アイコンとインジケーターが、動画撮影時には±アイコンが撮影画面に表示されます。±ボタンを押すと補正量を数字で確認できます。



画像モニター　　ファインダー

・露出補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正量の設定は解除されません。
・撮影モードAUTOまたは**SCN**で露出補正を行った場合、撮影モードを切り換えるか、カメラの電源をOFFにすると露出補正値の設定は解除されます。

ヒント：撮影モードMでの露出補正について

・撮影モードが**M**のときは、露出のインジケーター表示が変わるだけで、設定したシャッタースピード、絞り値、およびISO感度は変わりません。画像全体の明るさも変わりません。
・±ボタンを押すと補正量を数字とインジケーターで確認できます。
・感度自動制御機能（🕮157）を使用している場合、補正量に応じてISO感度が自動的に制御され、画像全体の明るさが変わります。

ヒント：フラッシュ使用時の露出補正

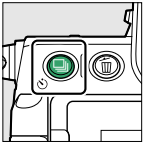
内蔵フラッシュや別売スピードライト使用時に露出補正を行った場合は、背景露出とフラッシュ（スピードライト）の発光量の両方に補正が行われ、画像全体の明るさが変わります。背景の明るさだけを補正することもできます（カスタムメニューe3［**フラッシュ使用時の露出補正**］）。

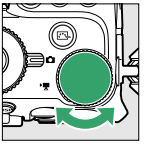
レリーズモード

シャッターをきる（レリーズする）ときの動作を設定できます。

1コマ撮影や連続撮影など、レリーズモードを変更する

（）ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、シャッターをきる（レリーズする）ときの動作を設定できます。





・設定した項目にさらに選択肢がある場合、（）ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回して設定を変更できます。

モード		内容
S	［1コマ撮影］	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影します。
L	［低速連続撮影］	シャッターボタンを全押ししている間、設定した速度で連続撮影します。 ・撮影速度は1コマ/秒～5コマ/秒の間で設定できます。（）ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回して設定してください。 ・内蔵フラッシュ撮影時は、連続撮影になりません。
H	［高速連続撮影］	シャッターボタンを全押ししている間、最速約5.6コマ/秒（サイレントモード時は最速約9.7コマ/秒）で連続撮影します。 ・内蔵フラッシュ撮影時は、連続撮影になりません。
H*	［高速連続撮影（拡張）］	シャッターボタンを全押ししている間、最速約11コマ/秒（サイレントモード時は最速約15コマ/秒）で連続撮影します。 ・内蔵フラッシュ撮影時は、連続撮影になりません。

モード		内容
C15	[C15]	シャッターボタンを全押ししている間、15コマ/秒または30コマ/秒で連続撮影を行えます（🕮153）。
C30	[C30]	
⏲	[セルフタイマー]	セルフタイマー撮影ができます（🕮154）。

連続撮影速度について

［**高速連続撮影**］および［**高速連続撮影（拡張）**］での最大撮影速度は、カメラの設定により異なります。

レリーズモード	画質モード	シャッター方式		［サイレントモード］：［ON］
		メカニカルシャッター	電子先幕シャッター	
［高速連続撮影］	RAWを含む画質モード	約5.4コマ/秒	約7.9コマ/秒	約6.7コマ/秒
	JPEG/HIEF	約5.6コマ/秒	約8.3コマ/秒	約9.7コマ/秒
［高速連続撮影（拡張）］	RAWを含む画質モード	約11コマ/秒	約10コマ/秒	約8.9コマ/秒
	JPEG	約11コマ/秒	約10コマ/秒	約15コマ/秒

高速連続撮影（拡張）撮影時のご注意

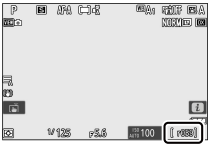
- カメラの設定によっては、連続撮影中に露出が安定しないことがあります。露出の変化が気になる場合は、AEロック（🕮146）を行って連写中の露出を固定してください。
- 静止画撮影メニュー［**階調モード**］を［**HLG**］に設定している場合、［**高速連続撮影（拡張）**］に設定しても［**高速連続撮影**］と同じ撮影速度になります。

連続撮影についてのご注意

- メモリーカードの性能や撮影条件によっては、数十秒から1分間程度メモリーカードアクセスランプが点灯します。メモリーカードアクセスランプの点灯中にカメラからメモリーカードを取り出さないでください。データが消失するだけでなく、カメラとメモリーカードに不具合が生じるおそれがあります。
- メモリーカードアクセスランプ点灯中に電源をOFFにすると、撮影された全ての画像がメモリーカードに記録されてから電源が切れます。
- 連続撮影時にバッテリーの残量がなくなった場合は、撮影は行わず、撮影済みの画像データがメモリーカードに記録されて終了します。

ヒント: 連続撮影可能コマ数について

・シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能コマ数が記録可能コマ数表示部に表示されます。



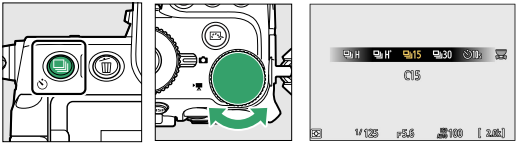
・「**r000**」と表示されている間は連続撮影速度が低下します。
・表示される連続撮影可能コマ数は、おおよその目安です。カメラの設定や撮影条件によってコマ数が増減することがあります。

ヒント: 連続撮影グループについて

連続撮影および「ハイスピードフレームキャプチャー+」で撮影した場合、1回の連続撮影で記録した画像を1つのグループとして扱います（連続撮影グループ）。連続撮影グループは再生メニュー［**グループ再生の設定**］で再生方法を設定できます。

「ハイスピードフレームキャプチャー+」（C15/C30）で撮影する

（）ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して［**C15**］または［**C30**］を選ぶと、15コマ/秒または30コマ/秒で連続撮影を行えます（「ハイスピードフレームキャプチャー+」撮影）。



・カスタムメニューd3［**プリキャプチャー記録設定**］では、シャッターボタンを全押しした時点からさかのぼって静止画を記録する時間を設定できます（プリキャプチャー機能）。また、全押し後、何秒間撮影するかを設定できます（🕮547）。

・タッチシャッターで撮影する場合は1コマしか撮影されません。「ハイスピードフレームキャプチャー+」で撮影するには、シャッターボタンを押して撮影してください。

「ハイスピードフレームキャプチャー+」の制限について

・画質モードは［**NORMAL**］に固定され、JPEG画像が記録されます。
・画像サイズは［**サイズL**］に固定されます。
・シャッタースピードは1/4000～1/60秒に制限されます。
・露出補正は±5段まで設定できますが、実際の補正は±3段までになります。
・ISO感度を高感度（Hi 0.3～Hi 2.0）に設定していても、上限はISO 51200に制限されます。
・静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**感度自動制御**］を［**ON**］にしたときの［**低速限界設定**］の設定は無効になります。
・次の場合など、「ハイスピードフレームキャプチャー+」とは同時に使用できない機能や設定があります。
  - プログラムシフト
  - 階調モードのHLG
  - 静止画フリッカー低減
  - フラッシュ撮影
  - オートブラケティング撮影
  - 多重露出撮影
  - HDR合成
  - インターバルタイマー撮影
  - タイムラプス動画撮影
  - フォーカスシフト撮影

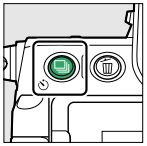
ヒント:「ハイスピードフレームキャプチャー+」で撮影する場合

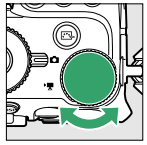
書き込み速度が速いメモリーカードの使用をおすすめします（🕮780）。

セルフタイマーを使って撮影する（⏲）

シャッターボタンを全押しした後、設定した時間が過ぎると、自動的にシャッターがきれます。

1 **(⏲) ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して、［セルフタイマー］を選ぶ**





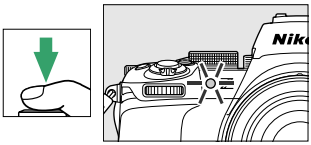
2 **(⏲) ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回して、シャッターがきれるまでの時間を選ぶ**

3 **構図を決め、ピントを合わせる**

フォーカスモードが**AF-S**でピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態ではセルフタイマーは作動しません。

4 **セルフタイマー撮影を開始する**

・シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅します。撮影2秒前になると点滅から点灯に変わります。



・セルフタイマーの作動時間、撮影コマ数、撮影間隔はカスタムメニュー c2［**セルフタイマー**］で設定できます。

ISO感度

ISO感度を変更する

撮影時の周辺の明るさに応じて、光に対する感度（ISO感度）を変更できます。一般的に、ISO感度を高くするほど、より高速のシャッタースピードで撮影できます（同じ被写体を同じ絞り値で撮影する場合）。ISO感度はISO 100～51200の間で設定できます。また、ISO 51200から約0.3、0.7、1、2段（ISO 204800相当）の増感ができます。

- 撮影モードが^{AUTO}または**SCN**の場合、［**オート**］も選べます。
- 動画モードの場合、撮影モード**M**で動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**M モード時の感度自動制御**］が［**OFF**］の場合のみISO 感度を設定できます。それ以外の場合は、カメラが自動的にISO感度を設定します。動画モード時はISO 100～25600の間で設定でき、ISO 25600からの増感はできません。

ISO感度の設定方法

- **ISO**ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回します。
- 設定したISO感度は撮影画面に表示されます。

- 補正ステップは、初期設定では1/3段ステップです。ステップ幅は、カスタムメニューb1［**ISO感度設定ステップ幅**］で変更できます。

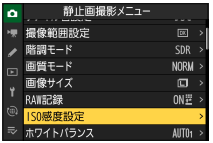
ISO感度を高く設定した場合

ISO感度を高くするほど暗い場所での撮影や動いている被写体の撮影などに効果的です。ただし、撮影した画像に多少ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生する場合があります。

- 高感度ノイズ低減機能を有効にすると、高感度撮影時のノイズを低減できます。静止画撮影メニューおよび動画撮影メニューの［**高感度ノイズ低減**］で設定できます。

ヒント：静止画撮影メニュー［ISO感度設定］について

ISO感度は静止画撮影メニューの［**ISO感度設定**］でも設定できます。



ヒント：増感域の高感度（Hi 0.3〜Hi 2.0）に設定した場合

ISO感度を［**Hi 0.3**］に設定すると、ISO 51200に対して約0.3段分増感し（ISO 64000相当）、［**Hi 2.0**］では約2段分の増感になります（ISO 204800相当）。これらのISO感度に設定したときは、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生しやすくなります。

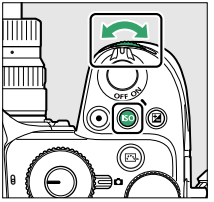
感度自動制御機能を使う

感度自動制御機能は、設定したISO感度で適正露出が得られない場合に、カメラが自動的にISO感度を変更する機能です。撮影時にISO感度が高くなりすぎないように、上限感度（200〜Hi 2.0）を設定することもできます。

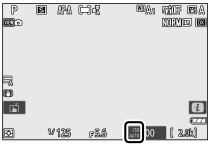
・動画モードの場合、上限感度はISO 200〜25600の間で設定できます。

■■ 感度自動制御の設定方法

・**ISO**ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと**ISO AUTO**（感度自動制御する）と**ISO**（感度自動制御しない）に切り換えられます。



・感度自動制御する場合、撮影画面に**ISO AUTO**が表示されます。感度が自動制御されると、制御されたISO感度が表示されます。



・制御上限感度は静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］で設定できます。

感度自動制御についてのご注意

・［**制御上限感度**］で設定したISO感度よりも［**ISO感度設定**］で設定したISO感度が高い場合、［**ISO感度設定**］で設定したISO感度を制御上限感度として撮影します。
・フラッシュ撮影時のシャッタースピードはカスタムメニューe1［**フラッシュ撮影同調速度**］とe2［**フラッシュ時シャッタースピード制限**］で設定した範囲内に制限されます。［**低速限界設定**］のシャッタースピードをこの範囲外に設定した場合は、シャッタースピードの下限はe2［**フラッシュ時シャッタースピード制限**］で設定したシャッタースピードに制限されます。
・動画モードでは、撮影モードが**M**以外の場合は常に感度自動制御が動作します。撮影モード**M**の場合は、動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**Mモード時の感度自動制御**］を［**ON**］に設定するとカメラが自動的にISO感度を変更します。

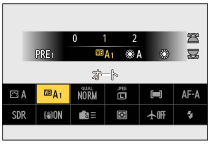
ホワイトバランス

ホワイトバランスを合わせる

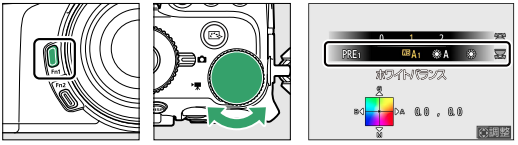
光源に合わせて、白いものを白く撮影するための機能です。初期設定のオート（WB A）でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

■■ ホワイトバランスの設定方法

・ *i*メニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの［**ホワイトバランス**］で設定できます。



・ 初期設定では、**Fn1**ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとホワイトバランスを設定できます。設定したホワイトバランスを表すアイコンが撮影画面に表示されます。



設定した項目にさらに選択肢がある場合、**Fn1**ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回して設定を変更できます。

項目	設定される色温度※	内容
WB A［オート］		カメラが自動的にホワイトバランスを調節し、ほとんどの光源に対応できます。内蔵フラッシュまたは別売のスピードライトの使用時は、フラッシュ発光時の条件に応じて適したホワイトバランスに調整されます。
WB A_0［白を優先する］	約3500～8000K	電球下の環境で撮影する場合、電球色を残さずに白く補正します。
WB A_1［雰囲気を残す］	約3500～8000K	電球下の環境で撮影する場合、やや電球色を残して暖かみのある画像に仕上げます。
WB A_2［電球色を残す］	約3500～8000K	電球下の環境で撮影する場合、電球色を残して暖かみのある画像に仕上げます。
☀A［自然光オート］	約4500～8000K	自然光下での撮影に適したホワイトバランスに調整され、自然光下ではWB A［オート］より見た目に近い色味で撮影できます。
☀［晴天］	約5200K	晴天の屋外での撮影に適しています。
☁［曇天］	約6000K	曇り空の屋外での撮影に適しています。
⌂［晴天日陰］	約8000K	晴天の日陰での撮影に適しています。
☀［電球］	約3000K	白熱電球下での撮影に適しています。
▦［蛍光灯］		それぞれの光源下での撮影に適しています。
▦CW［白色蛍光灯］	約4200K	
▦DW［昼白色蛍光灯］	約5000K	
▦DY［昼光色蛍光灯］	約6500K	
WB ϟ［フラッシュ］	約5400K	フラッシュを使って撮影する場合に適しています。

項目	設定される色温度※	内容
K［**色温度設定**］	約2500～10000K	・色温度を直接指定できます。 ・**Fn1**ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、色温度を設定できます。
PRE［**プリセットマニュアル**］		・撮影者が被写体や光源を基準にホワイトバランスを合わせたり、メモリーカード内の画像と同じホワイトバランスで撮影したりできます。 ・**Fn1**ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、プリセットマニュアルデータを選べます。 ・**Fn1**ボタンを長押しすると、プリセットマニュアル取得モードになります（🕮173）。

※　微調整が0の場合の値です。

☑ ☀**A**［自然光オート］について

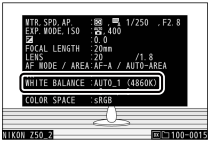
人工光下で撮影するときに☀**A**［**自然光オート**］を選択していると、適正なホワイトバランスが得られないことがあります。WB**A**［**オート**］または光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。

☑ スタジオ用大型ストロボを使用する場合

スタジオ用大型ストロボを使用する場合は、WB**A**［**オート**］に設定していても適正なホワイトバランスが得られないことがあります。その場合は、WB ϟ［**フラッシュ**］モードにして微調整を行うか、プリセットマニュアルをお使いください。

ヒント: オートで撮影するときの色温度について

・ホワイトバランスを**WB A**［**オート**］、**☀A**［**自然光オート**］、または**PRE**［**プリセットマニュアル**］に設定して撮影した場合、カメラが判断した色温度の値を再生画面の撮影情報にある［**撮影基本情報**］ページで確認できます（🕮228）。ホワイトバランスの**K**［**色温度設定**］で色温度を調整する場合に参考にできます。

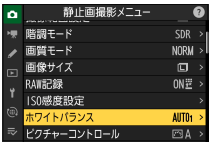


・撮影情報の［**撮影基本情報**］ページを表示するには、再生メニュー［**再生画面設定**］で［**撮影情報**］および［**撮影基本情報**］のチェックボックスをオン（**☑**）にしてください。

・「ハイスピードフレームキャプチャー+」で撮影した画像には色温度の値は表示されません。

ヒント: ［ホワイトバランス］について

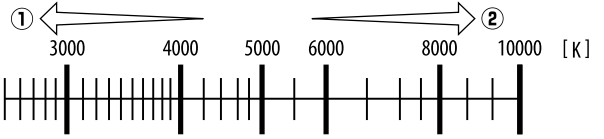
ホワイトバランスは静止画撮影メニューまたは動画撮影メニューでも設定できます。



ヒント: 色温度について

光の色には、赤みを帯びたものや青みを帯びたものがあり、人間の主観で光の色を表すと、見る人によって微妙に異なります。そこで、光の色を絶対温度（K：ケルビ

ン）という客観的な数字で表したのが色温度です。色温度が低くなるほど赤みを帯びた光色になり（❶）、色温度が高くなるほど青みを帯びた光色になります（❷）。



ヒント：色温度の設定について

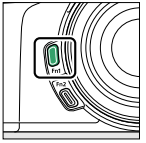
一般的に、画像に赤みを感じた場合（撮影した画像に青みを帯びさせたい場合）は低い数値を設定し、画像に青みを感じた場合（撮影した画像に赤みを帯びさせたい場合）は高い数値を選びます。

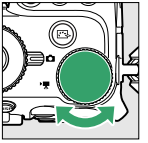
ホワイトバランスを微調整する

各ホワイトバランスの設定段数をA（アンバー）、B（ブルー）、G（グリーン）、M（マゼンタ）の4方向で、各方向6段階まで微調整できます。

■■ボタン操作で設定する場合

1 Fn1ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して、設定したいホワイトバランスを選ぶ





2 Fn1ボタンを押したままマルチセレクターを操作して、微調整値を設定する

・マルチセレクターを操作すると、座標上のカーソルが移動します。設定した段数は、座標の右側に表示されます。

・A（アンバー）、B（ブルー）方向は、色温度の高さを0.5段単位で微調整できます。1段は約5ミレッドに相当します。

・G（グリーン）、M（マゼンタ）方向は、色補正用（CC）フィルターと同じような微調整を0.25段単位で行えます。1段は濃度約0.05 に相当します。

3 微調整値を決定する

・**Fn1**ボタンを放すと、微調整値を決定して撮影画面に戻ります。

・ホワイトバランスを微調整すると、ホワイトバランスのアイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。

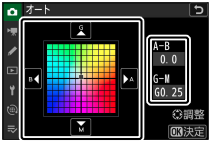
■■メニューで設定する場合

1 **静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー［ホワイトバランス］で、設定したいホワイトバランスを選び、微調整画面が表示されるまで▶を押す**

［**プリセットマニュアル**］での微調整画面の表示方法については、「プリセットマニュアルデータの微調整について」（🕮179）をご覧ください。

2 **微調整値を設定する**

・マルチセレクターを操作すると、座標上のカーソルが移動します。設定した段数は、座標の右側に表示されます。



・A（アンバー）、B（ブルー）方向は、色温度の高さを0.5段単位で微調整できます。1段は約5ミレッドに相当します。

・G（グリーン）、M（マゼンタ）方向は、色補正用（CC）フィルターと同じような微調整を0.25段単位で行えます。1段は濃度約0.05に相当します。

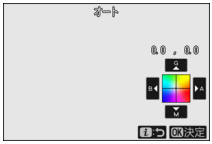
3 微調整値を決定する

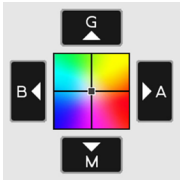
・OKボタンを押して微調整値を決定すると、メニューに戻ります。

・ホワイトバランスを微調整すると、アイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。

ヒント: iメニューで設定を変更する

iメニューで［**ホワイトバランス**］を選んでOKボタンを押すと、ホワイトバランスの選択項目が表示されます。設定したいホワイトバランスを選び（［**色温度設定**］以外）、調整画面が出るまで▽を押すと、ホワイトバランスを調整できます。画像モニターを見ながら色味を調整できます。





G グリーンが強くなる
B ブルーが強くなる
A アンバーが強くなる
M マゼンタが強くなる

- 画面上の矢印をタッチするか、マルチセレクターを押すと値を変更できます。
- OKボタンを押すと調整値を決定してiメニュー画面に戻ります。
- ホワイトバランスを微調整すると、ホワイトバランスのアイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。

ヒント: インフォ画面で設定を変更する

インフォ画面表示中に**Fn1**ボタンを押すと、コマンドダイヤルでホワイトバランスを設定できます。**Fn1**ボタンを押しながらマルチセレクターを押すと、選んでいるホワイトバランスの値を変更できます。

ヒント: ホワイトバランスの微調整画面について

ホワイトバランスの微調整画面で表示されている色は、色温度方向の目安の色を表しています。微調整画面で設定しても、設定したそのままの色の画像にはならない場合があります。たとえば、ホワイトバランスを［**電球**］に設定してB（ブルー）方向に微調整しても、青色が強い画像にはなりません。

ヒント: ミレッド（MIRED）について

色温度の逆数を百万（10^6）倍したものです。色温度は、同じ色温度差でも、色温度の低い場合では色の変化が大きく、色温度の高い場合では、色の変化が小さくなります。たとえば同じ1000ケルビンの違いでも6000ケルビン付近での変化は比較的小さく、3000ケルビン付近では1000ケルビンの違いで光色が大きく変わります。ミレッドは、その変化幅をほぼ同じに表現する尺度であり、色温度変換フィルターの単位としても利用されます。

例）色温度の差（K：ケルビン）：ミレッドの差（M：ミレッド）

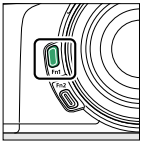
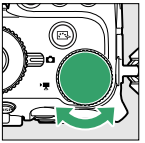
- 4000K－3000K＝1000K：83 M
- 7000K－6000K＝1000K：24 M

色温度を設定する

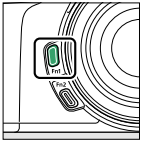
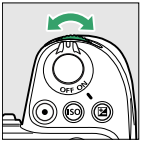
A（アンバー）およびB（ブルー）方向とG（グリーン）およびM（マゼンタ）方向の両方の色温度を設定できます。

■■ ボタン操作で設定する場合

1 **Fn1ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して、K［色温度設定］を選ぶ**

2 **Fn1ボタンを押したままサブコマンドダイヤルを回して、色温度を設定する**

ミレッド単位で色温度が切り替わります。

3 **Fn1ボタンを押したままマルチセレクターを操作して、微調整値を設定する**

・マルチセレクターを操作すると、座標上のカーソルが移動します。設定した段数は、座標の右側に表示されます。

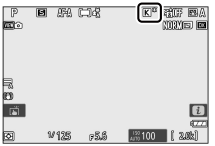
・A（アンバー）、B（ブルー）方向は、色温度の高さを0.5段単位で微調整できます。1段は約5ミレッドに相当します。

・G（グリーン）、M（マゼンタ）方向は、色補正用（CC）フィルターと同じような微調整を0.25段単位で行えます。1段は濃度約0.05に相当します。

4 **微調整値を決定する**

・**Fn1**ボタンを放すと、微調整値を決定して撮影画面に戻ります。

・色温度を微調整すると、ホワイトバランスのアイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。



■ メニューで設定する場合

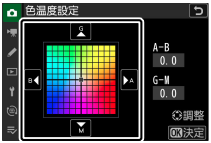
1 **静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー［ホワイトバランス］で、K［色温度設定］を選んでマルチセレクターの▶を押す**

2 色温度を設定する

◀▶を押して色温度の桁を選び、▲▼を押して数値を決定します。

3 微調整値を設定する

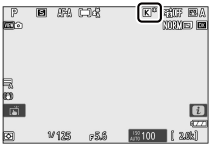
色温度を選ぶ画面で?（?）ボタンを押すと、調整画面が表示されます。マルチセレクターを操作すると、座標上のカーソルが移動します。



- 設定段数を各方向6段階まで微調整できます。設定した段数は、座標の右側に表示されます。
- A（アンバー）、B（ブルー）方向は、色温度の高さを0.5段単位で微調整できます。1段は約5ミレッドに相当します。
- G（グリーン）、M（マゼンタ）方向は、色補正用（CC）フィルターと同じような微調整を0.25段単位で行えます。1段は濃度約0.05に相当します。

4 色温度を決定する

- ⓞⓚボタンを押して色温度を決定すると、メニューに戻ります。
- 色温度を微調整すると、ホワイトバランスのアイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。



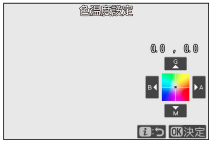
色温度設定についてのご注意

- 光源が蛍光灯のときは、色温度設定を使わず、☀［**蛍光灯**］に設定してください。
- ホワイトバランスの色温度を指定したときは、試し撮りをして、設定した色温度が撮影状況に適しているかどうかを確認することをおすすめします。

ヒント: iメニュー画面で設定を変更する

iメニューで［**ホワイトバランス**］を選んでOKボタンを押すと、ホワイトバランスの選択項目が表示されます。K［**色温度設定**］を選んでを押すと、色温度を設定できます。

- ◀▶を押して色温度の桁を選び、▲▼を押して数値を設定します。
- （**?**）ボタンを押すと、現在選んでいる色温度の微調整を行えます。



- OKボタンを押すと色温度を決定してiメニュー画面に戻ります。
- 色温度を微調整すると、ホワイトバランスのアイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。

プリセットマニュアルで基準となる白を設定する

カクテル照明や特殊照明下で撮影する場合、WBA［**オート**］や［**電球**］、K［**色温度設定**］では望ましいホワイトバランスが得られないことがあります。その場合、撮影する照明下で白またはグレーの被写体を撮影してプリセットマニュアルデータを取得し、それを基準にしてホワイトバランスを設定します。プリセットマニュアルデータを保存するには、次の方法があります。

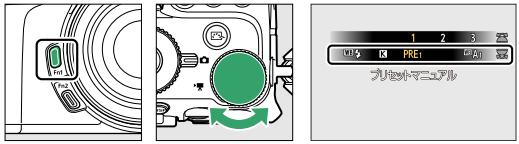
保存方法	内容
プリセットマニュアルデータをカメラで新規取得して保存する	撮影画面に表示中の被写体の一部分を選んでプリセットマニュアルデータを取得できます（🕮174）。

保存方法	内容
撮影済みの画像のホワイトバランスデータをコピーして保存する	メモリーカードにある画像のホワイトバランスデータをコピーして保存します（🕮176）。

■■ カメラで新規取得して保存する

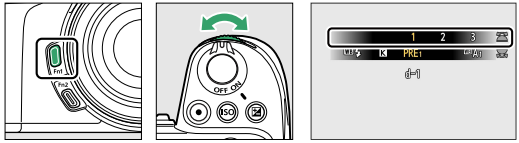
プリセットマニュアルデータは最大6つまでカメラに保存できます。

1 **Fn1 ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回してPREを選ぶ**

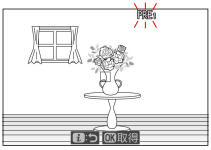


2 **新規取得するプリセットマニュアルデータの保存場所を選ぶ**

Fn1ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回して、これから取得するプリセットマニュアルデータの保存場所をd-1～d-6の中から選びます。



3 プリセットマニュアル取得モードにする



- いったん**Fn1**ボタンから指を放し、再度**Fn1**ボタンを押し続けると、プリセットマニュアル取得モードになります。取得モード中は、撮影画面に**PRE**が常に点滅します。
- 画面中央に□が表示されます。

4 □を被写体の白またはグレーの部分に重ね、プリセットマニュアルデータを取得する

- □はマルチセレクターで移動できます。
- シャッターボタンを全押しするか⊛ボタンを押すとプリセットマニュアルデータを取得できます。プリセットマニュアル取得モード中は繰り返し取得できます。
- 画像モニターをタッチすると、その場所に□が移動してプリセットマニュアルデータを取得できます。
- 内蔵フラッシュが発光可能な場合や別売のスピードライトを装着している場合は、□を移動できません。カメラを動かして画面の中央部分に被写体の白またはグレーの部分を重ねてください。
- データが取得できなかった場合は、撮影画面にメッセージが表示されてプリセットマニュアル取得モードの状態に戻ります。□の位置を変えるなどして、再度プリセットマニュアルデータを取得してください。

5 *i*ボタンを押してプリセットマニュアル取得モードを終了する

プリセットマニュアルについて

静止画撮影メニュー［**ホワイトバランス**］で**PRE**［**プリセットマニュアル**］を選ぶと、取得したプリセットマニュアルデータを管理できます。撮影済み画像のホワイトバランスのデータをプリセットマニュアルとして使用することや、コメントの記入およびプロテクト設定ができます。

ホワイトバランスのプロテクト設定について

プロテクト設定されたプリセットマニュアルデータが選ばれている場合、プリセットマニュアルデータは新規取得できません（プリセットマニュアルのアイコンの横にアイコンが表示されます）。

プリセットマニュアルデータについて

静止画撮影メニュー［**ホワイトバランス**］の**PRE**［**プリセットマニュアル**］を選ぶと、取得したプリセットマニュアルデータが表示されます。マルチセレクターでプリセットマニュアルデータを選んでボタンを押すと、選んだプリセットマニュアルを使って撮影できます。

プリセットマニュアル取得モードの時間制限について

プリセットマニュアル取得モードの時間制限は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］で設定した時間になります。

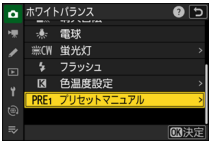
プリセットマニュアルデータ取得時の制限について

多重露出撮影時は、プリセットマニュアルデータを取得できません。

■■撮影済み画像のホワイトバランスデータをコピーする

選んだプリセットマニュアルデータの保存場所に、メモリーカード内の画像で使用されたホワイトバランスを、プリセットマニュアルデータとしてコピーできます。

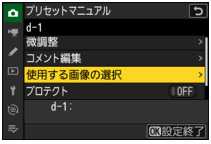
1 静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー［ホワイトバランス］で、**PRE**［プリセットマニュアル］を選んでマルチセレクターの▶を押す



2 コピー先を選ぶ

- マルチセレクターで黄色い枠を移動してd-1～d-6の中からコピー先を選びます。
- 🔍ボタンを押すと設定画面が表示されます。

3 ［使用する画像の選択］を選ぶ



［**使用する画像の選択**］を選んで▶を押すと、メモリーカード内の画像が一覧表示されます。

4 ホワイトバランスデータをコピーしたい画像を選ぶ

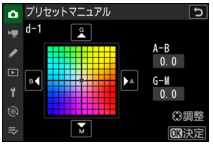
- マルチセレクターで黄色い枠を移動して画像を選びます。
- 画像は、🔍ボタンを押している間、拡大して確認できます。

5 ホワイトバランスデータをコピーする

- Ⓚボタンを押すとメモリーカード内の画像のホワイトバランスデータがコピーされます。
- 選んだ画像に画像コメントがある場合、画像コメントもコピーされます。

ヒント: プリセットマニュアルデータの微調整について

設定画面で［**微調整**］を選ぶと、微調整画面が表示され、選択中のプリセットマニュアルデータを微調整できます。

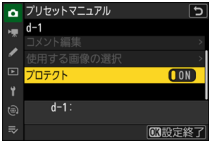


ヒント: プリセットマニュアルデータにコメントを入力する

設定画面で［**コメント編集**］を選ぶと、選択中のプリセットマニュアルデータにコメント（最大36文字）を入力できます。コメントの入力方法は、「入力画面の操作方法について」（🕮70）をご覧ください。

ヒント: プリセットマニュアルデータを保護する（プロテクト）

設定画面で［**プロテクト**］を［**ON**］に設定すると、選択中のプリセットマニュアルデータにプロテクト（保護）を設定できます。［**プロテクト**］が［**ON**］のときは、プリセットマニュアルデータの設定内容を変更できません。

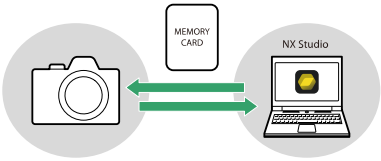


ピクチャーコントロール

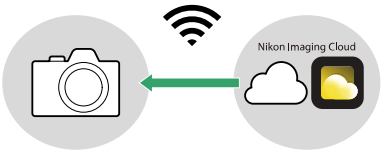
ピクチャーコントロールの種類について

「ピクチャーコントロール（Picture Control）システム」とは、輪郭強調、コントラスト、明るさ、色の濃さ（彩度）、色合い（色相）などの画像調整の設定を、対応するカメラやソフトウェアで相互に利用できるニコン独自の画作りシステムです。ピクチャーコントロールには次の種類があります。

- **ピクチャーコントロール**：ご購入時からカメラに用意されているピクチャーコントロールです。基本となるピクチャーコントロールで、［**オート**］や［**スタンダード**］などのモードがあります（🕮182）。
- **Creative Picture Control**：ご購入時からカメラに用意されているピクチャーコントロールです。色合いや階調、彩度などを細やかに作りこんだ多彩な効果により、さまざまな雰囲気を表現して撮影できます（🕮182）。
- **ピクチャーコントロール（HLG）**：ご購入時からカメラに用意されているピクチャーコントロールです。静止画モードで静止画撮影メニュー［**階調モード**］を［**HLG**］に設定しているときに、静止画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール（HLG）**］で選べます（🕮184）。
- **カスタムピクチャーコントロール**：カメラやパソコン用のソフトウェアNX Studioで作成するピクチャーコントロールです。カメラに用意されているピクチャーコントロールを元に、別のピクチャーコントロールとしてカメラに登録できます。カメラの場合、静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー［**カスタムピクチャーコントロール**］で作成して登録します（🕮192）。NX Studioの場合、作成後にファイルに書き出してメモリーカードにコピーし、カメラで読み込んで登録します（🕮196）。NX Studioでカスタムピクチャーコントロールを作成および書き出す方法については、NX Studioのヘルプをご覧ください。



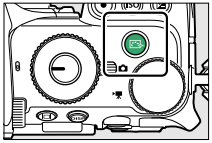
・**クラウドピクチャーコントロール**：クラウドサービスNikon Imaging Cloudが提供するピクチャーコントロールです。カメラにダウンロードして読み込むと、ピクチャーコントロールとして使用できます。カスタムピクチャーコントロールとして登録すると、設定の調整が可能です（🕮197）。

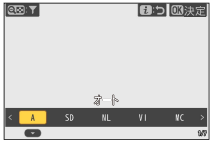


ピクチャーコントロールを選ぶ

■■ ピクチャーコントロールの設定方法

1 **ボタンを押す**



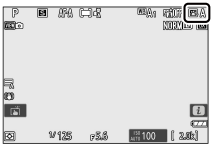


・静止画モードで静止画撮影メニュー［**階調モード**］が［**SDR**］の場合、静止画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］の設定項目が表示されます。
・静止画モードで静止画撮影メニュー［**階調モード**］が［**HLG**］の場合、静止画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール（HLG）**］の設定項目が表示されます。
・動画モードの場合、動画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］の設定項目が表示されます。
・**i**メニューで［**ピクチャーコントロール**］または［**ピクチャーコントロール（HLG）**］を選んだ場合も同じ画面が表示されます。

2 ◀▶でピクチャーコントロールを選ぶ

3 ⊛ボタンを押して設定する

・設定したピクチャーコントロールは、撮影画面に表示されるアイコンで確認できます。



・動画撮影メニューの［**ピクチャーコントロール**］を［**静止画の設定と同じ**］に設定すると、静止画撮影メニューで設定したピクチャーコントロールで動画を撮影します。

■［ピクチャーコントロール］の設定項目

項目		内容
A	［**オート**］	静止画モードの場合は［**スタンダード**］、動画モードの場合は［**ニュートラル**］をもとに、色合いや階調をカメラが自動的に調整します。
SD	［**スタンダード**］	鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。ほとんどの撮影状況に適しています。
NL	［**ニュートラル**］	素材性を重視した自然な画像になります。撮影した画像を調整、加工する場合に適しています。
VI	［**ビビッド**］	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。
MC	［**モノクローム**］	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
FM	［**フラットモノクローム**］	シャドー部からハイライト部までゆるやかに表現し、柔らかい印象のモノクロ画像になります。

項目		内容
DM	[**ディープトーンモノクローム**]	シャドー部から中間調までは暗めに、中間調からハイライト部は急激に明るいモノクロ画像になります。
PT	[**ポートレート**]	人物の肌がなめらかで自然な画像になります。
RP	[**リッチトーンポートレート**]	白飛びを抑えながら人物の肌のディテールを表現し、[**ポートレート**] よりもメリハリのある画像になります。撮影した画像を調整、加工する場合にも適しています。
LS	[**風景**]	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。 青、緑の色味を強調したいときに適しています。
FL	[**フラット**]	シャドー部からハイライト部まで幅広く情報を保持した画像になります。撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適しています。
01～20	[**Creative Picture Control**]（クリエイティブピクチャーコントロール）	・色合いや階調、彩度などを細やかに作りこんだ多彩な効果により、さまざまな雰囲気を表現して撮影できます。 ・[**ドリーム**] や [**モーニング**] など、全部で20種類があります。
C-1～C-9	[**Custom Picture Control**]（カスタムピクチャーコントロール）	「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整し、「カスタムピクチャーコントロール」としてカメラに登録すると表示されます（🕮192）。登録名は、初期状態では「(元になったピクチャーコントロール名) -XX」となります。任意の登録名に変更することもできます。
1▲～9▲	[**Cloud Picture Control**]（クラウドピクチャーコントロール）	クラウドサービスNikon Imaging Cloudからピクチャーコントロールをダウンロードしてカメラに読み込むと表示されます（🕮197）。

■■［ピクチャーコントロール（HLG)］の設定項目

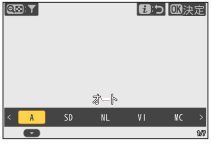
項目		内容
HLG SD	［スタンダード］	鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。ほとんどの撮影状況に適しています。
HLG MC	［モノクローム］	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
HLG FL	［フラット］	撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適しています。

■■ピクチャーコントロールの絞り込み設定

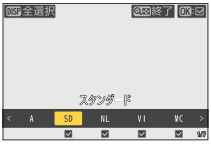
*i*メニューの［**ピクチャーコントロール**］で設定する場合、または ボタンを押してピクチャーコントロールを設定する場合に、表示されるピクチャーコントロールを絞り込みます。静止画モードで静止画撮影メニュー［**階調モード**］が［**SDR**］の場合と動画モードの場合、それぞれで表示されるピクチャーコントロールを絞り込むことができます。

1 **ボタンを押す**

2 **（?）ボタンを押す**



3 表示されるピクチャーコントロールのオン/オフを切り換える



- ◀▶でピクチャーコントロールを選んでⓀボタンを押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。チェックボックスをオン（☑）にしたピクチャーコントロールのみ表示されるようになります。
- **DISP**ボタンを押すと、全てのチェックボックスをオン（☑）にします。もう一度**DISP**ボタンを押すと、［**オート**］以外の全てのチェックボックスをオフ（☐）にします。

4 もう一度?（?）ボタンを押して設定を完了する

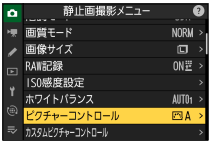
☑ ピクチャーコントロールの絞り込み設定について

- 動画モードで［**ピクチャーコントロール**］を［**静止画の設定と同じ**］に設定している場合は、静止画モードで静止画撮影メニュー［**階調モード**］が［**SDR**］の場合に表示されるピクチャーコントロールに反映されます。
- 静止画撮影メニューおよび動画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］で表示されるピクチャーコントロールには反映されません。
- 静止画モードで静止画撮影メニュー［**階調モード**］が［**HLG**］の場合、表示されるピクチャーコントロールを絞り込むことができません。

ヒント: メニューでピクチャーコントロールを設定する

ピクチャーコントロールは、次のメニューでも設定できます。

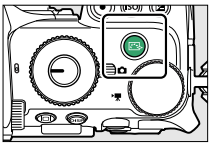
- 静止画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］
- 静止画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール（HLG）**］
- 動画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］



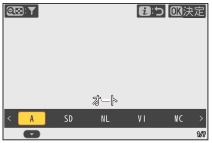
ピクチャーコントロールを調整する

ピクチャーコントロールの設定は、撮影目的や好みに合わせて調整できます。

1 **ボタンを押す**



2 **で設定したいピクチャーコントロールを選び、を押す**



3 ピクチャーコントロールを調整する

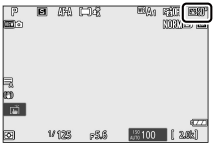
- ▲▼を押して調整する項目を選び、◀▶を押して調整の値を設定します。値は1ステップ刻みで変更できます。
- 設定できる項目は、選んだピクチャーコントロールによって異なります。
- [**クイックシャープ**] を選んで◀▶を押すと、[**輪郭強調**]、[**ミドルレンジシャープ**]、[**明瞭度**] のレベルをバランスよく調整します。
- 🗑ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。

ヒント: サブコマンドダイヤルで調整する

ピクチャーコントロールの調整時にサブコマンドダイヤルを回すと、0.25ステップ刻みで値を変更できます。

4 設定する

- ⓚボタンを押して設定すると、撮影画面に戻ります。
- ピクチャーコントロールを調整すると、ピクチャーコントロールにアスタリスク（✱）が表示されます。



ピクチャーコントロールの調整項目

項目	内容
［**適用度**］	Creative Picture Controlを選んでいる場合のみ表示されます。効果を適用する度合いを調整します。
［**クイックシャープ**］	画像内の明暗差がある部分のシャープさを調整します。 ・［**クイックシャープ**］を調整すると、［**輪郭強調**］、［**ミドルレンジシャープ**］、［**明瞭度**］の各項目をまとめてバランスよく調整します。＋側に設定すると、よりくっきりとした印象になります。－側に設定すると、よりやわらかな印象になります。 ・［**輪郭強調**］、［**ミドルレンジシャープ**］、［**明瞭度**］は、画像内で調整する対象が異なります。各項目を個別に調整することも可能です。
［**輪郭強調**］	狭い範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。
［**ミドルレンジシャープ**］	［**輪郭強調**］と［**明瞭度**］の中間の範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。
［**明瞭度**］	広い範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。 ・細部の輪郭や画像全体の階調と明るさは維持されます。
［**コントラスト**］	画像全体のコントラストを調整できます。
［**ハイライト**］	［**ピクチャーコントロール（HLG）**］の場合のみ表示されます。画像の明るい部分（ハイライト）を調整できます。値が大きいほど明るくなります。
［**シャドー**］	［**ピクチャーコントロール（HLG）**］の場合のみ表示されます。画像の暗い部分（シャドー）を調整できます。値が大きいほど明るくなります。
［**明るさ**］	画像のシャドー部とハイライト部の中間部分の明るさを調整します。ハイライト部分またはシャドー部分には影響しないため、白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整できます。 ・［**オート**］またはCreative Picture Controlを選んでいる場合、または［**ピクチャーコントロール（HLG）**］の場合は表示されません。

項目	内容
［色の濃さ（彩度）］	画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整できます。 ・［モノクローム］、［フラットモノクローム］、［ディープトーンモノクローム］または一部のCreative Picture Controlを選んでいる場合は表示されません。
［色合い（色相）］	画像の色合いを調整できます。 ・［オート］、［モノクローム］、［フラットモノクローム］、［ディープトーンモノクローム］または一部のCreative Picture Controlを選んでいる場合は表示されません。
［フィルター効果］	［モノクローム］、［フラットモノクローム］、［ディープトーンモノクローム］または一部のCreative Picture Controlを選んでいる場合のみ表示されます。白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。
［調色］	［モノクローム］、［フラットモノクローム］、［ディープトーンモノクローム］または一部のCreative Picture Controlを選んでいる場合のみ表示されます。白黒画像全体に色味を乗せることができます。ノスタルジックなセピア調、青写真とも呼ばれるサイアノタイプ調など9種類から選べます。 ・［B&W］以外を選んで㊤を押すと、色の濃淡を調整できます。
［色の濃淡］	一部のCreative Picture Controlを選んでいる場合のみ表示されます。色の濃さを調整できます。

ピクチャーコントロール調整時の⌂マークについて

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示される⌂マークは、カメラに保存されている値を示しています。

調整項目の［A］（オート）について

- ［**A**］（オート）がある項目では、［**A**］を選ぶと自動で調整されます。
- 同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。

［フィルター効果］について

［**フィルター効果**］には、次のような効果があります。

項目	内容
［**Y**］（黄※）	コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。［**Y**］→［**O**］→［**R**］の順にコントラストが強くなります。
［**O**］（オレンジ※）	
［**R**］（赤※）	
［**G**］（緑※）	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。

※　市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。

ピクチャーコントロールで［ディープトーンモノクローム］を選んでいる場合の［フィルター効果］について

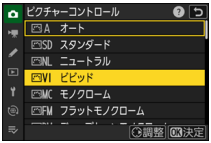
［**ディープトーンモノクローム**］は、［**フィルター効果**］を［**OFF**］にしていても、あらかじめ強いRフィルターがかかっています。［**フィルター効果**］は重ねがけできないため、［**OFF**］以外を選ぶと、あらかじめかかっていたR フィルターが無効になった状態でフィルターが適用されます。コントラストを弱めたい場合に［**Y**］、［**O**］、［**R**］に設定することをおすすめします。

ピクチャーコントロールで［オート］を選んでいる場合

各項目の調整レベルを［**A−2**］～［**A+2**］から選べます。

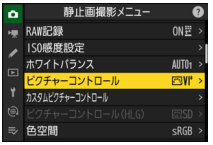
ヒント: メニューでピクチャーコントロールを調整する

次のメニューで、ピクチャーコントロールを選んで▶を押すと、ピクチャーコントロールを調整できます。



- 静止画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］
- 静止画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール（HLG）**］
- 動画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］
- ◀▶で調整する項目を選びます。▲▼を押すと1ステップ刻みで、サブコマンドダイヤルを回すと0.25ステップ刻みで値を調整します。
- 調整できる項目は、選んだピクチャーコントロールによって異なります。
- 🗑ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。
- ⓚボタンを押すと調整値を決定します。

- ピクチャーコントロールを調整すると、アイコンの横にアスタリスク（✱）が表示されます。



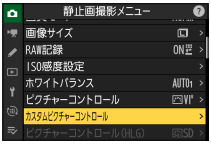
カスタムピクチャーコントロールを登録する

「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。

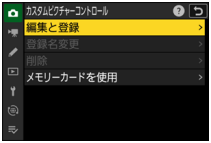
項目	内容
［編集と登録］	カスタムピクチャーコントロールを登録または編集します。
［登録名変更］	登録したカスタムピクチャーコントロールの名前を変更します。
［削除］	登録したカスタムピクチャーコントロールを削除します。
［メモリーカードを使用］	登録したカスタムピクチャーコントロールをメモリーカードに保存したり、メモリーカードに保存したカスタムピクチャーコントロールをカメラに登録できます。

■■カスタムピクチャーコントロールの登録方法

1 **静止画撮影メニューまたは動画撮影メニューの［カスタムピクチャーコントロール］を選んでマルチセレクターの▶を押す**

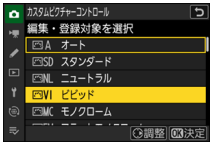


2 **［編集と登録］を選ぶ**



［**編集と登録**］を選んで▶を押すと、［**編集・登録対象を選択**］画面が表示されます。

3 元にするピクチャーコントロールを選ぶ



・ピクチャーコントロールを選んで▶を押すと、編集画面が表示されます。

・編集を行わない場合はOKボタンを押します。［**登録先の選択**］画面が表示されます（手順5へ）。

4 ピクチャーコントロールを調整する

・項目の内容や調整方法は［**ピクチャーコントロール**］と同じです。

・OKボタンを押すと［**登録先の選択**］画面が表示されます。

・🗑ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。

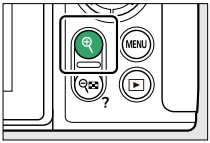
5 登録先を選ぶ

C-1～9（カスタム1～9）の中から登録先を選びます。

6 登録名を編集する

- 登録先を選んで⊛を押すと、登録名変更画面が表示されます。
- 初期状態では、「(元になったピクチャーコントロール名) -XX」が名前エリアに入力されています。XXには自動的に数値が設定されます。
- 登録名は19文字まで入力できます。
- 文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」(🕮70) をご覧ください。

7 🔍ボタンを押す



- 登録名の編集が終了します。
- 登録したピクチャーコントロールは、ピクチャーコントロールの一覧画面に表示されます。

元になったピクチャーコントロールの表示について

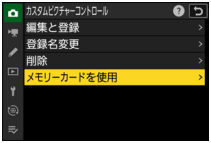
カスタムピクチャーコントロールの調整画面では、元になったピクチャーコントロールがアイコンで表示されます。

カスタム1～9で調整できる項目について

カスタム1～9を選んだ場合は、元になったピクチャーコントロールと同じ項目が調整できます。

メモリーカードを使用してカスタムピクチャーコントロールを登録する/コピーする

［**カスタムピクチャーコントロール**］の［**メモリーカードを使用**］を使うと、カメラで登録したカスタムピクチャーコントロールをメモリーカードにコピーできます。また、メモリーカード内のカスタムピクチャーコントロールをカメラに登録したり、削除したりできます。



- ［**カメラに登録**］：メモリーカードに保存されているカスタムピクチャーコントロールをカメラに登録（インポート）できます。カメラに登録したいカスタムピクチャーコントロールと登録先（C-1～9（カスタム1～9））を選んで名前を付けると、選んだカスタムピクチャーコントロールがカメラに登録されます。
- ［**メモリーカードから削除**］：メモリーカードに保存されているカスタムピクチャーコントロールを選んで削除できます。
- ［**メモリーカードにコピー**］：カメラで登録したカスタムピクチャーコントロールをメモリーカードにコピー（エクスポート）できます。メモリーカードにコピーしたいカスタムピクチャーコントロールとコピー先（1～99）を選んでⓄKボタンを押すと、メモリーカードの「NIKON」フォルダーに「CUSTOMPC」フォルダーが自動で作成され、選んだカスタムピクチャーコントロールがコピーされます。

・エクスポートしたカスタムピクチャーコントロールは、パソコンを使用して他のメモリーカードにコピーすることもできます。コピーしたカスタムピクチャーコントロールをカメラにインポートする場合は、メモリーカードのルートディレクトリ（一番上の階層）または「NIKON」フォルダー>「CUSTOMPC」フォルダーにコピーしてください。

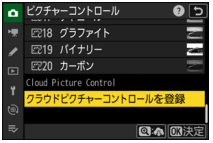
ヒント:「フレキシブルカラー」について

パソコン用のソフトウェアNX Studioでピクチャーコントロールを調整する場合、ピクチャーコントロールの選択で［**フレキシブルカラー**］を選ぶと、その他のピクチャーコントロールの調整項目に加えてカラーブレンダーやカラーグレーディングといった機能で、多彩な調整が可能です。［**フレキシブルカラー**］で調整したピクチャーコントロールをカスタムピクチャーコントロールとして登録してからファイルに書き出すと、カメラに読み込んで使用できます。

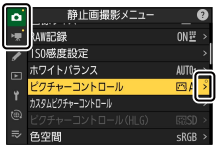
・［**フレキシブルカラー**］を元にしたカスタムピクチャーコントロールは、カメラでは調整や名称の変更は行えません。

クラウドピクチャーコントロールを登録する

クラウドサービスNikon Imaging Cloudでピクチャーコントロールをあらかじめカメラに送信しておくと、カメラの静止画撮影メニューまたは動画撮影メニューいずれかの［**ピクチャーコントロール**］>［**クラウドピクチャーコントロールを登録**］でカメラにダウンロードして読み込めます。読み込んだピクチャーコントロールを静止画撮影メニューまたは動画撮影メニューの［**カスタムピクチャーコントロール**］で選んで登録すると、設定の調整が可能になります（🕮193）。



- カメラに登録していないピクチャーコントロールがNikon Imaging Cloudにある場合、カメラの静止画撮影メニューおよび動画撮影メニューのタブアイコンと［**ピクチャーコントロール**］に通知マークが表示されます。



- ピクチャーコントロールをダウンロードして読み込むには、カメラとNikon Imaging CloudをWi-Fi接続している必要があります。カメラのネットワークメニュー［**Nikon Imaging Cloud**］>［**Nikon Imaging Cloudと接続**］を［**ON**］にして、Nikon Imaging Cloudの接続設定をオンにしてください。
- Nikon Imaging Cloudでカメラにピクチャーコントロールを送信する方法、および接続設定をオンにする方法については、Nikon Imaging Cloudのヘルプをご覧ください。

動画撮影の機能

動画の記録ファイル形式について

動画の記録ファイル形式は動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］で設定できます。

・動画ファイル形式はMOVまたはMP4です。

項目	内容	YCbCr
［**H.265 10-bit（MOV）**］	業務用の動画編集で使用する高性能なパソコンで編集を行うことを前提とした記録形式です。 ・動画の階調モードを［**SDR**］、［**HLG**］または［**N-Log**］から選べます。 ・フレーム間圧縮方式はLong GOPです。 ・音声の記録方式はリニアPCMです。	4:2:0
［**H.265 8-bit（MOV）**］	圧縮効率に優れた記録形式です。 ・フレーム間圧縮方式はLong GOPです。 ・音声の記録方式はリニアPCMです。	
［**H.264 8-bit（MP4）**］	再生の互換性が高い記録形式です。 ・フレーム間圧縮方式はLong GOPです。 ・音声の記録方式はAACです。	

階調モードについて

［**H.265 10-bit（MOV）**］を選んで▶を押すと、階調モードを選べます。

・［**H.265 8-bit（MOV）**］および［**H.264 8-bit（MP4）**］の場合や撮影モードが**SCN**の場合は、［**SDR**］に固定され、階調モードは選べません。

項目	内容
［**SDR**］	標準の明るさの幅（ダイナミックレンジ）に対応した階調モードです。
［**HLG**］	HDR（High Dynamic Range）に対応した階調モードです（🕮207）。SDRに比べて広いダイナミックレンジを出力できます。

項目	内容
［**N-Log**］	ニコン独自のLog曲線を使用した階調モードです。広いダイナミックレンジでの撮影に適しています。ポストプロダクション工程でN-Log用3D LUTを適用することで、Rec.709の表示に対応したモニターで美しく見ることができる映像に仕上がります（🕮209）。

■■色空間について

動画の色空間は次の通りです。

- ［**SDR**］：BT.709
- ［**HLG**］：BT.2100
- ［**N-Log**］：BT.2020

動画の画像サイズ/フレームレートについて

動画を記録するときの画像サイズ（ピクセル）とフレームレートは、動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］で設定できます。選べる画像サイズは、動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］で選んだ動画の記録形式によって異なります。

項目※1	動画記録形式	
	H.265 10-bit/8-bit	H.264 8-bit
［3840×2160 60p］※2、3、4	✓	—
［3840×2160 50p］※2、3、4	✓	—
［3840×2160 30p］※2	✓	—
［3840×2160 25p］※2	✓	—
［3840×2160 24p］※2	✓	—
［1920×1080 120p］※4	✓	—
［1920×1080 100p］※4	✓	—
［1920×1080 60p］	✓	✓
［1920×1080 50p］	✓	✓
［1920×1080 30p］	✓	✓
［1920×1080 25p］	✓	✓
［1920×1080 24p］	✓	✓
［1920×1080 30p 4倍スロー］※4	—	✓
［1920×1080 25p 4倍スロー］※4	—	✓
［1920×1080 24p 5倍スロー］※4	—	✓

※1　120p：119.88コマ/秒、100p：100コマ/秒、60p：59.94コマ/秒、50p：50コマ/秒、30p：29.97コマ/秒、25p：25コマ/秒、24p：23.976コマ/秒

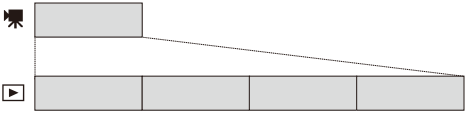
※2　4K UHD動画として記録されます。

※3 通常の動画（DXフォーマット）の約1.5倍に相当する画角で動画を撮影します。
※4 動画撮影メニュー［**電子手ブレ補正**］は［**OFF**］に固定されます。

■■スローモーション動画について

動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］で［**1920×1080 30p 4倍スロー**］、［**1920×1080 25p 4倍スロー**］、［**1920×1080 24p 5倍スロー**］を選ぶとスローモーション動画を撮影できます。

- 例えば［**1920×1080 30p 4倍スロー**］の場合、120pのフレームレートで読み出した画像を30pの動画として記録します。約10秒間撮影した動画は、約40秒かけて再生されます。スポーツでのボールのインパクトの瞬間など、一瞬の出来事をゆっくりと見ることができます。



- 音声は記録されません。
- カスタムメニューg10［**シャッタースピード延長（S/Mモード）**］は無効になります。
- 画像を読み出すときのフレームレートと、動画を記録および再生するときのフレームレートは次の通りです。

画像サイズ/フレームレート	画像を読み出すときのフレームレート※	動画を記録・再生するときのフレームレート※
1920×1080 30p 4倍スロー	120p	30p
1920×1080 25p 4倍スロー	100p	25p
1920×1080 24p 5倍スロー	120p	24p

※ 120p：119.88コマ/秒（fps）、100p：100コマ/秒、30p：29.97コマ/秒、25p：25コマ/秒、24p：23.976コマ/秒

- 最長記録時間は約3分です。

☑ スローモーション動画撮影時のご注意

・次の機能など、スローモーション動画撮影中は使用できなくなる機能があります。
- 動画フリッカー低減
- 電子手ブレ補正
- タイムコード出力
- ハイレゾズーム

・外部レコーダーにHDMI出力して録画する場合、スローモーションにならず等倍速の動画として記録されます。

ビットレートについて

ビットレートは動画記録形式によって異なります。

項目	動画記録形式		
	H.265 10-bit	H.265 8-bit	H.264 8-bit
[3840×2160 60p]	約340Mbps	約300Mbps	—
[3840×2160 50p]			—
[3840×2160 30p]	約190Mbps	約150Mbps	—
[3840×2160 25p]			—
[3840×2160 24p]			—
[1920×1080 120p]			—
[1920×1080 100p]			—
[1920×1080 60p]	約100Mbps	約80Mbps	約50Mbps
[1920×1080 50p]			
[1920×1080 30p]	約50Mbps	約40Mbps	約30Mbps
[1920×1080 25p]			
[1920×1080 24p]			
[1920×1080 30p 4倍スロー]	—	—	約30Mbps
[1920×1080 25p 4倍スロー]	—	—	

項目	動画記録形式		
	H.265 10-bit	H.265 8-bit	H.264 8-bit
［1920×1080 24p 5倍スロー］	—	—	約30Mbps

動画撮影時の撮影モードについて

動画撮影時に設定できる露出の機能は、撮影モードによって異なります。

撮影モード	絞り値	シャッタースピード	ISO感度
AUTO（AUTO）	—	—	—
P プログラムオート	—	—	—※1
S シャッター優先オート	—	✓※2	—※1
A 絞り優先オート	✓	—	—※1
M マニュアル	✓	✓※2	✓※3
SCN	—	—	—

※1　動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**制御上限感度**］でISO感度の上限を設定できます。

※2　シャッタースピードは1/25〜1/4000秒の範囲で設定できます。低速側の制限は、動画のフレームレートによって異なります。

※3　動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**Mモード時の感度自動制御**］を［**ON**］に設定した場合、［**制御上限感度**］でISO 感度の上限を設定できます。

動画撮影時のご注意とヒント

動画撮影時には次のことにご注意ください。

- 1回の動画撮影の最長記録時間は125分です。
- 32GB以下のメモリーカードを使用する場合、動画は最大8個のファイルに分割されて記録されることがあります。分割された各ファイルのファイルサイズは最大で4GBです。1回の撮影で作成されるファイルの数と1ファイルあたりの記録時間は［**画像サイズ/フレームレート**］の設定によって異なります。
- メモリーカードの書き込み速度によっては、最長記録時間に満たないで記録が自動的に終了する場合があります。
- （動画記録禁止）マーク（🕮100）が表示されているときは、動画記録できません。
- 動画撮影時は測光モードを［**スポット測光**］に設定できません。
- 動画撮影時は、内蔵フラッシュおよび別売のスピードライト（🕮423）は発光しません。

ヒント：動画記録中のホワイトバランスの変更について

動画記録中に**Fn1**ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ホワイトバランスの設定を変更できます。

ヒント：シャッタースピードを固定して撮影するには

撮影モード**S**または**M**で動画撮影する場合、シャッタースピードを1/25～1/4000秒の範囲で設定できます（動画のフレームレートによって、低速側の制限が異なります）。

ヒント：リモートコードについて

カスタムメニューg2［**カスタムボタンの機能**］>［**シャッターボタン**］を［**動画撮影**］に設定すると、別売のリモートコードのシャッターボタンを半押ししてピント合わせを行ったり、全押しして動画記録の開始と終了を行えます。

ヒント：外部マイクについて

市販の3.5mmミニプラグマイクを外部マイク入力端子に接続すると、外部マイクを使用して動画撮影することができます。

- 使用する外部マイクに電源を供給するかどうかを動画撮影メニュー［**マイク端子のプラグインパワー**］で設定できます（🕮526）。

HLG動画の撮影について

HLG動画はHLG（Hybrid Log Gamma）方式で撮影された動画のことで、HDR放送などに使用されます。動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］を［**H.265 10-bit（MOV）**］に設定し、階調モードで［**HLG**］を選ぶと、HLG方式の動画を撮影できます。

- 撮影モードが**SCN**の場合、HLG方式の動画を撮影できません。
- 撮影画面に**HLG**が表示されます。
- 撮影したHLG動画を適切な色表現で再生するには、HLGに対応したモニター、パソコン、OS、アプリケーションなどの環境が必要です。

HLG動画撮影時のご注意

- 階調モードを［**HLG**］に設定すると、［**SDR**］または［**N-Log**］と比べて撮影画面にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が目立ちやすくなります。
- 動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**制御上限感度**］で設定できる下限はISO 800になります。
- 動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**Mモード時のISO感度**］で設定できる下限はISO 400になります。
- 動画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］は設定できません。動画撮影メニュー［**HLG画質調整**］で画像の仕上がりを調整できます。
- 動画撮影メニュー［**アクティブD-ライティング**］は［**しない**］に固定されます。
- 画像モニターにチラつきやざらつきが見えることがあります。
- オートフォーカス時にピントが合いにくくなりますが故障ではありません。

HDR（HLG）出力について

HDMIを使用して外部機器にHDR（HLG）出力を行う場合、適切な色再現を行うには、記録機器やモニターなど、HDR（HLG）に対応した環境が必要です。接続機器からHDR（HLG）に対応しているという信号を受信したときは、ガンマ：HLGという識別信号を送ります。

階調モードHLG設定時のカメラの画像モニター/ファインダーの表示について

階調モードを［**HLG**］に設定すると、カメラの撮影画面または再生画面にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生したり、高彩度やハイライトの再現性が低下したりする場合があります。適切な階調を確認するには、HLGに対応したモニター、パソコン、OS、アプリケーションなどをご使用ください。

HLG動画の再生/編集について

HLG動画を再生/編集するには、HLG動画に対応したパソコン用ソフトウェアが必要です。ニコンのソフトウェアNX Studioではサムネイル表示されますが、再生/編集はできませんのでご注意ください。

N-Log動画の撮影について

光量を対数関数でデジタル化した「Log」を使用して動画撮影することを「Log撮影」と呼びます。動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］を［**H.265 10-bit（MOV）**］に設定して階調モードで［**N-Log**］を選ぶと、ニコン独自のLogであるN-Logを使用したLog撮影を行えます。N-Logを使用すると、ハイライト側およびシャドー側の階調とびを抑えた色飽和の少ない動画を撮影できます。

- 撮影モードが**SCN**の場合、N-Logを使用したLog撮影を行えません。
- 撮影画面に**N-LOG**が表示されます。
- ISO 800時のダイナミックレンジは13+stops（1300%）です。
- N-Logはポストプロダクション工程でカラーグレーディングを行うことを前提としています。カラーグレーディングを行うと、ひとつの素材をさまざまな雰囲気に変更できます。
- カラーグレーディングを行うには、対応する他社製の動画編集用ソフトウェアが必要です。
- カラーグレーディング時に「N-Log用3D LUT」を適用することで、Rec.709の表示に対応したモニターで美しく見ることができる映像に仕上がります。
  - N-Log用3D LUTは、ニコンダウンロードセンターで公開されています。
    https://downloadcenter.nikonimglib.com/

N-Log撮影時のご注意

- 動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**制御上限感度**］で設定できる下限はISO 1600になります。
- 動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**Mモード時のISO感度**］でLo 0.3～2.0、またはISO 800～25600に設定できます。
- 動画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］、［**アクティブD-ライティング**］、［**高感度ノイズ低減**］、［**美肌効果**］、［**人物印象調整**］は設定できません。
- 画像モニターにチラつきやざらつきが見えることがあります。
- オートフォーカス時にピントが合いにくくなりますが故障ではありません。

ビューアシストについて

N-Log撮影時は撮影画面が低コントラストで表示されます。カスタムメニューg11［**ビューアシスト**］を［**ON**］に設定すると、簡易的な階調補正を適用してカメラの撮影画面に表示します。

・撮影画面にASSISTが表示されます。
・実際に記録している動画には影響ありません。
・カメラでN-Log動画を再生する場合にも階調補正が適用されます。

ハイレゾズームについて

動画撮影メニュー［**ハイレゾズーム**］を［**ON**］に設定すると、ズームレンズを使用しなくても画質の劣化なくズーミングを行えます。

・ハイレゾズームは、動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］が［**1920×1080 30p**］、［**1920×1080 25p**］または［**1920×1080 24p**］の場合に使用できます。

ハイレゾズームでズーミングを行う

動画撮影メニュー［**ハイレゾズーム**］を［**ON**］にし、マルチセレクターの◀▶を押すとハイレゾズームでズーミングを行えます。

・ハイレゾズームが有効な場合、画面に🖼アイコンが表示されます。

・ズーム操作中は拡大率を示すバーが表示され、現在の倍率を確認できます。2倍までズーミングできます。

ハイレゾズームについてのご注意

・AFエリアモードは［**ワイドエリアAF（L）**］に固定されます。フォーカスポイントは表示されません。

・動画撮影メニュー［**電子手ブレ補正**］は［**OFF**］に固定されます。

ヒント: ボタン操作でハイレゾズームを行う

カスタムメニューg2［**カスタムボタンの機能**］で［**ハイレゾズーム（望遠側）**］および［**ハイレゾズーム（広角側）**］を割り当てたボタンを操作してズーミングを行うこともできます。

・ カスタムメニューg2［**カスタムボタンの機能**］でハイレゾズームのズーミング機能を割り当てられるボタンは［**Fn1ボタン**］、［**Fn2ボタン**］、［**レンズのFnリング（右回し）**］、［**レンズのFnリング（左回し）**］、［**レンズのコントロールリング**］です。

- ［**Fn1ボタン**］、［**Fn2ボタン**］、［**レンズのFnリング（右回し）**］、［**レンズのFnリング（左回し）**］に割り当てている場合、カスタムメニューg7［**ハイレゾズーム速度**］でハイレゾズームの速度を設定できます。
- ［**レンズのコントロールリング**］に割り当てている場合、カスタムメニューf11［**コントロールリングの感度**］で感度を設定できます。
- カスタムメニューf12［**フォーカス/コントロールリング入れ換え**］に対応したレンズを装着して［**ON**］に設定した場合、コントロールリングの代わりにフォーカスリングでハイレゾズームを行えます。

商品レビューモードについて

動画撮影メニュー［**商品レビューモード**］を［**有効**］または［**有効（カスタム）**］に設定すると、カメラに近いものにピントを合わせます。カメラの前に商品を出すとピントが切り替わるので、商品レビュー動画を撮影する場合に便利です。

- ［**有効**］に設定すると、撮影画面全域の被写体にピントを合わせます。
- ［**有効（カスタム）**］に設定すると、ピント合わせを行うAFエリアのサイズを、フォーカスポイントの縦と横の数で設定できます。［**有効（カスタム）**］を選んで▶を押すと、AFエリアのサイズを設定できます。▲▼で縦方向、◀▶で横方向のフォーカスポイントの数を変更できます。

商品レビューモードについて

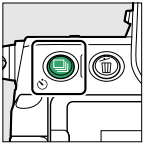
- ［**商品レビューモード**］は、動画モードでのみ有効です。
- ［**有効**］または［**有効（カスタム）**］に設定した場合、商品レビュー撮影に適した状態に一括で設定されます。そのため、フォーカスモードやAFエリアモードなどの設定を変更できません。

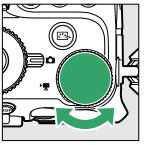
ヒント: ［有効（カスタム）］のAFエリアをカスタムボタンの機能で設定する

［**有効（カスタム）**］に設定した場合、カスタムメニューg2［**カスタムボタンの機能**］で［**フォーカスモード/AFエリアモード**］を割り当てたボタンを押しながらマルチセレクターを操作しても、AFエリアのサイズを設定できます。

動画セルフタイマーについて

動画セルフタイマーで撮影すると、設定した時間が過ぎると自動的に動画撮影が開始されます。
動画モードで🖳（⏲）ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、動画セルフタイマーを設定できます。





- ［**しない**］以外に設定して動画撮影ボタンを押すと、撮影画面に動画撮影が開始されるまでのカウントダウンが表示され、セルフタイマーランプが点滅します。セルフタイマーランプは、撮影2秒前になると点滅から点灯に変わります。
- 動画セルフタイマーは動画撮影メニューの［**動画セルフタイマー**］でも設定できます。

動画セルフタイマーについて

（動画記録禁止）マークが表示されている場合など、動画撮影ができない状態では、セルフタイマーは作動しません。

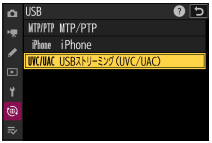
ライブ配信について（USBストリーミング（UVC/UAC））

付属のUSBケーブルでカメラとスマートフォンまたはパソコンを接続して、カメラからの映像や音声をスマートフォンまたはパソコンのライブ配信ソフトウェアやWeb会議アプリケーションで利用することができます。

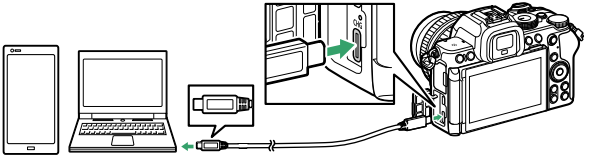
ライブ配信（ストリーミング）を行う

ネットワークメニュー［**USB**］を［**USBストリーミング（UVC/UAC)**］に設定し、付属のUSBケーブルでカメラとスマートフォンまたはパソコンを接続するとストリーミング（ライブ配信）を行えます。

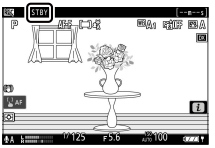
1 **カメラ：ネットワークメニュー［USB］で［USBストリーミング（UVC/UAC)］を選び、Ⓚボタンを押す**



2 付属のUSBケーブルでカメラとスマートフォンまたはパソコンを接続する



・カメラがストリーミング待機状態になり、撮影画面に配信開始の操作をうながすメッセージとSTBYが表示されます。
・静止画/動画セレクターの設定にかかわらず、動画モードの撮影画面が表示されます。ホワイトバランスやピクチャーコントロールなどの設定は、動画モード時の設定がストリーミング映像に反映されます。



3 **スマートフォン/パソコン：スマートフォンやパソコンのライブ配信アプリケーションなどで配信を開始する**

・カメラがストリーミングを開始し、撮影画面にLIVEが表示されます。

・ストリーミング映像は、次のように出力されます。

- 画像サイズ/フレームレート：1080/60p、1080/30p、720/60p、720/30p（スマートフォン/パソコンの機種や仕様によって、アプリケーション/ソフトウェアで選択できる設定が異なります）
- 映像方式：MJPEG
- 音声方式：PCM、16 bit、ステレオ

ストリーミング時のご注意

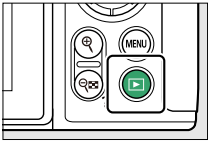
- ライブ配信（ストリーミング）を行う場合は、あらかじめスマートフォンまたはパソコンにライブ配信ソフトウェアやWeb会議アプリケーションがインストールされていることを確認してください。
- 次のような場合は、ストリーミングは自動的に終了します。
  - ネットワークメニュー［**USB**］を［**USBストリーミング（UVC/UAC）**］以外に設定したとき
  - USBケーブルを抜いて接続を解除したとき
  - 電源をOFFにしたとき
- 次の場合など、ストリーミングとは同時に使用できない機能や設定があります。
  - 動画撮影
  - 拡大表示
  - HDMI接続
  - ストリーミング以外のスマートフォン/パソコンとの通信（ソフトウェアNX Studioなど）
- ストリーミング中でも一部のメニューは設定できますが、メニュー操作中はグレーの映像がストリーミングされます。
- スマートフォン/パソコンのOSや機種によっては、ストリーミングで使用するアプリケーション/ソフトウェア以外に、接続用のアプリケーション/ソフトウェアが必要になる場合があります。
- すべてのスマートフォン/パソコンで動作することを保証するものではありません。

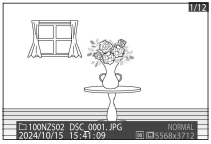
画像の再生

画像を再生する

1コマ表示モード

▶ボタンを押すと、最後に撮影した画像が画像モニターまたはファインダーに表示されます。

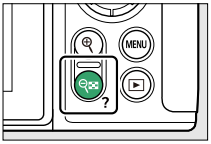


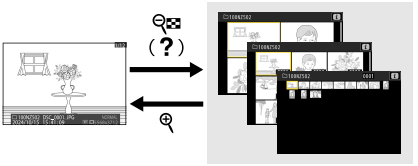


- マルチセレクターの◀を押すと前の画像が、▶を押すと次の画像が表示されます。
- ▲▼または**DISP**ボタンを押すと、表示中の画像についての詳しい情報が表示されます（🕮222）。

サムネイル表示モード

1コマ表示モードのときに（?）ボタンを押すと、複数の縮小画像（サムネイル画像）を表示する「サムネイル表示モード」に切り替わります。





- 表示される画像の数は、（?）ボタンを押すたびに4コマ、9コマ、72コマの順に増え、ボタンを押すたびに減ります。
- マルチセレクターの▲▼◀▶を押して画像を選びます。

タッチパネルでの操作について

画像モニターで再生している場合、タッチ操作で再生画面を切り換えることができます（🕮57）。

［画像の自動回転］について

再生メニュー［**画像の自動回転**］を［**ON**］に設定すると、縦位置で撮影した画像を横位置で再生する場合、または横位置で撮影した画像を縦位置で再生する場合に、画像が自動的に回転します。

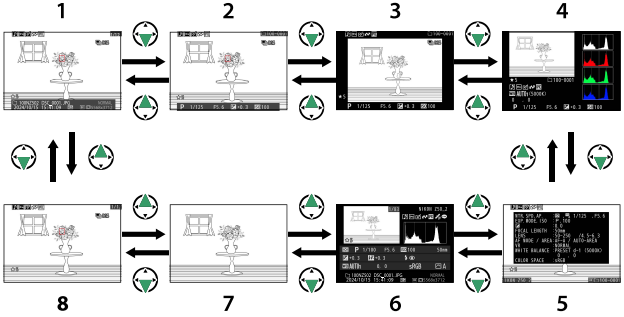
撮影直後の画像確認について

再生メニュー［**撮影直後の画像確認**］を［**する**］に設定している場合、▶ボタンを押さなくても、撮影した画像を自動的に画像モニターまたはファインダーに表示します。

- ［**する（画像モニター表示のみ）**］に設定している場合、ファインダーには撮影画像は表示されません。
- 連続撮影時は、撮影終了後に最初のコマから順次画像を表示します。
- 再生メニュー［**画像の自動回転**］を［**ON**］に設定していても、撮影直後の画像確認時は自動回転しません。

画像情報を表示する

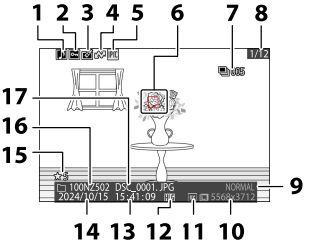
1コマ表示モードでは、画像についての詳しい情報を見ることができます。マルチセレクターの▲▼または**DISP**ボタンを押すと、次のように撮影情報の表示が切り替わります。



1	標準表示	5	撮影情報※
2	露出情報※	6	統合表示※
3	ハイライト表示※	7	画像のみ表示※
4	RGBヒストグラム※	8	ファイル情報※

※　再生メニュー［**再生画面設定**］で設定している場合のみ表示します。

標準表示

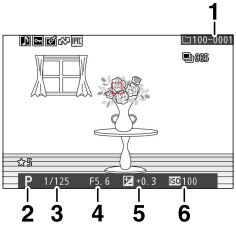


1	音声メモの有無（🕮304）
2	プロテクト設定の有無（🕮245）
3	画像編集の有無（🕮260）
4	送信指定の有無（🕮249）
5	IPTCプリセット添付の有無（🕮641）
6	フォーカスポイント※1（🕮121）
7	連続撮影グループ先頭/グループの総枚数※2（🕮621）
8	コマ番号/フォルダー内全画像数
9	画質モード（🕮107）
10	画像サイズ（🕮108）
11	撮像範囲（🕮106）
12	HLGマーク（🕮439）
13	撮影時刻（🕮628）
14	撮影日付（🕮628）
15	レーティング（🕮247）
16	フォルダー名（🕮433）
17	ファイル名（🕮436）

※1 再生メニュー［**再生画面設定**］で［**フォーカスポイント**］を設定した場合のみ表示します。

※2 再生メニュー［**再生画面設定**］で［**グループの先頭表示**］を設定し、連続撮影グループ先頭の画像を再生したときのみ表示します。

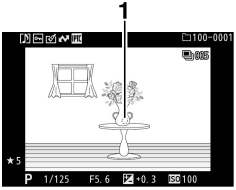
露出情報



1	フォルダー番号-ファイル名を表す4桁の数字（🕮433）
2	撮影モード（🕮129）
3	シャッタースピード（🕮131、🕮132）
4	絞り値（🕮131、🕮132）
5	露出補正値（🕮148）
6	ISO感度※（🕮156）

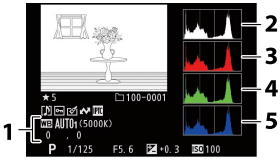
※　感度自動制御した画像の場合、ISO感度を赤く表示します。

ハイライト表示



1	画像のハイライト部分（画像の中の非常に明るい部分）を各色ごとに点滅表示します。

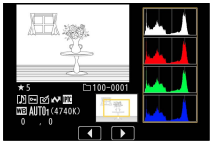
RGBヒストグラム



1	ホワイトバランス（🕮159） ホワイトバランス色温度（🕮168） プリセットマニュアル（🕮173） ホワイトバランス微調整（🕮163）
2	RGBのヒストグラム
3	赤色（R）のヒストグラム
4	緑色（G）のヒストグラム
5	青色（B）のヒストグラム

拡大ヒストグラム表示について

RGBヒストグラム表示で🔍ボタンを押すと、ヒストグラム表示のまま拡大画面になります。拡大ヒストグラム表示では、拡大領域のヒストグラムを表示することができます。また、拡大表示中にマルチセレクターを操作すると画面をスクロールして見たい部分に移動できます。🔍（?）ボタンを押すと画像を縮小表示します。



ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、画像の明るさ（輝度）の分布を表すグラフのことです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を示しています。

・いろいろな明るさの被写体が写っている画像では、グラフの山が全体的に分布したヒストグラムになります。

・暗い画像はヒストグラムの分布が左側に寄った形になります。

・明るい画像はヒストグラムの分布が右側に寄った形になります。

露出補正を＋側にすれば山が右側に寄り、－側にすれば山が左側に寄ります。屋外などで周りが明るすぎて画像モニターでは画像の明るさが確認しにくいときでも、ヒストグラムから画像全体の露出傾向を確認することができます。

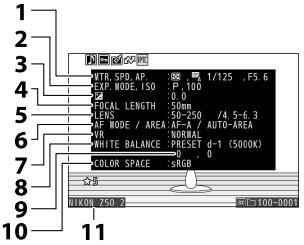
ヒストグラム表示について

・RGBヒストグラムは明るさ（輝度）を表示しています。
・ヒストグラム表示は、画像加工アプリケーションで表示されるヒストグラムと異なることがあります。目安としてお使いください。

撮影情報

撮影時の設定の詳細を表示します。撮影情報では複数の詳細情報のページがあり、マルチセレクターの▲▼で表示を切り換えます。表示する詳細情報のページは、再生メニュー［**再生画面設定**］>［**撮影情報の詳細**］で設定できます。

■■撮影基本情報



1	測光モード（🕮452） シャッター方式（🕮549） シャッタースピード（🕮131、🕮132） 絞り値（🕮131、🕮132）
2	撮影モード（🕮129） ISO感度※1（🕮156）
3	露出補正値（🕮148） 基準露出レベルの調節値※2（🕮544）
4	焦点距離
5	レンズ情報
6	フォーカスモード（🕮110） AFエリアモード（🕮112）
7	手ブレ補正機能（🕮457）
8	ホワイトバランス※3（🕮159）
9	ホワイトバランス微調整（🕮163）
10	色空間（🕮442）
11	カメラ名

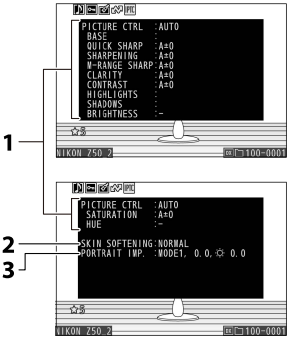
※1　感度自動制御した画像の場合、ISO感度を赤く表示します。
※2　カスタムメニューb6［**基準露出レベルの調節**］を0以外に設定している場合のみ表示します。

※3 WB**A**［**オート**］、☀**A**［**自然光オート**］、または**PRE**［**プリセットマニュアル**］で撮影した場合は、撮影時の色温度が表示されます。

フラッシュ情報

1 フラッシュの種類
2 リモートフラッシュの制御方法
3 フラッシュモード（🕮415）
4 フラッシュ発光モード（🕮425、🕮454）
調光補正値（🕮419）

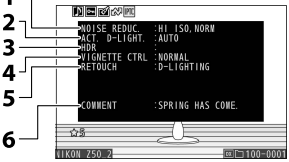
ピクチャーコントロール/HLG情報



1 ピクチャーコントロール※1（🕮180）
ピクチャーコントロール（HLG）※1（🕮442）
HLG画質調整（🕮518）
2 美肌効果（🕮447）
3 人物印象調整※2（🕮448）

※1 表示される項目は、撮影時に設定したピクチャーコントロールによって異なります。
※2 設定したモードと調整値が表示されます。

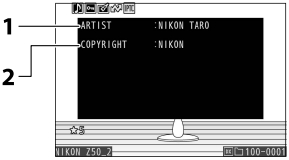
■■撮影情報その他



1	高感度ノイズ低減（🕮445） 長秒時ノイズ低減（🕮444）
2	アクティブD-ライティング（🕮443）
3	HDR強度（🕮480）
4	ヴィネットコントロール（🕮446）
5	再生時の**i**メニュー［**画像編集**］（🕮260）で行われた画像編集の内容が一覧表示されます。複数の画像編集が行われた場合は、順番に表示されます。
6	画像コメント（🕮639）

■■著作権情報

セットアップメニュー［**著作権情報**］を設定して撮影した画像の場合のみ表示します。



1	撮影者名（🕮640）
2	著作権者名（🕮640）

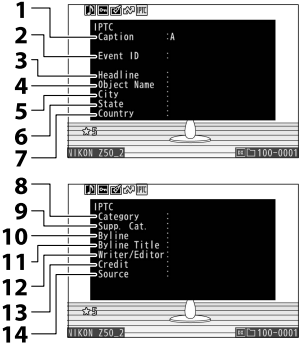
■■位置情報

緯度、経度など、スマートフォンで位置情報を取得して撮影した画像の場合のみ表示します。

・表示される項目は、位置情報を取得したスマートフォンによって異なります。

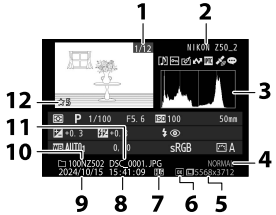
・動画の場合は、動画撮影開始時に取得した情報を表示します。
・お使いのスマートフォンのOSおよびSnapBridgeアプリのバージョンによっては、位置情報の取得や表示ができない場合があります。

IPTC情報

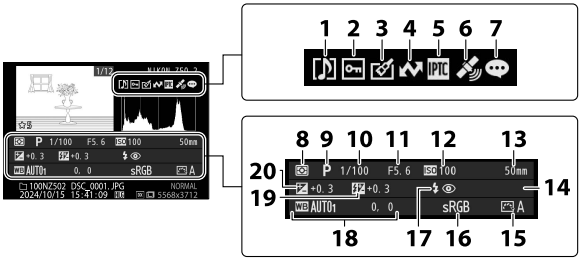


1	Caption	8	Category
2	Event ID	9	Supp. Cat.（Supplemental Categories）
3	Headline	10	Byline
4	Object Name	11	Byline Title
5	City	12	Writer/Editor
6	State	13	Credit
7	Country	14	Source

統合表示



1	コマ番号/フォルダー内全画像数
2	カメラ名
3	画像のヒストグラム（🕮226）
4	画質モード（🕮107）
5	画像サイズ（🕮108）
6	撮像範囲（🕮106）
7	HLGマーク（🕮439）
8	撮影時刻（🕮628）
9	撮影日付（🕮628）
10	フォルダー名（🕮433）
11	ファイル名（🕮436）
12	レーティング（🕮247）

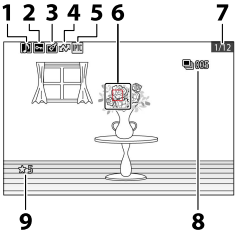


1	音声メモの有無（🕮304）
2	プロテクト設定の有無（🕮245）
3	画像編集の有無（🕮260）
4	送信指定の有無（🕮249）
5	IPTCプリセット添付の有無（🕮641）
6	位置情報の有無
7	画像コメントの有無（🕮639）
8	測光モード（🕮452）
9	撮影モード（🕮129）
10	シャッタースピード（🕮131、🕮132）
11	絞り値（🕮131、🕮132）
12	ISO感度※1（🕮156）
13	焦点距離
14	アクティブD-ライティング（🕮443）
15	ピクチャーコントロール（🕮180）
16	色空間（🕮442）
17	フラッシュモード（🕮415）
18	ホワイトバランス（🕮159） ホワイトバランス色温度（🕮168） プリセットマニュアル（🕮173） ホワイトバランス微調整（🕮163）
19	調光補正値（🕮419） コマンダーモードの有無※2
20	露出補正値（🕮148）

※1 感度自動制御された画像の場合、ISO感度を赤く表示します。

※2 別売のスピードライト使用時にのみ表示します（🕮422、🕮426）。

ファイル情報



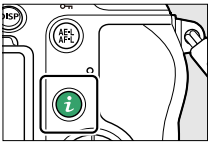
1	音声メモの有無（🕮304）
2	プロテクト設定の有無（🕮245）
3	画像編集の有無（🕮260）
4	送信指定の有無（🕮249）
5	IPTCプリセット添付の有無（🕮641）
6	フォーカスポイント※1（🕮121）
7	コマ番号/フォルダー内全画像数
8	連続撮影グループ先頭/グループの総枚数※2（🕮621）
9	レーティング（🕮247）

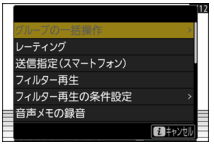
※1 再生メニュー［**再生画面設定**］で［**フォーカスポイント**］を設定した場合のみ表示します。

※2 再生メニュー［**再生画面設定**］で［**グループの先頭表示**］を設定し、連続撮影グループ先頭の画像を再生したときのみ表示します。

iボタン（再生時）

1コマ表示モード、サムネイル表示モードまたは拡大表示時にiボタンを押すと、iメニューが表示されます。項目を選んでOKボタンまたはマルチセレクターの▶を押すと、選んだ項目の設定画面が表示されます。





再生画面に戻るには、もう一度iボタンを押してください。

静止画選択時

項目	内容
［**簡易トリミング**］※1	画像の拡大表示された部分だけを切り抜きます。RGBヒストグラム表示（🕮225）の場合は選べません。
［**グループの一括操作**］	再生メニュー［**グループ再生の設定**］>［**サムネイルのグループ表示**］を［**ON**］に設定している場合、1回の連続撮影で記録した画像全てに対して送信指定、プロテクト（保護）、または削除ができます。 ・画像の送信指定はNikon Imaging Cloud、パソコン、FTPサーバーにのみ行えます。
［**レーティング**］	選んだ画像にレーティングを設定します（🕮247）。
［**送信指定（クラウド）**］	画像の送信指定を行えます（🕮249）。表示される項目は、現在カメラと接続している接続先により異なります。
［**送信指定（スマートフォン）**］	
［**送信指定（PC）**］	

項目	内容
［**送信指定（FTP）**］	画像の送信指定を行えます（🕮249）。表示される項目は、現在カメラと接続している接続先により異なります。
［**優先送信指定（PC）**］ ［**優先送信指定（FTP）**］	画像の優先送信指定（🕮249）を行えます。カメラをパソコンまたはFTPサーバーと接続している場合にのみ表示されます。
［**一括送信指定（クラウド）**］ ［**一括送信指定（PC）**］ ［**一括送信指定（FTP）**］	フィルター再生（🕮251）を行ったときに、フィルター再生の条件に当てはまった全ての画像に送信指定を行えます。 ・カメラをNikon Imaging Cloud、パソコン、FTPサーバーのいずれかと接続している場合にのみ表示されます。 ・［**一括送信指定（クラウド）**］の場合、動画は送信指定できません。 ・［**一括送信指定（PC）**］および［**一括送信指定（FTP）**］の場合、ファイルサイズ4GBを超える動画は送信指定できません。
［**フィルター再生**］	設定された条件に当てはまる画像のみを再生します（🕮251）。
［**フィルター再生の条件設定**］	フィルター再生する場合に、どの条件の画像を再生するかを設定できます。
［**音声メモの録音**］	選んだ静止画に音声メモを録音します（🕮301）。
［**音声メモの再生**］	音声メモを再生します（🕮304）。
［**画像編集**］	選んだ静止画を編集できます（🕮260）。
［**フォルダー指定**］	フォルダーを切り換えられます。フォルダーを選んでⓄKボタンを押すと、フォルダー内の画像が表示されます。
［**プロテクト**］	現在選ばれている画像を、削除しないようにプロテクト（保護）します（🕮245）。
［**プロテクト一括解除**］※2	再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定されているフォルダー内の全ての画像のプロテクトを一括で解除できます。

項目	内容
［**IPTC**］	選んだ静止画に設定したIPTC情報を添付します（🕮641）。
［**編集前後の画像表示**］※3	画像編集を行った画像を、元画像と並べて表示して、画像編集の効果を確認できます。
［**スライドショー**］	現在表示している画像と、それ以降に撮影した画像を記録された順番に1コマずつ連続再生します（🕮253）。

※1　拡大表示している場合のみ表示されます。
※2　拡大表示している場合は表示されません。
※3　編集後の画像（🖻が表示されている画像）または編集元の画像を選択しているときのみ表示されます。

ヒント: [編集前後の画像表示] について

[**編集前後の画像表示**] を選ぶと、画像編集で作成した画像と画像編集の元画像を比較しながら、画像編集の効果を確認できます。

1 画像編集の内容
2 編集前の画像
3 編集後の画像

- 編集前の画像が左側、編集後の画像が右側に表示されます。
- 画像編集の内容は、2つの画像の上に表示されます。
- マルチセレクターの◀▶で、編集前/編集後の画像を切り換えられます。
- 画像合成の元画像の場合、▲▼で2枚の元画像を切り換えられます。
- 1枚の元画像から複数の画像編集を行った場合、▲▼で編集後の画像を切り換えられます。
- Qボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- ⊛ボタンを押すと、黄色の枠で選択中の画像を1コマ表示します。
- ▶ボタンを押すと、再生画面に戻ります。
- プロテクトされている画像を編集した場合は、編集前の画像は表示されません。
- 編集元の画像を削除した場合、編集前の画像は表示されません。

動画選択時

項目	内容
[**レーティング**]	選んだ動画にレーティングを設定します（🕮247）。
[**送信指定 (PC)**]	動画の送信指定を行えます（🕮249）。カメラをパソコンまたはFTPサーバーと接続している場合にのみ表示されます。
[**送信指定 (FTP)**]	

*i*ボタン（再生時）

項目	内容
［**優先送信指定（PC）**］	動画の優先送信指定（🕮249）を行えます。カメラをパソコンまたはFTPサーバーと接続している場合にのみ表示されます。
［**優先送信指定（FTP）**］	
［**一括送信指定（クラウド）**］	フィルター再生（🕮251）を行ったときに、フィルター再生の条件に当てはまった全ての画像に送信指定を行えます。 ・カメラをNikon Imaging Cloud、パソコン、FTPサーバーのいずれかと接続している場合にのみ表示されます。 ・［**一括送信指定（クラウド）**］の場合、動画は送信指定できません。 ・［**一括送信指定（PC）**］および［**一括送信指定（FTP）**］の場合、ファイルサイズ4GBを超える動画は送信指定できません。
［**一括送信指定（PC）**］	
［**一括送信指定（FTP）**］	
［**フィルター再生**］	設定された条件に当てはまる画像のみを再生します（🕮251）。
［**フィルター再生の条件設定**］	フィルター再生する場合に、どの条件の画像を再生するかを設定できます。
［**音量調節**］	動画再生時の音量を調節できます。
［**動画編集（始点/終点設定）**］	選んだ動画の前半、後半、または前後両端を切り取って、選択した範囲だけを残すことができます（🕮294）。
［**フォルダー指定**］	フォルダーを切り換えられます。フォルダーを選んで㊗ボタンを押すと、フォルダー内の画像が表示されます。
［**プロテクト**］	現在選ばれている動画を、削除しないようにプロテクト（保護）します（🕮245）。
［**プロテクト一括解除**］	再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定されているフォルダー内の全ての画像のプロテクトを一括で解除できます。
［**スライドショー**］	現在表示している動画と、それ以降に撮影した画像を記録された順番に1コマずつ連続再生します（🕮253）。

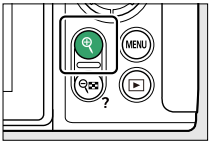
項目	内容
［**再生の速度**］	動画の再生速度を［**等倍再生**］、［**1/2再生**］、［**1/4再生**］から選べます。［**1/2再生**］または［**1/4再生**］を選ぶと、1/2倍または1/4倍の速度でスロー再生されます。 再生速度を変更した場合、変更した再生速度は全ての動画再生時に適用されます。

動画再生一時停止時

項目		内容
	［**動画編集（始点/終点設定）**］	動画の必要な部分だけを残します（🕮294）。
	［**表示中のフレームを保存**］	選択した1フレームを切り出して、JPEG画像として保存します（🕮298）。
	［**フレームを連続保存**］	指定した秒数分のフレームをJPEG画像として保存します（🕮299）。
［**音量調節**］		動画再生時の音量を調節できます。
［**再生の速度**］		動画の再生速度を［**等倍再生**］、［**1/2再生**］、［**1/4再生**］から選べます。［**1/2再生**］または［**1/4再生**］を選ぶと、1/2倍または1/4倍の速度でスロー再生されます。 再生速度を変更した場合、変更した再生速度は全ての動画再生時に適用されます。

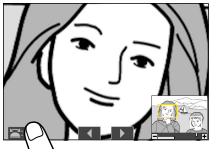
画像を拡大表示する

1コマ表示モードのときに🔍ボタンまたはOKボタンを押すか、画面を素早く2回タッチすると、拡大表示されます。拡大できる最大の大きさ（長さ比）は、画像サイズが**L**の場合は約21倍、**M**では約16倍、**S**では約10倍です（撮像範囲が［**DX（24×16）**］の場合）。拡大表示時に人物の顔を認識した場合、顔を白枠で囲み、サブコマンドダイヤルを回して順次移動することができます。



拡大表示中の操作方法

操作	内容	
拡大率を上げる/拡大率を下げる	・🔍ボタンを押すか、画面で広げる操作をするごとに拡大率が上がります。 ・🗑（**?**）ボタンを押すか、画面でつまむ操作をするごとに拡大率が下がります。	 拡大表示中に拡大率を操作すると、画面の右下にナビゲーションウィンドウが表示され、拡大表示中の部分が黄色い枠で囲んで示されます。ナビゲーションウィンドウの下には拡大率を示すバーが表示され、拡大率が等倍（100%）の場合、バーの色が緑で表示されます。ナビゲーションウィンドウは数秒すると消えます。
画面をスクロール（移動）させる	マルチセレクターを押すか、画像モニターでスライド操作すると見たい部分に移動できます。マルチセレクターを押し続けると、高速で移動します。	

操作	内容
拡大表示部分を切り抜く	**i**ボタンを押して表示されるメニューから［**簡易トリミング**］を選ぶと、画像の拡大表示された部分だけを切り抜きます。
人物の顔へ移動させる	拡大表示中に人物の顔を検出すると、画面右下のナビゲーションウィンドウに白枠が表示されます。サブコマンドダイヤルを回すか、操作ガイドをタッチすると、検出した顔に順次移動します。 
前後の画像を見る	メインコマンドダイヤルを回すと、そのままの拡大率と表示範囲で、前後の静止画を表示します（動画を選ぶと、拡大表示を終了します）。画面下部に表示される◀▶をタッチしても画像を切り換えられます。
画像を保護する	AEL/AFL（O-n）ボタンを押すと、表示中の画像にプロテクト（保護）を設定します（🕮245）。
撮影に戻る	シャッターボタンを半押しするか、▶ボタンを押すと、再生を終了します。
メニューに移る	MENUボタンを押すと、メニューが表示されます。

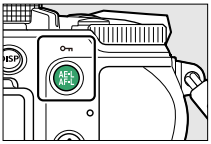
プロテクトで画像を削除できないように保護をする

大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。ただし、メモリーカードを初期化（フォーマット：🕮627）すると、プロテクトを設定した画像も削除されますのでご注意ください。

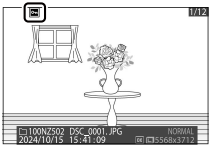
1 プロテクトする画像を選ぶ

- 1コマ表示モード/拡大表示の場合は、プロテクトする画像を表示します。
- サムネイル表示モードの場合は、プロテクトする画像をマルチセレクターで選びます。

2 AE-L/AF-L（O-n）ボタンを押す



- O-nアイコンが表示されます。



- プロテクトを解除するには、解除する画像を表示（選択）して、AE-L/AF-L（O-n）ボタンを押します。

音声メモ付き画像のプロテクトについて

音声メモが録音された画像にプロテクトを設定すると、画像と音声メモの両方がプロテクトされます。個別に設定することはできません。

プロテクトした画像をFTPサーバーに送信する場合のご注意

プロテクトした画像をFTPサーバーに送信した場合、FTPサーバーに保存された画像のプロテクトは解除されています。画像に目印を付けたい場合、レーティングを設定することをおすすめします。

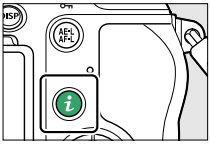
ヒント: プロテクトの一括解除について

画像の再生中に、Fn（OK）ボタンと🗑ボタンを同時に2秒以上押し続けると、再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定されているフォルダー内の全ての画像のプロテクトを一括で解除できます。

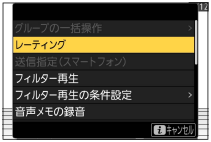
画像にレーティングを設定する

選んだ画像にレーティングを設定します。

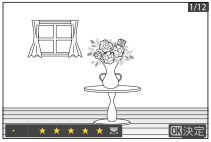
1 マルチセレクターでレーティングを設定する画像を選んでiボタンを押す



2 [レーティング] を選んでマルチセレクターの2を押す



3 レーティングを設定する



メインコマンドダイヤルを回してレーティングを選び、Wボタンを押します。レーティングは、★★★★★～★、星なし、（削除候補）から選びます。

ヒント: レーティングについて
画像に設定したレーティングは、NX Studioにも反映されます。

ヒント: ボタンとメインコマンドダイヤルでレーティングを設定する
カスタムメニューf3［**カスタムボタンの機能（再生）**］で［**レーティング**］を割り当てたボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと画像にレーティングを設定できます。

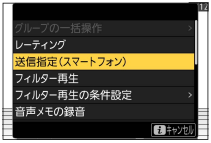
画像を選んで送信指定する

スマートフォンやパソコン、FTP サーバーに取り込みたい画像をカメラで選んで送信指定することができます。

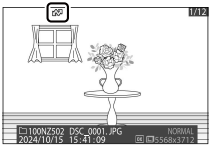
- [**送信指定（クラウド）**]、[**送信指定（スマートフォン）**]、[**送信指定（PC）**]、[**送信指定（FTP）**]：送信指定された画像は、すでに送信予定の画像がある場合、送信予定の最後に追加されます。
- [**優先送信指定（PC）**]、[**優先送信指定（FTP）**]：優先送信指定された画像は、すでに送信予定の画像があっても割り込んで、すぐに送信が始まります。
- **i**メニューに表示される項目は、現在カメラと接続している機器によって異なります。
  - ネットワークメニュー［**Nikon Imaging Cloud**］（🕮663）でNikon Imaging Cloudと接続している場合：［**送信指定（クラウド）**］
  - ネットワークメニュー［**スマートフォンと接続**］（🕮667）でスマートフォンと接続している場合：［**送信指定（スマートフォン）**］
  - ネットワークメニュー［**PCと接続**］（🕮673）でパソコンと接続している場合：［**送信指定（PC）**］、［**優先送信指定（PC）**］
  - ネットワークメニュー［**FTP サーバーと接続**］（🕮676）でFTPサーバーに接続している場合：［**送信指定（FTP）**］、［**優先送信指定（FTP）**］
- Nikon Imaging Cloudと接続している場合、またはSnapBridgeアプリを使用してスマートフォンと接続している場合、動画は送信指定できません。
- ファイルサイズが4GBを超える動画は送信指定できません。

1 送信指定する画像を選んで*i*ボタンを押す

2 **［送信指定（クラウド）］/［送信指定（スマートフォン）］/［送信指定（PC）］/［送信指定（FTP）］/［優先送信指定（PC）］/［優先送信指定（FTP）］を選んでOKボタンを押す**



送信指定した画像にアイコンが表示されます。表示されるアイコンは、使用した**i**メニューの項目よって異なります。



- ［**送信指定（クラウド）**］で送信した場合：
- ［**送信指定（スマートフォン）**］、［**送信指定（PC）**］または［**送信指定（FTP）**］で送信した場合：
- ［**優先送信指定（PC）**］、［**優先送信指定（FTP）**］で送信した場合：

送信指定を解除するには

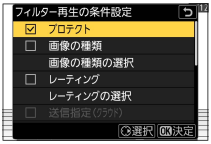
解除したい画像を選んで、手順1と2を行います。

フィルター再生する

iメニューで［**フィルター再生**］を選ぶと、再生メニューまたは再生時の**i**メニュー［**フィルター再生の条件設定**］で設定された条件に当てはまる画像のみを再生します。

［フィルター再生の条件設定］の設定項目

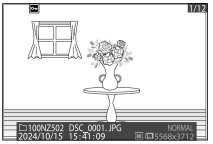
項目を選び、⊛ボタンを押すとオン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。フィルター再生時は、オン（☑）にした項目に全て当てはまる画像が表示されます。



項目	内容
［**プロテクト**］	オン（☑）にすると、プロテクトされた画像を再生対象にします。
［**画像の種類**］	オン（☑）にした画像の種類を再生対象にします。
［**レーティング**］	オン（☑）にしたレーティングの画像を再生対象にします。
［**送信指定（クラウド）**］ ［**送信指定（PC）**］ ［**送信指定（FTP）**］	・［**送信済みの画像**］をオン（☑）にすると、送信済みの画像を再生対象にします。 ・［**未送信の画像**］をオン（☑）にすると、未送信の画像を再生対象にします。 ・両方をオン（☑）にすると、送信指定した全ての画像が再生対象になります。
［**音声メモ**］	オン（☑）にすると、音声メモが録音された画像を再生対象にします。

項目	内容
［**画像編集済み**］	オン（☑）にすると、画像編集を行った画像を再生対象にします。

・フィルター再生時は、画像モニターの周りに白枠が表示されます。

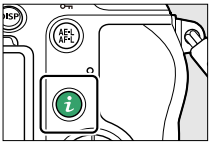


・もう一度［**フィルター再生**］を選ぶとフィルター再生を解除します。

スライドショーを再生する

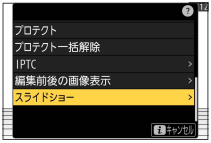
iメニューで［**スライドショー**］を選ぶと、撮影した画像を記録された順番に1コマずつ連続再生します。1コマの静止画を表示する時間も設定できます。

1 マルチセレクターでスライドショーを開始したい画像を選んでi**ボタンを押す**



選んだ画像と、それ以降に撮影した画像が連続再生されます。

2 ［スライドショー］を選んでマルチセレクターのJ**を押す**



［**インターバル設定**］を選んで**J**を押すと、1コマの静止画を表示する時間を設定できます。

3 ［開始］を選んでK**ボタンを押す**

- スライドショーが開始されます。
- 動画は［**インターバル設定**］にかかわらず、動画のサムネイルを一定時間表示した後に再生を開始します。
- 再生が終わるとメッセージが表示され、再生画面に戻ります。

スライドショー再生中の操作について

スライドショーの再生中は、次の操作が可能です。

操作	内容
1コマ進む/戻る	マルチセレクターの◀を押すと前の画像が、▶を押すと次の画像が表示されます。
画像情報を切り換える	▲▼または**DISP**ボタンを押すと、静止画再生時に画像情報の切り換えができます。画像情報を［**画像のみ**］に切り換えると、画像だけをスライドショーで再生できます。
動画再生中に音量を調節する	🔍ボタンを押すと音量が大きくなり、🔍（**?**）ボタンを押すと小さくなります。
通常再生に戻る	ⓚボタンを押すと、スライドショーを中止して、再生画面に戻ります。

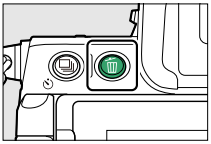
画像を削除する

メモリーカードに記録された画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。ただし、プロテクトされている画像は削除できません。

ボタン操作で画像を削除する

🗑ボタンを押すと、表示中の画像を1コマ削除できます。

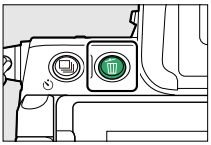
1 **マルチセレクターで削除する画像を選んで🗑ボタンを押す**



・削除確認の画面が表示されます。

・▶ボタンを押すと、画像の削除はキャンセルされます。

2 **もう一度🗑ボタンを押す**



表示中の画像が削除されます。

複数の画像をまとめて削除する

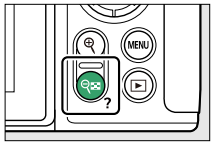
再生メニューの［**削除**］では、複数の画像を一括して削除できます。たくさんの画像を削除するときは、時間がかかることがあります。

項目		内容
▪▫▫ ▫▫▪	［**画像を選択して削除**］	選んだ画像を削除します。
🗑	［**削除候補画像を一括削除**］	レーティングで🗑（削除候補）に設定した全ての画像を削除します。
DATE	［**日付を選択して削除**］	選んだ日付に撮影した画像を一括で削除します。
ALL	［**全画像を削除**］	再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定したフォルダー内の全ての画像を削除します。

▮▮ 画像を選択して削除

1 **削除する画像を選ぶ**

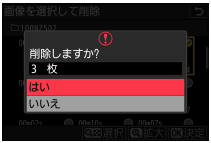
・マルチセレクターで画像を選び、🔍（**?**）ボタンを押すとチェックがオン（✓）になります。もう一度🔍（**?**）ボタンを押すとオフ（◯）になります。



・削除する画像全てに設定してください。

・🔍ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。

2 **画像を削除する**



・ⓚボタンを押すと、確認画面が表示されます。
・確認画面で［**はい**］を選んでⓚボタンを押すと、選んだ画像が全て削除されます。

■■削除候補画像を一括削除

1 **削除する画像を選ぶ**

・レーティングで🗑（削除候補）に設定した画像が一覧表示されます。マルチセレクターで画像を選び、🔍🖼（**?**）ボタンを押すと、削除設定が解除されます。
・🔍ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。

2 **画像を削除する**

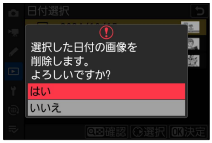
・ⓚボタンを押すと、確認画面が表示されます。
・確認画面で［**はい**］を選んでⓚボタンを押すと、画像が全て削除されます。

■■日付を選択して削除

1 日付を選ぶ

・マルチセレクターで日付を選んで▶を押すと、日付の横にチェック☑が入ります。もう一度▶を押すと解除されます。
・削除する日付全てにチェックを入れてください。

2 画像を削除する

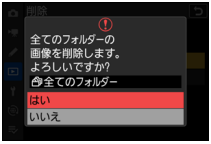


・Ⓚボタンを押すと、確認画面が表示されます。
・確認画面で［**はい**］を選んでⓀボタンを押すと、選んだ日付の画像が全て削除されます。

■■全画像を削除

［**全画像を削除**］を選択後に表示される確認画面に対象のフォルダー名が表示されます。［**はい**］を選んでⓀボタンを押すと、フォルダー内の画像が全て削

除されます。対象のフォルダーは再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定できます。



・たくさんの画像を削除するときは、時間がかかることがあります。

静止画の編集

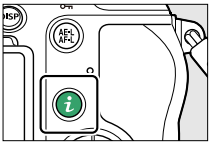
静止画の編集機能について

メモリーカード内の撮影済み画像を編集することができます。編集された画像は、元の画像とは別に、新しい画像としてメモリーカードに記録されます。

項目	内容
［**RAW現像（表示画像）**］	表示中のRAW画像をJPEG画像など他のファイル形式に変換します（🕮263）。
［**RAW現像（複数画像）**］	メモリーカード内にある複数のRAW画像を選んで、JPEG画像など他のファイル形式に変換します（🕮263）。
［**トリミング**］	画像の必要な部分だけを切り抜きます（🕮274）。
［**リサイズ（表示画像）**］	表示中の画像からサイズの小さい画像を作成します（🕮275）。
［**リサイズ（複数画像）**］	メモリーカード内にある複数画像を選んでサイズの小さい画像を作成します（🕮275）。
［**D-ライティング**］	画像の暗い部分を明るく補正できます（🕮280）。
［**傾き補正**］	画像の傾きを補正できます（🕮281）。
［**ゆがみ補正**］	広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正できます（🕮282）。
［**アオリ効果**］	遠近感による被写体のゆがみを補正します（🕮283）。

項目	内容
［**モノトーン**］	モノトーンの画像を作成します（🕮284）。
［**加算合成**］	2コマの画像を重ね合わせて1コマのJPEG画像に合成できます（🕮285）。
［**比較明合成**］	複数の画像の最も明るい部分を重ね合わせて1コマのJPEG画像に合成できます（🕮287）。
［**比較暗合成**］	複数の画像の最も暗い部分を重ね合わせて1コマのJPEG画像に合成できます（🕮287）。
［**比較動合成**］	連続撮影した複数の画像の中から被写体が動いている部分をカメラが自動で判別して重ね合わせ、1コマのJPEG画像に合成できます（🕮290）。

1 マルチセレクターで画像編集を行う画像を選んで𝒊ボタンを押す



［**RAW現像（複数画像）**］または［**リサイズ（複数画像）**］の場合、後から画像編集を行う画像を選べます。

2 ［画像編集］を選んでマルチセレクターの▶を押す

3 編集する項目を選んで▶を押す

4 画像を編集する

・画像の編集方法については、各項目の説明をご覧ください。

・画像編集を途中でやめるには、▶ボタンを押してください。再生画面に戻ります。

5 編集した画像を記録する

・画像の記録方法については、各項目の説明をご覧ください。

・画像編集した画像には🖻が付きます。

画像編集についてのご注意

・このカメラ以外で撮影または編集した画像やパソコンで編集した画像は、このカメラでは再生または編集できないことがあります。

・画像編集中に何も操作しないまましばらくすると、画像モニターが消灯し、編集中の画像は保存されません。カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**画像の再生**］の時間を長く設定することをおすすめします。

繰り返し画像編集する場合のご注意

・画像編集によって作成した画像に、さらに画像編集を行うこともできますが、画像が粗くなることや、色が不自然になることがあります。

・複数の画像編集を行う場合、実行する順番によって編集の効果が異なることがあります。

・画像編集の組み合わせによっては繰り返し編集できないものもあります。

・選択中の画像に使用できない画像編集項目は、再生時のiメニュー［**画像編集**］でグレーで表示されて選べません。

画質モードについて

・元画像がRAWを含む画質モードで撮影された画像の場合、［**画質モード**］が［**FINE**］のJPEG画像またはHEIF画像になります。

・元画像がJPEGまたはHEIFの場合は、元画像と同じ画質モードになります。

・RAW画像とJPEG画像またはRAW画像とHEIF画像を同時に記録した場合は、RAW画像が画像編集の対象になります。

画像サイズについて

画像編集した画像は、元画像と同じ画像サイズで記録されます（［**RAW現像（表示画像）**］、［**RAW現像（複数画像）**］、［**トリミング**］、［**リサイズ（表示画像）**］および［**リサイズ（複数画像）**］を除く）。

RAW現像

RAW画像をJPEG画像など他のファイル形式に変換することを「RAW現像」と呼びます。RAW画像の撮影時に設定されている階調モードによって、JPEG画像またはHEIF画像に変換できます。

RAW現像についてのご注意

- 次の画像はこのカメラではRAW現像できません。
  - 機種の異なるカメラで撮影したRAW画像
  - NX Tetherを使用して撮影し、パソコンに保存したRAW画像
  - RAW以外の画質モードで撮影した画像
- RAW現像を行ってRAW画像をJPEG画像またはHEIF画像に変換した場合、設定項目の内容を同じに設定して撮影したJPEG画像またはHEIF画像とは色味が異なる場合があります。

階調モードを［SDR］に設定して撮影したRAW画像を現像する

階調モードを［**SDR**］に設定して撮影したRAW画像を現像すると、JPEG画像に変換できます。

■■ 1枚のRAW画像を現像する

1 階調モードを［SDR］に設定して撮影したRAW画像を選んでボタンを押す

2 **iメニューの［画像編集］で［RAW現像（表示画像）］を選んでを押す**

3 **RAW現像する**

・［**現像**］を選んでボタンを押すと、JPEG画像を保存します。
・現像を行う前にホワイトバランスやピクチャーコントロールなどの設定を変更できます。必要に応じて撮影時の設定から変更してください。設定を変更できる項目については「SDR画像のRAW現像時に設定を変更できる項目について」（🕮267）をご覧ください。

■■複数のRAW画像を現像する

1 **階調モードを［SDR］に設定して撮影したRAW画像を選んでiボタンを押す**

2 iメニューの［画像編集］で［RAW 現像（複数画像）］を選んで▶を押す

3 画像の選択方法を選ぶ

項目	内容
［**画像選択**］	選んだRAW画像をRAW現像します。複数のRAW画像を選んで一括でRAW現像することもできます。
［**日付選択**］	選択した日付に撮影したRAW画像を一括でRAW現像します。
［**フォルダー選択**］	選んだフォルダー内のRAW画像を一括でRAW現像します。

4 RAW現像する画像を選ぶ

［画像選択］を選んだ場合：

- マルチセレクターでRAW現像する画像を選びます。
- ⊕ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- ⊖/?（**?**）ボタンを押して設定します。設定するとチェックがオン（✓）になります。もう一度⊖/?（**?**）ボタンを押すと、オフ（◯）になります。選んだ全てのRAW画像を同じ設定でRAW現像します。
- ⓚボタンを押して決定します。

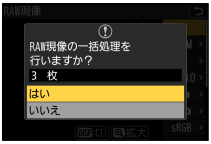
［日付選択］を選んだ場合：

- 日付を選んで▶を押すと、チェックボックスのオン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。
- チェックボックスがオン（☑）になった日付の全てのRAW画像を同じ設定でRAW現像します。
- ⓚボタンを押して決定します。

［フォルダー選択］を選んだ場合：

フォルダーを選んでⓄKボタンを押すと、選んだフォルダー内の全てのRAW画像を同じ設定でRAW現像します。

5 RAW現像する



- [**現像**]を選んでⓄKボタンを押し、確認画面で[**はい**]を選んでⓄKボタンを押すと、JPEG 画像を保存します。
- RAW現像の処理中に**MENU**ボタンを押し、確認画面で[**はい**]を選んでⓄKボタンを押すと、処理を中止します。
- 現像を行う前にホワイトバランスやピクチャーコントロールなどの設定を変更できます。必要に応じて撮影時の設定から変更してください。設定を変更できる項目については「SDR画像のRAW現像時に設定を変更できる項目について」(🕮267)をご覧ください。

■■ SDR画像のRAW現像時に設定を変更できる項目について

RAW現像を行う前に、画像の各種設定を撮影時の設定から変更できます。

- 設定を変更できる項目は次の通りです。
  - 画質モード(🕮107)
  - 画像サイズ(🕮108)
  - 露出補正(🕮148)
  - ホワイトバランス(🕮159)
  - ピクチャーコントロール(🕮180)

- 色空間（🕮442）
- アクティブD-ライティング（🕮443）
- 高感度ノイズ低減（🕮445）
- ヴィネットコントロール（🕮446）
- 回折補正（🕮446）
- 人物印象調整（🕮448）

・項目によってはプレビュー画像の下に撮影時の設定が表示されます。
・各項目で［**撮影時設定**］を選ぶと（項目によっては選べないことがあります）、それぞれのRAW画像の撮影時の設定でRAW現像します。
・各項目を設定すると、編集画面に適用後のプレビュー画像を表示します。**DISP**ボタンを押している間、元画像の状態を表示します。

☑ SDR画像をRAW現像する場合のご注意

［**露出補正**］で設定できる明るさ（−2〜＋2）は、通常の露出補正の段数とは異なります。

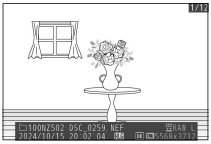
階調モードを［HLG］に設定して撮影したRAW画像を現像する

階調モードを［**HLG**］に設定して撮影したRAW画像を現像すると、HEIF画像に変換できます。

・階調モードを［**HLG**］に設定して撮影したRAW画像をJPEG画像に変換することもできます（🕮273）。JPEG画像に変換すると、階調モードを［**SDR**］に設定して撮影したRAW画像をJPEG画像に現像する場合と比べて、画像にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生する場合があります。

1枚のRAW画像を現像する

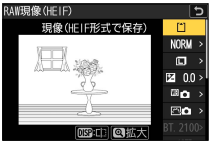
1 **階調モードを［HLG］に設定して撮影したRAW画像を選んでiボタンを押す**



HLGマークの付いた画像を選びます。

2 **iメニューの［画像編集］で［RAW現像（表示画像）］を選んでJを押す**

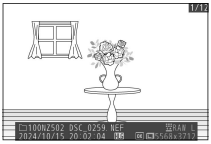
3 **RAW現像する**



- ［**現像（HEIF形式で保存）**］を選んでKボタンを押すとHEIF画像を保存します。
- 現像を行う前にホワイトバランスやピクチャーコントロールなどの設定を変更できます。必要に応じて撮影時の設定から変更してください。設定を変更できる項目については「HLG画像のRAW現像時に設定を変更できる項目について」（🕮272）をご覧ください。

■■ 複数のRAW画像を現像する

1 **階調モードを［HLG］に設定して撮影したRAW画像を選んでiボタンを押す**



HLGマークの付いた画像を選びます。

2 **iメニューの［画像編集］で［RAW現像（複数画像）］を選んでJを押す**

3 **画像の選択方法を選ぶ**

項目	内容
［**画像選択**］	選んだRAW画像をRAW現像します。複数のRAW画像を選んで一括でRAW現像することもできます。
［**日付選択**］	選択した日付に撮影したRAW画像を一括でRAW現像します。
［**フォルダー選択**］	選んだフォルダー内のRAW画像を一括でRAW現像します。

4 **RAW現像する画像を選ぶ**

［画像選択］を選んだ場合：

・マルチセレクターでRAW現像する画像を選びます。

・ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。

・（**?**）ボタンを押して設定します。設定するとチェックがオン（）になります。もう一度（**?**）ボタンを押すと、オフ（）になります。選んだ全てのRAW画像を同じ設定でRAW現像します。

・ボタンを押して決定します。

［日付選択］を選んだ場合：

・日付を選んでを押すと、チェックボックスのオン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。

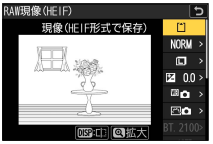
・チェックボックスがオン（☑）になった日付の全てのRAW画像を同じ設定でRAW現像します。

・ボタンを押して決定します。

［フォルダー選択］を選んだ場合：

フォルダーを選んでⓄKボタンを押すと、選んだフォルダー内の全てのRAW画像を同じ設定でRAW現像します。

5 RAW現像する



- [**現像（HEIF 形式で保存）**]を選んでⓄKボタンを押すとHEIF画像を保存します。
- RAW現像の処理中に**MENU**ボタンを押し、確認画面で［**はい**］を選んでⓄKボタンを押すと、処理を中止します。
- 現像を行う前にホワイトバランスやピクチャーコントロールなどの設定を変更できます。必要に応じて撮影時の設定から変更してください。設定を変更できる項目については「HLG画像のRAW現像時に設定を変更できる項目について」（🕮272）をご覧ください。

■■ HLG画像のRAW現像時に設定を変更できる項目について

RAW現像を行う前に、画像の各種設定を撮影時の設定から変更できます。

- 設定を変更できる項目は次の通りです。
  - 画質モード（🕮107）
  - 画像サイズ（🕮108）
  - 露出補正（🕮148）
  - ホワイトバランス（🕮159）
  - ピクチャーコントロール（HLG）（🕮442）

- 高感度ノイズ低減（🕮445）
- ヴィネットコントロール（🕮446）
- 回折補正（🕮446）
- 人物印象調整（🕮448）
- RAW現像（JPEG）へ移動

・項目によってはプレビュー画像の下に撮影時の設定が表示されます。
・各項目で［**撮影時設定**］を選ぶと（項目によっては選べないことがあります）、それぞれのRAW画像の撮影時の設定でRAW現像します。
・各項目を設定すると、編集画面に適用後のプレビュー画像を表示します。**DISP**ボタンを押している間、元画像の状態を表示します。

☑ HLG画像をRAW現像する場合のご注意

・［**露出補正**］で設定できる明るさ（−2〜+2）は、通常の露出補正の段数とは異なります。
・［**色空間**］は「BT.2100」に固定されます。
・［**アクティブD-ライティング**］は設定できません。

ヒント：HLGの階調モードで撮影したRAW画像をJPEG画像に現像する場合

［**RAW現像（HEIF）**］画面で［**RAW現像（JPEG）へ移動**］を選択すると、［**RAW現像（JPEG）**］画面に切り替わり、JPEG形式に変換する場合の項目を設定できます。［**現像（JPEG形式で保存）**］を選んでⓄKボタンを押すとJPEG形式への変換ができます。

・［**RAW現像（JPEG）**］画面からJPEG画像を現像する場合、階調モードを［**SDR**］に設定して撮影したRAW画像をJPEG画像に現像する場合と比べて、露出が2段程度暗くなります。必要に応じて［**RAW現像（JPEG）**］画面の［**露出補正**］で調整してください。
・［**RAW現像（JPEG）**］画面では［**ピクチャーコントロール（HLG）**］が［**ピクチャーコントロール**］に切り替わります。［**撮影時設定**］は設定できません。
・［**色空間**］および［**アクティブD-ライティング**］の設定が可能になります。［**アクティブD-ライティング**］を設定すると、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が強調される場合があります。
・［**RAW現像（HEIF）**］画面に戻るには、［**RAW現像（JPEG）**］画面で［**RAW現像（HEIF）へ移動**］を選択してください。
・［**RAW現像（JPEG）**］画面または［**RAW現像（HEIF）**］画面で設定した値は個別に記憶され、［**RAW現像（HEIF）へ移動**］または［**RAW現像（JPEG）へ移動**］で画面を切り換えたり、現像を行ったりしても維持されます。

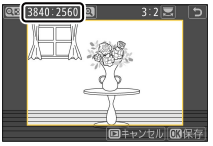
トリミング

画像の必要な部分だけを切り抜きます。編集画面では、トリミング範囲の黄色い枠が表示され、次の操作ができます。

操作	内容
切り抜く範囲を変更する	ボタンまたは（**?**）ボタンを押して切り抜く範囲を変更できます。
画像のアスペクト比（縦横比）を変更する	メインコマンドダイヤルを回すと、切り抜く範囲のアスペクト比を変更できます。
切り抜く範囲を移動する	マルチセレクターを押してトリミングで切り抜く範囲を移動します。
トリミングを実行して画像を保存する	ボタンを押すと、トリミングした画像が記録されます。

トリミング画像についてのご注意

- トリミング後の画像サイズによっては、拡大表示できなくなります。
- トリミング画像の画像サイズは編集画面の左上に表示されます。画像サイズは、トリミングする範囲とアスペクト比（横：縦）により変わります。



リサイズ

サイズの小さい画像を作成します。表示している画像のみをリサイズする［**リサイズ（表示画像）**］と、複数の画像を一括でリサイズする［**リサイズ（複数画像）**］があります。

リサイズ画像についてのご注意

リサイズ後の画像サイズによっては、拡大表示できなくなります。

トリミングした画像のリサイズについて

アスペクト比を4：3、5：4、4：5、または3：4に設定してトリミングした画像はリサイズできません。

リサイズ（表示画像）

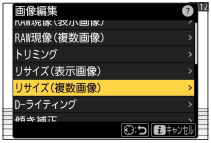
1 **iメニューの［画像編集］で［リサイズ（表示画像）］を選んでOKを押す**

2 **リサイズする画像サイズを選んでOKボタンを押す**

リサイズ画像が保存されます。

リサイズ（複数画像）

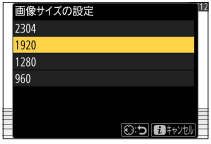
1 **iメニューの［画像編集］で［リサイズ（複数画像）］を選んでJを押す**



2 **画像サイズを設定する**

・［**画像サイズの設定**］を選んでJを押します。

・HIで画像サイズ（長辺のピクセル数）を選び、Kボタンを押します。



3 画像の選択方法を選ぶ

項目	内容
[**画像選択**]	選んだ画像のリサイズ画像を作成します。複数の画像を選んで一括でリサイズすることもできます。
[**日付選択**]	選択した日付に撮影した画像を一括でリサイズします。
[**フォルダー選択**]	選んだフォルダー内の全ての画像を一括でリサイズします。

4 **リサイズする画像を選ぶ**
［画像選択］を選んだ場合：

・マルチセレクターでリサイズする画像を選びます。
・ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
・（**?**）ボタンを押して設定します。設定するとチェックがオン（）になります。もう一度（**?**）ボタンを押すと、オフ（）になります。選んだ全ての画像を、手順2で設定した画像サイズにリサイズします。
・画像を選択後、ボタンを押します。

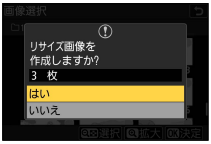
［日付選択］を選んだ場合：

・日付を選んでを押すと、チェックボックスのオン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。
・チェックボックスがオン（☑）になった日付の全ての画像を手順2で設定した画像サイズにリサイズします。
・日付を選択後、ボタンを押します。

［フォルダー選択］を選んだ場合：

フォルダーを選んでボタンを押すと、選んだフォルダー内の全ての画像を手順2で設定した画像サイズにリサイズします。

5 リサイズ画像を作成する



・確認画面で［**はい**］を選んでⓄKボタンを押すと、リサイズ画像が保存されます。

・リサイズの処理中に**MENU**ボタンを押し、確認画面で［**はい**］を選んでⓄKボタンを押すと、処理を中止します。

D-ライティング

画像の暗い部分を明るく補正できます。逆光で撮影したために顔の部分だけが暗くなった画像や、フラッシュの光量不足で暗くなった画像などに効果的です。

D-ライティング前

D-ライティング後

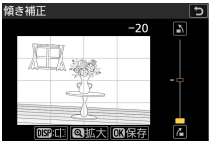
編集画面では、D-ライティング効果の適用後のプレビュー画像を表示します。**DISP**ボタンを押している間、元画像の状態を表示します。

- マルチセレクターの▲▼を押すと、効果の度合いを選べます。効果の度合いは、設定画面のプレビュー画像で確認できます。

- ⓄⓀボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

傾き補正

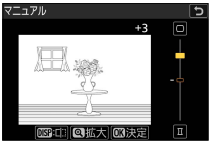
画像の傾きを±5°の範囲（約0.25°ステップ）で補正できます。



- 編集画面では、傾き補正適用後のプレビュー画像を表示します。**DISP**ボタンを押している間、元画像の状態を表示します。
- 補正する傾きが大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。
- マルチセレクターの⊕⊖を押すと、傾きを補正できます。
- ⓞⓚボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

ゆがみ補正

広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正できます。



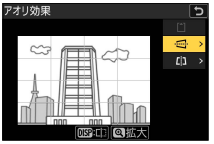
- カメラが画像のゆがみを自動的に判別できる画像の場合、［**オート**］と［**マニュアル**］が表示されます。［**オート**］を選ぶと画像のゆがみを自動的に補正します。
- カメラが画像のゆがみを自動的に判別できない画像の場合、［**マニュアル**］のみ表示されます。［**マニュアル**］では自分でゆがみを補正できます。
- ［**オート**］で補正を行った画像または静止画撮影メニュー［**自動ゆがみ補正**］で補正を行った画像の場合、［**マニュアル**］のみ選べます。
- ［**マニュアル**］の編集画面では、ゆがみ補正プレビュー画像を表示します。**DISP**ボタンを押している間、元画像の状態を表示します。
- マルチセレクターの▲を押すと糸巻き型のゆがみを、▼を押すとたる型のゆがみを補正できます。OKボタンを押すと決定してゆがみ補正方法の選択画面に戻ります。
- OKボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

ゆがみ補正についてのご注意

補正するゆがみが大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。

アオリ効果

高層ビルを見上げて撮影したときなどに生じる、遠近感による被写体のゆがみを水平方向および垂直方向に補正します。



- 編集画面では、アオリ効果適用後のプレビュー画像を表示します。**DISP**ボタンを押している間、元画像の状態を表示します。
- アオリ効果が大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。
- 水平方向に調節する場合、を選んでを押します。を押すと画像の左辺が、を押すと画像の右辺が拡大します。ボタンを押すと決定してアオリ方向の選択画面に戻ります。
- 垂直方向に調節する場合、を選んでを押します。を押すと画像の上辺が、を押すと画像の下辺が拡大します。ボタンを押すと決定してアオリ方向の選択画面に戻ります。
- を選んでボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

アオリ効果処理前　　アオリ効果処理後

モノトーン

色調を選んでモノトーンの画像（1種類の色の明暗のみで構成される画像）を作成します。

項目	内容
［**白黒**］	モノクロになります。
［**セピア**］	セピア色（褐色）のモノトーンになります。
［**クール**］	ブルー系のモノトーンになります。

・編集画面では、モノトーン適用後のプレビュー画像を表示します。**DISP**ボタンを押している間、元画像の状態を表示します。

・［**セピア**］または［**クール**］を選んだ場合、◑を押すと色の濃さを［**強め**］［**標準**］［**弱め**］から選べます。㊗ボタンを押すと決定して色調選択画面に戻ります。
・㊗ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

加算合成

メモリーカードに記録されている画像2コマを重ね合わせて1コマの画像に合成できます。

1 iメニューの［画像編集］で［加算合成］を選んでOKを押す

2 合成する画像を選ぶ

- マルチセレクターで合成する画像を選びます。
- ⊕ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- ⊖（?）ボタンを押して設定します。設定するとチェックがオン（✓）になります。もう一度⊖（?）ボタンを押すと、オフ（◯）になります。
- 1コマ目と2コマ目の撮像範囲が異なる場合、画像は選択できません。
- 画像を2コマ選択後、OKボタンを押します。

3 合成の比率を調節する

プレビュー欄に合成した画像が表示されます。▲▼を押して合成の比率を調節できます。▲を押すと1コマ目に選んだ画像の割合が、▼を押すと2コマ目に選んだ画像の比率が強くなります。

4 合成画像を保存する

Ⓚボタンを押すと、合成画像が保存されます。

☑ [加算合成] についてのご注意

- プレビュー画像と実際の合成画像では、色や明るさなどの見え方が異なることがあります。
- 合成できる画像は、このカメラで撮影した画像だけです。機種の異なるカメラで撮影した画像は選べません。
- 画像サイズの異なる画像を合成する場合、合成後の画像サイズは小さい方のサイズと同じになります。
- 合成画像のホワイトバランス、ピクチャーコントロール、撮影データ（撮影日時、測光モード、シャッタースピード、絞り値、撮影モード、露出補正値、焦点距離、縦横位置情報など）は、1コマ目に選んだ画像の内容を引き継ぎます。ただし、著作権情報は引き継ぎません。また、合成された画像には、画像合成時にカメラに設定されている画像コメントが添付されます。

比較明合成、比較暗合成

複数の画像の最も明るい部分または暗い部分を重ね合わせて1コマのJPEG画像に合成できます。

1 **iメニューの［画像編集］で［比較明合成］または［比較暗合成］を選んで⊛を押す**

・［**比較明合成**］：撮影した各画像を比較し、最も明るい部分を選択して合成します。

・［**比較暗合成**］：撮影した各画像を比較し、最も暗い部分を選択して合成します。

2 **画像の選択方法を選ぶ**

項目	内容
［**画像選択（個別指定）**］	個別に選んだ画像を合成します。
［**画像選択（範囲指定）**］	2枚の画像を選択し、その間にある全ての画像を撮影時間順に合成します。
［**フォルダー選択**］	選んだフォルダー内の全ての画像を合成します。

3 合成する画像を選ぶ

[画像選択（個別指定）] を選んだ場合：

- マルチセレクターで合成する画像を選びます。
- ⊕ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- ?（**?**）ボタンを押して設定します。設定するとオン（⊘）になります。もう一度?（**?**）ボタンを押すと、オフ（◯）になります。選んだ全ての画像を手順1の内容で合成します。
- 画像を選択後、OKボタンを押します。

[画像選択（範囲指定）] を選んだ場合：

- マルチセレクターで合成する画像の範囲を設定すると、範囲内の全ての画像が手順1の内容で合成されます。
  - 範囲の始点および終点は、?（**?**）ボタンを押して設定します。
  - 始点および終点の画像には（⊘）が表示され、その間の画像には（⊘）が表示されます。
  - 範囲を変更する場合は、マルチセレクターを操作して始点および終点を設定し直します。AF-L（⊶）ボタンを押すと、範囲の始点と終点を移動できます。
- ⊕ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- 合成する画像の範囲を設定後、OKボタンを押します。

[フォルダー選択] を選んだ場合：

フォルダーを選んでOKボタンを押すと、選んだフォルダー内の全ての画像を手順1の内容で合成します。

4 合成画像を保存する

- 確認画面で［**はい**］を選んでOKボタンを押すと、合成画像が保存され、合成画像が表示されます。
- 画像合成の処理中に**MENU**ボタンを押し、確認画面で［**保存して終了**］を選んでOKボタンを押すと、処理中の画像までの処理を実行して以降の処理を中止します。確認画面で［**保存せずに終了**］を選んでOKボタンを押すと、処理を中止します。

［比較明合成］および［比較暗合成］についてのご注意

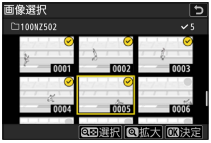
- 合成できる画像は、このカメラで撮影した画像だけです。機種の異なるカメラで撮影した画像は選べません。
- 静止画撮影メニュー［**撮像範囲設定**］の設定が同じ画像のみ合成できます。
- 異なる画質モードで撮影した画像を合成した場合、合成画像の画質モードは一番高い画質で撮影された画像と同じになります。
- 合成する画像にRAW画像が含まれる場合、合成画像の画質モードは［**FINE**］になります。
- JPEG画像とJPEG画像を合成する場合、画像サイズが同じ場合のみ合成できます。
- 合成する枚数が増えるほど、合成後の画像でノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生しやすくなります。
  - 合成前の元画像は、ピクチャーコントロールの［**輪郭強調**］の設定を0またはマイナス側に設定して撮影すると、合成後の画像で比較的ノイズが目立ちにくくなります。
  - ノイズが目立ちやすくなる画像枚数の目安は50枚以上です。

比較動合成

連続撮影した複数の画像の中から被写体が動いている部分をカメラが自動で判別して重ね合わせ、1コマのJPEG画像に合成できます。

1 iメニューの［画像編集］で［比較動合成］を選んでを押す

2 合成する画像を選ぶ



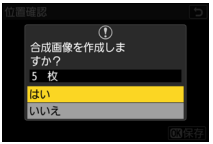
- マルチセレクターで合成する画像を選びます。
- ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- （**?**）ボタンを押して設定します。設定するとチェックがオン（）になります。もう一度（**?**）ボタンを押すと、オフ（）になります。
- 合成できる画像のコマ数は、5コマ～20コマです。
- 画像を選択後、ボタンを押します。

3 合成位置を確認する

プレビュー欄に合成した画像が表示され、合成結果を確認できます。

- ↩をタッチするか、マルチセレクターの◀を押すと手順2に戻って画像を選び直せます。
- Ⓚボタンを押すと確認画面が表示されます。

4 合成画像を保存する



確認画面で［**はい**］を選んでⓀボタンを押すと、合成画像が保存されます。

［比較動合成］についてのご注意

- プレビュー画像と実際の合成画像では、色や明るさなどの見え方や合成結果が異なることがあります。
- 合成できる画像は、このカメラで撮影した画像だけです。機種の異なるカメラで撮影した画像は選べません。
- ［**比較動合成**］は、三脚を使用して連続撮影した画像（背景が固定で、被写体だけが動いている画像）を想定しています。このため、三脚を使用せずに連続撮影した画像で合成した場合、想定した結果にならないことがあります。
- 静止画撮影メニュー［**撮像範囲設定**］の設定が同じ画像のみ合成できます。
- 異なる画質モードで撮影した画像を合成した場合、合成画像の画質モードは一番高い画質で撮影された画像と同じになります。
- 合成する画像にRAW 画像が含まれる場合、合成画像の画質モードは［**FINE**］になります。
- JPEG画像とJPEG画像を合成する場合、画像サイズが同じ場合のみ合成できます。

動画の編集

動画の編集機能について

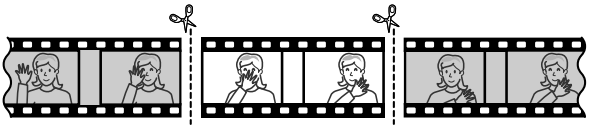
次の機能を使って撮影した動画を編集できます。

項目		内容
	［**動画編集（始点/終点設定）**］	動画の必要な部分だけを残します。
	［**表示中のフレームを保存**］	選択した1フレームを切り出して、JPEG画像として保存します。
	［**フレームを連続保存**］	指定した秒数分のフレームをJPEG画像として保存します。

・動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］を［**H.265 8-bit（MOV）**］または［**H.264 8-bit（MP4）**］に設定して撮影した動画のみ編集できます。

動画編集（始点/終点設定）

動画の必要な部分を残せます。



1 **1コマ表示モードで編集したい動画を表示する**

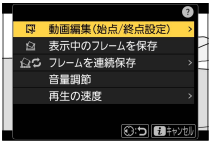
2 **残したい範囲の冒頭部分（始点）で動画を一時停止する**

・Ⓚボタンを押すと、動画が再生されます。再生中にマルチセレクターの▽を押すと、一時停止します。

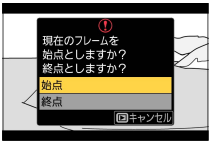
・プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます。

・◁▷、コマンドダイヤルで再生中の位置を調整できます。

3 **iボタンを押して［動画編集（始点/終点設定）］を選んで▷を押す**



4 始点を選ぶ

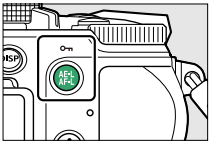


［**始点**］を選んでⓀボタンを押すと、そこから後ろの部分が残ります。

5 手順4で選んだ位置を調整する

- ◀▶を押すと、残したい部分の最初の位置を1フレーム単位で調整します。
- メインコマンドダイヤルを回すと、10フレーム前または後に移動します。
- サブコマンドダイヤルを回すと、10秒前または後に移動します。

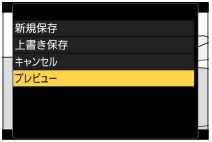
6 残したい範囲の末尾の部分（終点）を選ぶ



・AF-L（ON）ボタンを押して▼（終点）に切り換え、手順5と同じ手順で▼（終点）の位置を調整します。

7 ⊛を押して決定する

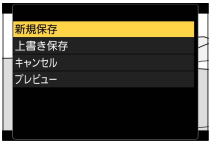
8 保存する動画を確認する



・［**プレビュー**］を選んでⓄKボタンを押すと、編集後の動画のプレビューが再生されます（プレビューを終了するには⊛を押します）。

・［**キャンセル**］を選んでⓄKボタンを押すと、手順5の画面に戻ります。

9 動画ファイルの保存方法を選ぶ



［**新規保存**］を選ぶと、編集前の動画とは別に、新しい動画として保存します。［**上書き保存**］を選ぶと、編集前の画像が上書きされます。

10 動画ファイルを保存する

OKボタンを押します。

動画編集時のご注意

- メモリーカードに充分な空き容量がない場合、動画編集できません。
- ［**動画編集（始点/終点設定）**］では、2秒未満の動画は編集できません。
- 動画編集で作成した動画の日時情報は、撮影時の日時になります。

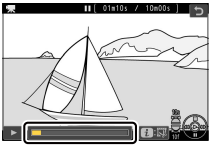
ヒント: 動画の前半または後半だけを残すには

- 動画の前半だけを残したい場合は、手順4で［**終点**］を選んでOKボタンを押してから、手順6ではAE-L/AF-L（O┳）ボタンを押さずに手順7に進みます。
- 動画の後半だけを残したい場合は、手順6でAE-L/AF-L（O┳）ボタンを押さずに手順7に進みます。

表示中のフレームを保存

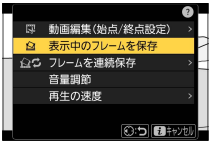
撮影した動画のフレームを静止画として保存できます。1フレームずつ保存する方法と、設定した起点から指定した秒数分のフレームを一度に保存する方法があります。

1 保存したい位置で動画を一時停止する



・動画の再生中にマルチセレクターの㊦を押すと、一時停止します。
・プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます。
・◀▶やコマンドダイヤルで再生中の位置を調整できます。

2 iボタンを押して［表示中のフレームを保存］を選ぶ



㊗ボタンを押すとJPEGの画像として保存します。

［表示中のフレームを保存］で作成した画像について

・動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］で設定した画像サイズで記録されます。
・画像編集はできません。

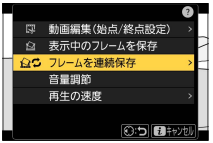
フレームを連続保存

指定した秒数分のフレームを保存できます。

1 **保存したい位置で動画を一時停止する**

・動画の再生中にマルチセレクターの㊦を押すと、一時停止します。
・プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます。
・◀▶やコマンドダイヤルで再生中の位置を調整できます。

2 **iボタンを押して［フレームを連続保存］を選んで▶を押す**



3 **保存する時間を選ぶ**

現在のコマから何秒間分のフレームを切り出すかを設定できます。

4 **㊗ボタンを押す**

JPEGの画像が保存されます。保存される静止画の枚数は動画のフレームレートにより異なります。

［フレームを連続保存］で作成した画像について

・動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］で設定した画像サイズで記録されます。

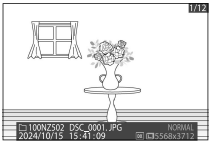
・画像編集（［**加算合成**］、［**比較明合成**］、［**比較暗合成**］および［**比較動合成**］を除く）はできません。

音声メモ

音声メモを録音する

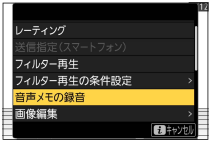
撮影した画像に、最長で約60秒の音声メモを録音できます。

1 音声メモを録音する画像を選ぶ



画像の再生時は、すでに音声メモが録音されている画像（🎵アイコンが表示されている画像）に対して音声メモを録音することができません。音声メモを削除してから録音してください（🕮304）。

2 *i*メニューで［音声メモの録音］を選ぶ

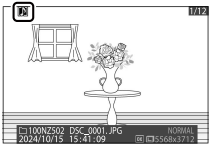


- *i*ボタンを押して、［**音声メモの録音**］を選んでⓄKボタンを押すと音声メモの録音を開始します。
- 音声メモ録音中は、画像上に🎙アイコンと録音可能な残り時間のカウントダウンが秒単位で表示されます。

3 ⊛ボタンを押す

・録音を終了します。

・音声メモが録音された画像には♫アイコンが表示されます。



音声メモが録音できない画像について
動画およびイメージダストオフデータには音声メモを録音できません。

音声メモ録音の制限について
次の場合は、音声メモは録音できません。
- 静止画/動画セレクターを🎥に合わせている場合
- 多重露出撮影中

録音時のご注意
音声メモの録音中は、表示する画像の切り換えやタッチ操作が無効になります。

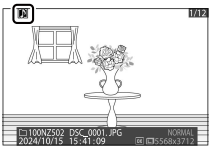
音声メモの録音終了について
音声メモの録音中にカメラのシャッターボタンやその他のボタンを操作すると、録音が自動的に終了することがあります。また、電源をOFFにしたときや、インターバルタイマー撮影中に撮影時刻の約2秒前になったときも音声メモの録音を終了します。

音声メモのファイル名について
音声メモを録音すると、DSC_nnnn.WAVという名称の音声ファイルが作成されます。nnnnには対応する画像ファイルの名称と同じ数字が入ります。たとえば、DSC_0002.JPGという画像ファイルに音声メモを録音した場合、DSC_0002.WAVという名称の音声ファイルが作成されます。音声ファイル名はパソコンで確認することができます。
- 静止画撮影メニューの［**色空間**］で［**Adobe RGB**］に設定して撮影した画像の場合、音声ファイル名は_DSCnnnn.WAVになります。
- 静止画撮影メニューの［**ファイル名設定**］でファイル名の「DSC」の3文字を変更して撮影した画像の場合、音声ファイルの「DSC」の3文字も同様に変更されます。

ヒント: 簡単な操作で音声メモを録音する
次の方法を行うと、***i***メニューを使用せずに録音することができます。
- カスタムメニューf3［**カスタムボタンの機能（再生）**］で［**音声メモ**］を割り当てたボタンを押す
- カスタムメニューf14［**1コマ再生時のフリック操作**］で［**上にフリック**］または［**下にフリック**］に［**音声メモ**］を割り当てて、画像モニターを上または下にフリックする

音声メモを再生する

画像の再生時に[♪]アイコンの付いた画像を選んでiボタンを押し、［**音声メモの再生**］を選んでOKボタンを押すと音声メモを再生できます。



音声メモの再生終了について

音声メモの再生中にカメラのシャッターボタンやその他のボタンを操作すると、再生が自動的に終了することがあります。また、電源をOFFにしたときや、他の画像を選んだときも音声メモの再生を終了します。

ヒント: 簡単な操作で音声メモを再生する

次の方法を行うと、iメニューを使用せずに再生および終了することができます。

- カスタムメニューf3［**カスタムボタンの機能（再生）**］で［**音声メモ**］を割り当てたボタンを押す
- カスタムメニューf14［**1コマ再生時のフリック操作**］で［**上にフリック**］または［**下にフリック**］に［**音声メモ**］を割り当てて、画像モニターを上または下にフリックする

音声メモを削除する

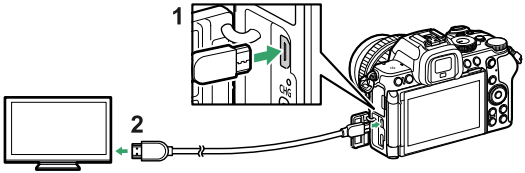
音声メモを削除する場合は、再生画面で🗑ボタンを押すと図のような音声メモ付き画像の削除確認画面が表示されます。

・［**画像と音声**］を選んで🗑ボタンを押すと、表示中の画像と音声メモを削除します。
・［**音声のみ**］を選んで🗑ボタンを押すと、音声メモのみを削除します。
・削除確認画面の表示中に▶ボタンを押すと、画像の削除をキャンセルして、再生画面に戻ります。

HDMI機器（テレビや外部レコーダー）との接続

HDMI対応機器との接続方法

カメラをHDMI端子のあるテレビや外部レコーダーなどと接続することができます。接続には市販のHDMI端子用ケーブル（Type D）が必要です。別途お買い求めください。HDMIケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。



1 HDMI端子（カメラ側）　2 HDMI端子※（外部機器側）

※　使用する外部機器の端子に合ったケーブルをお使いください。

テレビと接続する

- テレビの入力をHDMI入力に切り換え、カメラの電源をONにして▶ボタンを押すと、撮影した画像がテレビの画面に表示されます。
- テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラ側では音量調節できません。
- カメラとSnapBridgeアプリをインストールしたスマートフォンをペアリングしておくと、テレビの画面に表示した画像の再生操作をスマートフォンで行うことができます。詳しくは、SnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。

外部レコーダーと接続する

動画モード時にHDMIに対応した外部レコーダーに接続すると、直接HDMI機器で録画することもできます。

・外部レコーダー接続時にカメラにメモリーカードを挿入している場合、動画は外部レコーダーとメモリーカード両方に記録されます。メモリーカードを挿入していない場合、外部レコーダーのみに記録されます。

HDMI外部機器接続時の設定を変更する

セットアップメニュー［**HDMI**］で、HDMI対応機器との接続時の設定を変更できます。

項目	内容
［**出力解像度**］	HDMI対応機器への出力解像度を［**オート**］、［**2160p（プログレッシブ）**］、［**1080p（プログレッシブ）**］、［**1080i（インターレース）**］※、［**720p（プログレッシブ）**］から選べます。
［**出力レンジ**］	ビデオ信号の色階調の入力範囲（RGBレンジ）は、HDMI対応機器によって異なります。通常は、HDMI対応機器に合わせて自動で出力レンジを切り換える［**オート**］をお使いください。HDMI対応機器のRGBレンジを識別できない場合は、次のいずれかを選んでください。 ・［**リミテッドレンジ**］：RGBレンジが16～235の機器に適しています。画面で黒色がつぶれて表示される場合に選びます。 ・［**フルレンジ**］：RGBレンジが0～255の機器に適しています。黒色が明るく表示されたり、薄く表示されたりする場合に選びます。
［**出力映像への情報表示**］	HDMI対応機器に撮影情報を表示するかどうかを設定します。［**ON**］に設定して外部レコーダーで動画を記録した場合、アイコンなどの撮影情報も一緒に記録されます。
［**出力中のカメラ側表示**］	HDMI対応機器との接続時に、カメラの画像モニターを表示させるかどうかを設定します。 ・［**OFF**］に設定すると画像モニターが表示されないため、カメラのバッテリーの消耗を抑えられます。 ・［**出力映像への情報表示**］が［**OFF**］の場合、［**出力中のカメラ側表示**］の設定は［**ON**］固定になります。

※ ［**出力解像度**］を［**オート**］に設定している場合、外部レコーダーが対応していても1080iでは出力されません。インターレース方式で出力したい場合は［**1080i（インターレース）**］に設定してください。

■［出力解像度］について

・セットアップメニュー［**HDMI**］>［**出力解像度**］を［**オート**］に設定すると、カメラが設定している画像サイズおよびフレームレートに外部レコーダーが対応しているかどうかを自動的に検出します。対応していない場合、カメラは次の表の順に外部レコーダーが対応している解像度/フレームレートを探して出力します。いずれの解像度/フレームレートにも外部レコーダーが対応していない場合、何も出力されません。

画像サイズ/フレームレート	外部レコーダーに出力される解像度/フレームレートの順番
［**3840×2160 60p**］	1080/60p → 2160/30p → 1080/30p
［**3840×2160 50p**］	1080/50p → 2160/25p → 1080/25p
［**3840×2160 30p**］	2160/30p → 1080/30p
［**3840×2160 25p**］	2160/25p → 1080/25p
［**3840×2160 24p**］	2160/24p → 1080/24p
［**1920×1080 120p**］ ［**1920×1080 30p 4倍スロー**］ ［**1920×1080 24p 5倍スロー**］	1080/120p → 1080/60p → 1080/30p
［**1920×1080 100p**］ ［**1920×1080 25p 4倍スロー**］	1080/100p → 1080/50p → 1080/25p
［**1920×1080 60p**］	1080/60p → 1080/30p
［**1920×1080 50p**］	1080/50p → 1080/25p
［**1920×1080 30p**］	1080/30p
［**1920×1080 25p**］	1080/25p
［**1920×1080 24p**］	1080/24p

・セットアップメニュー［**HDMI**］>［**出力解像度**］を［**オート**］以外に設定すると、設定した出力解像度で外部レコーダーに出力されます。次の場合はHDMI出力されません。
- 撮影する動画の画像サイズよりも高い出力解像度を選んでいる場合
- 設定した出力解像度に外部レコーダーが対応していない場合

［出力解像度］を［オート］以外に設定した場合のフレームレートについて

撮影する動画のフレームレートを120p、100p、60p、50pに設定している場合に、外部レコーダーが設定しているフレームレートに対応していないときは次の通りに変更して出力します。

・120pの場合はまず60pに変更します。60pにも対応していない場合は30pに変更します。
・100pの場合はまず50pに変更します。50pにも対応していない場合には25pに変更します。
・60pの場合は30pに変更します。
・50pの場合は25pに変更します。

［出力解像度］で［1080i（インターレース）］を設定した場合のフレームレートについて

撮影する動画のフレームレートを120p、60p、30p、24pに設定している場合、常に60iで出力されます。100p、50pおよび25pに設定している場合、常に50iで出力されます。

［出力解像度］で［720p（プログレッシブ）］を設定した場合のフレームレートについて

撮影する動画のフレームレートを120p、60p、30p、24pに設定している場合、常に60pで出力されます。100p、50pおよび25pに設定している場合、常に50pで出力されます。

拡大表示について

動画記録待機中または動画記録中に🔍ボタンを押すと、カメラの撮影画面は拡大表示されますが、外部レコーダーにHDMI出力した映像は拡大表示されません。

HDMI外部機器接続時のYCbCrおよび出力ビット数について

動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］や［**画像サイズ/フレームレート**］の設定によって外部機器に出力されるYCbCrおよびビット数が次のようになります。

動画記録ファイル形式	画像サイズ/フレームレート	YCbCrおよび出力ビット数
H.265 10-bit（MOV）	3840×2160 60p/50p/30p/25p/24p	4:2:2 10-bit
	1920×1080	
H.265 8-bit（MOV）	3840×2160 60p/50p/30p/25p/24p	4:2:2 8-bit
	1920×1080	
H.264 8-bit（MP4）	1920×1080	4:2:2 8-bit

10ビットの外部レコーダーへの伝送について

接続している外部レコーダーが10ビットに対応している場合のみ、10ビットでの伝送が可能です。

HDMI外部機器接続時の階調モードについて

階調モードは動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］で設定したモードで出力されます。［**HLG**］に設定している場合、HDR（HLG）に対応した環境が必要です。

外部レコーダーをカメラから操作する

動画撮影メニュー［**外部記録制御（HDMI）**］を［**ON**］に設定すると、カメラ側の操作に連動して外部レコーダーの録画の開始および終了を行えます。

- お使いの外部レコーダーが対応しているかどうかは、外部レコーダーのメーカーにお問い合わせください。
- カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］>［**半押しタイマー**］で設定した時間が経過すると、画像モニターが自動的に消灯して外部レコーダーにも映像が送られなくなります。［**半押しタイマー**］の設定は、動画を撮影する時間よりも長い時間を設定するか、［**制限なし**］にすることをおすすめします。

- ［**ON**］に設定すると、カメラの画像モニターにアイコン（動画記録待機中：STBY、動画記録中：REC）が表示されます。動画を記録するときは、外部レコーダーの表示や、外部レコーダーで動画が記録されていることをご確認ください。
- ［**ON**］に設定すると、テレビなどに外部出力している場合に画像が乱れることがあります。

外部レコーダーに記録する動画のファイル名にカメラでのファイル名を含める

Atomos社の外部レコーダーを接続してカメラのメモリーカードと外部レコーダーの両方に動画を記録する場合に、外部レコーダーに記録するファイル名の一部にカメラのメモリーカードに記録する動画のファイル名を入れることができます。両方の動画ファイルに共通の文字列が入ることで、動画編集時にファイルの紐づけがしやすくなります。

- カメラにメモリーカードが挿入され、動画撮影メニュー［**外部記録制御（HDMI）**］が［**ON**］に設定されている状態で動画記録を開始すると、カードに記録される動画のファイル名が外部レコーダーに送信されます。
- 拡張子は外部レコーダーに送信されません。
- ファイル名の送信に対応しているAtomos社の外部レコーダーは次の通りです（2024年3月現在）。
  - Ninja（2023年発売モデル）
  - Ninja Ultra
  - Ninja V
  - Ninja V+
  - Shogun（2023年発売モデル）
  - Shogun Ultra
  - Shogun Connect

対応外部レコーダーについて

- 製品によっては販売が終了している場合があります。対応製品の詳細はAtomos社にお問い合わせください。
- 製品によってはATOMOS OSのアップグレードや、レコーダーの有償アクティベーションが必要となる場合があります。詳細はAtomos社にお問い合わせください。
- 外部レコーダーの設定方法や記録されるファイル名の詳細については、外部レコーダーの説明書などでご確認ください。

スマートフォンとの接続

SnapBridgeアプリについて

SnapBridgeアプリを使用すると、カメラとスマートフォンを無線で接続できます。

- SnapBridgeアプリはApple App Store*またはGoogle Play™でダウンロードできます。

- SnapBridgeアプリの最新情報については当社ホームページでご確認ください。
- SnapBridgeアプリを起動した後に使用許諾などの同意を求める画面が表示された場合は、内容をよくお読みになり、ご同意の上、次にお進みください。

SnapBridgeアプリを使ってできること

SnapBridgeアプリを使用すると、次のようなことが行えます。詳しい使い方などは、アプリのヘルプをご覧ください。
https://nikonimglib.com/snbr/onlinehelp/ja/index.html

■■スマートフォンに画像を転送する

カメラで撮影した画像を、スマートフォンに転送できます。カメラで撮影するたびに自動で送信することもできます。

■■スマートフォンからカメラを操作する（リモート撮影）

スマートフォンからカメラをリモート操作して撮影できます。

☑ スマートフォンと接続できない場合

次のことをお試しください。

・ カメラとスマートフォンの電源を入れ直す
・ スマートフォンの無線機能の設定を確認する

スマートフォンと無線接続するには

カメラとスマートフォンを無線接続するには、SnapBridgeアプリを使用します。接続方法には、Bluetoothで接続する方法（🕮316）と、Wi-Fiで接続する方法（🕮319）があります。また、Wi-Fiで接続する方法には「Wi-Fiアクセスポイントモード」と「Wi-Fiステーションモード」の2種類のモードがあります。BluetoothまたはWi-Fiステーションモードで無線接続した場合、撮影した画像を自動で転送することもできます。

Bluetooth接続（ペアリング）

カメラとスマートフォンを初めてBluetoothで接続する場合、ペアリングを行う必要があります。

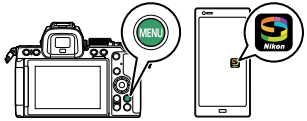
☑ ペアリングの前に

- あらかじめスマートフォンのBluetooth機能をONにしてください。詳しくはスマートフォンの使用説明書を参照してください。
- 途中で電源が切れないよう、スマートフォンとカメラのどちらも充分にバッテリー残量がある状態でご使用ください。
- カメラに残量のあるメモリーカードを入れてください。

■■ペアリング方法

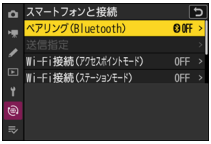
SnapBridgeアプリを使ってカメラとスマートフォンをペアリングするには、次の手順で行います。

- カメラとスマートフォンのそれぞれで操作を行います。

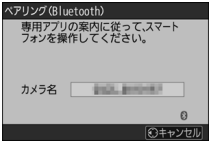


- SnapBridgeアプリのヘルプもあわせてご覧ください。

1 **カメラ：ネットワークメニュー［スマートフォンと接続］にある［ペアリング（Bluetooth）］で［ペアリング開始］を選んでⓀボタンを押す**



画像モニターにカメラ名が表示されます。



2 **スマートフォン：SnapBridgeアプリを起動し、タブの［カメラと接続する］をタップする**

・SnapBridgeアプリをダウンロード後に初めて起動する場合は、アプリの紹介画面にある［**カメラと接続する**］をタップします。

3 **スマートフォン：アプリ画面の指示に従って操作する**

・カメラのカテゴリー選択画面が表示されたら、接続するカメラのカテゴリーをタップし、次に表示される接続方法の選択画面でペアリングをタップしてください。

・カメラ名が表示されたら、接続したいカメラのカメラ名をタップしてください。

4 カメラ/スマートフォン：カメラとスマートフォンに同じ番号が表示されたら、それぞれの画面の指示に従ってカメラとスマートフォンを操作し、ペアリングする

- スマートフォンはペアリングを行うためのボタンをタップし、カメラは㊎ボタンを押してください。
- ペアリングに成功すると、ペアリング完了のメッセージがカメラとスマートフォンにそれぞれ表示されます。カメラ側は自動でメッセージが消えて、メニュー画面に戻ります。

カメラとスマートフォンのペアリングは完了しました。
ペアリング後の操作方法などは SnapBridge アプリのヘルプをご覧ください。

ペアリング中にエラーが表示されたときは

手順4でカメラまたはスマートフォンのボタンを押してから、もう片方のボタンを押すまでに時間が開きすぎると、ペアリングできずにスマートフォンにエラーが表示されます。

- Androidの場合、表示されたダイアログで［**OK**］をタップして、手順1からやり直してください。
- iOSの場合、SnapBridgeを完全に終了（バックグラウンドからも終了）してiOS上でデバイスの登録を解除し、手順1からやり直してください。デバイスの登録解除は、iOSの設定アプリで行います。

Bluetooth機能をオフにするには

カメラのネットワークメニュー［**スマートフォンと接続**］>［**ペアリング（Bluetooth）**］>［**Bluetooth通信機能**］で［**OFF**］を選ぶと、Bluetooth機能をオフにできます。

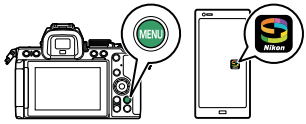
■■ペアリング済みのスマートフォンと接続する場合

一度カメラとスマートフォンをペアリングしておくと、次回以降はカメラとスマートフォンのBluetooth機能をそれぞれ有効にした状態でSnapBridgeアプリを起動するだけで通信が可能になります。

Wi-Fi接続

SnapBridgeアプリでカメラとスマートフォンをWi-Fi接続するには、カメラとスマートフォンを直接Wi-Fi接続する「Wi-Fiアクセスポイントモード」と、ご自宅などにすでに構築されているネットワークに無線LANアクセスポイントを経由してスマートフォンと接続する「Wi-Fiステーションモード」の2通りの方法があります。

・カメラとスマートフォンのそれぞれで操作を行います。



・SnapBridgeアプリのヘルプもあわせてご覧ください。

Wi-Fi接続する前に

・あらかじめスマートフォンのWi-Fi機能をONにしてください。詳しくはスマートフォンの使用説明書を参照してください。
・途中で電源が切れないよう、スマートフォンとカメラのどちらも充分にバッテリー残量がある状態でご使用ください。
・カメラに残量のあるメモリーカードを入れてください。

スマートフォンと直接接続する（Wi-Fi アクセスポイントモード）

カメラとスマートフォンを直接Wi-Fi接続します。カメラをアクセスポイントとして使用するため、野外など無線LAN環境がない場合でも無線接続ができ、複雑な設定も不要です。カメラと接続中は、スマートフォンはインターネットを使用できません。

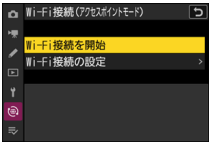
1 スマートフォン：SnapBridgeアプリを起動し、タブのボタンをタップして［Wi-Fiアクセスポイントモード接続］を選ぶ

SnapBridgeアプリをダウンロード後に初めて起動する場合は、アプリの紹介画面にある［**カメラと接続する**］をタップします。カメラのカテゴリー選択画面が表示されたら、接続するカメラのカテゴリーをタップし、次に表示される接続方法の選択画面でWi-Fi接続をタップしてください。

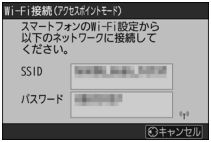
2 カメラ/スマートフォン：カメラ操作の説明画面が表示されたら、カメラの電源をONにする

この時点ではまだアプリの操作を行わないでください。

3 **カメラ：ネットワークメニュー［スマートフォンと接続］>［Wi-Fi接続（アクセスポイントモード）］で［Wi-Fi接続を開始］を選んでOKボタンを押す**



SSIDとパスワードが表示されます。



4 **スマートフォン：アプリ画面の指示に従ってスマートフォンを操作し、Wi-Fi接続する**

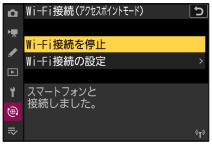
・iOSの場合、設定アプリが表示されます。［**< 設定**］をタップして［**設定**］画面へ移動し、画面上部の［**Wi-Fi**］をタップして、Wi-Fi接続の操作を行ってください。

・Wi-Fi接続画面では、手順3でカメラに表示されているSSIDを選び、パスワードを入力してください。

5 **スマートフォン：手順4でOSの設定を完了したら、手動でSnapBridgeアプリに戻る**

・スマートフォンとカメラのWi-Fi接続が完了すると、スマートフォンにWi-Fiアクセスポイントモード画面が表示されます。

・カメラの画像モニターには接続完了のメッセージが表示されます。



カメラとスマートフォンのWi-Fi接続は完了しました。
接続後の操作方法などはSnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。

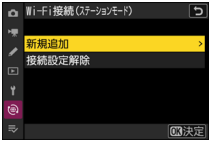
■既存のネットワークに接続する（Wi-Fi ステーションモード）

ご自宅などにすでに構築されているネットワークに、無線LANアクセスポイントを経由してカメラとスマートフォンを接続します。カメラと無線接続中でも、スマートフォンはインターネットを使用できます。

☑ Wi-Fiステーションモードで接続する場合

ルーターを越えて別のネットワークに接続することはできません。同じネットワーク内のスマートフォンとのみ接続できます。

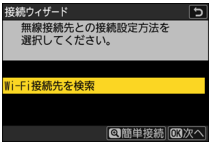
1 **カメラ：ネットワークメニュー［スマートフォンと接続］>［Wi-Fi接続（ステーションモード）］で［新規追加］を選び、Ⓚボタンを押す**



2 カメラ：接続設定名を入力する

- 変更しない場合は、そのまま🔍ボタンを押すと、接続方法の設定画面が表示されます。
- 設定した接続設定名は、ネットワークメニュー［**スマートフォンと接続**］>［**Wi-Fi接続（ステーションモード）**］に一覧で表示されます。
- 接続設定名を変更するには、OKボタンを押します。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（🕮70）をご覧ください。任意の接続設定名を入力して🔍ボタンを押すと、接続設定名を決定します。

3 カメラ：［Wi-Fi接続先を検索］を選び、Ⓚボタンを押す



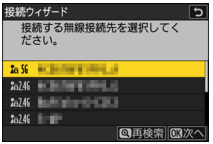
カメラの周辺にある無線LANアクセスポイントを検索して、検出した接続先のSSIDを表示します。

［簡単接続］で接続する

手順3でQボタンを押すと、SSIDや暗号キーを入力せずに無線LANアクセスポイントに接続できます。接続方法を選んでⓀボタンを押してください。接続が完了したら、手順6に進んでください。

接続方法	内容
［**WPSプッシュボタン方式**］	無線LANアクセスポイントにWPS プッシュボタンがある場合に使用できます。WPS プッシュボタンを押した後にカメラのⓀボタンを押すと、無線LANアクセスポイントに接続できます。
［**WPS PINコード方式**］	カメラにPINコードが表示されます。パソコンを使用して無線LANアクセスポイントにPINコードを入力します。無線LANアクセスポイントにPINコードを入力する方法については、お使いの無線LANアクセスポイントの使用説明書をご覧ください。

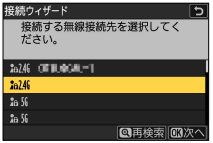
4 カメラ：接続先のSSIDを選ぶ



- 接続先のSSID を選んでⓄKボタンを押します。
- カメラで入力できない文字が使用されているSSIDは表示されません。
- 検出されたSSIDの周波数帯をアイコンで確認できます。
- 暗号ありのSSID には🔒が表示されます。暗号あり🔒のSSID を選んだ場合は、暗号キーの設定画面が表示されます。暗号なしの接続先を選んだ場合は手順6 へお進みください。
- 🔍ボタンを押すと無線接続先を再検索します。

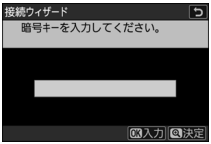
☑ SSIDが非公開に設定されている場合

無線LANアクセスポイントがSSID を非公開に設定している場合、検出されたSSID一覧にSSID 名が表示されません。



- 非公開のSSIDに接続したい場合、空欄になっている項目を選択してⓄKボタンを押してください。続いてⓄKボタンを押すと、SSID入力画面になります。
- 接続したいSSID名を入力し、🔍ボタンを押してください。もう一度🔍ボタンを押すと、暗号キーの設定画面が表示されます。

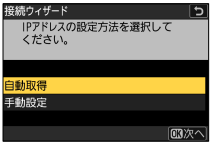
5 カメラ：暗号キーを入力する



- ⓚボタンを押して、無線LAN アクセスポイントで使用している暗号キーを入力します。
- 無線LANアクセスポイントの暗号キーについては、無線LANアクセスポイントの使用説明書などをご覧ください。

- ⊕ボタンを押して、暗号キーの入力を完了します。
- もう一度⊕ボタンを押すと、接続を開始します。接続に成功すると、図のような画面が数秒間表示されます。

6 カメラ：IPアドレスの設定方法を選んで設定する

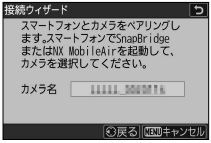


IPアドレスの設定方法を選んでⓄⓀボタンを押します。

設定方法	内容
［**自動取得**］	カメラが自動でIPアドレスを取得します。IPアドレスを取得するとIPアドレス設定完了画面が表示されます。
［**手動設定**］	IPアドレス、サブネットマスクを手動で入力します。 ・ⓄⓀボタンを押すと、IPアドレス入力画面が表示されます。 ・メインコマンドダイヤルを回して、変更したい桁を選びます。 ・◀▶を押して数値を変更し、ⓄⓀボタンを押して決定します。 ・🔍ボタンを押すと、IPアドレス設定完了画面が表示されます。再度🔍ボタンを押すと、サブネットマスク入力画面が表示されます。 ・サブネットマスクは▲▼を押して数値を変更し、ⓄⓀボタンを押して決定すると、IPアドレス設定完了画面が表示されます。

7 カメラ：IPアドレス設定完了画面が表示されたらⓄⓀボタンを押す

8 カメラ：スマートフォンとのWi-Fi接続を開始する



カメラに図のような画面が表示されたら、スマートフォンでSnapBridgeアプリを起動してください。

9 **スマートフォン：SnapBridgeアプリを起動し、タブのボタンをタップして［Wi-Fiステーションモード接続］を選ぶ**

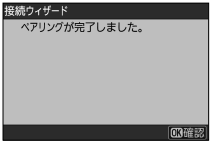
・スマートフォンはカメラが接続しているSSIDと同じSSIDに接続していることを確認してください。

・SnapBridgeアプリは画面の指示に従って操作してください。SnapBridgeアプリをダウンロード後に初めて起動する場合は、アプリの紹介画面にある［**カメラと接続する**］をタップします。

10 **スマートフォン：カメラ名を選ぶ**

手順8でカメラに表示されているカメラ名を選びます。

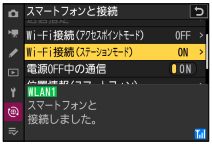
11 **カメラ/スマートフォン：Wi-Fi接続を完了する**



・カメラに図のような画面が表示されたらボタンを押してください。

・スマートフォンとカメラのWi-Fi接続が完了すると、スマートフォンにWi-Fiステーションモード画面が表示されます。

・カメラの画像モニターには接続完了のメッセージが表示されます。



カメラとスマートフォンのWi-Fi接続は完了しました。
接続後の操作方法などはSnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。

Wi-Fiアクセスポイントモード／Wi-Fiステーションモードの解除方法

SnapBridgeアプリの タブで ボタンをタップして、Wi-Fi接続を解除してください。表示が に切り替わったら、 ボタンをタップして［**Wi-Fiアクセスポイントモードの解除**］または［**Wi-Fiステーションモードの解除**］をタップします。

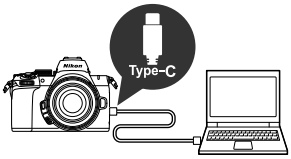
パソコンやFTPサーバーとの接続

カメラをパソコンやFTPサーバーに接続するには

カメラをパソコンやFTPサーバーに接続するには次の方法があります。

USBケーブルでパソコンと接続する

USBケーブルを使用して、カメラとパソコンを接続できます。



- ニコンのソフトウェアNX Studioを使用してパソコンに画像を転送すること（🕮332）や、NX Tetherを使用してパソコンからカメラをリモート操作すること（🕮375）ができます。

無線LANでパソコンと接続する

カメラ内蔵の無線LAN機能を使用して、カメラとパソコンを接続できます（🕮336）。

- カメラからパソコンに画像を転送すること（🕮370）や、NX Tetherを使用してパソコンからカメラをネットワーク経由でリモート操作すること（🕮375）ができます。

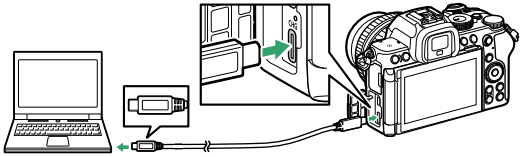
無線LANでFTPサーバーと接続する

カメラ内蔵の無線LAN機能を使用して、カメラとFTPサーバーを接続できます（🕮352）。

・ カメラからFTPサーバーに画像を転送すること（🕮370）ができます。

USBケーブルでパソコンと接続する

付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続できます。ニコンのソフトウェアNX Studioをインストールすると、画像の転送、閲覧、および調整ができます。



NX Studioをインストールする

NX Studioのインストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。ソフトウェアの最新情報、動作環境は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

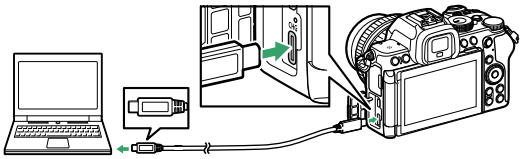
- 下記のホームページからNX Studioの最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。
  https://downloadcenter.nikonimglib.com/
- 最新のバージョンではない場合、カメラの画像が転送できないことがあります。

NX Studioを使ってパソコンに画像を取り込む

NX Studioの詳しい使い方はヘルプをご覧ください。

1 **パソコンに接続する**

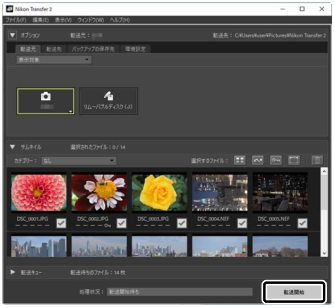
メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続します。



2 カメラの電源をONにする

- NX StudioのNikon Transfer 2が起動します。Nikon Transfer 2は、NX Studioをインストールすると一緒にインストールされる画像転送ソフトウェアです。
- 起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選んでください。
- 自動で起動しない場合、NX Studioを起動して「取り込む」アイコンをクリックしてください。

3 [転送開始] をクリックする



記録されている画像がパソコンに取り込まれます。

4 カメラの電源をOFFにする

USBケーブルを抜いて接続を解除してください。

Windowsをお使いの場合

パソコンの設定によっては、図のようなダイアログが表示されます。

この場合は、表示されたダイアログをクリックしてから、［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2**］をクリックしてNikon Transfer 2を選びます。

macOSをお使いの場合

Nikon Transfer 2が自動起動しないときは、カメラとパソコンを接続した状態で、macOS付属アプリケーションのイメージキャプチャを起動し、カメラを接続時に開くアプリケーションとしてNikon Transfer 2を設定してください。

動画を転送する場合のご注意

このカメラで使用したメモリーカードを他機種のカメラに入れて、そのカメラから動画を転送しないでください。動画が転送されないままファイルが削除されるおそれがあります。

パソコンとの接続時のご注意

- カメラとパソコンが通信している間は、カメラの電源をOFFにしたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。
- ケーブルを接続するときは、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- カメラとパソコンを接続するときは、充分に充電されたバッテリーをお使いになることをおすすめします。

USBハブについて

USBハブを使ってカメラをパソコンに接続すると、正しく動作しないことがあります。カメラはパソコンに標準装備されたUSBポートへ接続してください。

ヒント: カードリーダーを使用する場合

市販のカードリーダーを使用して画像を転送することもできます。その場合、カードリーダーがお使いのメモリーカードに対応しているかご確認ください。

無線LANでパソコンと接続する

カメラに内蔵されている無線LAN（Wi-Fi）機能を使用すると、カメラとパソコンを無線で接続することができます。

機器との接続について

パソコン、FTPサーバー、スマートフォンに同時に接続することはできません。異なる機器との接続を開始した場合、接続済みの機器との接続が解除されます。

パソコンと無線接続できない場合

次のことをお試しください。

- カメラの電源を入れ直す
- パソコンの無線機能の設定を確認する
- パソコンを再起動する

ヒント: 無線LAN使用時にエラーが発生した場合

「無線LAN使用時のトラブルシューティング」（🕮378）をご覧ください。

Wireless Transmitter Utilityについて

カメラとパソコンを無線LAN接続するには、パソコン用のニコンソフトウェアWireless Transmitter Utility（ワイヤレストランスミッターユーティリティー）を使用してペアリングする必要があります。

- ペアリングを行うと、パソコンがカメラの接続先として設定されます。
- Wireless Transmitter Utilityはニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。ソフトウェアの最新情報や動作環境を確認し、必ず最新版をインストールしてください。
  https://downloadcenter.nikonimglib.com/

カメラとパソコンを無線LANで接続する

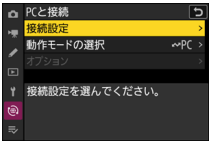
カメラとパソコンを無線接続するには、カメラとパソコンを直接無線接続する「Wi-Fiアクセスポイントモード」と、ご自宅などにすでに構築されているネットワークに無線LANアクセスポイントを経由してパソコンと接続する「Wi-Fiステーションモード」の2通りの方法があります。

■■ パソコンと直接接続する（Wi-Fiアクセスポイントモード）

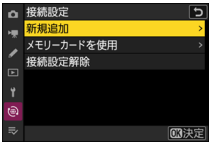
カメラとパソコンを直接無線接続します。カメラをアクセスポイントとして使用するため、野外など無線LAN環境がない場合でも無線接続ができ、複雑な設定も不要です。カメラと無線接続中は、パソコンはインターネットを使用できません。

・接続設定を行う前に、パソコンにWireless Transmitter Utility（🕮336）がインストールされていることを確認してください。

1 カメラのネットワークメニュー［PCと接続］で［接続設定］を選び、マルチセレクターの🅙を押す



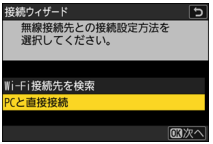
2 ［新規追加］を選び、🅞ボタンを押す



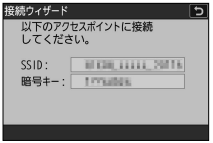
3 接続設定名を入力する

- 変更しない場合は、そのまま🔍ボタンを押すと、接続方法の設定画面が表示されます。
- 設定した接続設定名は、ネットワークメニュー［**PCと接続**］>［**接続設定**］に一覧で表示されます。
- 接続設定名を変更するには、OKボタンを押します。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（🕮70）をご覧ください。任意の接続設定名を入力して🔍ボタンを押すと、接続設定名を決定します。

4 ［PCと直接接続］を選び、OKボタンを押す

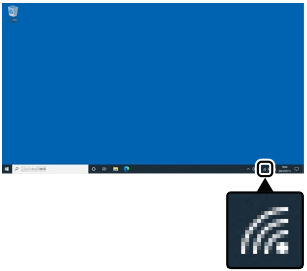


カメラのSSIDと暗号キーが表示されます。



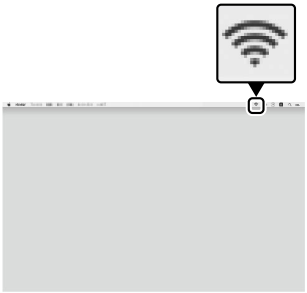
5 パソコンをカメラに接続する

Windowsの場合：



・画面の右下にある無線LANのアイコンをクリックしてください。
・手順4でカメラに表示されたSSIDを選んでクリックしてください。
・ネットワークキーを入力する画面が表示されたら、手順4で表示された暗号キーを入力してください。カメラとパソコンの接続が開始されます。

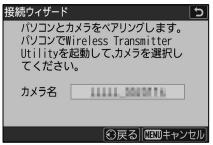
macOSの場合：



・画面の右上にある無線LANのアイコンをクリックしてください。
・手順4でカメラに表示されたSSIDを選んでクリックしてください。

・ネットワークキーを入力する画面が表示されたら、手順4で表示された暗号キーを入力してください。カメラとパソコンの接続が開始されます。

6 パソコンとのペアリングを開始する

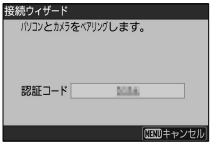


カメラに図のような画面が表示されたら、パソコンでWireless Transmitter Utilityを起動してください。

7 Wireless Transmitter Utilityでカメラ名を選ぶ

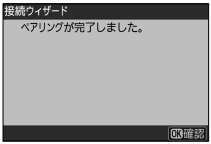
手順6でカメラに表示されているカメラ名を選択し、[**次へ**] をクリックします。

8 カメラに表示される認証コードをWireless Transmitter Utilityに入力する



- カメラに認証コードが表示されます。
- Wireless Transmitter Utilityに認証コードを入力し、［**次へ**］をクリックします。

9 ペアリングを完了する



・カメラに図のような画面が表示されたらⓄⓀボタンを押してください。
・Wireless Transmitter Utilityは［**次へ**］をクリックすると画像を転送するフォルダーを設定する画面になります。詳しくはWireless Transmitter Utilityのヘルプをご覧ください。

・ペアリング完了後に、カメラとパソコンの接続が開始されます。

10 カメラとパソコンの接続を確認する

カメラとパソコンが接続されると、［**PCと接続**］画面に接続設定名が緑色で点灯します。
・接続設定名が緑色で点灯していない場合は、パソコンの無線接続設定でカメラと接続し直してください。

カメラとパソコンの無線接続が完了しました。

カメラで撮影した画像をパソコンに転送するには、「パソコンまたはFTPサーバーに接続してできること」>「画像を送信する」（🕮370）をご覧ください。

パソコンにインストールしたNX Tetherでカメラを操作するには、「パソコンまたはFTPサーバーに接続してできること」>「カメラコントロールモードを使用する」（🕮375）をご覧ください。

ヒント：パソコン接続時のポート番号について

パソコンに接続する場合のポートは、TCPポート15740、UDPポート5353を使用します。ファイアーウォールを設定しているパソコンでは、ファイアーウォールにポート番号の例外設定を行わないと、カメラとパソコン間で転送ができない場合があります。

■■既存のネットワークに接続する（Wi-Fiステーションモード）

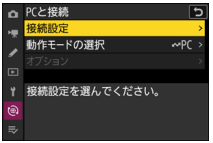
ご自宅などにすでに構築されているネットワークに、無線LANアクセスポイントを経由してカメラとパソコンを接続します。カメラと無線接続中でも、パソコンはインターネットを使用できます。

・接続設定を行う前に、パソコンにWireless Transmitter Utility（🕮336）がインストールされていることを確認してください。

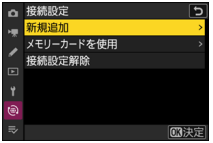
☑ Wi-Fiステーションモードで接続する場合

ルーターを越えて別のネットワークに接続することはできません。同じネットワーク内のパソコンとのみ接続できます。

1 **カメラのネットワークメニュー［PCと接続］で［接続設定］を選び、マルチセレクターの▶を押す**



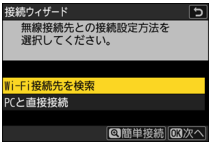
2 **［新規追加］を選び、OKボタンを押す**



3 **接続設定名を入力する**

- 変更しない場合は、そのまま🔍ボタンを押すと、接続方法の設定画面が表示されます。
- 設定した接続設定名は、ネットワークメニュー［**PCと接続**］>［**接続設定**］に一覧で表示されます。
- 接続設定名を変更するには、OKボタンを押します。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（🕮70）をご覧ください。任意の接続設定名を入力して🔍ボタンを押すと、接続設定名を決定します。

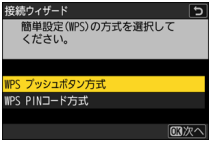
4 ［Wi-Fi接続先を検索］を選び、⊛ボタンを押す



カメラの周辺にある無線LANアクセスポイントを検索して、検出した接続先のSSIDを表示します。

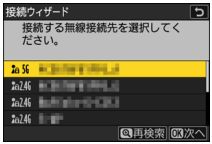
［簡単接続］で接続する

手順4で🔍ボタンを押すと、SSIDや暗号キーを入力せずに無線LANアクセスポイントに接続できます。接続方法を選んで⊛ボタンを押してください。接続が完了したら、手順7に進んでください。



接続方法	内容
［**WPSプッシュボタン方式**］	無線LANアクセスポイントにWPSプッシュボタンがある場合に使用できます。WPSプッシュボタンを押した後にカメラの⊛ボタンを押すと、無線LANアクセスポイントに接続できます。
［**WPS PINコード方式**］	カメラにPINコードが表示されます。パソコンを使用して無線LANアクセスポイントにPINコードを入力します。無線LANアクセスポイントにPINコードを入力する方法については、お使いの無線LANアクセスポイントの使用説明書をご覧ください。

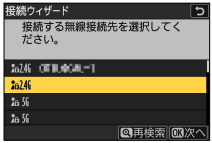
5 接続先のSSIDを選ぶ



- 接続先のSSIDを選んでⓀボタンを押します。
- カメラで入力できない文字が使用されているSSIDは表示されません。
- 検出されたSSIDの周波数帯をアイコンで確認できます。
- 暗号ありのSSIDには🔒が表示されます。暗号あり🔒のSSIDを選んだ場合は、暗号キーの設定画面が表示されます。暗号なしの接続先を選んだ場合は手順7へお進みください。
- 🔍ボタンを押すと無線接続先を再検索します。

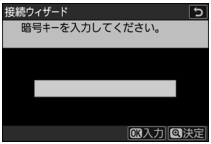
☑ SSIDが非公開に設定されている場合

無線LANアクセスポイントがSSIDを非公開に設定している場合、検出されたSSID一覧にSSID名が表示されません。



- 非公開のSSIDに接続したい場合、空欄になっている項目を選択してⓀボタンを押してください。続いてⓀボタンを押すと、SSID入力画面になります。
- 接続したいSSID名を入力し、🔍ボタンを押してください。もう一度🔍ボタンを押すと、暗号キーの設定画面が表示されます。

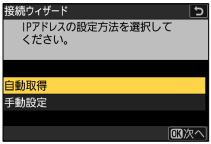
6 暗号キーを入力する



- ⓚボタンを押して、無線LANアクセスポイントで使用している暗号キーを入力します。
- 無線LANアクセスポイントの暗号キーについては、無線LANアクセスポイントの使用説明書などをご覧ください。

- 🔍ボタンを押して、暗号キーの入力を完了します。
- もう一度🔍ボタンを押すと、接続を開始します。接続に成功すると、図のような画面が数秒間表示されます。

7 IPアドレスの設定方法を選んで設定する

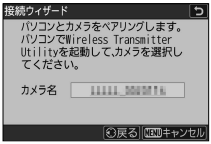


・IPアドレスの設定方法を選んでⓄⓀボタンを押します。

設定方法	内容
［**自動取得**］	カメラが自動でIPアドレスを取得します。IPアドレスを取得するとIPアドレス設定完了画面が表示されます。
［**手動設定**］	IPアドレス、サブネットマスクを手動で入力します。 ・ⓄⓀボタンを押すと、IPアドレス入力画面が表示されます。 ・メインコマンドダイヤルを回して、変更したい桁を選びます。 ・◀▶を押して数値を変更し、ⓄⓀボタンを押して決定します。 ・🔍ボタンを押すと、IPアドレス設定完了画面が表示されます。再度🔍ボタンを押すと、サブネットマスク入力画面が表示されます。 ・サブネットマスクは▲▼を押して数値を変更し、ⓄⓀボタンを押して決定すると、IPアドレス設定完了画面が表示されます。

8 IPアドレス設定完了画面が表示されたらⓄⓀボタンを押す

9 パソコンとのペアリングを開始する

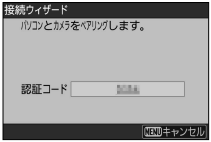


カメラに図のような画面が表示されたら、パソコンでWireless Transmitter Utilityを起動してください。

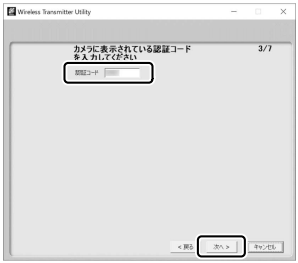
10 Wireless Transmitter Utilityでカメラ名を選ぶ

手順9でカメラに表示されているカメラ名を選択し、［**次へ**］をクリックします。

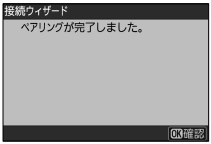
11 カメラに表示される認証コードをWireless Transmitter Utilityに入力する



・カメラに認証コードが表示されます。
・Wireless Transmitter Utilityに認証コードを入力し、［**次へ**］をクリックします。



12 ペアリングを完了する



・カメラに図のような画面が表示されたらⓄⓀボタンを押してください。
・Wireless Transmitter Utilityは［**次へ**］をクリックすると画像を転送するフォルダーを設定する画面になります。詳しくはWireless Transmitter Utilityのヘルプをご覧ください。

・ペアリング完了後に、カメラとパソコンの接続が開始されます。

13 カメラとパソコンの接続を確認する

カメラとパソコンが接続されると、［**PCと接続**］画面に接続設定名が緑色で点灯します。

カメラとパソコンの無線接続が完了しました。

カメラで撮影した画像をパソコンに転送するには、「パソコンまたはFTPサーバーに接続してできること」>「画像を送信する」（🕮370）をご覧ください。
パソコンにインストールしたNX Tetherでカメラを操作するには、「パソコンまたはFTPサーバーに接続してできること」>「カメラコントロールモードを使用する」（🕮375）をご覧ください。

パソコンとのネットワーク接続を解除する

パソコンとのネットワーク接続を解除するには、次の方法があります。

- カメラの電源をOFFにする
- ネットワークメニュー［**PCと接続**］>［**接続設定**］で［**接続設定解除**］を選ぶ

☑ Wi-Fiアクセスポイントモードで接続している場合
パソコンの無線接続を先に解除すると通信エラーになります。カメラのネットワーク接続を先に解除してください。

無線LANでFTPサーバーと接続する

カメラに内蔵されている無線LAN（Wi-Fi）機能を使用すると、カメラとFTPサーバーを無線で接続することができます。

機器との接続について

パソコン、FTPサーバー、スマートフォンに同時に接続することはできません。異なる機器との接続を開始した場合、接続済みの機器との接続が解除されます。

FTPサーバーと無線接続できない場合

次のことをお試しください。

- カメラの電源を入れ直す
- FTPサーバーの無線機能の設定を確認する
- FTPサーバーを再起動する

ヒント: 無線LAN使用時にエラーが発生した場合

「無線LAN使用時のトラブルシューティング」（🕮378）をご覧ください。

カメラとFTPサーバーを無線LANで接続する

カメラとFTPサーバーを無線接続するには、カメラとFTPサーバーを直接無線接続する「Wi-Fiアクセスポイントモード」と、ご自宅などにすでに構築されているネットワークに無線LANアクセスポイントを経由してFTPサーバーと接続する「Wi-Fiステーションモード」の2通りの方法があります。

FTPサーバーについて

- Windows 11またはWindows 10の場合は、OSに標準装備されているFTPサーバー機能（IIS（Internet Information Services）やFTPサービスなど）を利用してFTPサーバーを構築できます。
- インターネットを経由したFTPサーバーへの通信、およびサードパーティー製FTPソフトによって構築したFTPサーバーでの動作はサポートしておりません。

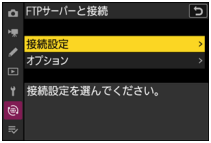
FTPSサーバーについて

- FTPSサーバーに接続する場合、接続前にカメラにルート証明書を読み込む必要があります。ルート証明書を読み込むには、ネットワークメニュー［**FTPサーバーと接続**］>［**オプション**］>［**ルート証明書の管理**］の［**ルート証明書の読み込み**］を行ってください。
- ルート証明書の取得方法については、接続するFTPSサーバーのネットワーク管理者にご確認ください。

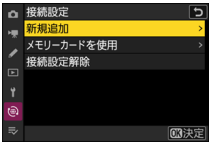
FTPサーバーと直接接続する（Wi-Fiアクセスポイントモード）

カメラとFTPサーバーを直接無線接続します。カメラをアクセスポイントとして使用するため、野外など無線LAN環境がない場合でも無線接続ができ、複雑な設定も不要です。

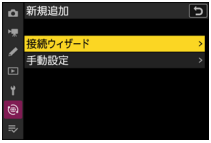
1 ネットワークメニュー［FTPサーバーと接続］で［接続設定］を選び、マルチセレクターのJを押す



2 [新規追加] を選び、Ⓚボタンを押す



3 [接続ウィザード] を選んで2を押す



接続ウィザード画面が表示されます。

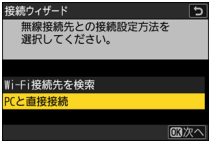
☑ 手動設定を行う

[**手動設定**] を選ぶと、接続設定の内容を全て手動で設定できます。

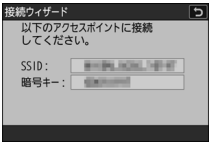
4 接続設定名を入力する

- 変更しない場合は、そのまま🔍ボタンを押すと、接続方法の設定画面が表示されます。
- 設定した接続設定名は、ネットワークメニュー［**FTPサーバーと接続**］>［**接続設定**］に一覧で表示されます。
- 接続設定名を変更するには、OKボタンを押します。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（🕮70）をご覧ください。任意の接続設定名を入力して🔍ボタンを押すと、接続設定名を決定します。

5 ［PCと直接接続］を選び、OKボタンを押す

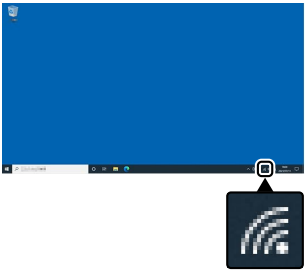


カメラのSSIDと暗号キーが表示されます。



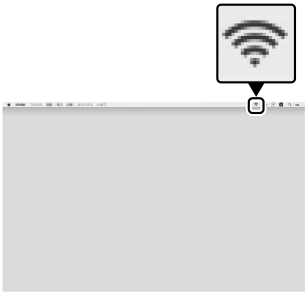
6 パソコンをカメラに接続する

Windowsの場合：



・画面の右下にある無線LANのアイコンをクリックしてください。
・手順5でカメラに表示されたSSIDを選んでクリックしてください。
・ネットワークキーを入力する画面が表示されたら、手順5で表示された暗号キーを入力してください。カメラとパソコンの接続が開始されます。

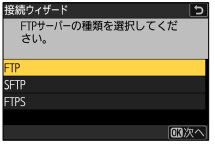
macOSの場合：



・画面の右上にある無線LANのアイコンをクリックしてください。
・手順5でカメラに表示されたSSIDを選んでクリックしてください。

・ネットワークキーを入力する画面が表示されたら、手順5で表示された暗号キーを入力してください。カメラとパソコンの接続が開始されます。

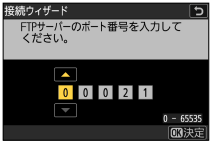
7 FTPサーバーの種類を選ぶ



［**FTP**］、［**SFTP**］または［**FTPS**］を選んでⓀボタンを押すと、FTPサーバーのポート番号入力画面が表示されます。

8 FTPサーバーのポート番号を入力する

・◀▶を押してポート番号の変更したい桁を選び、▲▼を押して数値を変更します。



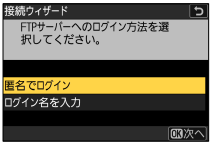
・Ⓚボタンを押して決定します。

ヒント: FTPサーバー接続時のポート番号について

・FTPサーバーに接続する場合、FTPサーバーの種類によって使用するポート番号が異なります。次のポート番号をお使いください。
［**FTP**］：TCP ポート21、32768～61000
［**SFTP**］：TCP ポート22、32768～61000
［**FTPS**］：TCP ポート21、32768～61000

・ファイアーウォールを設定しているFTPサーバーでは、ファイアーウォールにポート番号の例外設定を行わないと、カメラとFTPサーバー間で転送ができない場合があります。

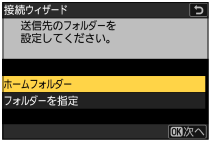
9 ログイン方法を選ぶ



FTPサーバーへのログイン方法を選んでⓀボタンを押します。

項目	内容
[**匿名でログイン**]	匿名でFTPサーバーにログインします。FTPサーバーが匿名でのログインを許可している場合のみログインできます。ログインに成功した場合は、送信先フォルダーの設定画面が表示されます。
[**ログイン名を入力**]	ログイン名とパスワードを手動で入力します。入力を完了してⓀボタンを押すと、FTPサーバーにログインします。ログインに成功した場合は、送信先フォルダーの設定画面が表示されます。

10 送信先フォルダーを設定する



送信先のフォルダーを選んでⓀボタンを押します。

項目	内容
[**ホームフォルダー**]	送信先をFTPサーバーのホームフォルダーに設定します。設定に成功した場合は、接続設定完了画面が表示されます。
[**フォルダーを指定**]	送信先のフォルダー名を手動で入力します。送信先のフォルダーは、あらかじめFTPサーバー側で作成しておく必要があります。入力を完了してⓀボタンを押すと、送信先のフォルダーを設定して接続設定完了画面が表示されます。

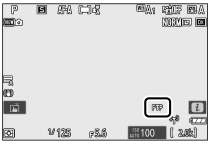
11 カメラとFTPサーバーの接続を確認する

カメラとFTPサーバーが接続されると、［**FTPサーバーと接続**］画面に接続設定名が緑色で点灯します。

・接続設定名が緑色で点灯していない場合は、FTPサーバーの無線接続設定でカメラと接続し直してください。

カメラとFTPサーバーの無線接続が完了しました。

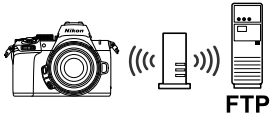
・カメラとFTPサーバーの接続が完了すると、撮影画面に「FTP」が表示されます。FTPサーバーとの接続にエラーが発生した場合、文字が赤くなり❗が表示されます。



カメラで撮影した画像をFTPサーバーに転送するには、「パソコンまたはFTPサーバーに接続してできること」>「画像を送信する」（🕮370）をご覧ください。

■既存のネットワークに接続する（Wi-Fiステーションモード）

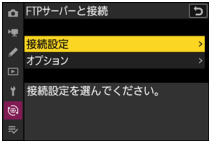
ご自宅などにすでに構築されているネットワークに、無線LANアクセスポイントを経由してカメラとFTPサーバーを接続します。



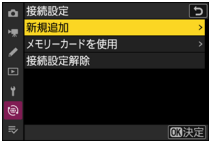
ヒント: Wi-Fiステーションモードで接続する場合

接続先がFTPサーバーの場合、ルーターを経由して別のネットワークに接続することが可能です。

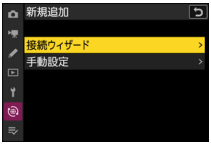
1 ネットワークメニュー［FTP サーバーと接続］で［接続設定］を選び、マルチセレクターの▶を押す



2 ［新規追加］を選び、OKボタンを押す



3 [接続ウィザード] を選んでOKを押す



接続ウィザード画面が表示されます。

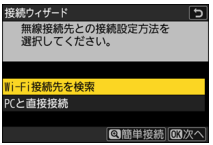
☑ 手動設定を行う

[**手動設定**] を選ぶと、接続設定の内容を全て手動で設定できます。

4 接続設定名を入力する

- 変更しない場合は、そのままQボタンを押すと、接続方法の設定画面が表示されます。
- 設定した接続設定名は、ネットワークメニュー［**FTPサーバーと接続**］>［**接続設定**］に一覧で表示されます。
- 接続設定名を変更するには、OKボタンを押します。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（🕮70）をご覧ください。任意の接続設定名を入力してQボタンを押すと、接続設定名を決定します。

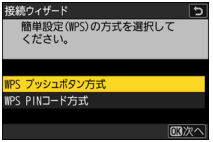
5 ［Wi-Fi 接続先を検索］を選び、Ⓚボタンを押す



カメラの周辺にある無線LANアクセスポイントを検索して、検出した接続先のSSIDを表示します。

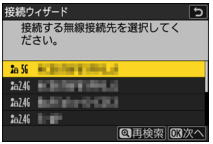
［簡単接続］で接続する

手順5でQボタンを押すと、SSIDや暗号キーを入力せずに無線LANアクセスポイントに接続できます。接続方法を選んでⓀボタンを押してください。接続が完了したら、手順8に進んでください。



接続方法	内容
［**WPSプッシュボタン方式**］	無線LANアクセスポイントにWPSプッシュボタンがある場合に使用できます。WPSプッシュボタンを押した後にカメラのⓀボタンを押すと、無線LANアクセスポイントに接続できます。
［**WPS PINコード方式**］	カメラにPINコードが表示されます。パソコンを使用して無線LANアクセスポイントにPINコードを入力します。無線LANアクセスポイントにPINコードを入力する方法については、お使いの無線LANアクセスポイントの使用説明書をご覧ください。

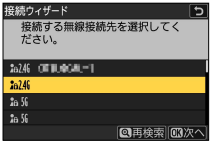
6 接続先のSSIDを選ぶ



- 接続先のSSIDを選んでⓀボタンを押します。
- カメラで入力できない文字が使用されているSSIDは表示されません。
- 検出されたSSIDの周波数帯をアイコンで確認できます。
- 暗号ありのSSIDには🔒が表示されます。暗号あり🔒のSSIDを選んだ場合は、暗号キーの設定画面が表示されます。暗号なしの接続先を選んだ場合は手順8へお進みください。
- 🔍ボタンを押すと無線接続先を再検索します。

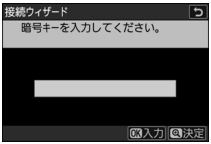
☑ SSIDが非公開に設定されている場合

無線LANアクセスポイントがSSIDを非公開に設定している場合、検出されたSSID一覧にSSID名が表示されません。



- 非公開のSSIDに接続したい場合、空欄になっている項目を選択してⓀボタンを押してください。続いてⓀボタンを押すと、SSID入力画面になります。
- 接続したいSSID名を入力し、🔍ボタンを押してください。もう一度🔍ボタンを押すと、暗号キーの設定画面が表示されます。

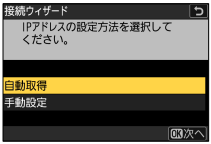
7 暗号キーを入力する



- ⓚボタンを押して、無線LAN アクセスポイントで使用している暗号キーを入力します。
- 無線LANアクセスポイントの暗号キーについては、無線LANアクセスポイントの使用説明書などをご覧ください。

- ⊕ボタンを押して、暗号キーの入力を完了します。
- もう一度⊕ボタンを押すと、接続を開始します。接続に成功すると、図のような画面が数秒間表示されます。

8 IPアドレスの設定方法を選んで設定する

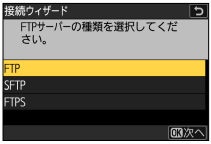


IPアドレスの設定方法を選んでⓀボタンを押します。

設定方法	内容
［**自動取得**］	カメラが自動でIPアドレスを取得します。IPアドレスを取得するとIPアドレス設定完了画面が表示されます。
［**手動設定**］	IPアドレス、サブネットマスクを手動で入力します。 ・Ⓚボタンを押すと、IPアドレス入力画面が表示されます。 ・メインコマンドダイヤルを回して、変更したい桁を選びます。 ・◀▶を押して数値を変更し、Ⓚボタンを押して決定します。 ・🔍ボタンを押すと、IPアドレス設定完了画面が表示されます。再度🔍ボタンを押すと、サブネットマスク入力画面が表示されます。 ・サブネットマスクは▲▼を押して数値を変更し、Ⓚボタンを押して決定すると、IPアドレス設定完了画面が表示されます。

9 IPアドレス設定完了画面が表示されたらⓀボタンを押す

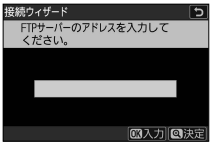
10 FTPサーバーの種類を選ぶ



［**FTP**］、［**SFTP**］または［**FTPS**］を選んでⓀボタンを押すと、アドレス入力画面が表示されます。

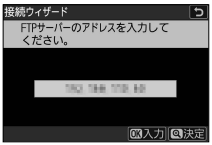
11 FTPサーバーのアドレスを入力する

・Ⓚボタンを押して、FTPサーバーのIPアドレスまたはURLを入力します。



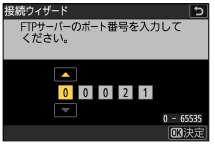
・🔍ボタンを押して、入力を完了します。

・もう一度🔍ボタンを押すと、カメラがFTPサーバーに接続します。接続に成功した場合は、FTPサーバーのポート番号入力画面が表示されます。



12 FTPサーバーのポート番号を入力する

・◀▶を押してポート番号の変更したい桁を選び、▲▼を押して数値を変更します。



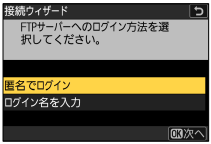
・Ⓚボタンを押して決定します。

ヒント: FTPサーバー接続時のポート番号について

・FTPサーバーに接続する場合、FTPサーバーの種類によって使用するポート番号が異なります。次のポート番号をお使いください。
［**FTP**］：TCP ポート21、32768～61000
［**SFTP**］：TCP ポート22、32768～61000
［**FTPS**］：TCP ポート21、32768～61000

・ファイアーウォールを設定しているFTPサーバーでは、ファイアーウォールにポート番号の例外設定を行わないと、カメラとFTPサーバー間で転送ができない場合があります。

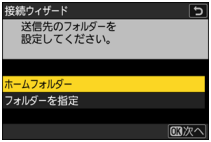
13 ログイン方法を選ぶ



FTPサーバーへのログイン方法を選んでOKボタンを押します。

項目	内容
[**匿名でログイン**]	匿名でFTPサーバーにログインします。FTPサーバーが匿名でのログインを許可している場合のみログインできます。ログインに成功した場合は、送信先フォルダーの設定画面が表示されます。
[**ログイン名を入力**]	ログイン名とパスワードを手動で入力します。入力を完了してOKボタンを押すと、FTPサーバーにログインします。ログインに成功した場合は、送信先フォルダーの設定画面が表示されます。

14 送信先フォルダーを設定する



送信先のフォルダーを選んでOKボタンを押します。

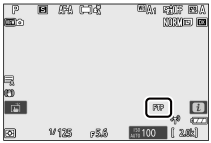
項目	内容
[**ホームフォルダー**]	送信先をFTPサーバーのホームフォルダーに設定します。設定に成功した場合は、接続設定完了画面が表示されます。
[**フォルダーを指定**]	送信先のフォルダー名を手動で入力します。送信先のフォルダーは、あらかじめFTPサーバー側で作成しておく必要があります。入力を完了してOKボタンを押すと、送信先のフォルダーを設定して接続設定完了画面が表示されます。

15 カメラとFTPサーバーの接続を確認する

カメラとFTPサーバーが接続されると、［**FTPサーバーと接続**］画面に接続設定名が緑色で点灯します。

カメラとFTPサーバーの無線接続が完了しました。

- カメラとFTPサーバーの接続が完了すると、撮影画面に「FTP」が表示されます。FTPサーバーとの接続にエラーが発生した場合、文字が赤くなり❗が表示されます。



カメラで撮影した画像をFTPサーバーに転送するには、「パソコンまたはFTPサーバーに接続してできること」>「画像を送信する」（🕮370）をご覧ください。

FTPサーバーとのネットワーク接続を解除する

FTPサーバーとのネットワーク接続を解除するには、次の方法があります。

- カメラの電源をOFFにする
- ネットワークメニュー［**FTPサーバーと接続**］>［**接続設定**］で［**接続設定解除**］を選ぶ

☑ Wi-Fiアクセスポイントモードで接続している場合

FTPサーバーの無線接続を先に解除すると通信エラーになります。カメラのネットワーク接続を先に解除してください。

パソコンまたはFTPサーバーに接続してできること

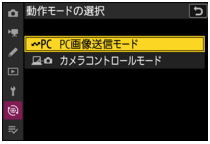
無線LAN接続すると、撮影した画像の転送や、カメラのリモート操作を行えます。

画像を送信する

再生画面で選んだ画像をパソコンまたはFTPサーバーに送信できます。カメラで撮影するたびに自動で送信することもできます。

- 画像を送信する前に、カメラを送信先の機器に無線接続してください（🕮336、🕮352）。接続設定後、［**PCと接続**］画面または［**FTPサーバーと接続**］画面に接続設定名が緑色で点灯していることをご確認ください。

- パソコンに画像を送信する場合はネットワークメニュー［**PCと接続**］>［**動作モードの選択**］で［**PC画像送信モード**］を選んでください。



Wi-Fiアクセスポイントモードで送信する場合のご注意

カメラで接続設定を選んでカメラのWi-Fi通信機能が開始された後に、送信先の機器を無線接続してください。

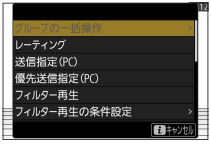
パソコン接続時の接続先フォルダーについて

- 送信された画像は、次のフォルダーに転送されます。
  - Windows：\Users\"ユーザー名"\Pictures\Wireless Transmitter Utility
  - macOS：/Users/"ユーザー名"/Pictures/Wireless Transmitter Utility
- Wireless Transmitter Utilityを使うと、転送先のフォルダーを変更できます。詳しくはWireless Transmitter Utilityのヘルプをご覧ください。

■■画像を選んで送信する

1 カメラの▶ボタンを押して1コマ表示モードまたはサムネイル表示モードにする

2 送信したい画像を選んでiボタンを押す



iメニューに表示される項目は、現在カメラと接続している機器によって異なります。

3 **［送信指定（PC）］または［送信指定（FTP）］を選んでⓀボタンを押す**

- 優先送信設定マーク（白色）が付加されます。ネットワークに接続済みの場合、すぐに送信が始まります（送信マークが緑色に変わります）。
- 送信指定した画像がある状態でネットワークに接続すると、自動的に送信が開始されます。
- 複数の画像を送信する場合は、手順2～3を繰り返してください。

送信指定を解除するには

- 解除したい画像を選んで、手順2と3を行います。
- ネットワークメニュー［**PCと接続**］または［**FTPサーバーと接続**］にある［**オプション**］>［**全送信マーク解除**］で一括解除できます。

ヒント: 条件に当てはまる画像だけを送信するには

再生時の**i**メニューで［**フィルター再生**］を行うと、設定された条件に当てはまる画像のみ再生されます（🕮251）。**i**メニューで［**一括送信指定（PC）**］または［**一括送信指定（FTP）**］を選んでⓀボタンを押すと、再生対象の画像全てに送信設定マークが付加されます。

■■ 撮影した画像を自動で送信する

ネットワークメニュー［**PCと接続**］または［**FTPサーバーと接続**］にある［**オプション**］>［**撮影後自動送信**］を［**ON**］に設定すると、静止画を撮影するたびに接続している機器に転送します。

・画像はメモリーカードに記録されてから自動的に送信設定が行われます。撮影する場合は必ずカメラにメモリーカードを挿入してください。
・動画は自動送信されません。再生画面で送信設定してください。

■■マーク表示について

送信する画像には次のようなマークが表示されます。

（白）：送信予定の画像（優先送信設定マーク）
手動で送信設定した画像に表示されます。の画像がある場合でも、優先して画像が送信されます。

（白）：送信予定の画像（送信設定マーク）
一括送信設定または自動送信で送信設定され、これから送信される画像の送信設定マークは白色で表示されます。

（緑）：送信中の画像（送信中マーク）
画像の送信中は送信設定マークが緑色で表示されます。

（青）：送信済みの画像（送信済みマーク）
画像が正常に送信された場合、送信設定マークが青色に変わります。

■画像送信時の［PCと接続］または［FTPサーバーと接続］画面

［**PCと接続**］または［**FTPサーバーと接続**］画面では、次の状態が確認できます。

1	**接続状態**：接続状態を表します。接続されたときは接続設定名が緑色で表示されます。データを送信中の場合、接続設定名の下に「(送信中のファイル名)」＋「送信中」と表示されます。エラーが発生した場合には、エラーの内容が表示されます。 ・［**FTP サーバーと接続**］の場合、エラーコードも表示されます(🕮379)。
2	**電波状態**：電波の状態がアイコンで表示されます。
3	**周波数帯**：Wi-Fiステーションモードで無線接続している場合、接続しているSSIDの電波周波数帯が表示されます。Wi-Fiアクセスポイントモードの場合、カメラが出力している電波周波数帯が表示されます。
4	**残り**：送信予定のコマ数と、残りの送信予定時間を表示します。表示される時間は目安です。

電波状態による送信の中断について

無線LAN接続時、電波状態によっては送信が一時中断されることがあります。この場合、電波状態が回復した後、カメラの電源をいったんOFFにして再度ONにすると、送信設定マークが表示された画像の送信を再開します。

送信中のご注意

送信中はメモリーカードの抜き差しを絶対に行わないでください。

音声メモを録音した画像の送信

録音した音声メモも同時に送信されます。ただし、音声メモのみを送信することはできません。

画像転送中にカメラの電源をOFFにした場合

送信設定は保持されるため、再度電源をONにすると、送信設定マークが表示された画像は送信が再開されます。

FTPサーバーにプロテクトした画像を送信した場合

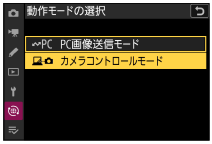
FTPサーバーに送信して保存された画像のプロテクトは解除されています。画像に目印を付けたい場合、レーティングを設定することをおすすめします（🕮247）。

カメラコントロールモードを使用する

NX Tetherを使って、パソコンからカメラをコントロールできます。NX Tetherのカメラコントロールで撮影した静止画はパソコンに直接取り込めるため、カメラにメモリーカードを挿入しない状態でも使用できます。

- 動画を撮影する場合は、メモリーカードをカメラに挿入してください。
- カメラコントロールモードのときは、半押しタイマーはオフになりません。
- NX Tetherを使用する前に、カメラをパソコンに無線接続してください（🕮336）。接続設定後、［**PCと接続**］画面に接続設定名が緑色で点灯していることをご確認ください。

1 **ネットワークメニュー［PCと接続］>［動作モードの選択］で［カメラコントロールモード］を選ぶ**

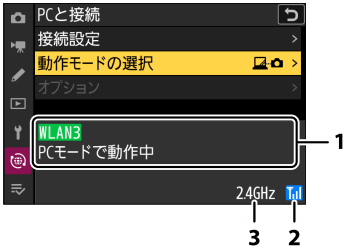


2 **パソコンにインストールされている NX Tether を起動する**

3 **NX Tether を使用して、カメラを操作する**
NX Tether を使用して撮影する方法については、NX Tether のオンラインヘルプをご覧ください。

■■カメラコントロールモード時の［PCと接続］画面

［**PCと接続**］画面では、次の状態が確認できます。



1 **接続状態**：接続状態を表します。接続されたときは接続設定名が緑色で表示されます。エラーが発生した場合には、エラーの内容が表示されます（🕮378）。

2 **電波状態**：電波の状態がアイコンで表示されます。

3 **周波数帯**：Wi-Fi ステーションモードで無線接続している場合、接続している SSID の電波周波数帯が表示されます。Wi-Fi アクセスポイントモードの場合、カメラが出力している電波周波数帯が表示されます。

電波状態による送信の中断について

無線LAN接続時、電波状態によっては、送信が中断され、パソコンとの接続が切断される場合があります。その場合、ネットワークメニュー［**PCと接続**］>［**接続設定**］で一度［**接続設定解除**］を選んでから再度接続設定を選んでネットワークに接続してください。電波状態が回復すれば、パソコンとの接続が回復し、未送信画像が再送信されます。再送信する前にカメラの電源をOFFにすると、未送信画像が消去され、再送信できませんのでご注意ください。

無線LAN使用時のトラブルシューティング

無線LAN使用時にエラーが発生した場合はこちらをご覧ください。

- Wireless Transmitter UtilityについてはWireless Transmitter Utilityのヘルプをご覧ください。

問題と対処方法について

次のような症状が発生した場合の対処法については、こちらをご覧ください。

こんなときは	対処方法
・「無線エラーが発生しました。」と表示される。 ・「TCP/IPエラーが発生しました」と表示される。 ・「FTPエラーが発生しました」と表示される。	接続設定が正しくありません。無線LANアクセスポイントやFTPサーバー（またはパソコン）の設定を確認し、設定をやり直してください（🕮336、🕮352）。
	エラーコードが表示されている場合、表示されているエラーコードによって対処方法が異なります。「エラーコードについて」をご覧ください（🕮379）。
「PCに接続中です」と表示されたまま画面が変化しない。	ファイアーウォールの設定を確認してください（🕮343、🕮357）。
「カードが入っていません」と表示される。	メモリーカードが入っていないか、正しくセットされていません。メモリーカードを正しくセットしてください（🕮78）。
途中で送信が中断して画像を送信できなかった。	カメラの電源をいったんOFFにして再度ONにすると送信設定マークが表示された画像の送信を再開します（🕮375）。
通信が不安定になる。	Wi-Fiステーションモードでパソコンまたは FTPサーバーに接続している場合、アクセスポイントのチャンネルの設定を、1〜8chの間で設定してください（🕮673、🕮676）。

エラーコードについて

FTPサーバーに接続しているときにエラーが発生した場合、次のメッセージとエラーコードが表示されます。

●［無線エラーが発生しました。］

エラーコード	対処方法
Err.11	接続先機器の電源がオンになっているかどうかをご確認ください。
	SSIDの確認をしてください（🕮676）。
Err.12	選んだSSIDに対してパスワードが正しいかご確認ください。
	認証方式が正しいかご確認ください（🕮676）。
Err.13	接続先機器の電源がオンになっているかどうかをご確認ください。
	カメラの電源スイッチを入れ直してください。
Err.1F	カメラの電源スイッチを入れ直してください。

●［TCP/IPエラーが発生しました。］

エラーコード	対処方法
Err.21	TCP/IPのアドレス、マスクが正しいかご確認ください（🕮676）。
Err.22	TCP/IPのアドレスが重複しています。アドレスを変更してください（🕮676）。

●［PTP/IPエラーが発生しました。］

エラーコード	対処方法
Err.41	カメラの電源スイッチを入れ直してください。

● **[FTPエラーが発生しました。]**

エラーコード	対処方法
Err.31	FTPサーバーのアドレスが正しいかご確認ください（🕮676）。
Err.32	ログイン名、パスワードが正しいかご確認ください（🕮676）。
Err.34	指定したフォルダーの名前が正しいかご確認ください（🕮676）。
Err.35	FTPサーバーのフォルダーの書き込みが許可に設定されているか確認してください。
Err.36	DNSの設定が正しいかご確認ください（🕮676）。
Err.37	ファイアーウォールの設定を確認してください（🕮357）。
	パッシブモードの有効/無効を変更してください（🕮676）。
Err.3F	カメラの電源スイッチを入れ直してください。

● **[FTPサーバーとの認証時にエラーが発生しました。]**

エラーコード	対処方法
Err.61	FTPサーバーがTLS1.2以上に対応しているかご確認ください。
Err.62	ルート証明書が正しいかご確認ください（🕮353、🕮680）。
Err.63	
Err.64	FTPサーバーからクライアント証明書を要求されているため接続できません。FTPサーバーの設定をご確認ください。
Err.65	カメラの電源スイッチを入れ直してください。

Nikon Imaging Cloudとの接続

Nikon Imaging Cloudについて

Nikon Imaging Cloudは、パソコンやスマートフォンのWebブラウザー上でご利用いただけるニコンのクラウドサービスです（🕮409）。カメラをNikon Imaging Cloudに接続すると、様々なサービスをお使いいただけます。

- 一度カメラを接続すると、スマートフォンやパソコンが周囲にない状況でも、インターネットを経由してNikon Imaging Cloudを使用できます。
- Nikon Imaging Cloudの詳しい使い方などはNikon Imaging Cloudのヘルプをご覧ください。

Nikon Imaging Cloudに接続したカメラを貸出/譲渡/廃棄する場合のご注意

- カメラを貸し出す場合は、Nikon Imaging Cloudのホーム画面でカメラを自動接続しない設定にするか、セットアップメニュー［**カメラの初期化**］を行ってカメラを初期化してください。
- カメラを譲渡または廃棄する場合は、Nikon Imaging Cloudのホーム画面でカメラの情報を削除し、セットアップメニュー［**カメラの初期化**］を行ってカメラを初期化してください。

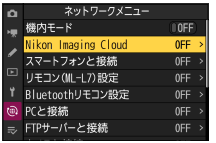
カメラをNikon Imaging Cloudに接続する

Nikon Imaging Cloudの各種サービスをご利用いただくためには、カメラとパソコン/スマートフォンを操作してNikon Imaging Cloudとカメラを Wi-Fi接続する必要があります。

カメラとNikon Imaging Cloudを接続する前に

- Nikon Imaging Cloudのご利用には、Nikon IDの作成とNikon Imaging Cloudの利用登録が必要です。カメラと接続する前に利用登録を完了し、パソコンまたはスマートフォンでログインした状態にしてください。詳しくはNikon Imaging Cloudのヘルプをご覧ください。
- Nikon Imaging Cloudの閲覧および操作には、Webブラウザーが必要です。
- カメラとNikon Imaging Cloudを接続するにはWi-Fi環境が必要です。ご自宅などにすでに構築されているネットワークに、無線LANアクセスポイントを経由して無線接続を行います。

1 カメラ：ネットワークメニュー［Nikon Imaging Cloud］を選んでマルチセレクターの▶を押す

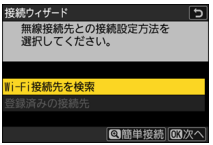


パソコン/スマートフォンでNikon Imaging CloudにアクセスするためのURLとQRコードが表示されます。

2 カメラ：図のような画面が表示されたら、⊛ボタンを押して次の画面に進む

3 カメラ：［**Nikon Imaging Cloudと接続**］を選び、［**ON**］に設定する

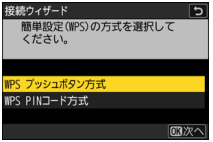
4 **カメラ：［Wi-Fi 接続先を検索］を選び、Ⓚボタンを押す**



カメラの周辺にある無線LANアクセスポイントを検索して、検出した接続先のSSIDを表示します。

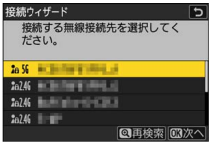
［簡単接続］で接続する

手順4でQボタンを押すと、SSIDや暗号キーを入力せずに無線LANアクセスポイントに接続できます。接続方法を選んでⓀボタンを押してください。接続が完了したら、手順7に進んでください。



接続方法	内容
［**WPSプッシュボタン方式**］	無線LANアクセスポイントにWPSプッシュボタンがある場合に使用できます。WPSプッシュボタンを押した後にカメラのⓀボタンを押すと、無線LANアクセスポイントに接続できます。
［**WPS PINコード方式**］	カメラにPINコードが表示されます。パソコンを使用して無線LANアクセスポイントにPINコードを入力します。無線LANアクセスポイントにPINコードを入力する方法については、お使いの無線LANアクセスポイントの使用説明書をご覧ください。

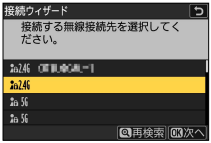
5 カメラ：接続先のSSIDを選ぶ



- 接続先のSSIDを選んでⓄKボタンを押します。
- カメラで入力できない文字が使用されているSSIDは表示されません。
- 検出されたSSIDの周波数帯をアイコンで確認できます。
- 暗号ありのSSIDには🔒が表示されます。暗号あり🔒のSSIDを選んだ場合は、暗号キーの設定画面が表示されます。暗号なしの接続先を選んだ場合は手順8へお進みください。
- 🔍ボタンを押すと無線接続先を再検索します。

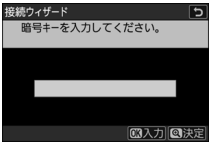
☑ SSIDが非公開に設定されている場合

無線LANアクセスポイントがSSIDを非公開に設定している場合、検出されたSSID一覧にSSID名が表示されません。



- 非公開のSSIDに接続したい場合、空欄になっている項目を選択してⓄKボタンを押してください。続いてⓄKボタンを押すと、SSID入力画面になります。
- 接続したいSSID名を入力し、🔍ボタンを押してください。もう一度🔍ボタンを押すと、暗号キーの設定画面が表示されます。

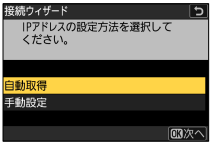
6 カメラ：暗号キーを入力する



- ⓚボタンを押して、無線LANアクセスポイントで使用している暗号キーを入力します。
- 無線LANアクセスポイントの暗号キーについては、無線LANアクセスポイントの使用説明書などをご覧ください。

- 🔍ボタンを押して、暗号キーの入力を完了します。
- もう一度🔍ボタンを押すと、接続を開始します。接続に成功すると、図のような画面が数秒間表示されます。

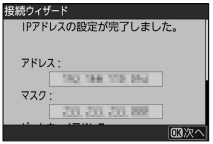
7 カメラ：IPアドレスの設定方法を選んで設定する



IPアドレスの設定方法を選んでOKボタンを押します。

設定方法	内容
[**自動取得**]	カメラが自動でIPアドレスを取得します。IPアドレスを取得するとIPアドレス設定完了画面が表示されます。
[**手動設定**]	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNSサーバーアドレスの順に手動で入力します。各項目の入力方法は次の通りです。 **IPアドレス/ゲートウェイアドレス/DNSサーバーアドレス：** ・OKボタンを押すと、アドレス入力画面が表示されます。 ・メインコマンドダイヤルを回して変更したい桁を選びます。 ・◀▶を押して数値を変更し、OKボタンを押して入力します。 ・全ての桁の入力が完了したら、🔍ボタンを押して決定します。 ・再度🔍ボタンを押すと次の画面が表示されます。 **サブネットマスク：** ▲▼を押して数値を変更します。OKボタンを押して決定すると、次の画面が表示されます。

8 **カメラ：IPアドレス設定完了画面が表示されたらOKボタンを押す**



カメラがNikon Imaging Cloudにアクセスして接続準備を行います。接続準備が完了すると、パソコン/スマートフォンでNikon Imaging Cloudにアクセスするための QR コードとURLが表示されます。

9 **パソコン/スマートフォン：Nikon Imaging Cloudのホーム画面でカメラ接続ボタンをクリックまたはタップする**

Nikon Imaging Cloudとカメラを接続するためのアクセスコードが表示されます。

10 カメラ：手順9でパソコン/スマートフォンに表示されたアクセスコードを入力する

・Ⓚボタンを押してアクセスコード入力画面を表示します。

・アクセスコードを入力したら、🔍ボタンを押して入力を完了します。

・もう一度🔍ボタンを押すとカメラとNikon Imaging Cloudが接続され、パソコン/スマートフォンでNikon Imaging Cloudにアクセスするための QR コードとURLが表示されます。

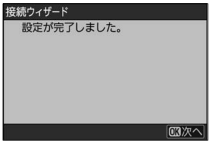
11 パソコン/スマートフォン：カメラの画面に表示されているQRコードを読み取るか、URLをWebブラウザーに入力する

・接続確認の画面が表示されます。

・パソコン/スマートフォンにユーザーコードの入力画面が表示された場合は、カメラの画面に表示されているユーザーコードを入力してください。

12 パソコン/スマートフォン：［接続する］ボタンをクリックまたはタップする

Nikon Imaging Cloudとカメラの**Wi-Fi**接続は完了しました。パソコン/スマートフォンとカメラの両方に接続完了の画面が表示されると、カメラが**Nikon Imaging Cloud**で利用可能になります。



接続後の操作方法などは**Nikon Imaging Cloud**のヘルプをご覧ください。

エラーコードについて

カメラに表示されたエラーコードの内容と対処方法は次の通りです。

●［接続先が見つかりません。］

エラーコード	対処方法
Err.11	接続先機器の電源がオンになっているかどうかをご確認ください。
	カメラの無線接続設定でネットワークのSSIDを確認してください。

●［無線エラーが発生しました。］

エラーコード	対処方法
Err.12	選んだSSIDに対してパスワードが正しいかご確認ください。
	カメラの無線接続設定で認証/暗号化方式が正しいかご確認ください。
Err.13	接続先機器の電源がオンになっているかどうかをご確認ください。
	カメラの電源スイッチを入れ直してください。
Err.1F	カメラの電源スイッチを入れ直してください。

●［TCP/IPエラーが発生しました。］

エラーコード	対処方法
Err.21	カメラの無線接続設定でTCP/IPのIPアドレスとサブネットマスクが正しいかご確認ください。
Err.22	IPアドレスが重複しています。カメラの無線接続設定でIPアドレスを変更してください。

●［Nikon Imaging Cloudに接続できませんでした。］

エラーコード	対処方法
Err.90	Nikon Imaging Cloudへの初回接続を最初からやり直してください。
Err.91	利用規約が更新された可能性があります。詳しくはNikon Imaging Cloudのホーム画面をご覧ください。
Err.94	トークンエラーです。カメラの電源を入れ直して再度接続してください。
Err.96	Nikon Imaging Cloudを利用できません。Nikon Imaging CloudのWebサイトをご確認ください。
Err.A0	Nikon IDを確認できませんでした。Nikon IDを未取得の場合は、取得後に再度カメラを接続してください。

●［Nikon Imaging Cloudの利用登録に失敗しました。］

エラーコード	対処方法
Err.92	認証エラーです。次のいずれかの方法でNikon Imaging Cloudに再度接続してください。 ・パソコン：カメラに表示されたURLをブラウザーに入力する ・スマートフォン：カメラに表示されたURLをブラウザーに入力する、またはQRコードを読み取る
Err.95	カメラの個体識別エラーです。ニコンサービス機関にお問い合わせください。

●［メンテナンス中のため接続できませんでした。］

エラーコード	対処方法
Err.93	Nikon Imaging Cloudがメンテナンス中です。時間をおいて再度接続してください。

●［バージョンアップ情報の取得に失敗しました。］

エラーコード	対処方法
Err.97	ファームウェアアップデート情報の取得に失敗しました。時間をおいて再度実行してください。繰り返し発生する場合はニコンカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

●［Nikon Imaging Cloudに画像をアップロードできませんでした。］

エラーコード	対処方法
Err.98	Nikon Imaging Cloudの利用が制限されています。Nikon Imaging CloudのWebサイトをご確認ください。

●［Nikon Imaging Cloudにログインできませんでした。］

エラーコード	対処方法
Err.A1	カメラの自動ログイン設定がOFFになっています。Nikon Imaging Cloudのホーム画面でカメラの自動ログイン設定をONにしてください。

●［HTTPSエラーが発生しました。］

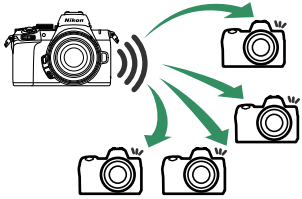
エラーコード	対処方法
Err.1400	カメラの電源を入れ直してください。
Err.1404	カメラの無線接続設定でDNSの設定が正しいかご確認ください。
Err.1502	時間をおいて再度実行してください。
Err.1503	時間をおいて再度実行してください。
Err.1504	時間をおいて再度実行してください。

他のカメラとの接続

他のカメラと接続してできること

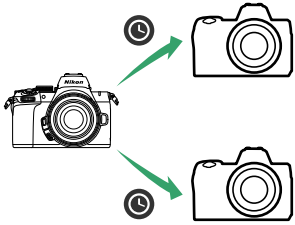
他のカメラと連動してレリーズする（連動レリーズ）

1台のマスターカメラと16台までのリモートカメラをグループにしてマスターカメラのレリーズに連動して、複数のリモートカメラをレリーズさせて撮影できます（🕮395）。



カメラの時計を同期する（日時を同期）

複数台のカメラの日時を、ネットワークを使用して同期できます（🕮408）。

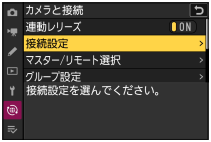


連動レリーズモードを使用する

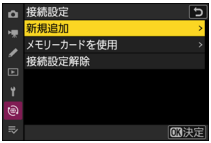
連動レリーズ用の接続設定を作成して撮影する

連動レリーズを行うための接続設定を新規に作成します。撮影した画像はそれぞれのカメラのメモリーカードに記録されます。連動レリーズモードで撮影する全てのカメラで、同様の設定を行ってください。

1 **ネットワークメニュー［カメラと接続］で［接続設定］を選び、マルチセレクターの▶を押す**



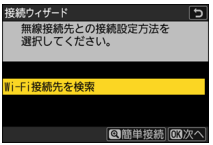
2 **［新規追加］を選び、OKボタンを押す**



3 接続設定名を入力する

- 変更しない場合は、そのまま🔍ボタンを押すと、接続方法の設定画面が表示されます。
- 設定した接続設定名は、ネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**接続設定**］に一覧で表示されます。
- 接続設定名を変更するには、OKボタンを押します。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（🕮70）をご覧ください。任意の接続設定名を入力して🔍ボタンを押すと、接続設定名を決定します。

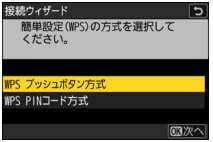
4 ［Wi-Fi接続先を検索］を選び、Ⓚボタンを押す



カメラの周辺にある無線LANアクセスポイントを検索して、検出した接続先のSSIDを表示します。

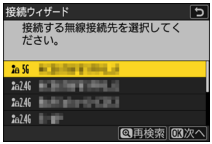
［簡単接続］で接続する

手順4でQボタンを押すと、SSIDや暗号キーを入力せずに無線LANアクセスポイントに接続できます。接続方法を選んでⓀボタンを押してください。接続が完了したら、手順7に進んでください。



接続方法	内容
［**WPSプッシュボタン方式**］	無線LANアクセスポイントにWPSプッシュボタンがある場合に使用できます。WPSプッシュボタンを押した後にカメラのⓀボタンを押すと、無線LANアクセスポイントに接続できます。
［**WPS PINコード方式**］	カメラにPINコードが表示されます。パソコンを使用して無線LANアクセスポイントにPINコードを入力します。無線LANアクセスポイントにPINコードを入力する方法については、お使いの無線LANアクセスポイントの使用説明書をご覧ください。

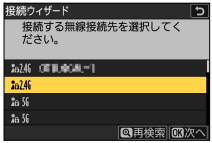
5 接続先のSSIDを選ぶ



- 接続先のSSIDを選んでⓀボタンを押します。
- カメラで入力できない文字が使用されているSSIDは表示されません。
- 検出されたSSIDの周波数帯をアイコンで確認できます。
- 暗号ありのSSIDには🔒が表示されます。暗号あり🔒のSSIDを選んだ場合は、暗号キーの設定画面が表示されます。暗号なしの接続先を選んだ場合は手順7へお進みください。
- 🔍ボタンを押すと無線接続先を再検索します。

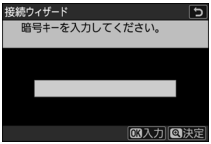
☑ SSIDが非公開に設定されている場合

無線LANアクセスポイントがSSIDを非公開に設定している場合、検出されたSSID一覧にSSID名が表示されません。



- 非公開のSSIDに接続したい場合、空欄になっている項目を選択してⓀボタンを押してください。続いてⓀボタンを押すと、SSID入力画面になります。
- 接続したいSSID名を入力し、🔍ボタンを押してください。もう一度🔍ボタンを押すと、暗号キーの設定画面が表示されます。

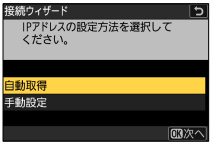
6 暗号キーを入力する



- ⓄⓀボタンを押して、無線LANアクセスポイントで使用している暗号キーを入力します。
- 無線LANアクセスポイントの暗号キーについては、無線LANアクセスポイントの使用説明書などをご覧ください。

- ⊕ボタンを押して、暗号キーの入力を完了します。
- もう一度⊕ボタンを押すと、接続を開始します。接続に成功すると、図のような画面が数秒間表示されます。

7 IPアドレスの設定方法を選んで設定する



IPアドレスの設定方法を選んでⓄKボタンを押します。

設定方法	内容
［自動取得］	カメラが自動でIPアドレスを取得します。IPアドレスを取得するとIPアドレス設定完了画面が表示されます。 ・この後の手順でリモートカメラのIPアドレスを入力する必要があるため、リモートカメラに設定するカメラではIPアドレスを控えておくことをおすすめします。
［手動設定］	IPアドレス、サブネットマスクを手動で入力します。 ・ⓄKボタンを押すと、IPアドレス入力画面が表示されます。 ・メインコマンドダイヤルを回して、変更したい桁を選びます。 ・◀▶を押して数値を変更し、ⓄKボタンを押して決定します。 ・🔍ボタンを押すと、IPアドレス設定完了画面が表示されます。再度🔍ボタンを押すと、サブネットマスク入力画面が表示されます。 ・サブネットマスクは▲▼を押して数値を変更し、ⓄKボタンを押して決定すると、IPアドレス設定完了画面が表示されます。

8 IPアドレス設定完了画面が表示されたらⓄKボタンを押す

無線接続が開始され、カメラがアクセスポイントに接続されると、接続設定名が表示されます。

9 **［マスター/リモート選択］を選んでJを押す**

カメラをマスターカメラにするか、リモートカメラにするかを設定できます。

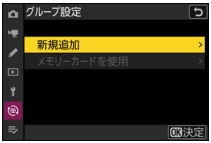
- ［**マスターカメラ**］：マスターカメラに設定したカメラのレリーズボタンを押すと、連動してリモートカメラのシャッターがきれます。マスターカメラは1台のみ設定してください。複数のカメラをマスターカメラに設定した場合、最初にネットワークに接続したカメラがマスターカメラとして使用できます。
- ［**リモートカメラ**］：マスターカメラのレリーズに連動してシャッターがきれます。

10 **連動レリーズを行う全てのカメラで手順1から9を繰り返す**

リモートカメラに設定するカメラは手順9で［**リモートカメラ**］を選んでください。

11 **マスターカメラで［グループ設定］を選んでJを押す**

12 **［新規追加］を選び、Kボタンを押す**



13 グループの表示名を入力する

・リモートカメラを登録するグループの表示名を設定します。表示名は32文字まで入力できます。
・⊕ボタンを押して決定します。

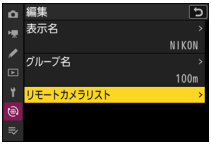
14 ［グループ名］を選んで▶を押し、グループ名を設定する

連動レリーズを行うカメラのグループ名を設定できます。グループ名は8文字まで入力できます。

☑ リモートカメラに［グループ名］を設定する

マスターカメラで設定したグループ名をリモートカメラにも設定してください。グループ名の設定はネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**グループ名**］で行えます。

15 ［リモートカメラリスト］を選んでJを押す

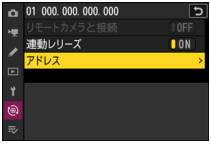


グループ設定内で使用するリモートカメラを登録します。リモートカメラは［**01**］～［**16**］まで最大16台登録できます。

16 リモートカメラの登録先を選んでJを押す

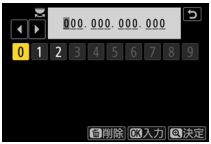
リモートカメラの設定画面が表示されます。

17 ［アドレス］を選んでJを押す



IPアドレス入力画面が表示されます。

18 リモートカメラのIPアドレスを入力する



手順7で取得または設定したリモートカメラのIPアドレスを入力します。

- メインコマンドダイヤルを回して、変更したい桁を選びます。
- ◀▶を押して数値を変更し、Ⓚボタンを押して決定します。
- ⊕ボタンを押すと、リモートカメラがマスターカメラに登録されてカメラ同士が接続されます。

ヒント: リモートカメラのIPアドレスを確認する

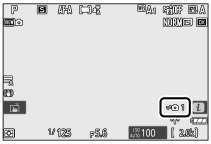
リモートカメラのIPアドレスは、それぞれのカメラのネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**接続設定**］で連動レリーズ用の接続設定を選んで▶を押し、［**TCP/IP**］を選ぶと確認できます。

19 すべてのリモートカメラの登録を行う

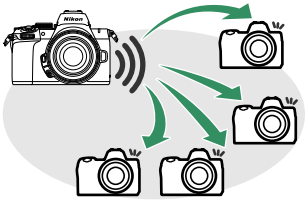
- 無線接続している場合、接続しているSSIDの周波数帯が表示されます。
- マスターカメラに手順13で設定したグループの表示名（①）と、接続済みおよび未接続のリモートカメラの台数（②）が表示されます。

20 撮影する

・マスターカメラの撮影画面に⇌📷アイコンと接続済みのリモートカメラの台数が表示されます。



・マスターカメラのレリーズボタンを押すと、連動してリモートカメラが動作します。



☑ 接続エラーが発生している場合

接続エラーが発生しているリモートカメラがある場合、台数表示が赤く変化し、接続できていないリモートカメラの台数が表示されます。

ヒント: 一時的に連動レリーズをオフにするには

ネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**連動レリーズ**］を［**OFF**］に設定すると、カメラの接続を維持したまま連動レリーズ機能をオフにできます。

ヒント: リモートカメラの状態を確認する

マスターカメラでネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**グループ設定**］>［(グループ表示名)］>［**リモートカメラリスト**］を選んでⓀを押すと、リモートカメラの状態を確認できます。

- リモートカメラの個体はIPアドレスで判別できます。
- リモートカメラの接続状況が表示されています。
  - ［**Connected**］：正しく接続されています。
  - ［**Busy**］：他のマスターカメラがリモートカメラを制御しています。
  - ［**Error**］：次のいずれかの状態になっています。
    リモートカメラの半押しタイマーがオフ
    リモートカメラの電源がOFF
    マスターカメラとリモートカメラのグループ名が異なる
  - ［**OFF**］：次のいずれかの状態になっています。
    リモートカメラが未登録
    ［**リモートカメラと接続**］が［**OFF**］
- ［**Connected**］と表示されているリモートカメラを選んでⓀを押すと、FTP送信残数、FTP接続状態、バッテリー残量、撮影可能枚数を確認できます。
- 一度連動レリーズを行うと、各リモートカメラの最後の撮影時刻が表示されます。
- リモートカメラを選んでⓀを押すと、選んだリモートカメラの設定をマスターカメラから変更できます。

- [**リモートカメラと接続**] を [**OFF**] に設定すると、リモートカメラとの接続を一時的に解除できます。
- [**連動レリーズ**] を [**OFF**] に設定すると、マスターカメラからリモートカメラの連動レリーズを一時的にオフにできます。
- [**アドレス**] を選んで▶を押すと、リモートカメラのIPアドレスを指定できます。IPアドレス設定後、[**リモートカメラと接続**] を [**ON**] にするとリモートカメラに接続できます。指定したIPアドレスのリモートカメラが存在しない場合、接続できません。

ヒント: グループ設定をメモリーカードに保存する

ネットワークメニュー [**カメラと接続**] > [**グループ設定**] > [**メモリーカードを使用**] > [**メモリーカードにコピー**] 選んで▶を押し、メモリーカードにコピーしたいグループ設定を選んでOKを押します。コピー先 (1〜99) を選んでOKボタンを押すと、選んだグループ設定がメモリーカードにコピーされます。保存したグループ設定は [**カメラに登録**] で登録できます。

カメラの時計を同期する

ネットワークメニュー［**カメラと接続**］でネットワークに接続している同一グループ内全てのカメラの日時を、マスターカメラに合わせて同期できます。

1 **日時を同期するカメラをネットワークメニュー［カメラと接続］>［接続設定］でネットワークに接続する**

接続設定の作成方法は「連動レリーズモードを使用する」をご覧ください（🕮395）。

2 **マスターカメラでネットワークメニュー［カメラと接続］>［日時を同期］を選んでOKを押す**

- マスターカメラに設定されている日時が表示されます。
- リモートカメラでは［**日時を同期**］を選べません。
- ネットワーク接続しているカメラが1台もない場合は［**日時を同期**］を選べません。

3 **Ⓚボタンを押す**

- リモートカメラの日時設定が同期されます。
- 日時の同期が成功すると、メッセージが表示されます。
- もう一度Ⓚボタンを押すと、［**カメラと接続**］に戻ります。

ニコンのクラウドサービス/ソフトウェア/アプリケーション

クラウドサービス

当社が提供するクラウドサービスのご紹介です。最新情報については当社ホームページでご確認ください。

Nikon Imaging Cloud

Nikon Imaging Cloudは、パソコンやスマートフォンのWebブラウザー上でご利用いただけるニコンのクラウドサービスです。主に次のことが行えます。

- 画像転送：カメラで撮影した画像をNikon Imaging Cloudにアップロードし、外部オンラインストレージに送信できます。
- イメージングレシピ：画像の撮影情報等をレシピとして保存できます。レシピは自分で作成するか、公開レシピから選んで取得できます。
- ピクチャーコントロールの提供：Nikon Imaging Cloudが提供するピクチャーコントロールをカメラにダウンロードして登録できます。
- ファームウェアアップデート：Nikon Imaging Cloudからカメラに直接ファームウェアをダウンロードできます。

Nikon Imaging Cloudへのアクセスは、QRコードを読み込むか、下記URLをWebブラウザーに入力してください。一度アクセスしたらブックマークしておくことをおすすめします。

https://imagingcloud.nikon.com

- アクセス用のQRコードとURLは、カメラのネットワークメニュー［**Nikon Imaging Cloud**］>［**Nikon Imaging Cloudについて**］でも確認できます。
- 初めてのご利用時に使用許諾などの同意を求める画面が表示された場合は、内容をよくお読みになり、ご同意の上、次にお進みください。
- Nikon Imaging Cloudの最新情報については当社ホームページでご確認ください。

パソコン用ソフトウェア

当社が提供する主なパソコン用ソフトウェアのご紹介です。最新情報については当社ホームページでご確認ください。

- パソコン用ソフトウェアは、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。ソフトウェアの最新情報や動作環境を確認し、必ず最新のバージョンをインストールしてください。
  https://downloadcenter.nikonimglib.com/

NX Tether

パソコンとカメラを接続して撮影する「テザー撮影」ができるソフトウェアです。パソコンの画面上から露出やホワイトバランスなどのカメラの設定をリモート操作で変更することもできます。

NX Studio

ニコン製デジタルカメラで撮影した静止画や動画の閲覧と、調整を行うソフトウェアです。

- NX Studioに搭載されたNikon Transfer 2を使用して、カメラから画像をパソコンに転送できます。
- ニコン独自のRAW（NEF/NRW）ファイルを他のファイル形式に変換（RAW現像）できます。
- ニコン製デジタルカメラで撮影した画像の明るさやコントラストなどの調整が行えます。
- カスタムピクチャーコントロールの調整と管理を行えます。
- ピクチャーコントロール［**フレキシブルカラー**］の調整を行えます。［**フレキシブルカラー**］は、カラーブレンダーやカラーグレーディングといっ

た機能で、多彩な調整が可能です。［**フレキシブルカラー**］で調整したピクチャーコントロールをカスタムピクチャーコントロールとして登録してからファイルに書き出すと、カメラに読み込んで使用できます（🕮197）。

- 最新のバージョンではない場合、カメラの画像が転送できないことや、RAW画像が開けないことがあります。

Wireless Transmitter Utility

カメラをネットワークに接続する場合に必要なアプリケーションです。カメラとパソコンを無線LAN接続し、Wireless Transmitter Utilityを使用してペアリングすると、画像の転送ができるようになります。

スマートフォン用アプリ

当社が提供する主なスマートフォン用アプリのご紹介です。最新情報については当社ホームページでご確認ください。

- スマートフォン用アプリは、Apple App Store®またはGoogle Play™でダウンロードできます。

Download on the App Store　GET IT ON Google Play

SnapBridge

スマートフォンとカメラを無線接続することでスマートフォンへの画像転送やリモート撮影などができるアプリケーションです。

NX MobileAir

カメラとスマートフォンをUSBケーブルまたはWi-Fiで接続すると、カメラで撮影した画像をスマートフォンにインポートできます。インポートした画像は、スマートフォンからFTPサーバーに無線で送信できます。

- アプリ内課金により使用できる追加機能があります。
- 国や地域によって、使用できる機能や対応OSが異なる場合があります。

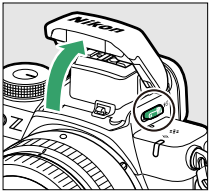
フラッシュ撮影（内蔵フラッシュ）

フラッシュ撮影の方法（内蔵フラッシュ）

内蔵フラッシュを使うと、暗い場所や逆光下など、さまざまな場所での撮影を楽しむことができます。内蔵フラッシュをお使いになるときは、フラッシュポップアップレバーをスライドして内蔵フラッシュを上げてください。

・フラッシュ撮影時はセットアップメニュー［**サイレントモード**］を［**OFF**］に設定してください。

1 **フラッシュポップアップレバーをスライドして内蔵フラッシュを上げる**



2 **フラッシュモードを設定する**

フラッシュモードは**i**メニューまたは静止画撮影メニューの［**フラッシュモード**］で設定できます。

3 **シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてから撮影する**

フラッシュモードを設定する

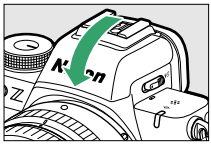
iメニューまたは静止画撮影メニュー［**フラッシュモード**］を設定すると、フラッシュの効果を変えることができます。設定できるフラッシュモードは、撮影モードにより異なります。

項目		内容	撮影モード
ϟ	［**通常発光**］（先幕シンクロ）	通常のフラッシュ撮影の場合はこのモードに設定します。撮影モードを**P**または**A**にセットしてフラッシュ撮影すると、カメラが適正露出となるようにシャッタースピードを1/200～1/60秒（オートFPハイスピードシンクロ時は1/4000～1/60秒）に自動的にセットします。	**P**、**S**、**A**、**M**、
ϟ◉	［**赤目軽減発光**］（赤目軽減）	人物撮影に適しています。フラッシュが発光する前に、スピードライトの赤目軽減発光やカメラの赤目軽減ランプ点灯により、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。 ・シャッターがきれるまで、カメラや被写体の人物が動かないように注意してください（シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません）。	**P**、**S**、**A**、**M**
ϟ SLOW	［**通常発光+スローシャッター**］（スローシンクロ）	通常発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。 ・シャッタースピードが遅くなるため、手ブレにご注意ください。 ・三脚の使用をおすすめします。	**P**、**A**
ϟ◉ SLOW	［**赤目軽減+スローシャッター**］（赤目軽減スローシンクロ）	夜景や夕景をバックにした人物撮影などに適しています。赤目軽減発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。 ・シャッタースピードが遅くなるため、手ブレにご注意ください。 ・三脚の使用をおすすめします。	**P**、**A**

項目		内容	撮影モード
REAR	［**後幕発光**］（後幕シンクロ）	通常発光時はシャッターが開くと同時にフラッシュが発光しますが、後幕発光ではシャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。 ・撮影モードを**P**または**A**に設定した場合、スローシンクロモードも自動的にセットされます。 ・シャッタースピードが遅くなるため、手ブレにご注意ください。 ・三脚の使用をおすすめします。	**P**、**S**、**A**、**M**
AUTO	［**通常発光オート**］	暗いときや逆光のときに必要に応じて自動発光します。	AUTO、、、、、、
AUTO	［**赤目軽減オート**］	必要に応じて自動で赤目軽減発光します。	AUTO、、、、、、
AUTO SLOW	［**通常発光オート＋スローシャッター**］（スローシンクロ）	必要に応じて通常発光+スローシャッターで自動発光します。	
AUTO SLOW	［**赤目軽減オート＋スローシャッター**］（スローシンクロ）	必要に応じて赤目軽減＋スローシャッターで自動発光します。	
	［**発光禁止**］	発光しません。	AUTO、**P**、**S**、**A**、**M**、、、、、、、

内蔵フラッシュの収納

内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下げます。バッテリーの消耗を防ぐため、フラッシュを使わないときは常に収納してください。



内蔵フラッシュについてのご注意

- フラッシュの光がさえぎられることがあるので、レンズフードは取り外してください。
- 内蔵フラッシュ撮影時は、レリーズモードを［**低速連続撮影**］、［**高速連続撮影**］または［**高速連続撮影（拡張）**］に設定しても、連続撮影にはなりません。
- 内蔵フラッシュを連続して使うと、発光部を保護するために、一時的に発光が制限され、シャッターがきれなくなる場合があります。少し時間をおくと再び使えるようになります。

内蔵フラッシュ撮影時のシャッタースピード

内蔵フラッシュ撮影時にカメラで設定できるシャッタースピードは次の通りです。

撮影モード	設定可能なシャッタースピード
AUTO、、、、、	カメラが自動的に1/200〜1/60秒にセット
	カメラが自動的に1/200〜1/30秒にセット
	カメラが自動的に1/200〜2秒にセット
P、**A**	カメラが自動的に1/200※1〜1/60秒にセット※2
S	1/200※1〜30秒
M	1/200※1〜30秒、**Bulb**（バルブ）、**Time**（タイム）

※1 カスタムメニューe1［**フラッシュ撮影同調速度**］を［**1/250秒（オートFP）**］に設定している場合は、内蔵フラッシュ撮影時に同調する最高速度が1/250秒まで速くなります。

※2 フラッシュモードをスローシンクロモード、後幕発光、赤目軽減スローシンクロモードに設定している場合は、シャッタースピードが最長30秒まで延長されます。

ヒント: 内蔵フラッシュの調光範囲（光の届く範囲）

内蔵フラッシュはISO感度と絞り値によって調光範囲（光の届く範囲）が異なります。下表を参考にしてください。

ISO感度および絞り値										調光範囲（m）
100	200	400	800	1600	3200	6400	12800	25600	51200	
1.4	2	2.8	4	5.6	8	11	16	22	32	約0.7〜5
2	2.8	4	5.6	8	11	16	22	32	—	約0.6〜3.5
2.8	4	5.6	8	11	16	22	32	—	—	約0.6〜2.5
4	5.6	8	11	16	22	32	—	—	—	約0.6〜1.8
5.6	8	11	16	22	32	—	—	—	—	約0.6〜1.3
8	11	16	22	32	—	—	—	—	—	約0.6〜0.9

・ 内蔵フラッシュで調光できる最短撮影距離は約0.6 mです。

ヒント: 別売スピードライトを使用する場合のフラッシュモード（撮影モード AUTO、SCN）

撮影モードがAUTOおよび**SCN**の場合、使用できるフラッシュモードが、内蔵フラッシュと別売スピードライトで異なります。別売スピードライトを使用する場合は、次のフラッシュモードが使用できます。

・ AUTO、**SCN**（、以外）：[**通常発光**]、[**赤目軽減発光**]
・ ：[**通常発光+スローシャッター**]、[**赤目軽減＋スローシャッター**]
・ ：[**通常発光**]

調光補正してフラッシュの発光量を変更する

調光補正とはフラッシュの発光量を意図的に変えることで、背景に対する被写体の明るさを調整したいときなどに使います。発光量を多くして被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくして被写体に光が強く当たりすぎないようにするなど、発光量の微妙な調整ができます。

調光補正の設定方法

静止画撮影メニュー［**フラッシュ調光補正**］で調光補正値を設定できます。

- 調光補正は、−3段〜＋1段の範囲で設定できます。
- 補正ステップは、初期設定では1/3段ステップです。調光補正のステップ幅は、カスタムメニューb2［**露出設定ステップ幅**］で変更できます。
- 被写体をより明るく照らしたいときは＋側に、被写体に光が強く当たりすぎないようにしたいときは−側に補正してください。
- 調光補正が設定されていると、撮影画面に**⚡**マークが表示されます。
- 調光補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正量の設定は解除されません。

ヒント: 露出補正時に自動で調光補正する

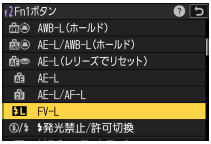
カスタムメニューe3［**フラッシュ使用時の露出補正**］を［**全体を補正**］に設定している場合、露出補正を行うと自動で調光補正も行われます。

FVロックして調光量を固定する

調光量を固定（FVロック）することにより、被写体に調光量を合わせたまま構図を変えたり、同じ調光量を維持したまま撮影できます。被写体が画面の中央にない場合など、自由な構図で適切な調光量のフラッシュ撮影が可能です。

- FVロック中にカメラのISO感度や絞り値を変更しても、フラッシュの発光量が補正されることによりFVロックは維持されます。
- 撮影モードが、**SCN**の場合、FVロックはできません。

1 **カスタムメニューf2［カスタムボタンの機能（撮影）］で任意のボタンに［FV-L］を割り当てる**



2 **内蔵フラッシュを上げる**

フラッシュポップアップレバーをスライドして内蔵フラッシュを上げます。

3 **被写体にピントを合わせる**

発光量を合わせたい被写体を画面の中央でとらえ、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせます。

4 **モニター発光を行う**

・撮影画面に⚡が点灯していることを確認し、[**FV-L**] を割り当てたボタンを押すと、フラッシュがモニター発光を行い、調光量を計算します。

・FVロックが行われ、撮影画面にFVロックマーク（**FL**）が表示されます。

5 **構図を変更する**

6 **シャッターボタンを全押しして撮影する**

FVロック中は、被写体の露出を一定にしたまま複数のコマを撮影できます。必要に応じて手順5～6を繰り返してください。

7 **FVロックを解除する**

もう一度［**FV-L**］を割り当てたボタンを押すと、FVロックが解除され、撮影画面のFVロックマーク（**FL**）が消灯します。

ヒント: 別売スピードライトを使用する場合

・ SB-500、SB-400、またはSB-300をカメラに装着した場合、静止画撮影メニュー［**フラッシュ発光**］の［**発光モード（外付け）**］を［**TTL調光**］に設定します。

・ SB-500、SB-400、またはSB-300以外のスピードライトをカメラに装着した場合の発光モードについては、スピードライトの説明書をご覧ください。

フラッシュ撮影（別売スピードライト）

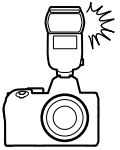
フラッシュ撮影の方法（別売スピードライト）

このカメラで別売スピードライトを使用するには、次の方法があります。

・フラッシュ撮影時はセットアップメニュー［**サイレントモード**］を［**OFF**］に設定してください。

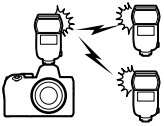
一灯撮影

カメラに装着した別売スピードライトを発光させて撮影します。次ページ以降で詳しく説明します。



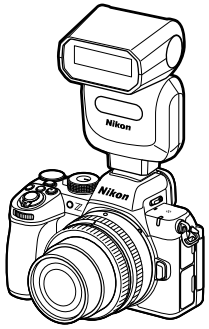
増灯撮影

カメラから離れた位置にあるスピードライト（リモートフラッシュ）をワイヤレスで制御して、増灯撮影ができます（アドバンストワイヤレスライティング（AWL））。詳しくは「フラッシュ増灯撮影」（🕮426）をご覧ください。



別売スピードライトをカメラに装着して撮影する（一灯撮影）

1 **カメラのアクセサリーシューにスピードライトを装着する**



スピードライトの装着方法については、お使いになる各スピードライトの説明書をご覧ください。

2 **カメラとスピードライトの電源をONにする**

スピードライトの充電が開始され、撮影ができる状態になると撮影画面に ϟ（レディーライト）が点灯します。

3 **発光モード（🕮425）とフラッシュモード（🕮415）を設定する**

4 **シャッタースピード、絞り値を設定する**

5 **撮影する**

他社製フラッシュについてのご注意

カメラのX接点に250V以上の電圧がかかるフラッシュや、アクセサリーシュー部の接点をショートさせてしまうフラッシュを使用することはできません。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびフラッシュのシンクロ回路を破損することがあります。

スピードライトの調光方式について

別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトをカメラに装着し、スピードライトの発光モードをTTLにセットすると、モニター発光を行う専用TTLモード（i-TTLモード）になり、i-TTL-BL調光などによるフラッシュ撮影ができます。ニコンクリエイティブライティングシステム非対応のスピードライトでは、i-TTLモードでの撮影はできません。i-TTLモード時は、次のような調光方式が利用できます。

調光方式	内容
i-TTL-BL調光	主要被写体と背景光のバランスを考慮したBL（バランス）調光を行います。シャッターボタンを押すと、シャッターの開く直前にスピードライトがモニター発光を行い、被写体と背景光のバランスを考慮した最適な発光量を決定します。
スタンダードi-TTL調光	背景の明るさは考慮されず、撮影画面が基準露光量となるように調光します。主要被写体のみを強調する場合や、フラッシュ撮影で露出補正する場合に適しています。

・ カメラの測光モードが［**スポット測光**］に設定されている場合、自動的にスタンダードi-TTL調光になります。

スタジオ用大型ストロボ使用時について

スタジオ用大型ストロボでは正しい同調が行えないため、後幕発光は使用できません。

カメラに装着したスピードライトの発光モードを設定する

別売スピードライトSB-500、SB-400、またはSB-300をカメラに装着した場合、静止画撮影メニュー［**フラッシュ発光**］>［**発光モード（内蔵）**］が［**発光モード（外付け）**］に切り替わります。スピードライトの発光モードや補正量などを設定できるようになります。

・SB-500、SB-400、SB-300以外のスピードライトを装着した場合、発光モードなどの設定はスピードライト本体で行ってください。

項目	内容
［**TTL調光**］	・スピードライトの発光量は、撮影状況に応じて自動的に調節されます。 ・調光補正は静止画撮影メニュー［**フラッシュ調光補正**］で行えます。
［**マニュアル発光**］	・指定した発光量でスピードライトが発光します。 ・［**マニュアル発光量**］でスピードライトの発光量を設定します。

フラッシュ増灯撮影

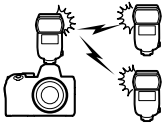
増灯撮影とは

カメラから離れた位置にあるスピードライト（リモートフラッシュ）をワイヤレスで制御して、増灯撮影ができます（アドバンストワイヤレスライティング（AWL））。カメラにスピードライトを装着して撮影する方法については、「フラッシュ撮影（別売スピードライト）」（🕮422）をご覧ください。

この章では、カメラおよびカメラに装着している機器での操作を📷、リモートフラッシュとして使用するスピードライトでの操作を🔦で表しています。🔦の手順での詳しい設定方法などは、スピードライトの説明書をご覧ください。

リモートフラッシュを制御する

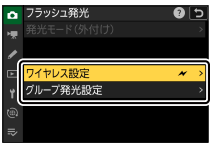
カメラに装着したスピードライトをマスターフラッシュとして使用し、リモートフラッシュを光で制御することを光制御アドバンストワイヤレスライティングと呼びます。光制御に対応するスピードライトについては「ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの組み合わせで使用できる機能」（🕮730）をご覧ください。



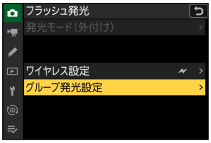
- SB-500をマスターフラッシュとして使用する場合は、スピードライトの設定をカメラ側で行います。詳しくは「SB-500を使用して撮影する」（🕮427）をご覧ください。リモートフラッシュの配置などについては、スピードライトの説明書をご覧ください。
- SB-500以外のスピードライトを使用する場合は、スピードライト側で設定を行う必要があります。詳しくは、スピードライトの説明書をご覧ください。
- 内蔵フラッシュをマスターフラッシュとして使用することはできません。

SB-500を使用して撮影する

別売スピードライトSB-500をカメラのアクセサリーシューに装着すると、静止画撮影メニュー［**フラッシュ発光**］に［**ワイヤレス設定**］が表示されます。［**ワイヤレス設定**］で［**光制御AWL**］を選ぶと、グループ発光が行えます。



1 **：［フラッシュ発光］画面で［グループ発光設定］を選んでマルチセレクターの▶を押す**



2 : 発光モードと調光補正量（または発光量）、チャンネルを設定する

- マスターフラッシュおよびリモートフラッシュグループそれぞれの発光モードと補正量（または発光量）を設定します。
- 設定できる発光モードは次の通りです。

項目	内容
TTL	i-TTL調光を行います。
A	絞り連動外部自動調光を行います。ただし、絞り連動外部自動調光に対応していないスピードライトは発光しません。
M	マニュアル発光を行います。
---（非発光）	リモートフラッシュは発光しません。［**補正量**］は設定できません。

- ［**チャンネル**］を［**3**］に設定してください。

3 : リモートフラッシュのチャンネルを［3］に設定する

4 : リモートフラッシュにグループの設定をする

- AおよびBのグループを設定できます。
- 同時に使用できるリモートフラッシュの台数に制限はありません。ただし、センサーに他のリモートフラッシュの強い光が入ると正常に動作しない場合があるため、実用上は各グループ3台程度が目安です。

5 **📷/📱：構図を決め、カメラとリモートフラッシュを配置する**

- リモートフラッシュの配置などについては、スピードライトの説明書をご覧ください。
- テスト発光を行って、使用する全てのスピードライトが正常に発光するか確認してください。テスト発光をするには、マスターフラッシュのテスト発光ボタンを押してください。

6 **📷/📱：使用する全てのスピードライトのレディーライトが点灯していることを確認してから撮影する**

☑ 増灯撮影する場合のご注意

- リモートフラッシュは、マスターフラッシュの光がセンサー窓に入る位置に置きます。特に、手持ちで撮影するときは、マスターフラッシュの光が確実にセンサー窓に入るようにしてください。
- リモートフラッシュの直接光または強い反射光が、カメラの撮影レンズ（[**TTL**]設定時）や他のリモートフラッシュの外部自動調光用受光窓（[**A**]設定時）に入らないようにしてください。光が入ると、適正露出が得られません。
- [**マスターフラッシュ**]の[**発光モード**]を[**--**]にした場合でも、リモートフラッシュの発光タイミングを合わせるため、撮影中にマスターフラッシュが微小発光を行います。近距離撮影を行う場合、この少量発光が画像に写り込む場合があります。画像への影響を防ぐには、低いISO感度、または小さい絞り（大きい絞り値）で撮影してください。
- 撮影準備と配置が終わったら、必ずテスト撮影を行って、画像を確認してください。

メニューガイド

静止画撮影メニュー

メニュー画面で📷タブを選ぶと、静止画撮影メニューが表示されます。

静止画撮影メニューの項目は次の通りです。

メニュー項目	🕮
[**静止画撮影メニューのリセット**]	432
[**記録フォルダー設定**]	433
[**ファイル名設定**]	436
[**撮像範囲設定**]	436
[**階調モード**]	437
[**画質モード**]	439
[**画像サイズ**]	439
[**RAW記録**]	440
[**ISO感度設定**]	440
[**ホワイトバランス**]	441
[**ピクチャーコントロール**]	441
[**カスタムピクチャーコントロール**]	442
[**ピクチャーコントロール（HLG）**]	442
[**色空間**]	442
[**アクティブD-ライティング**]	443
[**長秒時ノイズ低減**]	444
[**高感度ノイズ低減**]	445
[**ヴィネットコントロール**]	446
[**回折補正**]	446
[**自動ゆがみ補正**]	447
[**美肌効果**]	447
[**人物印象調整**]	448

メニュー項目	🕮
[**静止画フリッカー低減**]	450
[**高周波フリッカー低減**]	451
[**測光モード**]	452
[**フラッシュ発光**]	454
[**フラッシュモード**]	456
[**フラッシュ調光補正**]	456
[**レリーズモード**]	456
[**フォーカスモード**]	457
[**AFエリアモード**]	457

メニュー項目	🕮
[**AF/MFの被写体検出設定**]	457
[**MF時の被写体検出範囲**]	457
[**手ブレ補正**]	457
[**オートブラケティング**]	458
[**多重露出**]	472
[**HDR合成**]	480
[**インターバルタイマー撮影**]	484
[**タイムラプス動画**]	496
[**フォーカスシフト撮影**]	505

静止画撮影メニューのリセット

MENUボタン➡ 📷静止画撮影メニュー

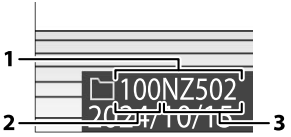
静止画撮影メニューをリセットして初期設定に戻します。

- 多重露出撮影中は、1コマ目を撮影してから設定したコマ数分撮影し終えるまで静止画撮影メニューはリセットできません。

記録フォルダー設定

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

撮影した画像を保存するフォルダーについての設定を行います。



1 フォルダー名
2 フォルダー番号
3 フォルダーグループ名

記録フォルダー設定について

静止画撮影メニューと動画撮影メニューの［**記録フォルダー設定**］は、一方の設定を変更するともう一方も連動して変更されます。

フォルダーグループ名変更

このカメラのフォルダーには、末尾に「NZ502」というフォルダーグループ名が付きます。［**フォルダーグループ名変更**］では、新規フォルダーを作成する場合の「NZ502」の5文字を任意に変更できます。

- 既存のフォルダー名は変更できません。
- 文字入力画面で🗑ボタンを長押しすると、フォルダーグループ名を初期設定に戻せます。

フォルダー番号指定

画像を保存するフォルダーを、フォルダー番号を指定して変更します。指定したフォルダーが存在しない場合、新規フォルダーを作成します。

1 **［フォルダー番号指定］を選ぶ**

・［**フォルダー番号指定**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、［**フォルダー番号指定**］画面が表示されます。

2 **フォルダー番号の桁を選び、番号を変更する**

・◀▶を押して、フォルダー番号の変更したい桁を選びます。

・▲▼を押して、フォルダー番号の数値を変更します。

3 **フォルダー番号を設定する**

・既存のフォルダー番号を指定すると、フォルダー番号の左にフォルダーマーク（🗀、🗁、🗁）が表示されます。🗀または🗁が表示されたフォルダーを選んでOKボタンを押すと、指定したフォルダーを記録フォルダーに設定してメニューに戻ります

・既存のフォルダー番号以外の数値を入力してOKボタンを押すと、入力したフォルダー番号で新規フォルダーを作成します。

・次に撮影する画像は、指定したフォルダーまたは作成した新規フォルダーに保存されます。

・キャンセルしたい場合は、**MENU**ボタンを押してください。

☑ フォルダーマークについて

［**フォルダー番号指定**］画面では、画像の入っていないフォルダーのときは🗀、フォルダー内のファイル数が5000個またはファイル番号が9999に達しているフォルダーのときは🗁、その他のフォルダーのときは🗁のフォルダーマークが表示されます。🗁が表示されているフォルダーには、画像は記録できません。

既存フォルダーから選択

既存のフォルダーの一覧から選びます。

1 ［既存フォルダーから選択］を選ぶ

［**既存フォルダーから選択**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、［**既存フォルダーから選択**］画面が表示されます。

2 フォルダーを選ぶ

▲▼を押して、画像を記録するフォルダーを選びます。

3 画像を記録するフォルダーを設定する

- ®ボタンを押すと、設定が有効になりメニュー画面に戻ります。
- 次に撮影する画像は、選んだフォルダーに保存されます。

☑ フォルダー番号およびファイル番号についてのご注意

- フォルダー番号が999になるとカメラが自動的にフォルダーを作成できないため、次のときに撮影ができなくなります。
  - フォルダー内のファイル数が5000個に達したとき（動画モード時、最長記録時間を記録するのに必要なファイルによってフォルダー内のファイル数が5000個を超えるとカメラが判断した場合、動画の撮影はできなくなります）
  - ファイル番号が9999に達したとき（動画モード時、最長記録時間を記録するのに必要なファイルによってフォルダー内のファイル番号が9999を超えるとカメラが判断した場合、動画の撮影はできなくなります）
- ただし次の場合、メモリーカードにまだ空き容量があれば、さらに撮影を続けられます。
  - フォルダー番号が 999未満のフォルダーを新規に作成し、それを記録フォルダーとして選んだ場合
  - 動画モード時、動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］または［**動画記録ファイル形式**］の設定を変更した場合

☑ 多数のフォルダーや画像が記録されたメモリーカードを使用する場合

メモリーカードを挿入したときや、カメラの電源をONにしたときなどに行われるファイル検索に時間がかかるため、撮影や再生ができるまでに時間がかかることがあります。

ファイル名設定

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

このカメラで撮影した画像には、自動的にDSC_nnnn.xxxというファイル名が付きます。［**ファイル名設定**］では、「DSC」の3文字を任意に変更できます。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（🕮70）をご覧ください。

ファイル名について

- このカメラで撮影された画像にはDSC_nnnn.xxxという名称が付きます。nnnnには0001～9999までの数字が入ります。選んだ画質モードまたは階調モードによって、拡張子（xxxの部分）が次のようになります。
  - NEF：画質モードがRAWの場合
  - JPG：画質モードがRAW以外で、階調モードがSDRの場合
  - HIF：画質モードがRAW以外で、階調モードがHLGの場合
  - MOV：MOV形式の動画の場合
  - MP4：MP4形式の動画の場合
  - NDF：イメージダストオフデータの場合
- 静止画撮影メニュー［**色空間**］で［**Adobe RGB**］を選んだ場合は_DSCnnnn.xxxという名称が付きます。
- 同時記録されたRAW画像とJPEG画像のファイル名は同じですが、RAW画像の場合は拡張子がNEF、JPEG画像の場合は拡張子がJPGになります。
- 同時記録されたRAW画像とHEIF画像のファイル名は同じですが、RAW画像の場合は拡張子がNEF、HEIF画像の場合は拡張子がHIFになります。

撮像範囲設定

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

撮像範囲についての設定ができます。詳しくは「撮影機能の設定」>「撮像範囲/画質モード/画像サイズ」>「撮像範囲を変更する」（🕮106）をご覧ください。

階調モード

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

静止画撮影時の階調モードを［**SDR**］または［**HLG**］から選べます。

・撮影モードが**SCN**の場合、［**SDR**］に固定されます。

項目	内容
［**SDR**］	標準の明るさの幅（ダイナミックレンジ）に対応した階調モードです。JPEG画像（拡張子「JPG」）を撮影できます。
［**HLG**］	HDR（High Dynamic Range）に対応した階調モードです。HEIF画像（拡張子「.HIF」）を撮影できます。SDRに比べて広いダイナミックレンジを出力できます。 ・撮影画面に「HLG」が表示されます。 ・撮影したHLG静止画を適切な階調で再生するには、HLGに対応したモニター、パソコン、OS、アプリケーションなどの環境が必要です。詳しくは、下記URLをご覧ください。 https://onlinemanual.nikonimglib.com/notice/hlg_setting_guide/ja/

HLG静止画の撮影について

- 階調モードを［**HLG**］に設定すると、［**SDR**］に比べて撮影画面にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が目立ちやすくなります。
- 静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**制御上限感度**］で設定できる下限はISO 800になります。
- 高感度（Hi 0.3 ～ Hi 2.0）は設定できません。
- タイムラプス動画のファイル形式は［**H.265 10-bit（MOV）**］に固定されます。
- 静止画撮影メニュー［**色空間**］は「BT.2100」に固定されます。
- 静止画撮影メニュー［**アクティブD-ライティング**］、［**多重露出**］、［**HDR合成**］は設定できません。
- レリーズモードの［**C15**］および［**C30**］、カスタムメニューd3［**プリキャプチャー記録設定**］は設定できません。

HLG静止画についてのご注意

階調モードを［**HLG**］に設定して撮影した画像は次のような制限があります。

- HLG静止画は画像合成できません。再生時の**i**メニュー［**画像編集**］で画像合成を選んでも画像選択画面に表示されません。
- HLG静止画はSnapBridgeアプリを使用してスマートフォンに転送できますが、OSやアプリのバージョンによっては表示できない場合があります。

階調モードHLG設定時のカメラの画像モニター/ファインダーの表示について

階調モードを［**HLG**］に設定すると、カメラの撮影画面または再生画面にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生したり、高彩度やハイライトの再現性が低下したりする場合があります。また、撮影した静止画をカメラの画像モニターまたはファインダーで1コマ表示すると、表示中の画像に階調段差が生じる場合がありますが、撮影した画像には影響ありません。適切な階調を確認するには、HLGに対応したモニター、パソコン、OS、アプリケーションなどをご使用ください。

ヒント: HLGについて

HLG（Hybrid Log Gamma）とは、テレビ放送など高画質の映像出力に対応する技術方式です。

- 標準画質（SDR）の画像と比べて中間部からハイライト部の輝度の情報量を増加することで、より幅広い映像表現を実現しています。
- 画像のシャドー部から中間部までは輝度の情報量をSDRに合わせることで、HDR非対応の映像機器と互換性を保っています。

ヒント: ピクチャーコントロールの設定について

- 階調モードを［**SDR**］に設定している場合、静止画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］または［**カスタムピクチャーコントロール**］で画像の仕上がりを選べます。
- 階調モードを［**HLG**］に設定している場合、静止画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール（HLG）**］で画像の仕上がりを選べます。

ヒント: HLG静止画の再生/編集について

ニコンのソフトウェアNX Studioを使用して、HLG静止画（HEIF画像）の再生および編集ができます。

- NX Studioはニコンダウンロードセンターから無料でダウンロードできます。
- 階調モードを［**SDR**］に設定して撮影した画像と比べて、一部の編集機能に制限があります。

画質モード

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

画像を記録するときの画質モードを設定できます。詳しくは「撮影機能の設定」>「撮像範囲/画質モード/画像サイズ」>「画質モードを変更する」（🕮107）をご覧ください。

画像サイズ

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

画像を記録するときの画像サイズ（大きさ）を設定できます。詳しくは「撮影機能の設定」>「撮像範囲/画質モード/画像サイズ」>「画像サイズを変更する」（🕮108）をご覧ください。

RAW記録

MENUボタン➡ 📷静止画撮影メニュー

RAW画像を記録するときの圧縮方式を設定できます。ファイルサイズは大きい順に［**ロスレス圧縮**］、［**高効率★**］、［**高効率**］です。

・［**高効率★**］の画質は、［**ロスレス圧縮**］と比べても遜色なく、［**高効率**］よりも高画質です。

ISO感度設定

MENUボタン➡ 📷静止画撮影メニュー

静止画撮影時のISO感度に関する設定ができます。

項目	内容
［**ISO感度**］	ISO 100～51200で設定可能、ISO 51200に対し約0.3、0.7、1、2段（ISO 204800相当）の増感が可能です。撮影モードがAUTOまたは**SCN**の場合、［**オート**］も選べます。
［**感度自動制御**］	［**ON**］に設定すると、カメラが自動的にISO感度を変更するようになります。［**OFF**］に設定すると、［**ISO感度**］で設定したISO感度に固定されます。［**ON**］に設定した場合、［**制御上限感度**］、［**⚡使用時の制御上限感度**］、［**低速限界設定**］をそれぞれ設定できます。
［**制御上限感度**］	感度自動制御するときにISO感度が高くなりすぎないように制御上限感度を設定します。
［**⚡使用時の制御上限感度**］	別売スピードライトを使用した場合の上限感度を設定します。

項目	内容
［**低速限界設定**］	撮影モード**P**または**A**のときの感度自動制御が働き始めるシャッタースピード（1/2000～30秒）を設定できます。また、［**オート**］に設定すると、レンズの焦点距離に応じてシャッタースピードの低速限界をカメラが自動で設定します。例えば、望遠レンズ使用時は手ブレが発生しやすくなるため、低速限界が自動的に高速側に設定され、ブレを軽減できます。 ・［**オート**］を選んで▶を押すと、補正値の設定画面が表示されます。低速限界をカメラが自動で設定するときに、より高速側または低速側になるように調整できます。高速で移動する被写体を撮影する場合は、補正値を高速側に設定するとブレを軽減できます。 ・ISO感度を［**制御上限感度**］まで上げても露出不足になる場合は、適正露出を得るために、低速限界設定よりもさらにシャッタースピードが低速になります。

ホワイトバランス

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定します。詳しくは「撮影機能の設定」>「ホワイトバランス」（🕮159）をご覧ください。

ピクチャーコントロール

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

記録する画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。詳しくは「撮影機能の設定」>「ピクチャーコントロール」（🕮180）をご覧ください。

クラウドピクチャーコントロールを登録

クラウドサービスNikon Imaging Cloudでピクチャーコントロールをあらかじめカメラに送信しておくと、［**クラウドピクチャーコントロールを登録**］でカメラにダウンロードして読み込めます。読み込んだピクチャーコントロールは、静止画撮影メニューまたは動画撮影メニューの［**カスタムピクチャーコントロール**］で選んで登録すると、使用できるようになります。

- ピクチャーコントロールをダウンロードして読み込むには、カメラとNikon Imaging Cloudを無線接続している必要があります。カメラのネットワークメニュー［**Nikon Imaging Cloud**］>［**Nikon Imaging Cloudと接続**］を［**ON**］にして、Nikon Imaging Cloudの接続設定をオンにしてください。
- Nikon Imaging Cloudでカメラにピクチャーコントロールを送信する方法、および接続設定をオンにする方法については、Nikon Imaging Cloudのヘルプをご覧ください。

カスタムピクチャーコントロール

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。詳しくは「撮影機能の設定」>「ピクチャーコントロール」>「カスタムピクチャーコントロールを登録する」（🕮192）をご覧ください。

ピクチャーコントロール（HLG）

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

階調モードを［**HLG**］に設定して撮影する場合の画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を設定できます。詳しくは「撮影機能の設定」>「ピクチャーコントロール」（🕮180）をご覧ください。

色空間

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

記録する画像の色空間を指定します（色空間とは、モニターやプリンターで表現できる色の範囲のことです）。［**sRGB**］色空間は、再生やプリントなど、一般的な用途で画像を楽しむのに適しています。［**Adobe RGB**］色空間は［**sRGB**］色空間に比べて色域が広いため、商業印刷などの業務用途に適しています。

色空間についてのご注意

他社製の画像閲覧用または画像編集用ソフトウェアを使うと、このカメラで設定した色空間と異なる設定の色空間に置き換えられることがあります。NX Studioをお使いになると、このカメラで設定した色空間で画像を開くことができます。

Adobe RGB色空間について

適切な色再現には、カラーマネージメント機能に対応したアプリケーション、モニター、プリンターなどの環境が必要です。

アクティブD-ライティング

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像を撮影できます。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影するのに効果的です。アクティブD-ライティングを設定したときは、測光モードをマルチパターン測光に設定して撮影することをおすすめします。

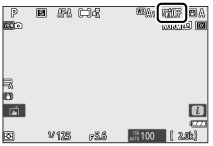
［しない］

［**A オート**］

項目		内容
A	［**オート**］	撮影シーンに応じて自動的にアクティブD-ライティングの効果の度合いを設定します。
H	［**より強め**］	効果の度合いは、強い順に［**より強め**］、［**強め**］、［**標準**］、［**弱め**］になります。
H	［**強め**］	
N	［**標準**］	
L	［**弱め**］	

項目		内容
OFF	[**しない**]	アクティブD-ライティングを設定しません。

設定したアクティブD-ライティングを表すアイコンが撮影画面に表示されます。



アクティブD-ライティングについてのご注意

- アクティブD-ライティングを設定して撮影をするとき、撮影シーンによっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が強調される場合があります。
- 撮影モードが**M**のときは、[**Aオート**]に設定していても[**N標準**]相当の度合いに固定されます。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- ISO感度が高感度（Hi 0.3～Hi 2.0）および感度自動制御でISO感度が高感度に制御された場合は機能しません。

長秒時ノイズ低減

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

[**ON**]に設定すると、シャッタースピードが1秒より低速になった場合に発生する長秒時ノイズ（むら、輝点）を低減します。

- 長秒時ノイズ低減処理は、撮影後に行われます。処理中は、撮影画面に[**ノイズ低減処理中**]と表示されます。この表示が消えるまで、撮影はで

きません。長秒時ノイズの低減処理を行う場合、画像を記録するまでの時間は、長秒時ノイズ低減を行わない場合の約2倍になります。

長秒時ノイズ低減についてのご注意

処理中に電源をOFFにすると、処理は行われず、長秒時ノイズの低減処理を行う前の画像が保存されます。

高感度ノイズ低減

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

静止画撮影時に、感度が高くなるほど発生しやすいノイズ（ざらつき）を低減します。

項目	内容
［**強め**］	全てのISO感度で高感度ノイズの低減処理を行います。ISO感度が高くなるほど効果的です。ノイズ低減の効果は、強い順に［**強め**］、［**標準**］、［**弱め**］になります。
［**標準**］	
［**弱め**］	
［**しない**］	ノイズが発生しやすい条件で撮影する場合のみ、ノイズ低減処理を行います。この場合のノイズ低減効果は［**弱め**］に設定したときよりもさらに弱くなります。

ヴィネットコントロール

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

ヴィネットコントロールは、レンズの特性による周辺光量の低下をレンズに応じて軽減します。特に開放絞り側で撮影した場合に効果的です。

項目		内容
H	[強め]	効果が強い順に、[**強め**]、[**標準**]、[**弱め**] になります。
N	[標準]	
L	[弱め]	
[**しない**]		周辺光量の低下を補正しません。

ヴィネットコントロールについてのご注意

JPEG画像の場合、使用するレンズ、撮影条件や撮影シーンの組み合わせによっては、周辺光量が過剰に補正されて画像周辺部が明るくなることや補正が不足して暗くなること、画像にノイズ（むら）が発生することがあります。また、調整したピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロールを設定している場合も、適切な補正ができない場合があります。試し撮りをして、撮影状況に適した設定を選ぶことをおすすめします。

ヴィネットコントロールについて

静止画撮影メニューと動画撮影メニューの［**ヴィネットコントロール**］は、一方の設定を変更するともう一方も連動して変更されます。

回折補正

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

［**ON**］にすると、レンズの絞りを絞り込んだときに画像の解像感が低下する、回折現象を補正します。

回折補正について

静止画撮影メニューと動画撮影メニューの［**回折補正**］は、一方の設定を変更するともう一方も連動して変更されます。

自動ゆがみ補正

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

［**ON**］にすると、カメラが必要だと判断した場合に、広角レンズ使用時のたる型のゆがみや望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。装着しているレンズによっては設定が［**ON**］に固定され、メニューはグレーで表示されて選べません。

自動ゆがみ補正について

静止画撮影メニューと動画撮影メニューの［**自動ゆがみ補正**］は、一方の設定を変更するともう一方も連動して変更されます。

美肌効果

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

カメラが人物の顔を検出した場合、肌がなめらかになるように自動で補正します。

項目	内容
［**強め**］	効果が強い順に、［**強め**］、［**標準**］、［**弱め**］になります。 ・美肌効果は最大3人まで適用されます。 ・カメラが複数の人物を検出した場合は被写体にグレーの枠が表示されます。［**AFエリアモード**］の設定が［**オートエリアAF**］の場合、カメラが選んでいるフォーカスポイントに◀および▶が表示されます。マルチセレクターの◀▶を押して美肌効果を適用したい人物を選ぶことができます。
［**標準**］	
［**弱め**］	
［**しない**］	美肌効果を設定しません。

美肌効果の制限について

次の場合など、美肌効果とは同時に使用できない機能や設定があります。

・「ハイスピードフレームキャプチャー+」撮影
・多重露出撮影
・HDR合成

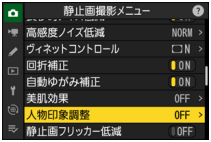
人物印象調整

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

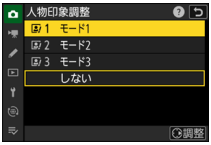
人物の色相と明るさを2軸で調整して［**モード1**］、［**モード2**］、［**モード3**］として個別に登録し、撮影時に選んで適用できます。

調整モードの登録方法

1 **静止画撮影メニューで［人物印象調整］を選ぶ**



2 **調整モードの登録先を［モード1］～［モード3］から選んでマルチセレクターの▶を押す**



・選んだ調整モードの調整画面が表示されます。

3 色相と明るさを調整する

- ◀▶でM（マゼンタ）およびY（イエロー）方向の色相を調整します。M（マゼンタ）方向に調整するとマゼンタが強くなり、Y（イエロー）方向に調整するとイエローが強くなります。
- ▲▼で明るさを調整します。＋方向に調整すると明るくなり、－方向に調整すると暗くなります。
- 調整値は、座標の右側に表示されます。
- 🗑ボタンを押すと初期設定に戻ります。

4 調整値を決定する

- ⓚボタンを押して調整値を決定すると、メニューに戻ります。
- 調整した調整モードには、アスタリスク（✱）が表示されます。
- 別の調整モードを登録する場合は、手順1～4を繰り返してください。

登録した調整モードの適用方法

静止画撮影メニュー［**人物印象調整**］で［**モード1**］～［**モード3**］を選ぶと、選んだ調整モードに登録されている調整値が撮影時に適用されます。

人物印象調整の制限について

次の場合、［**人物印象調整**］が無効になります。

- ［**ピクチャーコントロール**］が［**モノクローム**］、［**フラットモノクローム**］、［**ディープトーンモノクローム**］または［**Creative Picture Control**］の場合
- ［**ピクチャーコントロール（HLG）**］が［**モノクローム**］の場合

人物印象調整適用時のご注意

人物の肌と似た色が画像内にある場合、その部分にも影響が出ることがあります。

ヒント: 被写体を確認しながら調整するには

カスタムメニューf1［**メニューのカスタマイズ**］で［**人物印象調整**］を割り当てて**i**メニューで実行すると、メインコマンドダイヤルで調整モードを選んでから、被写体を見ながらマルチセレクターで色相と明るさを調整できます。

静止画フリッカー低減

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

［**ON**］に設定すると、蛍光灯や水銀灯などの光源下で発生する、照明の明滅による明るさのちらつき（フリッカー現象）の影響を低減できます。

- フリッカー現象が発生している場合、撮影した画像の一部に露出ムラが生じたり、連続撮影時に露出や色味にばらつきが生じることがあります。
- フリッカー低減の効果が充分に得られない場合は、一度カメラの電源をOFFにし、被写体または光源に向けた状態で再度電源をONにしてください。
- ［**ON**］に設定した場合、シャッターをきるときにフリッカーが検出されていると、撮影画面の**FLICKER**アイコンに緑色の●が表示されます。
- 連続撮影時は次のような動作になります。
  - **高速連続撮影（拡張）時**：設定したコマ速を優先した制御となります。1コマ目のレリーズ時に撮影画面が一瞬暗くなり、2コマ目以降は暗くなりません。
  - **高速連続撮影および低速連続撮影時**：フリッカー低減効果を優先した制御となります。レリーズするたびに撮影画面が一瞬暗くなり、撮影速度が遅くなることや撮影間隔が一定ではなくなることがあります。

［静止画フリッカー低減］について

- フリッカー低減機能を使うと、シャッターのきれるタイミングが少し遅れます。
- 電源周波数が50Hzの場合は100Hzの点滅周期を、また電源周波数が60Hzの場合は120Hzの点滅周期を検出します。連続撮影中に光源の点滅周期が変化した場合、フリッカーの影響は低減できません。
- 背景が暗い場合や輝度が高い光源が含まれる場合など光源や撮影条件によっては、フリッカーが検出できなかったり、フリッカー低減の効果が得られないことがあります。
- イルミネーションなどの特殊な光源下では、フリッカー低減機能の効果が得られないことがあります。
- 撮影画面で確認できるフリッカー低減と、実際に撮影される静止画像のフリッカー低減の効果は異なります。

高速連続撮影（拡張）時のご注意

長時間連続撮影した場合、フリッカー低減効果が得られないことがあります。

［静止画フリッカー低減］の制限について

次の場合など、［**静止画フリッカー低減**］が無効になります。

- HDR合成撮影時
- 「ハイスピードフレームキャプチャー＋」撮影時
- サイレントモード時

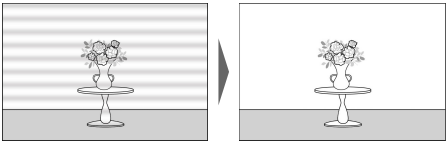
高周波フリッカー低減

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

［**する（高分解能シャッター設定）**］に設定すると、撮影モード**S**または**M**でシャッタースピードを特定の値に設定している場合にシャッタースピードを通常より細かいステップ幅で調整でき、フリッカー現象の影響が少ないシャッタースピードを撮影画面で確認しながら設定できます。

- 高周波フリッカー低減機能が有効になるシャッタースピードは、カスタムメニューd6［**シャッター方式**］の設定によって異なります。
  - ［**オート**］または［**メカニカルシャッター**］に設定している場合：1/4000～1/30秒
  - ［**電子先幕シャッター**］に設定している場合：1/2000～1/30秒
- 光源が高周波LED照明の場合や、被写体に高周波LEDディスプレイが含まれる場合に縞状の明暗が画像に記録されることがあります（フリッカー現

象)。ステップ幅を細かくすることで、フリッカー現象の影響が少ないシャッタースピードを探しながら設定できます。



- 被写体に対して適切なシャッタースピードに設定してから高周波フリッカー低減機能をオンにして、撮影画面を見ながらちらつきやLEDの縞が最も低減されるシャッタースピードに設定してください。撮影画面を拡大表示すると、フリッカー低減効果が確認しやすくなります。
- 高周波フリッカー低減機能をオンにすると、シャッタースピードは分母の値のみが少数点を含む形式で表示されます。

- シャッタースピードは詳細な値が表示されます。たとえば1/500秒のときは、詳細な値である1/512秒の「512.0」がシャッタースピードとして表示されます。
- 高周波フリッカー低減機能をオフにすると、通常のシャッタースピード表示のうち最も近い値に切り替わります。

☑ 高周波フリッカー低減のご注意

撮影画面の表示と、撮影画像ではフリッカー現象の表れ方が異なることがあります。試し撮りをして、ちらつきやLEDの縞が最も低減されるシャッタースピードに設定することをおすすめします。

測光モード

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

カメラが被写体の明るさを測るための測光モードを選べます。

項目		内容
▣	［**マルチパターン測光**］	画面の広い領域を測光して、被写体の輝度（明るさ）分布、色、距離や構図などさまざまな情報を瞬時に分析するため、見た目に近い画像が得られます。
◉	［**中央部重点測光**］	・画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。 ・露出倍数のかかるフィルターをお使いになるときは、中央部重点測光をおすすめします。 ・測光範囲はカスタムメニューb5［**中央部重点測光範囲**］で変更できます。 ・測光範囲を表示するかどうかをカスタムメニューd19［**撮影画面カスタマイズ（画像モニター）**］およびd20［**撮影画面カスタマイズ（ファインダー）**］で設定できます。
⊡	［**スポット測光**］	・フォーカスポイントに重なるΦ3.5mm相当（全画面の約2.5%）の部分だけを測光します。逆光時や被写体の明暗差が激しいときなど、狭い範囲での露出を基準にして撮影したい場合に適しています。 ・測光エリアは、フォーカスポイントに連動します。ただし、AFエリアモード（🕮112）が［**オートエリアAF**］のときは中央のフォーカスポイントに相当する部分を測光します。
⊡*	［**ハイライト重点測光**］	画面のハイライト部分を重点的に測光します。舞台撮影など、ハイライト部分の白とびを軽減して撮影したい場合に適しています。

フラッシュ発光

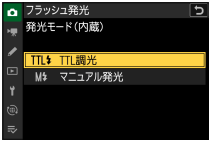
MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

内蔵フラッシュの発光モードや、別売のスピードライトを取り付けた場合の発光モードおよびワイヤレス増灯撮影時の設定を行います。

- 別売スピードライトをカメラに取り付けた場合の撮影については「フラッシュ撮影（別売スピードライト）」（🕮422）をあわせてご覧ください。
- 別売スピードライトをワイヤレスで制御した場合の撮影については「フラッシュ増灯撮影」（🕮426）をあわせてご覧ください。

発光モード（内蔵）

内蔵フラッシュの発光モードを設定できます。



項目	内容
［**TTL調光**］	スピードライトの発光量は、撮影状況に応じて自動的に調節されます。
［**マニュアル発光**］	指定した発光量でスピードライトが発光します。

ヒント: 別売スピードライト装着時の発光モードについて
スピードライト装着時は、[**発光モード（内蔵）**]が[**発光モード（外付け）**]と表示されます。

ヒント: 測光モードと内蔵フラッシュの調光について
測光モードをマルチパターン測光、中央部重点測光またはハイライト重点測光に設定すると、i-TTL-BL調光になり、スポット測光に設定すると、スタンダードi-TTL調光になります。i-TTLモードでは、シャッターボタンを押すと内蔵フラッシュがモニター発光を行って発光量を決定します。

調光方法	内容
i-TTL-BL調光	主要被写体と背景光のバランスを考慮したBL（バランス）調光を行います。
スタンダードi-TTL調光	背景の明るさは考慮されず、撮影画面が基準露光量となるように調光します。主要被写体のみを強調する場合や、フラッシュ撮影で露出補正する場合に適しています。

ワイヤレス設定

複数のスピードライトを同時に発光させて撮影（ワイヤレス増灯撮影）する場合に、制御方法を選びます。カメラにSB-500を装着したときのみ表示されます。

項目		内容
↯	[**光制御AWL**]	マスターフラッシュの微小発光で、リモートフラッシュを制御します（🕮427）。
[**しない**]		リモートフラッシュの制御を行いません。

グループ発光設定

別売スピードライトを使用して増灯撮影をする場合に、各グループの発光設定を行えます（🕮426）。カメラにSB-500を装着したときのみ表示されます。

フラッシュモード

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

内蔵フラッシュやカメラに装着した別売スピードライトのフラッシュモードを設定できます。フラッシュモードの詳しい説明については、「フラッシュモードを設定する」（🕮415）をご覧ください。

フラッシュ調光補正

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

内蔵フラッシュやカメラに装着した別売スピードライトの発光量を意図的に変えて、背景に対する被写体の明るさを調整できます。発光量を多くして被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくして被写体に光が強く当たりすぎないようにできます（🕮419）。

レリーズモード

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

シャッターをきる（レリーズする）ときの動作を設定できます。レリーズモードの詳しい説明については、「撮影機能の設定」>「レリーズモード」（🕮150）をご覧ください。

フォーカスモード

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

ピントの合わせ方を選べます。詳しくは「撮影機能の設定」>「フォーカス」>「フォーカスモードを変更する」(🕮110)をご覧ください。

AFエリアモード

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

オートフォーカス使用時に、フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。詳しくは「撮影機能の設定」>「フォーカス」>「AFエリアモードを変更する」(🕮112)をご覧ください。

AF/MFの被写体検出設定

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

ピント合わせをする場合に優先して検出する被写体を選べます。詳しくは「撮影機能の設定」>「フォーカス」>「優先してフォーカスを合わせる被写体を設定する」(🕮116)をご覧ください。

MF時の被写体検出範囲

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

マニュアルフォーカス時に被写体を検出する範囲を設定できます。詳しくは「フォーカス」>「優先してフォーカスを合わせる被写体を設定する」>「マニュアルフォーカス時に被写体を検出する」をご覧ください(🕮119)。

手ブレ補正

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

手ブレ補正機能を備えたレンズ使用時に、手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。表示される項目は、カメラに装着しているレンズによって異なります。

項目		内容
ON	［**ノーマル**］	手ブレ補正効果が高く、静止している被写体を撮影する場合に適しています。
SPT	［**スポーツ**］	スポーツなどの動きの変化が激しい被写体を撮影する場合に適しています。
［**しない**］		手ブレ補正を行いません。

手ブレ補正使用時のご注意

- 装着しているレンズによっては［**手ブレ補正**］の設定を変更できない場合があります。
- 撮影画面の表示が安定してから撮影することをおすすめします。
- 手ブレ補正機能を備えたレンズをお使いの場合に［**ノーマル**］に設定すると、手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ前に撮影画面の表示が動くことがありますが、異常ではありません。撮影画面の動きが気になる場合は［**スポーツ**］または［**しない**］に設定することをおすすめします。
- 流し撮りする場合は［**スポーツ**］に設定することをおすすめします。［**ノーマル**］または［**スポーツ**］に設定して流し撮りなどでカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りすると、縦方向の手ブレだけが補正されます。
- 別売のマウントアダプターFTZ II/FTZを使用して手ブレ補正切り換えスイッチのあるFマウントレンズを装着している場合、レンズで手ブレ補正の設定を行ってください。

オートブラケティング

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

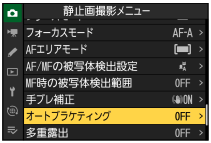
明るさ（露出）、フラッシュの発光量、ホワイトバランス、アクティブD-ライティング（ADL）の設定をカメラが自動的に変えながら撮影します。画像の明るさやフラッシュの発光量の調整が難しい場合や複数の光源が混在していてホワイトバランスを決めにくい場合の撮影に効果的です。

項目	内容
［**オートブラケティング撮影**］	［**ON**］に設定すると、ブラケティング撮影を開始します。
［**オートブラケティングのセット**］	オートブラケティングの種類を設定できます。 ・［**AE・フラッシュブラケティング**］：露出値（AE）とフラッシュの発光量を変えながら撮影します。 ・［**AEブラケティング**］：露出値（AE）を変えながら撮影します。 ・［**フラッシュブラケティング**］：フラッシュの発光量を変えながら撮影します。 ・［**WBブラケティング**］：ホワイトバランスの色温度を変えながら撮影します。 ・［**ADLブラケティング**］：アクティブD-ライティングの効果の度合いを変えながら撮影します。
［**コマ数**］	オートブラケティングで撮影するコマ数を設定できます。
［**補正ステップ**］	［**オートブラケティングのセット**］が［**ADLブラケティング**］以外の場合、ブラケティングの変化の度合いを設定できます。
［**効果の度合い**］	［**オートブラケティングのセット**］が［**ADLブラケティング**］の場合、アクティブD-ライティングの効果の度合いを設定できます。

AEブラケティング、フラッシュブラケティングの撮影方法

補正なし　　−1段補正　　＋1段補正

1 **静止画撮影メニュー［オートブラケティング］を選んでマルチセレクターの▶を押す**



2 **［オートブラケティングのセット］で［AE・フラッシュブラケティング］、［AEブラケティング］または［フラッシュブラケティング］を選ぶ**

設定項目として［**コマ数**］と［**補正ステップ**］が表示されます。

3 **撮影コマ数を設定する**

・［**コマ数**］を選んでマルチセレクターの◀▶を押すと、撮影コマ数を設定できます。

4 補正ステップを設定する

・[**補正ステップ**] を選んで◀▶を押すと、補正ステップを設定できます。

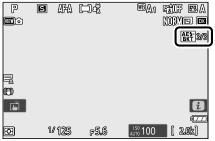
・補正ステップは、カスタムメニューb2 [**露出設定ステップ幅**] が [**設定1/3段（補正1/3段）**] の場合、0.3（1/3段）、0.7（2/3段）、1.0（1段）、1.3（1+1/3段）、1.7（1+2/3段）、2.0（2段）、2.3（2+1/3段）、2.7（2+2/3段）、3.0（3段）から選ぶことができます。補正ステップを2.0以上に設定した場合、撮影コマ数は最大5枚です。手順3で撮影コマ数を7枚または9枚に設定していても、自動的に5枚に変更されます。

・補正ステップが0.3のときの撮影コマ数と撮影順序は次の表の通りです。

[コマ数]	AE・フラッシュブラケティングインジケーター	撮影コマ数	撮影順序
3F	−▪▪▪▪▪0▪▪▪▪▪+	3	0/−0.3/+0.3
5F	−▪▪▪▪▪0▪▪▪▪▪+	5	0/−0.7/−0.3/+0.3/+0.7
7F	−▪▪▪▪▪0▪▪▪▪▪+	7	0/−1.0/−0.7/−0.3/+0.3/+0.7/+1.0
9F	−▪▪▪▪▪0▪▪▪▪▪+	9	0/−1.3/−1.0/−0.7/−0.3/+0.3/+0.7/+1.0/+1.3

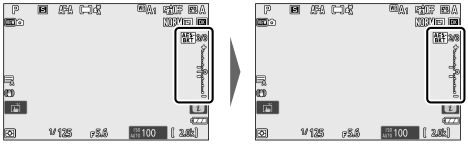
5 ［オートブラケティング撮影］を［ON］にする

［**ON**］に設定すると撮影画面にアイコンが表示され、ブラケティング撮影を開始できます。



6 撮影する

- 設定した撮影コマ数を撮影してください。
- シャッタースピードと絞り値は補正された値が表示されます。
- 撮影画面に、AE・フラッシュブラケティングのアイコンと残りの撮影コマ数、AE・フラッシュブラケティングインジケーターが表示されます。撮影するたびに残りのコマ数表示が減少し、コマ数を示す表示がAE・フラッシュブラケティングインジケーター上から消えます。



撮影コマ数：3
補正ステップ：0.7

1コマ撮影した状態

- AEブラケティングと露出補正を同時に設定すると、両方の補正値が加算されたAEブラケティング撮影が行えます。

ヒント: AEブラケティング、フラッシュブラケティングについて

- ［**AE・フラッシュブラケティング**］では、AEブラケティングとフラッシュブラケティングを同時に行います。AEブラケティングだけを行いたいときは［**AEブラケティング**］を、フラッシュブラケティングだけを行いたいときは［**フラッシュブラケティング**］を選びます。フラッシュブラケティングはi-TTL調光時および絞り連動外部自動調光（**Ⓐ**）時（別売の絞り連動外部自動調光対応スピードライト使用時のみ）に使用できます（🕮424、🕮730）。
- セルフタイマー撮影時には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc2［**セルフタイマー**］>［**撮影コマ数**］で設定した撮影コマ数にかかわらず、［**オートブラケティング**］>［**コマ数**］で設定したコマ数を撮影します。

ヒント: AE・フラッシュブラケティング、AEブラケティング、フラッシュブラケティング撮影について

- レリーズモードを連続撮影に設定した場合、シャッターボタンを全押しし続けると、セットしたコマ数の撮影が終了した時点でいったん停止します。シャッターボタンを押し直すと、次の連続撮影が可能になります。
- 撮影中に電源をOFFにしてもう一度ONにすると、1コマ目から撮影を行います。

ヒント: AEブラケティング

AEブラケティングでは、撮影モードによって補正される内容（シャッタースピード、絞り値）が異なります。

撮影モード	補正される内容
P	シャッタースピードと絞り値※1
S	絞り値※1
A	シャッタースピード※1
M	シャッタースピード※2、3、4

※1 静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**感度自動制御**］が［**ON**］のときは、シャッタースピードや絞り値が制御範囲を超えると自動的にISO感度が変化します。

※2 静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**感度自動制御**］が［**ON**］のときは、まずISO感度を変化させて基準となる露出を適正露出に近づけてから、AEブラケティングでシャッタースピードを変化させます。

※3 静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**感度自動制御**］が［**OFF**］のときは、カスタムメニューe5［**BKT変化要素（Mモード）**］により変化する内容をシャ

ッタースピードと絞り値の両方、絞り値のみ、あるいはシャッタースピードのみに変更できます。

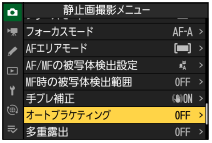
※4 カスタムメニューd7［**Mモード時のシャッタースピード延長**］を［**ON**］にして30秒よりも遅いシャッタースピードに設定している場合、シャッタースピードは補正されません。

■■AE、フラッシュブラケティング撮影をやめるには

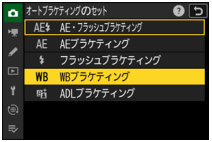
静止画撮影メニュー［**オートブラケティング**］>［**オートブラケティング撮影**］を［**OFF**］にしてください。一度［**OFF**］にしてもう一度［**ON**］にすると、1コマ目から撮影を行います。

WBブラケティングの撮影方法

1 静止画撮影メニュー［オートブラケティング］を選んでマルチセレクターの㊨を押す



2 ［オートブラケティングのセット］で［WBブラケティング］を選ぶ



設定項目として［**コマ数**］と［**補正ステップ**］が表示されます。

3 **コマ数を設定する**

・[**コマ数**] を選んでマルチセレクターの◀▶を押すと、撮影コマ数を設定できます。

4 補正ステップを設定する

・[**補正ステップ**] を選んで◀▶を押すと、補正ステップを設定できます。

・補正ステップは、1（1段）、2（2段）、3（3段）から選ぶことができます。

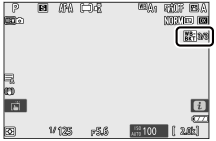
・ホワイトバランス補正ステップの1段は、約5ミレッドに相当します。A方向に数が大きくなるごとにアンバーが強くなります。B方向に数が大きくなるごとにブルーが強くなります。

・補正ステップが1のときの撮影コマ数と撮影順序は次の表の通りです。

[コマ数]	WBブラケティングインジケーター	撮影コマ数	補正ステップ	撮影順序
3F	+0+	3	各方向1段	0/A1/B1
5F	+0+	5	各方向1段	0/A2/A1/B1/B2
7F	+0+	7	各方向1段	0/A3/A2/A1/B1/B2/B3
9F	+0+	9	各方向1段	0/A4/A3/A2/A1/B1/B2/B3/B4

5 [オートブラケティング撮影] を [ON] にする

[**ON**] に設定すると撮影画面にアイコンが表示され、ブラケティング撮影を開始できます。



6 撮影する

- シャッターボタンを1回全押しすると、設定した全てのコマ数の画像が記録されます。
- ホワイトバランスを微調整している場合は、微調整値にWBブラケティングの補正ステップが加算されます。
- WBブラケティングの撮影コマ数が記録可能コマ数より多い場合、シャッターがきれません。新しいメモリーカードに交換すると撮影できます。

WBブラケティングの制限について

WBブラケティングは、RAWを含む画質モードでは使用できません。

ヒント: WBブラケティング撮影について

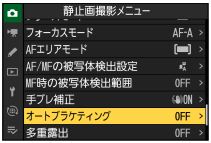
- WBブラケティングでは、色温度（A（アンバー）からB（ブルー）への横方向）の補正のみを行います。G（グリーン）からM（マゼンタ）への縦方向の補正は行いません。
- 撮影中に電源をOFFにした場合、全てのコマの記録が終了してから電源が切れます。
- セルフタイマー撮影時には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc2［**セルフタイマー**］>［**撮影コマ数**］で設定した撮影コマ数にかかわらず、WBブラケティングで設定した撮影コマ数が全て記録されます。

■■ WBブラケティング撮影をやめるには

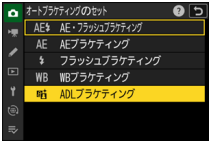
静止画撮影メニュー［**オートブラケティング**］>［**オートブラケティング撮影**］を［**OFF**］にしてください。

ADLブラケティングの撮影方法

1 静止画撮影メニュー［オートブラケティング］を選んでマルチセレクターの▶を押す



2 ［オートブラケティングのセット］で［ADLブラケティング］を選ぶ



設定項目として［**コマ数**］と［**効果の度合い**］が表示されます。

3 コマ数を設定する

・［**コマ数**］を選んでマルチセレクターの◀▶を押すと、撮影コマ数を設定できます。

・設定した撮影コマ数により、ブラケティングの内容が次のように異なります。

撮影コマ数	ブラケティングの内容
2コマ	［**しない**］→（手順4で設定するアクティブD-ライティングの度合い）
3コマ	［**しない**］→［**弱め**］→［**標準**］
4コマ	［**しない**］→［**弱め**］→［**標準**］→［**強め**］
5コマ	［**しない**］→［**弱め**］→［**標準**］→［**強め**］→［**より強め**］

・撮影コマ数を3コマ以上に設定した場合は、手順5に進んでください。

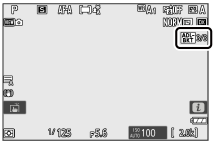
4 アクティブD-ライティングの度合いを設定する

- [**効果の度合い**] を選んで◀▶を押すと、撮影コマ数が2コマのときの2コマ目のアクティブD-ライティングの度合いを設定できます。
- アクティブD-ライティングの度合いは、次のようになります。

[効果の度合い]	ブラケティングの内容
OFF L	[**しない**] → [**弱め**]
OFF N	[**しない**] → [**標準**]
OFF H	[**しない**] → [**強め**]
OFF H+	[**しない**] → [**より強め**]
OFF AUTO	[**しない**] → [**オート**]

5 [オートブラケティング撮影] を [ON] にする

[**ON**] に設定すると撮影画面にアイコンが表示され、ブラケティング撮影を開始できます。



6 撮影する

・設定した撮影コマ数を撮影してください。
・撮影画面に、ADLブラケティングのアイコンと残りの撮影コマ数が表示されます。撮影するたびに残りのコマ数表示が減少します。

ADLブラケティング撮影について
・ レリーズモードを連続撮影に設定した場合、シャッターボタンを全押しし続けると、セットしたコマ数の撮影が終了した時点でいったん停止します。シャッターボタンを押し直すと、次の連続撮影が可能になります。
・ 撮影中に電源をOFFにしてもう一度ONにすると、1コマ目から撮影を行います。
・ セルフタイマー撮影時には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc2「**セルフタイマー**」>［**撮影コマ数**］で設定した撮影コマ数にかかわらず、［**オートブラケティング**］>［**コマ数**］で設定したコマ数を撮影します。

ADLブラケティング撮影をやめるには

静止画撮影メニュー［**オートブラケティング**］>［**オートブラケティング撮影**］を［**OFF**］にしてください。

多重露出

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

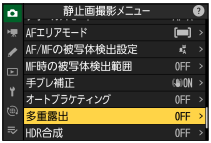
2～10コマのRAWデータを重ねて写し込み、1つの画像として記録します。

項目	内容
［**多重露出モード**］	・［**する（連続）**］：解除するまで連続して多重露出撮影します。多重露出撮影を解除するには、もう一度［**多重露出モード**］を選んで［**しない**］に設定してください。 ・［**する（1回）**］：多重露出撮影を終了すると、多重露出が解除されます。 ・［**しない**］：多重露出撮影を解除します。

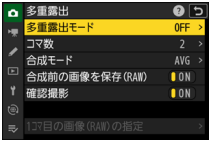
項目	内容
［**コマ数**］	コマ数（露光回数）を設定します。
［**合成モード**］	・［**加算**］：全ての露光結果をそのまま重ね合わせます。 ・［**加算平均**］：重ね合わせた画像の露出が適正になるように、露光回数に合わせて自動的にゲイン（出力）を補正します。各コマのゲインは、「1÷露光回数」となります。たとえば、露光回数が「2コマ」の場合は1/2、「3コマ」の場合は1/3になります。 ・［**比較明合成**］：撮影した各画像を比較し、最も明るい部分を選択して合成します。 ・［**比較暗合成**］：撮影した各画像を比較し、最も暗い部分を選択して合成します。
［**合成前の画像を保存（RAW）**］	・［**ON**］：合成した画像のほかに、多重露出で撮影した全てのコマをRAW画像として保存します。 ・［**OFF**］：合成した画像のみ保存します。
［**確認撮影**］	［**ON**］に設定すると、多重露出撮影中に撮影したコマを合成して撮影画面に半透過で表示します。次のコマを撮影するときに構図が決めやすくなります。
［**1コマ目の画像（RAW）の指定**］	メモリーカード内のRAW画像から1コマ目に使用する画像を選ぶことができます。

多重露出の撮影方法

1 静止画撮影メニュー［多重露出］を選んでマルチセレクターの▶を押す

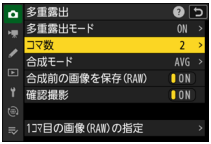


2 ［多重露出モード］を設定する



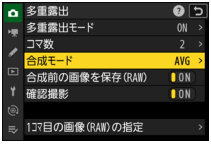
・［**多重露出モード**］を選んで、▶を押します。
・▲▼を押して［**する（連続）**］または［**する（1回）**］を選び、⊛ボタンを押します。
・撮影画面にアイコンが表示されます。

3 [コマ数]（露光回数）を設定する



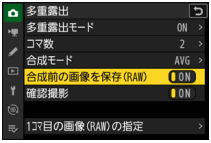
・[**コマ数**] を選んで、▶を押します。
・▲▼を押して露光回数を設定し、Ⓚボタンを押します。

4 [合成モード] を設定する



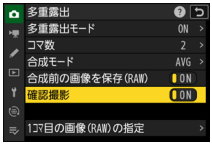
・[**合成モード**] を選んで、▶を押します。
・▲▼を押して項目を選び、Ⓚボタンを押します。

5 [合成前の画像を保存（RAW）] を設定する



[**ON**] に設定すると、合成した画像のほかに多重露出で撮影した全てのコマをRAW画像として保存します。[**OFF**] に設定すると、合成後の画像のみを保存します。

6 ［確認撮影］を設定する



［**ON**］に設定すると、これまでに撮影したコマを合成して撮影画面に半透明で表示します。前のコマと構図を合わせやすくなります。

7 ［1コマ目の画像（RAW）の指定］を設定する

- 撮影済みの画像に重ねて写し込みたい場合は、［**1コマ目の画像（RAW）の指定**］を選んで▶を押し、メモリーカード内のRAW画像から1コマ目に使用する画像を選びます。
- マルチセレクターで黄色い枠を移動して画像を選びます。
- 🔍ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- 画像を選択したら、OKボタンを押します。

8 撮影を開始する

- 設定したコマ数を撮影してください。手順7の［**1コマ目の画像（RAW）の指定**］でメモリーカード内のRAW画像から1コマ目に使用する画像を選んだ場合は、2コマ目以降を撮影します。
- 設定したコマ数を撮影すると、合成画像を作成して保存します。元の画質モードにかかわらず、合成画像はJPEGになります。
- ［**多重露出モード**］が［**する（連続）**］の場合、［**しない**］を選ぶまで多重露出撮影できます。
- 多重露出モードが［**する（1回）**］の場合、手順3で設定したコマ数分の撮影をすると、多重露出撮影が解除されます。

■■ *i*メニューを使う

多重露出撮影中に▶ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。多重露出撮影で最後に撮影したコマには🖼が表示され、このときに*i*ボタンを押すと多重露出撮影時の*i*メニューが表示されます。

・項目を選んでⓄKボタンを押すと、選んだ項目が実行されます。

・ボタンを押したときの設定は、タッチ操作でも行えます。

項目	内容
[**合成画像の確認**]	それまでに撮影したコマで合成画像を作成してプレビューします。
[**撮影画像の撮り直し**]	最後に撮影したコマを撮影し直せます。
[**保存して終了**]	それまでに撮影したコマで合成画像を作成し、保存して多重露出撮影を終了します。
[**保存せずに終了**]	合成画像を保存しないで多重露出撮影を終了します。 ・[**合成前の画像を保存（RAW）**]が[**ON**]の場合は、撮影した画像を合成せずに1コマずつ保存します。

多重露出撮影時のご注意

- 多重露出の撮影途中に画像を再生したりメニューを表示して、操作をしないまま40秒程度（メニュー表示時は90秒程度）経過すると、画像が記録されて多重露出が解除されます。撮影間隔が長くなる場合は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**画像の再生**］または［**メニュー表示**］を長めに設定すると、多重露出が解除されるまでの時間が延長されます。
- 多重露出で撮影する場合、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生しやすくなります。
- 連続撮影に設定しているときにシャッターボタンを全押しし続けると、多重露出で設定された撮影コマ数まで撮影し、合成画像を保存します。多重露出モードが［**する（1回）**］のときは、撮影が終了して合成画像が保存されると多重露出撮影を解除します。［**する（連続）**］のときは、撮影後に再度全押しすると、繰り返し多重露出撮影を行えます。
- セルフタイマー撮影時には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc2［**セルフタイマー**］>［**連続撮影間隔**］で設定した撮影間隔で撮影します。ただし、c2の［**撮影コマ数**］で設定した撮影コマ数にかかわらず、多重露出で設定した撮影コマ数の撮影が終了した時点で画像が記録されます。
- 多重露出撮影中にカメラの設定を変更すると、多重露出撮影が終了する場合があります。
- 多重露出の撮影設定および撮影データは1コマ目の内容になります。
- 多重露出による撮影中は、メモリーカードを交換しないでください。
- 多重露出撮影中はメモリーカードの初期化はできません。また、一部のメニュー項目がグレーで表示されて選択できません。

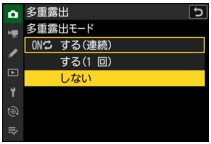
多重露出の制限について

次の場合など、多重露出とは同時に使用できない機能や設定があります。

- 撮影モードAUTO（オート）、**SCN**
- 動画撮影
- 「ハイスピードフレームキャプチャー+」撮影
- オートブラケティング撮影
- HDR合成
- インターバルタイマー撮影
- タイムラプス動画撮影
- フォーカスシフト撮影

■■多重露出撮影を終了するには

設定したコマ数分を撮影する前に多重露出撮影を終了するには、多重露出モードを［**しない**］に設定します。多重露出撮影を中断すると、その時点までの露光結果だけを重ね合わせた画像が記録されます（［**合成モード**］を［**加算平均**］に設定していた場合は、露光回数に合わせてゲイン補正が行われます）。



このほか、次の場合も、多重露出は終了されます。

- 1コマ目撮影後に半押しタイマーがオフになったとき
- 多重露出撮影中に▶ボタンを押してからiボタンを押し、［**保存して終了**］または［**保存せずに終了**］を選んだとき

HDR合成

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

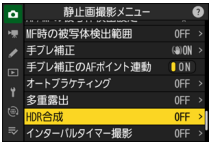
1回の撮影で露出が異なる画像を2コマ撮影して合成することにより、輝度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像を記録します。明暗差が著しい撮影シーンなどで、シャドー部からハイライト部まで幅広く再現された画像になります。

項目	内容
［**HDRモード**］	・［**する（連続）**］：解除するまで連続してHDR撮影します。HDRモードを解除するには、もう一度［**HDRモード**］を選んで［**しない**］に設定してください。 ・［**する（1回）**］：1回撮影を終了すると、HDRモードが解除されます。 ・［**しない**］：HDRモードを解除します。
［**HDR強度**］	HDRの強度を設定します。［**オート**］に設定すると、撮影シーンに応じて自動的にHDRの強度を設定します。
［**合成前の画像を保存（RAW）**］	［**ON**］に設定すると、合成する2コマの画像をそれぞれRAW形式で保存します。

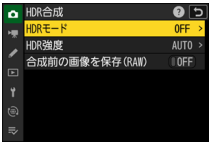
HDRの撮影方法

HDRモードを設定したときは、測光モードをマルチパターン測光に設定して撮影することをおすすめします。

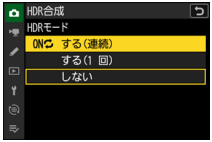
1 静止画撮影メニュー［HDR合成］を選んでマルチセレクターの㊨を押す



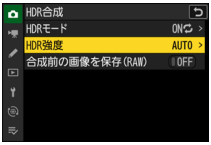
2 ［HDRモード］を設定する



・［**HDRモード**］を選んで▶を押します。
・▲▼を押して［**する（連続）**］または［**する（1回）**］を選び、⊛ボタンを押します。
・撮影画面にアイコンが表示されます。



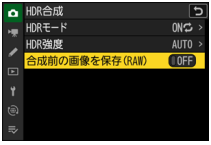
3 ［HDR強度］を設定する



・［**HDR強度**］を選んでを押します。
・を押してHDR強度を設定し、ボタンを押します。

・［**オート**］に設定すると、撮影シーンに応じて自動的にHDRの強度を設定します。

4 ［合成前の画像を保存（RAW）］を設定する



［**ON**］に設定すると、合成する2コマの画像をそれぞれRAW形式で保存します。

5 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

・シャッターボタンを全押しすると、2回連続してシャッターがきれます。
・［**HDRモード**］が［**する（連続）**］の場合、［**しない**］を選ぶまでHDRモードで撮影できます。
・［**HDRモード**］が［**する（1回）**］の場合、1回撮影するとHDRモードが解除されます。
・元の画質モードにかかわらず、合成画像はJPEGになります。

HDR撮影時のご注意

- 撮影した画像の画像周辺部は切り取られます。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されない場合があります。撮影時は、三脚をお使いいただくことをおすすめします。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影がでたり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。また、HDRの効果が出にくい場合があります。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- 測光モードが中央部重点測光またはスポット測光のときに［**HDR強度**］を［**オート**］に設定すると、HDRの強度は［**標準**］相当の度合いに固定されます。
- 内蔵フラッシュおよび別売のスピードライトは発光しません。
- レリーズモードを連続撮影に設定した場合にシャッターボタンを全押しし続けても連続撮影しません。
- シャッタースピードは、**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）に設定できません。

HDRモードの制限について

次の場合など、HDRモードとは同時に使用できない機能や設定があります。

- 撮影モード“AUTO”（オート）、**SCN**
- 静止画フリッカー低減
- 「ハイスピードフレームキャプチャー+」撮影
- オートブラケティング撮影
- 多重露出撮影
- インターバルタイマー撮影
- タイムラプス動画撮影
- フォーカスシフト撮影

インターバルタイマー撮影

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

設定した撮影間隔（インターバル）と撮影回数で自動的に撮影するインターバルタイマー撮影を行えます。インターバルタイマー撮影をするときは、レリーズモードをセルフタイマーまたは「ハイスピードフレームキャプチャー+」撮影以外に設定してください。

項目	内容
［**撮影開始**］	インターバルタイマー撮影を開始します。［**開始日時の設定**］で［**即時**］を選んでいる場合は約3秒後に撮影を開始し、［**日時指定**］を選んでいる場合は設定した日時に撮影を開始します。撮影は、設定した撮影間隔とコマ数で繰り返されます。
［**開始日時の設定**］	インターバルタイマー撮影の開始方法を設定します。インターバルタイマー撮影をすぐに開始する場合は［**即時**］を、開始日時を設定する場合は［**日時指定**］を選びます。
［**撮影間隔**］	撮影間隔（時、分、秒）を設定します。
［**撮影回数×1回のコマ数**］	撮影回数と1回で撮影するコマ数を設定します。
［**露出平滑化**］	［**ON**］を選ぶと、1コマ前に撮影した静止画と大きく明るさが変化しないようにカメラが自動で露出を調整します。 ・輝度の変化が大きい被写体を撮影するときは、露出が安定しないように見えることがあります。その場合は撮影間隔を短くすることをおすすめします。 ・撮影モード**M**で静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**感度自動制御**］が［**OFF**］の場合、露出の平滑化は行いません。
［**電子シャッター設定**］	撮影時に電子シャッターを使用するかどうかを設定できます。 ・［**電子シャッター**］を［**ON**］に設定すると、カスタムメニューd6［**シャッター方式**］の設定にかかわらず電子シャッターで撮影します。 ・［**音量**］で電子シャッター音の音量を設定できます。
［**撮影間隔優先**］	・［**ON**］：撮影モードが**P**または**A**のときに、露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影します。 - フラッシュ撮影はできません。 - カスタムメニューa1［**AF-Cモード時の優先**］およびa2［**AF-Sモード時の優先**］の設定にかかわらず、レリーズ優先になります。 - 静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］で［**感度自動制御**］を［**ON**］にしたときの［**低速限界設定**］の設定値が、設定した撮影間隔より長い場合は、撮影間隔を優先して感度が自動制御されます。 ・［**OFF**］：撮影間隔よりも露光時間を優先して撮影します。

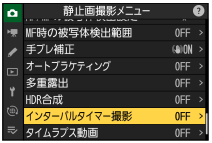
項目	内容
[**撮影間隔毎のAF駆動**]	[**ON**] に設定すると、撮影してから次の撮影までの間に、カメラが自動でピント合わせを行います。ピントを固定して撮影したい場合は [**OFF**] に設定してください。
[**オプション**]	インターバルタイマー撮影に、別の機能をオプションとして組み合わせることができます。 ・[**AEブラケティング**]：インターバルタイマー撮影とAEブラケティングを同時に行えます。 ・[**タイムラプス動画**]：インターバルタイマー撮影した画像をつないで、アスペクト比（縦横比）が16：9のタイムラプス動画として記録できます。 - インターバルタイマー撮影した画像とタイムラプス動画が保存されます。 - 静止画撮影メニュー [**撮像範囲設定**] が [**1:1（16×16）**] のときは撮影できません。 - [**タイムラプス動画**] を選んだときは、静止画撮影メニュー [**色空間**] の設定にかかわらず [**sRGB**] の色空間で撮影されます。 ・[**しない**]：オプションなしでインターバルタイマー撮影を行います。
[**撮影開始時の記録フォルダー**]	項目を選んでⓄKボタンを押すかマルチセレクターの▶を押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。 ・[**新規フォルダー作成**]：インターバルタイマー撮影を開始するたびに新しいフォルダーを自動的に作成して画像を保存します。 ・[**ファイル番号リセット**]：新規フォルダーが作成されるたびにファイル番号が「0001」に戻ります。

インターバルタイマー撮影の撮影方法

☑ インターバルタイマー撮影を開始する前に

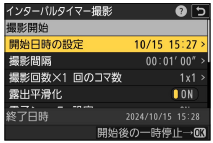
- 試し撮りをすることをおすすめします。
- あらかじめセットアップメニュー [**タイムゾーンと日時**] で日時が正確に設定されていることを確認してください。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、次のいずれかをお使いください。
  - 充分に充電したバッテリー
  - 別売のACアダプターEH-8Pと付属のUSBケーブルUC-E25（両端がType-C）
  - 外部充電池（モバイルバッテリー）

1 静止画撮影メニュー［インターバルタイマー撮影］を選んでマルチセレクターの▶を押す

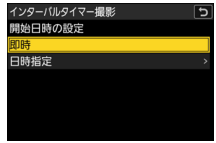


2 インターバルタイマー撮影の設定をする

・開始方法を選ぶ



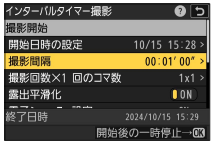
［**開始日時の設定**］を選んで▶を押す



開始方法を選んでOKボタンを押す

- インターバルタイマー撮影をすぐに開始する場合は、［**即時**］を選びます。
- インターバルタイマー撮影の開始日時を設定する場合は、［**日時指定**］を選びます。表示される画面で開始日時を設定してOKボタンを押します。

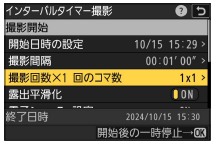
・撮影間隔（インターバル）を設定する



［**撮影間隔**］を選んで▶を押す

撮影間隔（時、分、秒）を設定してOKボタンを押す

・撮影回数と1回のコマ数を設定する

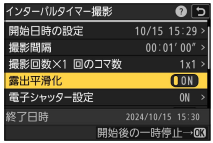


［**撮影回数×1回のコマ数**］を選んで▶を押す

撮影回数と1回で撮影するコマ数を設定して、Ⓚボタンを押す

- レリーズモードが1コマ撮影の場合、撮影コマ数を2コマ以上に設定すると、レリーズモードを高速連続撮影に設定した場合の速度で撮影します。

・露出平滑化をするかどうかを選ぶ



［**露出平滑化**］を選んで▶を押して［**ON**］/［**OFF**］を切り換える

- ［**ON**］を選ぶと、1コマ前に撮影した静止画と大きく明るさが変化しないようにカメラが自動で露出を調整します。

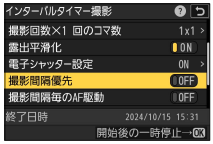
・**電子シャッターを使用するかどうかを選ぶ**

［**電子シャッター設定**］を選んで⊛を押す

［**電子シャッター**］を選んで⊛を押して［**ON**］/［**OFF**］を切り換える

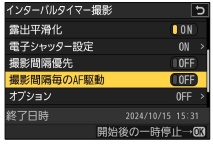
-［**音量**］で電子シャッター音の音量を設定できます。

・**露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影するかどうかを選ぶ**



［**撮影間隔優先**］を選んで⊛を押して［**ON**］/［**OFF**］を切り換える

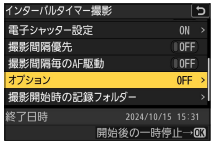
・**撮影間隔ごとにピント合わせを行うかどうかを選ぶ**



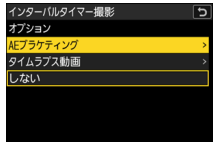
［**撮影間隔毎のAF駆動**］を選んで⊛を押して［**ON**］/［**OFF**］を切り換える

- [**撮影間隔毎のAF駆動**] を [**ON**] に設定すると、選んだフォーカスモードに従って、毎回の撮影の直前にピント合わせを行います。

・オプションを設定する



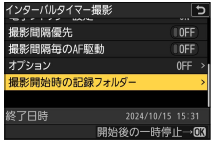
[**オプション**] を選んで▶を押す



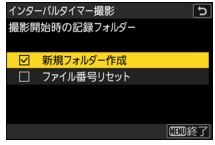
[**AEブラケティング**] または [**タイムラプス動画**] を選んでOKボタンを押す

- [**AEブラケティング**] の場合は [**コマ数**] と [**補正ステップ**] を、[**タイムラプス動画**] の場合は [**動画記録ファイル形式**]、[**画像サイズ/フレームレート**] を設定します。

・撮影開始時の記録フォルダーの設定をする

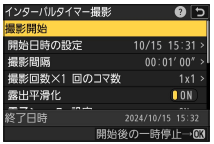


[**撮影開始時の記録フォルダー**] を選んで▶を押す



OKボタンを押して各項目のオン（☑）とオフ（☐）を切り換えて◀を押す

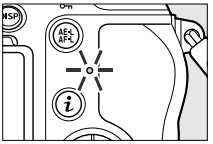
3 ［撮影開始］を選んでⓄKボタンを押す



- 手順2の［**開始日時の設定**］で［**即時**］を選んでいる場合は、約3秒後に撮影を開始します。
- 手順2の［**開始日時の設定**］で［**日時指定**］を選んでいる場合は、設定した日時に撮影を開始します。
- 撮影中は撮影画面は消灯します。
- 設定した撮影間隔とコマ数で撮影を繰り返します。

☑ インターバルタイマー撮影の待機状態について

- インターバルタイマー撮影の待機状態では、メモリーカードアクセスランプが点滅します。



- 待機状態でシャッターボタンを半押しすると、撮影画面に［**インターバル撮影中**］と表示され、アイコンが点滅します。［**オプション**］で［**タイムラプス動画**］を選んでいる場合は も表示されます。

インターバルタイマー撮影を一時停止するには

インターバルタイマー撮影を一時停止するには、撮影待機中にⓄⓀボタンを押すか、静止画撮影メニュー［**インターバルタイマー撮影**］で［**一時停止**］を選んでⓄⓀボタンを押します。ただし［**撮影間隔**］で設定した間隔が短いときは、**MENU**ボタンを押してもメニュー画面が表示されない場合があります。

・［**オプション**］で［**タイムラプス動画**］を選んだ場合、撮影待機中にⓄⓀボタンを押すとインターバルタイマー撮影を途中で終了します。

インターバルタイマー撮影を再開するには

インターバルタイマー撮影を再開する手順は次の通りです。

・**すぐに再開する場合**

［**再開**］を選んでⓄⓀボタンを押す

・**再開する日時を設定する場合**

-［**再開方法の設定**］を選んでⓄ▶を押し、表示された画面で［**日時指定**］を選びⓄ▶を押す

- 開始日時を設定して㊎ボタンを押す

- [**再開**] を選んで㊎ボタンを押す

■■ インターバルタイマー撮影を途中で終了するには

インターバルタイマー撮影を途中で終了するには、撮影待機中に静止画撮影メニュー［**インターバルタイマー撮影**］で［**終了**］を選び、㊎ボタンを押します。ただし［**撮影間隔**］の設定が短い場合、**MENU**ボタンを押してもメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は㊎ボタンを押して一時停止してから、静止画撮影メニュー［**インターバルタイマー撮影**］で［**終了**］を選んで㊎ボタンを押してください。

インターバルタイマー撮影についてのご注意

- 撮影間隔は、想定されるシャッタースピードに1回の撮影コマ数を掛けた値よりも長い時間を設定してください。実際のインターバルタイマー撮影には、インターバル時間の他、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間などが含まれます。撮影間隔が充分な長さに設定されていない場合は、設定した撮影間隔で撮影できず、その回の撮影がキャンセルされることがあります。
- 撮影間隔が充分な長さに設定されていない場合は、設定した［**撮影回数×1回のコマ数**］で撮影できないことがあります。
- 内蔵フラッシュやスピードライトを使用する場合は、適正な発光を行うために必要な充電時間よりも長い時間を設定してください。撮影間隔が充分な長さに設定されていない場合は、発光量が不足することがあります。
- 設定した開始日時が現在時刻後1分以内の場合や［**撮影間隔**］が［**00:00'00"**］の場合、シャッタースピードが**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）の場合など、インターバルタイマー撮影を開始できないときには警告メッセージを表示します。
- ［**電子シャッター設定**］>［**電子シャッター**］を［**ON**］に設定し、［**音量**］を［**0**］以外にしている場合、セットアップメニュー［**サイレントモード**］を［**ON**］にしていても撮影時に電子シャッター音が鳴ります。
- ［**オプション**］で［**タイムラプス動画**］を選んだ場合は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］>［**半押しタイマー**］の設定にかかわらず、インターバルタイマー撮影中に半押しタイマーはオフになりません。
- 静止画撮影メニュー［**階調モード**］で［**HLG**］に設定している場合、［**オプション**］>［**タイムラプス動画**］>［**動画記録ファイル形式**］は［**H.265 10-bit (MOV)**］に固定されます。
- メモリーカードのメモリー残量がない場合、撮影時刻ごとにカウントは進みますが、実際の撮影は行われません。メモリー残量のあるメモリーカードに交換し、インターバルタイマー撮影を再開してください（🕮493）。
- メモリーカードの性能や撮影条件によっては、設定した撮影回数やコマ数に達する前に撮影が終了する場合があります。
- 次の場合はインターバルタイマー撮影が一時停止状態になります。
  - 電源をOFFにして、再度ONにしたとき（電源がOFFの間にバッテリーやメモリーカードを交換しても、一時停止状態が持続します）
  - レリーズモードをセルフタイマーまたは「ハイスピードフレームキャプチャー+」撮影に切り換えたとき
- インターバルタイマー撮影中にカメラの設定を変更すると、インターバルタイマー撮影が終了する場合があります。

☑ 撮影コマ数について
レリーズモードに関係なく、1回の撮影ごとに設定された撮影コマ数が撮影されます。

☑ インターバルタイマー撮影待機中の各種設定について
インターバルタイマー撮影の待機中は、各種設定やメニュー画面の操作や、画像の再生を行うことができます。ただし、撮影時刻の数秒前に画面の表示を消灯して、撮影に入ります。

☑ インターバルタイマー撮影の制限について
次の場合など、インターバルタイマー撮影とは同時に使用できない機能や設定があります。
- 動画撮影
- 長時間露出（バルブまたはタイム）撮影
- セルフタイマー撮影
- 「ハイスピードフレームキャプチャー+」撮影
- オートブラケティング撮影
- 多重露出撮影
- HDR合成
- フォーカスシフト撮影

☑ インターバルタイマー撮影の設定について
電源をOFFにしたり、レリーズモードを切り換えたりした場合も、設定した内容は記憶されています。

☑ 撮影メニューのリセットについて
インターバルタイマー撮影中は撮影メニューのリセットはできません。

タイムラプス動画

MENUボタン➡ 📷静止画撮影メニュー

設定した撮影間隔で自動的に撮影を行い、撮影した静止画をつないで動画として記録できます。

項目	内容
［**撮影開始**］	タイムラプス動画撮影を開始します。約3秒後に撮影を開始し、設定した［**撮影時間**］内に設定した［**撮影間隔**］で撮影を繰り返します。

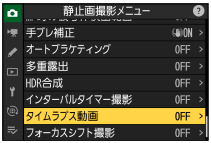
項目	内容
［**撮影間隔**］	撮影間隔（分、秒）を設定します。
［**撮影時間**］	撮影時間（時、分）を設定します。
［**露出平滑化**］	［**ON**］を選ぶと、明るさの変化がなめらかになり、より自然な動画を記録します。 ・輝度の変化が大きい被写体を撮影するときは、露出が安定しないように見えることがあります。その場合は撮影間隔を短くすることをおすすめします。 ・撮影モード**M**で静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**感度自動制御**］が［**OFF**］の場合、露出の平滑化は行いません。
［**電子シャッター設定**］	撮影時に電子シャッターを使用するかどうかを設定できます。 ・［**電子シャッター**］を［**ON**］に設定すると、カスタムメニューd6［**シャッター方式**］の設定にかかわらず電子シャッターで撮影します。 ・［**音量**］で電子シャッター音の音量を設定できます。
［**動画記録ファイル形式**］	記録するタイムラプス動画のファイル形式を設定できます。
［**画像サイズ/フレームレート**］	記録されるタイムラプス動画の画像サイズ（ピクセル）とフレームレートを設定できます。選べる画像サイズは、［**動画記録ファイル形式**］の設定により異なります。
［**撮影間隔優先**］	・［**ON**］：撮影モードが**P**または**A**のときに、露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影します。 - カスタムメニューa1［**AF-Cモード時の優先**］およびa2［**AF-Sモード時の優先**］の設定にかかわらず、レリーズ優先になります。 - 静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］で［**感度自動制御**］を［**ON**］にしたときの［**低速限界設定**］の設定値が、設定した撮影間隔より長い場合は、撮影間隔を優先して感度が自動制御されます。 ・［**OFF**］：撮影間隔よりも露光時間を優先して撮影します。
［**撮影間隔毎のAF駆動**］	［**ON**］を選ぶと、撮影してから次の撮影までの間に、カメラが自動でピント合わせを行います。

タイムラプス動画の撮影方法

タイムラプス動画撮影を開始する前に

- タイムラプス動画撮影で撮影される静止画の画角は、動画撮影時と同じになります。
- 試し撮りをして、画像を再生して確認することをおすすめします。
- あらかじめセットアップメニュー［**タイムゾーンと日時**］で日時が正確に設定されていることを確認してください。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、次のいずれかをお使いください。
  - 充分に充電したバッテリー
  - 別売のACアダプターEH-8Pと付属のUSBケーブルUC-E25（両端がType-C）
  - 外部充電池（モバイルバッテリー）

1 静止画撮影メニュー［タイムラプス動画］を選んでマルチセレクターの▶を押す



2 タイムラプス動画の設定をする

・撮影間隔（インターバル）を設定する

［**撮影間隔**］を選んで▶を押す

撮影間隔（分、秒）を設定してⓄⓀボタンを押す

- 撮影間隔は、想定されるシャッタースピードよりも長い時間を設定してください。

・撮影時間を設定する

［**撮影時間**］を選んで▶を押す

撮影時間（時、分）を設定してⓄⓀボタンを押す

- 撮影時間は、最長で23時間59分まで設定できます。

・露出平滑化をするかどうかを選ぶ

［**露出平滑化**］を選んで▶を押して［**ON**］/［**OFF**］を切り換える

-［**ON**］を選ぶと、明るさの変化がなめらかになり、より自然な動画を記録します。

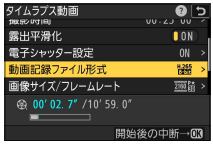
・電子シャッターを使用するかどうかを選ぶ

［**電子シャッター設定**］を選んで㊐を押す

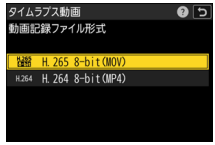
［**電子シャッター**］を選んで㊐を押して［**ON**］/［**OFF**］を切り換える

-［**音量**］で電子シャッター音の音量を設定できます。

・動画記録ファイル形式を設定する

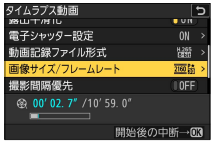


［**動画記録ファイル形式**］を選んで㊐を押す



ファイル形式を選んでⓄKボタンを押す

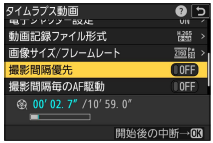
・画像サイズ/フレームレートを設定する



［**画像サイズ/フレームレート**］を選んで㊐を押す

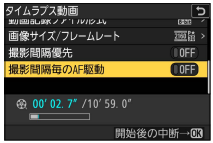
動画の画像サイズ/フレームレートを選んでⓄKボタンを押す

・露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影するかどうか選ぶ



［**撮影間隔優先**］を選んで㊐を押して［**ON**］/［**OFF**］を切り換える

・撮影間隔ごとにピント合わせを行うかどうか選ぶ



［**撮影間隔毎のAF駆動**］を選んで㊐を押して［**ON**］/［**OFF**］を切り換える

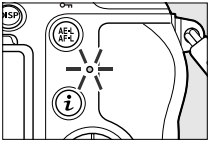
- ［**撮影間隔毎のAF駆動**］が［**ON**］のときは、選んだフォーカスモードに従って、毎回の撮影の直前にピント合わせを行います。

3 ［撮影開始］を選んでOKボタンを押す

・約3秒後に撮影を開始します。
・撮影中は撮影画面は消灯します。
・手順2で設定した［**撮影時間**］内に、設定した［**撮影間隔**］で撮影を繰り返します。

タイムラプス動画撮影の待機状態について

・タイムラプス動画撮影の待機状態では、メモリーカードアクセスランプが点灯します。



・待機状態でシャッターボタンを半押しすると、撮影画面に［**インターバル撮影中**］と表示され、アイコンが点滅します。

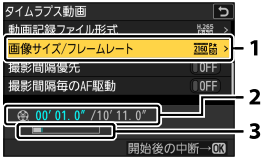
タイムラプス動画撮影を途中で終了するには

タイムラプス動画撮影を途中で終了するには、撮影待機中に⊛ボタンを押すか、静止画撮影メニュー［**タイムラプス動画**］で［**終了**］を選んで⊛ボタンを押します。ただし［**撮影間隔**］で設定した間隔が短いときは、**MENU**ボタンを押してもメニュー画面が表示されない場合があります。

・タイムラプス動画撮影を終了すると、終了時点までの動画がメモリーカードに記録され、通常の撮影待機状態に戻ります。

タイムラプス動画の記録コマ数（撮影回数）と動画の長さについて

- 手順2で設定する撮影時間を撮影間隔で割った数（小数点以下切り上げ）に1を足した数が、記録コマ数（撮影回数）になります。
- タイムラプス動画で記録される動画の長さは、上記の記録コマ数÷［**画像サイズ/フレームレート**］で選んだフレームレートで計算できます（例えば、［**画像サイズ/フレームレート**］が［**1920×1080 24p**］のときに記録コマ数が48コマの場合、記録される動画の長さは約2秒になります）。



1	動画の画像サイズ/フレームレート
2	記録時間/最長記録時間
3	メモリーカード使用状況

撮影直後の画像確認について

タイムラプス動画撮影中は、▶ボタンで画像を表示することはできません。ただし、再生メニュー［**撮影直後の画像確認**］を［**する**］または［**する（画像モニター表示のみ）**］にすると、撮影のたびに自動的に画像が数秒間表示されます。表示だけを行い、通常の再生時の操作は無効になります。また、撮影間隔が短い場合は表示されないことがあります。

タイムラプス動画撮影についてのご注意

- タイムラプス動画には音声は記録されません。
- 実際のタイムラプス動画撮影には、インターバル時間のほか、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間が含まれます。そのため、設定した撮影間隔で撮影できないことがあります。
- 次のような場合には、タイムラプス動画撮影を開始または設定できません。
  - 設定した［**撮影時間**］が［**撮影間隔**］より短い場合
  - ［**撮影時間**］または［**撮影間隔**］が［**00:00'00"**］の場合
  - メモリーカードのメモリー残量がない場合
- ［**タイムラプス動画**］画面の記録時間が赤色で表示されている場合、タイムラプス動画撮影を開始できません。［**撮影間隔**］または［**撮影時間**］の設定を変更してください。

・［**電子シャッター設定**］>［**電子シャッター**］を［**ON**］に設定し、［**音量**］を［**0**］以外にしている場合、セットアップメニュー［**サイレントモード**］を［**ON**］にしていても撮影時に電子シャッター音が鳴ります。
・静止画撮影メニュー［**階調モード**］で［**HLG**］に設定している場合、［**動画記録ファイル形式**］は［**H.265 10-bit（MOV）**］に固定されます。
・タイムラプス動画撮影中は、▶ボタンを押しても画像の再生はできません。
・タイムラプス動画を撮影する場合、ホワイトバランスを［**オート**］または［**自然光オート**］以外に設定すると色味を固定することができます。
・タイムラプス動画撮影中は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］の設定にかかわらず、半押しタイマーはオフになりません。
・タイムラプス動画撮影中にカメラの設定を変更したり、カメラの操作を行ったり、HDMIケーブルを接続すると、撮影が終了することがあります。その場合はその時点までの動画を記録してタイムラプス動画撮影を終了します。
・次の場合は動画を記録せずに、タイムラプス動画撮影が終了します（タイムラプス動画撮影終了時の電子音は鳴りません）。
  - バッテリーやACアダプターを取り外したとき
  - メモリーカードを取り出したとき

タイムラプス動画撮影待機中の各種設定について

タイムラプス動画撮影の待機中は、各種設定やメニュー画面の操作を行うことができます。ただし、撮影時刻の約2秒前に画像モニターを消灯して、撮影に入ります。

タイムラプス動画の制限について

次の場合など、タイムラプス動画とは同時に使用できない機能や設定があります。

・動画撮影
・長時間露出（バルブまたはタイム）撮影
・セルフタイマー撮影
・「ハイスピードフレームキャプチャー+」撮影
・オートブラケティング撮影
・多重露出撮影
・HDR合成
・インターバルタイマー撮影
・フォーカスシフト撮影

フォーカスシフト撮影

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

ピント位置を変えながら自動的に連続撮影を行います。ピント面の異なる複数の画像を合成して被写界深度の深い画像を作成する、深度合成の素材を撮影できます。フォーカスシフト撮影をするときは、フォーカスモードを**AF-A**、**AF-S**または**AF-C**に設定し、レリーズモードをセルフタイマーまたは「ハイスピードフレームキャプチャー+」以外に設定してください。

項目	内容
［**撮影開始**］	撮影を開始します。撮影は、設定したフォーカスステップ幅で繰り返されます。
［**撮影回数**］	撮影回数を最大300回まで設定できます。
［**フォーカスステップ幅**］	フォーカスシフト撮影は、ピント位置を変更しながらステップ撮影を行います。ピント位置の変更幅を設定します。
［**待機時間**］	コマ間の撮影間隔を秒単位で設定できます。 ・フラッシュを使用して撮影する場合は光量不足にならないように充電時間を考慮して設定してください。
［**露出固定**］	・［**ON**］：露出を1コマ目撮影時の設定に固定します。 ・［**OFF**］：1コマごとに露出を合わせます。
［**電子シャッター設定**］	撮影時に電子シャッターを使用するかどうかを設定できます。 ・［**電子シャッター**］を［**ON**］に設定すると、カスタムメニューd6［**シャッター方式**］の設定にかかわらず電子シャッターで撮影します。 ・［**音量**］で電子シャッター音の音量を設定できます。
［**フォーカス位置の自動リセット**］	・［**ON**］：1回のフォーカスシフト撮影が終了したときにレンズのピント位置が撮影開始時の位置に戻ります。同じ距離範囲で複数回フォーカスシフト撮影を行う場合に、再度ピント合わせを行う手間を省けます。 ・［**OFF**］：ピント位置はフォーカスシフト撮影終了時の位置で止まります。ひとつの被写体を複数回に分けてフォーカスシフト撮影を行う場合に、前回の続きのピント位置から撮影できます。

項目	内容
[撮影開始時の記録フォルダー]	項目を選んでOKボタンを押すかマルチセレクターの▶を押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。 ・[**新規フォルダー作成**]：フォーカスシフト撮影を開始するたびに新しいフォルダーを自動的に作成して画像を保存します。 ・[**ファイル番号リセット**]：新規フォルダーが作成されるたびにファイル番号が「0001」に戻ります。

フォーカスシフト撮影の撮影方法

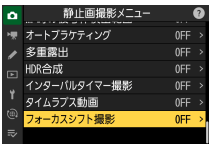
☑ フォーカスシフト撮影を開始する前に

・試し撮りをすることをおすすめします。
・撮影中のバッテリー切れを防ぐため、次のいずれかをお使いください。
- 充分に充電したバッテリー
- 別売のACアダプターEH-8Pと付属のUSBケーブルUC-E25（両端がType-C）
- 外部充電池（モバイルバッテリー）

1 被写体にピントを合わせる

・撮影開始のピント位置から無限遠方向に向かって自動撮影されます。ピント位置が無限遠に達すると撮影を終了するため、撮影開始時は、被写体より少し手前（カメラ側）にピントを合わせておくことをおすすめします。
・ピント合わせ後はカメラを動かさないでください。

2 静止画撮影メニュー［フォーカスシフト撮影］を選んでマルチセレクターの▶を押す



3 フォーカスシフト撮影の設定をする

・撮影回数を設定する

［**撮影回数**］を選んで▶を押す

撮影回数を設定して、⊛ボタンを押す

- 撮影回数は最大300回まで設定できます。
- 撮影回数は多めに設定しておくことをおすすめします。合成時には必要な画像を選んで使用してください。
- 昆虫などの小さい被写体をクローズアップ撮影する場合、100枚以上の画像が必要になることがあります。また、手前から遠くまでをカバーする風景を広角レンズで撮影する場合は、数枚で充分なこともあります。

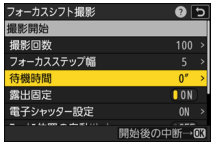
・フォーカスステップ幅（ピント位置の間隔）を設定する

［**フォーカスステップ幅**］を選んで▶を押す

フォーカスステップ幅を設定して、⊛ボタンを押す

- フォーカスステップ幅は、▶を押すほど広くなり、◀を押すほど狭くなります。
- フォーカスステップ幅を大きな数値に設定すると、深度合成したときにピントの合っていない領域ができてしまうことがあります。通常は5以下に設定することをおすすめします。
- フォーカスステップ幅は何度か試して決めてください。

・待機時間を設定する

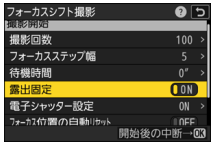


［**待機時間**］を選んで㊟を押す

待機時間を設定して、㊙ボタンを押す

- コマ間の撮影間隔を秒単位で設定できます。
- フラッシュを使用して撮影する場合は光量不足にならないように充電時間を考慮して設定してください。フラッシュを使用しない場合は、［**00**］に設定することをおすすめします。

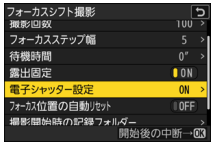
・露出を固定するかどうかを選ぶ



［**露出固定**］を選んで㊟を押して［**ON**］/［**OFF**］を切り換える

- 光源などの撮影環境が安定している場合は［**OFF**］、風景などの光線条件が変化するような場合は［**ON**］をおすすめします。
- ［**ON**］を選ぶと、全てのコマが同じ露出になるように、露出を1コマ目撮影時の設定に固定します。ただし、輝度の変化が大きい被写体を撮影するときは、露出が安定しないように見えることがあります。その場合は、［**OFF**］にすることをおすすめします。

・**電子シャッターを使用するかどうかを選ぶ**

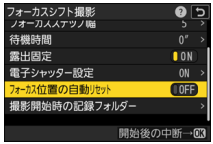


［**電子シャッター設定**］を選んで⊛を押す

［**電子シャッター**］を選んで⊛を押して［**ON**］/［**OFF**］を切り換える

- ［**音量**］で電子シャッター音の音量を設定できます。

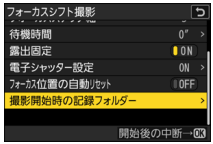
・**フォーカス位置を自動でリセットするかどうかを選ぶ**



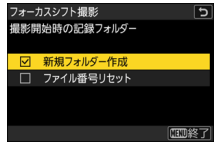
［**フォーカス位置の自動リセット**］を選んで⊛を押して［**ON**］/［**OFF**］を切り換える

- 同じ距離範囲で複数回フォーカスシフト撮影を行う場合は、［**ON**］に設定することをおすすめします。
- ［**OFF**］に設定すると、ピント位置はフォーカスシフト撮影終了時の位置で止まります。

・撮影開始時の記録フォルダーの設定をする



［撮影開始時の記録フォルダー］を選んで▶を押す



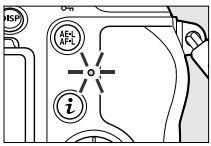
OKボタンを押して各項目のオン（☑）とオフ（☐）を切り換えて◀を押す

4 ［撮影開始］を選んでOKボタンを押す

・約3秒後に撮影を開始します。
・撮影中は撮影画面は消灯します。
・撮影開始時のピント位置から無限遠に向かって連続撮影を行います。
・設定した撮影回数に達するか、ピント位置が無限遠に達すると撮影を終了します。

☑ フォーカスシフト撮影の待機状態について

フォーカスシフト撮影の待機状態では、メモリーカードアクセスランプが点滅します。



■■ フォーカスシフト撮影を途中で終了するには

フォーカスシフト撮影を途中で終了するには、次の操作を行います。

- 撮影待機中に静止画撮影メニュー［**フォーカスシフト撮影**］で［**終了**］を選び、㊞ボタンを押す
- 次の撮影までの間にシャッターボタンを半押しするか、㊞ボタンを押す

フォーカスシフト撮影についてのご注意

- 実際のフォーカスシフト撮影には、待機時間の他、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間が含まれます。そのため、設定した待機時間で撮影できないことがあります。
- ピント位置が無限遠に達すると撮影を終了するため、撮影開始時のピント位置によっては、設定した撮影回数の撮影を行わない場合があります。
- [**電子シャッター設定**] > [**電子シャッター**] を [**ON**] に設定し、[**音量**] を [**0**] 以外にしている場合、セットアップメニュー [**サイレントモード**] を [**ON**] にしていても撮影時に電子シャッター音が鳴ります。
- フォーカスシフト撮影中は、カスタムメニューc3 [**パワーオフ時間**] の [**半押しタイマー**] の設定にかかわらず、半押しタイマーはオフになりません。
- 内蔵フラッシュやスピードライトを使用する場合は、適正な発光を行うために必要な充電時間よりも長い時間を設定してください。待機時間が充分な長さに設定されていない場合は、発光量が不足することがあります。[**待機時間**] を [**00**] に設定すると、静止画撮影メニュー [**フラッシュモード**] の設定にかかわらず内蔵フラッシュやスピードライトは発光しません。
- シャッタースピードが**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）の場合など、フォーカスシフト撮影を開始できないときには警告メッセージを表示します。
- フォーカスシフト撮影中にカメラの設定を変更すると、フォーカスシフト撮影が終了する場合があります。

フォーカスシフト撮影の制限について

次の場合など、フォーカスシフト撮影とは同時に使用できない機能や設定があります。

- 動画撮影
- 長時間露出（バルブまたはタイム）撮影
- セルフタイマー撮影
- 「ハイスピードフレームキャプチャー+」撮影
- オートブラケティング撮影
- 多重露出撮影
- HDR合成
- インターバルタイマー撮影
- タイムラプス動画撮影

ヒント: フォーカスシフト撮影時の絞り値について

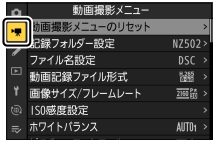
レンズの絞りを絞り込み過ぎることによる解像感の低下を防ぐため、絞り値をf/8～f/11よりも開いて（より小さい数値にして）撮影することをおすすめします。

ヒント: 近接撮影を行う場合

近接撮影では焦点深度が浅くなるため、近接被写体のフォーカスシフト撮影を行う場合は、フォーカスステップ幅を狭めにし、撮影回数を多めにして撮影することをおすすめします。

動画撮影メニュー

メニュー画面で🎥タブを選ぶと、動画撮影メニューが表示されます。



動画撮影メニューの項目は次の通りです。

メニュー項目	🕮
［動画撮影メニューのリセット］	515
［記録フォルダー設定］	515
［ファイル名設定］	515
［動画記録ファイル形式］	516
［画像サイズ/フレームレート］	516
［ISO感度設定］	516
［ホワイトバランス］	517
［ピクチャーコントロール］	517
［カスタムピクチャーコントロール］	518
［HLG画質調整］	518
［アクティブD-ライティング］	519
［高感度ノイズ低減］	519
［ヴィネットコントロール］	519

メニュー項目	🕮
［回折補正］	520
［自動ゆがみ補正］	520
［美肌効果］	520
［人物印象調整］	520
［動画フリッカー低減］	521
［高周波フリッカー低減］	521
［測光モード］	522
［フォーカスモード］	522
［AFエリアモード］	522
［AF/MFの被写体検出設定］	522
［商品レビューモード］	523
［MF時の被写体検出範囲］	523
［動画セルフタイマー］	523
［手ブレ補正］	523

メニュー項目	🕮
［電子手ブレ補正］	524
［マイク感度］	524
［アッテネーター］	525
［録音帯域］	525
［風切り音低減］	526
［マイク端子のプラグインパワー］	526

メニュー項目	🕮
［ヘッドホン音量］	526
［タイムコード］	527
［外部記録制御（HDMI）］	528
［ハイレゾズーム］	528

動画撮影メニューのリセット

MENUボタン➡ 🎥動画撮影メニュー

動画撮影メニューをリセットして初期設定に戻します。

記録フォルダー設定

MENUボタン➡ 🎥動画撮影メニュー

撮影した画像を保存するフォルダーについての設定を行います。詳しくは静止画撮影メニュー［**記録フォルダー設定**］をご覧ください（🕮433）。

☑ 記録フォルダー設定について

静止画撮影メニューと動画撮影メニューの［**記録フォルダー設定**］は、一方の設定を変更するともう一方も連動して変更されます。

ファイル名設定

MENUボタン➡ 🎥動画撮影メニュー

このカメラで撮影した動画のファイル名DSC_nnnn.movの「DSC」の3文字を任意に変更できます（🕮436）。

動画記録ファイル形式

MENUボタン➡ 動動画撮影メニュー

動画のファイル形式を選べます。詳しくは「動画撮影の機能」>「動画の記録ファイル形式について」(🕮199)をご覧ください。

画像サイズ/フレームレート

MENUボタン➡ 動動画撮影メニュー

動画を撮影するときの画像サイズ(ピクセル)とフレームレートを設定します。詳しくは「動画撮影の機能」>「動画の画像サイズ/フレームレートについて」(🕮201)をご覧ください。

ISO感度設定

MENUボタン➡ 動動画撮影メニュー

動画モード時のISO感度に関する設定ができます。

項目	内容
[**制御上限感度**]	感度自動制御するときにISO感度が高くなりすぎないように、上限感度(ISO 200〜25600)を設定できます。 ・撮影モードが**P**、**S**、または**A**の場合と、撮影モード**M**で[**Mモード時の感度自動制御**]が[**ON**]の場合は、ここで設定した感度が自動制御の上限になります。

項目	内容
［**Mモード時の感度自動制御**］	・［**ON**］：撮影モードが**M**のときもカメラが自動的に動画モード時のISO感度を変更します。 ・［**OFF**］：撮影モードが**M**のときに、［**Mモード時のISO感度**］で設定したISO感度に固定されます。 ・撮影モードが**M**以外の場合は常に感度自動制御が動作します。
［**Mモード時のISO感度**］	撮影モード**M**での動画モード時のISO感度（100～25600）を設定できます。 ・動画の階調モードを［**N-Log**］にしている場合は、Lo 0.3～2.0、またはISO 800～25600に設定できます。

感度自動制御についてのご注意

- ISO感度が上がると、被写体によっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生することがあります。
- ISO感度が上がると、ピントが合いにくくなることがあります。
- 上記の現象が発生する場合は、［**ISO感度設定**］の［**制御上限感度**］を下げて撮影してください。

ホワイトバランス

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時のホワイトバランスを設定できます。［**静止画の設定と同じ**］を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（🕮159）。

ピクチャーコントロール

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時のピクチャーコントロールを設定できます。［**静止画の設定と同じ**］を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（🕮180）。

カスタムピクチャーコントロール

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます（🕮192）。

HLG画質調整

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］で［**H.265 10-bit（MOV）**］を選び、階調モードとして［**HLG**］を設定した場合の画像の仕上がりを調整できます。

項目	内容
［**クイックシャープ**］	画像内の明暗差がある部分のシャープさを調整します。 ・［**クイックシャープ**］を調整すると、［**輪郭強調**］、［**ミドルレンジシャープ**］、［**明瞭度**］の各項目をまとめてバランスよく調整します。＋側に設定すると、よりくっきりとした印象になります。－側に設定すると、よりやわらかな印象になります。 ・［**輪郭強調**］、［**ミドルレンジシャープ**］、［**明瞭度**］は、画像内で調整する対象が異なります。各項目を個別に調整することも可能です。
［**輪郭強調**］	狭い範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。
［**ミドルレンジシャープ**］	［**輪郭強調**］と［**明瞭度**］の中間の範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。
［**明瞭度**］	広い範囲で明暗差がある部分のシャープさを調整します。 ・細部の輪郭や画像全体の階調と明るさは維持されます。
［**コントラスト**］	画像全体のコントラストを調整できます。
［**色の濃さ（彩度）**］	画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整できます。

項目	内容
［色合い（色相）］	画像の色合いを調整できます。

アクティブD-ライティング

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時のアクティブD-ライティングを設定できます。

項目		内容
暗H+	［より強め］	効果の度合いは、強い順に［**より強め**］、［**強め**］、［**標準**］、［**弱め**］になります。
暗H	［強め］	
暗N	［標準］	
暗L	［弱め］	
［**しない**］		アクティブD-ライティングを設定しません。

高感度ノイズ低減

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画撮影時に、ISO感度が高くなるほど発生しやすいノイズ（ざらつき）を低減します（🕮445）。

ヴィネットコントロール

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時のヴィネットコントロールを設定できます（🕮446）。

ヴィネットコントロールについて

静止画撮影メニューと動画撮影メニューの［**ヴィネットコントロール**］は、一方の設定を変更するともう一方も連動して変更されます。

回折補正

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時に回折補正を行うかどうかを設定できます（🕮446）。

回折補正について

静止画撮影メニューと動画撮影メニューの［**回折補正**］は、一方の設定を変更するともう一方も連動して変更されます。

自動ゆがみ補正

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時に自動ゆがみ補正を行うかどうかを設定できます（🕮447）。

自動ゆがみ補正について

静止画撮影メニューと動画撮影メニューの［**自動ゆがみ補正**］は、一方の設定を変更するともう一方も連動して変更されます。

美肌効果

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時の美肌効果を設定できます。［**静止画の設定と同じ**］を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（🕮447）。

動画モードの美肌効果について

動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］を［**H.265 10-bit（MOV）**］に設定して、階調モードで［**N-Log**］を選んでいる場合、美肌効果は機能しません。

人物印象調整

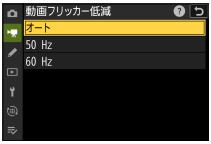
MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時の人物印象調整を設定できます（🕮448）。

動画フリッカー低減

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

蛍光灯や水銀灯などの光源下で撮影画面や記録する動画に生じるちらつきや横縞（フリッカー現象）を低減する機能です。
撮影場所の地域に合わせて電源周波数を［**オート**］、［**50 Hz**］、［**60 Hz**］から選べます。



- ［**オート**］にしていても、フリッカー低減効果が得られない場合は、お使いの地域の電源周波数に応じて［**50 Hz**］または［**60 Hz**］に変更し、試し撮りをすることをおすすめします。東日本など電源周波数が50 Hzの地域では［**50 Hz**］を選び、西日本など電源周波数が60 Hzの地域では［**60 Hz**］を選んでください。
- ［**動画フリッカー低減**］の設定は、静止画モードの撮影画面の表示にも反映されます。

［動画フリッカー低減］についてのご注意

- 被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。絞りを絞り込んで（より大きい数値にして）ください。
- フリッカー低減効果が得られない場合は、撮影モードを**S**または**M**に設定し、シャッタースピードを次の値にすることで、フリッカー現象を低減できます。
  - 電源周波数が50Hzの場合：1/100秒、1/50秒、1/25秒
  - 電源周波数が60Hzの場合：1/125秒、1/60秒、1/30秒

高周波フリッカー低減

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

［**する（高分解能シャッター設定）**］に設定すると、撮影モード**S**または**M**でシャッタースピードを1/4000～1/30秒に設定している場合にシャッタースピードを通常より細かいステップ幅で調整でき、フリッカー現象の影響が少ない

シャッタースピードを撮影画面で確認しながら設定できます。詳しくは静止画撮影メニュー［**高周波フリッカー低減**］をご覧ください（🕮451）。

測光モード

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時の測光モードを設定できます。動画撮影メニューでは［**スポット測光**］は選べません（🕮452）。

フォーカスモード

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時のフォーカスモードを設定できます（🕮110）。

AFエリアモード

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時のAFエリアモードを設定できます（🕮112）。

AF/MFの被写体検出設定

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

被写体検出

動画モード時に優先して検出する被写体を選べます（🕮116）。

被写体未検出時のAF駆動

フォーカスモードが［**フルタイムAF**］のときに、［**被写体検出**］で設定した被写体が検出できていない場合にピント合わせを行うかどうかを設定できます。

・［**ON**］に設定すると、被写体が検出できていない場合もピント合わせを行います。

・［**OFF**］に設定すると、被写体が検出できていない場合はピント合わせを行いません。

商品レビューモード

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

カメラに近いものにピントを合わせる商品レビューモードを設定します。詳しくは「動画撮影の機能」>「商品レビューモードについて」（🕮213）をご覧ください。

MF時の被写体検出範囲

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

マニュアルフォーカス時に被写体を検出する範囲を設定できます。詳しくは「フォーカス」>「優先してフォーカスを合わせる被写体を設定する」>「マニュアルフォーカス時に被写体を検出する」をご覧ください（🕮119）。

動画セルフタイマー

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時のセルフタイマーを設定します。詳しくは「動画撮影の機能」>「動画セルフタイマーについて」（🕮214）をご覧ください。

手ブレ補正

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時の手ブレ補正を設定できます。［**静止画の設定と同じ**］を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（🕮457）。

電子手ブレ補正

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。

電子手ブレ補正についてのご注意

次の場合、［**電子手ブレ補正**］は［**OFF**］に固定されます。

- フレームレートを120p、100pのいずれかに設定している場合
- 画像サイズ/フレームレートを3840×2160 60p/50pに設定している場合
- 画像サイズ/フレームレートを1920×1080スローに設定している場合
- 動画撮影メニュー［**ハイレゾズーム**］を［**ON**］に設定している場合

電子手ブレ補正使用時のご注意

カメラをしっかりと持ち、撮影画面の表示が安定してから動画撮影することをおすすめします。

マイク感度

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

内蔵マイクまたは外部マイクの感度の程度を設定します。

項目	内容
［**オート**］	カメラが自動的にマイク感度を調整します。
［**マニュアル**］	マイク感度を手動調整します。［**1**］～［**20**］の調整ができます。数字が大きいほど感度が高く、小さいほど低くなります。
［**録音しない**］	音声は記録しません。

・音声レベルインジケーターの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示しています。マイク感度を調節してください。

音声が記録されていない動画の表示について

マイク感度を［**録音しない**］にして撮影した動画の場合、🔇（音声なしマーク）が表示されます。

アッテネーター

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

［**ON**］を選ぶと、大音量の環境下で動画撮影をするときに、マイク感度を減衰させて音割れを抑えます。

録音帯域

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

内蔵マイクまたは外部マイクの周波数特性を設定します。

項目		内容
WIDE	［**広帯域**］	低音域から高音域まで録音します。楽器演奏や街のざわめきの録音など、幅広いシーンに適しています。 空調機器の音など、環境音が気になる場合は［**音声帯域**］に設定してください。
VOICE	［**音声帯域**］	主に人の声を録音したいときに適しています。 低音域や高音域の音が小さい場合は［**広帯域**］に設定してください。

風切り音低減

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

［**ON**］に設定すると、ローカットフィルター機能により、内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録できます。ただし、風切り音以外の音も聞こえにくくなることがあります。

別売のステレオマイクロホンをお使いの場合は、カメラ側で［**風切り音低減**］を［**ON**］に設定しても風切り音は低減されません。風切り音低減機能のあるステレオマイクロホンをお使いの場合は、ステレオマイクロホン側で設定してください。

マイク端子のプラグインパワー

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

［**OFF**］に設定すると、カメラから外部マイクに電源を供給しません。

- ご使用の外部マイクがプラグインパワー不要で、電力を供給することでノイズが録音される場合のみ［**OFF**］に設定することをおすすめします。
- お使いのマイクにプラグインパワーが不要かどうかは、外部マイクのメーカーにお問い合わせください。

ヘッドホン音量

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

ヘッドホン音量を、▲▼を押して調整できます。

タイムコード

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

フレームごとに「時・分・秒・フレーム」の情報（タイムコード）を記録した動画を撮影できます。タイムコードは、動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］を［**H.264 8-bit（MP4）**］に設定して撮影した動画には記録できません。

項目	内容
［**タイムコード記録**］	・［**する**］：動画にタイムコードを記録します。撮影画面にタイムコードが表示されます。 ・［**する（HDMI外部出力あり）**］：カメラと外部レコーダーをHDMIケーブルで接続している場合、外部レコーダーに記録される動画にタイムコードを記録します。 ・［**しない**］：タイムコードを記録しません。
［**カウントアップ方式**］	・［**レックラン**］：動画記録中のみタイムコードをカウントアップします。 ・［**フリーラン**］：常にタイムコードをカウントアップします。カメラの電源がOFFになっている場合もカウントアップしています。
［**タイムコードの起点**］	・［**リセット**］：現在表示されているタイムコードをリセットして「00:00:00.00」に戻します。 ・［**手動入力**］：時、分、秒、フレームをそれぞれ手動で設定できます。 ・［**現時刻**］：カメラに設定されている現在の時刻をそのままタイムコードとして使用します。あらかじめセットアップメニュー［**タイムゾーンと日時**］で日時が正確に設定されていることを確認してください。
［**ドロップフレーム**］	［**ON**］に設定すると、動画のフレームレートが30fpsまたは60fpsの場合に生じる実時間とタイムコードのずれを補正します。

HDMI接続時のご注意

HDMI接続でテレビなどに外部出力している場合に、［**タイムコード記録**］が［**する（HDMI外部出力あり）**］に設定されていると、画像が乱れることがあります。

外部記録制御（HDMI）

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

［**ON**］に設定すると、カメラ側の操作に連動してHDMIに対応した外部レコーダーの録画の開始および終了を行えます。詳しくは「HDMI機器（テレビや外部レコーダー）との接続」>「外部レコーダーと接続する」（🕮308）をご覧ください。

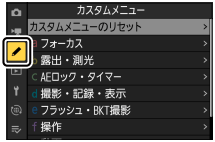
ハイレゾズーム

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

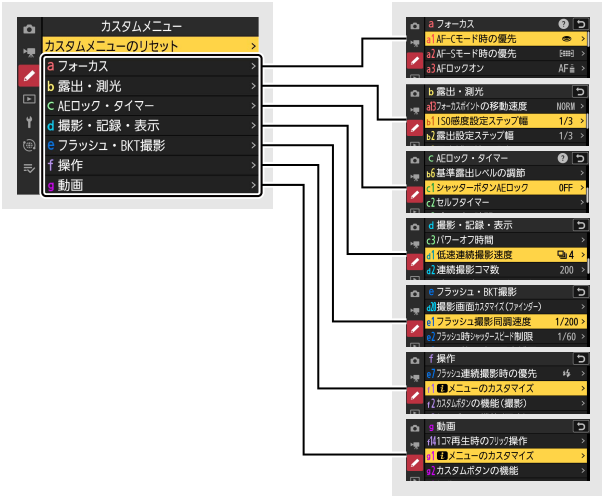
［**ON**］に設定すると、ズームレンズを使用しなくても画質の劣化なくズーミングを行えます。詳しくは「動画撮影の機能」>「ハイレゾズームについて」（🕮211）をご覧ください。

カスタムメニュー

メニュー画面で✎タブを選ぶと、カスタムメニューが表示されます。



カメラの各種設定を撮影者の好みに合わせて変更できます。カスタムメニュー画面は、2つの階層で構成されています。



カスタムメニューの項目は次の通りです。※1

メニュー項目		🕮
［カスタムメニューのリセット］		532
a［フォーカス］		
a1	［**AF-C**モード時の優先］	533
a2	［**AF-S**モード時の優先］	533
a3	［**AF**ロックオン］	534
a4	［**AF**点数］	534
a5	［縦/横位置フォーカスポイント切換］	535
a6	［半押し**AF**レンズ駆動］	536
a7	［フォーカスポイントの引き継ぎ］	537
a8	［**AF**エリアモードの限定］	538
a9	［フォーカスポイント循環選択］	538
a10	［フォーカスポイント表示］	538
a11	［内蔵**AF**補助光の照射設定］	540
a12	［フォーカスピーキング］	541
a13	［フォーカスポイントの移動速度］	542
a14	［**AF**設定時のフォーカスリング操作］※2	542
b［露出・測光］		
b1	［**ISO**感度設定ステップ幅］	542
b2	［露出設定ステップ幅］	543
b3	［露出補正簡易設定］	543
b4	［マルチパターン測光の顔検出］	543
b5	［中央部重点測光範囲］	544
b6	［基準露出レベルの調節］	544
c［**AE**ロック・タイマー］		
c1	［シャッターボタン**AE**ロック］	545
c2	［セルフタイマー］	545
c3	［パワーオフ時間］	546
d［撮影・記録・表示］		
d1	［低速連続撮影速度］	546
d2	［連続撮影コマ数］	546
d3	［プリキャプチャー記録設定］	547
d4	［連動レリーズモード設定］	548
d5	［露出ディレーモード］	549
d6	［シャッター方式］	549
d7	［**M**モード時のシャッタースピード延長］	550
d8	［撮像範囲設定の限定］	550

メニュー項目		🕮
d9	［連番モード］	550
d10	［ビューモード設定（静止画Lv）］	552
d11	［スターライトビュー（静止画Lv）］	553
d12	［赤色画面表示］	553
d13	［連続撮影中の表示］	554
d14	［撮影タイミング表示］	554
d15	［画面枠表示］	555
d16	［ガイドラインの種類］	555
d17	［水準器の種類］	555
d18	［半押し拡大解除（MF）］	557
d19	［撮影画面カスタマイズ（画像モニター）］	558
d20	［撮影画面カスタマイズ（ファインダー）］	559
e［フラッシュ・BKT撮影］		
e1	［フラッシュ撮影同調速度］	560
e2	［フラッシュ時シャッタースピード制限］	561
e3	［フラッシュ使用時の露出補正］	562
e4	［ϟ使用時の感度自動制御］	562
e5	［BKT変化要素（Mモード）］	562
e6	［BKTの順序］	563
e7	［フラッシュ連続撮影時の優先］	564
f［操作］		
f1	［iメニューのカスタマイズ］	564
f2	［カスタムボタンの機能（撮影）］	567
f3	［カスタムボタンの機能（再生）］	584
f4	［タッチFn］	590
f5	［操作のロック］	591
f6	［コマンドダイヤル回転方向の変更］	592
f7	［ボタンのホールド設定］	592
f8	［インジケーターの+/−方向］	593
f9	［フォーカス回転方向の変更］	593
f10	［フォーカスリングの角度設定］	594
f11	［コントロールリングの感度］	594
f12	［フォーカス/コントロールリング入れ換え］	595
f13	［パワーズームのボタン操作（PZレンズ）］	595

メニュー項目		🕮
f14	［1コマ再生時のフリック操作］	595
g［動画］		
g1	［iメニューのカスタマイズ］	597
g2	［カスタムボタンの機能］	599
g3	［操作のロック］	608
g4	［AFエリアモードの限定］	609
g5	［AF速度］	609
g6	［AF追従感度］	610
g7	［ハイレゾズーム速度］	610
g8	［パワーズームのボタン操作（PZレンズ）］	611
g9	［ISO感度ステップ幅拡張（Mモード）］	611
g10	［シャッタースピード延長（S/Mモード）］	611
g11	［ビューアシスト］	612
g12	［ゼブラ表示］	612
g13	［ゼブラ表示の検出モード制限］	614
g14	［ガイドラインの種類］	614
g15	［輝度情報の種類］	614
g16	［半押し拡大解除（MF）］	615
g17	［撮影画面カスタマイズ（画像モニター）］	615
g18	［撮影画面カスタマイズ（ファインダー）］	617
g19	［動画撮影中の赤枠表示］	617

※1　設定内容が初期設定と異なる場合、変更されたメニュー項目の左上にアスタリスク（✱）を表示します。

※2　フォーカスリングがあり、このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

カスタムメニューのリセット

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

カスタムメニューをリセットして初期設定に戻します。

a：フォーカス

a1：AF-Cモード時の優先

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

フォーカスモードが**AF-C**のときにシャッターボタンを押した場合の動作を設定できます。

項目		内容
	［**レリーズ**］	ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることができます。
	［**フォーカス/レリーズ**］	撮影優先でシャッターをきることができますが、低コントラスト・低輝度の被写体を連続撮影するとき、1コマ目は撮影タイミングよりピント合わせを優先します。2コマ目以降はピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることができます。連続撮影時に1コマ目のピント状態を優先したいときにお使いください。
	［**フォーカス**］	ピントが合うまで、シャッターボタンを全押ししてもシャッターをきることができません。

a2：AF-Sモード時の優先

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

フォーカスモードが**AF-S**のときにシャッターボタンを押した場合の動作を設定できます。

項目		内容
	［**レリーズ**］	ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることができます。
	［**フォーカス**］	ピントが合うまで、シャッターボタンを全押ししてもシャッターをきることができません。

a3：AFロックオン

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

フォーカスモードが**AF-C**の場合または**AF-A**のときに**AF-C**で撮影している場合に、カメラと被写体の間を障害物や別の被写体が横切った場合のピント動作を設定できます。

横切りへの反応

- ［**5**］（［**鈍感**］）に設定すると、元の被写体からピントが外れにくくなります。
- ［**1**］（［**敏感**］）に設定すると、横切った被写体にピントが合いやすくなります。
- AFエリアモードが［**3D-トラッキング**］の場合は、常に［**3**］を選んだときと同じ動作になります。
- AFエリアモードが［**オートエリアAF**］の場合は、［**2**］、［**1**］（［**敏感**］）に設定していても、［**3**］を選んだときと同じ動作になります。

a4：AF点数

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

AFエリアモードを［**オートエリアAF**］以外にしているときの、手動で選べるフォーカスポイントの数を設定できます。

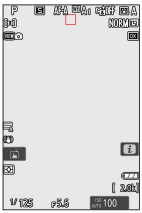
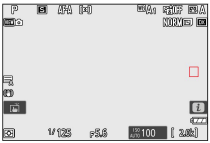
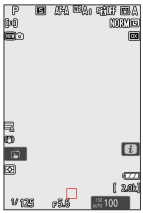
項目		内容
▦	［**全点**］	全てのフォーカスポイントを選べます。選べるフォーカスポイントの数はAFエリアモードにより異なります。
⁝⁝	［**スキップ**］	［**全点**］に比べて約1/4のフォーカスポイントから選べます。フォーカスポイントの位置を素早く動かせます。AFエリアモードが［**ピンポイントAF**］の場合は、選べるフォーカスポイントの数は変化しません。

a5：縦/横位置フォーカスポイント切換

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

カメラを正位置（横位置）にしたときと、時計回りの縦位置と反時計回りの縦位置にしたときで個別にフォーカスポイントを設定できます。

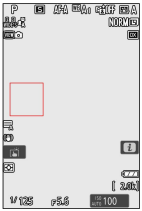
・［**しない**］に設定した場合、横位置と縦位置で同じフォーカスポイントを使います。

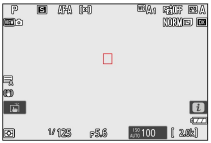




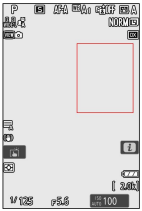
反時計回りに90°回転　　横位置　　時計回りに90°回転

・［**フォーカスポイント**］に設定すると、横位置と縦位置で個別にフォーカスポイントを設定できます。［**フォーカスポイントとAFエリアモード**］に

設定した場合、フォーカスポイントに加えてAFエリアモードも個別に設定できます。







反時計回りに90°回転　　横位置　　時計回りに90°回転

a6：半押しAFレンズ駆動

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

シャッターボタンを半押ししたときに、ピント合わせをするかどうかを設定できます。

項目	内容
［**する**］	シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行います。
［**しない**］	シャッターボタンを半押ししてもピント合わせを行いません。

・［**しない**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、［**非合焦時のレリーズ**］を設定できます。

項目	内容
［**許可**］	ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることができます。
［**禁止**］	・ピントが合うまで、シャッターボタンを全押ししてもシャッターをきることができません。 ・カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］でAF-ON機能を割り当てたボタンなどを使用してピントを合わせてからシャッターボタンを全押ししてください。

AFエリアモードを［ピンポイントAF］に設定している場合のご注意

AFエリアモードを［**ピンポイントAF**］に設定している場合、カスタムメニューa6［**半押しAFレンズ駆動**］で［**しない**］を選んで［**非合焦時のレリーズ**］を［**禁止**］に設定していても、ピント状態に関係なくシャッターがきれます。

a7：フォーカスポイントの引き継ぎ

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］で任意のボタンに［**AFエリアモード**］または［**AFエリアモード+AF-ON**］のどちらかを割り当て、ボタンを押してAFエリアモードを変更した場合に、フォーカスポイントの位置を変更後のAFエリアモードでも引き継ぐかを設定できます。フォーカスポイントの引き継ぎは、シャッターボタンを半押ししてピント合わせを行っている間にAFエリアモードを変更した場合に行われます。

項目	内容
［**オート**］	AFエリアモードを変更する前にカメラが自動で選んだフォーカスポイントを使用します。
［**しない**］	前回のピント合わせ時に自分で選んだフォーカスポイントを使用します。

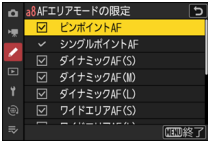
・元のAFエリアモードが［**オートエリアAF**］などのカメラが自動でフォーカスポイントを選ぶ設定で、ボタンを押している間のAFエリアモードが自分でフォーカスポイントを選ぶ設定の場合に有効です。

a8：AFエリアモードの限定

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］で［**フォーカスモード/AFエリアモード**］を割り当てたボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回した場合に選べるAFエリアモードを設定できます。

・項目を選んでⓄKボタンを押すかマルチセレクターの▶を押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。チェックボックスをオン（☑）にした項目のみ、サブコマンドダイヤルで選べるようになります。



・MENUボタンを押すと、設定を完了します。

a9：フォーカスポイント循環選択

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

フォーカスポイントをマルチセレクターで選ぶときに、上下左右端で循環するように設定できます。［**ON**］に設定すると、たとえば画面の右端のフォーカスポイントを選んでいるときにマルチセレクターの▶を押すと、フォーカスポイントが左端に移動します。

a10：フォーカスポイント表示

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

フォーカスポイントの表示に関する設定ができます。

マニュアルフォーカス時の表示

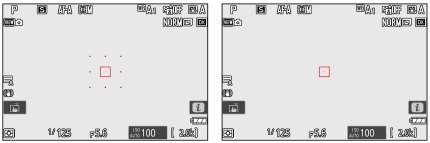
項目	内容
［**ON**］	マニュアルフォーカスでの撮影時にフォーカスポイントが常に点灯します。

項目	内容
[**OFF**]	フォーカスポイントを移動したときのみ一瞬点灯します。

ダイナミックAF時のアシスト表示

ダイナミックAFモード時に、自分で選んだフォーカスポイントの周辺のフォーカスポイントを表示するかどうかを設定できます。

項目	内容
[**ON**]	周辺のフォーカスポイントも同時に表示します。
[**OFF**]	自分で選んだフォーカスポイントのみ表示します。



[**ON**]（[**ダイナミックAF (M)**]の例）　　[**OFF**]

AF-Cモード時の合焦表示

フォーカスモードが**AF-C**の場合に、ピントが合ったときのフォーカスポイントの表示を設定できます。

項目	内容
[**ON**]	ピントが合っているとカメラが判断した場合に、フォーカスポイントが緑色で表示されます。
[**OFF**]	ピントの状態にかかわらず、フォーカスポイントは常に赤色または黄色で表示されます。

3D-トラッキング時の表示色

AFエリアモードが［**3D-トラッキング**］のときのフォーカスポイントの色を［**白**］または［**赤**］から選べます。

フォーカスポイントの太さ

フォーカスポイントの枠線の太さを［**1**］～［**3**］の3段階から選べます。

a11：内蔵AF補助光の照射設定

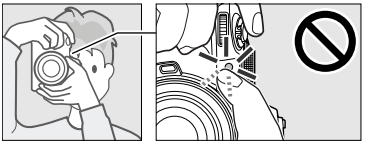
MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

シャッターボタンを半押ししたときに被写体が暗い場合、ピント合わせのためにAF補助光を自動的に照射するかどうかを設定できます。

項目	内容
［**ON**］	静止画モードでフォーカスモードが**AF-S**の場合または**AF-A**に設定していて**AF-S**で撮影している場合に、被写体が暗いとAF補助光を自動的に照射します。
［**OFF**］	AF補助光を照射しません。被写体が暗いときなどは、オートフォーカスでのピント合わせはできなくなる場合があります。

AF補助光について

- AF補助光が届く距離範囲の目安は約1～3mです。
- AF補助光使用時は、レンズフードを取り外してください。
- AF補助光が照射される場合、手などでAF補助光を遮らないようにご注意ください。



- 使用するレンズや撮影距離によっては、AF補助光がレンズでさえぎられることがあります。AF補助光撮影に制限のあるレンズについては、ニコンダウンロードセンターでご確認ください。
  https://downloadcenter.nikonimglib.com/

a12：フォーカスピーキング

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

マニュアルフォーカスで撮影するときに、ピントが合っている部分の輪郭を色付きで表示するかどうかを設定できます。色の変更も可能です。

フォーカスピーキング表示

［**ON**］に設定すると、フォーカスピーキングを有効にします。

フォーカスピーキングの感度

フォーカスピーキングの感度を［**3（高感度）**］、［**2（標準）**］、［**1（低感度）**］から選びます。感度を高くするとピントが合っていると判断される範囲が広くなり、感度を低くすると範囲が狭くなります。

フォーカスピーキングの表示色

フォーカスピーキングで強調する部分の色を変更できます。

a13：フォーカスポイントの移動速度

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

マルチセレクターを使用してフォーカスポイントを選ぶ場合のフォーカスポイント移動速度を［**遅い**］、［**標準**］、［**速い**］から選べます。

a14：AF設定時のフォーカスリング操作

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。レンズのフォーカスリングの操作を有効にするかどうかを設定できます。

項目	内容
［**ON**］	オートフォーカス時にレンズのフォーカスリングを回すとマニュアルフォーカスに切り替わります（M/A（マニュアル優先オートフォーカスモード））。オートフォーカス時にシャッターボタンを半押ししたままフォーカスリングを手で回転させると、マニュアルフォーカスでピントを調整できます。いったんシャッターボタンから指を放し、再度半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせます。
［**OFF**］	フォーカスリングを回しても、オートフォーカスからマニュアルフォーカスに切り替わりません。

b：露出・測光

b1：ISO感度設定ステップ幅

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

ISO感度のステップ幅を1/3段または1段に設定できます。ISO感度のステップ幅を変更したとき、設定されているISO感度が変更後のステップ幅に存在しない場合は、最も近い値に変更されます。

b2：露出設定ステップ幅

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

シャッタースピード、絞り値、オートブラケティング補正値、露出補正値、およびフラッシュ調光補正量のステップ幅を設定できます。

・［**設定1段（補正1/3段）**］に設定した場合、シャッタースピード、絞り値、オートブラケティング補正値のステップ幅は1段、露出補正値とフラッシュ調光補正値のステップ幅は1/3段になります。

b3：露出補正簡易設定

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

静止画モードで⊠ボタンを使用せずコマンドダイヤルだけで露出補正できるように設定を変更できます。

項目	内容
［**する（自動リセット）**］	コマンドダイヤルだけで露出補正値を設定できます。コマンドダイヤルだけを使って設定した露出補正値は、電源をOFFにするか、半押しタイマーがオフになると、リセットされます。
［**する**］	コマンドダイヤルだけで露出補正値を設定できます。電源をOFFにしても、半押しタイマーがオフになっても、設定した露出補正値はリセットされません。
［**しない**］	⊠ボタンを押しながら、コマンドダイヤルを回して露出補正を設定します。

・撮影モード**P**、**S**、**A**、および📷AUTOの場合に有効です。 撮影モード**M**または**SCN**の場合、露出補正簡易設定は機能しません。

・露出補正値を設定できるコマンドダイヤルは、撮影モードによって異なります。

b4：マルチパターン測光の顔検出

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

測光モードが［**マルチパターン測光**］の場合、カメラが人物の顔を認識したときに顔の明るさに合わせて露出を決定するかどうかを選べます。

項目	内容
[**ON**]	カメラが認識した顔を優先して測光を行います。
[**OFF**]	カメラが顔を認識した場合も顔を優先した測光を行いません。

b5：中央部重点測光範囲

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

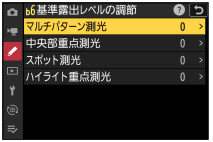
測光モードを［**中央部重点測光**］にすると、撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。

項目		内容
SMALL	［**小さめ**］	Φ6mm相当を測光します。
STNDRD	［**標準**］	Φ8mm相当を測光します。
AVG	［**画面全体の平均**］	画面全体を平均して測光します。

b6：基準露出レベルの調節

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

適正露出の基準を撮影者の好みに合わせ、測光モードごとに明るめ（＋側）または暗め（－側）に調節できます。1/6段ステップ幅で±1段の範囲で設定できます。初期設定は0です。



☑ 基準露出レベルの調節について

カスタムメニューb6［**基準露出レベルの調節**］を0以外に設定しても、☒マークは表示されませんのでご注意ください。設定した基準露出レベルは、カスタムメニューb6の画面でのみ確認できます。

c：AEロック・タイマー

c1：シャッターボタンAEロック

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

シャッターボタンを押してAEロックを行うかどうかを設定できます。

項目		内容
ON	［**する（半押し）**］	シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行います。
ON	［**する（連続撮影時）**］	シャッターボタンを半押ししたときにはAEロックを行わず、全押ししたときにAEロックを行います。
［**しない**］		シャッターボタンを押してもAEロックを行いません。

c2：セルフタイマー

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

セルフタイマー撮影時にシャッターボタンを全押ししてからシャッターがきれるまでの時間と、撮影するコマ数、連続撮影するときの撮影間隔を設定できます。

項目	内容
［**時間**］	シャッターがきれるまでの時間を選べます。
［**撮影コマ数**］	マルチセレクターの▲▼を押して、1コマ～9コマの間で設定できます。
［**連続撮影間隔**］	［**撮影コマ数**］を2コマ以上に設定した場合に連続撮影するときの撮影間隔を選べます。

c3：パワーオフ時間

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

カメラの各表示が自動的に消灯するまでの時間や撮影後の画像表示画面から撮影画面に切り替わるまでの時間を変更できます。

・表示時間を延長すると、バッテリーの消耗が早くなります。

項目	内容
[**画像の再生**]	再生画面を表示してから、画像モニターやファインダーが自動的に消灯するまでの時間を設定できます。
[**メニュー表示**]	メニュー画面を表示してから、画像モニターやファインダーが自動的に消灯するまでの時間を設定できます。
[**撮影直後の画像確認**]	再生メニュー［**撮影直後の画像確認**］を［**する**］または［**する（画像モニター表示のみ）**］に設定している場合、撮影後の画像表示画面から撮影画面に切り替わるまでの時間を設定できます。
[**半押しタイマー**]	撮影画面を表示してから画像モニターやファインダーの露出設定が自動的に消灯するまでの時間を設定できます。 ・画像モニターとファインダーが消灯する数秒前は、表示が暗くなります。 ・［**10秒**］に設定した場合でも**i**メニュー表示中は20秒に延長されます。

d：撮影・記録・表示

d1：低速連続撮影速度

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

低速連続撮影時の連続撮影速度を、1コマ/秒～5コマ/秒の間で設定できます。

d2：連続撮影コマ数

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

連続撮影を最大何コマまで継続できるか1コマ～200コマの間で設定します。

・撮影モードが**S**または**M**のときにシャッタースピードが1秒または1秒よりも遅い場合は、連続撮影のコマ数は制限されません。

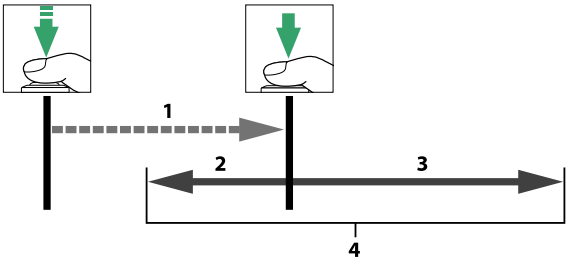
☑ 連続撮影コマ数について

カスタムメニューd2［**連続撮影コマ数**］で設定するコマ数は、連続撮影を継続できる最大のコマ数です。ただし、連続撮影速度を維持したまま連続撮影できるコマ数には、画質モードなどによって上限があります。このコマ数を超えると「**r000**」と表示され、連続撮影速度は低下します。

d3：プリキャプチャー記録設定

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

「ハイスピードフレームキャプチャー+」撮影時の、シャッターボタンを全押し後にさかのぼって記録する時間や全押し後に撮影する時間を設定できます。



1	プリキャプチャー待機時間（最大約90秒間）	3	全押し後の撮影時間（［**レリーズ後記録時間**］）
2	全押し後にさかのぼる時間（［**プリ記録時間**］）	4	1回の「ハイスピードフレームキャプチャー+」撮影

項目	内容
［**プリ記録時間**］	［**なし**］以外に設定し、シャッターボタンを半押しし続けた後に全押しすると、全押しからさかのぼって［**プリ記録時間**］で設定した時間分の静止画を記録します（プリキャプチャー機能）。 ・設定した時間よりもシャッターボタンを半押ししてから全押しするまでの時間が短い場合、半押し開始時までさかのぼります。
［**レリーズ後記録時間**］	シャッターボタンの全押し後に撮影する時間を［**1秒**］、［**2秒**］、［**3秒**］、［**最大**］から選びます。

［**プリ記録時間**］を［**なし**］以外に設定すると、撮影画面に🖳アイコンが表示されます。シャッターボタンを半押ししている間はアイコンに緑色の●が表示されます。

・シャッターボタンを半押ししてから約90秒経過しても全押ししなかった場合、●が❗に変更されてプリキャプチャー機能がキャンセルされます。❗が表示された後に全押ししても、さかのぼっての記録はされません。一度シャッターボタンを放し、再度半押ししてください。
・プリキャプチャー機能がキャンセルされる約30秒前から🖳アイコンが点滅します。

d4：連動レリーズモード設定

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

ネットワークメニュー［**カメラと接続**］で連動レリーズ機能を使用する場合に、マスターカメラのレリーズに連動してリモートカメラをレリーズさせるかどうかを設定できます。

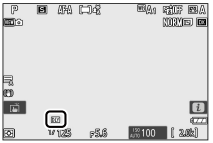
・ネットワークメニュー［**カメラと接続**］を使用した連動レリーズについては「他のカメラとの接続」>「連動レリーズモードを使用する」（🕮395）をご覧ください。

d5：露出ディレーモード

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

カメラブレを最小限に抑えたい場合に、シャッターボタンを押してから約0.2～3秒後にシャッターがきれるように変更できます。

・［**しない**］以外に設定すると、撮影画面にDLYアイコンが表示されます。



d6：シャッター方式

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

静止画を撮影するシャッター方式を設定できます。

項目		内容
	［**オート**］	シャッタースピードに応じて、カメラが自動でシャッター方式を切り換えます。シャッタースピードが低速になった場合、電子先幕シャッターに切り替わり、カメラブレを低減します。
	［**メカニカルシャッター**］	常にメカニカルシャッターで撮影します。
	［**電子先幕シャッター**］	常に電子先幕シャッターで撮影します。

☑ メカニカルシャッターについて

お使いのレンズによっては［**メカニカルシャッター**］を設定できません。

☑ 電子先幕シャッターについて

［**電子先幕シャッター**］に設定している場合は、シャッタースピードの上限が1/2000秒に制限されます。

d7：Mモード時のシャッタースピード延長

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

［**ON**］を選ぶと、撮影モード**M**で撮影するときのシャッタースピードを、最長900秒（15分）まで延長できます。天体撮影時など、長時間シャッターを開いて撮影したい場合に便利です。

- ［**ON**］に設定して30秒を超える長時間のシャッタースピードで撮影している場合、撮影画面に残りの露光時間が表示されます。
- シャッタースピードを1秒より低速に設定した場合、カメラに表示される露光時間と実際の露光時間が異なる場合があります。たとえばシャッタースピードを15秒に設定した場合は実際には16秒、30秒に設定した場合は実際には32秒でシャッターがきれます。60秒または60秒よりも遅く設定した場合は、設定したシャッタースピードの表示と同じ秒時でシャッターがきれます。

d8：撮像範囲設定の限定

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

iメニューやカスタムボタンに撮像範囲を割り当ててコマンドダイヤルを回して撮像範囲を設定する場合に、選べる撮像範囲を限定します。

- 項目を選んでⓄボタンを押すかマルチセレクターの▶を押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。チェックボックスをオン（☑）にした項目のみ、コマンドダイヤルで選べるようになります。

- MENUボタンを押すと、設定を完了します。

d9：連番モード

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

ファイル名に使われるファイル番号の連番について設定できます。

項目	内容
［**する**］	メモリーカードを交換したり、画像を記録するフォルダーを変更しても、連番でファイル番号を付けます。複数のカードを使って撮影してもファイル番号が重複しないため、撮影後の画像ファイルを管理しやすくなります。
［**しない**］	メモリーカードや画像を記録するフォルダーを変更するたびに、ファイル番号が「0001」に戻ります。画像を記録するフォルダー内にすでに画像ファイルがある場合は、次の番号からファイル番号が付きます。 連番モードを［**する**］から［**しない**］に変更しても、カメラはファイル番号を記憶しています。次に［**する**］に切り換えたときは、以前記憶した番号からの連番でファイル名が付きます。
［**リセット**］	［**する**］に設定したときのファイル番号をリセットします。リセットした後に撮影を行うと、現在選択中のフォルダーに画像ファイルがない場合は0001から連番で画像が記録されます。すでにファイルがある場合には、そのファイル番号の次の番号からファイル番号が付きます。

ファイル番号について

- ファイル番号が9999に達したときに撮影を行うと、自動的に新規フォルダーが作成され、ファイル番号が0001番に戻ります。
- フォルダー番号が999になるとカメラが自動的にフォルダーを作成できないため、次のときに撮影ができなくなります。
  - フォルダー内のファイル数が5000個に達したとき（動画モード時、最長記録時間を記録するのに必要なファイルによってフォルダー内のファイル数が5000個を超えるとカメラが判断した場合、動画の撮影はできなくなります）
  - ファイル番号が9999に達したとき（動画モード時、最長記録時間を記録するのに必要なファイルによってフォルダー内のファイル番号が9999を超えるとカメラが判断した場合、動画の撮影はできなくなります）

  この場合は、カスタムメニューd9［**連番モード**］を［**リセット**］した後、メモリーカードを初期化するか、交換してください。

フォルダーの自動作成について

- 記録フォルダー内に5000個のファイルが記録された後またはファイル番号が9999となった後に撮影すると、フォルダーを自動的に作成して、記録フォルダーとしてそのフォルダーを選びます。
- 自動で作成されるフォルダーの番号は、使用中のフォルダー番号+1になります。ただし、既存フォルダーの番号と重複する場合、重複しない数字の中で最も若い数字になります。

d10：ビューモード設定（静止画Lv）

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

撮影の設定（色味や明るさ）を、ファインダーや画像モニターの撮影画面（ライブビュー）に反映させるかどうかを設定できます。動画モードの場合、設定にかかわらず常に撮影の設定を反映します。

項目		内容
VIEW	［**撮影設定を優先**］	ホワイトバランス、ピクチャーコントロール、露出補正などの色味や明るさの設定を変更すると、撮影画面の表示に反映されます。［**撮影設定を優先**］を選んで⊛を押すと、［**フラッシュ使用時を含む**］または［**フラッシュ使用時を含まない**］が選べます。 ・［**フラッシュ使用時を含む**］：内蔵フラッシュを使用したりカメラにスピードライトを接続したりして、発光が可能な状態でも色味や明るさの設定を撮影画面の表示に反映します。 - 主要被写体の背景部分の明るさを調整する場合に適しています。 - 主要被写体が撮影画面に暗く表示されることがあります。 - 静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**感度自動制御**］が［**ON**］で、スピードライトの発光モードがTTLの場合、撮影画面の明るさと撮影した画像の明るさが異なることがあります。 ・［**フラッシュ使用時を含まない**］：内蔵フラッシュを使用したりカメラにスピードライトを接続したりして、発光が可能な状態になると、撮影画面の明るさは［**見やすさを重視**］選択時と同様になります（一部補正値を除く）。色味は設定を反映します。 ・撮影画面にVIEWが表示されます。

項目		内容
VIEW	[見やすさを重視]	ホワイトバランスやピクチャーコントロール、露出補正などの設定を変更しても、撮影画面の表示には反映されません。[**見やすさを重視**] を選んでを押すと、[**オート**] または [**カスタム**] が選べます。 ・[**オート**]：撮影画面が見やすい色味や明るさで表示され、構図の確認などがしやすくなります。 ・[**カスタム**]：を押すと、[**ホワイトバランス**]、[**ピクチャーコントロール**]、[**暗部補正**] の各項目を設定できます。 - [**ホワイトバランス**]：[**撮影設定を反映**]、[**オート**]、[**色温度設定**] を選べます。[**色温度設定**] を選ぶと、撮影画面用の色温度を設定できます。 - [**ピクチャーコントロール**]：[**撮影設定を反映**] または [**見やすさを重視**] を選べます。 - [**暗部補正**]：被写体の暗い部分を明るく補正する度合いを [**しない**]、[**+1**]、[**+2**]、[**+3**] から選べます。値が大きいほど効果が強くなります。 ・撮影画面にVIEWが表示されます。

d11：スターライトビュー（静止画Lv）

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

[**ON**] に設定すると、暗い場所で撮影する場合でも撮影画面が明るく見やすくなります（スターライトビュー）。スターライトビューにした場合、撮影画面がコマ落ちしたような表示になることがあります。

d12：赤色画面表示

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

メニュー画面や撮影画面、再生画面を明るさを抑えた赤色で表示します。星景撮影など暗所撮影時に、暗さに慣れた目でもメニューや被写体が見やすくなります。

項目	内容
［**表示モードの選択**］	表示モードを選べます。 ・［**表示モード1**］：メニュー画面や撮影画面、再生画面に表示されるもの全てを赤色表示します。 ・［**表示モード2**］：メニュー画面を赤色表示します。撮影画面や再生画面では、被写体や撮影した画像を除いたアイコンや撮影情報が赤色表示されます。 ・［**しない**］：赤色表示しません。
［**赤色画面表示の明るさ**］	マルチセレクターの🔼🔽を押して調整できます。+にすると明るく、−にすると暗くなります。

d13：連続撮影中の表示

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

［**OFF**］に設定すると、連続撮影中は撮影画面に何も表示されなくなります。

d14：撮影タイミング表示

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

「ハイスピードフレームキャプチャー+」撮影時にシャッターがきれたときの撮影画面の表示方法を変更できます。

項目	内容
［**Type A**］	シャッターがきれたときに画面を暗くします。流し撮りをする場合に被写体が追いやすい表示方法です。
［**Type B**］	シャッターがきれたときに画面内の上下左右に線を表示します。
［**Type C**］	シャッターがきれたときに画面内の左右に線を表示します。
［**しない**］	シャッターがきれたときに撮影タイミング表示を行いません。

・低速シャッタースピードで撮影した場合、設定にかかわらず撮影タイミング表示を行いません。

d15：画面枠表示

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

［**OFF**］に設定すると、ファインダーおよび画像モニターの撮影画面の周囲に表示されている白い枠が非表示になります。

d16：ガイドラインの種類

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

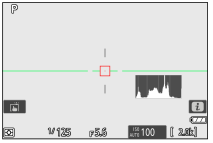
撮影時に表示する構図用ガイドラインの種類を選べます。選んだガイドラインは、カスタムメニューd19［**撮影画面カスタマイズ（画像モニター）**］（🕮558）およびd20［**撮影画面カスタマイズ（ファインダー）**］（🕮559）で▦をオン（☑）にした場合の画面表示に表示されます。

d17：水準器の種類

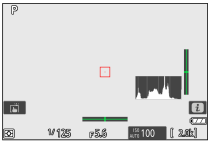
MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

撮影時に表示する水準器の種類を選べます。選んだ水準器は、カスタムメニューd19［**撮影画面カスタマイズ（画像モニター）**］（🕮558）およびd20［**撮影画面カスタマイズ（ファインダー）**］（🕮559）で⊟をオン（☑）にした場合の画面表示に表示されます。

- ［**Type A**］：撮影画像全体にローリング方向とピッチング方向の水準器を表示します。

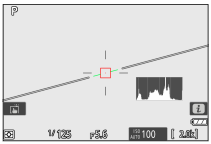
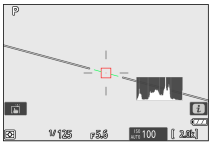
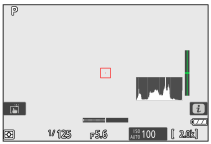
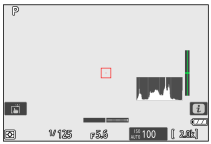


・［**Type B**］：画面下部にローリング方向の水準器を、画面右部にピッチング方向の水準器を表示します。

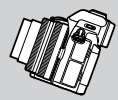
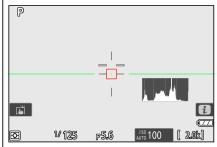
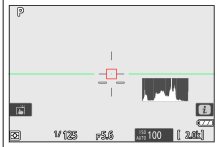
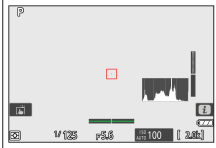
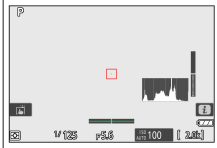


※　カメラを正位置（傾きのない状態）にすると、基準線が緑色に変わります。

ローリング方向

項目	カメラが時計回りに傾いている場合	カメラが反時計回りに傾いている場合
［**Type A**］		
［**Type B**］		

ピッチング方向

項目	カメラが前に傾いている場合	カメラが後ろに傾いている場合
		
［Type A］		
［Type B］		

水準器の精度について

カメラを前または後ろに大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなりますのでご注意ください。測定できない状態までカメラを傾けると、水準器の基準線および目盛が消灯します。

d18：半押し拡大解除（MF）

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

［**ON**］に設定すると、フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定して拡大表示している場合に、シャッターボタンを半押しして拡大表示を解除できます。

d19：撮影画面カスタマイズ（画像モニター）

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

撮影時に**DISP**ボタンを押して画像モニターに表示する画面を設定できます。

・［**画面2**］～［**画面5**］を選んでⓄKボタンを押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。撮影時に**DISP**ボタンを押すと撮影画面が切り替わり、チェックボックスをオン（☑）にした画面のみ表示されます。［**画面1**］はオフ（☐）にすることはできません。

・［**画面1**］～［**画面4**］を選んでマルチセレクターのⓇを押すと、その画面に表示する項目を設定できます。表示したい項目を選んでⓄKボタンを押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。

項目		内容
SIMPLE	［**基本撮影情報**］	撮影モードやシャッタースピード、絞り値などの設定を表示します。
DETAIL	［**詳細撮影情報**］	フォーカスモードやAFエリアモード、ホワイトバランスなどの設定を表示します。
	［**タッチ**］	タッチAFや**i**メニューなど、画像モニターをタッチして設定を変更できる項目を表示します。
	［**水準器**］	水準器を表示します。水準器の種類はカスタムメニューd17［**水準器の種類**］で設定できます。

項目		内容
	［**ヒストグラム**］	RGBヒストグラムを表示します。
	［**ガイドライン**］	構図用ガイドラインを表示します。ガイドラインの種類はカスタムメニューd16［**ガイドラインの種類**］で設定できます。
	［**センターマーカー**］	撮影画面の中央を示す十字線を表示します。
	［**中央部重点測光範囲**］	静止画撮影メニュー［**測光モード**］を［**中央部重点測光**］に設定した場合に、撮影画面の中央にΦ6mmまたはΦ8mm相当の円（測光範囲）を表示します。 ・円の大きさはカスタムメニューb5［**中央部重点測光範囲**］の設定により異なります。b5［**中央部重点測光範囲**］を［**画面全体の平均**］に設定した場合、円は表示されません。

・［**画面5**］はインフォ画面固定で、表示項目の設定は行えません。
・**MENU**ボタンを押すと、設定を完了します。

d20：撮影画面カスタマイズ（ファインダー）

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

撮影時に**DISP**ボタンを押してファインダーに表示する画面を設定できます。

・［**画面2**］～［**画面4**］を選んでⓀボタンを押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。撮影時に**DISP**ボタンを押すと撮影画面が切り替わり、チェックボックスをオン（☑）にした画面のみ表示されます。［**画面1**］はオフ（☐）にすることはできません。
・［**画面1**］～［**画面4**］を選んでマルチセレクターのⒹを押すと、その画面に表示する項目を設定できます。表示したい項目を選んでⓀボタンを押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。項目は［**タッチ**］を除きカスタムメニューd19［**撮影画面カスタマイズ（画像モニター）**］（🕮558）と共通です。
・**MENU**ボタンを押すと、設定を完了します。

e：フラッシュ・BKT撮影

e1：フラッシュ撮影同調速度

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

フラッシュ撮影時の同調速度を設定できます。

項目	内容
［**1/250秒（オートFP）**］	フラッシュ撮影時の同調する最高速度を1/250秒または1/200秒に設定します。別売のオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライト使用時は1/250秒または1/200秒より速いシャッタースピードになると自動的にFP発光に切り替わります。 ・撮影モードが**P**または**A**の場合、実際に制御されるシャッタースピードが1/250秒または1/200秒よりわずかでも高速側であれば、FP発光に切り替わります。オートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを装着した場合は、高速側のシャッタースピードが1/4000秒（カスタムメニューd6［**シャッター方式**］が［**電子先幕シャッター**］の場合は1/2000秒）まで制御されます。 ・撮影モードが**S**または**M**でオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを装着した場合は、高速側のシャッタースピードを1/4000秒（カスタムメニューd6［**シャッター方式**］が［**電子先幕シャッター**］の場合は1/2000秒）まで設定できます。 ・内蔵フラッシュ使用時は、フラッシュ撮影時の同調する最高速度が1/250秒または1/200秒に設定され、FP発光に切り替わりません。 ・［**1/250秒（オートFP）**］に設定し、シャッタースピードが1/200秒より速く1/250秒以下で発光した場合は、ガイドナンバーが減少します。
［**1/200秒（オートFP）**］	
［**1/200秒**］ ［**1/160秒**］ ［**1/125秒**］ ［**1/100秒**］	フラッシュ撮影時の同調する最高速度を、1/200～1/60秒の範囲で設定できます。 ・撮影モードが**S**または**M**でシャッタースピードを同調速度より高速側に設定している場合、シャッタースピードが同調速度と同じ設定になります。

項目	内容
［**1/80秒**］	フラッシュ撮影時の同調する最高速度を、1/200～1/60秒の範囲で設定できます。 ・撮影モードが**S**または**M**でシャッタースピードを同調速度より高速側に設定している場合、シャッタースピードが同調速度と同じ設定になります。
［**1/60秒**］	

FP発光についてのご注意

［**1/250秒（オートFP）**］または［**1/200秒（オートFP）**］に設定してFP発光した場合、シャッタースピードによっては撮影した画像に横縞が発生することがあります。その場合、次の設定を行うことで横縞の発生が低減することがあります。

・ シャッタースピードを遅くする
・ スピードライトの発光量を変更する

ヒント：FP発光について

別売のオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを装着した場合、フラッシュ撮影時のシャッタースピードを1/4000秒（カスタムメニューd6［**シャッター方式**］が［**電子先幕シャッター**］の場合は1/2000秒）まで設定できます。［**1/250秒（オートFP）**］または［**1/200秒（オートFP）**］に設定すると、シャッタースピードがフラッシュ撮影同調速度よりも高速側になった場合、自動的にFP発光に切り替わります。日中でも、レンズの絞りを開いて背景をぼかした撮影ができます。

e2：フラッシュ時シャッタースピード制限

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

撮影モードが**P**または**A**の場合のフラッシュ撮影時のシャッタースピードの低速側の制限を設定できます。

スローシンクロモード、後幕シンクロモード、赤目軽減スローシンクロモード時や撮影モードが**S**、**M**の場合には、カスタムメニューe2［**フラッシュ時シャッタースピード制限**］の設定にかかわらず、シャッタースピードの低速側の制限は30秒になります。

e3：フラッシュ使用時の露出補正

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

フラッシュ撮影時に露出補正を設定した場合のフラッシュの調光を設定できます。

項目		内容
±▣	［**全体を補正**］	露出と調光量を同時に補正します。全体の露出が変化します。
▣	［**背景のみ補正**］	背景の露出だけを補正します。

e4：ϟ使用時の感度自動制御

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

フラッシュ撮影時に感度自動制御を行う場合の、露出を合わせる対象を設定できます。

項目		内容
	［**被写体と背景**］	主な被写体以外の背景も適切な露出となるように、感度自動制御を行います。
	［**被写体のみ**］	主な被写体が適切な露出となるように、感度自動制御を行います。

e5：BKT変化要素（M モード）

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

撮影モード**M**で静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**感度自動制御**］が［**OFF**］の場合にオートブラケティングを行うときに変化する内容は、静止画撮影メニュー［**オートブラケティング**］>［**オートブラケティングのセット**］と、e5［**BKT変化要素（Mモード）**］との組み合わせによって次のようになります。

カスタムメニューe5［BKT変化要素（Mモード）］		静止画撮影メニュー［オートブラケティング］>［オートブラケティングのセット］	
		AE・フラッシュブラケティング	AEブラケティング
ϟ+◐	［フラッシュ・シャッタースピード］	シャッタースピードとフラッシュの調光レベル	シャッタースピード
ϟ◐◎	［フラッシュ・シャッタースピード・絞り値］	シャッタースピード、絞り値、フラッシュの調光レベル	シャッタースピードと絞り値
ϟ+◎	［フラッシュ・絞り値］	絞り値とフラッシュの調光レベル	絞り値
ISO	［フラッシュ・ISO感度］	ISO感度とフラッシュの調光レベル	ISO感度
ϟ	［フラッシュ］	フラッシュの調光レベル	—

- 静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**感度自動制御**］が［**ON**］の場合、e5［**BKT変化要素（Mモード）**］の設定にかかわらず［**フラッシュ・ISO感度**］と同様の変化をします。

フラッシュ調光レベルについて

フラッシュブラケティング中は、フラッシュ調光レベルは、i-TTL調光時または絞り連動外部自動調光時（◎**A**）のみ変化します。

e6：BKTの順序

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

オートブラケティングの補正順序を変更できます。

項目		内容
N	［**[0]** → **[−]** → **[+]**］	「補正なし」→「−側に補正」→「+側に補正」の順になります。
−0+	［**[−]** → **[0]** → **[+]**］	「−側に補正」→「補正なし」→「+側に補正」の順になります。

・静止画撮影メニュー［**オートブラケティング**］の［**オートブラケティングのセット**］が［**ADLブラケティング**］の場合、カスタムメニューe6［**BKTの順序**］の設定を変更しても補正順序は変わりません。

e7：フラッシュ連続撮影時の優先

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

別売スピードライトをカメラに装着し、高速連続撮影または低速連続撮影で連続撮影をする場合の動作を設定できます。

・内蔵フラッシュを使用して撮影する場合は連続撮影できません。［**フラッシュ連続撮影時の優先**］は無効になります。

項目		内容
🖳	［**速度優先**］	1コマ目撮影時にモニター発光を行い、2コマ目以降は調光量を固定します。［**調光精度優先**］に設定したときよりも、連続撮影速度の低下を抑えます。 ・連続撮影中は撮影画面にFVロックマーク（**FL**）が表示されます。
ϟ	［**調光精度優先**］	2コマ目以降も毎回モニター発光を行い、全てのコマで調光量を計算します。撮影状況によっては連続撮影速度が低下することがあります。

ヒント：高速連続撮影（拡張）撮影時の設定について

レリーズモードを［**高速連続撮影（拡張）**］に設定している場合は、カスタムメニューe7［**フラッシュ連続撮影時の優先**］の設定にかかわらず速度優先で動作します。

f：操作

f1：iメニューのカスタマイズ

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

静止画モードで**i**ボタンを押して表示される**i**メニューの項目を設定できます。

・機能を設定したい**i**メニューの場所を選んでⓄⓀボタンを押し、割り当てたい機能を選んでください。

・ iメニューに割り当てられる機能は次の通りです。

項目		🕮
DX	［撮像範囲設定］	436
TONE	［階調モード］	437
QUAL	［画質モード］	107
SIZE	［画像サイズ］	108
±	［露出補正］	148
ISO	［ISO感度設定］	156
WB	［ホワイトバランス］	159
	［ピクチャーコントロール］	441
HLG	［ピクチャーコントロール（HLG）］	442
RGB	［色空間］	442
	［アクティブD-ライティング］	443
NR	［長秒時ノイズ低減］	444
ISO NR	［高感度ノイズ低減］	445
	［美肌効果］	447
	［人物印象調整］	448
	［測光モード］	452
	［フラッシュモード］	415
±	［フラッシュ調光補正］	419

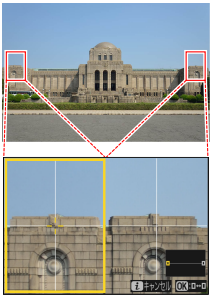
項目		🕮
AF/MF	［フォーカスモード］	110
/	［AFエリアモード/被写体検出］	112、116
	［手ブレ補正］	457
BKT	［オートブラケティング］	458
	［多重露出］	472
HDR	［HDR合成］	480
	［インターバルタイマー撮影］	484
	［タイムラプス動画］	496
FOCUS	［フォーカスシフト撮影］	505
AF LOCK-ON	［AFロックオン］	534
	［サイレントモード］	648
	［プリキャプチャー記録設定］	547
/	［レリーズモード］	150
	［シャッター方式］	549
≡	［カスタムボタンの機能（撮影）］	567
DLY	［露出ディレーモード］	549

項目		🕮
VIEW	［ビューモード設定（静止画Lv）］	552
	［2点拡大］	566
PEAK	［フォーカスピーキング］	541
☼	［モニター/ファインダーの明るさ］	629、631

項目		🕮
RED	［赤色画面表示］	553
✈	［機内モード］	663
	［リモコン接続（ML-L7）］	670
	［Bluetoothリモコン接続］	671

2点拡大

iメニューに［**2点拡大**］を割り当て、［**2点拡大**］を実行すると、左右に並んだ拡大表示画面が表示されます（2点拡大表示）。それぞれの画面には、右下のナビゲーションウィンドウの2カ所の□部分が拡大されて表示されます。



- 同じ水平面上の異なる2カ所を同時に拡大表示するため、建築物などの水平合わせの確認がしやすくなります。
- 🔍ボタンを押すごとに拡大率が上がり、🔍（**?**）ボタンを押すごとに拡大率が下がります。
- マルチセレクターの◀▶を押すと、左右それぞれの拡大表示画面を横方向にスクロールできます。左右の画面を切り換える場合はⓄKボタンを押します。

・マルチセレクターの▲▼を押すと、左右の拡大表示画面が縦方向に同時にスクロールします。
・シャッターボタンを半押しすると、選択されている画面の中心点にピントが合います。
・**i**ボタンを押すと、2点拡大表示を終了します。

f2：カスタムボタンの機能（撮影）

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

静止画モードでカメラのボタンやコマンドダイヤル、レンズのリングを操作したときの機能を設定できます。

・機能を割り当てられるボタンやコマンドダイヤル、レンズのリングは次の通りです。割り当てを設定したい項目を選んで、⊛ボタンを押してください。

項目	
Fn1	［**Fn1ボタン**］
Fn2	［**Fn2ボタン**］
DISP	［**DISPボタン**］
AE/AF	［**AE/AFロックボタン**］
▶	［**再生ボタン**］
OK	［**OKボタン**］
▣	［**レリーズモードボタン**］
●	［**動画撮影ボタン**］
ISO	［**ISO感度ボタン**］

項目	
	[**露出補正ボタン**]
	[**ピクチャーコントロールボタン**]
	[**コマンドダイヤル**]
Lfn	[**レンズのFnボタン**]
Lfn2	[**レンズのFn2ボタン**]
	[**レンズのFnリング（左回し）**]
	[**レンズのFnリング（右回し）**]
MSET	[**レンズのメモリーセットボタン**]
	[**レンズのコントロールリング**]

- 割り当てるボタンを選ぶ画面で設定をリセットできます。リセットしたいボタンを選んで🗑ボタンを押し、確認画面で［**はい**］を選んでⓄKボタンを押すと、選んだボタンの設定をリセットして初期設定に戻します。任意のボタンを選んで約3秒間🗑ボタンを長押しし、確認画面で［**はい**］を選んでⓄKボタンを押すと、全てのボタンの設定をリセットして初期設定に戻します。
- 割り当てられる機能は次の通りです。ボタンやレンズのリングによって割り当てられる機能は異なります。

割り当てられる機能		内容
RESET	［**フォーカスポイント中央リセット**］	ボタンを押すと、フォーカスポイントが中央に戻ります。

割り当てられる機能		内容
⊻FOCUS	［**フォーカス位置の登録**］	ボタンを長押しすると、ピント位置（フォーカス位置）を登録できます。 - ［**フォーカス位置の呼び出し**］と組み合わせて使用することで、メモリーリコールの機能が使用できます。 - ［**フォーカス位置の呼び出し**］を割り当てた全てのボタンに同じピント位置を登録する［**一括登録**］と、それぞれのボタンに異なるピント位置を登録する［**個別登録**］があります。 - 詳しい使い方は「フォーカス位置の登録/フォーカス位置の呼び出しについて」（🕮579）をご覧ください。
↗FOCUS	［**フォーカス位置の呼び出し**］	ボタンを押すと［**フォーカス位置の登録**］で登録したピント位置（フォーカス位置）にセットされます。 - 詳しい使い方は「フォーカス位置の登録/フォーカス位置の呼び出しについて」（🕮579）をご覧ください。
⊹◉⊹	［**瞳の切り換え**］	カメラが人物や動物の瞳を検出している場合にボタンを押すと、フォーカスポイントを合わせる瞳の左右を切り換えます。
[⊹]	［**AFエリアモード循環選択**］	ボタンを押すたびにAFエリアモードが切り替わります。 - ［**AFエリアモード循環選択**］を選んで▶を押すと、切り換え可能なAFエリアモードを選べます。 - 項目を選んでⓄKボタンを押すかマルチセレクターの▶を押すと、オン☑とオフ☐を切り換えられます。チェックボックスをオン☑にした項目のみ、ボタンを押したときに切り換えられます。
[↕]	［**AFエリアモード**］	ボタンを押している間、設定したAFエリアモードに変更します。ボタンを放すと、元のAFエリアモードに戻ります。 - ［**AFエリアモード**］を選んで▶を押すと、AFエリアモードを選べます。

割り当てられる機能		内容
[AF ON]	[**AFエリアモード+AF-ON**]	ボタンを押している間、設定したAFエリアモードに変更され、ピント合わせも行います。ボタンを放すと、元のAFエリアモードに戻ります。 - [**AFエリアモード+AF-ON**] を選んで▶を押すと、AFエリアモードを選べます。
AF-ON	[**AF-ON**]	ボタンを押すと、カメラが自動的に被写体にピントを合わせます。
AF	[**AF-L**]	ボタンを押している間、フォーカスロックを行います。
AE	[**AE-L（ホールド）**]	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。シャッターをきってもAEロックは解除されません。ただし、もう一度ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。
AWB	[**AWB-L（ホールド）**]	ホワイトバランスの設定が [**オート**] または [**自然光オート**] の場合、ボタンを1回押すとホワイトバランスが固定されます（オートホワイトバランスロック）。シャッターをきってもオートホワイトバランスロックは解除されません。ただし、もう一度ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになるとオートホワイトバランスロックを解除します。
AE AWB	[**AE-L/AWB-L（ホールド）**]	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。また、ホワイトバランスの設定が [**オート**] または [**自然光オート**] の場合は、オートホワイトバランスロックされます。シャッターをきってもAEロックおよびオートホワイトバランスロックは解除されません。ただし、もう一度ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになるとどちらも解除されます。
AE	[**AE-L（レリーズでリセット）**]	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。もう一度ボタンを押すか、シャッターをきるか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。

割り当てられる機能		内容
AE	［**AE-L**］	ボタンを押している間、AEロックを行います。
AE	［**AE-L/AF-L**］	ボタンを押している間、AEロックとフォーカスロックを同時に行います。
FL	［**FV-L**］	内蔵フラッシュまたは別売のスピードライト使用時は、FVロックを行い、もう一度ボタンを押すと解除します。
⊛/ϟ	［**ϟ発光禁止/許可切換**］	フラッシュモードが発光禁止以外の場合、ボタンを押している間、フラッシュは発光禁止になります。フラッシュモードが発光禁止の場合は、ボタンを押している間、先幕シンクロモードで撮影できます。
	［**ピクチャーコントロール**］	ボタンを押すと、**i**メニュー［**ピクチャーコントロール**］または［**ピクチャーコントロール（HLG）**］を選んだときと同じ設定画面を表示します。静止画撮影メニュー［**階調モード**］が［**SDR**］の場合は［**ピクチャーコントロール**］の設定画面を、［**HLG**］の場合は［**ピクチャーコントロール（HLG）**］の設定画面を表示します。
FLICKER	［**静止画フリッカー低減**］	ボタンを1回押すと、静止画撮影メニュー［**静止画フリッカー低減**］が［**ON**］になります。もう一度ボタンを押すと、［**OFF**］になります。
	［**プレビュー**］	ボタンを押している間、現在設定している静止画の色味や露出、被写界深度を撮影画面の表示に反映します。
	［**マルチパターン測光簡易設定**］	ボタンを押している間、測光モードをマルチパターン測光に変更します。ボタンを放すと、元の測光モードに戻ります。
	［**中央部重点測光簡易設定**］	ボタンを押している間、測光モードを中央部重点測光に変更します。ボタンを放すと、元の測光モードに戻ります。

割り当てられる機能		内容
⊡	[**スポット測光簡易設定**]	ボタンを押している間、測光モードをスポット測光に変更します。ボタンを放すと、元の測光モードに戻ります。
⊡*	[**ハイライト重点測光簡易設定**]	ボタンを押している間、測光モードをハイライト重点測光に変更します。ボタンを放すと、元の測光モードに戻ります。
FLICKER	[**高周波フリッカー低減**]	ボタンを1回押すとシャッタースピードを細かいステップ幅で設定できます。もう一度ボタンを押すと、元のステップ幅でシャッタースピードを設定します。
BKT	[**BKT自動連写**]	- 静止画撮影メニュー［**オートブラケティング**］の［**オートブラケティングのセット**］が［**WBブラケティング**］以外の場合でレリーズモードが連続撮影のときは、ボタンを押しながらシャッターボタンを全押ししている間、1回分のブラケティング設定コマ数を撮影し終えた後も、引き続きオートブラケティング撮影をします。また、レリーズモードが1コマ撮影のときは、ボタンを押しながらシャッターボタンを全押しし続けると、1回分のブラケティング設定コマ数を連続撮影します。 -［**オートブラケティングのセット**］が［**WBブラケティング**］の場合は、ボタンを押しながらシャッターボタンを全押ししている間連続撮影して、各コマに対してWBブラケティングを行います。

割り当てられる機能		内容
	［連動レリーズ切り換え］	ネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**連動レリーズ**］で連動レリーズモードで撮影する場合の、連動レリーズの機能を切り換えます。カスタムメニューd4［**連動レリーズモード設定**］の設定により、選択できる内容が異なります。 ［**連動レリーズモード設定**］が［**連動する**］の場合 - ［**マスターカメラのみレリーズ**］（ ）：ボタンを押している間、マスターカメラのみ撮影を行い、リモートカメラでは撮影を行いません。 - ［**リモートカメラのみレリーズ**］（ ）：ボタンを押している間、リモートカメラでのみ撮影を行います。 ［**連動レリーズモード設定**］が［**連動しない**］の場合 - ［**マスターとリモートが連動**］（ ）：ボタンを押している間、マスターカメラとリモートカメラが連動して撮影を行います。 - ［**リモートカメラのみレリーズ**］（ ）：ボタンを押している間、リモートカメラでのみ撮影を行います。
	［リモートカメラの優先接続］	連動レリーズ機能使用時に、他のカメラがマスターカメラとしてリモートカメラの制御を行っている場合にボタンを押すと、離れた場所からマスターカメラの制御を引き継げます。 - ネットワークメニュー［**カメラと接続**］で、同一グループ内に複数のカメラをマスターカメラとして登録している場合に有効です。 - リモートカメラとして登録されているカメラをマスターカメラに切り換えることはできません。
+RAW	［プラスRAW記録］	- 画質モードがJPEG形式またはHEIF形式に設定されている場合、ボタンを押すと撮影画面の画質モードに「RAW」が表示され、押してから1回の撮影のみRAW画像がJPEG画像またはHEIF画像と同時に記録されます。撮影後シャッターボタンから指を放すか、もう一度ボタンを押すと［**プラスRAW記録**］を解除します。 - RAW画像は、静止画撮影メニュー［**RAW記録**］の設定で記録されます。

割り当てられる機能		内容
Sl	[**サイレントモード**]	ボタンを1回押すとサイレントモードになります。もう一度ボタンを押すと、サイレントモードを解除します。
DISP	[**ライブビュー情報表示の切り換え**]	ボタンを押すたびに、撮影画面の表示が切り替わります。表示する画面はカスタムメニューd19［**撮影画面カスタマイズ（画像モニター）**］およびd20［**撮影画面カスタマイズ（ファインダー）**］で設定できます。
OFF	[**ライブビュー情報表示の消灯**]	ボタンを1回押すと撮影画面のアイコンや撮影情報を非表示にします。もう一度ボタンを押すと、アイコンや撮影情報が表示されます。
	[**ガイドライン表示**]	ボタンを1回押すと、撮影画面に構図用ガイドラインを表示します。もう一度ボタンを押すと、ガイドラインの表示を終了します。表示するガイドラインの種類はカスタムメニューd16［**ガイドラインの種類**］で選べます。
	[**拡大画面との切り換え**]	ボタンを1回押すと、フォーカスポイントを中心にして、設定した拡大率で拡大表示します。もう一度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。 - ［**拡大画面との切り換え**］を選んでマルチセレクターの◑を押すと、拡大率を選べます。
	[**水準器表示**]	ボタンを1回押すと、撮影画面に水準器を表示します。もう一度ボタンを押すと、水準器の表示を終了します。表示する水準器の種類はカスタムメニューd17［**水準器の種類**］で選べます。
STAR	[**スターライトビュー（静止画Lv）**]	ボタンを1回押すと撮影画面をスターライトビューで表示します。もう一度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。
VIEW	[**ビューモード設定（静止画Lv）**]	ボタンを押すたびにカスタムメニューd10［**ビューモード設定（静止画Lv）**］の［**撮影設定を優先**］と［**見やすさを重視**］が切り替わります。

割り当てられる機能		内容
PEAK	［**フォーカスピーキング表示**］	フォーカスモードが**MF**の場合、ボタンを1回押すとフォーカスピーキングを表示します。もう一度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。
Fn	［**タッチFnの操作**］	ボタンを押すたびに、タッチFnの有効と無効を切り換えます。
	［**マイメニュー**］	ボタンを押すと、マイメニューを表示します。
	［**マイメニューのトップ項目へジャンプ**］	マイメニューの最上位に登録してある項目へジャンプします。よく使うメニュー項目をマイメニューの最上位に登録して、この機能を使うと便利です。
	［**再生**］	ボタンを押すと再生画面を表示します。
	［**フィルター再生**］	ボタンを押すと再生メニュー［**フィルター再生の条件設定**］で設定した条件に合った画像を再生します。
	［**フィルター再生（条件設定）**］	ボタンを押すと、再生メニュー［**フィルター再生の条件設定**］と同様の設定画面を表示します。
PZ	［**パワーズーム（望遠側）**］	パワーズームレンズを装着している場合、ボタンを押している間は望遠側にズーミングします。［**Fn2ボタン**］が［**パワーズーム（広角側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
PZ	［**パワーズーム（広角側）**］	パワーズームレンズを装着している場合、ボタンを押している間は広角側にズーミングします。［**Fn1ボタン**］が［**パワーズーム（望遠側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
	［**撮像範囲選択**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、撮像範囲の設定を変更できます。
QUAL	［**画質モード/画像サイズ**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと画質モード、サブコマンドダイヤルを回すと画像サイズの設定を変更できます。

割り当てられる機能		内容
WB	［**ホワイトバランス**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、ホワイトバランスを設定できます。ホワイトバランスの設定によっては、サブコマンドダイヤルを回して種類を変更できます。
	［**アクティブD-ライティング設定**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、アクティブD-ライティングの設定を変更できます。
	［**美肌効果**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、美肌効果の設定を変更できます。
	［**人物印象調整**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、調整モードを切り換えられます。
	［**測光モード**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、測光モードの設定を変更できます。
±/⚡	［**フラッシュモード/調光補正**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとフラッシュモード、サブコマンドダイヤルを回すとフラッシュ調光補正値の設定を変更できます。
	［**レリーズモード**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとレリーズモードを設定できます。レリーズモードの設定によっては、サブコマンドダイヤルを回して種類を変更できます。
AF/[+]	［**フォーカスモード/AFエリアモード**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとフォーカスモード、サブコマンドダイヤルを回すとAFエリアモードの設定を変更できます。
BKT	［**オートブラケティング**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと撮影コマ数、サブコマンドダイヤルを回すと補正ステップまたはアクティブD-ライティングの度合いを変更できます。
	［**多重露出**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと多重露出モード、サブコマンドダイヤルを回すと、多重露出のコマ数の設定を変更できます。

割り当てられる機能		内容
HDR	［**HDR合成**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとHDRモード、サブコマンドダイヤルを回すとHDR強度の設定を変更できます。
DLY	［**露出ディレーモード**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、露出ディレーモードの設定を変更できます。
LOCK	［**操作のロック**］	- 撮影モードが**S**または**M**のとき、ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを固定します。撮影モードが**A**または**M**のとき、ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、絞り値を固定します。 - ボタンを押しながらマルチセレクターでフォーカスポイントの位置を固定します。
⏱⊛	［**シャッター・絞り値1段選択**］	カスタムメニューb2［**露出設定ステップ幅**］の設定にかかわらず、シャッタースピードまたは絞り値を1段ステップで設定できます。 - 撮影モードが**S**または**M**のとき、ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを1段ステップで設定します。 - 撮影モードが**A**または**M**のとき、ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、絞り値を1段ステップで設定します。
Non-CPU	［**手動設定済みレンズの選択**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、現在使用中のレンズの情報を、セットアップメニュー［**レンズ情報手動設定**］で設定したレンズNo.のものに切り換えます。
M/A	［**フォーカス（M/A）**］	オートフォーカス時にレンズのコントロールリングを回すとマニュアルフォーカスに切り替わります（M/A（マニュアル優先オートフォーカスモード））。オートフォーカス時にシャッターボタンを半押ししたままコントロールリングを手で回転させると、マニュアルフォーカスでピントを調整できます。いったんシャッターボタンから指を放し、再度半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせます。
⊛	［**絞り**］	レンズのコントロールリングを回すと、絞り値の設定を変更します。

割り当てられる機能		内容
±	［**露出補正**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すか、レンズのコントロールリングを回すと露出補正の設定を変更します。
ISO	［**ISO感度**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すか、レンズのコントロールリングを回すとISO感度の設定を変更します。
◎	［**絞り（開放絞り側）**］	レンズのFnリングを左に回すと、開放絞り側に絞りが動きます。［**レンズのFnリング（右回し）**］が［**絞り（最小絞り側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
◎	［**絞り（最小絞り側）**］	レンズのFnリングを右に回すと、最小絞り側に絞りが動きます。［**レンズのFnリング（左回し）**］が［**絞り（開放絞り側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
±	［**露出補正（＋側）**］	レンズのFnリングを右に回すと、+側に露出補正を行います。［**レンズのFnリング（左回し）**］が［**露出補正（－側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
±	［**露出補正（－側）**］	レンズのFnリングを左に回すと、－側に露出補正を行います。［**レンズのFnリング（右回し）**］が［**露出補正（＋側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
ISO＋	［**ISO感度（高感度側）**］	レンズのFnリングを右に回すと、高感度側にISO感度が動きます。［**レンズのFnリング（左回し）**］が［**ISO感度（低感度側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
ISO－	［**ISO感度（低感度側）**］	レンズのFnリングを左に回すと、低感度側にISO感度が動きます。［**レンズのFnリング（右回し）**］が［**ISO感度（高感度側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
［**設定しない**］		ボタンは機能しません。

コマンドダイヤルの設定について

コマンドダイヤルに設定できる項目は次の通りです。項目を選んで⊛を押すと、設定が変更できます。

割り当てられる機能	内容
［**露出設定**］	各撮影モードでのメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの機能を入れ換えられます。◀▶を押して撮影モードを選び、▲▼を押すと機能が入れ替わります。
［**フォーカスモード/AFエリアモード設定**］	カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］で［**フォーカスモード/AFエリアモード**］を割り当てたボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときに変更される項目を入れ換えられます。
［**拡大表示中のサブコマンドダイヤル**］	拡大表示中にサブコマンドダイヤルを回したときの機能を設定できます。 ・［**露出設定**］を選ぶと、それぞれの撮影モードに設定したサブコマンドダイヤルの機能を変更します。 ・［**拡大/縮小**］を選ぶと、拡大表示の倍率を変更できます。

フォーカス位置の登録/フォーカス位置の呼び出しについて

［**フォーカス位置の登録**］を割り当てたカスタムボタンを長押しすると、ピント位置（フォーカス位置）を登録できます。［**フォーカス位置の呼び出し**］を割り当てたカスタムボタンを押すと、登録したピント位置を素早く呼び出すメモリーリコールの機能が使用できます。決まったピント位置で頻繁に撮影する場合に便利です。

- ［**フォーカス位置の呼び出し**］は複数のボタンに割り当てられます。［**フォーカス位置の登録**］で［**一括登録**］を選んでいる場合、割り当てたどのボタンを押しても同じピント位置にセットされます。［**フォーカス位置の登録**］で［**個別登録**］を選んでいる場合、割り当てたボタンごとに異なるピント位置をセットできます。
- ピント位置の登録は、フォーカスモードの設定にかかわらず可能です。

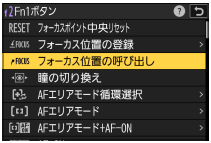
・カメラからレンズを取り外したり、レンズを交換した場合は登録したピント位置がリセットされます。

メモリーリコール機能についてのご注意

・インフォ画面の表示中は、ピント位置を登録することはできません。
・環境温度の変化によっては、登録時と呼び出し時のピント位置が変わることがあります。
・ピント位置を登録した後で、ズーム操作で焦点距離を変えると、呼び出し時にピント位置が変わりやすくなります。

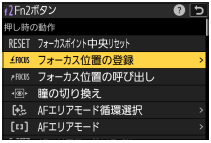
■ピント位置を一括登録する

1 任意のボタンに［フォーカス位置の呼び出し］を割り当てる



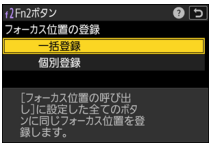
呼び出しを行いたい全てのボタンに割り当てを行います。

2 任意のボタンに割り当てる機能として［フォーカス位置の登録］を選び、Ⓙを押す

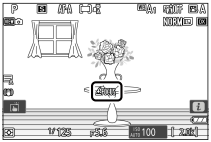


ピント位置登録の方法を選べます。

3 **［一括登録］を選んでⓀボタンを押す**

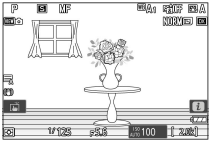


4 **撮影画面で被写体にピントを合わせ、［フォーカス位置の登録］を割り当てたボタンを長押しする**



ピント位置が正しく登録されると、撮影画面に⊻FOCUSアイコンが表示されます。

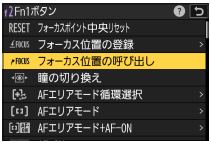
5 **手順1で［フォーカス位置の呼び出し］を割り当てたボタンを押す**



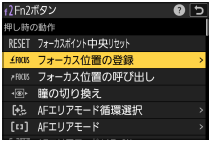
- 登録したピント位置にセットされます。
- 複数のボタンに［**フォーカス位置の呼び出し**］を割り当てた場合、どのボタンを押しても同じピント位置にセットされます。
- ［**フォーカス位置の呼び出し**］を割り当てたボタンを押している間は、フォーカスモードが**MF**に変更され、シャッターボタンを半押ししてもピント位置は移動しません。

ボタン別にピント位置を登録する

1 複数のボタンに［フォーカス位置の呼び出し］を割り当てる

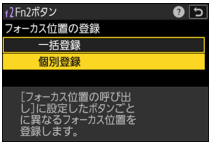


2 任意のボタンに割り当てる機能として［フォーカス位置の登録］を選び、Ⓙを押す

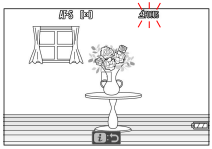


ピント位置登録の方法を選べます。

3 ［個別登録］を選んでⓀボタンを押す



4 **撮影画面で被写体にピントを合わせ、［フォーカス位置の登録］を割り当てたボタンを長押しする**

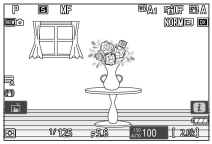


撮影画面で**FOCUS**アイコンが点滅します。

5 **手順4のピント位置を呼び出すボタンを押す**

- 手順1で［**フォーカス位置の呼び出し**］を割り当てたボタンのうち、手順4のピント位置を呼び出すボタンを押します。
- ピント位置が正しく登録されると、撮影画面にメッセージが表示されます。
- 手順4～5を繰り返し、［**フォーカス位置の呼び出し**］を割り当てたボタン全てにピント位置を登録します。

6 **セットしたいピント位置に応じて割り当てたボタンを押す**



- 押したボタンに登録したピント位置にセットされます。
- ［**フォーカス位置の呼び出し**］を割り当てたボタンを押している間は、フォーカスモードが**MF**に変更され、シャッターボタンを半押ししてもピント位置は移動しません。

f3：カスタムボタンの機能（再生）

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

再生時にカメラのボタンやコマンドダイヤルを操作したときの機能を設定できます。

・機能を割り当てられるボタンやコマンドダイヤルは次の通りです。割り当てを設定したい項目を選んで、⊛ボタンを押してください。

	項目
Fn1	［**Fn1ボタン**］
Fn2	［**Fn2ボタン**］
DISP	［**DISPボタン**］
AE/AF-L	［**AE/AFロックボタン**］
	［**レリーズモードボタン**］
OK	［**OKボタン**］
	［**再生ボタン**］
	［**動画撮影ボタン**］
ISO	［**ISO感度ボタン**］
	［**露出補正ボタン**］
	［**ピクチャーコントロールボタン**］
	［**サブコマンドダイヤル**］
	［**メインコマンドダイヤル**］
Lens Fn2	［**レンズのFn2ボタン**］

項目	
Fn	［**レンズのFnボタン**］

- 割り当てるボタンを選ぶ画面で設定をリセットできます。リセットしたいボタンを選んで🗑ボタンを押し、確認画面で［**はい**］を選んでOKボタンを押すと、選んだボタンの設定をリセットして初期設定に戻します。任意のボタンを選んで約3秒間🗑ボタンを長押しし、確認画面で［**はい**］を選んでOKボタンを押すと、全てのボタンの設定をリセットして初期設定に戻します。
- 各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。ボタンによって割り当てられる機能は異なります。

割り当てられる機能		内容
O-n	［**プロテクト**］	ボタンを押すと、表示されている画像をプロテクトします。
🗑	［**削除**］	ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度ボタンを押すと、表示中の画像を削除して、再生画面に戻ります。
🔍	［**拡大画面との切り換え**］	ボタンを1回押すと、撮影時のフォーカスポイントを中心にして、設定した拡大率で拡大表示します。もう一度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。 - ［**拡大画面との切り換え**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、拡大率を選べます。 - サムネイル表示時も拡大表示できます。
▶▼	［**フィルター再生**］	ボタンを押すと再生メニュー［**フィルター再生の条件設定**］で設定した条件に合った画像を再生します。
▶▼✓	［**フィルター再生（条件設定）**］	ボタンを押すと、再生メニュー［**フィルター再生の条件設定**］と同様の設定画面を表示します。

割り当てられる機能		内容
	[**グループ内の画像送り**]	連続撮影グループ画像を1コマ表示している場合にボタンを押すと、連続撮影グループ内の画像のみを画像送りします（🕮621）。ボタンを押し続けると、マルチセレクターで画像送りする場合よりも素早く画像を切り換えます。ボタンを放すか、連続グループ最後の画像が表示されると、画像送りを停止します。
	[**音声メモ**]	ボタンを押すと、音声メモ機能を使用できます。
PC	[**送信指定（PC）**]	カメラがパソコンまたはFTPサーバーに接続しているときにボタンを押すと、表示している画像をパソコンまたはFTPサーバーに送信指定します。 [**送信指定（PC）**]または[**送信指定（FTP）**]を選んで▶を押すと、送信指定時のオプションを選べます。それぞれの項目は、OKボタンを押すとオン☑とオフ☐を切り換えられます。 - [**優先送信**]：オン☑にすると、優先送信画像として送信指定します。 - [**プロテクト**]：オン☑にすると、画像送信時に画像をプロテクトします。 - [**レーティング**]：オン☑にすると、画像送信時に画像にレーティングを付加します。マルチセレクターの▶を押すと、付加するレーティングを設定できます。
FTP	[**送信指定（FTP）**]	
	[**1コマとサムネイルの切り換え**]	ボタンを押すたびに、1コマ表示、サムネイル表示（4コマ、9コマ、72コマ）を切り換えます。
	[**ヒストグラム表示**]	ボタンを押している間、ヒストグラムを表示します。サムネイル表示時もヒストグラム表示できます。
	[**フォルダー指定**]	ボタンを押すと、[**フォルダー指定**]画面が表示され、画像を再生するフォルダーを指定できます。
DISP	[**情報表示の切り換え**]	ボタンを押すたびに、1コマ表示モードの再生画面の表示が切り替わります。表示する画面は再生メニュー[**再生画面設定**]で設定できます。
	[**撮影に戻る**]	ボタンを押すと、再生を終了して撮影画面に戻ります。

割り当てられる機能		内容
★	[**レーティング**]	画像再生時にボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して、レーティング（重要度）を画像に設定できます。 - [**レーティング**] を選んでを押すと、レーティングの設定画面が表示されます。[**設定しない**] 以外を選ぶと、画像再生時にボタンを押すだけで選んだレーティングを画像に設定できます。もう一度ボタンを押すと、レーティングを星なしに変更します。
RAW	[**RAW現像（表示画像）**]	ボタンを押すと、**i**メニュー［**画像編集**］で各項目を選んだときと同じ編集画面を表示します。
RAW	[**RAW現像（複数画像）**]	
	[**トリミング**]	
	[**リサイズ（表示画像）**]	
	[**リサイズ（複数画像）**]	
	[**D-ライティング**]	
	[**傾き補正**]	
	[**ゆがみ補正**]	
	[**アオリ効果**]	
	[**モノトーン**]	
ADD	[**加算合成**]	
LIGHT	[**比較明合成**]	
DARK	[**比較暗合成**]	
MOT	[**比較動合成**]	
[**設定しない**]		ボタンは機能しません。

メインコマンドダイヤル/サブコマンドダイヤルの設定について

コマンドダイヤルに設定できる項目は次の通りです。項目を選んでを押すと、設定が変更できます。

■■画像送り

1コマ表示時にコマンドダイヤルを回したときのコマ送りの方法を設定できます。

項目		内容
［**1コマ**］		1コマずつコマ送りします。
［**10コマ**］		10コマずつコマ送りします。
［**50コマ**］		50コマずつコマ送りします。
★	［**レーティング**］	レーティングが設定された画像だけをコマ送りして表示します。
	［**プロテクト**］	プロテクト（保護）した撮影画像だけをコマ送りして表示します。
	［**静止画のみ**］	静止画だけをコマ送りして表示します。
	［**動画のみ**］	動画だけをコマ送りして表示します。
	［**グループの先頭**］	連続撮影した画像がある場合、連続撮影の最初のコマだけを表示します。連続撮影ではない画像の場合、1コマずつコマ送りされます。
	［**フォルダー**］	再生フォルダーを切り換えます。
	［**ページ**］	サムネイル表示している場合、次のページに切り換えます。
［**FTP送信済み**］		FTPに送信した画像だけをコマ送りして表示します。
［**PC送信済み**］		PCに送信した画像だけをコマ送りして表示します。

■■ 動画再生

動画再生中にコマンドダイヤルを回したときの操作方法を設定できます。

項目	内容
[**1フレーム**]	1フレームずつコマ戻し/コマ送りします。
[**5フレーム**]	5フレームずつコマ戻し/コマ送りします。
[**10フレーム**]	10フレームずつコマ戻し/コマ送りします。
[**2秒**]	2秒前または後に移動します。
[**5秒**]	5秒前または後に移動します。
[**10秒**]	10秒前または後に移動します。
[**先頭/最終フレーム**]	先頭フレームまたは最終フレームに移動します。
[**再生の速度**]	動画の再生速度を切り換えます。速度は等倍、1/2倍スロー、1/4倍スローに切り換えます。 変更した再生速度は、再生中の動画のみに適用されます。

■■ 画像送り時の拡大位置

再生画像の拡大表示中にメインコマンドダイヤルおよびサブコマンドダイヤルを回して画像送りをする場合に、表示範囲の位置を変更するかどうか設定できます。

項目	内容
[**位置を継続**]	現在表示している表示範囲の位置で次の静止画を表示します。
[**ピント位置優先**]	再生する静止画の撮影時のフォーカスポイントを中心にして拡大表示します。
[**ピント位置優先（顔検出）**]	再生する静止画の撮影時のフォーカスポイントを中心にして拡大表示します。ただし、再生する静止画に人物の顔が検出された場合、顔を中心にして拡大表示します。

■■ 拡大再生中の顔送り

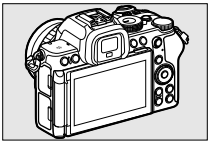
［**ON**］に設定すると、再生画像の拡大表示中に複数の人物の顔が検出された場合に、サブコマンドダイヤルを回して画像内の人物の顔を切り換えることができます。

f4：タッチFn

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

ファインダーを見ながら撮影している場合に、画像モニターをタッチしてカメラの設定が変更できます。

・画像モニターを外側にしてカメラ本体に収納した状態のみ有効です。



タッチFnの操作

［**ON**］に設定すると、タッチFnの機能を使用できます。

タッチFnの機能

タッチFnの機能として割り当てられる機能は次の通りです。

割り当てられる機能	内容
［**フォーカスポイント移動**］	画像モニターのタッチFn有効領域をスライドすると、フォーカスポイントを移動できます。 フォーカスポイントを移動しているときに素早く2回タッチした場合の動作を設定できます。［**フォーカスポイント中央リセット**］に設定すると、中央部のフォーカスポイントが選ばれます。［**フォーカスポイント絶対位置指定**］に設定すると、タッチした位置のフォーカスポイントが選ばれます。

割り当てられる機能	内容
［**瞳の切り換え**］	カメラが人物や動物の瞳を検出している場合に画像モニターのタッチFn有効領域をタッチすると、フォーカスポイントを合わせる瞳の左右を切り換えます。
［**ガイドライン表示**］	画像モニターのタッチFn有効領域を一度タッチすると、ファインダーに構図用ガイドラインを表示します。もう一度タッチすると、ガイドラインの表示を終了します。表示するガイドラインの種類はカスタムメニューd16またはg14［**ガイドラインの種類**］で選べます。
［**拡大画面との切り換え**］	画像モニターのタッチFn有効領域を一度タッチすると、フォーカスポイントを中心にして、設定した拡大率で拡大表示します。もう一度タッチすると、元の表示に戻ります。 ・［**拡大画面との切り換え**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、拡大率を選べます。
［**水準器表示**］	画像モニターのタッチFn有効領域を一度タッチすると、ファインダーに水準器を表示します。もう一度タッチすると、水準器の表示を終了します。表示する水準器の種類はカスタムメニューd17［**水準器の種類**］で選べます。

タッチFnの有効領域

タッチFn機能を使用する場合に有効となる画像モニターの領域を設定します。カメラを横位置に構えた場合と縦位置に構えた場合の有効領域をそれぞれ設定できます。

f5：操作のロック

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

露出の設定またはフォーカスポイントをロックできます。

項目	内容
［シャッタースピードのロック］	［**ON**］に設定すると、撮影モード**S**または**M**ではシャッタースピードを現在の設定でロックします。 ・シャッタースピードをロックすると撮影画面に**L**アイコンが表示されます。
［絞り値のロック］	［**ON**］に設定すると、撮影モード**A**または**M**では絞り値を現在の設定でロックします。 ・絞り値をロックすると撮影画面に**L**アイコンが表示されます。
［フォーカスポイントのロック］	［**ON**］に設定すると、現在の位置でフォーカスポイントがロックします。 ・AFエリアモードが［**オートエリアAF**］の場合はロックできません。 ・AFエリアモードが［**3D-トラッキング**］の場合、シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きに合わせてフォーカスポイントが移動します。

f6：コマンドダイヤル回転方向の変更

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

露出補正の設定時またはシャッタースピード/絞り値の設定時に、メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルを操作するときの回転方向を逆方向に変更できます。

- ［**露出補正の設定時**］または［**シャッタースピード/絞り値 設定時**］を選んでマルチセレクターの⊛を押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。
- MENUボタンを押すと、設定が完了します。

f7：ボタンのホールド設定

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

［**ON**］に設定すると、ボタンを押しながらコマンドダイヤルを操作するときに、指を放してもコマンドダイヤル単独で設定できる状態が維持できます。もう一度ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しするか、半押しタイマーがオフになると、解除されます。

・［**ボタンのホールド設定**］の機能が有効になるボタンは、⊠ボタン、**ISO**ボタン、🖳（⏲）ボタン、**Fn1**ボタン、**Fn2**ボタンです。
・f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］またはg2［**カスタムボタンの機能**］で一部の機能を割り当てたボタンも、［**ボタンのホールド設定**］の対象になります。

f8：インジケーターの＋ / －方向

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

インフォ画面など、横方向で表示される一部のインジケーターの＋と－方向を入れ換えることができます。

項目		内容
+0−		インジケーターの＋側を左に、－側を右に表示します。
−0+		インジケーターの－側を左に、＋側を右に表示します。

f9：フォーカス回転方向の変更

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

Zマウントレンズを装着している場合、［**ON**］に設定すると、マニュアルフォーカス時にフォーカスリングまたはコントロールリングでピントを合わせるときの回転方向を逆方向に変更できます。

・次の場合は対応していません。
- 一部のマニュアルフォーカス専用Zマウントレンズをお使いの場合
- マウントアダプターFTZ II/FTZを装着してFマウントレンズをお使いの場合

f10：フォーカスリングの角度設定

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

Zマウントレンズを装着してマニュアルフォーカスでピント合わせをする場合に、至近側から無限遠側までピント位置を移動するために必要な、フォーカスリングまたはコントロールリングを回す角度を設定できます。

項目	内容
［**ノンリニア**］	ピント位置の移動量は、フォーカスリングまたはコントロールリングを回す角度にかかわらず、リングを速く回すと大きく、ゆっくり回すと小さくなります。
［**角度90度**］～［**角度720度**］	至近側から無限遠側までピント位置を移動するために必要な、レンズのフォーカスリングまたはコントロールリングを回す角度を設定できます。例えば［**角度90度**］に設定している場合、リングを90度回転させるとピント位置が至近側から無限遠側まで移動します。設定する値が大きいほど細かくピント位置を調整できます。
［**最大**］	至近側から無限遠側までピント位置を移動するためにはレンズに設定されている最大量の角度を回す必要があります。

・［**フォーカスリングの角度設定**］に対応していないレンズを装着している場合、［**ノンリニア**］に固定されます。

f11：コントロールリングの感度

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］またはg2［**カスタムボタンの機能**］でレンズのコントロールリングに［**絞り**］、［**パワー絞り**］、［**露出補正**］、［**ISO感度**］、［**ハイレゾズーム**］を割り当てている場合の感度を設定できます。

f12：フォーカス/コントロールリング入れ換え

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

［**ON**］に設定すると、カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］またはg2［**カスタムボタンの機能**］でレンズのコントロールリングに割り当てた機能をフォーカスリングで使用できます。

- ［**ON**］に設定した場合、コントロールリングの機能は［**フォーカス（M/A）**］に固定されます。
- このメニューに対応したレンズを装着したときのみ設定できます。

f13：パワーズームのボタン操作（PZレンズ）

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

パワーズームレンズを装着して静止画を撮影する場合に、🔍ボタンおよび🔍（**?**）ボタンを押して電動でズーミング（パワーズーム）するかどうかを設定できます。

項目	内容
［🔍/🔍ボタンの使用］	［**ON**］に設定すると、🔍ボタンおよび🔍（**?**）ボタンを押してズーミングを行えます。
［**パワーズーム速度**］	ボタン操作でパワーズームするときの、ズーミングの速度を設定できます。

f14：1コマ再生時のフリック操作

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

1コマ表示時に画像モニターを上下または左右にフリックした場合の動作を割り当てられます。

上にフリック/下にフリック

画像モニターを上下にフリックした場合の動作を割り当てられます。

項目		内容
★	[**レーティング**]	フリックすると画像にレーティングを設定できます。★の数はあらかじめマルチセレクターの▶を押して設定します。
PC	[**送信指定（PC）**]	パソコンへ送信する画像に優先送信設定マークを付加します。
FTP	[**送信指定（FTP）**]	FTPサーバーへ送信する画像に優先送信設定マークを付加します。
	[**プロテクト**]	画像をプロテクト（保護）します。
	[**音声メモ**]	フリックすると音声メモの録音を開始します。すでに音声メモが録音されている画像の場合、再生が開始されます。音声メモの録音または再生を終了するには、Ⓚボタンを押します。
[**設定しない**]		画像モニターを上下にフリックしても機能しません。

- [**レーティング**]、[**送信指定（PC）**]、[**送信指定（FTP）**]、[**プロテクト**] を割り当てた場合、上または下にフリックすると画像にアイコンが表示されます（🕮223）。もう一度同じ方向にフリックすると設定した内容をキャンセルして元に戻します。

1コマ送りの操作方向

次の画像を表示するフリック操作を割り当てられます。

項目		内容
◀	[**左←右**]	画像モニターの右側から左側にフリックすると、次の画像が表示されます。
▶	[**左→右**]	画像モニターの左側から右側にフリックすると、次の画像が表示されます。

g：動画

g1：iメニューのカスタマイズ

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

動画モードでiボタンを押して表示されるiメニューの項目を設定できます。

- 機能を設定したいiメニューの場所を選んでOKボタンを押し、割り当てたい機能を選んでください。
- iメニューに割り当てられる機能は次の通りです。

	項目	🕮
QUAL	［画像サイズ/フレームレート/画質］	201
±0	［露出補正］	148
ISO	［ISO感度設定］	156
WB	［ホワイトバランス］	159
	［ピクチャーコントロール］	517
HLG	［HLG画質調整］	518
	［アクティブD-ライティング］	519
	［美肌効果］	520
	［人物印象調整］	520
	［測光モード］	522
AF/MF	［フォーカスモード］	110
	［AFエリアモード/被写体検出］	112、116

	項目	🕮
	［商品レビューモード］	213
	［手ブレ補正］	523
	［電子手ブレ補正］	524
	［マイク感度］	524
ATT	［アッテネーター］	525
	［録音帯域］	525
	［風切り音低減］	526
	［ヘッドホン音量］	526
	［ハイレゾズーム］	211
SL	［サイレントモード］	648
	［カスタムボタンの機能］	599
PEAK	［フォーカスピーキング］	541
	［ゼブラ表示］	612

	項目	🕮
☼	［モニター/ファインダーの明るさ］	629、631
⊛	［マルチセレクターによるパワー絞り］	598
⊡	［マルチセレクターによる露出補正］	598
info	［動画情報表示］	598
RED	［赤色画面表示］	553

	項目	🕮
✈	［機内モード］	663
	［リモコン接続（ML-L7）］	670
	［Bluetoothリモコン接続］	671
⏲	［動画セルフタイマー］	214

マルチセレクターによるパワー絞り

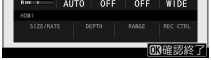
マルチセレクターによるパワー絞りを有効にするかどうかを設定できます。［**有効**］に設定すると、▲を押している間、開放絞り側に絞りが動きます。また、▼を押している間、最小絞り側に絞りが動きます。

マルチセレクターによる露出補正

マルチセレクターによる露出補正を有効にするかどうかを設定できます。［**有効**］に設定すると、▲▼を押して露出補正を設定できます。

動画情報表示

動画撮影時の各種設定を確認できます。この項目は表示のみで、設定を変更することはできません。



g2：カスタムボタンの機能

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

動画モードでカメラのボタンやコマンドダイヤル、レンズのリングを操作したときの機能を設定できます。

・機能を割り当てられるボタン、コマンドダイヤル、レンズのリングは次の通りです。割り当てを設定したい項目を選んで、⊛ボタンを押してください。

項目	
Fn1	［**Fn1ボタン**］
Fn2	［**Fn2ボタン**］
DISP	［**DISPボタン**］
AE/AF	［**AE/AFロックボタン**］
▶	［**再生ボタン**］
OK	［**OKボタン**］
	［**レリーズモードボタン**］
	［**動画撮影ボタン**］
ISO	［**ISO感度ボタン**］
±	［**露出補正ボタン**］
	［**ピクチャーコントロールボタン**］
	［**コマンドダイヤル**］
	［**シャッターボタン**］

項目	
LEn2	[**レンズのFn2ボタン**]
LFn	[**レンズのFnボタン**]
RFn	[**レンズのFnリング(右回し)**]
RFn	[**レンズのFnリング(左回し)**]
MSET	[**レンズのメモリーセットボタン**]
	[**レンズのコントロールリング**]

- 割り当てるボタンを選ぶ画面で設定をリセットできます。リセットしたいボタンを選んで🗑ボタンを押し、確認画面で［**はい**］を選んで㊗ボタンを押すと、選んだボタンの設定をリセットして初期設定に戻します。任意のボタンを選んで約3秒間🗑ボタンを長押しし、確認画面で［**はい**］を選んで㊗ボタンを押すと、全てのボタンの設定をリセットして初期設定に戻します。
- 割り当てられる機能は次の通りです。ボタン、レンズのリングによって割り当てられる機能は異なります。

割り当てられる機能		内容
RESET	［**フォーカスポイント中央リセット**］	ボタンを押すと、フォーカスポイントが中央に戻ります。
FOCUS	［**フォーカス位置の登録**］	ボタンを長押しすると、ピント位置（フォーカス位置）を登録できます。 - ［**フォーカス位置の呼び出し**］と組み合わせて使用することで、メモリーリコールの機能が使用できます。 - ［**フォーカス位置の呼び出し**］を割り当てた全てのボタンに同じピント位置を登録する［**一括登録**］と、それぞれのボタンに異なるピント位置を登録する［**個別登録**］があります。 - 詳しい使い方は「フォーカス位置の登録/フォーカス位置の呼び出しについて」（🕮579）をご覧ください。

割り当てられる機能		内容
FOCUS	［**フォーカス位置の呼び出し**］	ボタンを押すと［**フォーカス位置の登録**］で登録したピント位置（フォーカス位置）にセットされます。 - 詳しい使い方は「フォーカス位置の登録/フォーカス位置の呼び出しについて」（🕮579）をご覧ください。
	［**瞳の切り換え**］	カメラが人物や動物の瞳を検出している場合にボタンを押すと、フォーカスポイントを合わせる瞳の左右を切り換えます。
	［**AFエリアモード循環選択**］	ボタンを押すたびにAFエリアモードが切り替わります。 -［**AFエリアモード循環選択**］を選んで▶を押すと、切り換え可能なAFエリアモードを選べます。 - 項目を選んでⓄⓀボタンを押すかマルチセレクターの▶を押すと、オン☑とオフ☐を切り換えられます。チェックボックスをオン☑にした項目のみ、ボタンを押したときに切り換えられます。
AF-ON	［**AF-ON**］	ボタンを押すと、カメラが自動的に被写体にピントを合わせます。 - フォーカスモードが**AF-C**のときにボタンを押した場合、カスタムメニューg5［**AF速度**］で設定した速度でピント合わせを行います。
	［**AF-ON（高速）**］	ボタンを押すと、カメラが自動的に被写体にピントを合わせます。 - フォーカスモードが**AF-C**のときにボタンを押した場合、カスタムメニューg5［**AF速度**］で設定した速度にかかわらず高速でピント合わせを行います。
AF	［**AF-L**］	ボタンを押している間、フォーカスロックを行います。
AE	［**AE-L（ホールド）**］	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。動画撮影をしてもAEロックは解除されません。ただし、もう一度ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。

割り当てられる機能		内容
WB	[**AWB-L（ホールド）**]	ホワイトバランスの設定が［**オート**］または［**自然光オート**］の場合、ボタンを1回押すとホワイトバランスが固定されます（オートホワイトバランスロック）。動画撮影をしてもオートホワイトバランスロックは解除されません。ただし、もう一度ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになるとオートホワイトバランスロックを解除します。
WB	[**AE-L/AWB-L（ホールド）**]	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。また、ホワイトバランスの設定が［**オート**］または［**自然光オート**］の場合は、オートホワイトバランスロックされます。動画撮影をしてもAEロックおよびオートホワイトバランスロックは解除されません。ただし、もう一度ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになるとどちらも解除されます。
AE	[**AE-L**]	ボタンを押している間、AEロックを行います。
AF	[**AE-L/AF-L**]	ボタンを押している間、AEロックとフォーカスロックを同時に行います。
	[**ピクチャーコントロール**]	ボタンを押すと、**i**メニュー［**ピクチャーコントロール**］を選んだときと同じ設定画面を表示します。
ASSIST	[**ビューアシスト**]	ボタンを1回押すと、カスタムメニューg11［**ビューアシスト**］が［**ON**］になります。もう一度ボタンを押すと、［**OFF**］になります。
HI FLICKER	[**高周波フリッカー低減**]	ボタンを1回押すとシャッタースピードを細かいステップ幅で設定できます。もう一度ボタンを押すと、元のステップ幅でシャッタースピードを設定します。
SL	[**サイレントモード**]	ボタンを1回押すとサイレントモードになります。もう一度ボタンを押すと、サイレントモードを解除します。

割り当てられる機能		内容
DISP	［**ライブビュー情報表示の切り換え**］	ボタンを押すたびに、撮影画面の表示が切り替わります。表示する画面はカスタムメニューg17［**撮影画面カスタマイズ（画像モニター）**］およびg18［**撮影画面カスタマイズ（ファインダー）**］で設定できます。
OFF	［**ライブビュー情報表示の消灯**］	ボタンを1回押すと撮影画面のアイコンや撮影情報を非表示にします。もう一度ボタンを押すと、アイコンや撮影情報が表示されます。
	［**ガイドライン表示**］	ボタンを1回押すと、撮影画面に構図用ガイドラインを表示します。もう一度ボタンを押すと、ガイドラインの表示を終了します。表示するガイドラインの種類はカスタムメニューg14［**ガイドラインの種類**］で選べます。
	［**拡大画面との切り換え**］	ボタンを1回押すと、フォーカスポイントを中心にして、設定した拡大率で拡大表示します。もう一度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。 -［**拡大画面との切り換え**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、拡大率を選べます。
	［**水準器表示**］	ボタンを1回押すと、撮影画面に水準器を表示します。もう一度ボタンを押すと、水準器の表示を終了します。表示する水準器の種類はカスタムメニューd17［**水準器の種類**］で選べます。
PEAK	［**フォーカスピーキング表示**］	フォーカスモードが**MF**の場合、ボタンを1回押すとフォーカスピーキングを表示します。もう一度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。
Fn	［**タッチFnの操作**］	ボタンを押すたびに、タッチFnの有効と無効を切り換えます。
	［**マイメニュー**］	ボタンを押すと、マイメニューを表示します。
	［**マイメニューのトップ項目へジャンプ**］	マイメニューの最上位に登録してある項目へジャンプします。よく使うメニュー項目をマイメニューの最上位に登録して、この機能を使うと便利です。

割り当てられる機能		内容
▶	［**再生**］	ボタンを押すと再生画面を表示します。
▶▼	［**フィルター再生**］	ボタンを押すと再生メニュー［**フィルター再生の条件設定**］で設定した条件に合った画像を再生します。
▶▼✓	［**フィルター再生（条件設定）**］	ボタンを押すと、再生メニュー［**フィルター再生の条件設定**］と同様の設定画面を表示します。
◎	［**パワー絞り（開放絞り側）**］	- ボタンを押している間は開放絞り側に絞りが動きます。［**Fn2ボタン**］が［**パワー絞り（最小絞り側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。 - レンズのFnリングを左に回すと開放絞り側に絞りが動きます。［**レンズのFnリング（右回し）**］が［**パワー絞り（最小絞り側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
◎	［**パワー絞り（最小絞り側）**］	- ボタンを押している間は最小絞り側に絞りが動きます。［**Fn1ボタン**］が［**パワー絞り（開放絞り側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。 - レンズのFnリングを右に回すと最小絞り側に絞りが動きます。［**レンズのFnリング（左回し）**］が［**パワー絞り（開放絞り側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
±	［**露出補正（+側）**］	- ボタンを押している間は+側に露出補正を行います。［**Fn2ボタン**］が［**露出補正（－側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。 - レンズのFnリングを右に回すと+側に露出補正を行います。［**レンズのFnリング（左回し）**］が［**露出補正（－側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
±	［**露出補正（－側）**］	- ボタンを押している間は－側に露出補正を行います。［**Fn1ボタン**］が［**露出補正（+側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。 - レンズのFnリングを左に回すと－側に露出補正を行います。［**レンズのFnリング（右回し）**］が［**露出補正（+側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。

割り当てられる機能		内容
ISO+	[**ISO感度（高感度側）**]	レンズのFnリングを右に回すと、高感度側にISO感度が動きます。[**レンズのFnリング（左回し）**]が[**ISO感度（低感度側）**]のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
ISO−	[**ISO感度（低感度側）**]	レンズのFnリングを左に回すと、低感度側にISO感度が動きます。[**レンズのFnリング（右回し）**]が[**ISO感度（高感度側）**]のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
🔍T	[**ハイレゾズーム（望遠側）**]	- ボタンを押している間はハイレゾズームで望遠側にズームインします。[**Fn2ボタン**]が[**ハイレゾズーム（広角側）**]のときは、自動的にこの項目が選ばれます。 - レンズのFnリングを右に回すと望遠側にズームインします。[**レンズのFnリング（左回し）**]が[**ハイレゾズーム（広角側）**]のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
🔍W	[**ハイレゾズーム（広角側）**]	- ボタンを押している間はハイレゾズームで広角側にズームアウトします。[**Fn1ボタン**]が[**ハイレゾズーム（望遠側）**]のときは、自動的にこの項目が選ばれます。 - レンズのFnリングを左に回すと広角側にズームアウトします。[**レンズのFnリング（右回し）**]が[**ハイレゾズーム（望遠側）**]のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
PZT	[**パワーズーム（望遠側）**]	パワーズームレンズを装着している場合、ボタンを押している間は望遠側にズーミングします。[**Fn2ボタン**]が[**パワーズーム（広角側）**]のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
PZW	[**パワーズーム（広角側）**]	パワーズームレンズを装着している場合、ボタンを押している間は広角側にズーミングします。[**Fn1ボタン**]が[**パワーズーム（望遠側）**]のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
▨	[**ゼブラ表示の検出モード**]	ボタンを押すたびにゼブラ表示の検出モード設定が切り替わります（🕮612）。

割り当てられる機能		内容
REC	[**動画撮影**]	ボタンを押すと、動画撮影を開始します。もう一度ボタンを押すと、動画撮影を終了します。
WB	[**ホワイトバランス**]	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、動画のホワイトバランスを設定できます。ホワイトバランスの設定によっては、サブコマンドダイヤルを回して種類を変更できます。
	[**アクティブD-ライティング設定**]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、動画のアクティブD-ライティングの設定を変更できます。
	[**美肌効果**]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、美肌効果の設定を変更できます。
	[**人物印象調整**]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、調整モードを切り換えられます。
	[**測光モード**]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、動画の測光モードの設定を変更できます。
	[**動画セルフタイマー**]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、動画セルフタイマーの設定を変更できます。
AF/[+]	[**フォーカスモード/AFエリアモード**]	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとフォーカスモード、サブコマンドダイヤルを回すとAFエリアモードの設定を変更できます。
LOCK	[**操作のロック**]	- 撮影モードが**M**のとき、ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを固定します。撮影モードが**A**または**M**のとき、ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、絞り値を固定します。 - ボタンを押しながらマルチセレクターでフォーカスポイントの位置を固定します。
	[**マイク感度**]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、マイク感度の設定を変更できます。

割り当てられる機能		内容
M/A	［フォーカス（M/A）］	レンズのコントロールリングを回すと、フォーカスモードの設定にかかわらずマニュアルフォーカス撮影が行えます。カメラのシャッターボタンの半押しやAF-ON機能を割り当てたボタンを再度操作するとオートフォーカスで撮影が可能となります。
	［パワー絞り］	レンズのコントロールリングを回すと、絞り値の設定を変更します。
	［露出補正］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すか、レンズのコントロールリングを回すと露出補正の設定を変更します。
ISO	［ISO感度］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すか、レンズのコントロールリングを回すとISO感度の設定を変更します。
	［ハイレゾズーム］	レンズのコントロールリングを回すと、ハイレゾズームでズームイン/ズームアウトします。
［設定しない］		ボタンは機能しません。

パワー絞りについて

・ 撮影モード**A**または**M**のときのみ動作します。
・ パワー絞りの動作中は画面にちらつきが発生します。

コマンドダイヤルの設定について

コマンドダイヤルに設定できる項目は次の通りです。項目を選んでOKを押すと、設定が変更できます。

割り当てられる機能	内容
［露出設定］	各撮影モードでのメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの機能を入れ換えられます。◀▶を押して撮影モードを選び、▲▼を押すと機能が入れ替わります。

割り当てられる機能	内容
[**フォーカスモード/AFエリアモード設定**]	カスタムメニューg2［**カスタムボタンの機能**］で［**フォーカスモード/AFエリアモード**］を割り当てたボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときに変更される項目を入れ換えられます。
[**拡大表示中のサブコマンドダイヤル**]	拡大表示中にサブコマンドダイヤルを回したときの機能を設定できます。 ・［**露出設定**］を選ぶと、それぞれの撮影モードに設定したサブコマンドダイヤルの機能を変更します。 ・［**拡大/縮小**］を選ぶと、拡大表示の倍率を変更できます。

g3：操作のロック

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

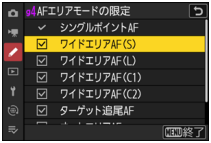
露出の設定またはフォーカスポイントをロックできます。

項目	内容
[**シャッタースピードのロック**]	［**ON**］に設定すると、撮影モード**M**ではシャッタースピードを現在の設定でロックします。 ・シャッタースピードをロックすると撮影画面に**L**アイコンが表示されます。
[**絞り値のロック**]	［**ON**］に設定すると、撮影モード**A**または**M**では絞り値を現在の設定でロックします。 ・絞り値をロックすると撮影画面に**L**アイコンが表示されます。
[**フォーカスポイントのロック**]	［**ON**］に設定すると、現在の位置でフォーカスポイントをロックします。 ・AFエリアモードが［**オートエリアAF**］の場合はロックできません。 ・AFエリアモードが［**ターゲット追尾AF**］の場合、被写体を追尾している間は被写体の動きに合わせてフォーカスポイントが移動します。

g4：AFエリアモードの限定

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

カスタムメニューg2［**カスタムボタンの機能**］で［**フォーカスモード/AFエリアモード**］を割り当てたボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回した場合に選べるAFエリアモードを設定できます。



- 項目を選んでⓄKボタンを押すかマルチセレクターの▶を押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。チェックボックスをオン（☑）にした項目のみ、サブコマンドダイヤルで選べるようになります。
- MENUボタンを押すと、設定を完了します。

g5：AF速度

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

動画モード時のピント合わせの速度を設定できます。

設定したAF速度が有効な条件を［**作動条件**］で設定します。

項目		内容
ALWAYS	［**常時有効**］	動画モードの間は常に設定したAF速度で動作します。
REC	［**撮影中のみ有効**］	動画記録中のみ設定したAF速度で動作します。それ以外は最高速でピントを合わせます。

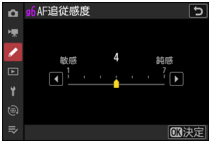
レンズの動作音について

AF速度を高速側に設定するほど、ピント合わせをするときのレンズの動作音が大きくなります。特に［**+5**］に設定した場合は大きな動作音がすることがあるため、音が気になるときは低速側に設定してください。

g6：AF追従感度

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

動画モード時の被写体にピントを合わせる感度を1～7の範囲で設定できます。



- ［**7**］（［**鈍感**］）に設定すると、元の被写体からピントが外れにくくなります。
- ［**1**］（［**敏感**］）に設定すると、被写体がフォーカスポイントから外れた場合、フォーカスポイントの範囲内にある他の被写体にすぐにピントを合わせます。

g7：ハイレゾズーム速度

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

ハイレゾズームの速度を設定できます。カスタムメニューg2［**カスタムボタンの機能**］の［**Fn1ボタン**］、［**Fn2ボタン**］、［**レンズのFnリング（右回し）**］、［**レンズのFnリング（左回し）**］のいずれかにハイレゾズームの機能を割り当てている場合のみ有効です。

g8：パワーズームのボタン操作（PZレンズ）

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

パワーズームレンズを装着して動画を撮影する場合に、🔍ボタンおよび🔍（**?**）ボタンを押して電動でズーミング（パワーズーム）するかどうかを設定できます。

項目	内容
[🔍/🔍ボタンの使用]	[**ON**] に設定すると、🔍ボタンおよび🔍（**?**）ボタンを押してズーミングを行えます。
[**パワーズーム速度**]	ボタン操作でパワーズームするときの、動画記録待機中および動画記録中のズーミングの速度をそれぞれ設定できます。 ・動画記録中にズーミングを行うと、レンズの動作音が記録されることがあります。音が気になる場合は、ズーミングの速度を低速に設定することをおすすめします。

g9：ISO感度ステップ幅拡張（Mモード）

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

[**する（1/6段）**] に設定すると、撮影モード**M**での動画モード時に、ISO感度のステップ幅を1/6段に変更できます。

- 動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**Mモード時のISO感度**］でISO感度を設定する場合のみ有効です。
- ISO 100～25600の間を1/6段で設定できます。

g10：シャッタースピード延長（S/Mモード）

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

[**ON**] に設定すると、撮影モード**S**および**M**時のシャッタースピードをより低速に設定できます。

- [**OFF**] に設定した場合、シャッタースピードの低速側の制限はフレームレートにより次のように異なります。
  - 120p：1/125
  - 100p：1/100
  - 60p：1/60

- 50p：1/50
- 30p：1/30
- 25p：1/25
- 24p：1/25

・［**ON**］に設定すると、フレームレートを60p～24pに設定している場合はシャッタースピードの低速側の制限が1/4に変更されます。120pまたは100pに設定している場合やスローモーション動画の場合は変更されません。
・［**ON**］に設定してシャッタースピードを低速にすると、星景撮影など暗所撮影時に、ISO感度の上昇を抑えることができます。
・［**ON**］に設定して低速のシャッタースピードで撮影した場合、動画の複数のフレームに同じ映像が記録されます。
・［**ON**］に設定して低速のシャッタースピードで撮影する場合は、手ブレを抑えるために三脚を使用することをおすすめします。

g11：ビューアシスト

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

［**ON**］に設定すると、動画の階調モードを［**N-Log**］にしている場合にカメラの撮影画面を簡易的に階調補正して表示します。
・実際に記録している動画には影響ありません。
・カメラでN-Log動画を再生する場合にも階調補正が適用されます。

g12：ゼブラ表示

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

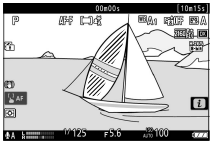
動画モード時に、指定した明るさの部分を斜線で表示できます。

ゼブラ表示の検出モード

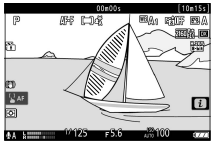
斜線で表示する明るさの部分を［**高輝度**］、［**中間輝度**］または［**しない**］から選べます。どの部分を高輝度として扱うかは［**高輝度検出の範囲**］、どの部分を中間輝度として扱うかは［**中間輝度検出の範囲**］で設定できます。

ゼブラ表示のパターン

［**パターン1**］または［**パターン2**］を選ぶと、動画モード時にハイライト部分（非常に明るい部分）を斜線で表示できます。



パターン1



パターン2

高輝度検出の範囲

［**ゼブラ表示の検出モード**］で［**高輝度**］を選んだ場合に、どの程度の明るさから高輝度として扱うかを設定できます。

- 輝度は120から255の間で設定できます。値が小さいほど暗い部分も斜線で表示されます。
- 255を選ぶと、白とびする部分だけが斜線表示されます。

中間輝度検出の範囲

［**ゼブラ表示の検出モード**］で［**中間輝度**］を選んだ場合に、どの程度の明るさの範囲を中間輝度として扱うかを設定できます。

- ［**基準値**］と［**範囲**］で検出したい輝度の部分を設定できます。
- ◀▶を押して項目を選び、▲▼で値を変更できます。

☑ ゼブラ表示について

フォーカスモードがマニュアルフォーカスの場合、ゼブラ表示およびフォーカスピーキングの両方を有効にしているとフォーカスピーキングのみ表示されます。マニュアルフォーカス時にゼブラ表示したい場合は、カスタムメニューa12［**フォーカスピーキング**］>［**フォーカスピーキング表示**］を［**OFF**］に設定してください。

g13：ゼブラ表示の検出モード制限

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

カスタムボタンに［**ゼブラ表示の検出モード**］を割り当てた場合に、ボタンを押したときに斜線表示する輝度の範囲を設定できます。

項目	内容
［**高輝度**］	ボタンを押すたびに、輝度の範囲が［**高輝度**］→［**しない**］の順に切り替わります。
［**中間輝度**］	ボタンを押すたびに、輝度の範囲が［**中間輝度**］→［**しない**］の順に切り替わります。
［**制限しない**］	ボタンを押すたびに、輝度の範囲が［**高輝度**］→［**中間輝度**］→［**しない**］の順に切り替わります。

g14：ガイドラインの種類

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

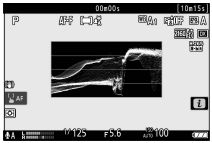
動画モード時に表示する構図用ガイドラインの種類を選べます。選んだガイドラインは、カスタムメニューg17［**撮影画面カスタマイズ（画像モニター）**］およびg18［**撮影画面カスタマイズ（ファインダー）**］で▦をオン（☑）にした場合の画面表示に表示されます。

g15：輝度情報の種類

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

動画モード時に表示する輝度情報の種類を選べます。選んだ輝度情報は、カスタムメニューg17［**撮影画面カスタマイズ（画像モニター）**］およびg18［**撮**

影画面カスタマイズ（ファインダー）］で🖼をオン（☑）にした場合の画面表示に表示されます。

項目	内容
［**ヒストグラム**］	RGBヒストグラムを表示します。
［**ウェーブフォームモニター**］	ウェーブフォームモニターを表示します。表示するサイズを選べます。
［**ウェーブフォームモニター大**］	

g16：半押し拡大解除（MF）

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

［**ON**］に設定すると、動画モード時にフォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定して拡大表示している場合に、シャッターボタンを半押しして拡大表示を解除できます。

g17：撮影画面カスタマイズ（画像モニター）

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

動画モード時に**DISP**ボタンを押して画像モニターに表示する画面を設定できます。

・［**画面2**］～［**画面4**］を選んでⓄⓀボタンを押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。撮影時に**DISP**ボタンを押すと撮影画面が切り替わ

り、チェックボックスをオン（☑）にした画面のみ表示されます。［**画面1**］はオフ（☐）にすることはできません。

・［**画面1**］～［**画面4**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、その画面に表示する項目を設定できます。表示したい項目を選んでⓄⓀボタンを押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。

項目		内容
SIMPLE	［**基本撮影情報**］	撮影モードやシャッタースピード、絞り値などの設定を表示します。
DETAIL	［**詳細撮影情報**］	フォーカスモードやAFエリアモード、ホワイトバランスなどの設定を表示します。
	［**タッチ**］	タッチAFや**i**メニューなど、画像モニターをタッチして設定を変更できる項目を表示します。
	［**水準器**］	水準器を表示します。水準器の種類はカスタムメニューd17［**水準器の種類**］で設定できます。
	［**輝度情報**］	RGBヒストグラムまたはウェーブフォームモニターを表示します。輝度情報の種類はカスタムメニューg15［**輝度情報の種類**］で設定できます。
	［**ガイドライン**］	構図用ガイドラインを表示します。ガイドラインの種類はカスタムメニューg14［**ガイドラインの種類**］で設定できます。

項目		内容
⊡	[センターマーカー]	撮影画面の中央を示す十字線を表示します。

・**MENU**ボタンを押すと、設定を完了します。

g18：撮影画面カスタマイズ（ファインダー）

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

動画モード時に**DISP**ボタンを押してファインダーに表示する画面を設定できます。

・［**画面2**］または［**画面3**］を選んでⓄボタンを押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。撮影時に**DISP**ボタンを押すと撮影画面が切り替わり、チェックボックスをオン（☑）にした画面のみ表示されます。［**画面1**］はオフ（☐）にすることはできません。
・［**画面1**］～［**画面3**］を選んでマルチセレクターのⒷを押すと、その画面に表示する項目を設定できます。表示したい項目を選んでⓄボタンを押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。項目は［**タッチ**］を除きカスタムメニューg17［**撮影画面カスタマイズ（画像モニター）**］と共通です。
・**MENU**ボタンを押すと、設定を完了します。

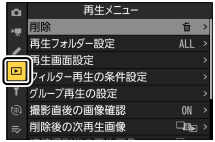
g19：動画撮影中の赤枠表示

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

［**ON**］に設定すると、動画記録時に撮影画面の周囲に赤枠が表示されます。動画記録中であることが判別しやすく、記録ミスを防げます。

再生メニュー

メニュー画面で▶タブを選ぶと、再生メニューが表示されます。



再生メニューの項目は、次の通りです。

メニュー項目	🕮
[**削除**]	618
[**再生フォルダー設定**]	619
[**再生画面設定**]	619
[**フィルター再生の条件設定**]	621
[**グループ再生の設定**]	621

メニュー項目	🕮
[**撮影直後の画像確認**]	622
[**削除後の次再生画像**]	623
[**連続撮影後の再生画像**]	623
[**縦横位置情報の記録**]	624
[**画像の自動回転**]	624

削除

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

複数の画像を一括して削除できます。詳しくは、「複数の画像をまとめて削除する」（🕮255）をご覧ください。

項目		内容
▪▫▫▫	[**画像を選択して削除**]	選んだ画像を削除します。
🗑	[**削除候補画像を一括削除**]	レーティングで🗑（削除候補）に設定した全ての画像を削除します。

項目		内容
DATE	［**日付を選択して削除**］	選んだ日付に撮影した画像を一括で削除します。
ALL	［**全画像を削除**］	再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定したフォルダー内の全ての画像を削除します。

再生フォルダー設定

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

画像の再生時に表示するフォルダーを設定します。

項目	内容
（フォルダーグループ名）	表示されているフォルダーグループ名のフォルダー内の画像を再生します。フォルダーグループ名は静止画撮影メニュー［**記録フォルダー設定**］の［**フォルダーグループ名変更**］で変更できます。
［**全てのフォルダー**］	メモリーカード内の全てのフォルダーの画像を再生します。
［**記録中のフォルダー**］	画像の記録に実際に使われているフォルダーの画像を再生します。

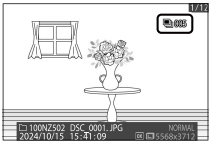
再生画面設定

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

1コマ表示モード時の再生画面の表示に関する設定ができます。

- 追加したい項目を選び、マルチセレクターの▶を押すとオン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。
- MENUボタンを押すと、設定を完了します。

項目	内容
［**フォーカスポイント**］	オン（☑）にすると、撮影時に使用したフォーカスポイントを表示します。

項目	内容
［**グループの先頭表示**］	オン（☑）にすると、連続撮影グループ先頭の画像に🖳アイコンとグループの総枚数を表示します。 
［**露出情報**］	オン（☑）にすると、マルチセレクターの🔼🔽または**DISP**ボタンを押したときに情報画面を表示します。
［**ハイライト**］	
［**RGBヒストグラム**］	
［**撮影情報**］	
［**統合表示**］	
［**画像のみ**］	
［**ファイル情報**］	
［**撮影基本情報**］	オン（☑）にすると、1コマ表示モードが［**撮影情報**］の場合に詳細情報ページに項目を表示します。
［**フラッシュ情報**］	
［**ピクチャーコントロール/HLG情報**］	
［**撮影情報その他**］	

項目	内容
［**著作権情報**］	オン（☑）にすると、1コマ表示モードが［**撮影情報**］の場合に詳細情報ページに項目を表示します。
［**位置情報**］	
［**IPTC情報**］	

フィルター再生の条件設定

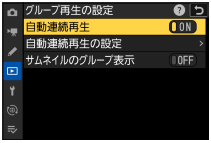
MENUボタン➡ ▶再生メニュー

フィルター再生（🕮251）する場合に、どの条件の画像を再生するかを設定できます。

グループ再生の設定

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

1回の連続撮影で記録した画像（連続撮影グループ）の再生方法を設定できます。



自動連続再生

［**ON**］に設定すると、1コマ表示時に連続撮影グループ先頭の画像を表示したまま数秒間経過した場合に、連続撮影グループ内の画像を自動で画像送りします。連続撮影グループの最後の画像まで表示すると、画像送りは停止します。

自動連続再生の設定

［**自動連続再生**］を［**ON**］に設定しているときの、連続撮影グループの再生方法を設定できます。

項目	内容
［**ループ再生**］	［**ON**］に設定すると、表示している連続撮影グループを繰り返し再生します。
［**再生開始までの待機時間**］	連続撮影グループ先頭の画像を表示してから、自動連続再生を開始するまでの時間を［**長い**］、［**通常**］、［**短い**］、［**すぐに再生**］から選べます。
［**自動連続再生の速度**］	自動連続再生の再生速度を設定できます。 ・［**5コマ/秒**］、［**15コマ/秒**］、［**30コマ/秒**］：設定した速度で再生します。 ・［**現在のレリーズモードに連動する**］：現在設定しているレリーズモードの速度で再生します。 - 1コマ撮影またはセルフタイマーに設定している場合は、3コマ/秒で再生します。

サムネイルのグループ表示

［**ON**］に設定すると、サムネイル表示時に連続撮影グループ先頭の画像のみを表示します。連続撮影グループ先頭の画像には🖳アイコンとグループの総枚数が表示されます。

- 1コマ表示時は連続撮影グループ内の全ての画像が表示されます。
- ［**サムネイルのグループ表示**］を［**ON**］に設定すると、再生時のiメニュー［**グループの一括操作**］が有効になります（🕮237）。

撮影直後の画像確認

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。

項目	内容
［**する**］	画像モニターに撮影画像を表示します。 ・モニターモードが［**ファインダー優先2**］の場合、ファインダーから顔を離すことで撮影画像が画像モニターに表示されます。
［**する(画像モニター表示のみ)**］	画像モニターを見ながら撮影している場合にのみ画像モニターに撮影画像を表示します。モニターモードが［**ファインダーのみ**］の場合、ファインダーには撮影画像を表示しません。
［**しない**］	撮影画像を表示確認するには、▶ボタンを押してください。

削除後の次再生画像

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

画像を削除した後に表示する画像を設定できます。

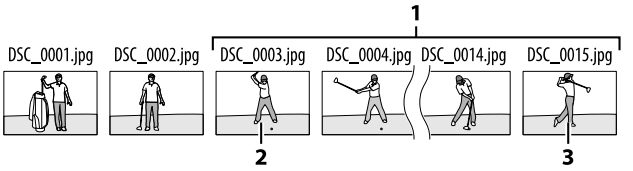
項目		内容
	［**後ろのコマ**］	・削除した画像の次に撮影した画像を表示します。 ・最後の画像を削除した場合は、1つ前の画像を表示します。
	［**前のコマ**］	・削除した画像の前に撮影した画像を表示します。 ・最初の画像を削除した場合は、次に撮影した画像を表示します。
	［**直前コマ送り方向に従う**］	・直前のコマ送りが前の画像から後の画像の順番のときは、［**後ろのコマ**］と同じ動作になります。 ・直前のコマ送りが後の画像から前の画像の順番のときは、［**前のコマ**］と同じ動作になります。

連続撮影後の再生画像

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

最後に撮影した画像が連続撮影の場合、画像を再生したときに連続撮影した最初のコマまたは最後のコマのどちらを表示するかを設定できます。

・再生メニュー［**撮影直後の画像確認**］が［**しない**］に設定されている場合のみ有効です。



1 最後に撮影した画像（連続撮影）
2 ［**先頭の画像**］設定時に表示
3 ［**最後の画像**］設定時に表示

縦横位置情報の記録

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

［**ON**］に設定すると、撮影時のカメラの縦横位置情報が画像に記録されます。カメラやパソコンで再生するときに、記録した縦横位置情報を利用して画像が自動的に回転表示されます。

縦横位置情報の記録についてのご注意

カメラを上向きまたは下向きにして撮影したり流し撮りすると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

画像の自動回転

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

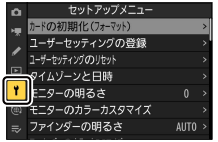
［**ON**］に設定すると、縦位置で撮影した画像を横位置で再生する場合、または横位置で撮影した画像を縦位置で再生する場合に、画像が自動的に回転します。

画像の自動回転についてのご注意

- ［**画像の自動回転**］を［**ON**］に設定しても、撮影直後の画像確認時は自動回転しません。
- 再生メニュー［**縦横位置情報の記録**］を［**OFF**］に設定した撮影した画像は、自動回転しません。横位置で撮影した画像として再生されます。

セットアップメニュー

メニュー画面で🔧タブを選ぶと、セットアップメニューが表示されます。



セットアップメニューの項目は次の通りです。

メニュー項目	🕮
［カードの初期化（フォーマット）］	627
［ユーザーセッティングの登録］	628
［ユーザーセッティングのリセット］	628
［タイムゾーンと日時］	628
［モニターの明るさ］	629
［モニターのカラーカスタマイズ］	629
［ファインダーの明るさ］	631
［ファインダーのカラーカスタマイズ］	631
［ファインダー表示サイズ］	632
［モニターモードの限定］	632
［画面情報の自動回転］	632
［**REC**ランプの明るさ］	632

メニュー項目	🕮
［**AF**微調節の設定］	633
［レンズ情報手動設定］	635
［距離表示単位の設定］	636
［フォーカス位置の記憶］	636
［ズーム位置の記憶（**PZ**レンズ）］	636
［イメージダストオフデータ取得］	637
［ピクセルマッピング］	639
［画像コメント］	639
［著作権情報］	640
［**IPTC**］	641
［Ω/🎧端子の機能］	646
［音声メモの設定］	646
［電子音］	647

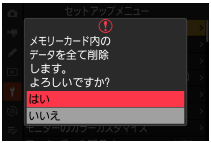
メニュー項目	🕮
［サイレントモード］	648
［タッチ操作］	649
［自分撮りモード］	649
［HDMI］	650
［USB接続時の優先］	650
［認証情報］	650
［USB給電］	650

メニュー項目	🕮
［パワーセーブ（静止画モード）］	652
［カードなし時レリーズ］	653
［メニュー設定の保存と読み込み］	653
［カメラの初期化］	658
［ファームウェアバージョン］	659

カードの初期化（フォーマット）

MENUボタン➡ セットアップメニュー

メモリーカードを初期化（フォーマット）します。新しいメモリーカードを使用する場合や、他のカメラやパソコンで初期化したメモリーカードを使用する場合は、このカメラで初期化してから使用してください。**初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。**カード内に必要なデータが残っている場合は、初期化の前にパソコンなどに保存してください。



☑ カードの初期化についてのご注意

［**カードの初期化（フォーマット）中です。**］のメッセージが画像モニターに表示されている間は、電源をOFFにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。

ユーザーセッティングの登録

MENUボタン➡ セットアップメニュー

よく使う機能（ユーザーセッティング）を、あらかじめ撮影モードダイヤル**U1**～**U3**に登録できます（🕮135）。

ユーザーセッティングのリセット

MENUボタン➡ セットアップメニュー

登録したユーザーセッティングをリセットします（🕮137）。

タイムゾーンと日時

MENUボタン➡ セットアップメニュー

現在地と日時、年月日の表示順を設定します。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

項目	内容
［**タイムゾーン**］	現在地のタイムゾーンを選びます。現在地のタイムゾーンを変更すると、［**日時の設定**］で設定された日時が、時差に合わせて自動的に更新されます。
［**日時の設定**］	［**タイムゾーン**］で選ばれているタイムゾーンの時刻を設定します。
［**日付の表示順**］	日付の年、月、日の表示順を選びます。
［**夏時間の設定**］	現在地で夏時間が実施されている場合は［**ON**］に、そうでない場合は［**OFF**］に設定します。［**ON**］にすると、時刻が1時間進みます。初期設定は［**OFF**］です。

カメラの内蔵時計の設定が初期化されている場合、撮影画面に🕒マークが表示されて警告します。

モニターの明るさ

MENUボタン➡ セットアップメニュー

画像モニターの明るさをマルチセレクターの▲▼を押して調整できます。
+にすると明るく、−にすると暗くなります。

- ［**モニターの明るさ**］は、画像モニターが表示されている状態で調整してください。ファインダーを見ている状態や、モニターモードが［**ファインダーのみ**］の場合は調整できません。
- 画像モニターを明るくすると、バッテリーの消耗が早くなります。
- 静止画撮影メニュー［**階調モード**］を［**HLG**］に設定して撮影画面を表示しているとき、または［**階調モード**］を［**HLG**］に設定して撮影した画像を表示しているときは、セットアップメニュー［**モニターの明るさ**］の設定によっては階調が変更されます。明るくするほど本来の階調とは異なる表示となり、特にハイライトの再現性が低下します。

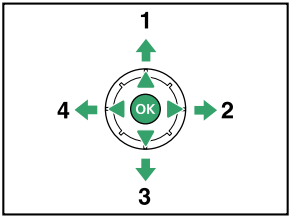
モニターのカラーカスタマイズ

MENUボタン➡ セットアップメニュー

画像モニターの色調を好みに合わせて変更できます。

- ［**モニターのカラーカスタマイズ**］は、画像モニターが表示されている状態で調整してください。ファインダーを見ている状態や、モニターモードが［**ファインダーのみ**］の場合は調整できません。

・マルチセレクターで画像モニターの色味を調整できます。🔼🔽◀▶を押すたびに、画像モニターの色味が次のように変わります。⊛ボタンを押すと決定します。



1	グリーンが強くなる	3	マゼンタが強くなる
2	アンバーが強くなる	4	ブルーが強くなる

・画像モニターの色味を調整すると、撮影画面やメニュー表示、画像再生時の表示全てに反映されますが、撮影した画像または動画には反映されません。

・最後に撮影した画像または最後に再生した画像がサンプルとして表示されます。撮影した画像がメモリーカード内にない場合、グレーで表示されます。

・🔍🖼（**?**）ボタンを押すと、画像の選択画面が表示されます。画像を選んで⊛ボタンを押すと、選んだ画像がサンプルとして表示されます。

・画像の選択画面で⊕ボタンを押すと、ボタンを押している間、選んだ画像を拡大表示します。

ファインダーの明るさ

MENUボタン➡ セットアップメニュー

ファインダーの明るさを調整できます。［**ファインダーの明るさ**］は、ファインダーを見ている状態で調整してください。画像モニターが表示されている状態や、モニターモードが［**モニターのみ**］の場合は調整できません。

項目	内容
［**オート**］	周囲の明るさによってファインダーの明るさを自動で調整します。
［**マニュアル**］	マルチセレクターの▲▼を押して調整できます。+にすると明るく、−にすると暗くなります。

・ファインダーを明るくすると、バッテリーの消耗が早くなります。
・［**マニュアル**］に設定している場合、カメラが高温になると一時的に表示が暗くなります。
・静止画撮影メニュー［**階調モード**］を［**HLG**］に設定して撮影画面を表示しているとき、または［**階調モード**］を［**HLG**］に設定して撮影した画像を表示しているときは、セットアップメニュー［**ファインダーの明るさ**］の設定によっては階調が変更されます。明るくするほど本来の階調とは異なる表示となり、特にハイライトの再現性が低下します。

ファインダーのカラーカスタマイズ

MENUボタン➡ セットアップメニュー

ファインダーの色調を好みに合わせて変更できます。［**ファインダーのカラーカスタマイズ**］は、ファインダーを見ている状態で調整してください。画像モニターが表示されている状態や、モニターモードが［**モニターのみ**］の場合は調整できません。調整方法は［**モニターのカラーカスタマイズ**］（🕮629）と同様です。

ファインダー表示サイズ

MENUボタン➡ セットアップメニュー

ファインダーの表示倍率を［**標準**］または［**小さめ**］から選べます。［**小さめ**］に設定すると、全体が確認しやすくなります。

モニターモードの限定

MENUボタン➡ セットアップメニュー

INFOボタンを押して切り換えられるモニターモードを設定できます。

- 項目を選んでOKボタンを押すかマルチセレクターの▶を押すと、オン（☑）とオフ（☐）を切り換えられます。チェックボックスをオン（☑）にした項目のみ選べるようになります。
- MENUボタンを押すと、設定を完了します。

画面情報の自動回転

MENUボタン➡ セットアップメニュー

［**ON**］に設定すると、カメラを縦位置に構えて撮影する場合に、撮影画面および再生画面に表示されるアイコンも縦位置表示用の配置になります。

RECランプの明るさ

MENUボタン➡ セットアップメニュー

動画撮影中とタイムラプス動画撮影中のRECランプの明るさを設定します。明るさは、明るい順に［**3**］、［**2**］、［**1**］になります。［**オフ**］に設定すると、RECランプは点灯や点滅をしません。

項目	内容
［**動画撮影中**］	動画撮影中または動画モード中に、RECランプが点灯や点滅するときの明るさを設定します。 ・［**オフ**］以外に設定すると、動画撮影中にRECランプが点灯します。 ・動画撮影中や動画モード中でのRECランプの点滅については、「RECランプについて」（🕮100）をご覧ください。

項目	内容
［**タイムラプス動画撮影中**］	タイムラプス動画撮影中に、RECランプが点灯や点滅するときの明るさを設定します。 ・［**オフ**］以外に設定すると、タイムラプス動画撮影中にRECランプが点灯します。 ・［**オフ**］以外に設定してタイムラプス動画撮影中に、バッテリー残量がわずかになった場合は、RECランプが速く2回点滅を繰り返します。 ・［**オフ**］以外に設定すると、静止画撮影メニュー［**インターバルタイマー撮影**］の［**オプション**］を［**タイムラプス動画**］に設定している場合も、RECランプは点灯や点滅をします。

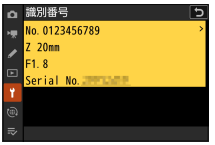
AF微調節の設定

MENUボタン➡ セットアップメニュー

装着したレンズのピント位置を、好みなどに合わせて微調節できます。

- 必要な場合のみAF微調節を行ってください。
- AF微調節は、普段の撮影でよく使用する撮影距離で行うことをおすすめします。たとえば、近い距離でAF微調節を行った場合、遠い被写体に対してはAF微調節の効果が低下することがあります。

項目	内容
［**AF微調節の適用**］	［**ON**］に設定すると、AF微調節の設定が有効になります。
［**レンズの調節と登録**］	装着しているレンズの微調節値を登録できます。マルチセレクターの▲▼を押して項目を選び、◀▶を押して＋20～－20の範囲で調節できます。 ・ピントの合う位置は、微調節値が大きいほどカメラから遠ざかり、微調節値が小さいほどカメラに近づきます。 ・画面には今回の微調節値と、前回設定した微調節値が表示されます。 ・最大40種類のレンズを登録できます。 ・すでに登録してあるレンズを装着している場合、微調節値を上書きするか、新規登録するかを選べます。

項目	内容
［未登録レンズの調節］	［**レンズの調節と登録**］で登録していないレンズを装着したときに、一律で微調節する値を設定します。◀▶を押して、＋20～－20の範囲で調節できます。
［登録済みレンズリスト］	［**レンズの調節と登録**］で登録したレンズを一覧表示します。登録リストからレンズを選んで▶を押すと、［**識別番号**］画面が表示されます。  ・［**識別番号**］画面では、レンズの識別番号を入力できます。 ・Zマウントレンズと一部のFマウントレンズは、シリアル番号が自動的に入力されます。
［装着レンズの調節値を選択］	同じ種類のレンズを複数登録してある場合に、カメラに装着しているレンズにどの調整値を設定するかを選べます。

登録したレンズを削除するには

［**レンズの調節と登録**］で登録したレンズを削除するには、［**登録済みレンズリスト**］画面の一覧表示から削除したいレンズを選んで、🗑ボタンを押します。

AF微調節の設定と微調節値の登録方法

1 AF微調節の設定を行うレンズをカメラに装着する

2 セットアップメニュー［AF微調節の設定］で［レンズの調節と登録］を選んで▶を押す

AF微調節の設定画面が表示されます。

3 **◀▶を押して微調節値を変更する**

- ＋20～－20の範囲で調節できます。
- 今回の微調節値は▲で、前回設定した微調節値は△で表示されます。
- ズームレンズを装着している場合は、広角側（WIDE）と望遠側（TELE）で個別に調節できます。広角側と望遠側を切り換えるには▲▼を押します。
- ピントの合う位置は、微調節値が大きいほどカメラから遠ざかり、微調節値が小さいほどカメラに近づきます。

4 **⊛ボタンを押して設定を登録する**

未登録レンズ装着時の微調整値の設定方法

1 **セットアップメニュー［AF微調節の設定］で［未登録レンズの調節］を選んで▶を押す**

2 **◀▶を押して微調節値を変更する**

- ＋20～－20の範囲で調節できます。
- 今回の微調節値は▲で、前回設定した微調節値は△で表示されます。
- ピントの合う位置は、微調節値が大きいほどカメラから遠ざかり、微調節値が小さいほどカメラに近づきます。

3 **⊛ボタンを押して設定を登録する**

レンズ情報手動設定

MENUボタン➡ セットアップメニュー

別売のマウントアダプターを使用して装着する非CPUレンズの情報を登録します。非CPUレンズの焦点距離と開放絞り値をカメラに登録することにより、これらの情報を撮影情報として表示できます。

項目	内容
［**レンズNo.**］	レンズ情報を登録するレンズNo.を選びます。
［**焦点距離（mm）**］	レンズの焦点距離を入力します。

項目	内容
[**開放絞り値**]	レンズの開放絞り値を入力します。
[**レンズ名**]	レンズ名を登録します。最大36文字まで入力できます。登録したレンズ名は、撮影した画像のExif情報に記録されます。

距離表示単位の設定

MENUボタン➡ セットアップメニュー

マニュアルフォーカスでピント調整中に、カメラからピントが合う位置までの距離が表示されます。この距離の単位をメートルとフィートのどちらかに設定できます。

・表示される距離表示は目安です。使用するレンズによっては、実際の距離と異なる場合があります。

フォーカス位置の記憶

MENUボタン➡ セットアップメニュー

[**ON**] に設定すると、ピント合わせを行った後にカメラの電源をOFFにして再度ONにした場合も、ピント位置を保持します。ただし、カメラの電源をONにしてから操作ができるようになるまで時間がかかることがあります。

・[**ON**] に設定していても、ズーム操作や環境温度の変化によっては、カメラの電源をOFFにする前と再度ONにした後でピント位置が変わる場合があります。

・[**OFF**] に設定していても、カメラやレンズの状態によってはピント位置が保持されることがあります。

ズーム位置の記憶（PZレンズ）

MENUボタン➡ セットアップメニュー

[**ON**] に設定すると、パワーズームレンズを装着してカメラの電源をOFFにして再度ONにした場合も、ズーム位置を電源OFFの前と同じ位置に保持できます。

イメージダストオフデータ取得

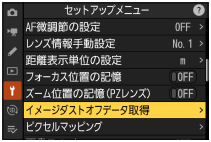
MENUボタン➡ セットアップメニュー

NX Studioの「イメージダストオフ機能」を使うためのデータを取得します。イメージダストオフとは、カメラの撮像素子の前面に付いたゴミの写り込みをRAW画像から取り除く機能です。イメージダストオフ機能については、NX Studioのヘルプをご覧ください。

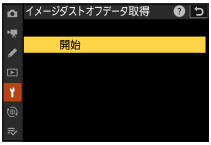
イメージダストオフデータ取得の手順

イメージダストオフデータを取得するときは、あらかじめ静止画/動画セレクターを📷に合わせて静止画モードにしておいてください。

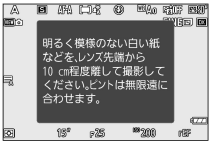
1 セットアップメニュー［イメージダストオフデータ取得］を選んでOKを押す



2 イメージダストオフデータ取得画面で［開始］を選ぶ



・［**開始**］を選んでOKボタンを押すと撮影画面が表示されます。



3 **レンズ先端から10cm程度離れた、明るく白い無地の被写体を画面いっぱいにとらえ、シャッターボタンを半押しする**

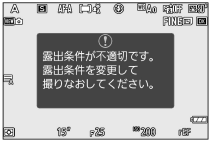
・オートフォーカスのときは、カメラが自動的に無限遠にピントを合わせます。

・マニュアルフォーカスのときは、手動で無限遠に合わせてください。

4 **シャッターボタンを全押ししてイメージダストオフデータを取得する**

・シャッターボタンを押すと、画像モニターが消灯します。

・被写体が明るすぎ、または暗すぎたために、データが取得できなかった場合は、画像モニターにメッセージが表示されて手順2の状態に戻ります。被写体の明るさを変えて、もう一度撮影してください。



イメージダストオフデータ取得についてのご注意

・お使いになるレンズは、焦点距離が50mm以上のレンズをおすすめします。

・ズームレンズは望遠側にしてください。

・取得したイメージダストオフデータは、データ取得後にレンズや絞り値を変更して撮影した画像にも適用できます。

・イメージダストオフデータは画像処理ソフトウェアなどで開けません。

・イメージダストオフデータをカメラで再生すると、図のように表示されます。

ピクセルマッピング

MENUボタン➡ セットアップメニュー

撮像素子のチェックと最適化を行います。撮影した画像に予期しない輝点が記録されて気になる場合は、次の手順でピクセルマッピングを行ってください。

- Zマウントレンズ、または別売のマウントアダプターFTZ II/FTZを装着しているときのみピクセルマッピングを実行できます。
- 作業中のバッテリー切れを防ぐため、次のいずれかをお使いください。
  - 充分に充電したバッテリー
  - 別売のACアダプターEH-8Pと付属のUSBケーブルUC-E25（両端がType-C）
  - 外部充電池（モバイルバッテリー）
- [**実行**] を選ぶとピクセルマッピングを開始します。実行中は、画像モニターに実行中のメッセージが表示されます。

ピクセルマッピングについてのご注意

- ピクセルマッピング中は、カメラの操作はできません。カメラの電源をOFFにしたり、バッテリーやACアダプターを取り外さないでください。
- カメラ内部の温度が高くなっているときは、ピクセルマッピングを実行できない場合があります。

画像コメント

MENUボタン➡ セットアップメニュー

あらかじめコメントを登録しておき、撮影する画像に添付できます。添付されたコメントは、NX Studioの［**情報**］タブで確認できます。

コメント入力

36文字までのコメントを登録できます。［**コメント入力**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、画像コメントの入力画面が表示されます。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（🕮70）をご覧ください。

コメント添付

［**コメント添付**］を［**ON**］に設定すると、登録したコメントを画像に添付できます。

☑ 画像情報に表示される画像コメントについて

- 入力・添付された画像コメントは、再生画面の撮影情報にある［**撮影情報その他**］ページに表示されます。
- 撮影情報の［**撮影情報その他**］ページを表示するには、再生メニュー［**再生画面設定**］で［**撮影情報**］および［**撮影情報その他**］のチェックボックスをオン（☑）にしてください。

著作権情報

MENUボタン➡ セットアップメニュー

撮影した画像に著作権情報を添付することができます。添付された著作権情報は、NX Studioの［**情報**］タブで確認できます。

撮影者名入力、著作権者名入力

36文字までの撮影者名と、54文字までの著作権者名を登録できます。［**撮影者名入力**］または［**著作権者名入力**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと名前の入力画面が表示されます。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（🕮70）をご覧ください。

著作権情報添付

［**著作権情報添付**］を［**ON**］に設定すると、登録した著作権情報を画像に添付できます。

☑ 著作権情報に関するご注意

- カメラを貸したり譲渡したりする場合は、撮影者名や著作権者名の違法な使用を防ぐため、［**著作権情報添付**］を必ず［**OFF**］にしてください。また、撮影者名と著作権者名は空欄にしてください。
- ［**著作権情報**］の使用によって生じたトラブルや損害など、当社は一切責任を負いません。

☑ 画像情報に表示される著作権情報について

- 入力・添付された著作権情報は、再生画面の撮影情報にある［**著作権情報**］ページに表示されます。
- 撮影情報の［**著作権情報**］ページを表示するには、再生メニュー［**再生画面設定**］で［**撮影情報**］および［**著作権情報**］のチェックボックスをオン（☑）にしてください。

IPTC

MENUボタン➡ セットアップメニュー

IPTC情報をカメラで新規作成または編集して、撮影した静止画に添付することができます。

・パソコンで作成したIPTCプリセット（IPTC情報）をカメラに読み込んで登録することもできます。
・パソコンでIPTCプリセットを作成したり、メモリーカードに保存したりするには、IPTCプリセット登録用ソフトウェア（🕮646）をご使用ください。

IPTCプリセットの新規作成/編集

［**編集と登録**］を選んでマルチセレクターの㊉を押すと、［**編集/登録対象を選択**］画面が表示され、IPTCプリセットの新規作成または編集が行えます。

・IPTCプリセットを選んで㊉を押すと、IPTCプリセット名の変更や、内容の編集ができます。IPTCプリセットを新規作成したい場合は、「Unused」の項目を選んで㊉を押します。
- ［**登録名の変更**］：IPTCプリセット名を変更できます。
- ［**登録内容の編集**］：IPTCプリセット項目が一覧表示されます（🕮645）。項目を選ぶと、登録内容変更画面が表示されます。

・IPTCプリセットを選んで🔍ボタンを押すと、IPTCプリセットの内容を複製できます。登録先を選んでⓄⓀボタンを押し、登録名を入力してください。

登録内容の削除

［**削除**］を選んで㊉を押すと、登録したIPTCプリセットを削除できます。

登録内容の添付

［**撮影時自動付加**］を選んで㊉を押すと、図のようなIPTCプリセットの選択画面が表示されます。IPTCプリセットを選んでⓄⓀボタンを押すと、その後撮影した静止画には選んだIPTCプリセットが添付されます。［**しない**］を選ぶと、IPTCプリセットは添付されません。

画像情報に表示されるIPTCプリセットについて

- 入力・添付されたIPTCプリセットは、再生画面の撮影情報にある［**IPTC情報**］ページに表示されます。
- 撮影情報の［**IPTC情報**］ページを表示するには、再生メニュー［**再生画面設定**］で［**撮影情報**］および［**IPTC情報**］のチェックボックスをオン（☑）にしてください。

カメラに登録したIPTCプリセットをメモリーカードに保存

［**メモリーカードを使用**］>［**メモリーカードにコピー**］を選んで▶を押すと、カメラに登録されているIPTCプリセットをメモリーカードにコピーできます。IPTCプリセットとコピー先（1～99）を選んでOKボタンを押すと、選んだIPTCプリセットがメモリーカードにコピーされます。

メモリーカードに保存したIPTCプリセットをカメラに登録

［**メモリーカードを使用**］>［**カメラに登録**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、あらかじめメモリーカードに保存したIPTCプリセットを最大10個カメラに登録できます。

- カメラに登録したいIPTCプリセットを選び、OKボタンを押すと、［**登録先を選択**］画面が表示されます。選んだIPTCプリセットの内容を確認したい場合は、OKボタンの代わりに?（**?**）ボタンを押します。確認を終了して［**登録先を選択**］画面に進むにはOKボタンを押します。
- 登録先を選んでOKボタンを押すと、名前の入力画面が表示されます。🔍ボタンを押すと、選んだIPTCプリセットがカメラに登録されます。
- パソコンで作成したXMP形式のXMP/IPTCプリセットがメモリーカードに保存されている場合、上記の10個に加えて最大3個XMP/IPTCプリセットをカメ

ラに登録できます。XMP/IPTCプリセットを画像に添付した場合、再生画面の撮影情報にはIPTC情報は表示されません。また、カメラに登録したXMP形式のXMP/IPTCプリセットをメモリーカードに保存することもできません。

IPTCプリセット登録時のご注意

- カメラでは半角英数字のみ表示できます。その他の文字は、カメラでは伏せ文字で表示されますが、IPTCプリセットを添付した画像をパソコンで表示すると、正しく表示されます。
- 登録名（🕮642）は半角英数字18文字まで登録できます。IPTC プリセット登録用ソフトウェアを使ってカメラに登録する場合、IPTCプリセットの登録名が18文字以上のときは、18文字を超える文字は削除されます。
- 各IPTCプリセットには、登録可能な文字数の制限があります。下記の文字数を超える文字は削除されます。

IPTCプリセット	登録可能文字数（半角英数字）
Caption	2000
Event ID	64
Headline	256
Object Name	256
City	256
State	256
Country	256
Category	256
Supp. Cat.（Supplemental Categories）	256
Byline	256
Byline Title	256
Writer/Editor	256
Credit	256
Source	256

IPTCプリセット（IPTC情報）

IPTC情報とは、国際新聞電気通信評議会（IPTC）が作成した基準で、写真をさまざまな出版物で共有する場合に必要な情報を簡易化し、明確化するために考案されています。

IPTCプリセットをパソコンで作成するには

IPTCプリセット登録用ソフトウェアIPTC Preset Managerを使うと、パソコンでIPTCプリセットを作成して、メモリーカードに保存できます。IPTC Preset Managerは、下記ホームページからダウンロードしてインストールできます。

https://downloadcenter.nikonimglib.com/

🎧/🎤端子の機能（ヘッドホン/リモートコード端子の機能）

MENUボタン➡ セットアップメニュー

ヘッドホン/リモートコード（🎧/🎤）端子に接続して使用する機器を設定します。

- ［**自動切り換え**］に設定すると、接続した機器がヘッドホンか別売のリモートコードMC-DC3かをカメラが自動で判別します。通常は［**自動切り換え**］をお使いください。
- 4極プラグのヘッドホンを使用したときなど、［**自動切り換え**］に設定してヘッドホンが正しく動作しない場合は、［**ヘッドホン**］に設定してください。

音声メモの設定

MENUボタン➡ セットアップメニュー

音声メモ（🕮301、🕮304）に関する設定を行います。

録音の操作

カスタムメニューf3［**カスタムボタンの機能（再生）**］で［**音声メモ**］を割り当てたボタンの操作方法について設定します。

項目		内容
	［**押し続けている間録音**］	ボタンを押し続けている間のみ録音します（最長約60秒）。
	［**押して開始/終了**］	ボタンを押して録音を開始し、もう一度押すか、約60秒経過すると録音を終了します。

音声の出力（再生）

再生時の音声の出力方法を設定できます。

項目		内容
	［**スピーカー/ヘッドホン**］	カメラ本体に内蔵のスピーカーやカメラに接続中のヘッドホンで音声メモを再生します。 ・マルチセレクターの▲▼を押して、音量を［**1**］～［**15**］から選びます。 ・Ⓚボタンを押すと設定を終了します。
HDMI	［**HDMI出力**］	HDMI機器から音声メモを一定音量で出力します。
	［**出力しない**］	カスタムメニューf3［**カスタムボタンの機能（再生）**］で［**音声メモ**］を割り当てたボタンを押しても音声を出力しません。音声メモが録音されている画像には、🔇アイコンが表示されます。

電子音

MENUボタン➡ セットアップメニュー

電子音設定

電子音を鳴るようにしたり、鳴らないようにしたりできます。

・［**電子音設定**］を［**有効**］に設定すると、次の場合に電子音が鳴ります。
- セルフタイマー作動中
- インターバルタイマー撮影、タイムラプス動画撮影、およびフォーカスシフト撮影終了時
- 静止画モードでオートフォーカスのピントが合ったとき（ただし、フォーカスモードが**AF-C**の場合または**AF-A**のときに**AF-C**で撮影している場

合、またはカスタムメニューa2［**AF-Sモード時の優先**］が［**レリーズ**］の場合は、電子音は鳴りません）
- タッチパネル操作時

・［**タッチ音無効**］を選ぶと、タッチパネル操作時の電子音のみ鳴らないようにできます。
・［**無効**］を選ぶと、電子音が鳴らないようにできます。

音量

電子音の音量を設定できます。

音の高さ

電子音の音の高さを［**高音**］と［**低音**］から選べます。

サイレントモード時の電子音について
セットアップメニュー［**サイレントモード**］を［**ON**］に設定している場合、電子音が鳴らなくなります。

電子音についてのご注意
電子音同士で鳴るタイミングが重なった場合、どちらか一方の音が鳴らないことがあります。

サイレントモード

MENUボタン➡ セットアップメニュー

［**ON**］に設定すると、電子シャッターを使用して、シャッター動作による振動とシャッター音を出さずに撮影できます。

・サイレントモード中はカメラの動作音も抑えられます。ただし、完全に無音にはなりません。撮影時に絞りやオートフォーカスなどカメラの動作音がすることがあります（特に絞りをf/5.6よりも絞った（大きい数値にした）場合は、絞りによる動作音がします）。
・内蔵フラッシュや別売スピードライトは発光しません。
・カスタムメニューd6［**シャッター方式**］の設定にかかわらず、電子シャッターを使用します。
・セットアップメニュー［**電子音**］の設定にかかわらず全ての電子音を出さずに撮影できます。

- 撮影条件によっては、連続撮影速度が低下することがあります。
- 静止画撮影メニュー［**長秒時ノイズ低減**］および［**静止画フリッカー低減**］は無効になります。
- 撮影画面の表示に次のような現象が発生することがあり、これらの現象は静止画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
  - 動きのある被写体が歪む（被写体に動きがある場合、被写体が歪む／カメラ本体の動きによっては、画像が歪む）
  - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
  - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
- サイレントモード中は電子音やカメラの動作音を消して撮影できますが、被写体の肖像権やプライバシーなどに充分ご配慮の上、お客様の責任においてお使いください。

ヒント: 半押しタイマー時の動作音について

［**サイレントモード**］を［**ON**］にしていても、半押しタイマーのオンとオフが切り替わるときに動作音が出ます。半押しタイマーでの動作音を出したくない場合、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］>［**半押しタイマー**］の設定を［**制限なし**］にすることをおすすめします。

タッチ操作

MENUボタン➡ セットアップメニュー

タッチ操作の有効または無効を切り換えられます。［**再生時のみ有効**］を選ぶと、再生画面でのみタッチ操作ができます。

自分撮りモード

MENUボタン➡ セットアップメニュー

［**OFF**］にすると、画像モニターを自分撮りモードのポジションにセットしても自分撮りモードに切り替わりません。

HDMI

MENUボタン➡ セットアップメニュー

HDMI対応機器との接続時の設定を変更できます（🕮308）。

USB接続時の優先

MENUボタン➡ セットアップメニュー

カメラをパソコンとUSB接続している場合の優先項目を設定できます。

項目	内容
[**画像転送優先**]	カメラがパソコンと通信している間は画像モニターに何も表示しません。シャッターボタンを半押しすると画像モニターが点灯しますが、画像転送の速度が低下する場合があります。
[**撮影優先**]	カメラがパソコンと通信している間も画像モニターを点灯しています。画像転送の速度が低下する場合があります。

認証情報

MENUボタン➡ セットアップメニュー

このカメラが取得している認証に関する情報の一部を表示します。

USB給電

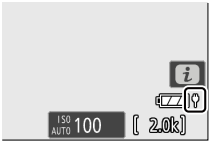
MENUボタン➡ セットアップメニュー

USB端子に接続した機器からカメラに電力の供給（給電）を行うかどうかを設定できます。給電を行うと、バッテリーの消耗を抑えながらカメラを使用できます。

項目	内容
[**ON**]	カメラの電源がONのとき、接続した機器からカメラに給電されます。電源スイッチをOFFの位置にしても、Bluetooth通信中やメモリーカードアクセスランプ点灯中は給電されます。

項目	内容
[**OFF**]	カメラの状態にかかわらず、カメラに給電されません。

- 次のいずれかの機器と接続している場合に有効です。
  - 別売のACアダプターEH-8Pと付属のUSBケーブルUC-E25（両端がType-C）
  - Type-CのUSBポートが標準装備されたパソコンとカメラ付属のUSBケーブルUC-E25両端がType-C）
  - 外部充電池（モバイルバッテリー）
- 給電を行うには、カメラにバッテリーが挿入されている必要があります。
- 給電中は、給電アイコンが撮影画面に表示されます。



パソコンからの給電について

- パソコンからカメラに給電を行う場合、パソコン側のUSB端子がType-Cであることをご確認ください。カメラとの接続には、カメラに付属のUSBケーブルUC-E25（両端がType-C）をお使いください。
- パソコンの機種や仕様によっては、カメラと接続しても給電できない場合があります。

ヒント:「給電」と「充電」について

「給電」とは、カメラに電力を供給して動作できる状態にすること、「充電」とは、バッテリー内に電力を蓄えることを意味します。接続した機器から給電または充電される条件は、次の通りです。

［USB給電］の設定	電源スイッチの位置	実施する電力供給
［**ON**］	ON（半押しタイマーオン）※	給電
	ON（半押しタイマーオフ）	充電
	OFF	充電
［**OFF**］	ON（半押しタイマーオン）※	―
	ON（半押しタイマーオフ）	充電
	OFF	充電

※　電源スイッチがOFFの位置で、Bluetooth通信中やメモリーカードアクセスランプ点灯中の場合も含みます。

パワーセーブ（静止画モード）

MENUボタン➡ セットアップメニュー

静止画モードの場合に、半押しタイマーがオフになる約15秒前から撮影画面の表示を暗くしてバッテリーの消耗を抑えます。

項目	内容
［**ON**］	パワーセーブ機能を使用します。パワーセーブ時は撮影画面がコマ落ちしたような表示になります。
［**OFF**］	パワーセーブ機能を使用しません。［**OFF**］に設定していても、半押しタイマーがオフになる数秒前は撮影画面が暗くなります。

パワーセーブについて

・［**ON**］に設定していても、次の場合はパワーセーブ機能が無効になります。
- カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］>［**半押しタイマー**］の設定が30秒未満または［**制限なし**］
- 自分撮りモード時
- 拡大表示中
- HDMI接続時
- カメラをパソコンやスマートフォンとUSB接続して通信しているとき
- ACアダプター使用時

・［**OFF**］に設定すると、バッテリーの消耗が早くなります。

カードなし時レリーズ

MENUボタン➡ セットアップメニュー

カメラにメモリーカードを入れていないときのレリーズ操作を設定できます。

項目		内容
LOCK	［**レリーズ禁止**］	メモリーカードを入れていないときは、シャッターはきれません。
OK	［**レリーズ許可**］	メモリーカードを入れていないときでも、シャッターがきれます。再生時には［**デモモード**］と表示され、画像は記録できません。

メニュー設定の保存と読み込み

MENUボタン➡ セットアップメニュー

メニューの各機能の設定データをメモリーカードに保存できます。また、メモリーカードに保存されている設定データをカメラで読み込むこともできるので、複数の同一機種を同じ設定で使う場合などに便利です。

メニュー設定の保存と読み込みができる機能

・設定を保存、読み込みできる機能は次の通りです。

メニュー設定の保存と読み込みができる機能	
静止画撮影メニュー	［**ファイル名設定**］
	［**撮像範囲設定**］
	［**階調モード**］
	［**画質モード**］
	［**画像サイズ**］
	［**RAW記録**］
	［**ISO感度設定**］
	［**ホワイトバランス**］
	［**ピクチャーコントロール**］（登録されたカスタムピクチャーコントロールは［**オート**］で保存します）
	［**ピクチャーコントロール（HLG）**］
	［**色空間**］
	［**アクティブD-ライティング**］
	［**長秒時ノイズ低減**］
	［**高感度ノイズ低減**］
	［**ヴィネットコントロール**］
	［**回折補正**］
	［**自動ゆがみ補正**］
	［**美肌効果**］
	［**人物印象調整**］
	［**静止画フリッカー低減**］
	［**高周波フリッカー低減**］
	［**測光モード**］
	［**フラッシュ発光**］

メニュー設定の保存と読み込みができる機能	
静止画撮影メニュー	［**フラッシュモード**］
	［**フラッシュ調光補正**］
	［**フォーカスモード**］
	［**AFエリアモード**］
	［**AF/MFの被写体検出設定**］
	［**MF時の被写体検出範囲**］
	［**手ブレ補正**］（設定は装着したレンズにより異なります）
	［**オートブラケティング**］
動画撮影メニュー	［**ファイル名設定**］
	［**動画記録ファイル形式**］
	［**画像サイズ/フレームレート**］
	［**ISO感度設定**］
	［**ホワイトバランス**］
	［**ピクチャーコントロール**］（登録されたカスタムピクチャーコントロールは［**オート**］で保存します）
	［**HLG画質調整**］
	［**アクティブD-ライティング**］
	［**高感度ノイズ低減**］
	［**ヴィネットコントロール**］
	［**回折補正**］
	［**自動ゆがみ補正**］
	［**美肌効果**］
	［**人物印象調整**］
	［**動画フリッカー低減**］

メニュー設定の保存と読み込みができる機能	
動画撮影メニュー	［**高周波フリッカー低減**］
	［**測光モード**］
	［**フォーカスモード**］
	［**AFエリアモード**］
	［**AF/MFの被写体検出設定**］
	［**商品レビューモード**］
	［**MF時の被写体検出範囲**］
	［**動画セルフタイマー**］
	［**手ブレ補正**］（設定は装着したレンズにより異なります）
	［**電子手ブレ補正**］
	［**マイク感度**］
	［**アッテネーター**］
	［**録音帯域**］
	［**風切り音低減**］
	［**マイク端子のプラグインパワー**］
	［**ヘッドホン音量**］
	［**タイムコード**］（［**タイムコードの起点**］を除く）
	［**外部記録制御（HDMI）**］
	［**ハイレゾズーム**］
カスタムメニュー	全メニュー
再生メニュー	［**再生画面設定**］
	［**フィルター再生の条件設定**］
	［**グループ再生の設定**］
	［**撮影直後の画像確認**］

メニュー設定の保存と読み込みができる機能	
再生メニュー	［削除後の次再生画像］
	［連続撮影後の再生画像］
	［縦横位置情報の記録］
	［画像の自動回転］
セットアップメニュー	［タイムゾーンと日時］（［日時の設定］を除く）
	［ファインダー表示サイズ］
	［モニターモードの限定］
	［画面情報の自動回転］
	［RECランプの明るさ］
	［レンズ情報手動設定］
	［距離表示単位の設定］
	［フォーカス位置の記憶］
	［ズーム位置の記憶（PZレンズ）］
	［画像コメント］
	［著作権情報］
	［IPTC］
	［∩/端子の機能］
	［音声メモの設定］
	［電子音］
	［サイレントモード］
	［タッチ操作］
	［自分撮りモード］
	［HDMI］
	［USB接続時の優先］

メニュー設定の保存と読み込みができる機能	
セットアップメニュー	［**USB給電**］
	［**パワーセーブ（静止画モード）**］
	［**カードなし時レリーズ**］
マイメニュー	登録した全メニュー
	［**このタブの機能変更**］
最近設定した項目	最近設定したメニュー（最大20項目）
	［**このタブの機能変更**］

保存

カメラの設定データをメモリーカードに保存します。メモリーカードに空き容量がない場合は、エラーメッセージが表示され、設定データは保存されません。保存された設定データは他機種のカメラとの互換性はありません。

読み込み

メモリーカードからカメラの設定データを読み込みます。メモリーカードが装着されていないときや、メモリーカードに設定データが記録されていないときは、［**読み込み**］は選べません。

☑ 設定データについてのご注意

メモリーカードに保存したカメラの設定データのファイル名は「NCSET***」です。「***」に入る文字はカメラの機種によって異なります。ファイル名を変更すると、設定データを読み込めなくなるためご注意ください。

カメラの初期化

MENUボタン➡ セットアップメニュー

セットアップメニュー［**タイムゾーンと日時**］を除く、全ての設定をリセットして初期設定に戻します。著作権情報などの撮影者が入力したデータも初期化されます。初期化した設定は元には戻せないのでご注意ください。

あらかじめセットアップメニュー［**メニュー設定の保存と読み込み**］で設定データを保存しておくことをおすすめします。

ファームウェアバージョン

MENUボタン➡ セットアップメニュー

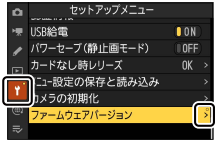
カメラを制御する「ファームウェア」のバージョンを表示します。カメラの新しいファームウェアがメモリーカードにある場合、ファームウェアのバージョンアップが行えます。

・画面に表示される記号は、それぞれ次の機器のファームウェアバージョンであることを示しています。カメラに接続していない機器のファームウェアバージョンは表示されません。
- C：カメラ
- LF/MA：レンズ（マウントアダプター装着時は「MA」が表示されます）
- S：スピードライト
- TC：テレコンバーター
- RG：リモートグリップ

ヒント: ファームウェアのバージョンアップについて

カメラのファームウェアをバージョンアップするには、次の方法があります。

- **パソコンでニコンダウンロードセンターからファームウェアを取得する場合**：ニコンダウンロードセンターで新しいバージョンのファームウェアがあるか確認できます。バージョンアップの手順については、ファームウェアのダウンロードページをご覧ください。
- **スマートフォンでSnapBridgeアプリを使用してファームウェアを取得する場合**：SnapBridgeアプリでカメラとスマートフォンをペアリング済みの場合、カメラの新しいファームウェアがあるとアプリにお知らせが表示され、スマートフォン経由でファームウェアをカメラ内のメモリーカードに転送できます。バージョンアップの手順については、SnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。お知らせが表示されるタイミングは、ニコンダウンロードセンターで公開されるタイミングと異なる場合があります。
- **Nikon Imaging Cloudからカメラにファームウェアをダウンロードする場合**：Nikon Imaging Cloudからのファームウェアバージョンアップ通知がカメラにある場合、［**ファームウェアバージョン**］に［**バージョンアップ（クラウドから）**］が表示されます。［**バージョンアップ（クラウドから）**］>［**する**］を選んでマルチセレクターの㊨を押すと、インターネット経由でファームウェアをカメラにダウンロードできます。ダウンロードが完了すると、自動的にバージョンアップを開始します。
  - カメラの新しいファームウェアをNikon Imaging Cloudからダウンロードできる場合、メニュー画面のセットアップメニュータブと［**ファームウェアバージョン**］に通知マークが表示されます。



自動バージョンアップ

［**する**］を選んで時刻を設定すると、毎日設定した時刻にカメラが自動でNikon Imaging Cloudに接続し、新しいファームウェアがあると自動でダウンロードからバージョンアップまでを行います。次の条件を全て満たす場合のみ有効になります。

- Nikon Imaging Cloudでカメラとの接続設定がオンになっている

・カメラの電源スイッチがOFFの位置になっている
・次を使用して、カメラに電力の供給（給電）が行われている
- 別売のACアダプターEH-8Pと付属のUSBケーブルUC-E25（両端がType-C）
- 外部充電池（モバイルバッテリー）

ネットワークメニュー

メニュー画面で㊽タブを選ぶと、ネットワークメニューが表示されます。

☑ カメラと接続する機器について

・ ネットワークメニューでは次のサービスおよび機器と接続するためのメニューが用意されています。
  - Nikon Imaging Cloud
  - スマートフォン
  - リモコンML-L7
  - 市販のBluetoothリモコン
  - パソコン
  - FTPサーバー
  - 他のカメラ
  - ATOMOS AirGlu BT

・ カメラと接続できる機器は1種類のみで、同時に複数の機器と接続することはできません。たとえばパソコンと接続している場合にスマートフォンと接続しようとすると、接続を解除するメッセージが表示されます。［**はい**］を選んで㊙ボタンを押すとパソコンとの接続が切断され、スマートフォンへの接続が可能になります。

ネットワークメニューの項目は次の通りです。

メニュー項目	🕮	メニュー項目	🕮
［**機内モード**］	663	［**PCと接続**］	673
［**Nikon Imaging Cloud**］	663	［**FTPサーバーと接続**］	676
［**スマートフォンと接続**］	667	［**カメラと接続**］	681
［**リモコン（ML-L7）設定**］	670	［**ATOMOS AirGlu BT設定**］	684
［**Bluetoothリモコン設定**］	671	［**USB**］	686

メニュー項目	🕮
［**接続先の周波数帯選択**］	687

メニュー項目	🕮
［**MACアドレス**］	688

機内モード

MENUボタン➡ ㊐ネットワークメニュー

［**ON**］に設定すると、BluetoothまたはWi-Fiを使った無線通信、および別売のリモコンML-L7との通信をOFFにすることができます。

Nikon Imaging Cloud

MENUボタン➡ ㊐ネットワークメニュー

無線LANアクセスポイントを経由して、カメラとニコンのクラウドサービスNikon Imaging Cloudを接続する場合に使用します。カメラに無線LANアクセスポイントとの接続設定がない場合、ネットワークメニュー［**Nikon Imaging Cloud**］を選んでマルチセレクターの㊨を押すと、自動的に［**Nikon Imaging Cloudについて**］が表示されます（🕮666）。

Nikon Imaging Cloudと接続

Nikon Imaging Cloudとの無線接続を有効にするかどうかを選べます。

- カメラに無線LANアクセスポイントとの接続設定がない場合、接続設定を作成してカメラに登録できます（🕮382）。
- 作成済みの接続設定がある場合、［**登録済みの接続先**］を選んでマルチセレクターの㊨を押すと、使用する接続設定を選べます。複数接続設定を登録した場合、接続設定の切り換えも行えます。

Wi-Fi設定

- カメラに無線LANアクセスポイントとの接続設定がない場合、接続設定を作成してカメラに登録できます（🕮382）。
- 作成済みの接続設定がある場合、使用する接続設定を選んでⓄⓀボタンを押すと、接続開始します。
- 接続設定を選んでマルチセレクターの▶を押すと、接続設定の内容を変更できます。

項目	内容
［**自動接続**］	設定済みのWi-Fi接続先をカメラが検出した場合、自動で接続を行うかどうかを設定できます。
［**TCP/IP**］	TCP/IPの情報を設定できます。IPアドレスは必ず入力してください。 ・［**自動取得**］を［**ON**］に設定すると、IPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバーまたは自動プライベートIPアドレッシングによって取得します。 ・［**OFF**］に設定した場合は［**アドレス**］（IP アドレス）と［**マスク**］（サブネットマスク）を手動で入力してください。

接続オプション

カメラの通信機能を設定できます。

▮▮ USB給電中のみ

［**ON**］に設定すると、Nikon Imaging CloudとのWi-Fi自動接続をUSB給電中のみに限定します。

▮▮ 電源OFF中のクラウドとの通信

［**ON**］に設定すると、カメラの電源をOFFにしてもWi-Fi接続を継続できます。

▮▮ 無通信時のタイムアウト

［**ON**］に設定すると、一定時間Wi-Fi通信が行われなかった場合にWi-Fi接続を終了します。

画像送信

［**ON**］に設定すると、［**画像送信オプション**］で設定されている画像を撮影したときに、自動でカメラからNikon Imaging Cloudに静止画を送信します。

画像送信オプション

カメラからNikon Imaging Cloudへの画像の送信に関する設定ができます。

■■ 撮影後自動送信指定

［**ON**］に設定すると、撮影と同時に画像を自動送信します。

- 動画はNikon Imaging Cloudに送信できません。
- 撮影された画像はいったんメモリーカードに記録され、自動的に送信設定が行われます。撮影する場合は必ずカメラにメモリーカードを挿入してください。

■■ RAW＋JPEG送信設定

RAWとJPEGを同時に記録する画質モードで撮影された画像を送信するときに、RAW画像とJPEG画像の両方を送信するか、RAW画像またはJPEG画像のみ送信するかを選べます。

■■ RAW＋HEIF送信設定

RAWとHEIFを同時に記録する画質モードで撮影された画像を送信するときに、RAW画像とHEIF画像の両方を送信するか、RAW画像またはHEIF画像のみ送信するかを選べます。

■■ フォルダー送信

選んだフォルダー内の全ての画像に送信設定をします。送信済みの画像も再送信します。

- 動画はNikon Imaging Cloudに送信できません。

■■ 全送信マーク解除

メモリーカード内の全ての画像送信マークを解除します。画像送信中の場合は、送信を中断します。

エラー情報

Nikon Imaging Cloudとの接続を行おうとしたときや接続中にエラーが発生した場合、エラーの内容とエラーコードが表示されます。エラーの対処方法については、画面に表示されるQRコードまたは下記のURLからアクセスできるサイトをご覧ください。

https://onlinemanual.nikonimglib.com/troubleshooting/ja/

Nikon Imaging Cloudについて

パソコンやスマートフォンのWebブラウザーでNikon Imaging Cloudを閲覧するためのQRコードとURLが表示されます。

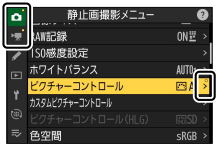
Nikon Imaging Cloudの連携解除

Nikon Imaging Cloudの接続情報を削除します。

- 本製品を譲渡/廃棄するときは、事前に接続情報を削除してください。
- 接続情報を削除すると、Nikon Imaging Cloudへの送信指定がされている画像があっても送信されなくなります。
- 接続情報の削除後に再度カメラとNikon Imaging Cloudを接続するには、［**Nikon Imaging Cloudと接続**］を［**ON**］にして新たに接続設定を作成してください（🕮382）。

ヒント: Nikon Imaging Cloudからの通知がある場合

次の場合、カメラのメニュー画面でタブやメニュー項目に図のような通知マークが表示されます。通知マークのあるメニューを表示すると、マークが消えます。

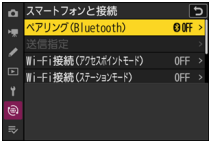


- カメラに登録してあるピクチャーコントロールがNikon Imaging Cloudにあるピクチャーコントロールと差異がある場合
- カメラの新しいファームウェアをNikon Imaging Cloudからダウンロードできる場合
- ファームウェアの自動バージョンアップが行われた場合
- カメラとNikon Imaging Cloudの接続や連携に関するエラー通知がある場合

スマートフォンと接続

MENUボタン➡ ⊕ネットワークメニュー

スマートフォンとBluetooth接続またはWi-Fi接続する場合に使用します。



ペアリング（Bluetooth）

スマートフォンとBluetooth接続します。

項目	内容
［**ペアリング開始**］	スマートフォンとのペアリングを開始します（🕮316）。
［**ペアリング済み機器**］	カメラとペアリングしたことのあるスマートフォンを表示しています。接続するスマートフォンを切り換えたい場合、ここでスマートフォンを選びます。
［**Bluetooth通信機能**］	［**ON**］を選ぶと、Bluetooth接続を開始します。

送信指定

スマートフォンに送信する静止画を指定できます。カメラで撮影後すぐにスマートフォンに送信することもできます。

項目	内容
［**撮影後自動送信指定**］	［**ON**］に設定すると、カメラで撮影した画像をスマートフォンに自動で送信します。
［**選択送信指定**］	画像を選んでスマートフォンに送信できます。選んだ画像には送信設定マークがつきます。

項目	内容
［**送信指定の一括解除**］	送信指定されている全ての画像から送信指定を解除します。

Wi-Fi接続（アクセスポイントモード）

スマートフォンとWi-Fiアクセスポイントモードで直接Wi-Fi接続します。

■■ Wi-Fi接続を開始

Wi-Fiアクセスポイントモードによる Wi-Fi接続を開始します。

- カメラのSSIDとパスワードが表示されます。スマートフォンでSSIDを選び、パスワードを入力して接続してください（🕮320）。
- Wi-Fi接続中は［**Wi-Fi接続を停止**］に変更されます。
- ［**Wi-Fi接続を停止**］を選ぶとカメラとのWi-Fi接続を停止します。

■■ Wi-Fi接続の設定

Wi-Fi関連の情報を設定できます。

項目	内容
［**SSID**］	カメラのSSIDを変更できます。
［**認証/暗号**］	Wi-Fiの認証方式を［**OPEN**］、［**WPA2-PSK**］、［**WPA3-SAE**］または［**WPA2-PSK/WPA3-SAE**］から選びます。
［**パスワード**］	カメラのパスワードを変更できます。
［**チャンネル**］	通信で使用するチャンネルを設定します。 ・［**オート**］を選ぶとカメラが自動でチャンネルを選びます。 ・［**マニュアル**］を選ぶとチャンネルを手動で設定できます。
［**現在の設定**］	現在のWi-Fi関連の設定を確認できます。
［**接続設定の初期化**］	［**はい**］を選ぶとWi-Fiの接続設定を初期化します。

Wi-Fi接続（ステーションモード）

ネットワークの接続設定をカメラに登録できます。複数接続設定を登録した場合、接続設定の切り換えも行えます。

■■新規追加

接続設定を作成できます（🕮322）。

- 作成済みの接続設定が複数ある場合、㊗ボタンを押して使用する接続設定を変更してネットワークに接続開始します。
- 接続設定を選んでマルチセレクターの▶を押すと、接続設定の内容を変更できます。

項目	内容
［**全般**］	・［**接続設定名**］：接続設定名を変更できます。 ・［**パスワードによる保護**］：［**有効**］に設定すると、接続設定の内容を変更する場合にパスワード入力が必要になります。［**有効**］を選んで▶を押すと、パスワードが設定できます。
［**TCP/IP**］	TCP/IPの情報を設定できます。IPアドレスは必ず入力してください。 ・［**自動取得**］を［**ON**］に設定すると、IPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバーまたは自動プライベートIPアドレッシングによって取得します。 ・［**OFF**］に設定した場合は［**アドレス**］（IPアドレス）と［**マスク**］（サブネットマスク）を手動で入力してください。

■■接続設定解除

現在接続しているネットワークから接続を解除します。

電源OFF中の通信

［**ON**］に設定すると、カメラとスマートフォンを無線接続している場合、カメラの電源をOFFにしてもスマートフォンとの通信を継続して画像を送信できます。

位置情報（スマートフォン）

スマートフォンから取得した緯度、経度、標高、UTC（協定世界時）を表示します。

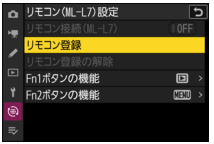
- スマートフォンから位置情報を取得する方法について、詳しくはSnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。
- お使いのスマートフォンのOSおよびSnapBridgeアプリのバージョンによっては、位置情報の取得や表示ができない場合があります。

リモコン（ML-L7）設定

MENUボタン➡ ネットワークメニュー

別売のリモコンML-L7とBluetoothで接続できます。ML-L7の**Fn1/Fn2**ボタンに機能を割り当てることもできます。

- リモコンで操作できる機能や、このカメラとリモコンの接続については「使用できるアクセサリー」にある「リモコンML-L7について」（🕮755）をご覧ください。



リモコン接続（ML-L7）

項目	内容
［**ON**］	ペアリング済みのML-L7と接続を開始します。
［**OFF**］	ML-L7との接続を解除します。

リモコン登録

ML-L7とペアリングを行います（🕮759）。

リモコン登録の解除

ペアリング済みのML-L7とペアリングを解除します。

Fn1ボタンの機能/Fn2ボタンの機能

ML-L7の**Fn1**または**Fn2**ボタンを押したときの機能を設定できます。

項目	内容
［**再生**］	再生画面を表示します。再生画面表示中にボタンを押すと撮影画面に戻ります。
［**メニュー**］	メニュー画面を表示します。
［**i メニュー**］	*i*メニューを表示します。
［**設定しない**］	ボタンを押しても機能しません。

Bluetoothリモコン設定

MENUボタン➡ ㊙ネットワークメニュー

市販のBluetoothリモコンと接続する場合に使用します。

- はじめてBluetoothリモコンを使用する場合は、カメラに登録（ペアリング）が必要です。
- Bluetoothリモコンは、1台のカメラにつき1個のみペアリングできます。最後にペアリングしたBluetoothリモコンのみ有効になります。
- 動作確認済みのBluetoothリモコンは次の通りです。
  - SmallRig 多機能ワイヤレストライポッドグリップ SR-RG2
- Bluetoothリモコンの説明書もあわせてご覧ください。

Bluetoothリモコン接続

項目	内容
［**ON**］	ペアリング済みのBluetoothリモコンと接続を開始します。
［**OFF**］	Bluetoothリモコンとの接続を解除します。

リモコン登録

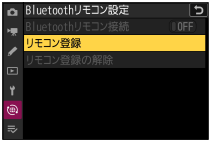
Bluetoothリモコンとペアリングを行います。

■■市販のBluetoothリモコンと接続する

初めてBluetoothリモコンを使うときには、カメラとのペアリングが必要です。

1 カメラでネットワークメニュー［Bluetoothリモコン設定］>［リモコン登録］を選び、Ⓚボタンを押す

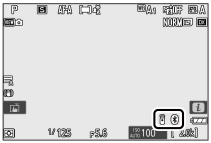
・カメラがペアリング待機中になります。



2 Bluetoothリモコンでペアリング操作をする

・カメラとBluetoothリモコンのペアリングがはじまります。

・ペアリングが完了すると、カメラとBluetoothリモコンが接続されます。撮影画面に🔋と🅱が表示されます。



ヒント: ペアリング済みのBluetoothリモコンと接続する

一度カメラとBluetoothリモコンをペアリングしておくと、次回以降のカメラ側の操作は［**Bluetoothリモコン接続**］を［**ON**］にするだけになります。

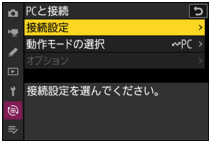
リモコン登録の解除

ペアリング済みのBluetoothリモコンとペアリングを解除します。

PCと接続

MENUボタン➡ ネットワークメニュー

カメラとパソコンを無線LANで接続する場合に使用します。



接続設定

ネットワークの接続設定をカメラに登録できます。複数接続設定を登録した場合、接続設定の切り換えも行えます。

■■ 新規追加

接続設定を作成できます（🕮337、🕮343）。

- 作成済みの接続設定が複数ある場合、⊛ボタンを押して使用する接続設定を変更してネットワークに接続開始します。
- 接続設定を選んでマルチセレクターの▶を押すと、接続設定の内容を変更できます。

項目	内容
［**全般**］	・［**接続設定名**］：接続設定名を変更できます。 ・［**パスワードによる保護**］：［**有効**］に設定すると、接続設定の内容を変更する場合にパスワード入力が必要になります。［**有効**］を選んで▶を押すと、パスワードが設定できます。

項目	内容
［無線］	無線LANで接続する接続設定に表示されます。 ・**Wi-Fiステーションモードの接続設定の場合**：接続するネットワークに合わせて、無線接続の設定を行います。 -［**SSID**］：接続するネットワークのSSIDを設定します。 -［**チャンネル**］：自動的に設定されます。 -［**認証/暗号**］：無線の暗号化方式を選びます。 -［**パスワード**］：接続するネットワークのパスワードを入力します。 ・**Wi-Fiアクセスポイントモードの接続設定の場合**：カメラの設定を変更できます。 -［**SSID**］：カメラのSSIDを変更できます。 -［**チャンネル**］：無線チャンネルを［**オート**］または［**マニュアル**］で設定できます。 -［**認証/暗号**］：無線の暗号化方式を選びます。 -［**パスワード**］：［**認証/暗号**］を［**OPEN**］以外に設定した場合、カメラのパスワードを変更できます。
［**TCP/IP**］	Wi-Fiステーションモードの接続設定の場合、TCP/IPの情報を設定できます。IPアドレスは必ず入力してください。 ・［**自動取得**］を［**ON**］に設定すると、IPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバーまたは自動プライベートIPアドレッシングによって取得します。 ・［**OFF**］に設定した場合は［**アドレス**］（IPアドレス）と［**マスク**］（サブネットマスク）を手動で入力してください。

■■ メモリーカードを使用

作成した接続設定を共有できます。

項目	内容
［**カメラに登録**］	メモリーカードのルートディレクトリにある接続設定をカメラに登録できます。
［**メモリーカードにコピー**］	カメラにある接続設定をメモリーカードにコピーできます。コピーしたい接続設定を選んで㊗ボタンを押すと、メモリーカードにコピーされます。 ・パスワードで保護されている接続設定はコピーできません。

■■ 接続設定解除

現在接続しているネットワークから接続を解除します。

動作モードの選択

カメラをネットワークに接続したときの動作モードを選べます。

項目	内容
[**PC画像送信モード**]	メモリーカードに記録した画像や、撮影直後の静止画をパソコンに保存できます。
[**カメラコントロールモード**]	NX Tetherを使用してカメラをコントロールしたり、撮影した画像をパソコンに保存できます。

オプション

カメラの通信機能を設定できます。

■■ 撮影後自動送信

[**ON**] に設定すると、撮影と同時に画像を自動送信します。

- 撮影された画像はいったんメモリーカードに記録され、自動的に送信設定が行われます。撮影する場合は必ずカメラにメモリーカードを挿入してください。
- 動画は自動送信されません。動画を送信するには、再生画面で送信設定してください（🕮249）。

■■ 送信後ファイル削除

[**ON**] に設定すると、送信終了後にメモリーカード内のファイルが自動的に削除されます。

- [**ON**] に設定するよりも前に送信設定されたファイルは、送信が終了しても削除されません。
- カメラの状態によっては、ファイルの削除を一時停止する場合があります。

■■ RAW＋JPEG送信設定

RAWとJPEGを同時に記録する画質モードで撮影された画像を送信するときに、RAW画像とJPEG画像の両方を送信するか、RAW画像またはJPEG画像のみ送信するかを選べます。

■■ RAW＋HEIF送信設定

RAWとHEIFを同時に記録する画質モードで撮影された画像を送信するときに、RAW画像とHEIF画像の両方を送信するか、RAW画像またはHEIF画像のみ送信するかを選べます。

■■ フォルダー送信

選んだフォルダー内の全ての画像に送信設定をします。送信済みの画像も再送信します。

- 動画には送信設定をしません。動画ファイルを送信するには、再生画面で送信設定してください。

■■ 全送信マーク解除

メモリーカード内の全ての画像送信マークを解除します。画像送信中の場合は、送信を中断します。

FTPサーバーと接続

MENUボタン➡ ㊙ネットワークメニュー

カメラとFTPサーバーを無線LAN接続する場合に使用します。

接続設定

ネットワークの接続設定をカメラに登録できます。複数接続設定を登録した場合、接続設定の切り換えも行えます。

■■ 新規追加

接続設定を作成できます（🕮352）。

・作成済みの接続設定が複数ある場合、⊛ボタンを押して使用する接続設定を変更してネットワークに接続開始します。
・接続設定を選んでマルチセレクターの▶を押すと、接続設定の内容を変更できます。

項目	内容
［**全般**］	・［**接続設定名**］：接続設定名を変更できます。 ・［**パスワードによる保護**］：［**有効**］に設定すると、接続設定の内容を変更する場合にパスワード入力が必要になります。［**有効**］を選んで▶を押すと、パスワードが設定できます。
［**無線**］	無線LANで接続する接続設定に表示されます。 ・**Wi-Fiステーションモードの接続設定の場合**：接続するネットワークに合わせて、無線接続の設定を行います。 -［**SSID**］：接続するネットワークのSSIDを設定します。 -［**チャンネル**］：自動的に設定されます。 -［**認証/暗号**］：無線の暗号化方式を選びます。 -［**パスワード**］：接続するネットワークのパスワードを入力します。 ・**Wi-Fiアクセスポイントモードの接続設定の場合**：カメラの設定を変更できます。 -［**SSID**］：カメラのSSIDを変更できます。 -［**チャンネル**］：無線チャンネルを［**オート**］または［**マニュアル**］で設定できます。 -［**認証/暗号**］：無線の暗号化方式を選びます。 -［**パスワード**］：［**認証/暗号**］を［**OPEN**］以外に設定した場合、カメラのパスワードを変更できます。
［**TCP/IP**］	Wi-Fiステーションモードの接続設定の場合、TCP/IPの情報を設定できます。IPアドレスは必ず入力してください。 ・［**自動取得**］：［**ON**］に設定すると、IPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバーまたは自動プライベートIPアドレッシングによって取得します。［**OFF**］に設定した場合は［**アドレス**］（IPアドレス）と［**マスク**］（サブネットマスク）を手動で入力してください。 ・［**ゲートウェイ**］：送信先のネットワークにデフォルトゲートウェイのアドレスが必要な場合に入力します。 ・［**DNSサーバー**］：FTPサーバーが属するネットワークにDNSサーバーが存在する場合に入力します。

項目	内容
［**FTP**］	・［**サーバーの種類**］：データ送信先のFTPサーバーの種類、アドレス（IPアドレスまたはURL）、フォルダー名、ポート番号を設定します。IPアドレスは必ず入力してください。 ・［**パッシブモード**］：［**ON**］を選ぶとパッシブモードで接続します。 ・［**匿名でログイン**］：［**ON**］を選ぶと匿名でFTPサーバーにログインします。FTPサーバーが匿名でのログインを許可している場合のみログインできます。［**OFF**］を選んだ場合は、ログイン名とパスワードを手動で入力してください。 ・［**プロキシ**］：必要に応じて設定します。

■■ メモリーカードを使用

作成した接続設定を共有できます。

項目	内容
［**カメラに登録**］	メモリーカード内にある接続設定をカメラに登録できます。 登録したい接続設定を選んで㊗ボタンを押すと、カメラに登録されます。
［**メモリーカードにコピー**］	カメラ内にある接続設定をメモリーカードにコピーできます。 コピーしたい接続設定を選んで▶を押すと、［**コピー先の選択**］画面が表示されます。コピー先を選んで㊗ボタンを押すと、メモリーカードにコピーされます。 ・パスワードで保護されている接続設定はコピーできません。

■■ 接続設定解除

現在接続しているネットワークから接続を解除します。

オプション

カメラの通信機能を設定できます。

■■ 撮影後自動送信

［**ON**］に設定すると、撮影と同時に画像を自動送信します。

・撮影された画像はいったんメモリーカードに記録され、自動的に送信設定が行われます。撮影する場合は必ずカメラにメモリーカードを挿入してください。
・動画は自動送信されません。動画を送信するには、再生画面で送信設定してください（🕮249）。

■■ 送信後ファイル削除

［**ON**］に設定すると、送信終了後にメモリーカード内のファイルが自動的に削除されます。
・［**ON**］に設定するよりも前に送信設定されたファイルは、送信が終了しても削除されません。
・カメラの状態によっては、ファイルの削除を一時停止する場合があります。

■■ RAW＋JPEG送信設定

RAWとJPEGを同時に記録する画質モードで撮影された画像を送信するときに、RAW画像とJPEG画像の両方を送信するか、RAW画像またはJPEG画像のみ送信するかを選べます。

■■ RAW＋HEIF送信設定

RAWとHEIFを同時に記録する画質モードで撮影された画像を送信するときに、RAW画像とHEIF画像の両方を送信するか、RAW画像またはHEIF画像のみ送信するかを選べます。

■■ 同名ファイルの上書き

［**ON**］に設定すると、送信するファイルと同じ名前のファイルが送信先フォルダー内にすでに存在する場合にファイルを上書きします。［**OFF**］に設定すると、上書きしないようにファイル名に番号を追加して送信します。

■■ 未送信画像プロテクト

［**ON**］に設定すると、画像に送信設定マークを付加したときに自動的にプロテクトを設定します。送信を終了すると、プロテクトを解除します。

■■ 送信記録の保存

［**ON**］に設定すると、画像が送信された日時をメモリーカード内の画像に記録します。

■■ フォルダー送信

選んだフォルダー内の全ての画像に送信設定をします。送信済みの画像も再送信します。

・動画には送信設定をしません。動画ファイルを送信するには、再生画面で送信設定してください。

■■ 全送信マーク解除

メモリーカード内の全ての画像送信マークを解除します。画像送信中の場合は、送信を中断します。

■■ 接続維持の優先

［**ON**］に設定すると、無線エラー、TCP/IPエラー、またはFTPエラーが発生してネットワーク接続ができなかった場合に、約15秒後に再度ネットワーク接続処理を行います。接続処理はカメラがネットワークに接続されるまで繰り返し行われます。

・［**ON**］に設定すると、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］>［**半押しタイマー**］の設定にかかわらず、半押しタイマーはオフになりません。バッテリーの消耗が早くなります。

■■ ルート証明書の管理

FTPSサーバーと接続するためのルート証明書の読み込みや、読み込んだルート証明書の管理を行えます。

・ルート証明書の取得方法については、接続するFTPSサーバーのネットワーク管理者にご確認ください。

項目	内容
[**ルート証明書の読み込み**]	メモリーカードに保存したルート証明書をカメラに読み込みます。 ・ルート証明書は、必ずメモリーカードのルートディレクトリ（一番上の階層）にコピーしてください。 ・カメラには、ファイル名が「ROOT.CER」、「ROOT.CRT」、「ROOT.PEM」のルート証明書のみ読み込めます。 ・カメラに登録できるルート証明書は1つのみです。ルート証明書を読み込み直すと、現在のルート証明書に上書きされます。 ・自己署名証明書を使用して接続する場合、接続先のサーバーを信頼できないおそれがあります。
[**ルート証明書の削除**]	カメラに登録したルート証明を削除します。
[**ルート証明書の情報確認**]	カメラに登録したルート証明の内容を表示します。
[**認証エラー時の接続**]	[**ON**] に設定すると、一部の認証エラーが許容されます。

カメラと接続

MENUボタン➡ ㊐ネットワークメニュー

カメラ同士を接続して連動レリーズする場合や日時を同期する場合に使用します。

連動レリーズ

[**ON**] に設定すると、ネットワーク上に接続しているカメラと連動してシャッターをきれます。

接続設定

ネットワークの接続設定をカメラに登録できます。複数接続設定を登録した場合、接続設定の切り換えも行えます。

■■ 新規追加

接続設定を作成できます（🕮395）。

- 作成済みの接続設定が複数ある場合、㊎ボタンを押して使用する接続設定を変更してネットワークに接続開始します。
- 接続設定を選んでマルチセレクターの▶を押すと、接続設定の内容を変更できます。

項目	内容
［**全般**］	・［**接続設定名**］：接続設定名を変更できます。 ・［**パスワードによる保護**］：［**有効**］に設定すると、接続設定の内容を変更する場合にパスワード入力が必要になります。［**有効**］を選んで▶を押すと、パスワードが設定できます。
［**TCP/IP**］	TCP/IPの情報を設定できます。IPアドレスは必ず入力してください。 ・［**自動取得**］を［**ON**］に設定すると、IPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバーまたは自動プライベートIPアドレッシングによって取得します。 ・［**OFF**］に設定した場合は［**アドレス**］（IPアドレス）と［**マスク**］（サブネットマスク）を手動で入力してください。

■■ メモリーカードを使用

作成した接続設定を共有できます。

項目	内容
［**カメラに登録**］	メモリーカードのルートディレクトリにある接続設定をカメラに登録できます。
［**メモリーカードにコピー**］	カメラにある接続設定をメモリーカードにコピーできます。コピーしたい接続設定を選んで㊎ボタンを押すと、メモリーカードにコピーされます。 ・パスワードで保護されている接続設定はコピーできません。

■■ 接続設定解除

現在接続しているネットワークから接続を解除します。

マスター/リモート選択

カメラをマスターカメラにするか、リモートカメラにするかを設定できます。マスターカメラに設定したカメラのシャッターをきると、同一ネットワーク上で同じグループ名に設定したリモートカメラのシャッターも連動してきれます。

グループ設定

連動レリーズを行うカメラのグループを設定できます。

- ［**マスター/リモート選択**］を［**マスターカメラ**］に設定した場合のみ設定できます。
- 作成済みのグループを選び⊛を押すと、グループの設定を変更できます。

項目	内容
［**表示名**］	グループを選択するときなどに表示される名前を設定します。表示名は32文字まで入力できます。
［**グループ名**］	グループ名を設定します。グループ名は8文字まで入力できます。
［**リモートカメラリスト**］	リモートカメラの状態を確認できます（🕮406）。

■■ 新規追加

連動レリーズを行うカメラのグループを作成できます（🕮395）。

■■ メモリーカードを使用

作成した連動レリーズを行うカメラのグループを共有できます。

項目	内容
［**カメラに登録**］	メモリーカード内にあるグループをカメラに登録できます。 登録したいグループを選んでOKボタンを押すと、カメラに登録されます。
［**メモリーカードにコピー**］	カメラ内にあるグループをメモリーカードにコピーできます。 コピーしたいグループを選んで▶を押すと、［**コピー先の選択**］画面が表示されます。コピー先を選んでOKボタンを押すと、メモリーカードにコピーされます。

グループ名

リモートカメラのグループ名を設定します。同一ネットワーク上に接続したカメラの中で、同じグループ名に設定したマスターカメラと連動レリーズします。

・［**マスター/リモート選択**］を［**リモートカメラ**］に設定した場合のみ設定できます。

日時を同期

マスターカメラに設定されている日時に合わせてリモートカメラの内蔵時計を合わせます（🕮408）。

著作権情報の上書き

実行すると、現在接続しているグループ内のリモートカメラの著作権情報を、マスターカメラに設定されている著作権情報に上書きします。

ATOMOS AirGlu BT設定

MENUボタン➡ 🌐ネットワークメニュー

Atomos社のAirGluアクセサリーUltraSync BLUEにBluetoothでカメラを無線接続できます。

・UltraSync BLUEには対応するカメラや録音機器を複数台同時に無線接続できます。無線接続しているすべての撮影機器がUltraSync BLUEからタイムコードを取得することで、複数メーカーの撮影機材が混在している環境で

もタイムコードを同期できます。UltraSync BLUEに接続できる機器の台数については、Atomos社のホームページでご確認ください。

項目	内容
［**ATOMOS AirGlu BTと接続**］	ペアリング済みのUltraSync BLUEとBluetoothで無線接続します。
［**ATOMOS AirGlu BTの登録**］	UltraSync BLUEとペアリングを開始します。 ・画像モニターにカメラ名が表示されます。 ・UltraSync BLUEを操作して、カメラとペアリングを行ってください。詳しくはUltraSync BLUEの説明書を参照してください。
［**ATOMOS AirGlu BTの解除**］	UltraSync BLUEとカメラの無線接続を解除します。
［**カメラ名**］	UltraSync BLUEに表示するカメラ名を設定できます。

- UltraSync BLUEと無線接続後、動画撮影メニュー［**タイムコード**］>［**タイムコード記録**］を［**する**］または［**する（HDMI外部出力あり）**］に設定するとタイムコードの取得を開始します。タイムコードが取得されると、撮影画面に表示されます。
- 撮影画面に「--:--:--:--」（HDMI外部機器出力時は「00:00:00.00」）と表示されている場合、タイムコードが取得できていません。タイムコード未取得の状態で動画の記録を開始すると、タイムコードは記録されません。

UltraSync BLUEを使用したタイムコード取得時のご注意

- 動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］を［**H.264 8-bit（MP4）**］に設定している場合、タイムコードは記録できません。
- UltraSync BLUEにもフレームレートを設定する機能があります。カメラで設定した動画のフレームレートとUltraSync BLUEで設定したフレームレートが合っていない場合、タイムコードの記録およびタイムコードのHDMI外部出力がされません。撮影する動画のフレームレートによって、UltraSync BLUEのフレームレートを次のように設定してください。

撮影する動画のフレームレート	UltraSync BLUEのフレームレート
120p、60p、30p	29.97fps、29.97fpsDF
100p、50p、25p	25fps
24p	23.98fps

  - ドロップフレーム方式で撮影する場合、29.97fpsDFに設定してください。
  - 設定方法はUltraSync BLUEの説明書を参照してください。
- UltraSync BLUEと無線接続中は動画撮影メニュー［**タイムコード**］の［**カウントアップ方式**］、［**タイムコードの起点**］および［**ドロップフレーム**］の設定は変更できません。
- UltraSync BLUEとの無線接続が解除された場合、約60秒後に撮影画面のタイムコードの表示が「--:--:--:--」に変更されますが、記録中の動画には継続した値のタイムコードが記録されます。再度UltraSync BLUEと無線接続されると、タイムコードが撮影画面に表示されます。
- UltraSync BLUEと無線接続中にカメラの電源をOFFにするか、半押しタイマーがオフになると無線接続が解除されます。カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］>［**半押しタイマー**］の設定は［**制限なし**］にすることをおすすめします。

USB

MENUボタン➡ ㊦ネットワークメニュー

カメラのUSB端子を使用して他の機器と通信する場合の設定を選べます。

- USBケーブルでパソコンまたはAndroid端末と接続する場合は、［**MTP/PTP**］に設定してください。
- カメラとiPhoneをケーブルで接続してNX MobileAirアプリを使用する場合は、［**iPhone**］に設定してください。

- 両端がType-CのUSBケーブルを使用する場合は、カメラに付属のUC-E25をご使用ください。
- USB-C to Lightningケーブルを使用する場合は、NX MobileAirアプリのヘルプをご覧いただき、使用できるケーブルをご確認ください。

・ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続してストリーミングを行う場合は、［**USBストリーミング（UVC/UAC）**］に設定してください。

［iPhone］に設定している場合のご注意

iPhoneとの接続の有無にかかわらず、［**iPhone**］に設定している場合、次の機能が無効になります。これらの機能を使うには、［**MTP/PTP**］に設定してください。

・ カメラに内蔵されている通信機能
・ 別売のACアダプターEH-8PやUSBケーブルを使用した給電とバッテリーの充電

接続先の周波数帯選択

MENUボタン➡ ネットワークメニュー

Wi-Fiステーションモードでネットワークに無線接続する場合に、接続するSSIDの周波数帯を選べます。［**2.4GHz/5GHz**］に設定すると、両方の周波数帯のSSIDに接続できます。

・ カメラ周辺の無線LANアクセスポイントを検索する場合に、設定した周波数帯のSSIDだけを検索します。
・ 周波数帯はSSIDの左側に表示されるアイコンで確認できます。
・ 2.4GHzと5GHz両方の電波を同一のSSIDで出力している無線LANアクセスポイントの場合、［**2.4GHz/5GHz**］に設定しているときはカメラが認識した周波数帯のSSIDが表示されます。

MACアドレス

MENUボタン➡ ㊐ネットワークメニュー

MACアドレスが表示されます。

マイメニュー/最近設定した項目

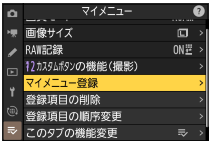
メニュー画面で☰タブを選ぶと、［**マイメニュー**］画面が表示されます。

マイメニュー：よく使うメニューを登録する

再生、静止画撮影、動画撮影、カスタム、セットアップ、ネットワーク、画像編集の各メニューから、よく使う項目だけを選んで、20項目までマイメニューに登録できます。登録した項目は、削除したり、表示順序を変えたりできます。

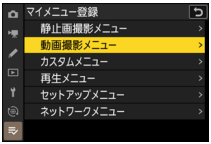
■■マイメニューを登録する

1 **［☰マイメニュー］画面で［マイメニュー登録］を選ぶ**



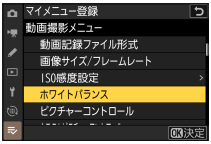
［**マイメニュー登録**］を選んで、マルチセレクターの▶を押します。

2 登録したいメニューを選ぶ



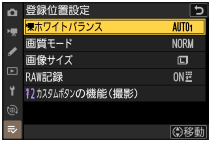
登録したいメニューを選んで▶を押すと、選んだメニューが一覧表示されます。

3 マイメニューに登録する項目を選ぶ



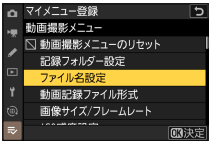
マイメニューに登録する項目を選んでⓄKボタンを押します。

4 登録する項目の表示位置を選ぶ



▲▼で登録する項目の表示位置を選んで、Ⓞボタンを押します。

5 マイメニューに表示したい全ての項目を登録する



・✔が表示されている項目は、すでにマイメニューに登録済みです。
・左横に☒が表示されている項目は、マイメニューに登録できません。
・手順1～4を繰り返して、マイメニューに表示したい項目を登録します。

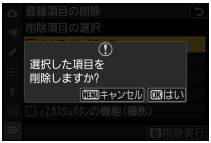
■登録した項目を削除する

1 **［マイメニュー］画面で［登録項目の削除］を選ぶ**
［**登録項目の削除**］を選び、マルチセレクターの▶を押します。

2 **削除したいメニュー項目を選ぶ**

・Ⓚボタンを押すか▶を押すと、項目のチェックボックスが☑になります。
・削除したい全ての項目に✔を入れます。

3 選んだ項目を削除する



🗑ボタンを押すと、確認画面が表示されます。Ⓚボタンを押すと、選んだ項目が削除されます。

☑ 登録した項目をボタン操作で削除するには

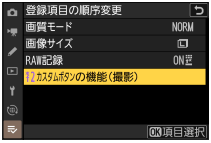
［**マイメニュー**］画面で削除したい項目を選んで🗑ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度🗑ボタンを押すと、選んだ項目を削除します。

■■登録した項目の表示順序を変える

1 ［マイメニュー］画面で［登録項目の順序変更］を選ぶ

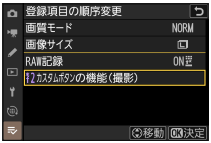
［**登録項目の順序変更**］を選び、マルチセレクターのⒷを押します。

2 順番を変えたい項目を選ぶ



順番を変えたい項目を選んで、Ⓚボタンを押します。

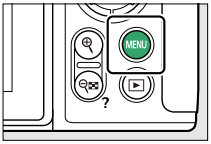
3 選んだ項目を移動したい位置を選ぶ

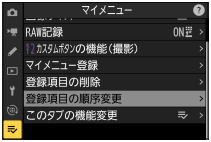


- ⊕⊖で移動したい位置を選んで、OKボタンを押すと、マイメニューの中で位置が変わります。
- 必要に応じて手順2～3を繰り返します。

4 [マイメニュー] 画面に戻る

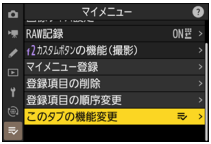
MENUボタンを押すと、[**マイメニュー**] 画面に戻ります。





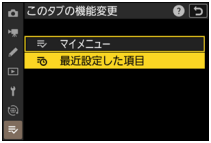
■■マイメニューの機能を［最近設定した項目］に変更する

1 **［マイメニュー］画面で［このタブの機能変更］を選ぶ**



［**このタブの機能変更**］を選び、マルチセレクターの▶を押します。

2 **［最近設定した項目］を選ぶ**

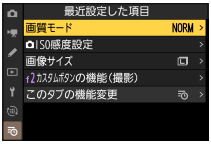


- ［**このタブの機能変更**］画面で［**最近設定した項目**］を選んで、Ⓚボタンを押します。
- ［**マイメニュー**］が［**最近設定した項目**］に切り替わり、メニューのタブのアイコンもから に切り替わります。

最近設定した項目：最近設定したメニューをたどる

■■［最近設定した項目］の設定方法

メニューを設定するたびに［**最近設定した項目**］に追加されます。最大20項目まで登録されます。



☑ 最近設定した項目を削除するには

［**最近設定した項目**］画面で削除したい項目を選んで🗑ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度🗑ボタンを押すと、選んだ項目を削除します。

☑ ［最近設定した項目］からマイメニューに戻すには

［**最近設定した項目**］>［**このタブの機能変更**］を選ぶと「マイメニューの機能を［最近設定した項目］に変更する」（🕮694）の手順2と同じ画面が表示されます。［**マイメニュー**］を選んでⓀボタンを押すと、マイメニューに切り替わります。

困ったときは

お問い合わせになる前に

カメラの動作がおかしいときは、次の手順を行うことで問題が解決する場合があります。ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前にお試しください。

STEP 1

カメラの動作がおかしいときの対処方法を確認して、カメラを点検する。

次のページで対処方法が確認できます。

- 故障かな？と思ったら（🕮698）
- 警告表示と警告メッセージ（🕮709）

STEP 2

電源をOFFにしてバッテリーを取り出し、約1分後に再度バッテリーを入れてカメラの電源をONにする。

✅ 撮影直後はメモリーカードに画像の記録を行っている場合があります。バッテリーを取り出すまで、撮影後は1分以上お待ちください。

STEP 3

ニコンのホームページを確認する。

- サポートサイトのQ&Aなどで解決方法を探すことができます。
  https://www.nikon-image.com/support/
- ニコンダウンロードセンターで、カメラの最新のファームウェアを確認してください。
  https://downloadcenter.nikonimglib.com/

STEP 4

ニコンサービス機関に問い合わせる。

☑ カメラの初期化について

- 機能の組み合わせによって、使用したい機能（メニュー項目）が設定できない場合があります。使用したいメニュー項目がグレーアウトしているときなどにセットアップメニュー［**カメラの初期化**］を実行すると、メニューが選べるようになることがあります。
- カメラを初期化すると、無線接続設定や著作権情報などの撮影者が入力したデータも初期化されます。初期化した設定は元に戻せないのでご注意ください。

故障かな？と思ったら

次のような症状が発生した場合の対処法については、こちらをご覧ください。

電源・表示関連

●電源ONの状態で、カメラの操作ができない

- 画像の記録などの処理が終わるまでお待ちください。
- 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。
- 電源がOFFにならない場合は、バッテリーを入れ直してください。
- ACアダプター使用時は付け直してください。
  - 記録中であったデータは保存されません。
  - 保存済みのデータはバッテリーやACアダプターの取り外しでは失われません。

●ファインダーまたは画像モニターが表示されない

- モニターモードを変更していませんか？**INFO**ボタンを押して、表示設定を切り換えてください。
- セットアップメニュー［**モニターモードの限定**］で表示設定を限定していませんか？適切な表示設定に変更してください。
- アイセンサーにゴミやほこりなどが付着していると、アイセンサーが正しく反応しない場合があります。ブロアーで軽く吹き払ってください。

●ファインダーまたは画像モニターの表示が意図せず変更されている

DISPボタンを押しませんでしたか？ 再生時や撮影時に**DISP**ボタンを押すと、ファインダーまたは画像モニターの表示が切り替わります（🕮222、🕮558、🕮559）。

●ファインダー内がはっきり見えない

- ファインダー内の見え方は、視度調節ダイヤルを回して調節できます。
- 視度調節しても被写体がはっきり見えない場合は、フォーカスモードを**AF-S**、AFエリアモードをシングルポイントAFに設定します。次に、中央のフォーカスポイントを選んで、コントラストの高い被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。その状態で被写体が最もはっきり見えるように調節してください。

●ファインダー内や画像モニターの表示が、すぐに消えてしまう

カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］で、表示が消えるまでの時間を設定できます。

●ファインダー内の表示が遅い

半押しタイマーがオフになる約20秒前からコマ落ちしたような表示になります。半押しタイマーの作動時間は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］>［**半押しタイマー**］で変更できます。

撮影関連

●電源をON**にしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる**

メモリーカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合があります。

●シャッターがきれない

- 残量のあるメモリーカードが入っていますか？
- 撮影モード**M**でシャッタースピードを**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）に設定し、そのまま撮影モードを**S**に変更した場合は、シャッタースピードを再設定してから撮影してください。
- セットアップメニュー［**カードなし時レリーズ**］が［**レリーズ禁止**］になっていませんか？

●シャッターがきれるのが遅い

カスタムメニューd5［**露出ディレーモード**］を［**しない**］にしてください。

●連続撮影できない

- HDR撮影時は、連続撮影できません。
- 内蔵フラッシュ撮影時は、レリーズモードを［**低速連続撮影**］、［**高速連続撮影**］または［**高速連続撮影（拡張）**］に設定しても、連続撮影にはなりません。「ハイスピードフレームキャプチャー+」に設定した場合はフラッシュが発光禁止になり、連続撮影になります。

●ピントが合わない

- マニュアルフォーカスになっていませんか？　オートフォーカスで撮影するには、フォーカスモードを**AF-A**、**AF-S**、**AF-C**または**AF-F**に設定してください。
- 次のような被写体では、オートフォーカスではピントが合わせづらい場合があります。
  - 画面の長辺側と平行な線の被写体

- 明暗差の少ない被写体
- フォーカスポイント内の被写体の輝度が著しく異なる場合
- イルミネーション、夜景などの点光源や、ネオンなど明るさが変化する被写体
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が見える場合
- クロスフィルターなど、特殊なフィルターを使用した場合
- フォーカスポイントに対して被写体が小さい場合
- 連続した繰り返しパターンの被写体（ビルの窓やブラインドなど）

・フォーカスモードが**AF-C**の場合、シャッターボタンの半押しを続けている間にフォーカスポイントが点滅し、ピント合わせができなくなることがあります。一度ボタンを放してから押し直すと、再度ピント合わせができるようになります。

●電子音が鳴らない

・フォーカスモードを**AF-C**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-C**で撮影している場合、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。
・セットアップメニュー［**サイレントモード**］を［**ON**］にすると、電子音が鳴りません。
・セットアップメニュー［**電子音**］>［**電子音設定**］を［**無効**］以外に設定すると電子音が鳴ります。
・動画モード時は電子音は鳴りません。

●設定できるシャッタースピードの範囲が狭い

フラッシュ撮影時は、シャッタースピードが制限されます。フラッシュ撮影時の同調シャッタースピードは、カスタムメニューe1［**フラッシュ撮影同調速度**］で、1/200〜1/60秒の範囲で設定できます。［**1/250秒（オートFP）**］または［**1/200秒（オートFP）**］に設定して、別売のオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを使用すると、1/4000秒（カスタムメニューd6［**シャッター方式**］が［**電子先幕シャッター**］の場合は1/2000秒）までのシャッタースピードに同調可能なオートFPハイスピードシンクロが可能です。

●シャッターボタンを半押ししても、フォーカスロックされない

フォーカスモードを**AF-C**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-C**で撮影している場合、AF-ON（ON）ボタンを押してフォーカスをロックしてください。

●フォーカスポイントを選べない

AFエリアモードが［**オートエリアAF**］のときは、選べません。

●画像の記録に時間がかかる

静止画撮影メニュー［**長秒時ノイズ低減**］が［**ON**］になっていませんか？

●撮影画面に表示された明るさと、撮影した画像の明るさ（露出）が違う

・カスタムメニューd10［**ビューモード設定（静止画Lv）**］を［**見やすさを重視**］に設定すると、露出や色味の設定を変えても画像モニターの表示には反映されません。d10を［**撮影設定を優先**］>［**フラッシュ使用時を含まない**］に設定して、内蔵フラッシュを使用したりカメラにスピードライトを接続したりして発光可能な状態になった場合も、撮影画面の明るさは［**見やすさを重視**］選択時と同様になります。

・セットアップメニュー［**モニターの明るさ**］または［**ファインダーの明るさ**］で撮影画面の明るさを調整しても、撮影した画像には反映されません。

●動画モード時に画面にちらつきや横縞が生じる

動画撮影メニュー［**動画フリッカー低減**］の設定を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせてください。

●横帯状の明るい部分が生じる

撮影している周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合には、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生することがあります。

●画像にゴミが写り込む

・レンズの前面または背面（マウント側）が汚れていませんか？

・撮像素子の前面にゴミが付着していませんか？ 「撮像素子前面をブロアーで掃除する」（🕮762）をご覧いただくか、ニコンサービス機関にご相談ください。

●ゴースト、フレアが目立つ

太陽や高輝度の照明などの明るい光源が含まれるなどのシーンを撮影したときに、画像上にゴーストやフレアが目立つ場合があります。レンズにフードを付ける、あるいは光源を画角から大きく外すことで目立ちにくくなります。また、レンズからフィルターを外す、シャッタースピードを変更するなどを試していただくと目立ちにくくなることがあります。

●ボケ像が欠けて写る

高速のシャッタースピードや大口径レンズを使用した撮影では、ボケ像が欠けて写ることがあります。ボケ像の欠けが気になるときは、シャッタースピードを遅くしたり、絞り値を大きくすると目立たなくなります。

●撮影が開始されなかったり、自動的に終了する

・次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、自動的に終了することがあります。
- 撮影時の気温が高い場合
- 動画撮影を長時間行った場合
- 連続撮影を行った直後など

・カメラが熱くなって撮影できない場合は、カメラ内部の温度が下がるまで電源をOFFにしてください。このとき、カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障ではありません。

●撮影画面にノイズ（ざらつき、むら、すじ、輝点）が発生する

・ISO感度やシャッタースピード、アクティブD-ライティングなどのカメラの設定を変更してください。

・長時間露出撮影や、カメラが高温になるような環境で撮影をする場合、ISO感度を高く設定しているとノイズが強調されることがあります。

・長時間カメラを使用すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ざらつき、むら、輝点が発生する場合があります。撮影時以外は、電源をOFFにしてください。

・撮影時、🔍ボタンで表示を拡大すると、ざらつき、むら、すじや色の変化が発生しやすくなります。

・撮影した画像に発生するノイズは、撮影画面で表示されたノイズと見え方が異なることがあります。

・撮像素子のチェックと最適化を行うと改善されることがあります。セットアップメニュー［**ピクセルマッピング**］を実行してください。

●ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータが取得できない

被写体が明るすぎるか、暗すぎます。

●ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータとして設定できない画像がある

この機種以外のカメラで撮影した画像は、プリセットマニュアルデータとして設定することはできません。

●ホワイトバランス（WB）ブラケティング撮影ができない

・RAWを含む画質モードの場合、ホワイトバランスブラケティング撮影はできません。

・ホワイトバランスブラケティングと多重露出またはHDR合成による撮影を同時に行うことはできません。

●［ピクチャーコントロール］の効果が安定しない

［**ピクチャーコントロール**］、［**カスタムピクチャーコントロール**］が［**オート**］に設定されているか、それぞれの調整画面で［**クイックシャープ**］、［**コントラスト**］、［**色の濃さ（彩度）**］のいずれかが［**A**］（オート）に設定されています。ピクチャーコントロールの効果を一定にするには、これらの項目を［**A**］（オート）以外に設定してください。

●測光モードが変更できない

AEロック中は、測光モードを変更できません。

●露出補正ができない

撮影モードが**M**の場合、露出補正を行っても、露出インジケーターの表示が変わるだけで、シャッタースピードと絞り値は変化しません。

●長時間露出撮影時に色むらが発生する

シャッタースピードを**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）にした場合など、長時間露出で撮影すると、画像に色むらが発生することがあります。この現象は、静止画撮影メニュー［**長秒時ノイズ低減**］を［**ON**］に設定することで低減できます。

●AF補助光ランプが光らない

- カスタムメニューa11［**内蔵AF補助光の照射設定**］が［**OFF**］になっていませんか？
- 動画モード時はAF補助光は照射しません。
- フォーカスモードが**AF-C**（**AF-A**に設定して**AF-C**で撮影時も含む）および**MF**の場合、AF補助光は照射しません。

●動画に音声が録音されない

- 動画撮影メニュー［**マイク感度**］が［**録音しない**］になっていませんか？
- 動画撮影メニュー［**マイク感度**］の［**マニュアル**］で、低い感度に設定されていませんか？

再生関連

●RAW画像が表示されない

［**画質モード**］を［**RAW＋FINE**］、［**RAW＋NORMAL**］、［**RAW＋BASIC**］にして撮影した画像は、JPEG画像またはHEIF画像しか再生されません。

●他のカメラで撮影した画像が表示されない

この機種以外のカメラで撮影した画像は、正常に表示されないことがあります。

●全ての画像が表示されない

再生メニュー［**再生フォルダー設定**］を［**全てのフォルダー**］にしてください。

●画像の縦位置・横位置が正しく表示されない

- 再生メニュー［**画像の自動回転**］が［**OFF**］になっていませんか？
- 撮影直後の画像確認では自動回転はしません。
- カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

●HLG（HEIF形式）で撮影した画像が正しく表示されない

［**階調モード**］を［**HLG**］にして撮影した画像を外部機器に出力したりパソコンに保存したりして表示すると、正常に表示されない場合があります。HLG対応の外部機器やパソコンを使用してください。パソコンで再生する場合、詳しくは下記URLをご覧ください。

https://onlinemanual.nikonimglib.com/notice/hlg_setting_guide/ja/

●画像が削除できない

画像にプロテクトが設定されていませんか？

●画像が編集できない

- このカメラでは編集できない画像です。
- メモリーカードの残量は充分にありますか？

●画像を記録したのに［撮影画像がありません。］と表示される

再生メニュー［**再生フォルダー設定**］を［**全てのフォルダー**］にしてください。

●RAW画像をプリントできない

- 再生時の***i***メニュー［**画像編集**］>［**RAW現像（表示画像）**］または［**RAW現像（複数画像）**］などでRAW画像からJPEG画像またはHEIF画像を作成してからプリントしてください。
- RAW画像はパソコンに転送してから、NX Studioなどのソフトウェアを使ってプリントしてください。

●画像がHDMI対応機器で再生できない

HDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください。

●画像がHDMI対応機器で正しく表示されない

- HDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- [**階調モード**]を[**HLG**]にして撮影した静止画は、HLG非対応の外部機器では正しく表示されません。
- 動画再生時に動画撮影メニュー[**外部記録制御（HDMI）**]が[**ON**]になっていると、正しく表示されないことがあります。
- セットアップメニュー[**カメラの初期化**]を実行すると正しく表示されることがあります。

●[ピクチャーコントロール]、[ピクチャーコントロール（HLG）]、[アクティブD-ライティング]、[ヴィネットコントロール]などの効果がパソコンで確認できない

RAW画像で記録した場合、当社製ソフトウェア以外では機能しません。RAW画像の現像はNX Studioをお使いください。

●画像をパソコンに転送できない

お使いのパソコンのOSによっては、カメラをパソコンに接続して画像を転送できないことがあります。カードリーダーなどの機器を使って、メモリーカードの画像をパソコンに保存してください。

Wi-Fi（無線LAN）およびBluetooth関連

●スマートフォンにカメラのSSID（ネットワーク名）が表示されない

- ネットワークメニューの[**機内モード**]が[**OFF**]になっていること、および[**スマートフォンと接続**]>[**ペアリング（Bluetooth）**]>[**Bluetooth通信機能**]が[**ON**]になっていることを確認してください。
- ネットワークメニュー[**スマートフォンと接続**]>[**Wi-Fi接続（アクセスポイントモード）**]が有効になっていることを確認してください。
- スマートフォンの無線機能をOFFにしてからONにし直してください。
- カメラが高温になると表示されない場合があります。温度が下がってから再度試してください。

●プリンターなどの無線通信機器と接続できない

このカメラは、スマートフォンやパソコン、リモコンML-L7、市販のBluetoothリモコン以外の機器とは無線接続できません。

●画像がスマートフォンに自動送信できない

・SnapBridgeアプリの[●]タブで［**自動連携**］>［**連携モード**］を［**フォアグラウンド**］に設定している場合、SnapBridgeアプリを起動していても他の画面が表示されている状態（バックグラウンドで起動中）は自動転送されません。SnapBridgeアプリの画面がスマートフォンに表示されている状態（SnapBridgeアプリがフォアグラウンドで起動中）で使用してください。
・カメラとスマートフォンがペアリングされていることを確認してください。
・カメラとスマートフォンがBluetooth通信可能な状態か確認してください。
・SnapBridgeアプリで画像の転送サイズを8Mピクセルに設定している場合、カメラで動画を再生しているときや画像を編集しているときなど、カメラの状態によっては画像の転送が中断されることがあります。カメラの動作を止めてから、再度転送を行ってください。

●位置情報がスマートフォンから取得できない

・お使いのスマートフォンのOSおよびSnapBridgeアプリのバージョンによっては、位置情報の取得や表示ができない場合があります。
・SnapBridgeアプリの[●]タブで［**自動連携**］>［**連携モード**］を［**フォアグラウンド**］に設定している場合、位置情報はカメラに送られません。位置情報は、カメラから静止画が転送された後に、スマートフォン側で静止画に記録されます。

●カメラが高温になるとパソコンやスマートフォンと接続できない

・カメラが高温になると、電波出力が停止されます。その場合、撮影画面のWi-Fi通信マークが速く点滅します。
・パソコンやスマートフォンと再度無線接続を行う場合は、カメラの温度が下がるまでお待ちください。

その他

●撮影日時が正しく表示されない

カメラの内蔵時計は合っていますか？　カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないため、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

●表示されているメニュー項目が選べない

一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によって選べない場合があります。

●ネットワークメニュー［リモコン（ML-L7）設定］が選べない、［リモコン（ML-L7）設定］の［リモコン登録］でリモコンML-L7とペアリングできない

・充分に充電されたバッテリーを使用してください。
・ネットワークメニュー［**機内モード**］が［**OFF**］になっていることを確認してください。
・ネットワークメニュー［**USB**］が［**MTP/PTP**］になっていることを確認してください。
・カメラを他の機器とUSB接続、Bluetooth接続、およびWi-Fi接続している場合はリモコンを使用できません。他の機器との接続を解除してください。
・カメラが高温になるとリモコンと接続できない場合があります。温度が下がってから再度試してください。

●リモコンML-L7を操作してもカメラが反応しない

・カメラとリモコンML-L7が接続されていません。リモコンの電源ボタンを押して接続してください。撮影画面に が表示されていない場合は、再度ペアリングして接続してください（🕮755）。
・ネットワークメニュー［**リモコン（ML-L7）設定**］の［**リモコン接続（ML-L7）**］が［**ON**］になっていることを確認してください。
・ネットワークメニュー［**USB**］が［**MTP/PTP**］になっていることを確認してください。
・ネットワークメニュー［**機内モード**］が［**OFF**］になっていることを確認してください。
・カメラを他の機器とUSB接続、Bluetooth接続、およびWi-Fi接続している場合はリモコンを使用できません。他の機器との接続を解除してください。
・リモコン使用時にスマートフォンやパソコンとの接続により、リモコンとの接続が解除されてしまった場合は、ネットワークメニュー［**リモコン（ML-L7）設定**］>［**リモコン接続（ML-L7）**］で［**ON**］を選び直してください。
・カメラが高温になるとリモコンと接続できない場合があります。温度が下がってから再度試してください。

●カメラのUSB端子に他の機器を有線接続しても通信できない

ネットワークメニュー［**USB**］の設定は正しいですか？
・USBケーブルでパソコンまたはAndroid端末と接続する場合：［**MTP/PTP**］
・パソコンと接続してストリーミングを行う場合：［**USBストリーミング（UVC/UAC）**］

● カメラのUSB端子にスマートフォンを有線接続してもNX MobileAirアプリを使用できない

・NX MobileAirアプリ対応のUSBケーブルでカメラとスマートフォンを接続していますか？ 対応のUSBケーブルについてはNX MobileAirアプリのヘルプをご覧ください。

・ネットワークメニュー［**USB**］の設定は正しいですか？
- Android端末と接続する場合：［**MTP/PTP**］
- iPhoneと接続する場合：［**iPhone**］

警告表示と警告メッセージ

撮影画面に表示される警告表示と警告メッセージの意味は次の通りです。

警告表示

撮影画面に次の警告が表示されます。

表示	原因	対処方法
	バッテリー残量は残りわずかです。	バッテリー交換の準備をしてください。
F−−	レンズが正しく装着されていません。	・レンズを正しく装着してください。 ・沈胴式のレンズをご使用の場合、レンズを繰り出してください。 ・マウントアダプターを使用して非CPUレンズを装着すると表示されますが、異常ではありません。
Bulb （点滅）	撮影モードが**S**のときにシャッタースピードが**Bulb**（バルブ）にセットされています。	・シャッタースピードを変えてください。 ・撮影モード**M**で撮影してください。
Time （点滅）	撮影モードが**S**のときにシャッタースピードが**Time**（タイム）にセットされています。	・シャッタースピードを変えてください。 ・撮影モード**M**で撮影してください。
Busy （点滅）	カメラが処理を行っています。	カメラが処理を終えるまでお待ちください。

表示	原因	対処方法
（シャッタースピード表示、絞り値表示のいずれかと、露出インジケーターが点滅）	被写体が明るすぎてカメラの制御範囲を超えています。	・ISO感度を低くしてください。 ・撮影モードが**P**のときは市販のNDフィルター（光量調節用）を使用してください（**S**、**A**のときに下記の操作を行っても警告表示が消えない場合も同様に対応してください）。 ・撮影モードが**S**のときはシャッタースピードをより高速側にセットしてください。 ・撮影モードが**A**のときは絞りを絞り込んでください（より大きい数値）。
	被写体が暗すぎて、カメラの制御範囲を超えています。	・ISO感度を高くしてください。 ・撮影モードが**P**のときは内蔵フラッシュまたは別売スピードライトを使用してください（**S**、**A**のときに下記の操作を行っても警告表示が消えない場合も同様に対応してください）。 ・撮影モードが**S**のときはシャッタースピードをより低速側にセットしてください。 ・撮影モードが**A**のときは絞りを開いてください（より小さい数値）。
ϟ（点滅）	内蔵フラッシュまたはスピードライトがフル発光しました。	撮影に必要な光量が不足している可能性があります。撮影距離、絞り値、調光範囲、ISO感度などをご確認ください。
	被写体が暗く、露出が不足しています。	内蔵フラッシュまたは別売スピードライトを使用してください。

表示	原因	対処方法
Full （点滅）	・画像を記録する空き容量がありません。 ・カメラが扱えるファイル数をオーバーしています。	・メモリーカードに記録されている画像を削除して、カードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。 ・新しいメモリーカードに交換してください。
Err （点滅）	撮影中に何らかの異常を検出しました。	もう一度シャッターボタンを押してください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。
Card （点滅）	メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされています。	メモリーカードのロックを解除してください（🕮81）。

警告メッセージ

撮影画面に次のメッセージが表示されます。

●撮影できません。バッテリーを交換してください。

バッテリーが消耗しています。
・バッテリーを交換してください。
・バッテリーを充電してください。

●お使いのバッテリーと正しく通信できないためカメラの動作を停止します。安全にお使いいただくため、専用バッテリーと交換してください。

・バッテリーとの情報通信ができません。
- このバッテリーは使用できません。ニコンサービス機関にご相談ください。
- 極端に消耗したバッテリーを使用している場合は、充電してください。

・カメラと通信できないバッテリーを使用しています。
- カメラと通信できないバッテリーを使用している場合は、ニコン純正品のバッテリーと交換してください。

●メモリーカードが入っていません。

メモリーカードが入っていないか、正しくセットされていません。
・メモリーカードを正しくセットしてください。

●メモリーカードにアクセスできません。カードを交換してください。

メモリーカードへのアクセス異常です。

・このカメラ用のメモリーカードであるかどうかを確認してください。
・新しいメモリーカードに交換してください。
・繰り返し抜き差ししてもエラーが解消しない場合は、メモリーカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関までご連絡願います。

新規フォルダーが作成できません。

・新しいメモリーカードに交換してください。

●メモリーカードが書き込み禁止になっています。

メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされています。

・メモリーカードのロックを解除してください（🕮81）。

●このメモリーカードは初期化（フォーマット）されていません。フォーマットしてください。

メモリーカードが正しく初期化されていません。

・メモリーカードを初期化してください。
・正しく初期化されたメモリーカードに交換してください。

●マウントアダプターFTZのファームウェアをバージョンアップしてください。

マウントアダプターのファームウェアバージョンが最新ではありません。

・マウントアダプターのファームウェアを最新版にバージョンアップしてください。ファームウェアのバージョンアップ方法については、当社のホームページでご確認ください。

●動画撮影を中断します。しばらくお待ちください。

動画の書き込み速度に対応していないメモリーカードが使用されています。

・書き込み速度に対応したメモリーカードに交換するか、動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］の設定を変更してください。

●カメラが高温になっています。温度がさがるまで使用できません。しばらくおまちください。電源をOFFにします。

・カメラ内部の温度が高くなっています。
  - カメラ内部の温度が下がるまで、撮影を一時休止してください。
・バッテリーの温度が高くなっています。
  - バッテリーをカメラから取り出して、バッテリーの温度が下がるまでお待ちください。

●撮影画像がありません。

・撮影画像がありません。
- 画像が記録されているメモリーカードを入れてください。

・再生するフォルダーの指定に問題があります。
- 再生メニューの［**再生フォルダー設定**］で、表示可能な画像があるフォルダーを選んでください。

●このファイルは表示できません。

・アプリケーションソフトで編集された画像やDCF規格外の画像ファイルのため再生できません。
- アプリケーションソフトで編集された画像を上書き保存しないでください。

・画像ファイルに異常があるため再生できません。
- アプリケーションソフトで編集された画像を上書き保存しないでください。

●このファイルは選択できません。

編集できない画像です。

・このカメラで撮影または編集した画像しか画像編集できません。

●この動画は編集できません。

編集できない動画です。

・このカメラで撮影した動画しか編集できません。

・2秒未満の動画は編集できません。

資料

使用できるレンズ

このカメラでは全てのZマウントレンズをお使いいただけます。

NIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR

レンズ名にNIKKOR Zが含まれていることをご確認ください。

- カメラおよびレンズのファームウェアを最新版にバージョンアップしてお使いください。ファームウェアが最新になっていない場合、レンズを正しく認識しなかったり、機能の一部が使用できないことがあります。最新のファームウェアは、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。
- レンズの詳しい使い方につきましては、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできる各レンズの説明書をご覧ください。

ヒント: 使用できるFマウントレンズについて

マウントアダプターFTZ II/FTZを使用すると、Zマウント用カメラにFマウントレンズを装着することができます。

- 装着するレンズによっては、一部の機能に制限があります。

Zマウント用カメラで使用できるFマウントレンズおよび制限などの詳しい情報については、「使用できるFマウントレンズについて」をご覧ください。「使用できるFマウントレンズについて」はニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

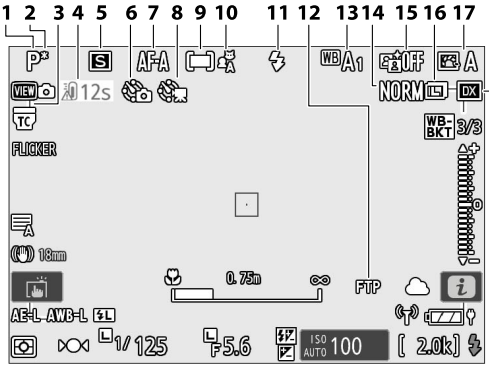
https://downloadcenter.nikonimglib.com/

画像モニター/ファインダーの表示

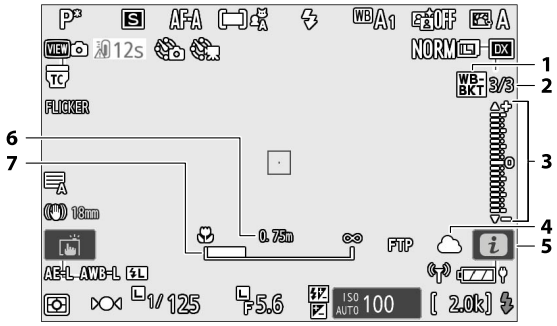
設定に応じたアイコンや項目が表示されます。この他にも設定を変更したときなどに一時的に表示されるアイコンや警告表示があります。

画像モニター

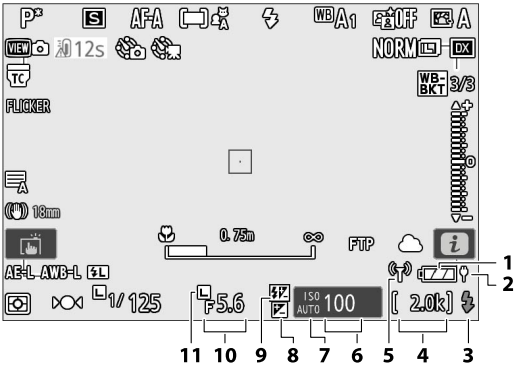
■■静止画モードの場合



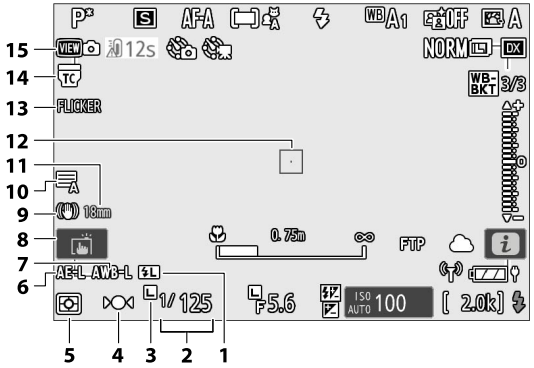
1	撮影モード（🕮129）
2	プログラムシフトマーク（🕮130）
3	非合焦表示（オートエリアAF）（🕮92）
4	温度上昇警告（🕮720）
5	レリーズモード（🕮150）
6	インターバルタイマー撮影設定マーク（🕮484） ⏲マーク（🕮91） カードなしマーク（🕮78、🕮720）
7	フォーカスモード（🕮110）
8	タイムラプス動画設定マーク（🕮496）
9	AFエリアモード（🕮112）
10	被写体検出（🕮116）
11	フラッシュモード（🕮415）
12	FTP接続状態（🕮352）
13	ホワイトバランス（🕮159）
14	画質モード（🕮107）
15	アクティブD-ライティング（🕮443）
16	画像サイズ（🕮108）
17	ピクチャーコントロール（🕮180）
18	撮像範囲（🕮106）



1	AE・フラッシュブラケティングマーク（🕮459） WBブラケティングマーク（🕮465） ADLブラケティングマーク（🕮469） HDRマーク（🕮481） 多重露出マーク（🕮474）
2	AE・フラッシュブラケティング撮影コマ数表示（🕮459） WBブラケティング撮影コマ数表示（🕮465） ADLブラケティング撮影コマ数表示（🕮469） HDR強度（🕮481） 多重露出撮影コマ数（🕮474） プリキャプチャー（🕮547）
3	インジケーター ・露出（🕮134） ・露出補正（🕮148） ・オートブラケティング（🕮458）
4	Nikon Imaging Cloud接続状態（🕮382） リモートカメラ接続状態（🕮395）
5	*i*メニュー（🕮71）
6	ピント位置までの距離表示（🕮125）
7	フォーカス距離指標（🕮125）



1	バッテリー残量表示（🕮79）
2	USB給電中表示（🕮650）
3	レディーライト（🕮423）
4	記録可能コマ数（🕮80、🕮781） カメラコントロールモード表示（🕮375）
5	Wi-Fi通信マーク（🕮319、🕮336、🕮352） Bluetooth通信マーク（🕮667、🕮672） 機内モード（🕮663）
6	ISO感度（🕮156）
7	ISO感度マーク（🕮156） ISO-AUTOマーク（🕮157）
8	露出補正マーク（🕮148）
9	調光補正マーク（🕮419）
10	絞り値（🕮131、🕮132）
11	絞り値ロックマーク（🕮591）



1	FVロックマーク（🕮420）
2	シャッタースピード（🕮131、🕮132）
3	シャッタースピードロックマーク（🕮591）
4	ピント表示（🕮125）
5	測光モード（🕮452）
6	**AE-L**マーク（🕮146）
7	**AWB-L**マーク（🕮567）
8	タッチ撮影機能（🕮56、🕮122）
9	手ブレ補正（🕮457）
10	シャッター方式（🕮549） サイレントモード（🕮648）
11	焦点距離※1
12	フォーカスポイント（🕮121）
13	**FLICKER**アイコン（🕮450）
14	レンズ内蔵テレコンバーター使用マーク※2
15	ビューモード設定（🕮552）

※1　焦点距離目盛のないズームレンズを装着している場合のみ表示されます。
※2　テレコンバーターを内蔵したNIKKOR Zレンズを装着し、内蔵テレコンバーターを使用している場合のみ表示されます。

温度上昇警告について

- カメラ内部の温度が上昇すると、温度上昇警告（🔥）が表示され、カウントダウンが表示されます。カウントダウンが0になると、撮影画面の表示が消灯します。
- 消灯する30秒前から赤字で表示されます。撮影条件によっては、電源をONにした後すぐにカウントダウンが始まることがあります。

温度上昇警告が表示されたときは

温度が下がって表示が消えるまでカメラ本体やバッテリー、メモリーカードに触らないでください。

Wi-Fi通信マークが速く点滅しているときは

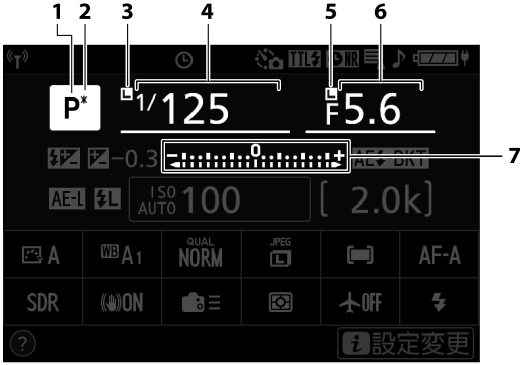
パソコンやスマートフォンと無線接続中にカメラが高温になると、Wi-Fi 通信マーク（((T))）が速く点滅して電波出力が停止されます。

- パソコンやスマートフォンと再度無線接続を行う場合は、カメラの温度が下がるまでお待ちください。
- Wi-Fi 通信マーク（((T))）が速く点滅しているときは、カメラ本体やバッテリーが高温になっている場合がありますのでご注意ください。

メモリーカードが入っていないときの表示について

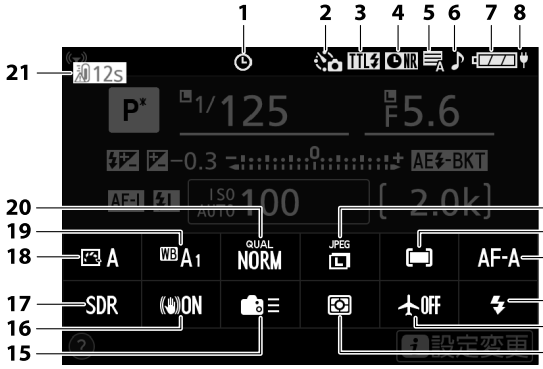
撮影画面の記録可能コマ数表示部に［**–E–**］マークが、撮影画面にカードなし警告が表示されます。

● インフォ画面



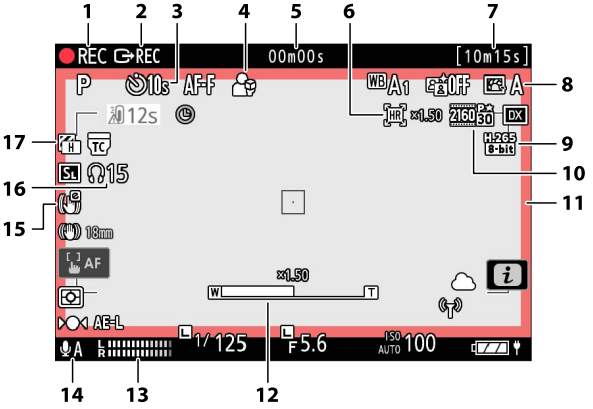
1	撮影モード（🕮129）	5	絞り値ロックマーク（🕮591）
2	プログラムシフトマーク（🕮130）	6	絞り値（🕮131、🕮132）
3	シャッタースピードロックマーク（🕮591）	7	インジケーター ・露出（🕮134） ・露出補正（🕮148） ・オートブラケティング（🕮458）
4	シャッタースピード（🕮131、🕮132）		

1	Wi-Fi通信マーク（🕮319、🕮336、🕮352） Bluetooth通信マーク（🕮667、🕮672）
2	AE・フラッシュブラケティングマーク（🕮459） WBブラケティングマーク（🕮465） ADLブラケティングマーク（🕮469） HDRマーク（🕮481） 多重露出マーク（🕮474）
3	記録可能コマ数（🕮80、🕮781） カメラコントロールモード表示（🕮375）
4	**i**メニュー（🕮71）
5	ISO感度（🕮156）
6	ISO感度マーク（🕮156） ISO-AUTOマーク（🕮157）
7	FVロックマーク（🕮420）
8	**AE-L**マーク（🕮146）
9	調光補正マーク（🕮419）
10	露出補正マーク（🕮148） 露出補正値（🕮148）



1	⏲マーク（🕮91）
2	インターバルタイマー撮影設定マーク（🕮484） タイムラプス動画設定マーク（🕮496）
3	発光モード（🕮425、🕮454）
4	長秒時ノイズ低減マーク（🕮444）
5	シャッター方式（🕮549）
6	電子音マーク（🕮647）
7	バッテリー残量表示（🕮79）
8	USB給電中表示（🕮650）
9	画像サイズ（🕮108）
10	AFエリアモード/被写体検出（🕮112、🕮116）
11	フォーカスモード（🕮110）
12	フラッシュモード（🕮415）
13	機内モード（🕮663）
14	測光モード（🕮452）
15	カスタムボタンの機能（撮影）（🕮567）
16	手ブレ補正（🕮457）
17	階調モード（🕮437）
18	ピクチャーコントロール（🕮180）
19	ホワイトバランス（🕮159）
20	画質モード（🕮107）
21	温度上昇警告（🕮720）

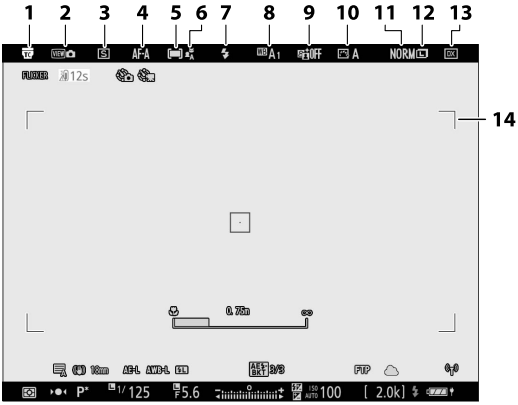
■■動画モードの場合



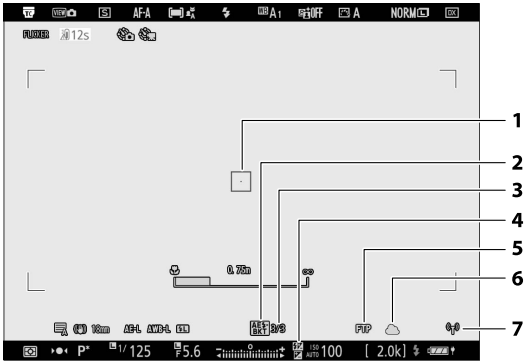
1	録画中マーク 動画記録禁止マーク（🕮100）
2	外部記録制御（🕮308）
3	動画セルフタイマー（🕮214）
4	商品レビューモード（🕮213）
5	動画記録時間 タイムコード（🕮527）
6	ハイレゾズームマーク（🕮211） ハイレゾズーム倍率（🕮211）
7	動画記録残り時間
8	ピクチャーコントロール（🕮180） 階調モード（🕮199）
9	動画記録ファイル形式（🕮199）
10	画像サイズ/フレームレート （🕮201）
11	録画中赤枠（🕮617）
12	ハイレゾズーム倍率表示バー （🕮211）
13	音声レベルインジケーター （🕮524）
14	マイク感度（🕮524）
15	電子手ブレ補正マーク（🕮524）
16	ヘッドホン音量（🕮526）
17	ゼブラ表示（🕮612）

ファインダー

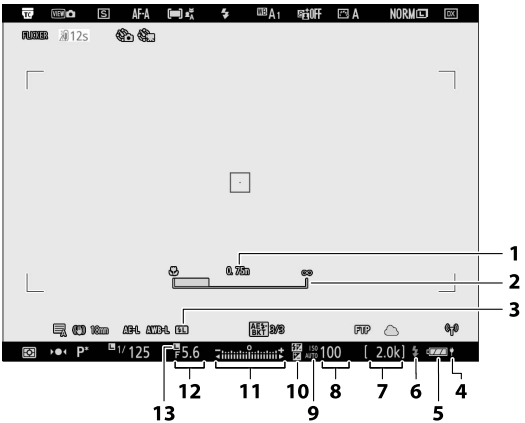
■■静止画モードの場合



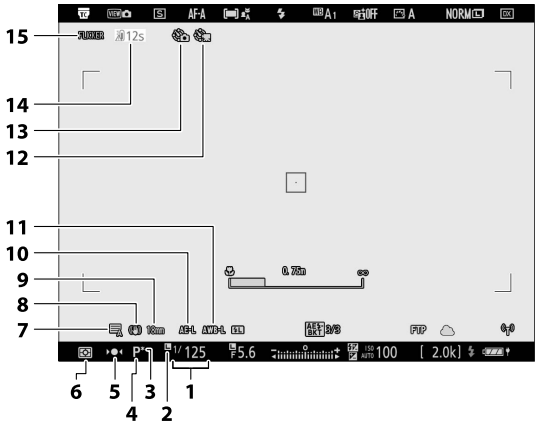
1	レンズ内蔵テレコンバーター使用マーク
2	ビューモード設定（🕮552）
3	レリーズモード（🕮150）
4	フォーカスモード（🕮110）
5	AFエリアモード（🕮112）
6	被写体検出（🕮116）
7	フラッシュモード（🕮415）
8	ホワイトバランス（🕮159）
9	アクティブD-ライティング（🕮443）
10	ピクチャーコントロール（🕮180）
11	画質モード（🕮107）
12	画像サイズ（🕮108）
13	撮像範囲（🕮106）
14	非合焦表示（オートエリアAF）（🕮92）



1	フォーカスポイント（🕮121）
2	AE・フラッシュブラケティングマーク（🕮459） WBブラケティングマーク（🕮465） ADLブラケティングマーク（🕮469） HDRマーク（🕮481） 多重露出マーク（🕮474）
3	AE・フラッシュブラケティング撮影コマ数表示（🕮459） WBブラケティング撮影コマ数表示（🕮465） ADLブラケティング撮影コマ数表示（🕮469） HDR強度（🕮481） 多重露出撮影コマ数（🕮474） プリキャプチャー（🕮547）
4	調光補正マーク（🕮419）
5	FTP接続状態（🕮352）
6	Nikon Imaging Cloud接続状態（🕮382） リモートカメラ接続状態（🕮395）
7	Wi-Fi通信マーク（🕮319、🕮336、🕮352） Bluetooth通信マーク（🕮667、🕮672） 機内モード（🕮663）

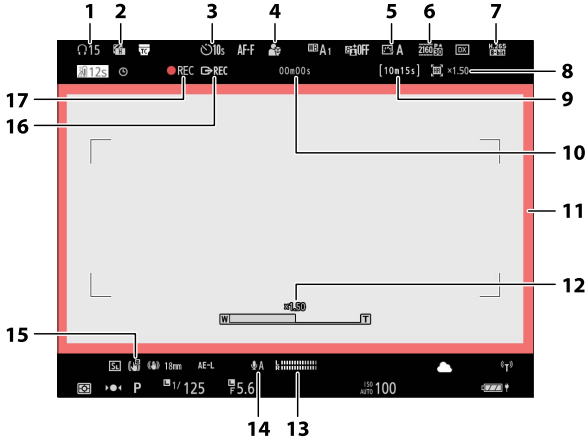


1	ピント位置までの距離表示（📖125）
2	フォーカス距離指標（📖125）
3	FVロックマーク（📖420）
4	USB給電中表示（📖650）
5	バッテリー残量表示（📖79）
6	レディーライト（📖423）
7	記録可能コマ数（📖80、📖781） カメラコントロールモード表示（📖375）
8	ISO感度（📖156）
9	ISO感度マーク（📖156） ISO-AUTOマーク（📖157）
10	露出補正マーク（📖148）
11	インジケーター ・露出（📖134） ・露出補正（📖148） ・オートブラケティング（📖458）
12	絞り値（📖131、📖132）
13	絞り値ロックマーク（📖591）



1	シャッタースピード（🕮131、🕮132）
2	シャッタースピードロックマーク（🕮591）
3	プログラムシフトマーク（🕮130）
4	撮影モード（🕮129）
5	ピント表示（🕮125）
6	測光モード（🕮452）
7	シャッター方式（🕮549） サイレントモード（🕮648）
8	手ブレ補正（🕮457）
9	焦点距離
10	**AE-L**マーク（🕮146）
11	**AWB-L**マーク（🕮567）
12	タイムラプス動画設定マーク（🕮496）
13	インターバルタイマー撮影設定マーク（🕮484） ⏲マーク（🕮91） カードなしマーク（🕮78、🕮720）
14	温度上昇警告（🕮720）
15	**FLICKER**アイコン（🕮450）

■■動画モードの場合



1	ヘッドホン音量（📖526）
2	ゼブラ表示（📖612）
3	動画セルフタイマー（📖214）
4	商品レビューモード（📖213）
5	ピクチャーコントロール（📖180） 階調モード（📖199）
6	画像サイズ/フレームレート（📖201）
7	動画記録ファイル形式（📖199）
8	ハイレゾズームマーク（📖211） ハイレゾズーム倍率（📖211）
9	動画記録残り時間
10	動画記録時間 タイムコード（📖527）
11	録画中赤枠（📖617）
12	ハイレゾズーム倍率表示バー（📖211）
13	音声レベルインジケーター（📖524）
14	マイク感度（📖524）
15	電子手ブレ補正マーク（📖524）
16	外部記録制御（📖308）
17	録画中マーク 動画記録禁止マーク（📖100）

使用できるスピードライト

ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）について

ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）はニコンのスピードライトとカメラのデータ通信方式を改良したシステムで、さまざまな機能を提供します。

ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの組み合わせで使用できる機能

スピードライト	🕮
SB-5000	730
SB-910/SB-900/SB-800	732
SB-700	734
SB-600	735
SB-500	737

スピードライト	🕮
SB-R200	739
SB-400	740
SB-300	742
SU-800	743

SB-5000

使用できる機能			
1灯			
	i-TTL	i-TTL-BL調光	✓※1
		スタンダードi-TTL調光	✓※2
	A	絞り連動外部自動調光	✓
	A	外部自動調光	—
	GN	距離優先マニュアル発光	✓

使用できる機能		
M	マニュアル発光	✓
RPT	リピーティングフラッシュ	✓
光制御アドバンストワイヤレスライティング		
マスターフラッシュ		
リモートフラッシュへの発光指示		✓
i-TTL	i-TTL調光	✓
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
㊎A	絞り連動外部自動調光	✓
A	外部自動調光	—
M	マニュアル発光	✓
RPT	リピーティングフラッシュ	✓
リモートフラッシュ		
i-TTL	i-TTL調光	✓
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
㊎A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	✓※3
M	マニュアル発光	✓
RPT	リピーティングフラッシュ	✓
電波制御アドバンストワイヤレスライティング		—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）		✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）		—
オートFPハイスピードシンクロ		✓※4
FVロック		✓※5
赤目軽減発光		✓

使用できる機能	
カメラ起動モデリング発光	—
ユニファイドフラッシュコントロール	—
カメラからのスピードライトファームアップ	✓

※1 スポット測光時は設定できません。
※2 スピードライト側でも設定できます。
※3 ㊎**A**と**A**の選択は、マスターフラッシュの設定に準じます。
※4 発光モードが**i-TTL**、㊎**A**、**A**、**GN**、**M**の場合のみ動作します。
※5 発光モードが**i-TTL**、「モニター発光あり」の㊎**A**または「モニター発光あり」の**A**の場合のみ動作します。

■■ SB-910/SB-900/SB-800

使用できる機能			
1灯			
	i-TTL	i-TTL-BL調光	✓※1
		スタンダードi-TTL調光	✓※2
	㊎**A**	絞り連動外部自動調光	✓※3
	A	外部自動調光	✓※3
	GN	距離優先マニュアル発光	✓
	M	マニュアル発光	✓
	RPT	リピーティングフラッシュ	✓
光制御アドバンストワイヤレスライティング			
	マスターフラッシュ		
		リモートフラッシュへの発光指示	✓
		i-TTL i-TTL調光	✓
		[A : B] クイックワイヤレスコントロール	—

使用できる機能			
	㊎A	絞り連動外部自動調光	✓
	A	外部自動調光	—
	M	マニュアル発光	✓
	RPT	リピーティングフラッシュ	✓
リモートフラッシュ			
	i-TTL	i-TTL調光	✓
	[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
	㊎A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	✓※4
	M	マニュアル発光	✓
	RPT	リピーティングフラッシュ	✓
電波制御アドバンストワイヤレスライティング			—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）			✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）			—
オートFPハイスピードシンクロ			✓※5
FVロック			✓※6
赤目軽減発光			✓
カメラ起動モデリング発光			—
ユニファイドフラッシュコントロール			—
カメラからのスピードライトファームアップ			✓※7

※1 スポット測光時は設定できません。
※2 スピードライト側でも設定できます。
※3 ㊎**A**と**A**の選択は、スピードライトのカスタム設定で行います。
※4 ㊎**A**と**A**の選択は、マスターフラッシュの設定に準じます。
※5 発光モードが**i-TTL**、㊎**A**、**A**、**GN**、**M**の場合のみ動作します。

※6 発光モードが**i-TTL**、「モニター発光あり」の㊎**A**または「モニター発光あり」の**A**の場合のみ動作します。
※7 SB-910とSB-900のみカメラからのスピードライトファームアップが可能です。

SB-700

使用できる機能			
1灯			
	i-TTL	i-TTL-BL調光	✓※1
		スタンダードi-TTL調光	✓
	㊎**A**	絞り連動外部自動調光	—
	A	外部自動調光	—
	GN	距離優先マニュアル発光	✓
	M	マニュアル発光	✓
	RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング			
	マスターフラッシュ		
		リモートフラッシュへの発光指示	✓
	i-TTL	i-TTL調光	✓
	[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
	㊎**A**	絞り連動外部自動調光	—
	A	外部自動調光	—
	M	マニュアル発光	✓
	RPT	リピーティングフラッシュ	—
	リモートフラッシュ		
	i-TTL	i-TTL調光	✓

使用できる機能			
	[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
	㊎A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
	M	マニュアル発光	✓
	RPT	リピーティングフラッシュ	✓
電波制御アドバンストワイヤレスライティング			—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）			✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）			—
オートFPハイスピードシンクロ			✓※2
FVロック			✓※3
赤目軽減発光			✓
カメラ起動モデリング発光			—
ユニファイドフラッシュコントロール			—
カメラからのスピードライトファームアップ			✓

※1 スポット測光時は設定できません。
※2 発光モードが**i-TTL**、**GN**、**M**の場合のみ動作します。
※3 発光モードが**i-TTL**の場合のみ動作します。

■■ SB-600

使用できる機能			
1灯			
	i-TTL	i-TTL-BL調光	✓※1
		スタンダードi-TTL調光	✓※2
	㊎A	絞り連動外部自動調光	—
	A	外部自動調光	—

使用できる機能		
GN	距離優先マニュアル発光	—
M	マニュアル発光	✓
RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング		
マスターフラッシュ		
リモートフラッシュへの発光指示		—
i-TTL	i-TTL調光	—
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	—
㊎A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
リモートフラッシュ		
i-TTL	i-TTL調光	✓
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
㊎A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
M	マニュアル発光	✓
RPT	リピーティングフラッシュ	✓
電波制御アドバンストワイヤレスライティング		—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）		✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）		—
オートFPハイスピードシンクロ		✓※3
FVロック		✓※4

使用できる機能	
赤目軽減発光	✔
カメラ起動モデリング発光	—
ユニファイドフラッシュコントロール	—
カメラからのスピードライトファームアップ	—

※1 スポット測光時は設定できません。
※2 スピードライト側でも設定できます。
※3 発光モードが**i-TTL**、**M**の場合のみ動作します。
※4 発光モードが**i-TTL**の場合のみ動作します。

SB-500

使用できる機能			
1灯			
	i-TTL	i-TTL-BL調光	✔※1
		スタンダードi-TTL調光	✔
	A	絞り連動外部自動調光	—
	A	外部自動調光	—
	GN	距離優先マニュアル発光	—
	M	マニュアル発光	✔※2
	RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング			
	マスターフラッシュ		
		リモートフラッシュへの発光指示	✔※2
		i-TTL i-TTL調光	✔※2
		[A : B] クイックワイヤレスコントロール	—
		A 絞り連動外部自動調光	—

使用できる機能		
A	外部自動調光	—
M	マニュアル発光	✓※2
RPT	リピーティングフラッシュ	—
リモートフラッシュ		
i-TTL	i-TTL調光	✓
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
M	マニュアル発光	✓
RPT	リピーティングフラッシュ	✓
電波制御アドバンストワイヤレスライティング		—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）		✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）		✓
オートFPハイスピードシンクロ		✓※3
FVロック		✓※4
赤目軽減発光		✓
カメラ起動モデリング発光		—
ユニファイドフラッシュコントロール		—
カメラからのスピードライトファームアップ		✓

※1 スポット測光時は設定できません。
※2 カメラの［**フラッシュ発光**］で設定できます。
※3 発光モードが**i-TTL**、**M**の場合のみ動作します。
※4 発光モードが**i-TTL**の場合のみ動作します。

SB-R200

使用できる機能		
1灯		
i-TTL	i-TTL-BL調光	—
	スタンダードi-TTL調光	—
㊎A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
GN	距離優先マニュアル発光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング		
マスターフラッシュ		
リモートフラッシュへの発光指示		—
i-TTL	i-TTL調光	—
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	—
㊎A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
リモートフラッシュ		
i-TTL	i-TTL調光	✓
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
㊎A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
M	マニュアル発光	✓

使用できる機能		
RPT	リピーティングフラッシュ	—
電波制御アドバンストワイヤレスライティング		—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）		—
発光色温度情報伝達（LEDライト）		—
オートFPハイスピードシンクロ		✔※1
FVロック		✔※2
赤目軽減発光		—
カメラ起動モデリング発光		—
ユニファイドフラッシュコントロール		—
カメラからのスピードライトファームアップ		—

※1　発光モードが**i-TTL**、**M**の場合のみ動作します。
※2　発光モードが**i-TTL**の場合のみ動作します。

■■ SB-400

使用できる機能		
1灯		
i-TTL	i-TTL-BL調光	✔※1
	スタンダードi-TTL調光	✔
A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
GN	距離優先マニュアル発光	—
M	マニュアル発光	✔※2
RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング		

使用できる機能		
マスターフラッシュ		
リモートフラッシュへの発光指示		—
i-TTL	i-TTL調光	—
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	—
A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
リモートフラッシュ		
i-TTL	i-TTL調光	—
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	—
A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
電波制御アドバンストワイヤレスライティング		—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）		✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）		—
オートFPハイスピードシンクロ		—
FVロック		✓※3
赤目軽減発光		✓
カメラ起動モデリング発光		—
ユニファイドフラッシュコントロール		—
カメラからのスピードライトファームアップ		—

※1 スポット測光時は設定できません。
※2 カメラの［**フラッシュ発光**］で設定できます。
※3 発光モードが**i-TTL**の場合のみ動作します。

■■ SB-300

使用できる機能			
1灯			
	i-TTL	i-TTL-BL調光	✓※1
		スタンダードi-TTL調光	✓
	㊎**A**	絞り連動外部自動調光	—
	A	外部自動調光	—
	GN	距離優先マニュアル発光	—
	M	マニュアル発光	✓※2
	RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング			
	マスターフラッシュ		
		リモートフラッシュへの発光指示	—
		i-TTL i-TTL調光	—
		[A : B] クイックワイヤレスコントロール	—
		㊎**A** 絞り連動外部自動調光	—
		A 外部自動調光	—
		M マニュアル発光	—
		RPT リピーティングフラッシュ	—
	リモートフラッシュ		
		i-TTL i-TTL調光	—

使用できる機能			
	[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	—
	㊎A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
	M	マニュアル発光	—
	RPT	リピーティングフラッシュ	—
電波制御アドバンストワイヤレスライティング			—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）			✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）			—
オートFPハイスピードシンクロ			—
FVロック			✓※3
赤目軽減発光			—
カメラ起動モデリング発光			—
ユニファイドフラッシュコントロール			—
カメラからのスピードライトファームアップ			✓

※1 スポット測光時は設定できません。
※2 カメラの［**フラッシュ発光**］で設定できます。
※3 発光モードが**i-TTL**の場合のみ動作します。

■■SU-800について

ワイヤレススピードライトコマンダーSU-800は、ワイヤレスでSB-5000、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-500、SB-R200を制御するコマンダーです。スピードライトを3つのグループに分けて光制御できます。SU-800には発光機能はありません。

使用できる機能			
1灯			
	i-TTL	i-TTL-BL調光	—
		スタンダードi-TTL調光	—

使用できる機能		
㊎A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
GN	距離優先マニュアル発光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング		
マスターフラッシュ		
リモートフラッシュへの発光指示		✓
i-TTL	i-TTL調光	—
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓※1
㊎A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
リモートフラッシュ		
i-TTL	i-TTL調光	—
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	—
㊎A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
電波制御アドバンストワイヤレスライティング		—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）		—
発光色温度情報伝達（LEDライト）		—

使用できる機能	
オートFPハイスピードシンクロ	✔※2
FVロック	✔※3
赤目軽減発光	—
カメラ起動モデリング発光	—
ユニファイドフラッシュコントロール	—
カメラからのスピードライトファームアップ	—

※1 クローズアップ撮影時のみ設定できます。
※2 リモートフラッシュの発光モードが**RPT**の場合は動作しません。
※3 リモートフラッシュの発光モードが**i-TTL**、「モニター発光あり」の㊎**A**の場合のみ動作します。

スピードライト使用時のご注意とヒント

スピードライトをお使いになる前に、必ず各スピードライトの説明書も併せてご覧ください。

- ニコンクリエイティブライティングシステム対応のスピードライトの説明書にカメラ分類表が記載されている場合は、ニコンクリエイティブライティングシステム対応デジタル一眼レフに該当する箇所をお読みください。なお、このカメラはSB-80DX、SB-28DX、SB-50DXの説明書に記載のデジタル一眼レフカメラには該当しません。
- ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト使用時には、i-TTLや外部自動調光モードにおいて、フル発光でも露出不足になる可能性のある場合に、発光直後に ϟ（レディーライト）が約3秒間点滅して露出アンダー警告を行います。
- i-TTLモード時のISO感度連動範囲はISO 100～12800相当です。
- ISO感度を12800よりも増感した場合には、距離や絞り値によっては適正な発光量にならない場合があります。
- 撮影モードが**P**の場合、下表の絞り値よりも絞りを開くことはできません。

ISO感度と開放側の限界絞り（F）							
100	**200**	**400**	**800**	**1600**	**3200**	**6400**	**12800**
4	5	5.6	7.1	8	10	11	13

※　制御される絞り値よりも開放絞りが暗い場合は、装着レンズの開放絞りによって制御されます。

- スピードライトSB-5000、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-500、SB-400の使用時に、フラッシュモードが赤目軽減、赤目軽減スローシンクロモードの場合は、スピードライト側で赤目軽減発光が行われます。
- パワーアシストパックSD-8AまたはSD-9をカメラに固定した状態でフラッシュ撮影をすると、筋状のノイズが写り込むことがあります。その場合は、ISO感度を下げるか、SD-8AまたはSD-9をカメラから離してお使いください。
- AF補助光の照射条件が満たされると、カメラのAF補助光を自動的に照射します。スピードライトのAF補助光は照射されません。
- i-TTLモード時に、調光コードSC-17、SC-28、SC-29を使用してカメラからスピードライトを離して撮影する場合、スタンダードi-TTL調光以外では適正

露出を得られない場合があります。この場合は、スタンダードi-TTL調光に切り換えて撮影してください。また、あらかじめテスト撮影を行ってください。

- i-TTL モード時に、発光面に内蔵パネルまたは付属のバウンスアダプター以外の部材（拡散板など）を装着しないでください。カメラ内の演算に誤差が生じ、適正露出とならない場合があります。

スピードライトを使用した撮影の制限について

次の場合など、スピードライトとは同時に使用できない機能や設定があります。

- サイレントモード
- 動画撮影
- 「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影
- HDR合成

別売スピードライトのFVロックについて

- 別売のスピードライトの発光モードがTTL、「モニター発光あり」の㊊**A**または「モニター発光あり」の**A**のいずれかにセットされている場合は、FVロックを行えます（別売スピードライトの発光モードについては、スピードライトの説明書をご覧ください）。
- 増灯時にFVロックを使用する場合は、主灯（マスターフラッシュ）または補助灯（リモート）グループのうち、少なくとも1グループの発光モードを**TTL**、㊊**A**または**A**のいずれかにセットしてください。

その他のスピードライトとの組み合わせで使用できる機能

次のスピードライトを使用する場合、外部自動調光（**A**）あるいはマニュアル発光撮影となります。装着レンズによって機能が変わることはありません。

スピードライト	使用できる機能
SB-80DX、SB-28DX、SB-28、SB-26、SB-25、SB-24	外部自動調光、マニュアル発光、マルチフラッシュ、後幕シンクロ※1
SB-50DX、SB-23、SB-29、SB-21B、SB-29S	マニュアル発光、後幕シンクロ※1
SB-30、SB-27※2、SB-22S、SB-22、SB-20、SB-16B、SB-15	外部自動調光、マニュアル発光、後幕シンクロ※1

※1　カメラ側のフラッシュモードで設定してください。

※2　このカメラとSB-27を組み合わせると自動的に**TTL**モードになりますが、**TTL**モードでは使えません。SB-27を**A**モードに設定し直してください。

スピードライトのFVロック時の測光エリアについて

スピードライトを使用したFVロック時の測光エリアは次のようになります。

- 1灯撮影時

発光モード	測光エリア
i-TTLモード	画面中央Φ6 mm相当
絞り連動外部自動調光（㊎**A**）	スピードライトの外部測光エリア

・増灯撮影時

発光モード	測光エリア
i-TTLモード	全画面
絞り連動外部自動調光（㊎**A**）	スピードライトの外部測光エリア
外部自動調光（**A**）	

別売スピードライトの調光補正について

i-TTL調光時および絞り連動外部自動調光（㊎**A**）時に、静止画撮影メニュー［**フラッシュ調光補正**］で設定した調光補正と、スピードライト本体または静止画撮影メニュー［**フラッシュ発光**］で設定した調光補正を同時に行う場合、両方の補正値を加算します。

ヒント: スタジオ用フラッシュを使う場合

カスタムメニューd10［**ビューモード設定（静止画Lv）**］を［**見やすさを重視**］に設定すると、撮影画面が見やすい色味や明るさで表示され、構図の確認などがしやすくなります。

使用できるアクセサリー

このカメラには撮影領域を拡げるさまざまなアクセサリーが用意されています。

使用できるアクセサリーについて

- 国または地域によって、販売していないまたは販売が終了している場合があります。
- アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

● 電源

- **Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a**：ニコンデジタルカメラ Z50II用のバッテリーです。
  - EN-EL25aの代わりにEN-EL25も使えます。ただし、EN-EL25aを使用したときよりも撮影可能コマ数（電池寿命）が減少します（🕮784）。
- **バッテリーチャージャーMH-32**：Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a用のチャージャーです。
- **ACアダプターEH-8P**：バッテリーを挿入したカメラ本体に接続して、バッテリーを充電できます。
  - 充電には、カメラに付属のUSBケーブルを使用します。
  - カメラの電源がONの場合は充電できません。
  - セットアップメニュー［**USB給電**］が［**ON**］の場合、カメラに給電できます。詳しくは「USB給電」（🕮650）をご覧ください。

● フィルター

- フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、ニュートラルカラーNCをお使いください。
- 逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。
- 露出倍数のかかるフィルター（Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、X1、C-PL（円偏光フィルター）、ND2S、ND4S、ND4、ND8S、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12）を使用する場合、マルチパターン測光の効果が得られない場合があります。その場合、測光モードを［**中央部重点測光**］に切り換えて撮影することをおすすめします。詳しくは、各フィルターの説明書をご覧ください。

・特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやピント表示（●）が行えないことがありますのでご注意ください。

● リモートコード

・**リモートコードMC-DC3（長さ：約1m）**：リモートコードMC-DC3をカメラのヘッドホン/リモートコード（Ω/🎧）端子に接続すると、カメラから離れてレリーズ操作ができます。

● USBケーブル

・**USBケーブルUC-E24**：カメラ側がType-C、USB機器側がType-AのUSBケーブルです。
・**USBケーブルUC-E25**：両端がType-CのUSBケーブルです。付属のUSBケーブルと同じケーブルです。

● ホットシューアダプター

ホットシューアダプターAS-15：アクセサリーシューに装着すると、シンクロターミナルを利用してスタジオ用フラッシュなどを接続できます。

● アクセサリーシューカバー

アクセサリーシューカバーBS-1：スピードライトを取り付けるアクセサリーシューを保護するためのカバーです。

● ボディーキャップ

ボディーキャップBF-N1：レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、ゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。

● スピードライト

・**スピードライトSB-5000/SB-910/SB-900/SB-800/SB-700/SB-600/SB-500/SB-400/SB-300**：カメラに装着してフラッシュ撮影できます。お使いのスピードライトによっては、カメラから離れた位置にあるスピードライト（リモートフラッシュ）をワイヤレスで制御して、増灯撮影することもできます。
  - スピードライトの装着方法については、お使いになる各スピードライトの説明書をご覧ください。
  - スピードライトの詳しい使い方や機能については、「別売スピードライトをカメラに装着して撮影する（一灯撮影）」（🕮423）、「増灯撮影とは」（🕮426）、「使用できるスピードライト」（🕮730）をご覧ください。
・**ワイヤレスリモートスピードライトSB-R200**：ワイヤレスで増灯撮影するスピードライトです。

・**ワイヤレススピードライトコマンダーSU-800**：ワイヤレスでSB-5000、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-500、SB-R200を制御するコマンダーです。スピードライトを3つのグループに分けて光制御できます。SU-800には発光機能はありません。

● マウントアダプター

マウントアダプターFTZ II/FTZ：Fマウント用のNIKKORレンズをZマウントのレンズ交換式デジタルカメラに取り付けるためのアダプターです。

・マウントアダプターのカメラへの取り付け方と取り外し方、マウントアダプターのお手入れと取り扱い上のご注意については、マウントアダプターの説明書をご覧ください。

※　マウントアダプターをカメラに装着したときに、バージョンアップを促す警告メッセージがカメラに表示された場合は、最新版にバージョンアップしてください。ファームウェアのバージョンアップ方法については、当社のホームページでご確認ください。

● 外部マイク

・**ステレオマイクロホンME-1**：ステレオマイクロホンME-1を外部マイク入力端子に接続すると、ステレオ録音ができます。また、動画記録中にオートフォーカスでピント合わせをしたときに生じるレンズの動作音などが録音されるのを軽減できます。

・**ワイヤレスマイクロホンME-W1**：Bluetooth無線通信技術を搭載したワイヤレスマイクロホンです。カメラの動画撮影時に離れた場所の音声を収音できます。

● リモコン

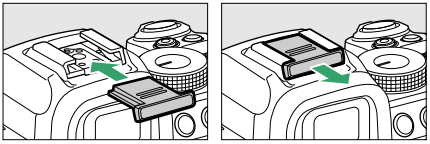
リモコンML-L7：カメラとペアリングして、リモート操作で静止画および動画の撮影などができます。

● リモートグリップ

リモートグリップMC-N10：MC-N10をカメラに接続すると、撮影や設定変更などの操作をMC-N10で行うことができます。MC-N10は、市販の撮影用機器に取り付けるためのロゼットを備えています。MC-N10をARRI互換のロゼットアダプターが付いている撮影用機器に固定すると、被写体の動きに合わせてパンニングしながらピントを合わせたり、カメラに触れることなく手元で露出やホワイトバランスを調整したりできます。

アクセサリーシューカバーの取り付けおよび取り外し方

別売のアクセサリーシューカバーBS-1を取り付けるには、カバーを図のようにカメラのアクセサリーシューに差し込みます。取り外すときは、カメラをしっかりと支えて、カバー全体を親指で押さえながら矢印の方向にスライドさせます。



リモートコードMC-DC3について

リモートコードMC-DC3をカメラのヘッドホン/リモートコード（🎧/🎙）端子に接続すると、カメラから離れてレリーズ操作ができます。

- リモートコードMC-DC3を使用する場合は、あらかじめセットアップメニュー［🎧/🎙**端子の機能**］が［**自動切り換え**］に設定されていることを確認してください。

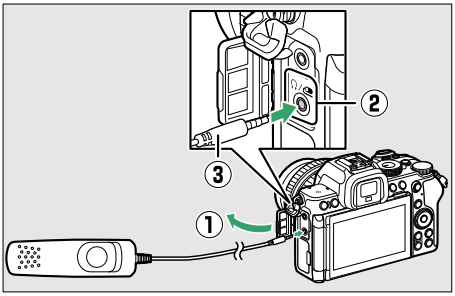
■■ リモートコードMC-DC3を接続する

1 **カメラの電源をOFFにする**

2 **カメラのマイク/ヘッドホン/リモートコード端子カバーを開ける（①）**

3 **カメラのヘッドホン/リモートコード端子（②）にリモートコードのプラグをしっかりと差し込む（③）**

無理な力を加えずに端子をまっすぐに差し込んでください。

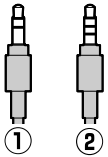


・リモートコードMC-DC3はヘッドホン/リモートコード端子に接続してください。同じ形状の外部マイク入力端子に接続しても機能しません。

4 **カメラの電源をONにする**

ヘッドホン/リモートコード端子のご注意

セットアップメニュー［**端子の機能**］を［**自動切り換え**］に設定してヘッドホンを使用する場合は、3極プラグ（プラグの例：①）のヘッドホンを使用してください。4極プラグ（プラグの例：②）のヘッドホンやヘッドセットを使用すると、ヘッドホンとして使用できなかったり、カメラが誤動作することがあります。4極プラグのヘッドホンやヘッドセットを使用する場合は、［**ヘッドホン**］に設定してください。



リモコンML-L7について

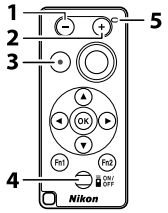
別売のリモコンML-L7をカメラとBluetooth接続すると、リモート操作で静止画および動画の撮影などができます。

- リモコンML-L7を使うときは、カメラとのペアリングが必要です。
- リモコンML-L7は1台のカメラにつき1個のみペアリングできます。別のリモコンML-L7をペアリングすると、最後にペアリングしたリモコンML-L7のみ有効になります。
- リモコンML-L7付属の説明書もあわせてご覧ください。

リモコン使用時のご注意

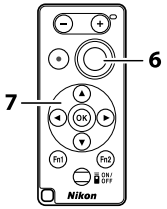
- 次の場合は、リモコンは使用できません。
  - ネットワークメニュー［**機内モード**］が［**ON**］のとき
  - ネットワークメニュー［**USB**］が［**iPhone**］になっているとき
  - カメラを他の機器にUSB接続して通信しているとき
- カメラとリモコンの接続と、カメラと他の機器の無線接続（Bluetooth接続またはWi-Fi接続）を、同時に行うことはできません。

■■ リモコンML-L7の各部の名称と機能

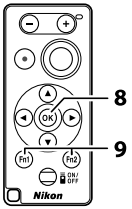


	操作部	機能
1	**－ボタン**	カメラの（**?**）ボタンと同様の操作ができます。
2	**＋ボタン**	カメラのボタンと同様の操作ができます。
3	**動画撮影ボタン**	ボタンを押すと動画撮影を開始し、もう一度押すと終了します。

	操作部	機能
4	**電源ボタン**	・ボタンを押すと電源がONになります。 - 近くにペアリング済みのカメラがある場合、自動的に接続します。 - 3秒以上長押しすると、ペアリング待機状態になります。 ・電源がONの状態でボタンを押すと、電源がOFFになり、状態表示ランプが消灯します。
5	**状態表示ランプ**	ランプの色や挙動によって、リモコンの状態や撮影の動作状態を表示します（🕮759）。



	操作部	機能
6	シャッターボタン	ボタンを押すとシャッターがきれます。 ・半押し機能はありません。オートフォーカス使用時は、オートフォーカスでピント合わせをした後にシャッターがきれます。 ・ボタンを押し続けても連続撮影はできません。 ・バルブ撮影に設定している場合、タイム撮影と同じ操作で撮影できます。
7	マルチセレクター	カメラのマルチセレクターと同様の操作ができます。



	操作部	機能
8	㊙（決定）ボタン	カメラの㊙ボタンと同様の操作ができます。
9	**Fn1**（ファンクション1）/**Fn2**（ファンクション2）ボタン	カメラのネットワークメニュー［**リモコン（ML-L7）設定**］の［**Fn1ボタンの機能**］と［**Fn2ボタンの機能**］であらかじめ登録した機能を使用できます。 ・初期設定では、リモコンの**Fn1**ボタンを押すと再生画面、リモコンの**Fn2**ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

ヒント: リモコンの状態表示ランプについて（Z50IIの場合）

色	状態	内容
緑	約1秒間隔で点滅	ペアリング済みカメラを検出中
緑	速く点滅（約0.5秒間隔）	ペアリング中
緑	約3秒間隔で点滅	カメラと接続されている状態
オレンジ	1回点滅	静止画撮影開始
オレンジ	2回点滅	バルブ撮影/タイム撮影時の撮影終了
赤	1回点滅	動画撮影開始
赤	2回点滅	動画撮影終了

ヒント: カメラで合わせたピント位置のままリモコン撮影するには
カメラで合わせたピント位置のままリモコン撮影する場合は、カメラのシャッターボタンを半押ししてピントを固定してから、フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定してください。

ヒント: リモコン使用時の半押しタイマーについて
カメラの半押しタイマーがオフになり画像モニターとファインダーの表示が消灯しているとき、リモコンの電源をONにしてからリモコンのシャッターボタンまたは動画撮影ボタンを長押しすると、元の状態に戻ります。

■■初めて接続する場合（ペアリング）

初めてリモコンを使うときには、カメラとのペアリングが必要です。

1 カメラのネットワークメニュー［リモコン（ML-L7）設定］で［リモコン登録］を選んでⓄKボタンを押す

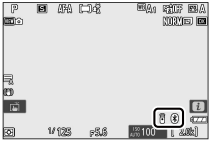
・カメラがペアリング待機中になります。

2 **リモコンの電源ボタンを長押し（3秒以上）する**

・カメラとリモコンのペアリングがはじまります。この間、リモコンの状態表示ランプが約0.5秒間隔で点滅します。

・ペアリングが完了すると、カメラとリモコンが接続されます。

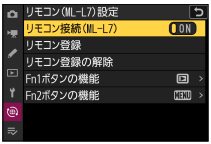
・撮影画面に と が表示されます。



・ペアリングに失敗したことを知らせるメッセージが表示されたら、手順1からやり直してください。

■■ペアリング済みのリモコンと接続する場合

1 **カメラのネットワークメニュー［リモコン（ML-L7）設定］>［リモコン接続（ML-L7）］を［ON］に設定する**



2 **リモコンの電源ボタンを押す**

自動的にカメラとリモコンが接続されます。

カメラのお手入れについて

カメラを長期間保管するときは

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

カメラを保管するときは、下記の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所

クリーニングについて

クリーニングする部分によって方法が異なります。次の方法で行ってください。

- クリーニングするときは、アルコールやシンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

■■カメラ本体

ほこりや糸くずをブロアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカメラを使用した後は、真水で湿らせた布で砂や塩を軽く拭き取り、よく乾かします。

ご注意：次の場合、当社の保証の対象外となります。

- カメラ内部にゴミやほこり、砂などが入り込んだことで発生した故障
- スプレータイプのブロアーをカメラに近づけすぎて使ったことにより発生した故障

■■レンズ・ファインダー

レンズ面は傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブロアーで払います。スプレー缶タイプのブロアーは、缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズやファインダーを傷つけることがあります）。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、レンズ面を傷つけないように注意して拭きます。

■■画像モニター

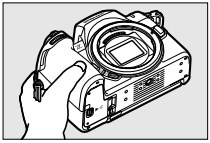
ほこりや糸くずをブロアーで払います。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

撮像素子前面をブロアーで掃除する

レンズを取り付けるときなどに、撮像素子の前面にゴミやほこりが付くと、画像に影が写り込むことがあります。撮像素子前面は次の手順でクリーニングできます。ただし、カメラ内部の撮像素子は非常に傷つきやすいため、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けくださることをおすすめします。

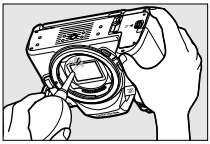
1 **カメラの電源をOFFにしてからレンズを取り外す**

2 **カメラの内部に光が当たるようにカメラを持ち、ゴミやほこりが付いていないかどうかを点検する**



ゴミやほこりが付いていない場合は、手順4にお進みください。

3 撮像素子前面に付いたゴミやほこりをブロアーで払う



・ブラシの付いていないブロアーをお使いください。ブラシで撮像素子の表面に傷が付くことがあります。
・ブロアーで取り除けない汚れがある場合は、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。絶対に、手でこすったり、布で拭き取ったりしないでください。

4 レンズまたは付属のボディーキャップを付ける

撮像素子前面に付着するゴミなどについて

撮像素子前面には、カメラからレンズまたはボディーキャップを取り外した際に外部からカメラ内に入ったゴミや、まれにカメラ内部の潤滑剤や細粉などが付着することがあり、撮影条件によっては撮像素子前面に付着したゴミや潤滑剤、細粉などが撮影画像に写り込む場合があります。カメラ内へのゴミの侵入を防止するため、ほこりの多い場所でのレンズ交換やボディーキャップの着脱は避け、カメラ本体のマウント部およびレンズのマウント部、ボディーキャップのゴミを除去してからカメラに取り付けてください。レンズを外してカメラを保管するときは、必ず付属のボディーキャップを装着してください。撮像素子前面に付着したゴミなどは、「撮像素子前面をブロアーで掃除する」（🕮762）の手順でクリーニングしていただくか、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。なお、ゴミの写り込みは、画像加工アプリケーションなどで修正できます。

定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1〜2年に1度は定期点検を、3〜5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします（有料）。
・特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
・より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

カメラとバッテリーの使用上のご注意

カメラの取り扱い上のご注意

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がさびついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えない

カメラを寒い場所から暖かい場所、または暖かい場所から寒い場所に持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じて故障の原因となります。温度差のある場所にカメラを持ち込むときは、あらかじめカメラをバッグやポリエチレン袋などに入れて密閉してください。カメラが周囲の温度になじんだら、袋から取り出してお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、静電気が発生する環境では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

● カメラやレンズにクレジットカードなどの磁気製品を近づけない

磁気製品の記録内容が壊れることがあります。

● 太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色、焼き付き、破損を起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

● レーザー光などの光線について

レーザー光などの強い光線がレンズに向けて照射されると、撮像素子が破損を起こすおそれがあります。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする

カメラの電源がONの状態で、バッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● カメラ本体のお手入れについて

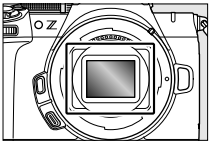
カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。

● レンズやファインダーのお手入れについて

レンズやファインダーは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブロアーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのブロアーの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズやファインダーを傷つける場合があります）。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

● 撮像素子に触れない

撮像素子を押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や破損などの原因となります。



● 撮像素子の手入れ方法について

撮像素子のクリーニングの方法については「撮像素子前面をブロアーで掃除する」（🕮762）をご覧ください。

● レンズの信号接点について

レンズの信号接点を汚さないようにご注意ください。指などが触れないようにご注意ください。

● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。防虫剤のあるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくとより安全です。ただし、皮ケースをポリエチレン袋に入れると、変質することがありますので避けてください。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤（シリカゲル）は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● 画像モニターとファインダーについて

- 画像モニター（ファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では日差しの加減で画像モニターが見えにくい場合があります。
- 画像モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。画像モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブロアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、画像モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。
- ファインダーを見ながら撮影をしている場合に、次のいずれかの症状を感じた時は、使用をやめ、回復するまで休んでください。
  - 吐き気・目の痛み、目の疲れ
  - めまい・頭痛・首の痛み、肩こり
  - 気分が悪い・手と目の感覚のずれ
  - 乗り物酔いの症状
- 連続撮影時に、撮影画面が素早く点灯と消灯を繰りかえすことがあります。このとき、撮影画面を見続けることで体調不良などの症状が起きるおそれがあります。その場合は使用をやめ、回復するまで休んでください。

● 線状のノイズについて

逆光撮影や輝度の高い光源に向けて撮影する場合、まれに撮影した画像上に線状のノイズが発生することがあります。

● 階調モードHLG設定時のカメラの画像モニター/ファインダーの表示について

階調モードを［**HLG**］に設定すると、カメラの撮影画面または再生画面にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生したり、高彩度やハイライトの再現性が低下したりする場合があります。また、撮影した静止画をカメラの画像モニターまたはファインダーで1コマ表示すると、表示中の画像に階調段差が生じる場合がありますが、撮影した画像には影響ありません。適切な階調を確認するには、HLGに対応したモニター、パソコン、OS、アプリケーションなどをご使用ください。

バッテリーの使用上のご注意

● 使用上のご注意

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
  - バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
  - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。
  - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
  - 必ず指定のバッテリーを使う。
  - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
  - カメラから取り外したバッテリーは絶縁する。端子カバーがある場合は、バッテリーに端子カバーを付ける。端子カバーがない場合は、バッテリーを個別にポリ袋などの電気を通さない容器に入れる。
- カメラの使用直後など、バッテリーの温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラから取り外し、涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 長期間保管する場合は、少なくとも1年に一回、50%程度まで充電してください。フル充電はしないでください。残量のない状態から50%程度まで充電するために必要な時間の目安は、フル充電するときの約半分です。

・使用しないときは必ずバッテリーをカメラから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。
・バッテリーは0℃～40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
・バッテリーの温度が0℃～15℃、45℃～60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。
・一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、バッテリーに充電できる容量は少なくなります。
・一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、使用できるバッテリー容量は少なくなります。このカメラでは、温度変化に対して使用できる容量も的確にバッテリー残量として表示します。そのため、充分に充電したバッテリーでも、充電したときよりも温度が低くなると、充電直後から残量が減り始めた表示になることがあります。
・カメラの使用後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。バッテリーを取り出す際はご注意ください。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

● バッテリーの残量について

・電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。電池残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。

・充分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリーをお求めください。

● 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、接点部をビニールテープなどで絶縁しリサイクル協力店へお持ちください。

詳しくは一般社団法人JBRCホームページ（https://www.jbrc.com）をご覧ください。

※　数字の有無と数値は、電池によって異なります。

主な仕様

ニコンデジタルカメラ Z50II

型式	
型式	レンズ交換式デジタルカメラ
レンズマウント	ニコンZマウント

使用レンズ	
使用レンズ	・ZマウントNIKKORレンズ ・FマウントNIKKORレンズ（マウントアダプターが必要、一部機能制限あり）

有効画素数	
有効画素数	2088万画素

撮像素子	
方式	23.5×15.7 mmサイズCMOSセンサー（ニコンDXフォーマット）
総画素数	2151万画素
ダスト低減機能	イメージダストオフデータ取得（NX Studioが必要）

記録形式	
記録画素数	・**撮像範囲［DX（24×16）］の場合**： - 5568×3712ピクセル（サイズL：20.7 M） - 4176×2784ピクセル（サイズM：11.6 M） - 2784×1856ピクセル（サイズS：5.2 M） ・**撮像範囲［1:1（16×16）］の場合**： - 3712×3712ピクセル（サイズL：13.8 M） - 2784×2784ピクセル（サイズM：7.8 M） - 1856×1856ピクセル（サイズS：3.4 M） ・**撮像範囲［16:9（24×14）］の場合**： - 5568×3128ピクセル（サイズL：17.4 M） - 4176×2344ピクセル（サイズM：9.8 M） - 2784×1560ピクセル（サイズS：4.3 M）
ファイル形式（画質モード）	・**NEF（RAW）**：RAW 14ビット（ロスレス圧縮、高効率★、高効率） ・**JPEG**：JPEG-Baseline準拠、圧縮率（約）：FINE（1/4）、NORMAL（1/8）、BASIC（1/16） ・**HEIF**：圧縮率（約）：FINE（1/4）、NORMAL（1/8）、BASIC（1/16） ・**NEF（RAW）+JPEG**：RAWとJPEGの同時記録可能 ・**NEF（RAW）+HEIF**：RAWとHEIFの同時記録可能
ピクチャーコントロールシステム	オート、スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、フラットモノクローム、ディープトーンモノクローム、ポートレート、リッチトーンポートレート、風景、フラット、Creative Picture Control（ドリーム、モーニング、ポップ、サンデー、ソンバー、ドラマ、サイレンス、ブリーチ、メランコリック、ピュア、デニム、トイ、セピア、ブルー、レッド、ピンク、チャコール、グラファイト、バイナリー、カーボン）、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能 ※　静止画撮影で階調モードHLG設定時は、スタンダード、モノクローム、フラットのみ設定可能
記録媒体	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード（SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードはUHS-II規格に対応）
対応規格	DCF 2.0、Exif 2.32、MPEG-A MIAF

ファインダー	
ファインダー	電子ビューファインダー、1.0 cm/0.39型XGA OLED、約236万ドット、明るさ調整可能（オート、マニュアル13段階）、カラーカスタマイズ可能
視野率	上下左右とも約100%（対実画面）
倍率	約1.02倍（50mmレンズ使用時、∞、−1.0 m^{-1}のとき）
アイポイント	接眼レンズ最後尾から19.5mm（−1.0 m^{-1}のとき）
視度調節範囲	−3〜＋3 m^{-1}
アイセンサー	ファインダー表示と画像モニター表示の自動切り換え

画像モニター	
画像モニター	バリアングル式8 cm/3.2型TFT液晶モニター（タッチパネル）、約104万ドット、視野角170°、視野率約100%、明るさ調整可能（マニュアル13段階）、カラーカスタマイズ可能

シャッター	
型式	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター、電子先幕シャッター、電子シャッター
シャッタースピード	1/4000〜30秒（ステップ幅：1/3、1/2、1ステップに変更可能、撮影モード**M**では900秒まで延長可能）、Bulb、Time
フラッシュ同調シャッタースピード	1/250秒または1/200秒以下の低速シャッタースピードで同調（1/200〜1/250秒はガイドナンバーが減少）。1/4000秒までのシャッタースピードでオートFPハイスピードシンクロ可能

レリーズ機能	
レリーズモード	1コマ撮影、低速連続撮影、高速連続撮影、高速連続撮影（拡張）、ハイスピードフレームキャプチャー＋（プリキャプチャー機能あり）、セルフタイマー撮影

レリーズ機能	
連続撮影速度※	・**低速連続撮影**：約1～5コマ/秒 ・**高速連続撮影**：約5.6コマ/秒（サイレントモードかつRAWを含まない画質モード時：約9.7コマ/秒） ・**高速連続撮影（拡張）**：約11コマ/秒（サイレントモード時：約15コマ/秒） ・**ハイスピードフレームキャプチャー＋（C15）**：約15コマ/秒 ・**ハイスピードフレームキャプチャー＋（C30）**：約30コマ/秒 ※　ニコン試験条件での最大撮影速度
セルフタイマー	作動時間：2、5、10、20秒、撮影コマ数：1～9コマ、連続撮影間隔：0.5、1、2、3秒

露出制御	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	・**マルチパターン測光** ・**中央部重点測光**：標準（Φ8 mm相当）、小さめ（Φ6 mm相当）、画面全体の平均に変更可能、中央部重点度約75% ・**スポット測光**：約Φ3.5 mm相当を測光、フォーカスポイントに連動して測光位置可動 ・**ハイライト重点測光**
測光範囲※	−4～17 EV ※　ISO 100相当、f/2.0レンズ使用時、温度20℃
撮影モード	・AUTO：オート、**P**：プログラムオート（プログラムシフト可能）、**S**：シャッター優先オート、**A**：絞り優先オート、**M**：マニュアル ・**シーンモード**：ポートレート、風景、こどもスナップ、スポーツ、クローズアップ、夜景ポートレート、夜景、パーティー、海・雪、夕焼け、トワイライト、ペット、キャンドルライト、桜、紅葉、料理
露出補正	範囲：±5段、補正ステップ：1/3、1/2ステップに変更可能
AEロック	輝度値ロック方式

露出制御	
ISO感度（推奨露光指数）	ISO 100～51200（ステップ幅：1/3、1ステップに変更可能）、ISO 51200に対し約0.3、0.7、 1、2段（ISO 204800相当）の増感、感度自動制御が可能 ※　階調モードHLG設定時は、ISO 400～51200
アクティブD-ライティング	オート、より強め、強め、標準、弱め、しない
多重露出	加算、加算平均、比較明合成、比較暗合成
その他の機能	HDR合成、静止画フリッカー低減、高周波フリッカー低減

オートフォーカス	
方式	ハイブリッドAF（位相差AF/コントラストAF）、AF補助光付
検出範囲※	−9～19 EV ※　静止画モード、シングルAFサーボ（**AF-S**）、ISO 100相当、f/1.2レンズ使用時、温度20℃
レンズサーボ	・**オートフォーカス**：シングルAFサーボ（**AF-S**）、コンティニュアスAFサーボ（**AF-C**）、AFモード自動切り換え（**AF-A**）（静止画モードのみ）、フルタイムAF（**AF-F**）（動画モードのみ）、予測駆動フォーカスあり ・**マニュアルフォーカス（M）**：フォーカスエイド可能
フォーカスポイント※	209点（シングルポイントAF時）、231点（オートエリアAF時） ※　静止画モード、撮像範囲DX
AFエリアモード	ピンポイントAF（静止画モードのみ）、シングルポイントAF、ダイナミックAF（S、M、L、静止画モードのみ）、ワイドエリアAF（S、L、C1、C2）、オートエリアAF、3D-トラッキング（静止画モードのみ）、ターゲット追尾（動画モードのみ）
フォーカスロック	AE-L/AF-L（**OK**）ボタン、またはシングルAF サーボ（**AF-S**）時にシャッターボタン半押し

フラッシュ	
内蔵フラッシュ	フラッシュポップアップレバー操作による手動ポップアップ方式 **ガイドナンバー**：約7（マニュアルフル発光時約7）（ISO 100・m、20℃）
充電時間	約3秒
調光方式	**TTL調光制御**：i-TTL-BL調光（マルチパターン測光、中央部重点測光またはハイライト重点測光）、スタンダードi-TTL調光（スポット測光）可能
フラッシュモード	通常発光、赤目軽減発光、通常発光+スローシャッター、赤目軽減+スローシャッター、後幕発光、通常発光オート、赤目軽減オート、通常発光オート+スローシャッター、赤目軽減オート+スローシャッター、発光禁止
調光補正	範囲：−3〜+1段、補正ステップ：1/3、1/2ステップに変更可能
レディーライト	内蔵フラッシュ、別売スピードライト使用時に充電完了で点灯、フル発光による露出不足警告時は点滅
アクセサリーシュー	ホットシュー（ISO 518）：シンクロ接点、通信接点、セーフティーロック機構（ロック穴）付
ニコンクリエイティブライティングシステム	i-TTL調光、光制御アドバンストワイヤレスライティング、FVロック、発光色温度情報伝達、オートFPハイスピードシンクロ

ホワイトバランス	
ホワイトバランス	オート（3種）、自然光オート、晴天、曇天、晴天日陰、電球、蛍光灯（3種）、フラッシュ、色温度設定（2500K〜10000K）、プリセットマニュアル（6件登録可）、全て微調整可能

ブラケティング	
ブラケティング	AE・フラッシュブラケティング、AEブラケティング、フラッシュブラケティング、ホワイトバランスブラケティング、アクティブD-ライティングブラケティング

静止画のその他の機能	
静止画のその他の機能	ヴィネットコントロール、回折補正、自動ゆがみ補正、美肌効果、人物印象調整、インターバルタイマー撮影、フォーカスシフト撮影

動画機能	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、ハイライト重点測光
記録画素数/フレームレート	・3840×2160（4K UHD）：60p/50p/30p/25p/24p ・1920×1080：120p/100p/60p/50p/30p/25p/24p ・1920×1080スロー：30p（4倍）/25p（4倍）/24p（5倍） ※120p：119.88fps、100p：100fps、60p：59.94fps、50p：50fps、30p：29.97fps、25p：25fps、24p：23.976fps
ファイル形式	MOV、MP4
映像圧縮方式	H.265/HEVC（8bit/10bit）、H.264/AVC（8bit）
音声記録方式	リニアPCM（48KHz 24bit、動画記録ファイル形式がMOVの場合）、AAC（48KHz 16bit、動画記録ファイル形式がMP4の場合）
録音装置	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能、マイク感度設定可能、アッテネーター機能、録音帯域設定、風切り音低減機能
露出補正	範囲：±3段、補正ステップ：1/3、1/2ステップに変更可能
ISO感度（推奨露光指数）	・**撮影モードM**：ISO 100～25600（ステップ幅：1/6、1/3、1ステップに変更可能）、感度自動制御（ISO 100～25600）が可能、制御上限感度が設定可能 ※階調モードHLG設定時は、ISO 400～25600 ※階調モードN-Log設定時は、Lo 0.3～2.0、ISO 800～25600 ・**撮影モードP**、**S**、**A**：感度自動制御（ISO 100～25600）、制御上限感度が設定可能 ・**撮影モード**AUTO、**SCN**：感度自動制御（ISO 100～25600）
アクティブD-ライティング	より強め、強め、標準、弱め、しない

動画機能	
その他の機能	タイムラプス動画、電子手ブレ補正、タイムコード、RECランプ付、動画Log（N-Log）、HDR（HLG）動画、ウェーブフォーム表示、動画撮影中の赤枠表示、動画記録中の拡大表示（50%、100%、200%、400%）、シャッタースピード延長機能（撮影モード**S**、**M**時）、**i**メニュー動画撮影情報、ハイレゾズーム

再生機能	
再生機能	1コマ再生、サムネイル（約4、9、72分割）、拡大再生、拡大再生中のトリミング、動画再生、スライドショー、ヒストグラム表示、ハイライト表示、撮影情報表示、位置情報表示、撮影画像の自動回転、レーティング、フィルター再生、音声メモ入力/再生、IPTCプリセット添付/表示、連続撮影グループ先頭への画像送り、連続撮影画像のグループ再生表示、動画再生時の一括フレーム保存、比較動合成

インターフェース	
USB	Type-C端子（SuperSpeed USB）（標準装備されたUSBポートへの接続を推奨）
HDMI出力	HDMI端子（Type D）装備
外部マイク入力	ステレオミニジャック（Φ3.5mm）、プラグインパワーマイク対応
ヘッドホン出力/リモートコード	・ステレオミニジャック（Φ3.5 mm） ・リモートコードMC-DC3使用可能 ※　端子機能を自動切り換え、ヘッドホンに設定可能

Wi-Fi（無線LAN）・Bluetooth	
Wi-Fi	・**準拠規格**：IEEE802.11b/g/n/a/ac ・**周波数範囲（中心周波数）**：2412〜2472 MHz（13ch）、5180〜5700 MHz ・**出力（EIRP）**： - 2.4 GHz：4.6 dBm - 5 GHz：5.3 dBm ・**認証方式**：オープンシステム、WPA2-PSK、WPA3-SAE
Bluetooth	・**通信方式**：Bluetooth標準規格 Ver.5.0 ・**周波数範囲（中心周波数）**： - Bluetooth：2402〜2480 MHz - Bluetooth Low Energy：2402〜2480 MHz ・**出力（EIRP）**： - Bluetooth：−0.9 dBm - Bluetooth Low Energy：−2.4 dBm

電源	
使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a※1個使用 ※ EN-EL25aの代わりにEN-EL25も使えます。ただし、EN-EL25aを使用したときよりも撮影可能コマ数（電池寿命）が減少します。
ACアダプター	ACアダプターEH-8P（付属のUSBケーブルUC-E25と組み合わせて使用）（別売）

三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	0.635 cm（1/4型、ISO 1222）

寸法・質量	
寸法（W×H×D）	約127×96.8×66.5 mm
質量	約550 g（バッテリーおよびメモリーカードを含む、ボディーキャップを除く）、約495 g（本体のみ）

動作環境	
温度	0℃～40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格またはガイドラインに準拠しています。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 本書では、APS-Cサイズに準じた画角を「DX フォーマット」と表記しています。
- カメラに表示されるサンプル画像、および本書記載の画像やイラストは、機能を説明するためのイメージです。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	7.6 V、1250 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法	約34×50.5×18 mm
質量	約54 g

カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリーカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。

本製品を譲渡/廃棄する際は、使用者によって本製品内に登録または設定された、無線LAN接続設定などの個人情報を含む内容を、カメラのセットアップメニュー［**カメラの初期化**］を行って削除してください。

使用できるメモリーカード

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードが使用できます。
- SDカードはUHS-IおよびUHS-IIに対応しています。

- 「ハイスピードフレームキャプチャー +」で撮影を行うには、最大250MB/s以上の転送速度を持つUHSスピードクラス3以上のSDカードをおすすめします。
- 動画の撮影および再生には、UHSスピードクラス3以上のSDカードをおすすめします。画像サイズが大きい動画やフレームレートが高い動画の撮影および再生には、最大250MB/s以上の転送速度を持つUHSスピードクラス3以上のSDカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の記録および再生が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。

記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数

画質モード（🕮107）、画像サイズ（🕮108）の組み合わせによって、［**撮像範囲設定**］が［**DX（24×16）**］および［**階調モード**］が［**SDR**］の場合に32GBのメモリーカードに記録できるコマ数、および連続撮影できるコマ数は、次のようになります※1。ただし、カードの種類や撮影条件によって、コマ数は増減することがあります。

画質モード	画像サイズ	1コマあたりのファイルサイズ	記録可能コマ数 ※2	連続撮影可能コマ数 ※2、3
RAW（ロスレス圧縮RAW）	—	約24.4 MB	763コマ	200コマ以上
RAW（高効率★）	—	約15.6 MB	1700コマ	200コマ以上
RAW（高効率）	—	約10.6 MB	2400コマ	
FINE	L	約10.0 MB	2100コマ	200コマ以上
	M	約6.8 MB	3400コマ	
	S	約3.7 MB	6400コマ	
NORMAL	L	約5.7 MB	4200コマ	200コマ以上
	M	約3.5 MB	6700コマ	
	S	約2.0 MB	12200コマ	
BASIC	L	約2.3 MB	8000コマ	200コマ以上
	M	約1.7 MB	12800コマ	
	S	約1.1 MB	22200コマ	

※1　装着レンズNIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR、SanDisk SDSDXPK-032G-JNJIPのメモリーカードを使用した場合（2024年7月現在）

※2　撮影条件により、記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数は増減することがあります。

※3 ISO感度がISO 100の場合の、連続撮影速度を維持して撮影できるコマ数です。［**自動ゆがみ補正**］を［**ON**］にした場合などには、連続撮影可能コマ数は減少します。

動画記録可能時間

動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］（🕮201）の設定によって、［**動画記録ファイル形式**］が［**H.265 8-bit（MOV）**］の場合に256GBのメモリーカードに記録できる動画記録可能時間は、次のようになります※。

- 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は125分です。ただし、カードの種類や撮影条件によって、動画記録可能時間は増減することがあります。
- 複数の動画ファイルを記録した場合、動画記録可能時間は全てのファイルの合計時間です。
- バッテリー残量がなくなった場合やカメラ内部の温度が上昇した場合は、最長記録時間内やカードに空き容量があるときでも動画撮影が終了することがあります。

［画像サイズ/フレームレート］	動画記録可能時間
［**3840×2160 60p**］	約94分
［**3840×2160 50p**］	
［**3840×2160 30p**］	約187分
［**3840×2160 25p**］	
［**3840×2160 24p**］	
［**1920×1080 120p**］	約187分
［**1920×1080 100p**］	
［**1920×1080 60p**］	約369分
［**1920×1080 50p**］	
［**1920×1080 30p**］	約721分
［**1920×1080 25p**］	
［**1920×1080 24p**］	

※　SanDisk SDSDXEP-256G-JNJIPのメモリーカードを使用した場合（2024年7月現在）

撮影可能コマ数（電池寿命）について

フル充電したLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a※1使用時の電池寿命は次の通りです※2。電池寿命は、バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって異なります。

■■静止画モード（1コマ撮影）：撮影可能コマ数※3

- モニターモード［**ファインダーのみ**］時：
  - セットアップメニュー［**パワーセーブ（静止画モード）**］が［**ON**］の場合：約240枚
  - セットアップメニュー［**パワーセーブ（静止画モード）**］が［**OFF**］の場合：約220枚
- モニターモード［**モニターのみ**］時：
  - セットアップメニュー［**パワーセーブ（静止画モード）**］が［**ON**］の場合：約250枚
  - セットアップメニュー［**パワーセーブ（静止画モード）**］が［**OFF**］の場合：約230枚

■■動画モード：動画撮影可能時間※4

- モニターモード［**ファインダーのみ**］時：約55分
- モニターモード［**モニターのみ**］時：約55分

次の場合などは、バッテリーの消耗が早くなります。

- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- RAWを含む画質モードで撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- BluetoothおよびWi-Fi（無線LAN）機能を使用した場合
- アクセサリーを装着して使用した場合
- レンズ使用時にズーム操作を繰り返した場合
- 低温環境で撮影した場合

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25aの性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、充分な性能が発揮できません。

・充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

※1 EN-EL25aの代わりにEN-EL25も使えます。ただし、EN-EN-EL25aを使用したときよりも、撮影可能コマ数（電池寿命）が減少します。

※2 SanDisk SDSDXPK-032G-JNJIPのメモリーカード、温度23（±2）℃の場合。

※3 CIPA（カメラ映像機器工業会）規格準拠。初期設定条件で30秒間隔ごとに撮影する。装着レンズNIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR。

※4 電池寿命測定方法を定めたCIPA規格による実撮影電池寿命。装着レンズNIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR。カメラは初期設定状態。

・1回の動画撮影で記録可能な最長時間は125分です。

・カメラ内部の温度が上昇した場合、最長記録時間内やカードに空き容量があるときでも動画撮影が終了することがあります。

商標およびソフトウェアの著作権とライセンスについて

- NVM ExpressはNVM Express Inc.の商標または登録商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple*、App Store*、Appleロゴ、iPhone*、iPad*、Mac、macOSは米国およびその他の国々で登録された、Apple Inc.の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社（https://www.aiphone.co.jp/）のライセンスに基づき使用しています。
- AndroidとGoogle PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。Android ロボットは、Google が作成および提供している作品から複製または変更したものであり、クリエイティブ・コモンズ表示 3.0 ライセンスに記載された条件に従って使用しています。
- IOSの商標は、米国およびその他の国におけるCiscoのライセンスに基づき使用しています。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Bluetooth*のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Powered by intoPIX technology.

intoPIX

- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and

regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.

FreeType License（FreeType2）

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project（https://www.freetype.org）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License（HarfBuzz）

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2018 The HarfBuzz Project（https://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE TO ANY PARTY FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE AND ITS DOCUMENTATION, EVEN IF THE COPYRIGHT HOLDER HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE. THE COPYRIGHT HOLDER SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE SOFTWARE PROVIDED HEREUNDER IS ON AN "AS IS" BASIS, AND THE COPYRIGHT HOLDER HAS NO OBLIGATION TO PROVIDE MAINTENANCE, SUPPORT, UPDATES, ENHANCEMENTS, OR MODIFICATIONS.

Unicode® Character Database License（Unicode® Character Database）

本製品のソフトウェアは、オープンソースソフトウェア（Unicode® Character Database）を利用しています。本オープンソースソフトウェアのライセンス条件は以下のとおりです。

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright © 1991-2024 Unicode, Inc. All rights reserved.

Distributed under the Terms of Use in

https://www.unicode.org/copyright.html

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that either

(i) this copyright and permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, or

(ii) this copyright and permission notice appear in associated Documentation.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF

MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.
Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

☑ AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。
(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること
上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
https://www.mpegla.comをご参照ください。

☑ BSD License（NVM Express Driver）

本カメラのNVM Express制御部分に含まれるオープンソースソフトウェアに適用されるライセンス条件は下記URLをご覧ください。
https://imaging.nikon.com/support/pdf/LicenseNVMe.pdf

☑ 上記以外のオープンソースソフトウェアについて

上記以外のオープンソースソフトウェアに適用されるライセンス条件は下記URLをご覧ください。
https://imaging.nikon.com/oss/en/index.htm

適合情報

■■ 無線機能についてのご注意

● 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しているか、画面で確認ができます。以下の行為は法令で罰せられることがあります。

・無線設備のある製品の分解/改造

・無線設備のある製品から証明ラベルをはがす

● 本製品はWi-Fi（無線LAN）およびBluetooth機能を搭載しています。国や地域によって、法律によりWi-Fi（無線LAN）およびBluetooth機能が使用できない場合があります。無線機能のご使用については、国や地域の法律をご確認の上、従ってください。

● セキュリティーについて

・本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 情報の漏洩：悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードなどの個人情報が漏洩する可能性があります。
- 不正アクセス：悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティーを設定したにもかかわらず、Wi-FiおよびBluetoothの仕様上、特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理解の上ご使用ください。

・セキュリティー保護されていないネットワーク：オープンネットワークに接続すると、不正なアクセスが発生する可能性があります。保護されたネットワークのみを使用してください。

・本来、Wi-Fi（無線LAN）製品は、セキュリティーに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

・セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は米国輸出管理規則Export Administration Regulations（EAR）を含む米国法の対象です。EARの輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア：変更される可能性があります）以外への輸出や持ち出しは、米国政府の許可は不要です。

● 5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯（W52/W53/W56）の3種類の帯域を使用することができます。5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN（W52/W53）の屋外使用は電波法で禁止されています。

● 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。

・電子レンジなどの産業・科学・医療用機器

・工場の製造ライン等の移動体識別用の

①構内無線局（免許を要する無線局）

②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

・アマチュア無線局（免許を要する無線局）

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。

● 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。

・使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する

・万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiアクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える

● その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書に記載のニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。

・雑音が増大したり、通信が途絶したりします。

・AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● この機器は、電波法に基づく認証を受けており、機器に添付されている以外の証明ラベルは次の通りです。

Wi-Fi（無線LAN）機能：2.4DS2/OF1

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯、変調方式はDS-SS、OFDM、与干渉距離は約10mです。

Bluetooth機能：2.4FH2/XX1

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯、変調方式はFH-SS、その他の方式、与干渉距離は約10mです。

● 本製品は、Wi-Fi（無線LAN）およびBluetooth機器としてお使いください。

Wi-FiおよびBluetooth機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-FiおよびBluetooth機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

● 無線機能についての免責事項

- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。必要な内容は、お客様の責任において控えを必ずおとりください。当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー［**カメラの初期化**］で工場出荷時の設定にリセットしてください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

■■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

■■ 認証情報の表示

セットアップメニューの［**認証情報**］では、このカメラが取得している認証情報の一部を確認できます。

Z50II Model Name: N2318

索引

マーク・英数字

AUTO（オート）……92, 98
P（プログラムオート）……130
S（シャッター優先オート）……131
A（絞り優先オート）……131
M（マニュアル）……132
SCN（シーンモード）……137
（1コマ撮影）……150
L（低速連続撮影）……150
H（高速連続撮影）……150
H+（高速連続撮影（拡張））……150
15（C15）……153
30（C30）……153
（セルフタイマー）……151
PINT（ピンポイントAF）……112
[ ]（シングルポイントAF）……112
S（ダイナミックAF（S））……112
M（ダイナミックAF（M））……113
L（ダイナミックAF（L））……113
WIDE S（ワイドエリアAF（S））……114
WIDE L（ワイドエリアAF（L））……114
（ワイドエリアAF（C1））……114
（ワイドエリアAF（C2））……114
3D（3D-トラッキング）……115
（ターゲット追尾AF）……115
[ ]（オートエリアAF）……116
MENUボタン……64
iボタン……71, 237
iメニュー……71, 237
ボタン……104
ISOボタン……156
（露出補正）ボタン……148
（ピクチャーコントロール）ボタン……63, 181
（レリーズモード）ボタン……150
（セルフタイマー）ボタン……150
AFL（）ボタン……123, 146, 245
（ヘルプあり表示）……69
U1、**U2**、**U3**（ユーザーセッティングモード）……135
1920×1080 24p 5倍スロー……202
1920×1080 25p 4倍スロー……202
1920×1080 30p 4倍スロー……202
1コマ撮影……150
1コマ表示……219
3D-トラッキング……115
ACアダプター……82
ADLブラケティング……469
AE・フラッシュブラケティング……460
AEブラケティング……460
AEロック……146
AF-A（AFモード自動切り換え）……110
AF-C（コンティニュアスAF）……110
AF-F（フルタイムAF）……111
AF-S（シングルAF）……110
Bluetooth……316
Bluetoothリモコン……671
Bulb（バルブ撮影）……144
C15……153

C30 153
D-ライティング 280
DISPボタン 42, 50, 222
Fn1ボタン 62
Fn2ボタン 62
FVロック 420
Hi（ISO） 157
HLG 207, 437
HLG動画 207
ISO感度 156
Log撮影 209
MF（マニュアルフォーカス） 111
ML-L7 755
N-Log 209
Nikon Imaging Cloud 381, 409
NX Studio 332, 411
NX Tether 375, 411
RAW現像 263
RECランプ 100
SDR 437
SnapBridge 314, 413
Time（タイム撮影） 144
UltraSync BLUE 684
USBケーブル 82, 332
WBブラケティング 465
Wi-Fiアクセスポイントモード 320, 337, 353
Wi-Fiステーションモード 322, 343, 359
Wireless Transmitter Utility 336

ア

アオリ効果 283
アドバンストワイヤレスライティング 426
一灯撮影 422
色温度 162, 168
オートエリアAF 116
オートブラケティング 458
音声メモ 301

カ

外部レコーダー 308
拡大表示 243
加算合成 285
画質モード 107
画像サイズ 108
画像情報 222
画像モニター 40, 88
傾き補正 281
感度自動制御機能 157
距離基準マーク 127
記録可能コマ数 80, 781
クラウドサービス 381, 409
高感度（Hi） 157
高速連続撮影 150
高速連続撮影（拡張） 150
コンティニュアスAF 110

サ

サイレントモード 648
削除 104, 255, 618
撮影モード 129
撮像範囲設定 106
サムネイル表示 220

シーンモード 137
視度調節ダイヤル 54
自分撮りモード 46
絞り値 132, 132
絞り優先オート 131
シャッタースピード 131, 132
シャッター優先オート 131
商品レビューモード 46, 213
初期化 627, 658
シングルAF 110
シングルポイントAF 112
ストリーミング 215
スライドショー 253
スローモーション動画 202
静止画/動画セレクター 92, 98
セルフタイマー 151, 154
全押し（シャッターボタン） 95
送信指定 249
増灯撮影 426

タ

ターゲット追尾AF 115
ダイナミックAF（L） 113
ダイナミックAF（M） 113
ダイナミックAF（S） 112
タイム撮影 145
タッチシャッター 122
タッチパネル 56
縦位置表示 42, 624, 632
調光補正 419
長時間露出 144
低速連続撮影 150
電子先幕シャッター 549
動画記録可能時間 783
動画記録ファイル形式 199
動画撮影ボタン 99
動画セルフタイマー 46, 214
動画編集 293
トリミング 274

ナ

内蔵マイク 99
日時設定 89
日時を同期 408

ハ

ハイスピードフレームキャプチャー＋ 153
ハイレゾズーム 211
発光モード 425, 454
バッテリー 78, 82
バルブ撮影 145
パワーオフ時間 80
半押し（シャッターボタン） 94
半押しタイマー 80
比較暗合成 287
比較動合成 290
比較明合成 287
ピクチャーコントロール 180
ピント表示 126
ピンポイントAF 112
フィルター再生 251
フォーカスポイント 121
フォーカスリング 126

フォーカスロック 123
フラッシュ撮影 414, 422
フラッシュブラケティング 460
フランジバック 127
フルタイムAF 111
フレームレート 201
プログラムオート 130
プログラムシフト 130
プロテクト 245
ホワイトバランス 159

マ

マイメニュー 689
マニュアル 132
マニュアルフォーカス 111, 125
ミレッド 168
無線LAN 336
メカニカルシャッター 549
メモリーカード 78, 780
モノトーン 284

ヤ

ユーザーセッティングモード 135
ゆがみ補正 282

ラ

リサイズ 275
レーティング 247
レンズの取り付け 86
レンズの取り外し 87
連続撮影 150
連動レリーズ 395
露出インジケーター 134
露出補正 148

ワ

ワイドエリアAF（C1） 114
ワイドエリアAF（C2） 114
ワイドエリアAF（L） 114
ワイドエリアAF（S） 114

ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力をお願いしております。ご登録いただいた製品に関するファームアップ情報や重要なお知らせなどをメールでご案内いたします。ニコンイメージング会員登録および製品登録は以下ニコンホームページからお手続きください。

ニコンイメージング会員のご案内
https://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/

ニコンイメージングサポートページのご案内

https://www.nikon-image.com/support/
最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

© 2024 Nikon Corporation

CT4K01(10)
6MO15410-01